伊勢市消防署玉城出張所新築工事

A2→A3縮小　71％

建築　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
	表紙	
A-00	図面リスト	N・S
A-01	建築　特記仕様書①	N・S
A-02	建築　特記仕様書②	N・S
A-03	建築　特記仕様書③	N・S
A-04	建築　特記仕様書④	N・S
A-05	建築　特記仕様書⑤	N・S
A-06	建築　特記仕様書⑥	N・S
A-07	建築　特記仕様書⑦	N・S
A-08	建築　特記仕様書⑧	N・S
A-09	概要・外部仕上表	N・S
A-10	1階　内部仕上表	N・S
A-11	2階　内部仕上表	N・S
A-12	配置図,附近見取図	1/300,2500
A-13	敷地面積、床面積、建築面積求積図	1/200
A-14	法チェック図	1/100,200
A-15	1階 平面図	1/100
A-16	2階 平面図	1/100
A-17	R階 平面図	1/100
A-18	南・北 立面図	1/100
A-19	東・西 立面図	1/100
A-20	断面図	1/100
A-21	1階 平面詳細図①	1/50
A-22	1階 平面詳細図②	1/50
A-23	1階 平面詳細図③	1/50
A-24	2階 平面詳細図①	1/50
A-25	2階 平面詳細図②	1/50
A-26	2階 平面詳細図③	1/50
A-27	矩計図① Ｅ通り	1/50
A-28	矩計図② ３、４通り	1/50
A-29	矩計図③ ２通り	1/50
A-30	矩計図④ １通り	1/50
A-31	階段詳細図（Ａ）	1/30, 50
A-32	階段詳細図（Ｂ）	1/30, 50
A-33	1階 展開図①ホール・事務機器スペース	1/50
A-34	1階 展開図②事務室・書庫	1/50
A-35	1階 展開図③出動準備室・倉庫	1/50

建築　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
A-36	1階 展開図④便所（男）・多目的便所（女子兼用）	1/50
A-37	1階 展開図⑤食堂・会議室	1/50
A-38	1階 展開図⑥資機材庫・油脂庫	1/50
A-39	1階 展開図⑦洗濯乾燥室・汚物洗浄室	1/50
A-40	2階 展開図①仮眠室5・9（男）	1/50
A-41	2階 展開図②通路・収納	1/50
A-42	2階 展開図③リネン・便所（男）	1/50
A-43	2階 展開図④洗面・洗濯・脱衣室（男）・ＵＢ	1/50
A-44	2階 展開図⑤踏込・仮眠室（女）	1/50
A-45	2階 展開図⑥洗面脱衣室・便所（女）	1/50
A-46	2階 展開図⑦倉庫・救急研修室（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	1/50
A-47	1階 天井伏図	1/100
A-48	2階 天井伏図	1/100
A-49	建具指示図	1/150
A-50	建具表①	1/50
A-51	建具表②	1/50
A-52	建具表③	1/50
A-53	建具表④	1/50, 100
A-54	建具詳細図①	1/5
A-55	建具詳細図②	1/5
A-56	建具詳細図③	1/30
A-57	建具詳細図④	1/40
A-58	非常電源装置	N・S
A-59	工事区分表	1/150
A-60	家具詳細図①（参考図）	1/20
A-61	家具詳細図②（参考図）	1/20
A-62	家具詳細図③（参考図）	1/20
A-63	各部詳細図①（参考図）	1/10
A-64	各部詳細図②（参考図）	1/10, 20
A-65	各部詳細図③（参考図）	1/20
A-66	各部詳細図④（参考図）	1/20
A-67	ホースタワー平面図・立面図・断面図（参考図）	1/30
A-68	外構配置図	1/200
A-69	外構横断面図	1/100
A-70	外構縦断面図	1/100
A-71	L型擁壁・ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ（参考図）	1/30, 200
A-72	外構詳細図①	1/50

建築　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
A-73	外構詳細図②	1/20, 30
A-74	外構詳細図③（参考図）	1/30
A-75	場内管割図	1/100
A-76	仮設計画図（参考図）	1/300

構造　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
S-01	構造設計標準仕様①	N・S
S-02	構造設計標準仕様②	N・S
S-03	配筋基準図①	N・S
S-04	配筋基準図②	N・S
S-05	配筋基準図③	N・S
S-06	配筋基準図④	N・S
S-07	配筋基準図⑤	N・S
S-08	鋼構造特記仕様書①	N・S
S-09	鋼構造特記仕様書②	N・S
S-10	ベースパック柱脚工法　標準図１	N・S
S-11	ベースパック柱脚工法　標準図２	N・S
S-12	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準図	N・S
S-13	地盤柱状改良工事特記仕様書・ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ柱状図	1/200
S-14	地盤柱状改良伏図	1/100
S-15	基礎伏図	1/100
S-16	ベースパック・基礎・地中梁詳細図	1/30
S-17	土間伏図	1/100
S-18	2階 梁伏図	1/100
S-19	R階 梁伏図	1/100
S-20	鉄骨部材リスト	N・S
S-21	鉄骨構造梁継手標準図	1/10
S-22	軸組図①	1/100
S-23	軸組図②	1/100
S-24	軸組図③	1/100
S-25	軸組図④	1/100
S-26	鉄骨詳細図①	1/30
S-27	鉄骨詳細図②	1/30
S-28	ホースタワー鉄骨基礎詳細図	1/30

電気設備工事　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	電気設備工事特記仕様書１	N・S
E-02	電気設備工事特記仕様書２	N・S
E-03	電気設備工事特記仕様書３	N・S
E-04	盤結線図１	N・S
E-05	盤結線図２	N・S
E-06	照明器具姿図１	N・S
E-07	照明器具姿図２	N・S
E-08	緊急車出動表示機	N・S
E-09	電灯設備１階平面図	1/100
E-10	電灯設備２階平面図	1/100
E-11	動力・コンセント設備１階平面図	1/100
E-12	動力・コンセント設備１階平面図	1/100
E-13	弱電設備系統図	N・S
E-14	消防指令・通信設備系統図	N・S
E-15	弱電設備１階平面図	1/100
E-16	弱電設備２階平面図	1/100
E-17	防火区画貫通処理図	N・S

機械設備工事　図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	機械設備工事特記仕様書１	N・S
M-02	機械設備工事特記仕様書２	N・S
M-03	給排水衛生設備　凡例・器具機器表	N・S
M-04	給排水衛生設備　系統図	N・S
M-05	給排水衛生設備　配置図	1/300
M-06	給排水衛生設備　１階平面図	1/100
M-07	給排水衛生設備　２階平面図	1/100
M-08	給排水衛生設備　１階平面詳細図１	1/50
M-09	給排水衛生設備　１階平面詳細図２	1/50
M-10	給排水衛生設備　２階平面詳細図	1/50
M-11	空調設備　凡例・機器表	N・S
M-12	空調設備　１階平面図	1/100
M-13	空調設備　２階平面図	1/100
M-14	空調設備　Ｒ階平面図	1/100
M-15	換気設備　凡例・機器表・計算書	N・S
M-16	換気設備　１階平面図	1/100
M-17	換気設備　２階平面図	1/100

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：図面リスト　　SCALE　N/S

A-00

A2→A3縮小 71%

工事特記仕様書

Ⅰ．工事名称　伊勢市消防署玉城出張所新築工事

Ⅱ．工事概要

1．工事場所	三重県度会郡玉城町佐田
2．敷地面積	1274.70 ㎡ / 385.38 坪
3．工事内容	
棟名称	伊勢市消防署玉城出張所
構　造	重量鉄骨造・ﾗｰﾒﾝ架構
建築面積	482.10 ㎡ / 145.83 坪
延べ面積	761.95 ㎡ / 230.49 坪
工事項目	建築工事・電気設備工事・機械設備工事・外構工事　一式

Ⅲ．建築工事仕様

1.共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書（令和元年7月改定版）」及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編）平成31年版」(以下「標準仕様書」という。)による。

2.特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3)項目に記載の（　）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 １） 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版） ２） 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和元年版）
	2.発生材の処理等 (1.3.11)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分 ・ 外装	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 （　　）	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・ 引渡を要するもの　　・ 有（　　）
・ 特別管理産業廃棄物　・ 有（　　）　処理方法(　　)
・ 現場において再利用を図るもの(　　)
・ 再資源化を図るもの　　・ コンクリート塊
・ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設リサイクル法、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告する。

3.建設副産物情報交換システムの利用	受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。
④三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
⑤施工条件 (1.3.5)	下記で指定するもの以外は監督員と協議し決定する。 ⊙ 施工可能日 ・ 指定なし　⊙ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり ⊙ 施工可能時間帯 ・ 指定なし　⊙　　時～　　時 ⊙ 部位別の施工順序 ・ 指定なし　・（　　） ⊙ 工事車両の駐車場 ・ 指定なし　⊙ 図示(図面番号：　　)・(　　) ⊙ 資材置場 ・ 指定なし　⊙ 図示(図面番号：　　)・(　　)
⑥概成工期	建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態にまで完了していること。
7.部分引渡し部分使用	・ 部分引渡しあり　　・ 部分使用あり ・ 指定部分（　　） 時期（ 平成　　年　月　日～ ）
8.埋蔵文化財調査	埋蔵文化財調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり
⑨電気保安技術者 (1.3.3)	・配置する
⑩.技能士 (1.5.2)	職種別に可能なものについては積極的に活用のこと
⑪建築材料等	1） 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2） 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3） 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。 4） 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 5） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、Ｆ☆☆☆☆以上とする。 6） 下記製品を本工事で使用する場合は、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 認定製品の品名：　・(　　) 7） 下記製品を本工事で使用する場合は、「三重県リサイクル製品利用推進条例」に基づく認定製品を使用するように努める。 認定製品の品名：　・ 間伐材製工事用バリケード ・ 間伐材工事看板　　・ 間伐材表示板 ・（　　）
⑫化学物質の濃度測定 (1.5.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
	学校,教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
◯	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所　⊙　（３ヵ所）　事務室・食堂、ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室、仮眠室
測定方法　⊙ パッシブ法　　・ アクティブ法
測定時期　・（　　）
報告書提出部数　2部

⑬特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑭騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
⑮工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版)に従い撮影する。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。
⑯完成図等 (1.7.1) (1.7.2)	⊙ 作成する　⊙ 完成図　⊙ 保全に関する資料　・（　　）) ⊙ 完成図作図範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。
⑰完成写真	⊙ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 （A4版用紙に1ページあたり3枚）　1部 ⊙ 箇所数は外観４面各室２面程度とする。規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ⊙ アルバム 1部（大きさ 335mm×290mm程度 カラー）
⑱電子納品	⊙ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・３部　⊙　１部 ） ⊙ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・３部　⊙　１部 ）
⑲設備工事との取合い	施工範囲 ⊙ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強 ⊙ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ 施工図 ⊙ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
⑳設計GL	⊙ 図示のベンチマーク(B.M)　　＋１０００mm （現状地盤はB.M　＋８００　mm）
㉑養生その他	工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。
㉒事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
㉓下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用	本工事における下請の次数は、２次（建築一式工事は３次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
24.総合評価方式	本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。
㉕不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱 第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3)受注者は、暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
㉖消防法関係の手続き	1）消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・ 本工事（ ・ 建築工事　　・ 電気設備工事　　・ 機械設備工事） ・ 別途工事 2）防火対象物使用開始届出書 書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。
㉗主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	1）現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2）検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
㉘工事の一時中止	工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン（案）」（平成27年6月国土交通省）による。 三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
㉙労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。 この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
㉚建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Vo = 34 m/s 地表面粗度区分　・ Ⅱ　⊙ Ⅲ 積雪区分　（　）cm
㉛火災保険等	三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。 （１）保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む） （２）保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 （３）保険金額　原則として請負金額に相当する金額

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-01
			図面名称：　特記仕様書１　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%

① 一般共通事項

㉜ 不正軽油の使用の禁止

1）一般事項

県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。

2)調査の協力

受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3)是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33.技術検査 (1.6.2)

中間技術検査

実施回数　・（　　）回

実施する段階　・（　　）

34.保全に関する資料 (1.7.3)

・２部　・（　　）

35.屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

㊱社会保険等未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。

受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により、下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

㊲現場での安全確保（自主施工の原則）

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

㊳電子メールの活用

「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年７月」を適用する。

（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）

２ 仮設工事

①監督員事務所 (2.3.1)

⊙設置する。（監理者兼用）

監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用		○			
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

②監督員事務所の設備・備品等 (2.3.1)

種類	机・いす	書棚（鍵付）	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	２　組	１　台	１　個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	２　足	２　着	２　個	個	２　台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	１　個	個	台	１　台	１　台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕　上　げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

構内既存の施設　・利用できる　⊙利用できない

④工事用水

構内既存の施設

・利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

⑤工事用電力

構内既存の施設

・利用できる（・有償　・無償）　⊙利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場 (2.2.4)

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

⑦交通誘導警備員

配置　⊙工事期間中　毎日

③ 土工事

1.埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)

種別　・A種　⊙B種　・C種　・D種

②建設発生土の処理 (3.2.5)

⊙自由処分

・処分地指定　処分地（　　）

・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

3.山留めの撤去 (3.3.3)

鋼矢板等の抜き跡の処理　・砂充填　・（　　）

山留め壁等　・撤去　・存置

④ 地業工事

①杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

2.適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。国土交通省告示第468号　「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3.施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、１ 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4.根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5.試験杭及び試験掘 (4.2.2)

・試験杭　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：　）

・試験掘　位置、本数及び寸法　図示（図面番号：　）

6.杭の支持層

支持層の位置、土質　・図示（図面番号：　）　・（　　）

7.水平方向の位置ずれ

（　１００　）mm以下

8.杭の載荷試験 (4.2.3)

試験方法　・鉛直載荷　・水平載荷　・（　　）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置、本数　・図示（図面番号：　）　載荷荷重　（　　kN）

報告書　・提出部数　2部

9.地盤の載荷試験 (4.2.4)

試験方法　・平板載荷　・（　　）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置　・図示（図面番号：　）　載荷荷重　（　　kN）

報告書　・提出部数　2部

10.既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭 (4.3.1)(表4.3.1)(4.3.3)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.3.8)

・PHC杭

・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種

・SC杭

・PRC杭

・上記以外の建築基準法に基づく杭

（参考表）

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

先端形状　・開放型　・閉そく型

施工方法

・セメントミルク工法

・オーガーの支持層への掘削深さ

・（　）m　・図示（図面番号：　）

・杭の支持層への根入れ深さ

・（　）m　・図示（図面番号：　）

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（　）m　・図示（図面番号：　）

・根固め液及び杭周固定液の管理試験

・標準仕様書[4.3.4(6)(ｺ)]　・（　　）

継手　・アーク溶接　・無溶接継手（工法：　）

杭頭の処理　・行う　・行わない

11.鋼杭地業 (4.4.3)(4.4.4)(4.4.5)(4.4.6)(4.3.5)(4.3.8)

・鋼管杭　・SKK400　・SKK490

・H形鋼杭　・SHK400　・SHK490M

径　・300　・350　・400　・450　・（　）

長さ（　）m

継手　・JISA5525(鋼管ぐい)

施工法　・300　・350　・400　・450　・（　）

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（　）m　・図示（図面番号：　）

杭頭の処理　・行う　・行わない

12.場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5)(4.5.6)

施工方法

・アースドリル工法

・リバース工法

・オールケーシング工法

・鋼管コンクリート杭工法

拡底　・行わない　・行う（　）

杭の根入れ深さ

・（　）m　・図示（図面番号：　）

孔壁の超音波測定　・行う　・行わない

帯筋の加工及び組立　・図示（図面番号：　）

鉄筋の最小かぶり厚さ　（　）mm

鉄筋かごの補強

・図示（図面番号：　）

継手　・重ね継手　・（　　）

⑤ 鉄筋工事

(表4.5.1)

コンクリートの種別　・A種　・B種

設計基準強度　（　）N/mm²

セメントの種類　・高炉セメントB種　・（　　）

スランプ（cm）　・18　・（　　）

構造体強度補正値（S）・３N/mm²　・（　　）

⑬地盤改良

⊙（地盤柱状改良）工法

⊙六価クロム溶出試験　・室内配合試験　⊙一軸圧縮試験

⊙平板載荷試験

⑭砂及び砂利地業 (4.6.2)(4.6.3)

砂利

・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石　・（図面による）

砂

・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂　・（　）

施工範囲　・図示（図面番号：　）

厚さ(mm)　・60　⊙（図面による）

⊙仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑮法コンクリート地業 (4.6.4)

厚さ(mm)　⊙50　・（　　）

施工範囲　・図示（図面番号：　）

⊙仕上がりレベルを計測し、記録すること。

⑯床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)

施工範囲　⊙図示（図面番号：S-17　）

・ポリエチレンフィルム厚さ　・0.15mm以上　・（　　）

・防湿層の重ね幅、基礎梁ののみ込みは、250mm以上とする。

⑰柱状改良

施工要領等　⊙図示（図面番号：S-13　）

①鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	径	備　考
⊙SD295A	⊙D16以下	
・SD295B	・（　）	
⊙SD345	⊙D19以上	⊙梁主筋

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

②溶接金網 (5.2.2)

網目の形状、寸法

鉄線の径（mm）・4　・5　⊙6　・（　）

寸法(mm)　・100×100　⊙150×150　・（　　）

③内法直径 (5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径　・図示（図面番号：　）

④継手 (5.3.4)

	径	部　位
⊙重ね継手	⊙D16以下	
⊙ガス圧接	⊙D19以上	⊙梁主筋

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

⊙標準仕様書[5.3.4](3)(ｱ)　・図示（図面番号：　）

継手位置

⊙各部配筋参考図による　・図示（図面番号：　）

鉄筋定着

⊙標準仕様書[表5.3.4]　・図示（図面番号：　）

・標準仕様書[図5.3.3]　・図示（図面番号：　）

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)(表5.3.6)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

⊙標準仕様書[表5.3.6]　・図示（図面番号：　）

⑥各部配筋 (5.3.7)

⊙図示(図面番号：　)

⑦圧接完了後の試験 (5.4.10)

抜取試験方法　⊙超音波探傷試験　・引張試験

引張試験方法　・標準仕様書[5.4.10](ｲ)(b)　・（　　）

8.機械式継手及び溶接継手 (5.5.2)(5.6.3)

・機械式継手

適用箇所（　）

種類（　）　性能（　）

施工完了後の継手部の試験（　）

不合格となった継手部への措置（　）

鉄筋相互のあき（　）mm

・溶接継手

適用箇所（　）

工法（　）　性能（　）

施工完了後の溶接部の試験（　）

不合格となった溶接部への措置（　）

鉄筋相互のあき（　）mm

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：特記仕様書２　SCALE N/S

A-02

A2→A3縮小 71%

⑥ コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.10.1) (6.10.2) (6.11.1) (6.11.3) (表6.2.2) (表6.10.1)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適 用 箇 所	施工時期	スランプ
⊙21(N/mm²)	躯体、土間		⊙18(cm)
⊙18(N/mm²)	捨て		⊙18(cm)
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分　図示（図面番号：　　）

②コンクリートの類別 (6.2.1) (表6.2.1)

類別　⊙ Ⅰ類　・ Ⅱ類
・ 大臣認定品　図示（図面番号：　　）

③コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・ A種　⊙ B種　・ C種
仕上りの平たんさ
・ a種　・ b種　・ c種

④セメント (6.3.1) (表6.3.1)

種類　⊙ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種
シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種
・（　　）
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・ 適用箇所　図示（図面番号：　　）

⑤骨材 (6.3.1)

アルカリシリカ反応性による区分
⊙ AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・ A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 銅スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材Ｈ（普通エコセメントを使用するコンクリートに限る）

6.コンクリートの材料 (6.3.1) (6.3.1) (表6.3.2)

混和材料　・図示（図面番号：　　）
混和剤の種類、使用方法、使用量
・ 標準仕様書［6.3.1］(4)(a)、標準仕様書［6.3.2］(イ)(f)
・（　　）
混和材の種類、使用方法、使用量
・ 標準仕様書［6.3.1］(4)(b)、標準仕様書［6.3.2］(イ)(f)
・（　　）
構造体強度補正値（S）　・標準仕様書[表6.3.2]　・（　　）

7.打継ぎ (6.6.4)

位置　・標準仕様書［6.6.4］(1)　・図示（図面番号：　　）

8.養生 (6.7.2)

・普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間　（　　）

⑨型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1) (6.8.4)

材料　⊙ 複合合板　（厚さ(mm)　⊙ 12　・（　　））
打増し厚さ　・ 図示(図面番号：　　)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
・ 図示(図面番号：　　)
・ 断熱材の兼用
・ ＭＣＲ工法用シート
スリーブの材種、規格等
・ 標準仕様書[表6.8.1]　・ 図示（図面番号：　　）
型枠存置期間及び取外し
・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間　（　　）

10.寒中コンクリート (6.11.1)

適用期間(　　)
・ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

11.暑中コンクリート (6.12.2)

構造体強度補正値(S)
・ 6 N/mm²　・（　　）

12.マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)

適用箇所　・ 図示（図面番号：　　）
セメントの種類　・ 普通ポルトランドセメント
・ 中庸熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ シリカセメント
スランプ　・ 15cm　・（　　）
混和剤の種類　・ 標準仕様書[6.13.2](2)(ｱ)　・（　　）
混和材の種類　・ 標準仕様書[6.13.2](2)(ｲ)　・（　　）
構造体強度補正値（S）　・標準仕様書[表16.3.1]　・（　　）

13.無筋コンクリート (6.14.1)

コンクリートの種類　・普通コンクリート　・（　　）
適用箇所　標準仕様書[6.14.1]
・ 上記以外の適用箇所（　　）
設計基準強度　・ 18(N/mm²)　・（　　）(N/mm²)
スランプ　・ 15cm　・ 18cm

14.流動化コンクリート (6.15.1)

適用箇所
・ 図示(図面番号：　　)

⑦ 鉄骨工事

①施工管理技術者 (7.1.4)

⊙ 配置する

②製作工場 (7.1.3)

（株）日本鉄骨評価センター又は（株）全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・J　⊙R　・M　・H　・S

③鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)

種類、形状及び寸法　⊙ 図示（図面番号：　　）

④高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)

種類
⊙ トルシア形高力ボルト(S10T)
・ JIS形高力ボルト2種(F10T)
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)
・（　　）
高力ボルトのねじの呼び
⊙ 図示（図面番号：　　）
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙ 図示（図面番号：　　）
すべり試験の試験方法　・（　行わない　）
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合
・ 回転量（　　）°

⑤普通ボルト (7.2.3) (表7.2.3) (7.3.2)

ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び
⊙ 図示(図面番号：　　)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
⊙ 図示(図面番号：　　)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)

摩擦面の処理
・ ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・ りん酸塩処理
すべり試験の試験方法　・（　　）
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示(図面番号：　　)

⑦アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)

種類
構造用　・SNR400B　⊙ 図示(図面番号：　　)
建方用　⊙SS400　・（　　）
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み
・ A種　⊙ B種
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
⊙ 標準仕様書[表7.2.3]
・ 図示（図面番号：　　）
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法
⊙ 図示（図面番号：　　）
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示（図面番号：　　）

8.溶接材料 (7.2.5)

材料
・ 標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外の溶接材料　（　　）

⑨ターンバックル (7.2.6)

種類及びねじの呼び等
・ 図示（図面番号：　　）
建築用ターンバックル胴　⊙ 割枠式　・（　　）
建築用ターンバックルボルト　⊙ 羽子板ボルト　・（　　）

⑩デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)

材質、形状及び寸法　⊙ 図示(図面番号：　S-12　)
溶接方法　⊙ 図示(図面番号：　S-12　)

11.スタッド (7.2.8)

種類等　・ 図示(図面番号：　　)

⑫柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)

柱底均しモルタルの工法、厚み
・ A種（　）mm　⊙ B種（ 30 ）mm
無収縮モルタルの材料及び調合
⊙ 標準仕様書[7.2.9](2)　・（　　）

13.材料試験等 (7.2.10)

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
・ JIS G 0901により行う

14.ボルトの孔径 (7.3.8)

普通ボルトの孔径（母屋又は胴縁の取付け）
・ねじの呼び径±10mm　・（　　）

15.仮組 (7.3.10)

⊙ 行わない　・ 行う
仮組を行う範囲　・ 図示（図面番号：　　）

⑯溶接作業における技能資格者 (7.6.3)

溶接作業の技量付加試験
⊙ 行わない　・ 行う

⑰溶接部の開先 (7.6.4)

開先の形状
⊙ 図示(図面番号：　　)

⑱溶接施工 (7.6.7)

鋼製エンドタブの切除
・ 適用及び切断範囲　図示（図面番号：　　）
切断面の仕上げ
・標準仕様書[7.6.7(カ)(b)]　・図示（図面番号：　　）

鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。
2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者（溶接技能者・A級以上）、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・低応力高サイクル疲労を受ける部位　図示（図面番号：　　）
スカラップの形状　・ 図示(図面番号：　　)

⑲溶接部の試験 (7.6.12)

試験の種別
溶接部の外観試験方法　・（　　）
⊙ 超音波探傷試験　・（　　）

溶接区分	AOQL(%)	検査水準	備　考
現場溶接			・全数試験
工場溶接	・ 2.5 ⊙ 4.0	⊙ 6	

⑳錆止め塗装 (7.8.2) (7.8.4)

耐火被覆材の接着する面への塗装
塗装範囲　図示（図面番号：　　）
種別
・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]　（　　）種
・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2]　（　　）種

21.耐火被覆 (7.9.2) (7.9.3)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装
塗装範囲　図示（図面番号：　　）
鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の鋼製ｽﾘｰﾌﾞの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]　（　　）種

部位	種類	材料	工法	耐火性能

㉒軽量形鋼 (7.11.2)

接合部（ボルト接合の場合）
⊙ 普通ボルト接合　・（　　）

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.8) (表8.2.1)

種類　・ 空洞ブロック16
・ 図示(図面番号：　　)
正味厚さ、モデュール呼び寸法
・ 図示(図面番号：　　)
各部の配筋　・ 図示(図面番号：　　)
モルタルの調合　・ 標準仕様書[8.2.3]　・（　　）
モルタル又はコンクリートの充填範囲　・ 図示(図面番号：　　)

2.コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)

ブロックの種類　・ 標準仕様書[表8.3.1]
・ 図示(図面番号：　　)
正味厚さ、モデュール呼び寸法、ブロックの厚さ
・ 図示(図面番号：　　)
モルタルの調合　・ 標準仕様書[8.2.3]　・（　　）
化粧　・ 有り　・ 無し
塀の厚さ　H≦2.0m　・ 120mm　・（　　）
H＞2.0m　・ 150mm　・（　　）
各部の配筋　・ 図示(図面番号：　　)
モルタル又はコンクリートの充填範囲
・ 図示(図面番号：　　)

3.ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)

区分	単位荷重 (N/mm²)	呼び寸法 厚さ(mm)	呼び寸法 幅(mm)	呼び寸法 長さ(mm)	構法	耐火性能
・外壁パネル	・（ ）	・100 ・（　）	・（ ）	・（ ）	・A種 ・B種	・（ ）時間 ・ 無し
・間仕切壁パネル	・（ ）	・100 ・（　）	・（ ）	・（ ）	・C種 ・E種 ・D種	・（ ）時間 ・ 無し
・屋根パネル	・（ ）	・100 ・（　）	・（ ）	・（ ）	・F種	・（ ）時間 ・ 無し
・床パネル	・（ ）	・100 ・120 ・150	・（ ）	・（ ）	・F種	・（ ）時間 ・ 無し

パネル幅を300mm以下とする部分　・ 適用あり
外壁、屋根及び床パネル構法
風圧力に対応した工法　・ 適用あり
パネル短編小口相互の伸縮目地幅(mm)　・（　　）
出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm)　・（　　）
伸縮目地への耐火目地材の充填　・ 適用する（材料：　　）

4.押出成形セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法
・外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・（　）	・（　）	・ A種 ・ B種
・間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	・（　）	・（　）	・ B種 ・ C種

パネル幅を300mm以下とする部分　・ 適用あり
パネル相互の目地幅（mm）
・ 長辺 8以上、短辺 15以上　・（　　）
出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅（mm）　・ 15　・（　　）
目地及び隙間の処理　・（　　）
外壁パネル構法
風圧力に対応した工法　・適用あり
間仕切壁パネル構法
パネルに欠き込みを行う場合
・パネル開口の限度　・図示（図面番号：　　）

	承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：　特記仕様書３　SCALE　N/S

A-03

A2→A3縮小 71%

⑨ 防水工事

1.アスファルト防水
(表9.2.3)
～(表9.2.8)
(9.2.2)
(9.2.3)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.2.3] ～[表9.2.8]　・図示（　　）
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.2.5] ～[表9.2.8]　・図示（　　）
絶縁用シート
・ ポリエチレンフィルム（厚さ　0.15mm以上）
・ フラットヤーンクロス（70g/㎡）
押え金物
・ アルミ製　L30×15×2.0　・図示（図面番号：　　）
断熱材
・ 屋根保護防水断熱工法
種類　（　　）　厚さ　（　　）mm
・ 屋根露出防水断熱工法
種類　（　　）　厚さ　（　　）mm
(表9.2.3)
～(表9.2.6)　屋根保護防水
立ち上がり部の保護コンクリート　・ 図示(図面番号：　　)
乾式保護材　・ 使用する
立上り部保護れんが　・ JIS R 1250　・（　　）
(表9.2.7)　脱気装置
・ 設置数量　図示(図面番号：　　)　種類（　　）
(表9.2.7)　屋根露出防水における仕上塗料
(表9.2.8)　・ 図示(図面番号：　　)　種類（　　）　使用量（　　）
(表9.2.9)　屋内防水密着工法における保護層
・図示（図面番号：　　）
E-1の工程3　・行う　・行わない
(9.2.4)　防水層の下地モルタル塗り
・図示（図面番号：　　）
立上がりのコンクリート打放し仕上げの種別
種類　・B種　・（　　）
(9.2.4)　屋根露出防水絶縁断熱工法
ルーフドレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置
・ 図示(図面番号：　　)
(9.2.5)　保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　・ 水下 80mm以上　・（　　）
床タイル張り　・ 水下 60mm以上　・（　　）
立上り部の保護方法
・乾式保護材　・れんが押え　・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等）　・（　　）
屋上排水溝
・ 図示(図面番号：　　)

2.改質アスファルトシート防水
(9.3.2)
(9.3.3)
(表9.3.1)
～(表9.3.3)

種　別	施　工　箇　所

改質アスファルトシート
種類　・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3]　・図示（　　）
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ
種類　・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3]　・図示（　　）
押え金物の材質、形状、寸法
・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)　・（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.3.1] ～[表9.3.3]　・図示（　　）
仕上塗料
・ 図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
脱気装置
・ 設置数量　図示（図面番号：　　）　種類（　　）
断熱材
・ 屋根露出防水絶縁断熱工法
種類　（　　）　厚さ（　　）mm
防湿用シートの設置　・有り　・無し

3.合成高分子系ルーフィングシート防水
(9.4.2)
(9.4.3)
(9.4.4)
(表9.4.1)
(表9.4.2)
(表9.4.3)

種　別	施　工　箇　所

ルーフィングシート
種類　・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3]　・図示（　　）
厚さ　・標準仕様書[表9.4.1] ～[表9.4.3]　・図示（　　）
絶縁用シート
・ 発砲ポリエチレンシート　・（　　）
固定金具　材質、寸法形状（　　）
・ 図示（図面番号：　　）
断熱材　種類、厚さ
・機械的固定工法　図示（図面番号：　　）
・接着工法　（図面番号：　　）
仕上塗料
・ 図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）
防湿用シートの設置　・有り　・無し
S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法
立ち上がり面のシート厚さ　・ 1.5mm　・（　　）mm
屋内保護密着工法
モルタル塗り厚さ　・（　　）mm
立上り部の保護モルタル塗厚さ　・ 7mm以下　・（　　）mm
目地処理
PC下地　・ 図示（図面番号：　　）
増張り（S-F1、SI-F1）
PC入隅部　・ 図示（図面番号：　　）
機械的固定工法
風圧力に対応した工法　・図示(図面番号：　　)

④塗膜防水
(9.5.3)
(表9.5.1)
(表9.5.2)

施　工　箇　所	種　別
・3～4通り屋根	X-1
・1～2通り屋根	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置（ X-1 ）
・ 設置数量　図示（図面番号：　　）　種類（　　）
防水層の工程数及び各工程の使用量（ Y-1、Y-2 ）
・ 製造所の仕様による　・（　　）
保護層（ Y-2 ）　・図示（図面番号：　　）
仕上塗料
・ 図示（図面番号：　　）　種類（　　）　使用量（　　）

5.ケイ酸質系塗布防水
(9.6.1)
(9.6.3)
(9.6.4)
(表9.6.1)
(表9.6.2)
適用部位　・ 図示（図面番号：　　）
防水層の種別　・C-UI　・C-UP
防水層の下地
壁及び天井部の仕上げ　・コンクリート打放し仕上げ（B種）
・図示（図面番号：　　）
下地処理　・標準仕様書[9.6.4](2)　・（　　）

⑥シーリング
(9.7.2)
(9.7.3)
(表9.7.1)

・標準仕様書[表9.7.1]による

施　工　箇　所	目地寸法	種　類
外壁	１０ｘ１０	ＭＳ－２
建具廻り・幕板等	１５ｘ１０	ＭＳ－２

(9.7.5)　接着性試験
・ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験

10 石工事

1.共通
(10.1.3)
(10.1.5)
割付　・図示(図面番号：　　)
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・（　　）
清掃における床面ワックス　・使用する

2.天然石
(10.2.1)
(表10.2.1)
(表10.2.2)

使用部位	種類(名称)	等級	寸法(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床		・ 2等		・ 粗磨き ・（　）		
壁		・ 1等		・ 水磨き ・（　）		

ジェットバーナー仕上面　・手加工あり　・機械加工バフ仕上あり

3.テラゾ
(10.2.1)
(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5～12mm	・ 300型 ・ 400型	・（　）

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・ 片面 ・ 両面	・（　）	・（　）

4.その他の材料
(10.2.3)
取付用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
目地用モルタル　・ 図示(図面番号：　　)
石裏面処理材　・ 図示(図面番号：　　)
裏打ち処理材　・ 図示(図面番号：　　)
ドレンパイプ　・ 図示(図面番号：　　)
充填材料　・ 図示(図面番号：　　)

5.外壁湿式工法
(10.2.2)
(10.2.3)
(10.3.2)
(10.3.3)
受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
アンカーの材質及び寸法　・ SS400 M12　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び寸法　・（　　）
ドレンパイプの材質
・ 樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き 25～35φ
・（　　）
石材の厚さ　・25mm以上　・（　　）
石裏面処理　・適用する
裏打ち処理　・適用する
下地ごしらえ
・ 流し筋工法　・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー横筋流し工法
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]　・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

6.内壁空積工法
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.4.2)
(10.4.3)
受け金物の材質、形状、寸法
・ 図示（図面番号：　　）
アンカーの材質及び寸法　・ SS400 M12　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び寸法　・（　　）
石材の厚さ　・20mm以上　・（　　）
下地ごしらえ
・ あと施工アンカー・横筋流し工法　・ あと施工アンカー工法
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
伸縮調整目地
位置　・ 6mごと　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

7.乾式工法
(10.2.2)
(10.5.2)
(10.5.3)
金物の種類、形状、寸法　・図示（図面番号：　　）
取り付け工法
・ スライド方式　・ ロッキング方式
アンカーの材質及び寸法　・ SS304 M10　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び寸法　・（　　）
石材の厚さ　・30mm以上(外壁)　・25mm以上(内壁)　・（　　）
たぼ用穴の位置　・図示（図面番号：　　）
石裏面処理　・適用する
裏打ち処理　・適用する
風圧力に対応した工法　・図示（図面番号：　　）
目地
目地幅(mm)　・ 8以上　・（　　）
シーリング材　・ 適用する

8.床及び階段の石張り
(10.3.3)
(10.6.2)
(10.6.3)
石材の厚さ　・（　　）
石裏面処理　・適用する
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm
・ 図示(図面番号：　　)
伸縮調整目地
位置　・ 標準仕様書[10.6.2](5)(イ)(a)
・ 図示（図面番号：　　）
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

9.アーチ、上げ裏等の石張り
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.7.1)
(10.7.2)
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](3)　・（　　）
吊金物及び化粧吊りボルト
・ 設ける
吊金物　・ ステンレス(SUS304)　径6mm長さ80mm(加工物)
吊りボルト　・ ステンレス(SUS304)　M10　化粧ナット付き
アンカーの材質及び寸法　・ SS304 M10　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び寸法　・（　　）
取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
石材の厚さ　・（　　）
石裏面処理　・適用する
裏打ち処理　・適用する
目地　一般目地
目地幅(mm)　・ 6以上　・（　　）
伸縮調整目地
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・図示（図面番号：　　）

10.笠木、甲板等
(10.2.2)
(10.3.3)
(10.5.3)
(10.7.1)
(10.7.3)
取付け金物　・ 標準仕様書[10.2.2](3)　・（　　）
アンカーの材質及び寸法　・ SS304 M10　・（　　）
あと施工アンカーの材質及び寸法　・（　　）
取付工法　・ 外壁湿式工法　・ 内壁空積工法　・ 乾式工法
石材の厚さ　・（　　）
石裏面処理　・適用する
取付け代(乾式工法の場合)(mm)
・ 標準仕様書[10.5.3](2)　・（　　）
石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)
・ 適用する　図示(図面番号：　　)
目地　一般目地
目地幅(mm)　・（　　）
伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)
位置　・ 図示(図面番号：　　)
シーリング材の目地寸法
・幅、深さとも10mm以上　・ 図示（図面番号：　　）

11.隔て板
(10.7.4)
石材の厚さ　・40mm　・（　　）

⑪ タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
(11.1.3)
位置　・ 標準仕様書[表11.1.1]
・ 図示(図面番号：　　)

②タイル張り
(表11.2.3)
(11.2.2)
(11.2.3)
(11.3.2)
(11.3.4)
(表11.3.2)
タイルの種類・工法

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
床	圧着	磁器	150角	○			標準	
床	圧着	磁器	段鼻150角	○			標準	

・ 試験張りを行う
・ 見本焼きを行う
・ 既モルタル調合　（　　）
(11.2.7)　セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事
(11.3.7)　コンクリート素地面の処理　・ 適用箇所　図示(図面番号：　　)
・ 目荒し工法　・ ＭＣＲ工法
有機系接着剤あと張り工事
シーリング材
打継、ひび割れ誘発目地　・PU－2　・（　　）
伸縮、その他目地　・MS-2　・（　　）

				承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：　特記仕様書４　SCALE　N/S

A-04

A2→A3縮小 71%

⑫ 木工事

①木材
(12.1.4) 見え掛り部の表面仕上げ
機械加工 ・ A種 (・) B種 ・ C種
(表12.1.1) 適用箇所 （ ２階 収納 ）
(表12.1.2) 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種
(12.2.1)
(12.4.1) 木材の含水率

部材名称	種別
下地材	(・) A種 ・ B種
造作材	(・) A種 ・ B種

(12.5.1)
(12.6.1)
(12.7.1)
(表12.2.1) 樹種 ・ 図示（図面番号： ）

②製材
(12.2.1)(2)(ｱ) 「製材の日本農林規格」による製材

	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	県産材
下地用 針葉樹製材	・図示（： ）	・（ ）				
造作用 針葉樹製材	・図示（： ）	・（ ）				
広葉樹製材	・図示（： ）	・（ ）	・10%以下			

(12.2.1)(2)(ｲ) 「製材の日本農林規格」以外の製材
(表12.2.2) 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率
・ 図示（図面番号： ）
造作材の材面の品質 ・ A種 ・（ ）
樹種

部位	樹 種	県産材

3.集成材等
(12.2.1) 造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・図示（図面番号： ）	・（ ）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号： ）	・（ ）	
化粧ばり構造用集成材	・図示（図面番号： ）		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率
・ 図示（図面番号： ）

4.単板積層材
(12.2.1) 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
品名、寸法、表面の品質及び防虫処理
・ 図示（図面番号： ）
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理
・ 図示（図面番号： ）

5.直交集成材
(12.2.1) 「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材
品名、曲げ強度(強度等級)、種別、接着性能(使用環境)、樹種、寸法
・ 図示（図面番号： ）

⑥合板等
(12.2.1)

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ
シナ合板	シナ	Ⅱ類		２等		4.0

構造用合板の強度等級
・ 図示（図面番号： ）
特殊加工化粧合板の化粧加工方法
・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・（ ）
(・) タッカー止メの場合はシール打の事

パーティクルボード
表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等
・ 図示（図面番号： ）
ミディアムデンシティーファーバーボード（MDF）
表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等
・ 図示（図面番号： ）

7.接合具等
(12.2.2) 造成材の化粧面の釘打ち
・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
(表12.2.3) 諸金物の形状、寸法、材質
～(表12.2.5) ・図示（図面番号： ）

8.防腐・防蟻・防虫処理
(12.3.1) 防腐・防蟻処理
薬剤加圧注入
適用部材、保存処理性能区分 ・ 図示（図面番号： ）
(12.3.2) 薬剤の塗布等
処理方法 ・ 標準仕様書[12.3.1](ｲ)(b) ・（ ）
附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による処理
薬剤の種類、適用部材 ・図示（図面番号： ）
薬剤の接着剤への混入 ・（ ）
合板等の加圧注入 ・（ ）
防虫処理 ・（ ）

⑬ 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺
(13.2.2)
(13.2.3)
(表13.2.1)

屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考
瓦棒葺き	(・) 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金メッキ鋼板	(・) 0.4	(・) アスファルトルーフィング940	

風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号： ）
雪止め ・ 図示（図面番号： ）

②折板葺
(13.3.2)
(13.3.3)
(表13.2.1)

緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分
・ 重ね形	(・) 0.8 ・ 0.6	・ 90 (・)（１６０）	(・)（２５０）	・（ ）
	材種			軒先面戸板
(・) はぜ締め形	・ 塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合板めっき鋼板 (・)（ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板）			(・) あり ・ なし

タイトフレーム 材料 ・（ ）
断熱材 種別 ・ ガラス繊維シート ・（ ）
厚さ(mm) ・ 5 ・（ ）
防火性能 ・（ ）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・ 図示（図面番号： ）
けらば納め ・けらば包み ・（ ）

3.粘土瓦葺
(13.4.2)
(13.4.3)

種 類	大きさ	産 地	役物の種類	棟の工法

凍害試験 ・行う ・行わない
雪止め瓦 ・ 使用する
瓦桟木の材種、寸法 ・ 杉 21×15 ・（ ）
棟補強用心材の材質、寸法 ・杉 40×30 ・（ ）
棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法、留付け方法
・図示（図面番号： ）
下葺材料の種類 ・（ ）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・図示（図面番号： ）
桟木の留付け工法 ・図示（図面番号： ）
棟の工法 ・ 標準仕様書[13.4.3](4) ・図示（図面番号： ）

④とい
(13.5.2) 材種 (・) 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管)
・（ ）
(表13.5.1) 耐酸被覆鋼板 材質等 ・（ ）
(表13.5.2) 受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔
(13.5.3) ・図示（図面番号： ）
(表13.5.5) 軒といの取付け間隔（多雪地域） ・0.5m以下 ・（ ）
鋼管製といの防露巻工法
・ 標準仕様書[表13.5.5] ・（ ）

⑭ 金属工事

①ステンレス
(14.2.1) 表面仕上げ (・) HL仕上げ ・（ ）
2.アルミニウム
(14.2.2) 表面処理の種別
(表14.2.1) ・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1
・ BA-2 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2
常温乾燥形の塗装 ・（ ）
陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ・（ ）
陽極酸化被膜の色合い等 ・（ ）

③鉄鋼の亜鉛めっき
(14.2.3)(表14.2.2) 亜鉛めっきの種別
(・) A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種

④軽量鉄骨天井下地
(14.4.2) 野縁などの種類
屋内 (・) 19形 ・（ ）
屋外 (・) 25形 ・（ ）
(表14.4.1) 屋外の野縁受等の間隔 ・ 図示(図面番号： ）
(14.4.3) 吊りボルトの補強方法（@900mm超） ・図示(図面番号： ）
(表14.4.2) 吊りボルトの水平補強、斜め補強
(14.4.4) (・) 1.5≦天井ふところ≦3.0m ・ 標準仕様書[14.4.4](8)
・ 図示(図面番号： ）
・ 天井ふところ＞3.0m 図示(図面番号： ）
・ 耐震天井 図示(図面番号： ）
・ 耐風圧の補強 図示(図面番号： ）

⑤軽量鉄骨壁下地
(14.5.3) スタッド、ランナーの種類
(・) 標準仕様書[表14.5.1] ・ 図示(図面番号： ）
(表14.5.1) スタッドの高さ5m超
・ 図示(図面番号： ）
(14.5.4) 出入口、開口部の補強 ・標準仕様書[14.5.4](4) ・（ ）

⑥金属成形板板張り
(14.6.2)
(14.6.3)

施工箇所		
種 別	(・) アルミニウム ・ ステンレス ・ 鋼	・フッ素樹脂塗装
形 状	(・) スパンドレル形 ・ パネル形	
表面処理	(・) カラー	

取付け用下地 ・ 図示(図面番号： ）
長尺ものにおける伸縮調整継手
・ 設ける 図示(図面番号： ）

⑦アルミニウム製笠木
(14.7.2) 部材の種類 (・) 250形 (・) 300形 ・ 350形
(14.7.3) 表面処理 (・)（ カラー ）
(表14.7.1) 固定方法 ・ 図示（図面番号： ）
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・図示（図面番号： ）

⑧手すり
(14.8.2)

材種	表面処理の種別	施工箇所
アルミニウム	・ 標準仕様書[表14.2.1]の種別（ 種） ・（ ）	手摺
鋼	・ 標準仕様書[表14.2.2]の種別（ 種） ・（ ）	
ステンレス	(・) HL程度 ・（ ）	スロープ・階段

9.タラップ
(14.8.3)

材種	表面処理の種別	施工箇所
鋼	・標準仕様書[表14.2.2]の種別（ 種）	
ステンレス	・	

⑩天井見切縁 材種 ・アルミニウム合金製 (・) 塩化ビニル製

⑪点検口

取付箇所	材種	寸法	形式
(・) 天井	(・) アルミニウム製	(・) 450角 ・ 600角	(・) 額縁タイプ ・ 目地タイプ
・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	

⑮ 左官工事

1.ラス系下地
(15.2.4) 通気工法 ・二層下地 ・単層下地
直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地
ラス及び補強用平ラス

素材による区分	種類	質量（kg/㎡）
・（ ）	・（ ）	・（ ）

ラスシート

山高	山ピッチ(mm)	質量(kg)	溶接ピッチによる区分
・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）

外張断熱工法 ・図示（図面番号： ）
耐力壁、防火構造等の指定 ・図示（図面番号： ）
ステーブルの形状、寸法 ・図示（図面番号： ）
換気口部の措置 ・標準仕様書(木造)[11.4.3] ・（ ）

2.せっこうボード その他のボード下地
(15.2.5) せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ
・図示（図面番号： ） ・（ ）
木質系セメント板の種類、厚さ
・図示（図面番号： ） ・（ ）

3.こまい下地
(15.2.6) 耐力壁の指定 ・図面（図面番号： ）
木ずり用小幅板の樹種 ・図示（図面番号： ）

④モルタル塗り
(15.3.2) 材料 ・現場調合材料 ・既調合材料
(15.3.5) 既製目地材 (・) 使用する 図示（図面番号： ）
床の目地 ・図示（図面番号： ）
下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験（外壁タイル張り等）
・実施する

⑤セルフレベリング
(15.5.2) 種類 ・ せっこう系 (・) セメント系
(表15.5.1)
6.仕上塗材仕上
(15.6.2)
(表15.6.1)

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状		工 法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状		・吹付け
	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク		
	・（ ）	・（ ）		・（ ）
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
			・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて
	・外装厚塗材Si	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	・吹付け
	・外装厚塗材E		・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて ・ローラー
	・（ ）	・（ ）		・（ ）
複層仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状		・ローラー ・吹付け
	・（ ）	・（ ）		・（ ）
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状		・吹付け ・こて

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）
・JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性 ・ 耐候形３種 ・（ ）
外装厚塗材Cの上塗材
・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量（ kg/㎡）

	承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称： 特記仕様書５ SCALE N/S

A-05

A2→A3縮小 71%

15 左官工事

(表15.6.2) 複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

(15.6.4) ALCパネルの内壁目地　・V形目地付き　・(　　)

7.マスチック塗材塗り (15.7.2)
(表15.7.1) 種別　・A種　・B種

8.せっこうプラスター塗り
(15.8.2) 材料
下塗り、中塗り　・既調合プラスター　・現場調合プラスター
(15.8.3) 上塗り　・既調合プラスター　・しっくい塗り

10.しっくい塗り
(15.10.1) 下地　・木ずり　・こまい土壁塗り　・せっこうラスボード
・せっこうボード　・(　　)
(15.10.2) 材料　・現場調合材料　標準仕様書[15.10.2](1)(ｱ)
(15.10.3) ・既調合材料　標準仕様書[15.10.2](1)(ｲ)
(表15.10.1) しっくい塗材の種類等　・(　　)
(表15.10.2) 調合及び各層の塗厚
木ずり下地　・標準仕様書[表15.10.1]　・(　　)
こまい土壁下地　・標準仕様書[表15.10.2]　・(　　)
その他の下地　・(　　)

11.こまい壁塗り
(15.11.2) のりの種類
土壁用　・ふのり　・つのまた　・ぎんなんそう
(15.11.3) ・粉末海藻　・(　　)
(15.11.4) 砂壁用　・ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
(15.11.5) ・にかわ　・合成高分子系混和剤　・(　　)
(表15.11.2) 色土の種類　土物仕上げ　・(　　)
(表15.11.8) 大津仕上げ　・(　　)
(表15.11.9) 色砂の種類　・(　　)
下塗りの調合　・標準仕様書[表15.11.2]　・(　　)
塗厚　・標準仕様書[表15.11.8]　・(　　)
耐力壁の指定　・図示（図面番号：　　）
工程種別　・A種　・B種

12.ロックウール吹付け
(15.12.3) 仕上げ吹付け厚さ　(　　)mm

⑯ 建具工事

1.防火戸
(16.1.3) 防火戸の指定　・図示（図面番号：　　）
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・図示（図面番号：　　）

2.見本の製作等
(16.1.4) 建具見本の製作　・実施する
特殊な建具の仮組　・実施する

3.防犯建物部品
(16.1.6) 防犯建物部品　・図示（図面番号：　　）

④ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具
(16.2.2) 外部建具の性能等級等（鉄骨用サッシ）
コンクリート系下地、鉄骨下地
(16.2.4) ・A種　⊙B種　・C種　・(　　)
(表16.2.1) 木下地
(表16.2.2) ・D種　・E種　・(　　)
(表14.2.2) 表面処理　種別　・(　　)　・標準色　・特注色
(16.2.5) 内部建具
表面処理　種別　・(　　)　・標準色　・特注色

防音ドア、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアの面内変形追随性　・(　　等級)
建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
結露水の処理方法　・(　　)
水切り板、ぜん板等　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するもののみ)
・製造所の仕様による　・(　　)

⑤網戸等
(16.2.3) 形式　⊙可動式　・固定式
防虫網
網の材質　・合成樹脂　・ガラス繊維入り合成樹脂
⊙ステンレス（SUS316）　・(　　)
線　径　・0.25mm以上　・(　　)
網　目　⊙16メッシュ　・18メッシュ　・(　　)
防鳥網
網の材質　・ステンレス（SUS304）　・(　　)
線　径　・1.5mm　・(　　)
網目寸法　・15メッシュ　・(　　)

6.樹脂製建具
(16.3.2) 外部建具の性能等級等
コンクリート系下地、鉄骨下地
(16.3.3) ・A種　・B種　・C種　・(　　)
(16.3.4) 木下地
・D種　・E種　・(　　)
(表16.3.1) 外部建具の遮音性能等級
～(表16.3.4) ・T-A種　・T-B種　・(　　)
外部建具の断熱性能等級
・H-A種　・H-B種　・H-C種　・(　　)
ガラス　・複層ガラス　・(　　)

建具枠見込み寸法　・図示（図面番号：　　）
表面色　・標準色　・特注色
水切り板　ぜん板　・図示（図面番号：　　）
建具周りの止水処理(外部に面するもののみ)
・製造所の仕様による　・(　　)

7.鋼製建具
(16.4.2) 簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
(表16.4.1) 防音ドア、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
(表16.2.1) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
耐震ドアの面内変形追随性　・(　　等級)
(16.4.4) 鋼板類の厚さ　・[表16.4.2]　・図示（図面番号：　　）
(表16.4.2) H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

⑧鋼製軽量建具
⊙簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
(16.5.2) 防音ドア、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
(16.5.3) 断熱ドア、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
(16.5.4) 耐震ドアの面内変形追随性　・(　　等級)
(表16.5.1) 鋼板類の表面仕上げ
・塗装　・ビニル被覆鋼板　⊙カラー鋼板
・ステンレス鋼板（・HL　・鏡面）
召し合せ、縦小口包み板等の材質
⊙鋼板　・ステンレス鋼板　⊙アルミニウム合板押出形材
鋼板類の厚さ　⊙[表16.5.1]　・図示（図面番号：　　）
H>2400超 又は W>950超　・図示（図面番号：　　）

9.ステンレス製建具
簡易気密型ドアセット　・図示（図面番号：　　）
(16.6.2) 外部建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
(16.6.3) 防音ドアセット、防音サッシの遮音性　・(　　等級)
(16.6.4) 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性　・(　　等級)
(16.6.5) 耐震ドアセットの面内変形追随性　・(　　等級)
(表16.4.1) ステンレス鋼板　・SUS304　・(　　)
表面仕上げ　・HL　・鏡面仕上げ
曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ

⑩木製建具
(16.7.2) 建具材の含水率　・A種　⊙B種　・C種
(16.7.3) フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
(表16.7.1) 種類、材面の品質　⊙図示(図面番号：　　)
(表16.7.6) 接着の程度　⊙1類（水掛り）、2類（その他）　・(　　)
(表16.7.7) フラッシュ戸の形状
(16.7.4) 表面板の厚さ　⊙標準仕様書[表16.7.6]　・(　　)
(16.8.2) 引戸の召合わせ　・いんろう付き　図示（図面番号：　　）
(表16.8.4) かまち戸　かまち、鏡板の樹種　・図示(図面番号：　　)
(表16.8.5) ふすま　種別　・Ⅰ型　・Ⅱ型
上張の種類　・図示(図面番号：　　)
縁の仕上げ　・図示(図面番号：　　)
枠及びくつずりの材料　⊙図示(図面番号：　　)
各木製建具の見込み寸法　⊙標準仕様書[表16.7.7]
・図示(図面番号：　　)
戸車、レールの外径等　⊙標準仕様書[表16.8.5]　・(　　)

⑪建具用金物
(16.8.2) マスターキー　⊙製作する　・製作しない
・監督員と協議の上システムを決定する
(表16.8.1) キーボックス　⊙要　・不要
(16.8.3) 金物の種類、見え掛かり部等の材質等
(16.8.4) ⊙標準仕様書[表16.8.1]　・図示（図面番号：　　）
(表16.8.2) 丁番の枚数、大きさ
(表16.8.3) 金属製建具　・標準仕様書[表16.8.2]　・(　　)
(表16.8.4) 樹脂製建具　・標準仕様書[表16.8.3]　・(　　)
木製建具　・標準仕様書[表16.8.4]　・(　　)
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
・図示(図面番号：　　)

12.自動ドア開閉装置
多機能トイレ出入口以外　・標準仕様書[表16.9.1]　・(　　)
(16.9.2) 多機能トイレ出入口　・標準仕様書[表16.9.2]　・(　　)
(表16.9.1) 検出装置の性能
(表16.9.2) ・標準仕様書[表16.9.3]　・(　　)
(表16.9.3) 戸の開閉方法　・図示（図面番号：　　）
(16.9.3) 引き戸用検出装置の種類　・(　　)
(表16.9.4) 凍結防止装置　・行う　・行わない

13.自閉式上吊り引戸装置
(16.10.3)(表16.10.1) 性能値
・標準仕様書 [表16.10.1]　・(　　)

14.重量シャッター
(16.11.2) シャッターの種類　・図示（図面番号：　　）
(表16.11.1) 開閉方式　・図示（図面番号：　　）
(16.11.3) 管理用シャッター、外壁用防火シャッター
・耐風圧強度(　　Pa 以上)
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
管理用シャッターのシャッターケース　・図示（図面番号：　　）
鋼板の種類　・図示（図面番号：　　）
・めっき付着量　・Z12　・F12　・(　　)

15.軽量シャッター
(16.12.2) 開閉方式　・図示（図面番号：　　）
・耐風圧強度(　　Pa 以上)
(表16.12.1) 保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）
(16.12.3) スラットの材質、めっき付着量
(16.12.4) ・JIS G 3312　・Z06　・F06　・(　　)
・JIS G 3322　・AZ90　・(　　)
スラットの形状
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

16.オーバーヘッドドア
(16.13.2)
(16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス

耐風圧性能の区分　JIS A 4715　・(　　)
保護装置の設置箇所　・図示（図面番号：　　）

⑰ガラス
(16.14.2) 板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等　⊙図示(図面番号：　　)
(16.14.3) 留め材　⊙シーリング　・ガスケット(　　)
(16.14.4) ガラス溝の寸法、形状等
・製造所の仕様による　・図示(図面番号：　　)
熱線反射ガラスの映像調整　・実施する

⑱ガラスブロック積み
(16.14.5) 表面形状、寸法、厚さ　・図示(図面番号：　　)
壁用金属枠、補強材　・図示(図面番号：　　)
力骨の材質等　⊙SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋　・(　　)
化粧目地モルタルの色　⊙(　白　)
シーリング材の種類　⊙(　SR-1　)
化粧カバーの材質、形状等　⊙図示（図面番号：　　）
風圧力に対応した工法　⊙図示（図面番号：　　）
アンカー等の留付け間隔(木下地の場合)　・図示（図面番号：　　）
目地幅、伸縮調整目地　⊙標準仕様書[16.14.5](2)(ｳ)　・(　　)

17 カーテンウォール工事

1.種類
(17.1.1) ・メタルカーテンウォール(種類　　)
(17.1.3) ・PCカーテンウォール

2.性能等
(17.1.3) 耐風圧性(　　)
(17.2.2) 耐震性(　　)
(17.3.2) 水密性(　　)
気密性(　　)
耐火性(　　)
耐温度差性(　　)
遮音性(　　)
断熱性(　　)
性能の確認・判定方法 (　　)
シーリング材の種類
断熱材(　　)

3.メタルカーテンウォール
(17.2.2) カーテンウォールの材料

材料	規格等	見え掛り部の仕上げ	映像調整
・アルミニウム製 ・(　　)	・標準仕様書[16.2.3] ・(　　)	・A-1 ・A-2	・行う

(17.2.3)
(表17.2.1) 製品の寸法許容差　・標準仕様書[表17.2.1]
(17.2.5) ガラス溝の寸法、形状等　・カーテンウォール製作所の仕様による
(17.2.6) ・図示(図面番号：　　)
(表17.2.2) 取付け
(表17.2.3) 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.2.2]　・(　　)
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.2.3]　・(　　)
ガラスの取付け　・構造用ガスケット（図示(図面番号：　　）

4.PCカーテンウォール
カーテンウォールの材料
(17.3.2) コンクリートの種類及び品質　・図示（図面番号：　　）
(17.3.3) 鉄筋　・SD295A　・(　　)
(17.3.4) 補強鉄線の径、網目寸法　・図示（図面番号：　　）
(17.3.5) 耐火目地材　・(　　)
(17.3.6) 配筋　・図示(図面番号：　　)
先付け材料　・仕上げ材（　　）　・建具枠（　　）
(表17.3.1) ・ゴンドラ用ガイドレール（　　）　・(　　)
(表17.3.2) 製品の寸法許容差等　・標準仕様書[17.3.3]による　・(　　)
表面仕上げ材　・磁器質タイル
石材(　・花こう岩　・大理石　・(　　))
取付け
カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差
・標準仕様書[表17.3.2]　・(　　)
ガラスの取付け　・構造用ガスケット（図示(図面番号：　　））

⑱ 塗装工事

①材料
②施工一般
(18.1.4)
(18.2.2)
～(18.14.2)

塗料塗り 種類	塗料塗り 種別	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類
SOP	⊙A種 ⊙B種		鉄鋼面	・A種 ・B種 ⊙C種	
EP	・A種 ⊙B種		ボード面	・A種 ⊙B種	

	承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：　特記仕様書６　SCALE　N/S

A-06

A2→A3縮小 71%

18 塗装工事

3.耐候性塗料塗り(DP)
(18.7.2)
(表18.7.1)
(18.7.3)
(18.7.4)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ｺﾝｸﾘｰﾄ,ECP面における種別
		・1級 ・2級 ・3級	・A種 ・B種 ・C種

4.ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り
(18.12.2)
塗料 ・(　　)

⑲ 内装工事

①ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り
(19.2.2)
(表19.2.1)

種類	色柄	厚さ(mm)	継目
・FS ⊙(　　)	⊙無地 ・柄物	・2.0 ⊙(2.3)	⊙溶接 ・突付け

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・図示(図面番号:　　)

②ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り
(19.2.2)
(表19.2.1)

寸法・色合	種類		厚さ(mm)
・300×300 (　　)	・コンポジションビニル床タイル(KT)	半硬質	・2.0
・450×450 (　　)	・コンポジションビニル床タイル(KT)	軟質	・(　　)
⊙500×500	⊙ホモジニアスビニルタイル		⊙(5)

接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・図示(図面番号:　　)

③特殊機能床材
(19.2.2)
(表19.2.2)
・帯電防止ビニルシート・床タイル 寸法(　　mm)
厚さ(　　mm) 種類(　　)
⊙視覚障害者用床タイル
種類(⊙ビニル床タイル ・(　　))
形状(⊙300×300 ・(　　))
・耐動荷重性床シート
種類(　　) 寸法(　　) 厚さ(　　mm)
・ゴム床タイル
色柄(　　)種類(　　) 寸法(　　) 厚さ(　　mm)
接着剤の種別、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・図示(図面番号:　　)
⊙防滑り性床シート・床タイル 種類(　) 寸法(　) 厚さ(　)

④ビニル幅木
(19.2.2)
種類 ・図示(図面番号:　　)
高さ ・図示(図面番号:　　) ⊙60mm
厚さ ・図示(図面番号:　　) ⊙1.5mm以上

5.施工
(19.2.3)
下地 ・モルタル ・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ ・木造 ・(　　)
目地処理工法 ・突付け ・熱溶接工法

6.ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き
(19.2.2)
(19.3.3)
(表19.3.1)
(表19.3.2)
織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・A種 ・B種 ・C種	・無地 ・柄物 (標準品)	・ループ ・カット ・カット、ループ併用	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・タフテットカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	パイル長 ・5～7mm ・4～6mm	・グリッパー ・全面接着
・ニードルパンチカーペット	・無地 ・柄物		総厚さ ・(　　)	・全面接着
・タイルカーペット	・無地 ・柄物	・ループ ・カット	総厚さ、サイズ ・6.5mm ・ ・500角 ・	・全面接着

・帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方(全面接着工法)
平場 ・市松敷き ・模様流し ・図示(図面番号:　　)
階段部分
・市松敷き ・模様流し ・図示(図面番号:　　)
下敷き材 ・第2種2号、呼び厚さ8mm
・図示(図面番号:　　)
見切り、押え金物
・材質(　　) ・種類(　　)
・形状(図面番号:　　)
織じゅうたんの接合方法 ・ヒートボンド工法 ・(　　)

⑦合成樹脂塗床
(19.4.3)
(表19.4.4)
(表19.4.5)
～(表19.4.8)
・弾性ウレタン塗床材(JISK 5970)
仕上げ
・平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙エポキシ樹脂塗床材(JISK 5970)
工法、仕上げ
・薄膜流しのべ工法(・平滑 ・防滑)
⊙厚膜流しのべ工法(⊙平滑 ⊙防滑)
・樹脂モルタル工法(・平滑 ・防滑)
・塗膜型塗床工法(平滑)

8.フローリング張り
(19.5.2)
(19.5.3)
(19.5.4)
(19.5.5)
(19.5.6)
(表19.5.2)
(表19.5.4)
材料 ・単層フローリング ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(1等)
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(1等) ・複合フローリング
・釘留め工法

材料	種別	樹種
・フローリングボード(根太張用)		・なら ・(　　)
・複合フローリング(根太張用)	・A種 ・B種 ・C種	・なら ・(　　)

・接着工法

材料		樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	裏面緩衝材
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ(直張用)		・なら ・(　　)			・合成樹脂発泡シート
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ(直張用)					
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(直張用)	・A種 ・B種 ・C種				

現場塗装
仕上げ ・ウレタン樹脂ワニス塗り(・A種 ・B種)
・オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・(　　)

9.畳敷き
(19.6.2)
(表19.6.1)
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
・D種の畳床 KT-(・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・K ・N)

⑩せっこうボード、その他のボード及び合板張り
(19.7.2)
(表19.7.1)
(19.7.3)
(表19.7.3)
(表19.7.5)

種類	種別	厚さ(mm)
⊙せっこうボード		壁 ・9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃) 天井
⊙化粧せっこうボード	⊙トラバーチン模様	⊙9.5(不燃) ・9.5(準不燃)
	・木目模様	・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)
⊙ロックウール化粧吸音板	・普通	・9 ・(　　)
	⊙立体模様	・9 ⊙(12)
⊙けい酸カルシウム板	⊙タイプⅡ0.8FK	⊙6.8.10.12(不燃)
・(　　)	・(　　)	・(　　)

合板張り
・普通合板 表面の樹種名 ・生地のまま
・(透明塗料塗り)ﾗﾜﾝ ・(不透明塗料塗り)しな
・(　　)
板面の品質(　　) 厚さ(　　mm)
接着の程度 ・1類(湿潤箇所) ・(　　)
防虫処理 ・(　　)
・天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・(　　)
厚さ(　　mm)
接着の程度 ・1類(湿潤箇所) ・(　　)
防虫処理 ・(　　)
・特殊加工合板 化粧加工の方法
・オーバーレイ ・プリント
・塗装 ・(　　)
表面性能(　　) 厚さ(　　mm)
接着の程度 ・1類(湿潤箇所) ・(　　)
防虫処理 ・(　　)

遮音シール材
・適用する(・シーリング材 ・ジョイコンパウンド)
合板類の張付け ・B種 ・A種
せっこうボードの目地工法
⊙継目処理 ・突付け ・目透し
下地 ・軽量鉄骨 ・木造 ・(　　)

⑫壁紙張り
(19.8.2)
(19.8.3)

施工箇所	種類	防火性能	品質

素地ごしらえ
せっこうボード面 ⊙B種 ・A種
コンクリート面 ・B種 ・A種
モルタル・プラスター面 ・B種 ・A種

⑬断熱材
(19.9.2)
(19.9.3)

施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)		
外壁	⊙硬質ウレタンフォーム断熱材	発泡ｳﾚﾀﾝ	35
	・フェノールフォーム断熱材		
天井、仮眠室	⊙グラスウール	24K	100

⑳ ユニット及びその他工事

①フリーアクセスフロア
(20.2.2)

施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考
事務室 事務機器ｽﾍﾟｰｽ	5000N	H-100	・タイルカーペット ・6.5mm ・(　　) ⊙ビニル床タイル (5)mm	⊙帯電防止 ・漏えい抵抗 ・(　　)
			・タイルカーペット ・6.5mm ・(　　) ・ビニル床タイル (　　)mm	・帯電防止 ・漏えい抵抗 ・(　　)

試験方法 20.2.2(2)(ｲ)(a) ～ (d)
寸法精度 20.2.2(2)(ｵ)(a) ～ (c)

2.可動間仕切
(20.2.3)
組立て方式
・スタッド式 ・パネル式 ・スタッドパネル式
寸法及び形状 ・図示(図面番号:　　)
表面材の材質及び仕上げ ・図示(図面番号:　　)
遮音性 ・高遮音

3.移動間仕切
(20.2.4)
操作方法 ・手動式 ・電動式
表面材の材質及び仕上げ ・図示(図面番号:　　)
遮音性 ・高遮音
ハンガーレールの取付け下地の補強
・標準仕様書[20.2.4](3)(ｳ) ・図示(図面番号:　　)
パネルをランナーに取り付ける部品
・標準仕様書[20.2.4](3)(ｴ) ・図示(図面番号:　　)
ハンガーレール
・標準仕様書[20.2.4](3)(ｵ) ・図示(図面番号:　　)
ランナー
・標準仕様書[20.2.4](3)(ｶ) ・図示(図面番号:　　)
ハンガーレールの固定方法
・溶接 ・あと施工アンカー(材質:　　、寸法:　　)

④トイレブース
(20.2.5)
表面仕上 ⊙メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ・幅木 ・図示(図面番号:　　)
扉小口の材質 ・ステンレス製 ⊙アルミ製

5.階段滑り止め
(20.2.6)
・ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き)
・(　　)
寸法 ・約35mm ・図示(図面番号:　　)
工法 ・接着工法 ・埋込み工法

⑥黒板及びホワイトボード
(20.2.8)
黒板の種類 ・焼付け ・(　　)
黒板の色 ・緑 ・(　　)

7.鏡
(20.2.14)
厚さ ・5mm ・(　　mm)

⑧表示
(20.2.10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
⊙室名札 ・(　　)	⊙アクリル ・(　　)	⊙5mm	⊙(　　)	⊙シルク スクリーン印刷 ・(　　)	⊙(　　)
・案内板 ・(　　)	・アクリル ・(　　)	・5mm	・(　　)	・シルク スクリーン印刷 ・(　　)	・(　　)

⊙衝突防止表示 図示(図面番号:　　)
・非常用進入口表示 図示(図面番号:　　)

9.煙突ライニング
(20.2.11)
適用安全使用温度 ・(　　℃)

10.ブラインド
(20.2.12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類
・横形ブラインド	・アルミニウム合金 ・(　　)	・ギヤ式 ・コード式 ・(　　)	・25 ・(　　)	・鋼製 ・(　　)
・縦形ブラインド	・アルミニウム合金 ・(　　)	・ギヤ式 ・コード式 ・(　　)	・80 ・100 ・(　　)	・(　　)

11.ロールスクリーン
(20.2.13)
操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
寸法及び材種 ・図示(図面番号:　　)

12.カーテン及びカーテンレール
(20.2.14)
カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ドレープ ・レース ・図示(　)	・フランスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・プレーンひだ ・片ひだ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動
・暗幕 (遮光(　)級)	・(　　)	・(　　)	・(　　)

カーテンレール ・アルミ製 ・ステンレス製
強さによる区分 ・10-90 ・(　　)
形状 ・シングル ・ダブル
断面形状 ・角形 ・C形 ・D形

13.プレキャストコンクリート工事
(20.3.2)
(20.3.3)
(20.3.4)
補強鉄線の径 ・3.2mm ・(　　)
補強鉄線の網目寸法 ・(　　)
設計基準強度Fc ・図示(図面番号:　　)
配筋 ・図示(図面番号:　　)
取付方法 ・図示(図面番号:　　)

14.間知石
間知ブロック積
(20.4.2)
(20.4.3)
材種 ・(　　)
種類及び質量区分 ・図示(図面番号:　　)
積み方 ・谷積み ・布積み
目塗り ・(　　)
伸縮調整目地 ・材種(　　)・厚さ(　　mm)

21 排水工事

1.排水管
(21.2.1)
(表21.2.1)
排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
・硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2.排水桝等
(21.2.1)
・排水桝
種類及び寸法 ・図示(図面番号:　　)
・適用荷重(　　)
・排水溝
種類及び寸法 ・図示(図面番号:　　)
・ふた/グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ﾎﾞﾙﾄ固定

承認	検図	P & D

工事名称:伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称: 特記仕様書7 SCALE N/S
A-07

A2→A3縮小 71%

21 排水工事

3.地業の材料 (21.2.1)
・ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石
・ 砂の粒度試験

4.埋め戻し土 (21.2.1)
・ B種　・ A種　・C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土

5.施工 (21.2.2)
遠心力鉄筋コンクリート管
基床の厚さ、種類　・図示（図面番号：　）
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類　・図示（図面番号：　）
継手　・接着剤　・ゴム輪

6.街きょ 縁石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)
コンクリート縁石、側溝
形状、寸法　・図示（図面番号：　）
地業
厚さ　・　100mm　・図示（図面番号：　）

㉒ 舗装工事

①路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)
路床の材料（厚さは図示（図面番号：　））
・ 遮断層　・ 川砂　・ 海砂又は良質な山砂
・ 凍上抑制層　・ 切込み砂利　・ 砂　⊙（ 地盤改良 ）
・ フィルター層　・ 砂
路床安定処理　・ 行う
添加材料による安定処理
種類　・ 普通ポルトランドセメント
・ フライアッシュセメントB種　・ 生石灰（　）号
・ 消石灰（　）号
添加量（　）kg/m³(目標CBR　・ 5以上　・（　））
盛土に用いる材料
・ A種　・ B種　・C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合：建設発生土受入量（　）m3
片道の運搬距離（　）km
試験　・ 路床土の支持力比(CBR)試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

②路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部	路盤の厚さ(mm) 歩道部	路盤材料
⊙ アスファルト舗装	⊙ (250)	・（　）	⊙ 再生クラッシャラン
・ カラー舗装	・（　）	・（　）	・ クラッシャラン 鉄鋼スラグ
・ 透水性アスファルト舗装	・（　）	・（　）	
・ インターロッキングブロック舗装	・（　）	・（　）	・ クラッシャラン ・（　）
・（　）	・（　）	・（　）	

③アスファルト舗装 (22.4.2)～(22.4.6) (表22.4.1)～(表22.4.6)
舗装の構成及び厚さ　・ A-5-15　⊙ 図示(図面番号：　)
・ A-3-10　・（　）
表層の種類
⊙ 密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)　・ 細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)
・（　）
基層の種類
⊙ 粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)　・（　）
試験　・ アスファルト混合材等の抽出試験

4.コンクリート舗装 (22.5.2)～(22.5.6)
舗装の構成及び厚さ　・ 図示(図面番号：　)
構造　・ 標準仕様書［表22.5.1］　・（　）
早強セメント　・ 使用する
注入目地材料　・ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ
目地　・ 種類（　）　・ 間隔（　）
・ 標準仕様書［表22.5.3］

5.カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)
種類
・ 加熱系　構成及び厚さ（　）
混合物　・ アスファルト　・ 石油樹脂系（顔料の添加量：　）
添加材　・ 着色骨材　・ 自然石
・ 常温系
工法　・ ニート工法　・ 塗布工法
着色部下部　・ アスファルト舗装　・ コンクリート舗装

6.透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1)
舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ(mm)　・（　）　・ 図示(図面番号：　)

7.ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・（　）	・ 60 ・（　）	目地 ・ 砂　・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インターロッキングブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・（　） 歩道部 ・ 60 ・（　）	表面加工 ・ 標準品 ・（　） 曲げ強度 ・（　）
	・ 植生用ブロック		・ 80・100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・（　）		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・（　） 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑧砂利敷き (22.9.2)
⊙ 通路部　・ A種　⊙ B種　・（　）
・ 建物周囲　・ B種　・ A種　・（　）

23 植栽工事

1.植栽地の確認 (23.1.3)
・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験　・ 行う
・ 電気伝導度類(EC)の試験　・ 行う
（　）の試験　・ 行う

2.植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.2)
植栽基盤整備工法
・ 樹木　（ ・ A種　・（　））
・ 芝及び地被類　（ ・ B種　・（　））
有効土層　面積　・ 図示（図面番号：　）
厚さ　・ 図示（図面番号：　）
排水設備　・ 設ける
（ ・ 暗きょ　・ 開きょ　・ 排水層　・ 縦穴排水　・（　））
埋込み用土　・ 現場発生の良質土　・ 客土
土壌改良材　・（　）

3.植樹 (23.3.2) (23.3.3)
樹木の種類　・ 図示(図面番号：　)
寸法　・ 図示(図面番号：　)
株立数　・ 図示(図面番号：　)
刈込み　・ あり　・ なし
支柱材
・ 丸太(防腐処理方法　・ 加圧式防腐処理方法　・（　））
・（　）
支柱形式　・ 鳥居形　・ ハツ掛け系　・（　）
幹巻き用材料　・ 幹巻き用テープ　・ わら　・ こも

4.新植樹木の枯補償 (23.3.4)
引渡しの日から　・ 1年　・（　）

5.移植樹木の枯損処理 (23.3.6)
引渡しの日から　・ 1年　・（　）

6.芝 (23.4.2) (23.4.3)
種類　・ コウライシバ　・ ノシバ　・（　）

7.屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4)
植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・ 図示(図面番号：　)
排水層　・ 軽量骨材(層の厚さ：　)　・ 板状成形品
植込み用土　・ 改良土　・ 人工軽量土
樹木の材種　図示(図面番号：　)
寸法　図示(図面番号：　)
株立数　図示(図面番号：　)
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・ 図示(図面番号：　)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・ 図示(図面番号：　)
支柱　・ 図示(図面番号：　)
かん水装置　・ 図示(図面番号：　)

㉔ 外構工事

1.旗竿
材種　・ アルミニウム製　・（　）
形式　テーパー付き　・ ロープ式　・ ハンドル式
脚部　・ 埋込式　・ ベース式
高さ(m)　・ 5　・ 6　・ 7

②フェンス
・ ネットフェンス　・ 網材種（ ・ ビニル被覆鉄線　・（　））
⊙ メッシュフェンス
網材種（ ・ 樹脂皮膜　⊙ 工場塗装　・（　））
・ 格子フェンス
網材種（ ・ 樹脂皮膜　・ 工場塗装　・（　））

③ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁
⊙ プレキャストL型擁壁
割り付け図　⊙ 図示(図面番号：　A-72　)

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：　特記仕様書８　SCALE　N/S
A-08

A2→A3縮小 71%

建 築 概 要

工事名称: 伊勢市消防署玉城出張所新築工事			建築主	住所:三重県度会郡玉城町田丸114-2				着工	令和　年　月　日	
				氏名:玉城町長　辻村 修一				竣工	令和　年　月　日	
建築地: 三重県度会郡玉城町佐田１７３６			工事種別 新築工事	用途 消防署 (用途番号08330)	用途地域 都市計画区域内 第二種中高層住居専用地域		防火指定 指定ナシ	その他の区域、地域、地区		
								法22条地域内		
敷地面積	1274.70 ㎡ / 385.38 坪		道路:東側道路(42条1項1号道路・町道)　幅員　6.00m				敷地状況:平坦地(造成地)			
規模		申請建物 ㎡/坪	既設建物 ㎡/坪	合計			建ペイ率 %	容積率 %	申請以外の部分	
地下　一　階	建築面積	482.10 ㎡ / 145.83 坪	---㎡ / --- 坪	482.10 ㎡	145.83 坪		37.82%/60 %		―	
地上　2　階	延面積	761.95 ㎡ / 230.49 坪	---㎡ / --- 坪	761.95 ㎡	230.49 坪			59.77%/200 %	―	
塔屋　一　階	施工床面積	949.05 ㎡ / 287.09 坪	---㎡ / --- 坪	949.05 ㎡	287.09 坪		建築基準法・・・その他の建築物、準耐火建築物(ロ－2) 消防法・・・特定防火対象建築物以外(15)			

床面積	階別	㎡	坪	階高	天井高	その他
	1 階	455.95	137.92		3000	
	2 階	306.00	92.56		2500	
	合計	761.95	230.49			

最高の高さ	設計GL＋8500 mm	軒高	設計GL＋7360 mm	床高	設計ＧＬ+50 mm
構造	重量鉄骨造・ﾗｰﾒﾝ架構	基礎形式	ＲＣ造／独立基礎(地中梁有り)		
地盤	調査報告書に依る	杭	柱状改良(設計GL-3250) φ800・改良長L=2.0M		
備考	異種用途区画(消防車庫、救急車庫とその他の部分)				

電気設備工事・機械設備工事

電気設備	電灯、コンセント、動力、発電機、構内情報通信(配管)、拡声
	ＣＡＴＶ(配管)、出動表示、インターホン、防犯
給排水衛生設備	給排水通気　衛生陶器　給湯
	＊給水量水圧、給湯温度の減少を起こさぬこと
ガス設備	プロパンガス　50kg×８本
換気設備	換気　＊居室に0.3回/h以上の全般換気ができること
空調設備	空調機(ＥＨＰ)
排煙設備	自然排煙
消防設備	ABC10型消火器(6本)～別途、誘導標識(5ヶ所)
浄化槽設備	公共下水道

共 通 事 項

建築材料	・製造名、製品名、施工業者名が特記されたもの以外を使用する場合は、
	監督員の承諾を受け同等以上のものを使用することができる。
発生材の処理	・発生材の処理は、関係法令等に従い適切に処理をする。
	上記の処理後、処理状況を監督員に報告する。(搬出調書等提出)
設備工事との取り合い	・図示した床、天井、及び壁の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強
	施工前に既設配管等を確認し、監督員の承認を受ける事。
別契約の関連工事	・当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。

防 火 性 能

国土交通大臣が定めたもの		国土交通大臣の認定を受けたもの	
○不燃材料	-告示1400号	○不燃材料	-ＮＭ(Noncombustible Material)
○準不燃材料	-告示1401号	○準不燃材料	-ＱＭ(Quasi-noncombustible Material)
○難燃材料	-告示1402号	○難燃材料	-ＲＭ(Fire Retardant Material)
※Ｐ.Ｂ t=12.5	・・・ＮＭ8619	※Ｐ.Ｂ t=9.5	・・・ＱＭ9828
※化粧石膏ボード貼 t=9.5mm	・・・ＮＭ8613	※化粧石膏ボード貼 t=9.5mm	・・・ＱＭ9824
※ケイカル板 t=6.0、t=8.0	・・・ＮＭ8578		
※ＶＰ	・・・ＮＭ8585		
※ＥＰ	・・・ＮＭ8585		

特 記 事 項

※天井裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する建築物の部分)はＦ☆☆☆

以上か規制対象外の建材のものを使用する(施行令第６条の６第１項１号イ(３)等による)

※ビニールクロス、接着剤共Ｆ☆☆☆☆を使用、その他の内装仕上材(扉・造付家具等)は全て

全てＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する

※各居室の給排気の通路となる場合間仕切り扉は、10㎜程度のアンダーカットをもうけるか、

ガラリ付扉にするなど換気のための通路を確保する

※仕上げ仕様は色見本、サンプルを監督員に提出後確認の上決定とする

※壁、天井下地の石膏プラスターボードは突き付け目地処理とする

※天井のケイ酸カルシウム板貼はステンレスビスを使用とする

※廊下出隅部壁は、塩ビコーナー材を使用する

※ＥＰ　→合成樹脂エマルションペイント

※ＳＯＰ　→合成樹脂調合ペイント

※ＰＵＣ　→ポリウレタンクリヤー

※ＷＧＰ　→水性アクリル樹脂エナメル

※ＵＥ　→２液形ウレタン樹脂エナメル

※ＵＣ　→２液形ウレタン樹脂ワニス

外 部 仕 上 表

箇所	仕上概要
防水屋根	１～２通り　ウレタン塗膜防水・Ｘ－２　緩水勾配の上シンダーコンクリート　t-75
	横引きドレン:鋳鉄製100φ用
	３～４通り　ウレタン塗膜防水・Ｘ－１(軽歩行)緩水勾配
	横引きドレン:鋳鉄製100φ用
	トップライト:アルミ製(アクリドーム　乳白色)900×900　固定式
屋根	２～３通り　カラーガルバリウム鋼板折版葺き　t=0.8　(発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=4.0裏貼) 3/100勾配
	山高　h-160　働キ巾　500(ハゼ締め併用・嵌合式)
	幕板・笠木・見切り:アルミ板　t=2.0加工　ジュラクロン焼付け(赤　5R4/14)
	軒裏:カラーアルミスパンドレル　t=0.8
ポーチ庇	カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き(吊り子　アルミ)t=0.5　(発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=4.0裏貼) 緩水勾配
	アスファルトルーフィング 940、木毛セメント板　t=25x910x1820
	幕板・見切り:アルミ板　t=2.0加工　ジュラクロン焼付け(赤　5R4/14)
	軒裏:カラーアルミスパンドレル　t=0.8
外壁	外壁:窯業系サイディング　t=16mm(コンクリート打放し柄)通気工法　透湿防水シート貼
	防火認定番号PC030BE-9202、不燃番号:NM-2104
	根廻り:コンクリート打放し　補修　目地@4000内外
軒裏	２～３通り　カラーガルバリウム鋼板折版葺き　現し
	ケイカル板　t=6.0(一部、防虫網裏貼有孔板・目スカシ貼) AEP塗装
樋	軒樋:亜鉛処理スチール芯入り硬質塩化ビニール樹脂製 角樋W=200、受け金物SUS製@600(既製品)
	竪樋:硬質塩ビ製　100Φ、125Φ(ｶﾗｰ及びﾒﾀﾘｯｸ塗装品)　※ポーチはステンレス製　60Φ
	掴み金物SUS製 @900(既製品)　ヨコ引きドレン:鋳鉄製 塗膜防水用　100φ用
断熱材	天井:グラスウール t=100 24K(仮眠室境壁共)
	外壁:発泡ウレタン　t-35
建具	引違い窓、片開き窓、内倒し窓、片開きドア・・・アルミ製
	スチール上吊片引き戸、木製引き違い戸、木製開き戸、トイレブース
ガラス	Low-E5+A6+FL5、Low-E5+A6+PW6.8、Low-E5+A6+FW6.8、内部～ガラス
コーキング	２成分変成シリコン系シーリング
換気孔	換気面戸、小屋裏換気孔:SUS製換気ｶﾞﾗﾘ(ﾌｰﾄﾞ付・防虫網付) 100φ
水切り	カラーガルバリウム鋼板加工 t=0.4
備考	設計ＧＬは現況地盤を実測の上決定する(本設計図における設計ＧＬ±０はＢＭ±０とする)
	本基礎工事については、基礎施工前に支持地盤を確認し、監督員の承認を受ける。
	本外壁工事については、鉄骨施工前に外壁割付けを確認し、監督員の承認を受ける。
	天井点検口位置は現場指示による。(アルミ製４５０角額縁タイプ)
	アルミサッシ:電解着色処理、網戸可動式(網ステンレスメッシュ)
	消火器(ABC10型)は、別途工事とする。
	壁、天井下地:壁掛け、天井吊の備品取付部分は合板下地とする。(合板:タイプＩとする。)

承認	検図	P & D	工事名称:伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-09
			図面名称:概要・外部仕上表　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%

	室名	床	T	巾木	H	T	腰	H	T	壁	T	天井	H	T	廻り縁	インテリア	備考（設備その他）
1階	ホール	磁器質タイル貼（無釉）150×150 セルフレベリング材下地 出入り口～SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ）	±0							ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 窯業系サイディング t=16mm	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	3000	9.5	塩ビ廻縁		受付ｶｳﾝﾀｰ
	事務室	帯電防止ビニル床タイル t=5.0×500×500 セルフレベリング材下地 鋼製OA床下地 H-100	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 ※（D～E通り間 合板 t=9.0捨て張り） 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ 捨て張り工法 t=9.5下地	3000	21.5	塩ビ廻縁	室名札	行事用ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞW1800×H900 ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（無地）W1800×H900 収納棚 W4962×950×H2216 机、通信機器台、応接セット～別途
	事務機器ｽﾍﾟｰｽ	帯電防止ビニル床タイル t=5.0×500×500 セルフレベリング材下地 鋼製OA床下地 H-100	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2700	9.5	塩ビ廻縁		
	廊下	長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁		
	階段下倉庫	長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	1530～2120	9.5	塩ビ廻縁	室名札	
	書庫	長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2700	9.5	塩ビ廻縁	室名札	収納棚～別途
	便所（男）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 一部：汚垂石 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	トイレブース、ライニングバック ピクトサイン
	多目的便所（女子兼用）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	収納棚、ライニングバック ピクトサイン
	食堂	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2800	9.5	塩ビ廻縁	室名札	システムキッチン L-2250 ﾃｰﾌﾞﾙ、椅子～別途 食器棚 W-900、収納棚 2540×300×2800 ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 3000×2740 ※ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応
	会議室	琉球タタミ t-55 一部：フローリング張り 木床組、ラワン合板 t-12下地	±0	畳寄せ	55					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 ※（壁付フックの固定用下地補強） 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(和風)	2500	9.5	塩ビ廻縁		上がり框
	出動準備室	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 セルフレベリング材下地	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2700	9.5	塩ビ廻縁	室名札	回転式防火服ロッカー 1200×600×2700 （２交代２列 ５台 上部：上置ロッカー付）
	車庫（救急車）	コンクリート木コテ仕上（目地切・緩水勾配） 伸縮目地（駐車場タイプ） W-20 出入り口～ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ）	±0～-50	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	0～350					窯業系サイディング t=16mm 通気工法 軽量鉄骨下地 透水防湿シート	16.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	3000	6.0	塩ビ廻縁		ホイストレール（ﾁｪﾝﾌﾞﾛｯｸ １t用）
	車庫（消防車）	コンクリート木コテ仕上（目地切・緩水勾配） 伸縮目地（駐車場タイプ） W-20 出入り口～ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ）	±0～-50	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	0～350					窯業系サイディング t=16mm 通気工法 軽量鉄骨下地 透水防湿シート	16.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	4950	6.0	塩ビ廻縁		
	油脂庫（少量危険物庫）	モルタル金コテ	±0	モルタル金コテ	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	2500	6.0	塩ビ廻縁	室名札	溜め桝（モルタル仕上）
	資機材庫（警防、救助資機材庫） ボンベ庫・ホース庫	モルタル金コテ	±0	モルタル金コテ	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	2700	6.0	塩ビ廻縁	室名札	
	汚物洗浄室	エポキ樹脂塗り床 モルタル下地	±0	エポキ樹脂塗り床	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	2700	6.0	塩ビ廻縁	室名札	下流し（エポキシ樹脂塗り床） ｽﾃﾝﾚｽ製ﾃｰﾌﾞﾙ W1500×D600×H800 ｽﾃﾝﾚｽ製流し W750×D600×H800
	洗濯乾燥室	モルタル金コテ	±0	モルタル金コテ	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	2700	6.0	塩ビ廻縁	室名札	樹脂製洗濯パン W740×D640
	倉庫	モルタル金コテ	±0	モルタル金コテ	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板)目ｽｶｼ貼 EP	2700	6.0	塩ビ廻縁	室名札	
	階段下物入	モルタル金コテ	±0	モルタル金コテ	350					ケイ酸カルシウム板 t=8(3'×6'板) EP 車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	8.0	鉄骨現し SOP	直天	―	―	室名札	
	階段（Ａ）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3（ﾉﾝﾌﾞﾘｯﾌﾟ付） モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ｻｻﾗ 鉄骨現し SOP	―					ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（AA級）一部：窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁 FP060BP-9069	12.5	1F：不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板) 2F：ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾘﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ 捨て張り工法 t=9.5下地	2700	9.5 12.0	塩ビ廻縁		硬質樹脂製手摺 34Φ ポストフォーム製面台
	階段（Ｂ）	CHPL-4.5（溶融亜鉛メッキ）	±0	ｻｻﾗ（溶融亜鉛ﾒｯｷ）	―					窯業系サイディング t=16mm 通気工法 軽量鉄骨下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁 FP060BP-9069	16.0	鉄骨（溶融亜鉛メッキ）現し	直天	―	―	室名札	ステンレス製手摺

※内装制限より
- ・待機室は、壁・天井仕上を準不燃以上とする
- ・車 庫は、壁・天井仕上を準不燃以上とする

※異種用途区画より
- ・車庫を区画する床は、1時間準耐火構造の床とする
- ・車庫を区画する壁は、1時間準耐火構造の壁とする
- ・車庫を区画する天井は、1時間準耐火構造の床とする
- ・車庫を区画する扉は、特定防火設備とする

※ 告示1358号
※ FP060BP-9069
※ 告示1358号

※Ｐ．Ｂ t=12.5 ・・・ＮＭ8619
※ジプトーン貼 t=9.5mm ・・・ＮＭ8613
※ジプトーン貼 t=9.5mm ・・・ＱＭ9824
※ＶＰ ・・・ＮＭ8585
※ＥＰ ・・・ＮＭ8585
※Ｐ．Ｂ t=9.5 ・・・ＱＭ9828
※化粧Ｐ．Ｂ t=12.5 ・・・ＮＭ8614
※ケイカル板 t=6.0 ・・・ＮＭ8578

特記事項

- ＊仕上げ仕様は色見本、サンプルを監督員に提出後確認の上決定とする（変更は同等品の範囲とする）
- ＊シナ合板・コンパネ：Ｆ☆☆☆☆とする
- ＊壁、天井下地は壁掛け、天井吊の備品取付部分及びカーテン・ブラインド・ＡＣ取付部分はLGSによる補強とする
- ＊壁、天井下地のコンパネ下地箇所は施主確認の上、決定する。（上記以外は追加工事とする）
- ＊ビニールクロス、接着剤共Ｆ☆☆☆☆を使用、その他の内装仕上材（扉・造付家具等）は全てＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
- ＊天井裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する建築物の部分)についてはＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
- ＊各居室の給排気の通路となる間仕切り扉は10mm程度のアンダーカットをもうけるか、ガラリ付扉にするなど換気のための通路を確保する

承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-10
			図面名称：1階 内部仕上表 SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

	室名	床	T	巾木	H	T	腰	H	T	壁	T	天井	H	T	廻り縁	インテリア	備考（設備その他）
2階	通路	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾘﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ 捨て張り工法 t=9.5下地 下り壁部：PB t-9.5 クロス張り	2700	21.5	塩ビ廻縁		固定式トップライト 900×900（２ヶ所）
	仮眠室１～仮眠室５（男）	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	高窓（600×400 2連） ２段ベッド、ロッカー～別途
	仮眠室６～仮眠室９（男）	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	２段ベッド、ロッカー～別途
	収納	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					シナ合板 t-4	4.0	シナ合板 t-4	2500	4.0	塩ビ廻縁		中段・枕棚（１ヶ所ノミ）
	リネン	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5		2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	収納棚～別途
	用具入	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	4.0	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	4.0	塩ビ廻縁	室名札	
	便所（男）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	トイレブース、ライニングバック ピクトサイン
	洗面・洗濯（男）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	樹脂製洗濯パン W740×D640 ライニングバック
	脱衣（男）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁		収納棚～別途
	UB（1616）（男）	ＵＢ仕様に準ずる								ＵＢ仕様に準ずる		ＵＢ仕様に準ずる					追焚き仕様
	踏込（女）	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁	室名札	
	仮眠室10（女）	長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁		カウンター
	洗面・脱衣（女）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁		樹脂製洗濯パン W740×D640 ライニングバック
	便所（女）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 ※ 土足仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2500	9.5	塩ビ廻縁		ライニングバック
	UB（1616）（女）	ＵＢ仕様に準ずる								ＵＢ仕様に準ずる 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225		ＵＢ仕様に準ずる					追焚き仕様
	救急研修室（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	防滑長尺ビニル床シート t-2.3 モルタル下地 防振仕様	±0	ソフト巾木	60					ビニールクロス貼（ＡＡ級） Ｐ．Ｂ t=12.5下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225	12.5	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)	2700	9.5	塩ビ廻縁	室名札	
	倉庫	モルタル金コテ 床スラブ小口：コーナーガード取付け	±0	モルタル金コテ	350					窯業系サイディング t=16mm 通気工法 軽量鉄骨下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁 FP060BP-9069	16.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板) EP	3000	6.0	塩ビ廻縁	室名札	
	予備棚	モルタル金コテ 床スラブ小口：コーナーガード取付け	±0	モルタル金コテ	350					窯業系サイディング t=16mm 通気工法 軽量鉄骨下地 車庫境壁：１時間準耐火構造壁 FP060BP-9069	16.0	ケイ酸カルシウム板 t=6(3'×3'板) EP	1400	6.0	塩ビ廻縁	室名札	ホイストレール（ﾁｪﾝﾌﾞﾛｯｸ １t用）

※内装制限より
・待機室は、壁・天井仕上を準不燃以上とする
・車 庫は、壁・天井仕上を準不燃以上とする
※異種用途区画より
・車庫を区画する床は、1時間準耐火構造の床とする ※ 告示1358号
・車庫を区画する壁は、1時間準耐火構造の壁とする ※ FP060BP-9069
・車庫を区画する天井は、1時間準耐火構造の床とする ※ 告示1358号
・車庫を区画する扉は、特定防火設備とする

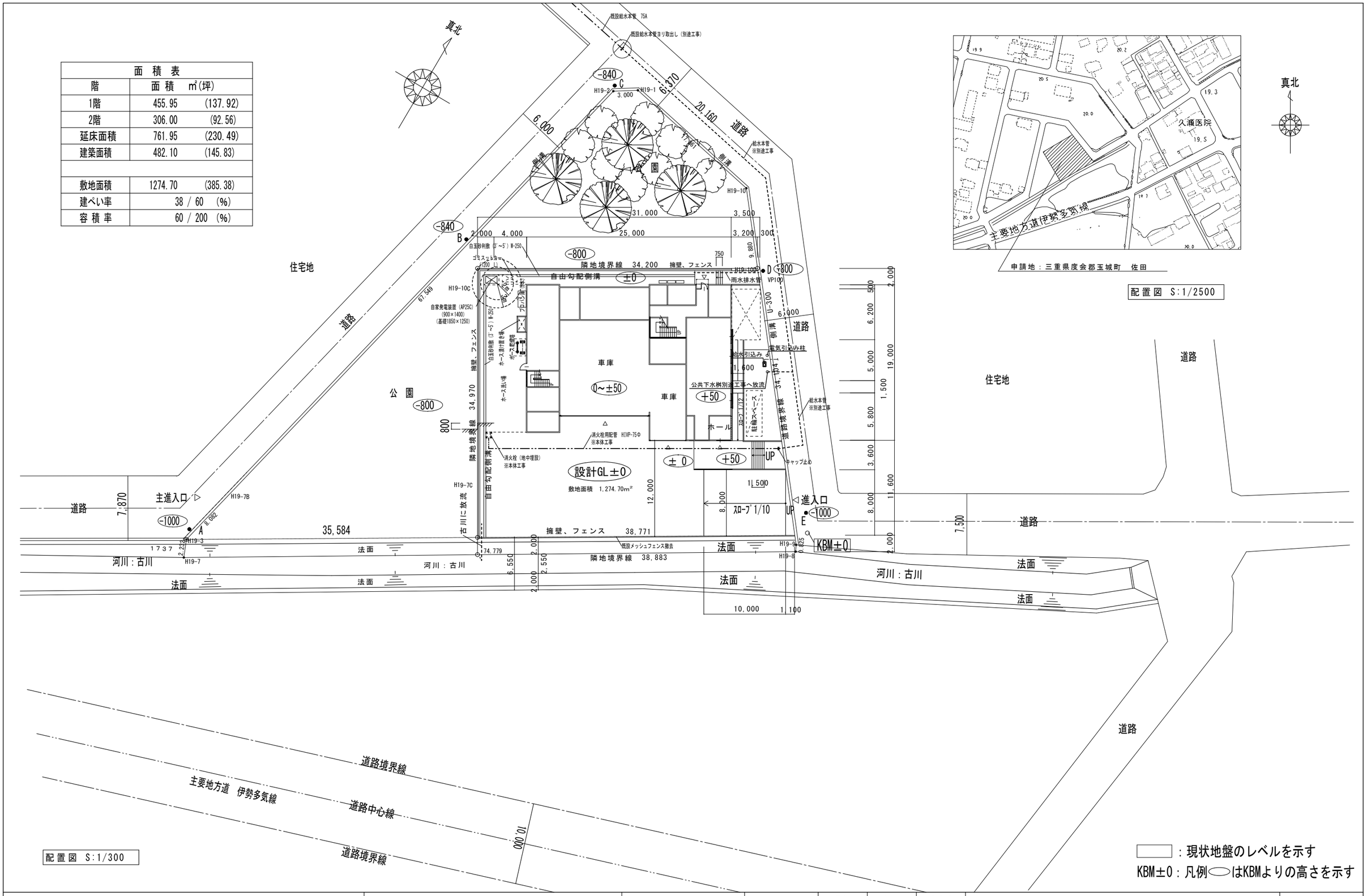
※Ｐ．Ｂ t=12.5 ・・・ＮＭ8619
※ジプトーン貼 t=9.5mm ・・・ＮＭ8613
※ジプトーン貼 t=9.5mm ・・・ＱＭ9824
※ＶＰ ・・・ＮＭ8585
※ＥＰ ・・・ＮＭ8585
※Ｐ．Ｂ t=9.5 ・・・ＱＭ9828
※化粧Ｐ．Ｂ t=12.5 ・・・ＮＭ8614
※ケイカル板 t=6.0 ・・・ＮＭ8578

特記事項
＊仕上げ仕様は色見本、サンプルを監督員に提出後確認の上決定とする（変更は同等品の範囲とする）
＊シナ合板・コンパネ：Ｆ☆☆☆☆とする
＊壁、天井下地は壁掛け、天井吊の備品取付部分及びカーテン・ブラインド・ＡＣ取付部分はLGSによる補強とする
＊壁、天井下地のコンパネ下地箇所は施主確認の上、決定する。（上記以外は追加工事とする）
＊ビニールクロス、接着剤共Ｆ☆☆☆☆を使用、その他の内装仕上材（扉・造付家具等）は全てＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
＊天井裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する建築物の部分)についてはＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
＊各居室の給排気の通路となる間仕切り扉は10mm程度のアンダーカットをもうけるか、ガラリ付扉にするなど換気のための通路を確保する

承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-11
			図面名称：2階 内部仕上表 SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

面 積 表	
階	面 積 ㎡(坪)
1階	455.95 (137.92)
2階	306.00 (92.56)
延床面積	761.95 (230.49)
建築面積	482.10 (145.83)
敷地面積	1274.70 (385.38)
建ぺい率	38 / 60 (%)
容 積 率	60 / 200 (%)



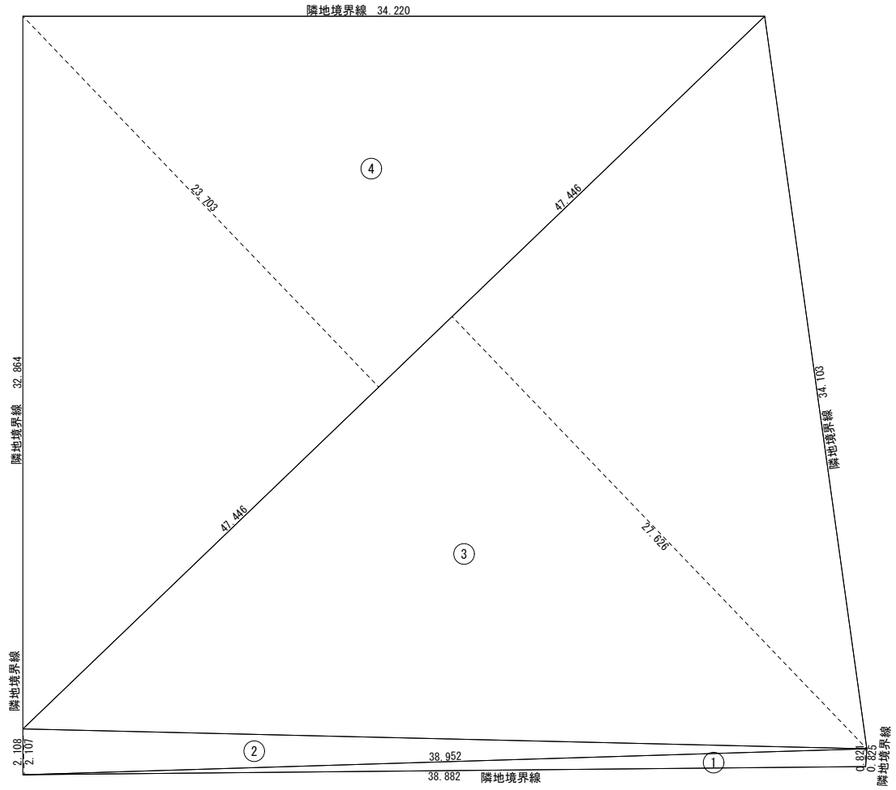
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：配置図，附近見取図 SCALE 1/300 1/2500

A-12

A2→A3縮小 71%

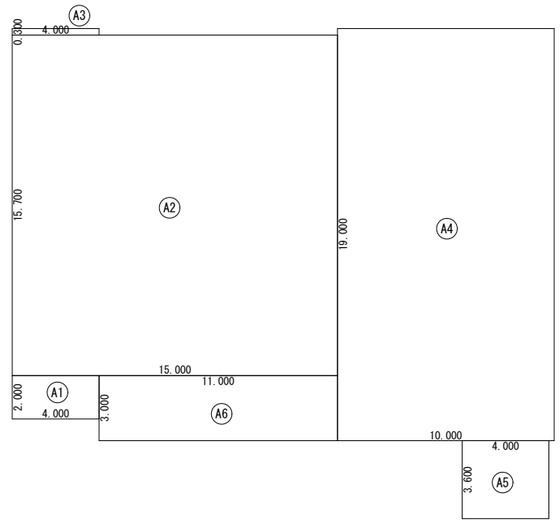


敷地面積求積図 S:1/200

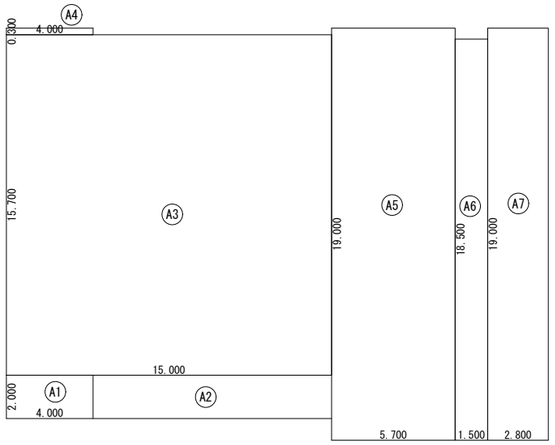
建築面積表			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	4.000×2.000	8.000000
A2	矩形	15.000×15.700	235.500000
A3	矩形	4.000×0.300	1.200000
A4	矩形	10.000×19.000	190.000000
A5	矩形	4.000×3.600	14.400000
A6	矩形	11.000×3.000	33.000000
面積	計(㎡)		482.10
	(坪)		145.83

467.700

敷地面積			
	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(㎡)
1	38.952	0.821	31.979592
2	38.952	2.107	82.071864
3	47.446	27.626	1310.743196
4	47.446	23.703	1124.612538
倍面積 計			2549.407190
敷地面積 (㎡)			1274.70



建築面積求積図 S:1/200

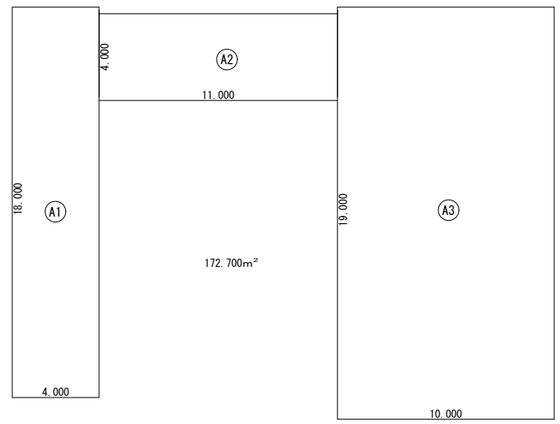


1階 床面積求積図 S:1/200

床面積表<1階>			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	4.000×2.000	8.000000
A2	矩形	11.000×2.000	22.000000
A3	矩形	15.000×15.700	235.500000
A4	矩形	4.000×0.300	1.200000
A5	矩形	5.700×19.000	108.300000
A6	矩形	1.500×18.500	27.750000
A6	矩形	2.800×19.000	53.200000
面積	計(㎡)		455.95
	(坪)		137.92

床面積表<2階>			
	形状	計算式	面積
A1	矩形	4.000×18.000	72.000000
A2	矩形	11.000×4.000	44.000000
A3	矩形	10.000×19.000	190.000000
面積	計(㎡)		306.00
	(坪)		92.56

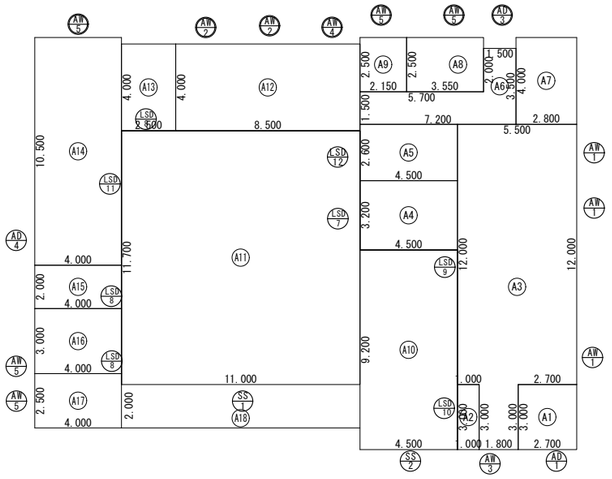
敷地面積		1274.70 ㎡	385.38 坪
階	1階	455.95 ㎡	137.92 坪
	2階	306.00 ㎡	92.56 坪
合計		761.95 ㎡	230.49 坪
建築面積		482.10 ㎡	145.83 坪
建ぺい率		38 / 60 (%)	
容積率		60 / 200 (%)	

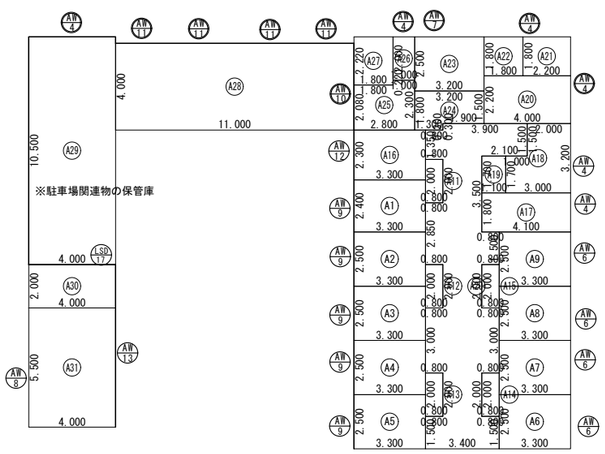


2階 床面積求積図 S:1/200

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-13
			図面名称：敷地面積、床面積、建築面積求積図 SCALE 1/200	

A2→A3縮小 71%





床面積求積図　S:1/200

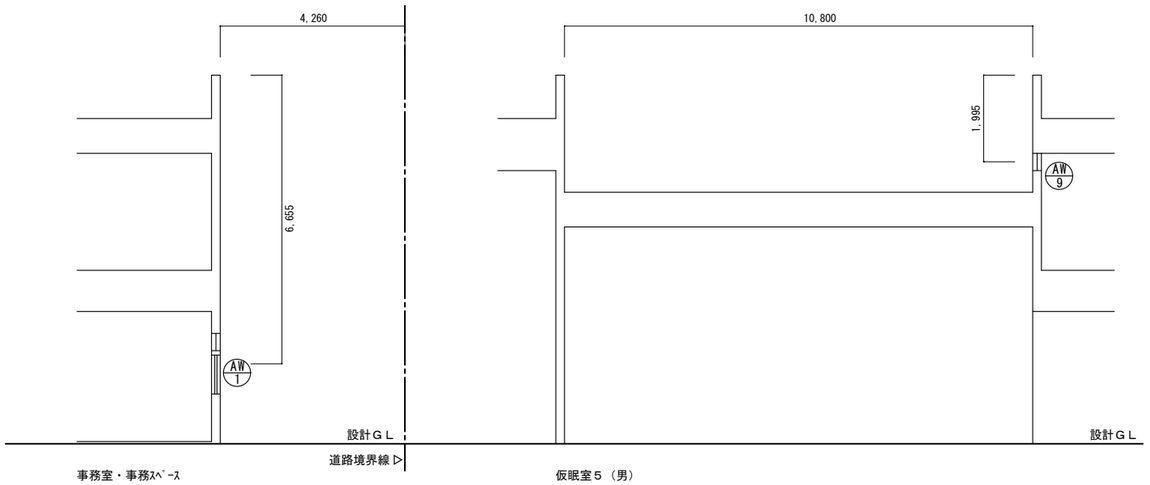
※ ―― 異種用途区画位置を示す
（床、壁は１時間準耐火構造とする）
（開口部は特定防火設備とする）

床面積表<1階>

	形状	計算式	面積
A1	ホール	2.700×3.000	8.100000
A2	倉庫	1.000×3.000	3.000000
A3	事務室事務ｽﾍﾟｰｽ	71.400000	71.400000
A4	出勤準備室	4.500×3.200	14.400000
A5	階段（A）	4.500×2.600	11.700000
A6	廊下	13.800000	13.800000
A7	書庫	2.800×4.000	11.200000
A8	便所（男）	3.550×2.500	8.875000
A9	多目的便所（男女兼用）	2.150×2.500	5.375000
A10	車庫（救急車）	4.500×9.200	41.400000
A11	車庫（消防車）	11.000×11.700	128.700000
A12	食堂・会議室	8.500×4.000	34.000000
A13	油脂庫	2.500×4.000	10.000000
A14	資機材庫	4.000×10.500	42.000000
A15	階段（B）	4.000×2.000	8.000000
A16	汚物洗浄室	4.000×3.000	12.000000
A17	洗濯乾燥室	4.000×2.500	10.000000
A18	車庫前庇（消防車）	11.000×2.000	22.000000
面積	計(㎡)		455.95
	(坪)		137.92

床面積表<2階>

	部屋名	計算式	面積
A1	仮眠室１	3.300×2.400	7.920000
A2	仮眠室２	3.300×2.500	8.250000
A3	仮眠室３	3.300×2.500	8.250000
A4	仮眠室４	3.300×2.500	8.250000
A5	仮眠室５	3.300×2.500	8.250000
A6	仮眠室６	3.300×2.500	8.250000
A7	仮眠室７	3.300×2.500	8.250000
A8	仮眠室８	3.300×2.500	8.250000
A9	仮眠室９	3.300×2.500	8.250000
A20	通路	41.910000	41.910000
A11	収納	0.800×2.000	1.600000
A12	収納	0.800×2.000	1.600000
A13	収納	0.800×2.000	1.600000
A14	収納	0.800×2.000	1.600000
A15	収納	0.800×2.000	1.600000
A16	階段（A）	3.300×2.300	7.590000
A17	リネン	4.100×1.800	7.380000
A18	便所（男）	8.100000	8.100000
A19	用具入	1.100×1.700	1.870000
A20	洗面・洗濯（男）	4.000×2.200	8.800000
A21	脱衣（男）	2.200×1.800	3.960000
A22	ＵＢ（男）	1.800×1.800	3.240000
A23	仮眠室１０（女）	3.200×2.500	8.000000
A24	踏込（女）	5.190000	5.190000
A25	洗面・脱衣（女）	6.044001	6.044001
A26	ＷＣ（女）	1.000×2.000	2.000000
A27	ＵＢ（女）	1.800×2.220	3.996000
A28	予備棚	11.000×4.000	44.000000
A29	棚	4.000×10.500	42.000000
A30	階段（B）	4.000×2.000	8.000000
A31	救急研修室（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）	4.000×5.500	22.000000
面積	計(㎡)		306.00
	(坪)		92.56



事務室・事務ｽﾍﾟｰｽ
採光補正係数（住居系地域）
A=d/h×6-1.4
A=4.26/6.65×6-1.4=2.44
∴2.4

仮眠室５（男）
採光補正係数（住居系地域）
A=d/h×6-1.4
A=10.80/1.99×6-1.4=31.16
∴3

採光補正係数計算図　S:1/100

1階消防無窓階チェック表

(㎡)

無窓階チェック					
建具番号	有効開口算定式			面積	判定
SS-1	10.10x4.50			45.45	OK
AD-3	1.90x2.2x1/2			2.09	
AD-4	0.8x2x2			3.2	
	延床面積	1/30		計	
1階	455.95	15.20	<	50.74	

2階消防無窓階チェック表

(㎡)

無窓階チェック					
建具番号	有効開口算定式			面積	判定
AW-4	0.6x1.2x2			1.44	OK
AW-4	0.6x1.2x4			2.88	
AW-6	1x1.2x1/2x4			2.4	
AW-7	1.7x1.2x1/2			1.02	
AW-8	1.7x1.3x1/2			1.11	
AW-11	0.6x0.6x4			1.44	
	延床面積	1/30		計	
2階	306.00	10.2	<	10.29	

法規チェック表

(㎡)

部屋名	床面積	建具記号	建具寸法	採光チェック					換気チェック					排煙チェック				
				有効面積算定式	有効面積	合計	必要採光面積（1/10）	判定	有効面積算定式	有効面積	合計	必要換気面積（1/20）	判定	有効面積算定式	有効面積	合計	必要排気面積（1/50）	判定
事務室・事務ｽﾍﾟｰｽ	71.4	AW-1	0.82×0.40	0.82×0.40×2.4×6	4.72	15.73	7.14	OK	0.82×0.40×6	1.96	4.25	3.57	OK	0.82×0.3×6	1.47		1.42	OK
			1.70×0.90	1.70×0.90×2.4×3	11.01				1.70×0.90×1/2×3	2.29								
食堂・会議室	34	AW-2	1.70×1.20	1.70×1.20×1×2	4.08	4.08	3.4	OK	1.70×1.20×1/2×2	2.04	2.04	1.7	OK	1.7×0.3×1/2	0.25	0.76	0.68	OK
														1.7×0.6×1/2	0.51			
救急研修室	22	AW-8	1.70×1.30	1.70×1.30×1×1	2.21	2.21	2.2	OK	1.70×1.30×1/2×1	1.10	1.10	1.1	OK	1.7×0.2×1/2	0.17		0.44	OK
仮眠室５	8.25	AW-9	0.60×0.40	0.60×0.40×3×2	1.44	1.44	0.82	OK	0.60×0.40×2	0.48	0.48	0.41	OK	0.6×0.35×2	0.42		0.165	OK
仮眠室６	8.25	AW-6	1.00×1.20	1.00×1.20×1×1	1.20	1.20	0.82	OK	1.00×1.20×1/2×1	0.60	0.60	0.41	OK	1×0.6×1/2	0.3		0.165	OK
踏込・仮眠室１０（女）	13.19	AW-7	1.70×1.20	1.70×1.20×1×1	2.04	2.04	1.31	OK	1.70×1.20×1/2×1	1.02	1.02	0.65	OK	1.7×0.6×1/2	0.51		0.26	OK

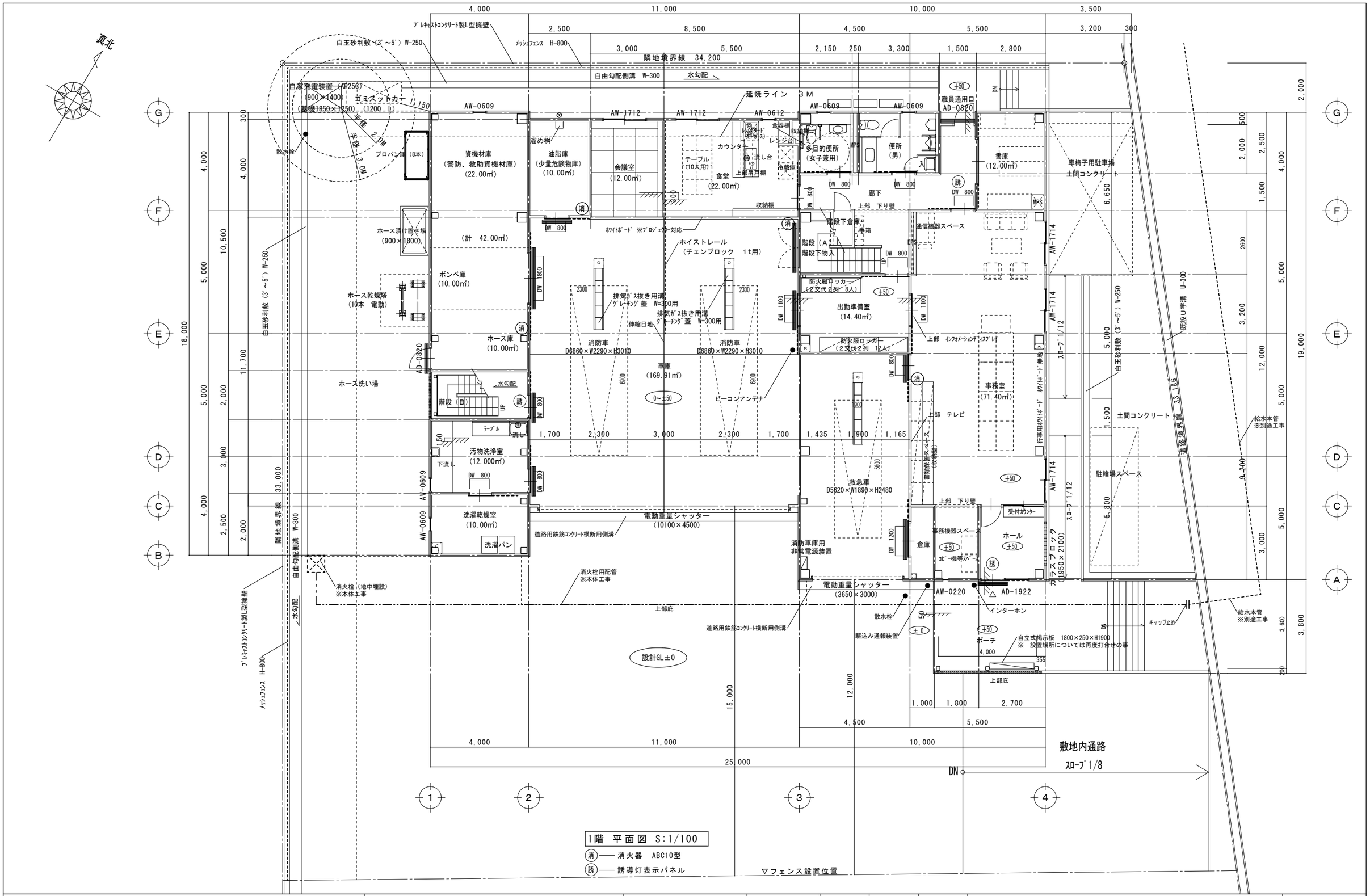
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：法チェック図　SCALE 1/100,1/200

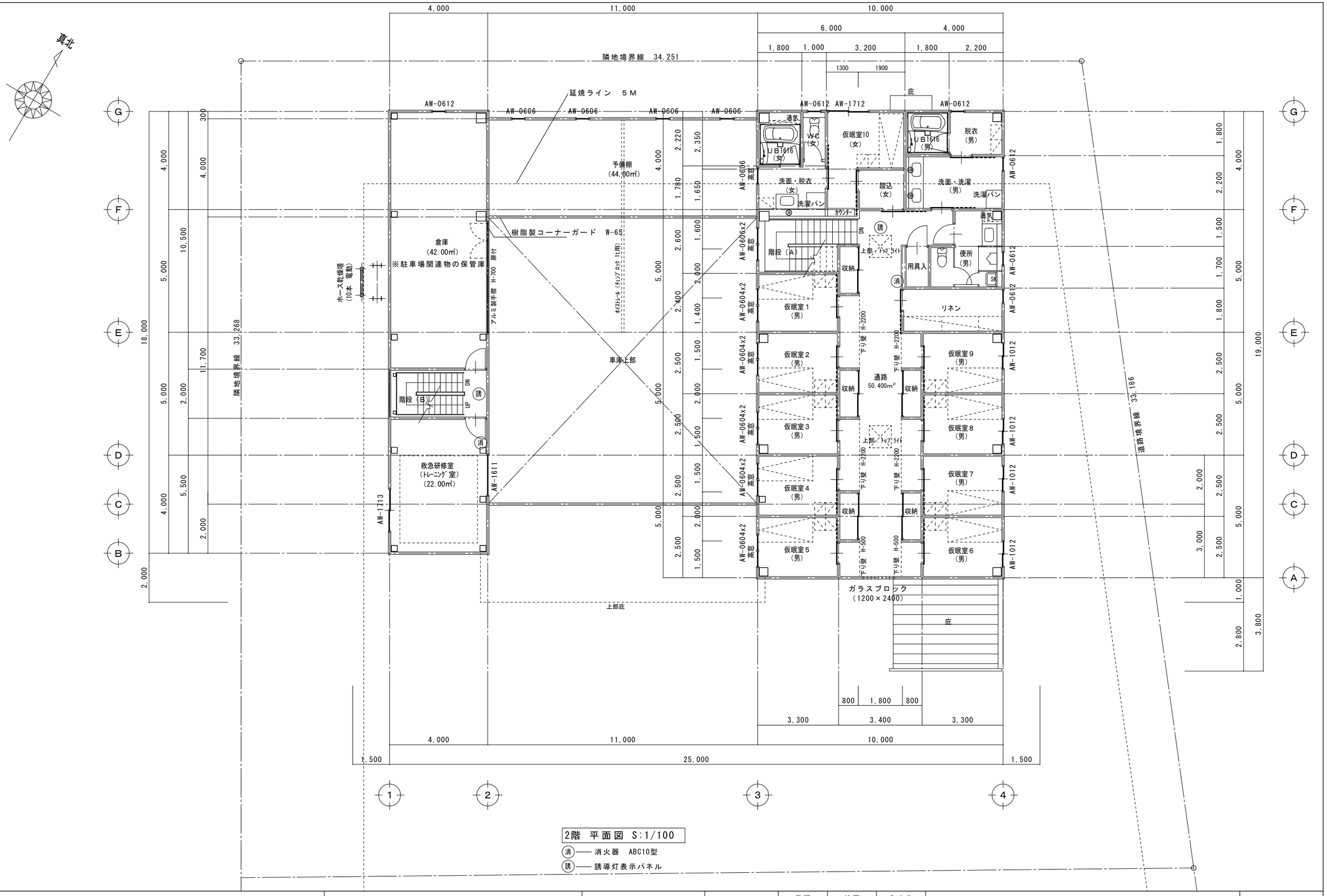
A-14

A2→A3縮小 71%



承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-15
			図面名称：1階 平面図 SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%



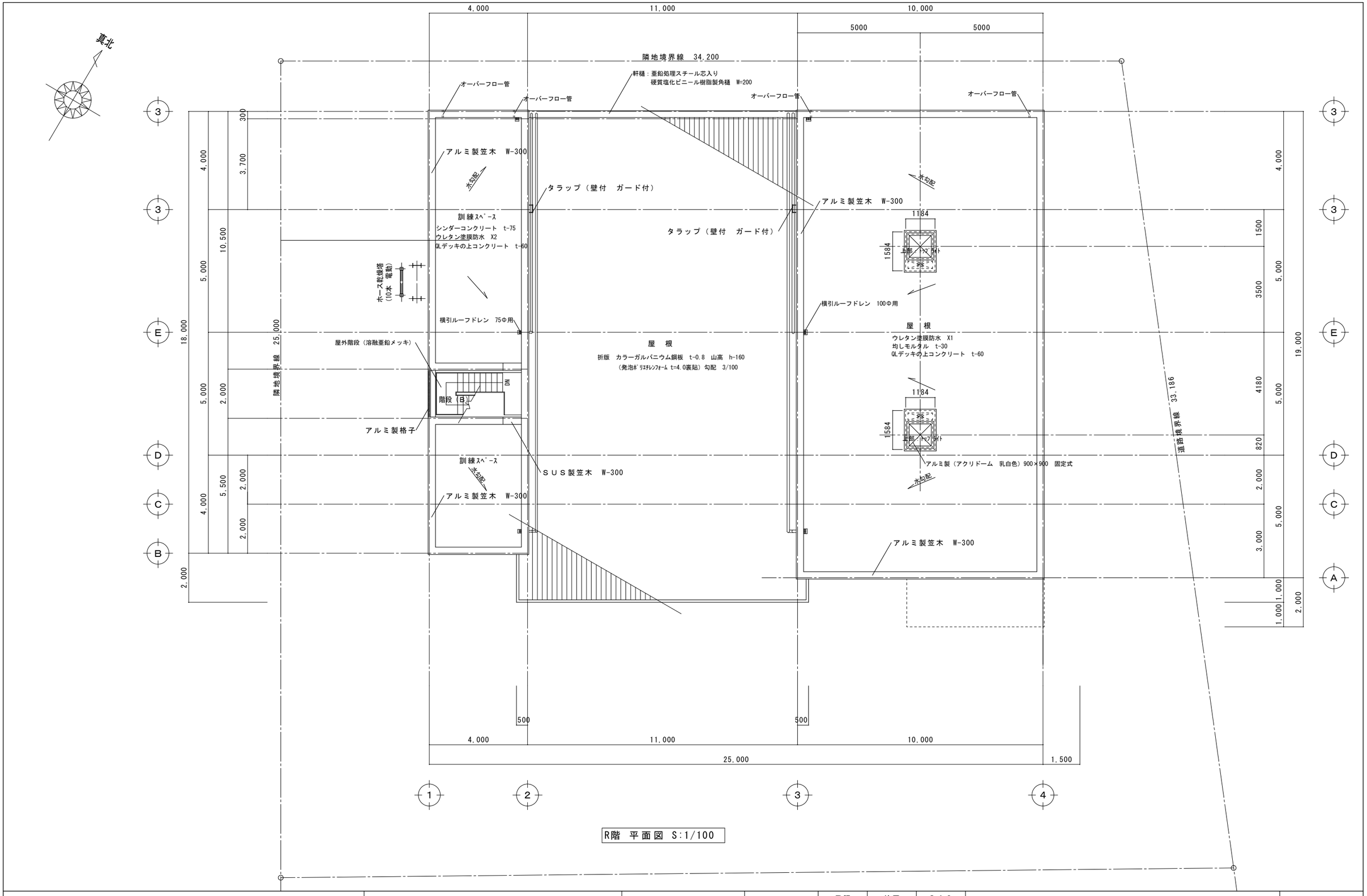
2階 平面図 S:1/100

消 —— 消火器 ABC10型

誘 —— 誘導灯表示パネル

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-16
			図面名称：2階 平面図 SCALE 1/100	

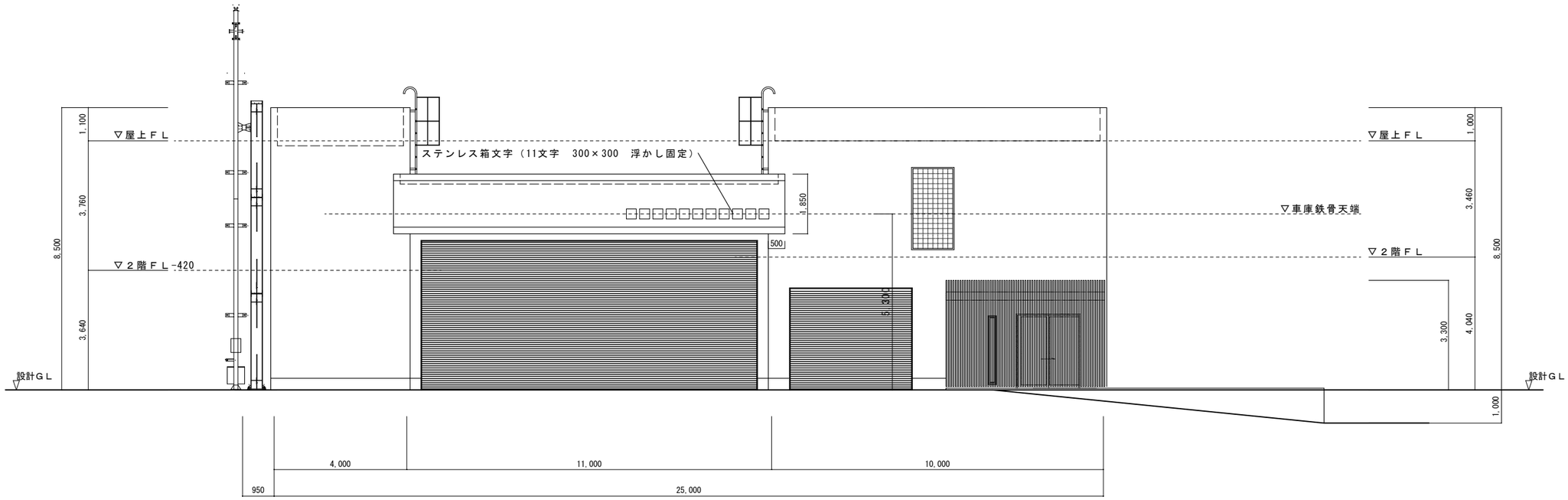
A2→A3縮小 71%



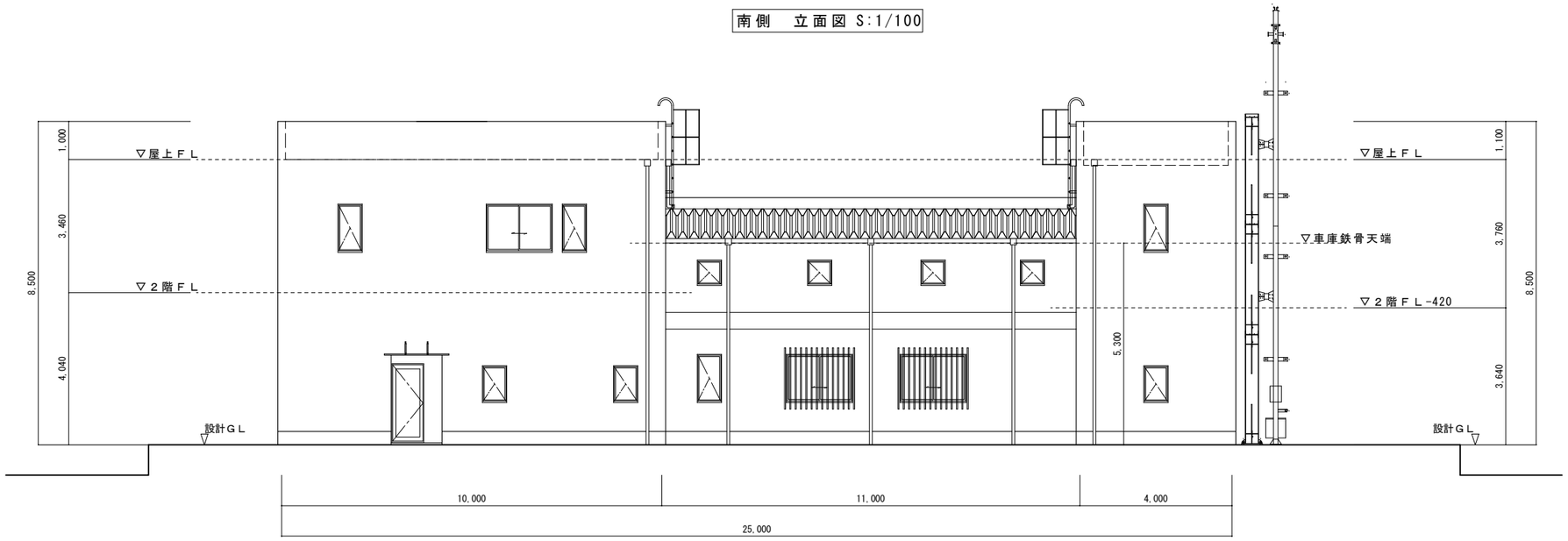
R階　平面図　S:1/100

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-17
							図面名称：R階　平面図　SCALE　1/100	

A2→A3縮小 71%



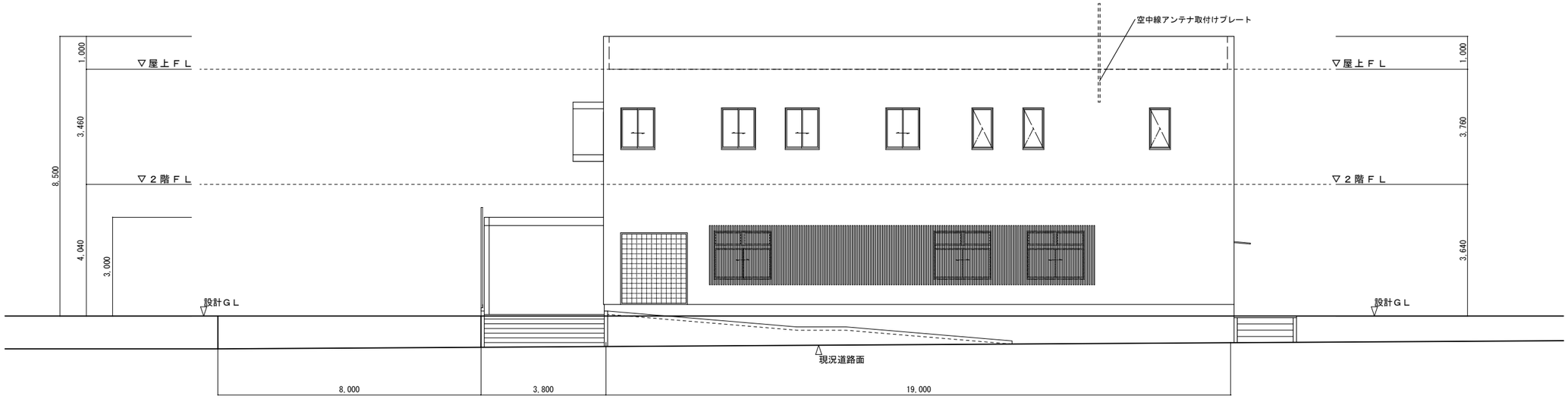
南側　立面図 S:1/100



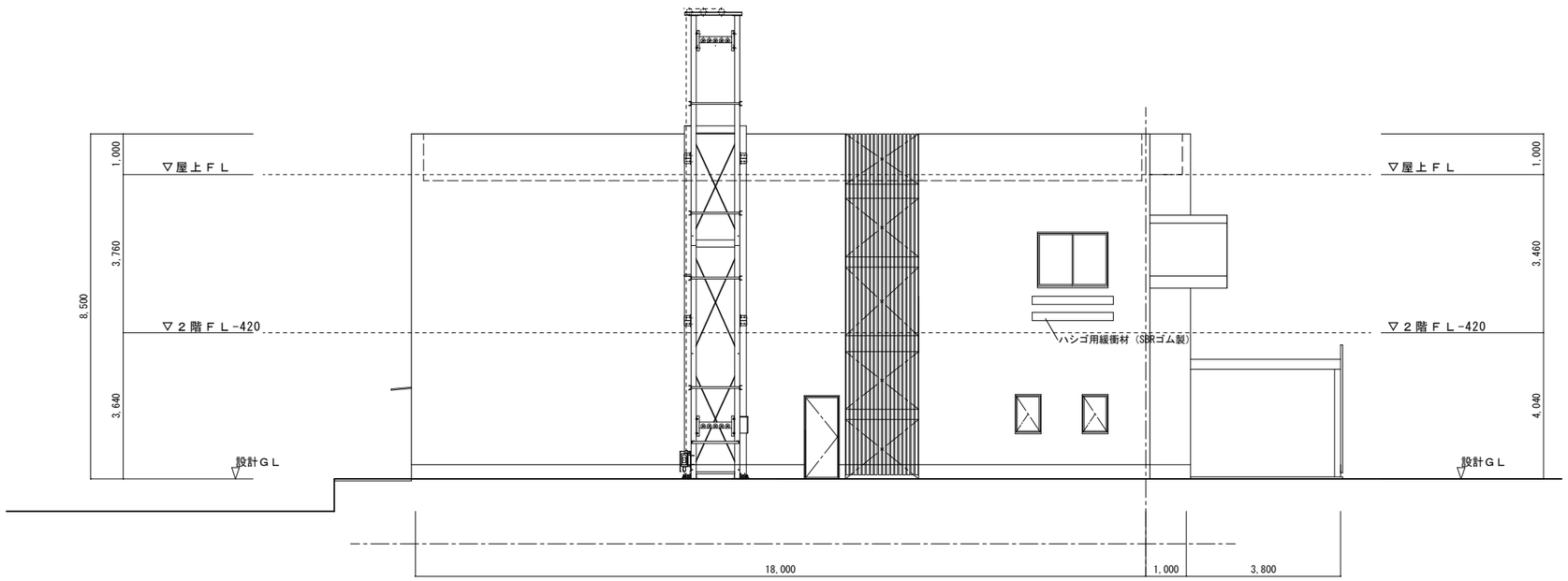
北側　立面図 S:1/100

				承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-18
							図面名称：南・北立面図　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%



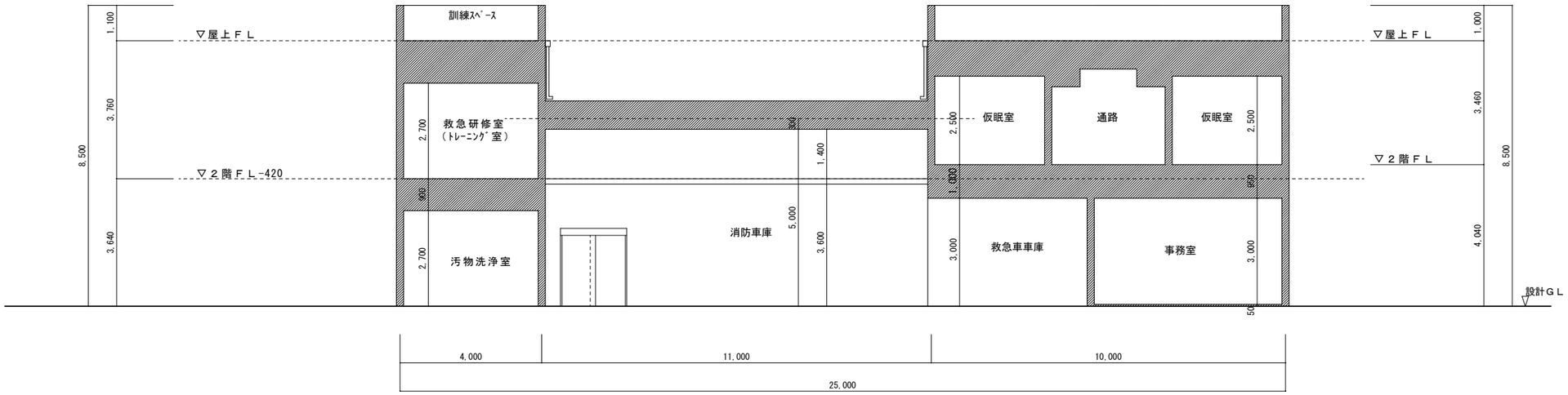
東側　立面図 S:1/100



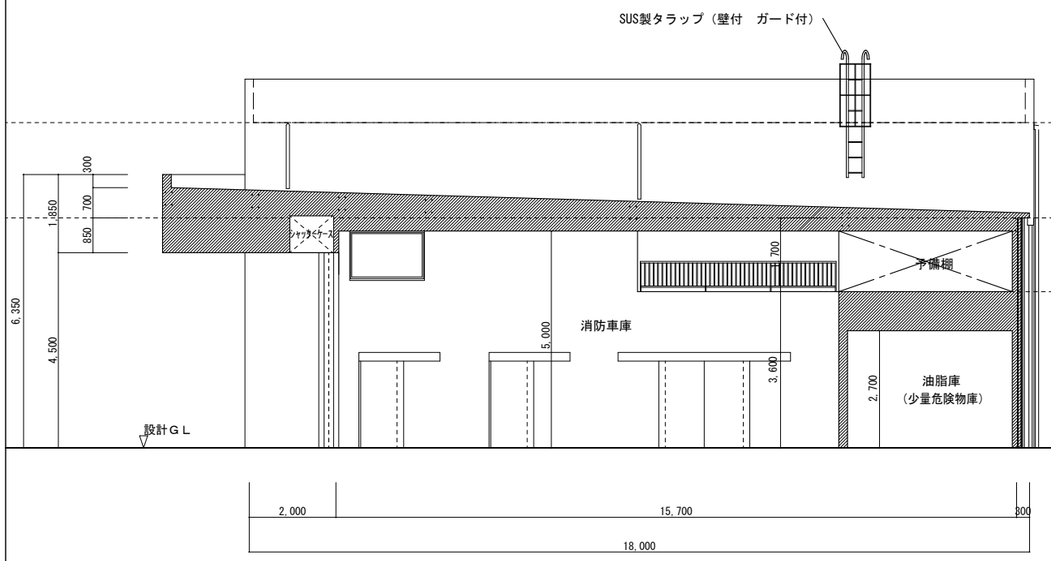
西側　立面図 S:1/100

				承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-19
							図面名称：東・西立面図　SCALE 1/100	

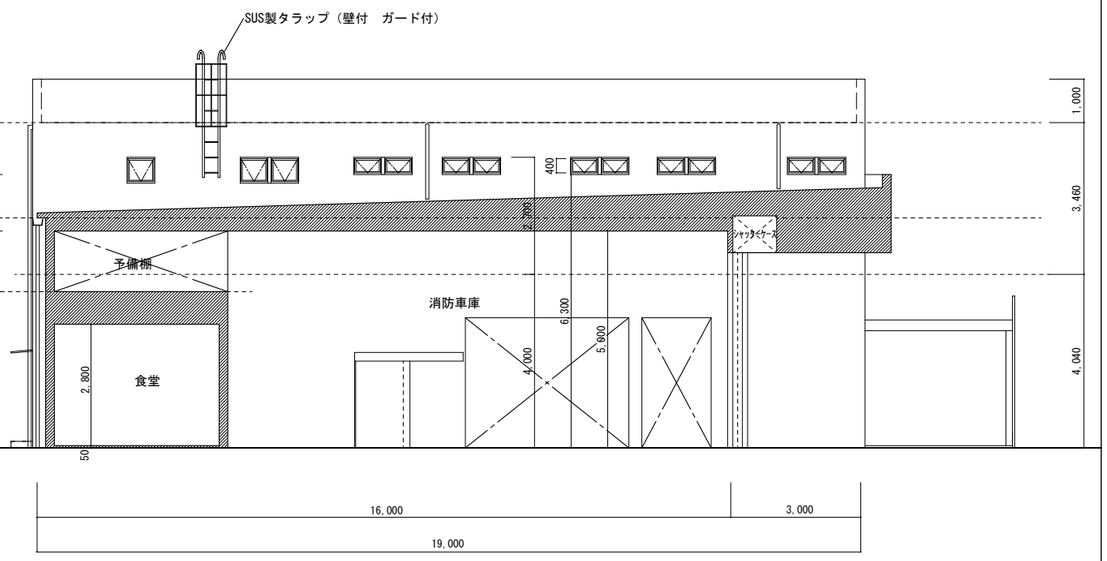
A2→A3縮小 71%



東西北面　断面図　S:1/100



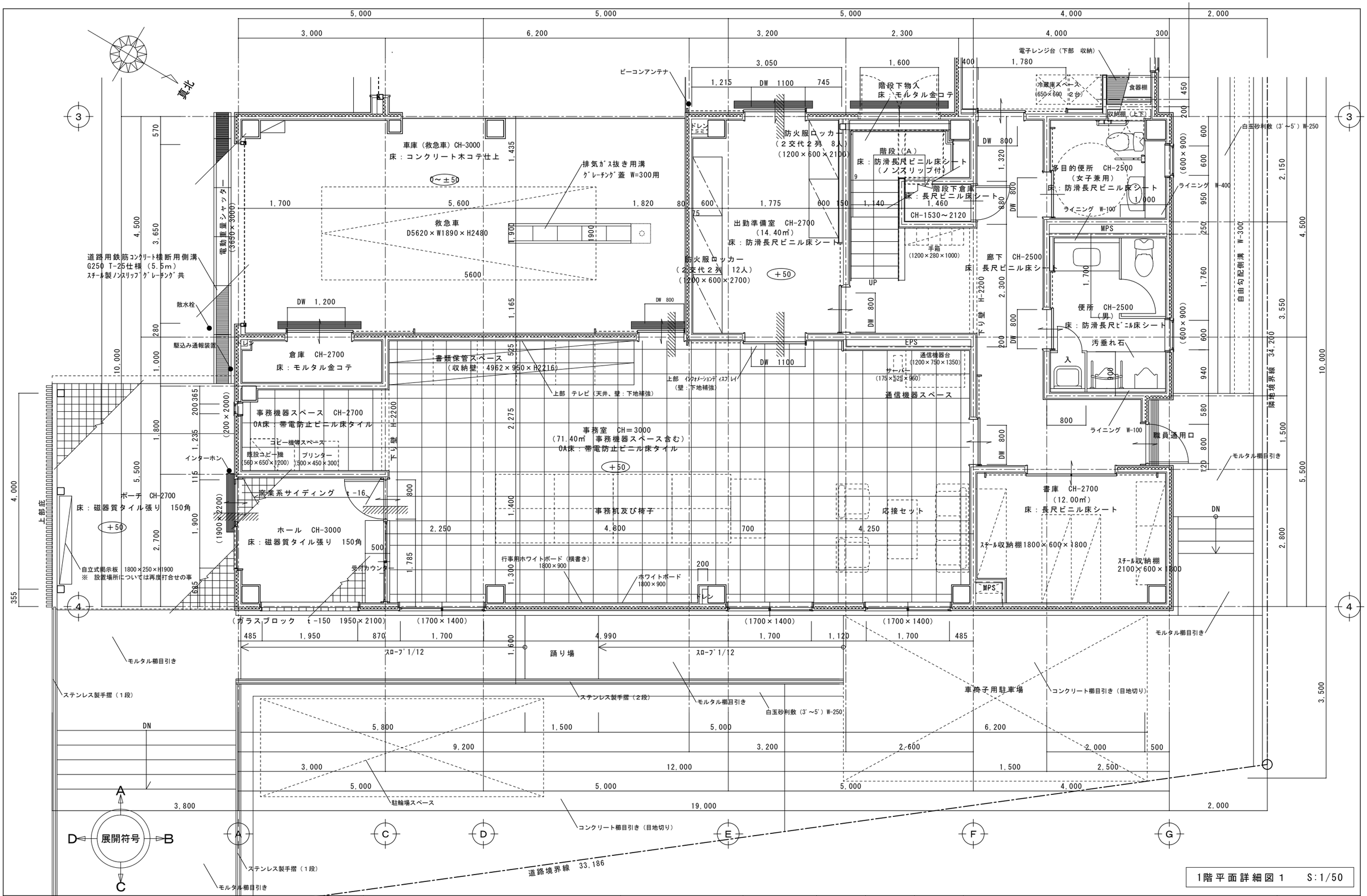
南北西面　断面図　S:1/100



南北東面　断面図　S:1/100

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-20
			図面名称：断面図　SCALE 1/100	

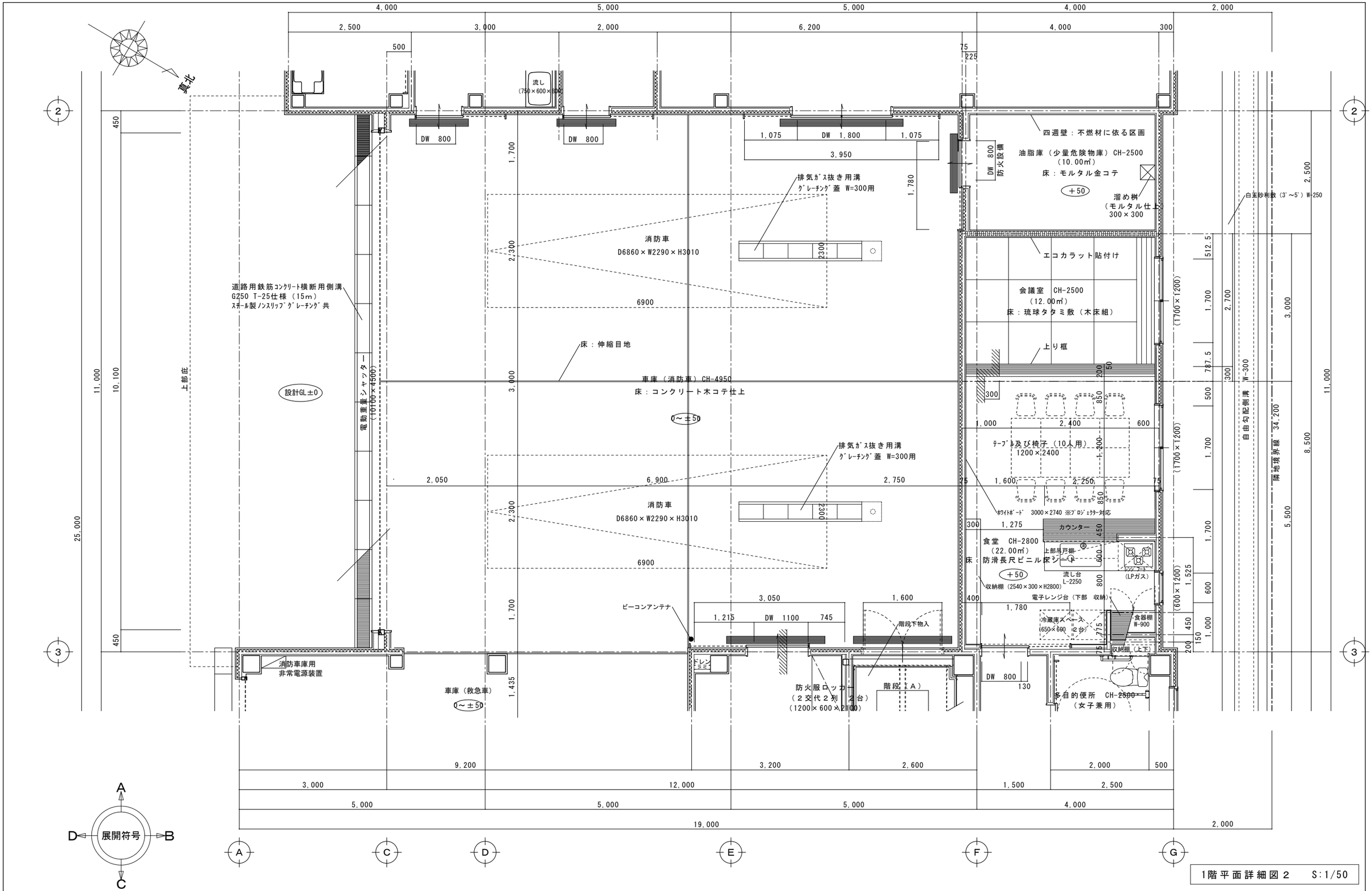
A2→A3縮小 71%



1階平面詳細図1 S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-21
			図面名称：1階 平面詳細図1 SCALE 1/50	

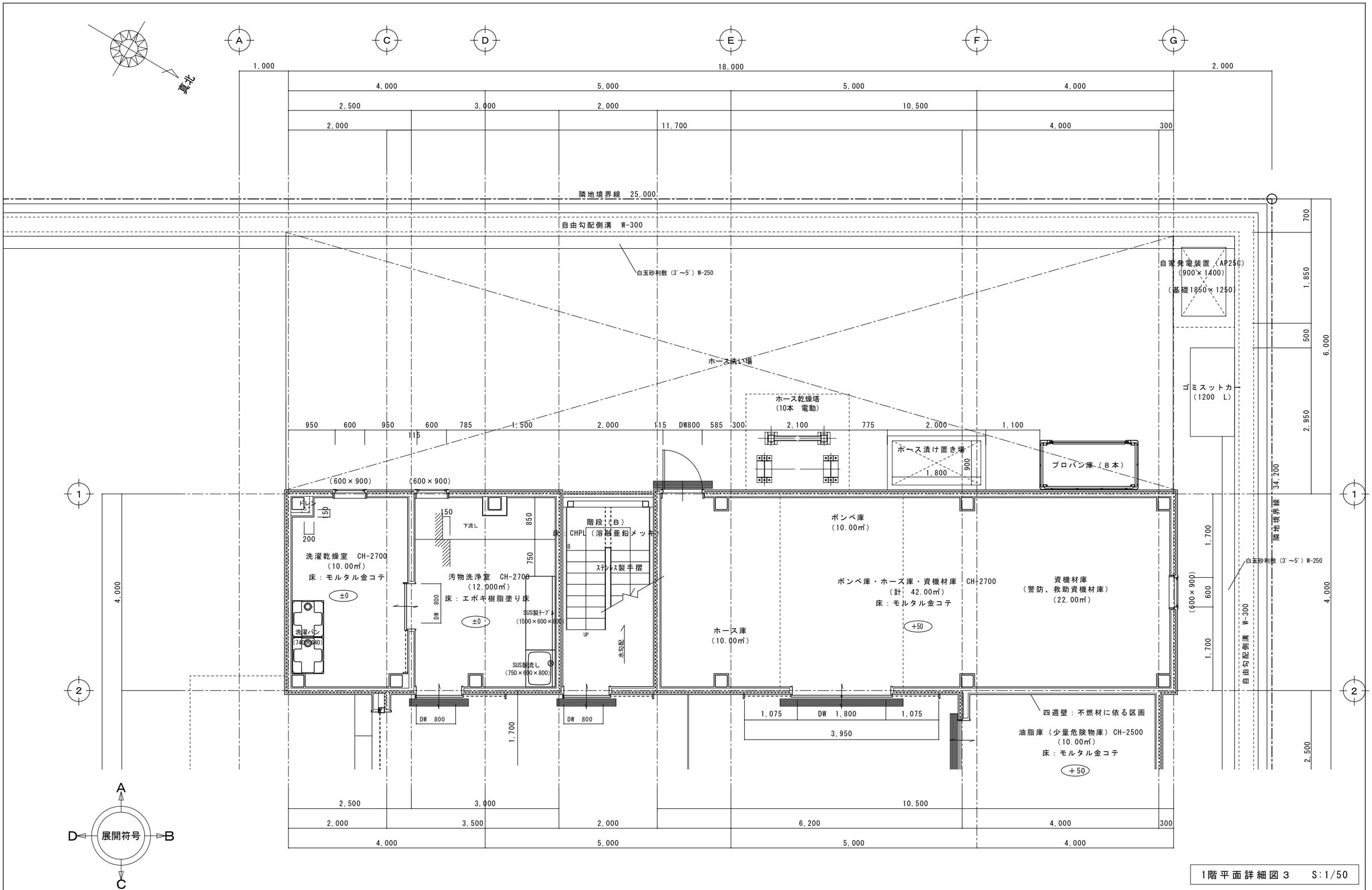
A2→A3縮小 71%



1階平面詳細図2 S:1/50

		承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-22
					図面名称：1階 平面詳細図2 SCALE 1/50	

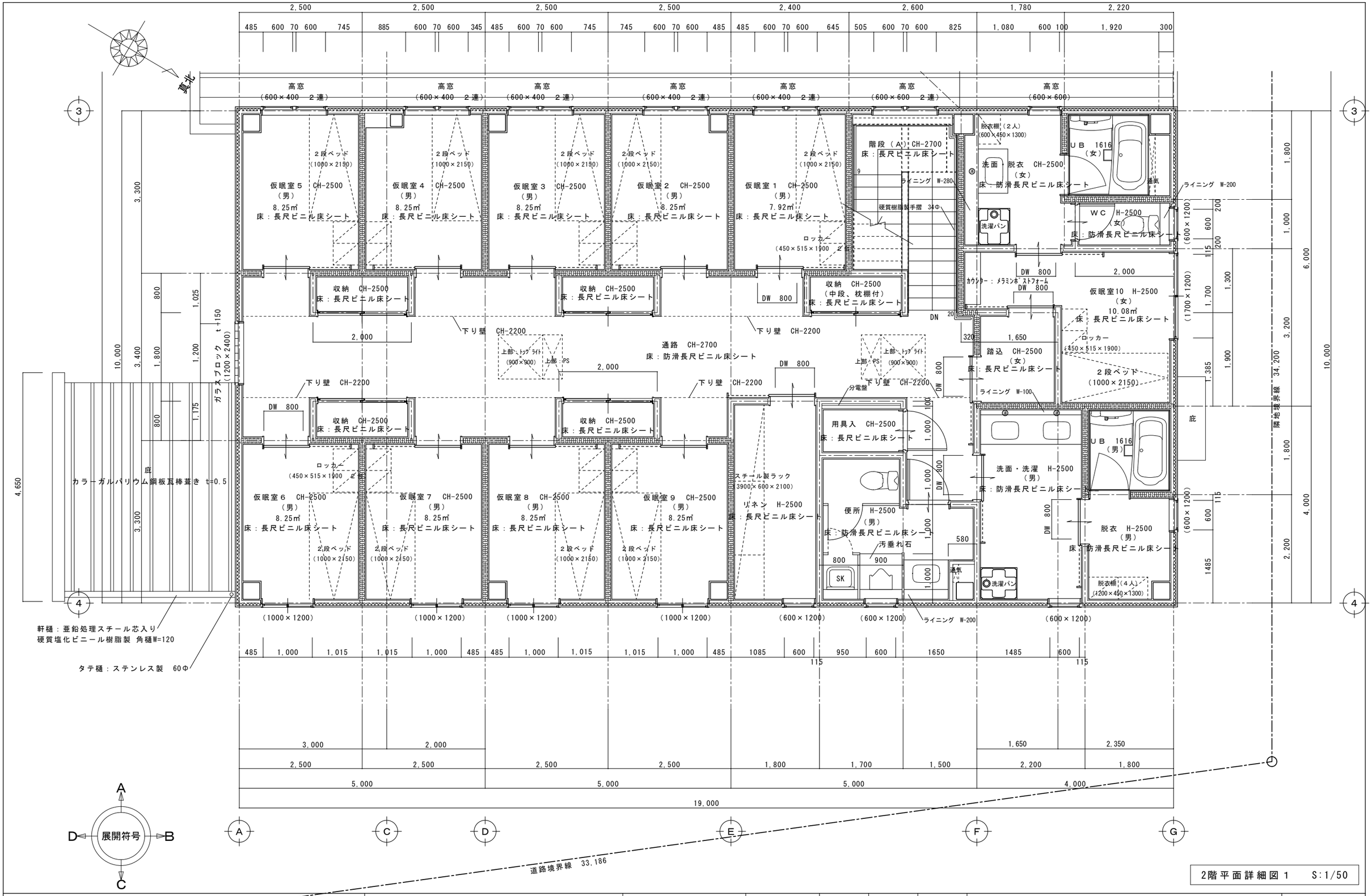
A2→A3縮小 71%



1階平面詳細図３ S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-23
							図面名称：1階 平面詳細図３ SCALE 1/50	

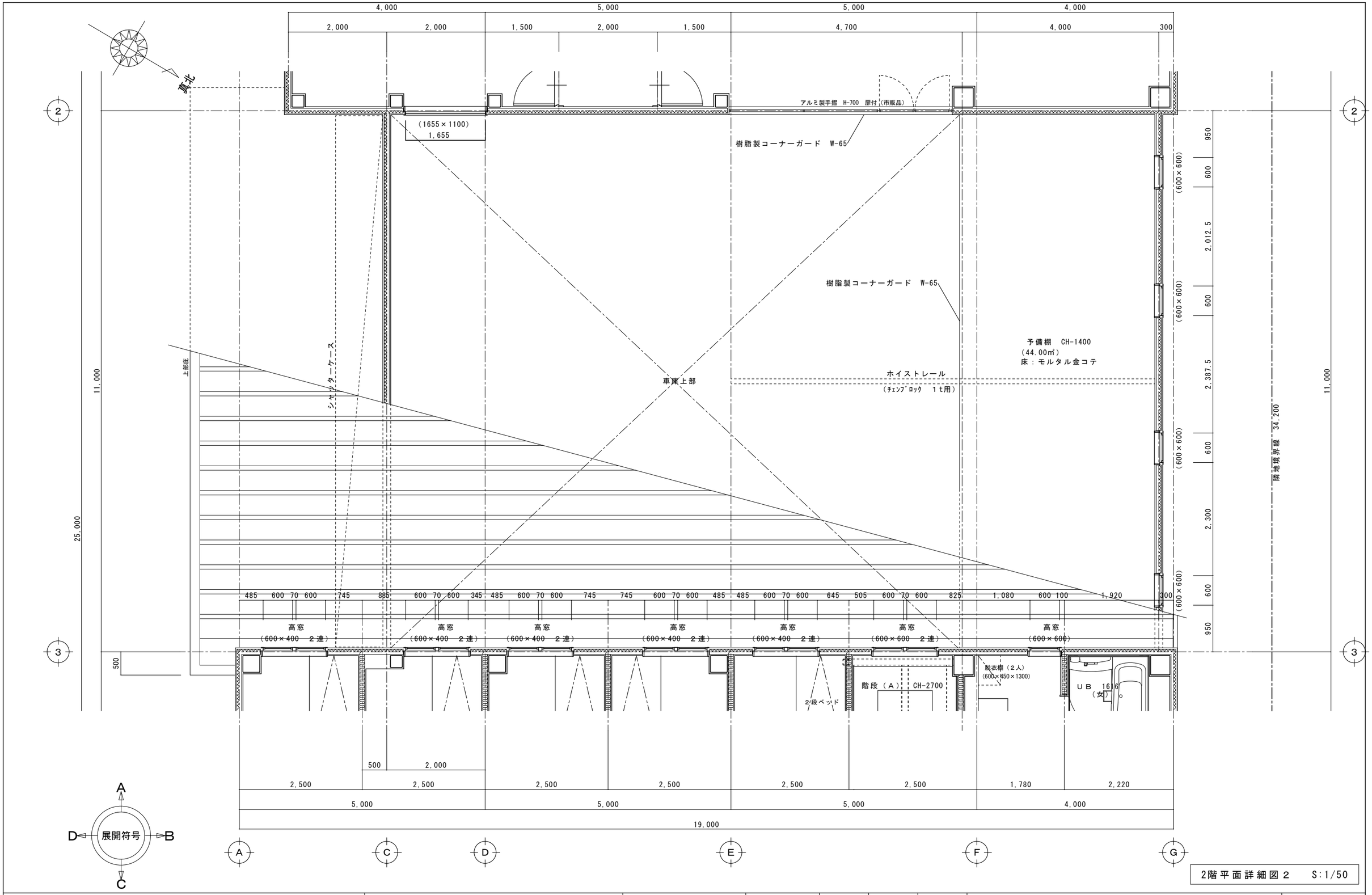
A2→A3縮小 71%



2階平面詳細図1 S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-24
			図面名称：2階 平面詳細図1 SCALE 1/50	

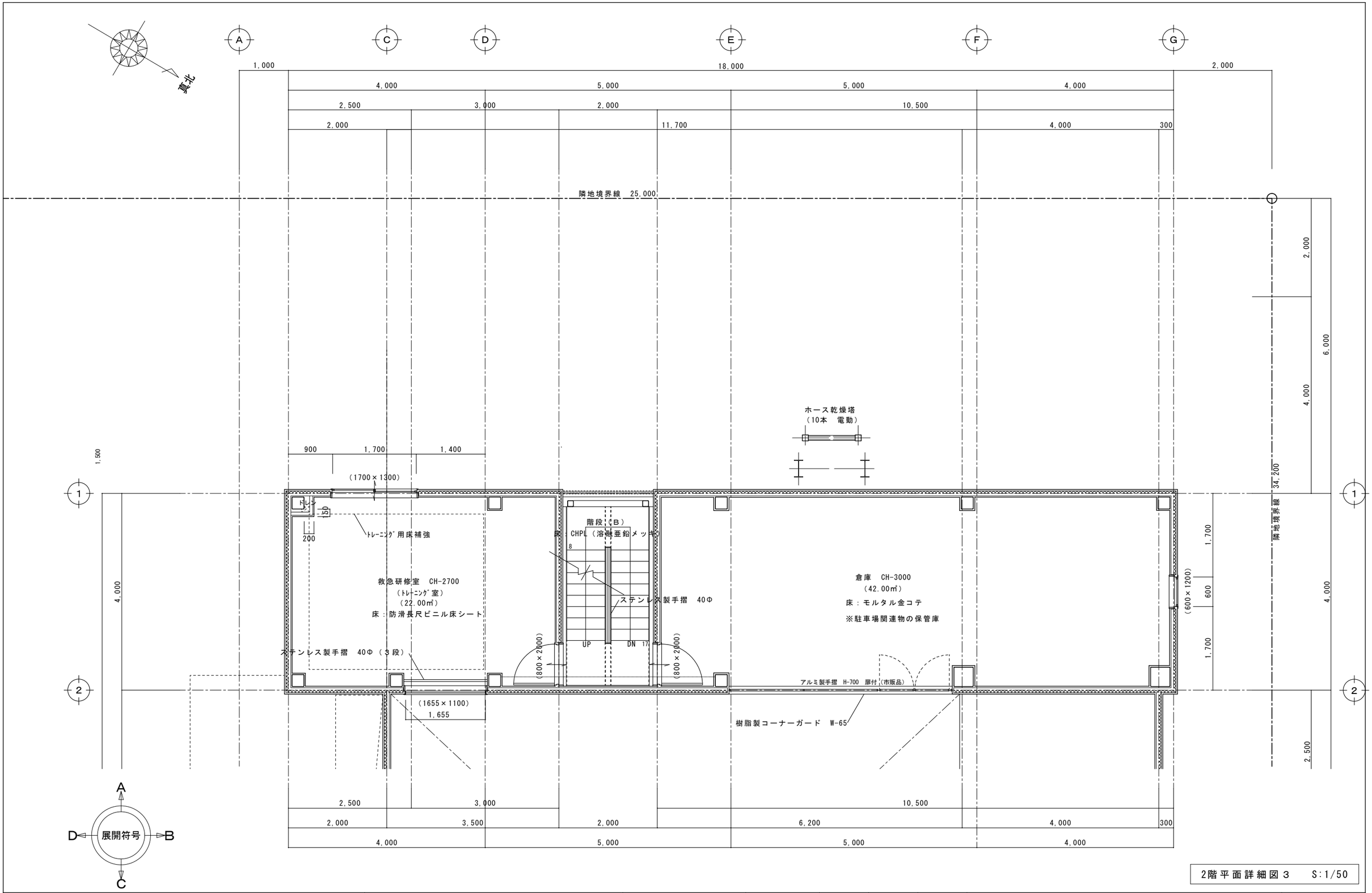
A2→A3縮小 71%



2階平面詳細図2 S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-25
			図面名称：2階 平面詳細図2 SCALE 1/50	

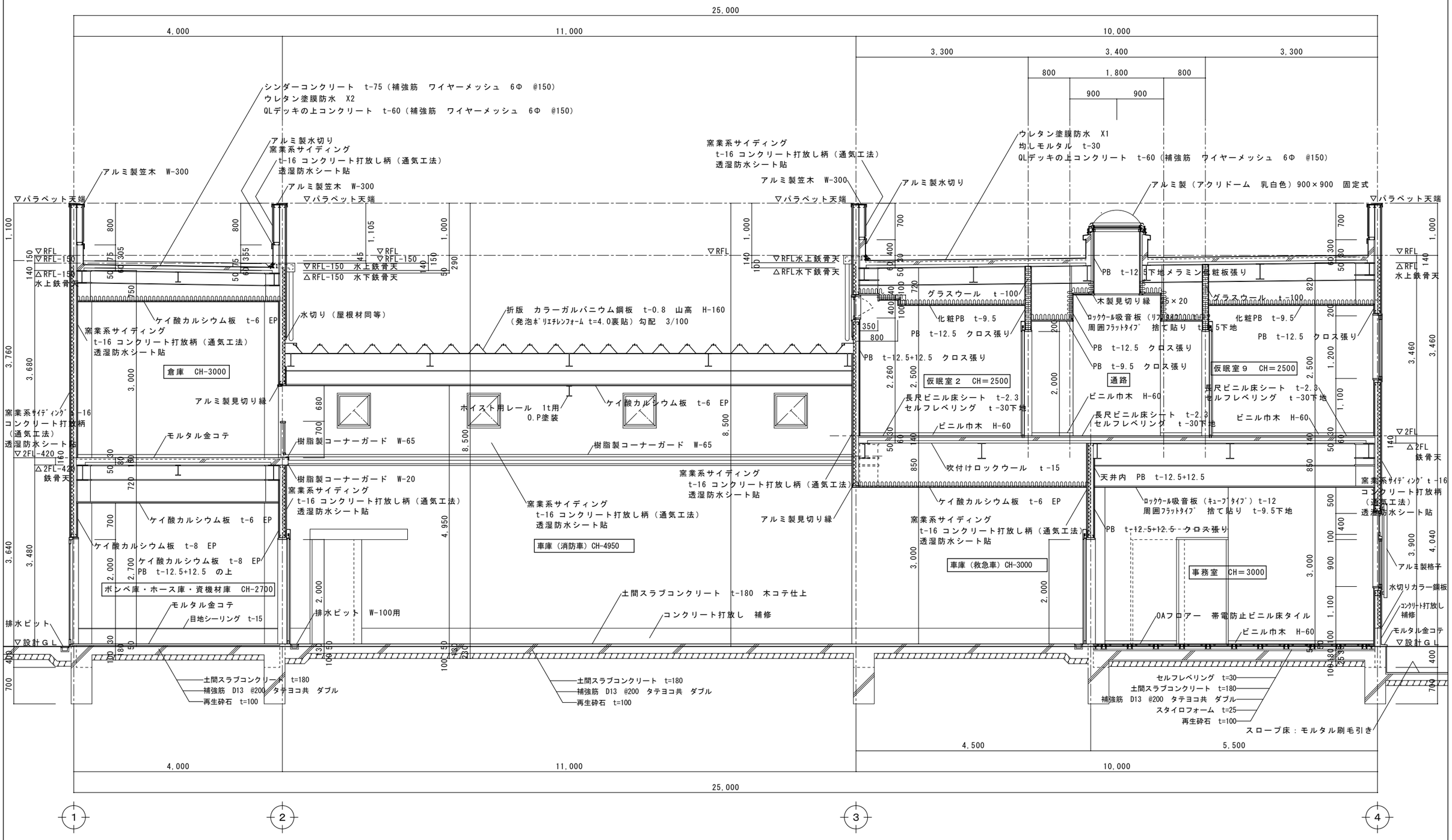
A2→A3縮小 71%



2階平面詳細図３ S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-26
							図面名称：2階 平面詳細図３ SCALE 1/50	

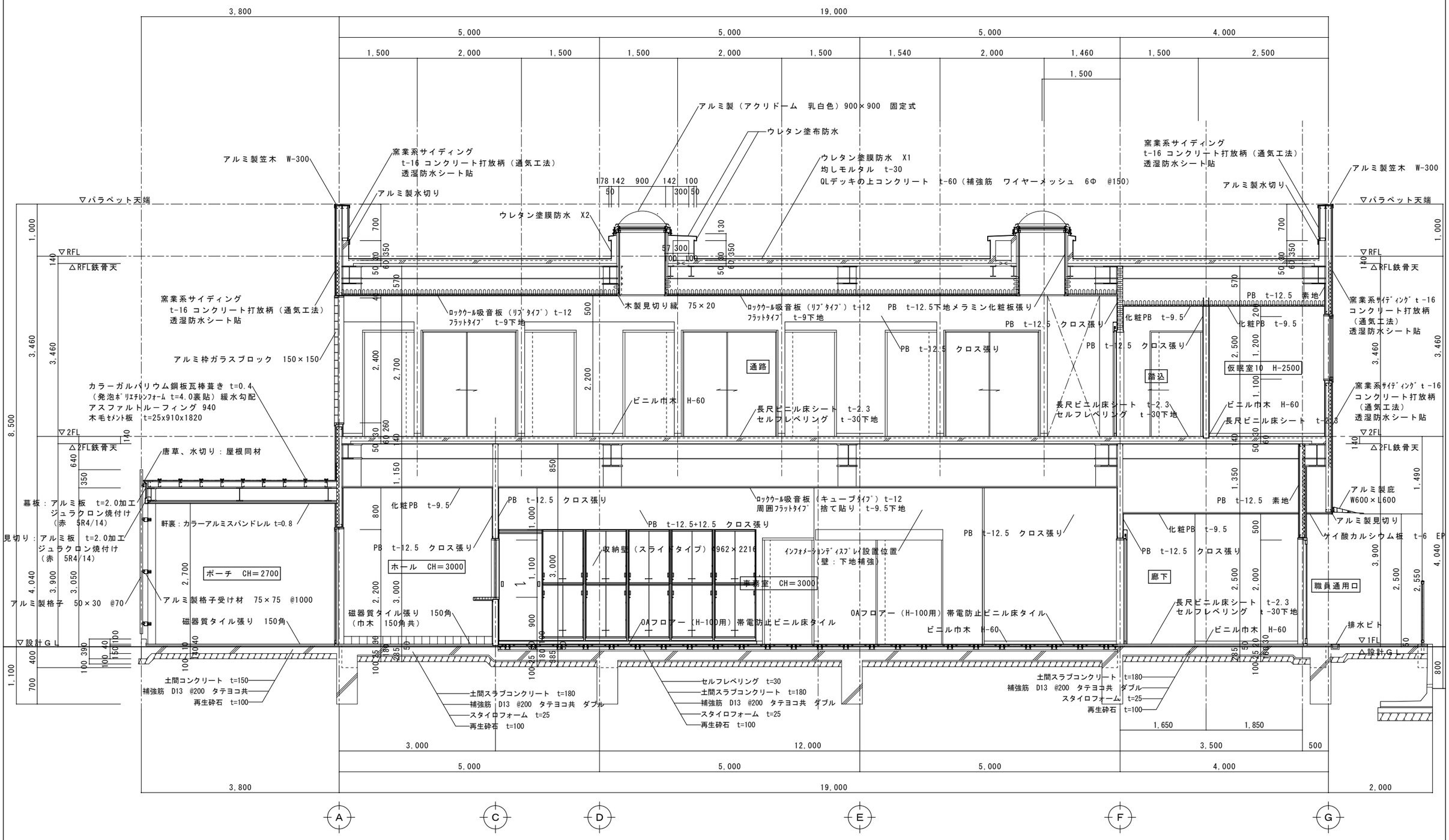
A2→A3縮小 71%



矩計図１ Ｅ通り S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-27
							図面名称：矩計図１ Ｅ通り SCALE 1/50	

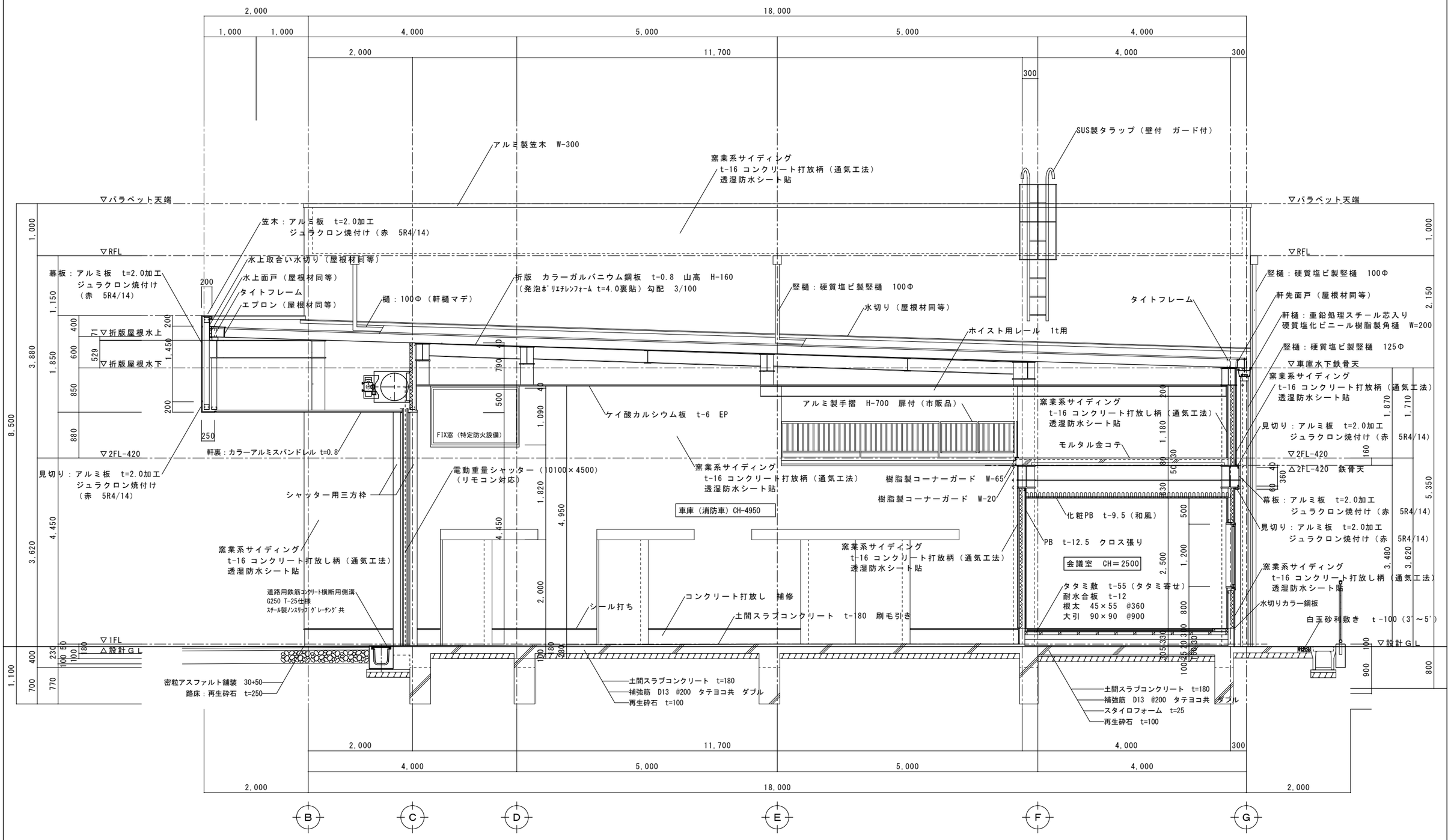
A2→A3縮小 71%



矩計図２　３、４通り　　S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-28
							図面名称：矩計図2　３、４通り　　SCALE　1/50	

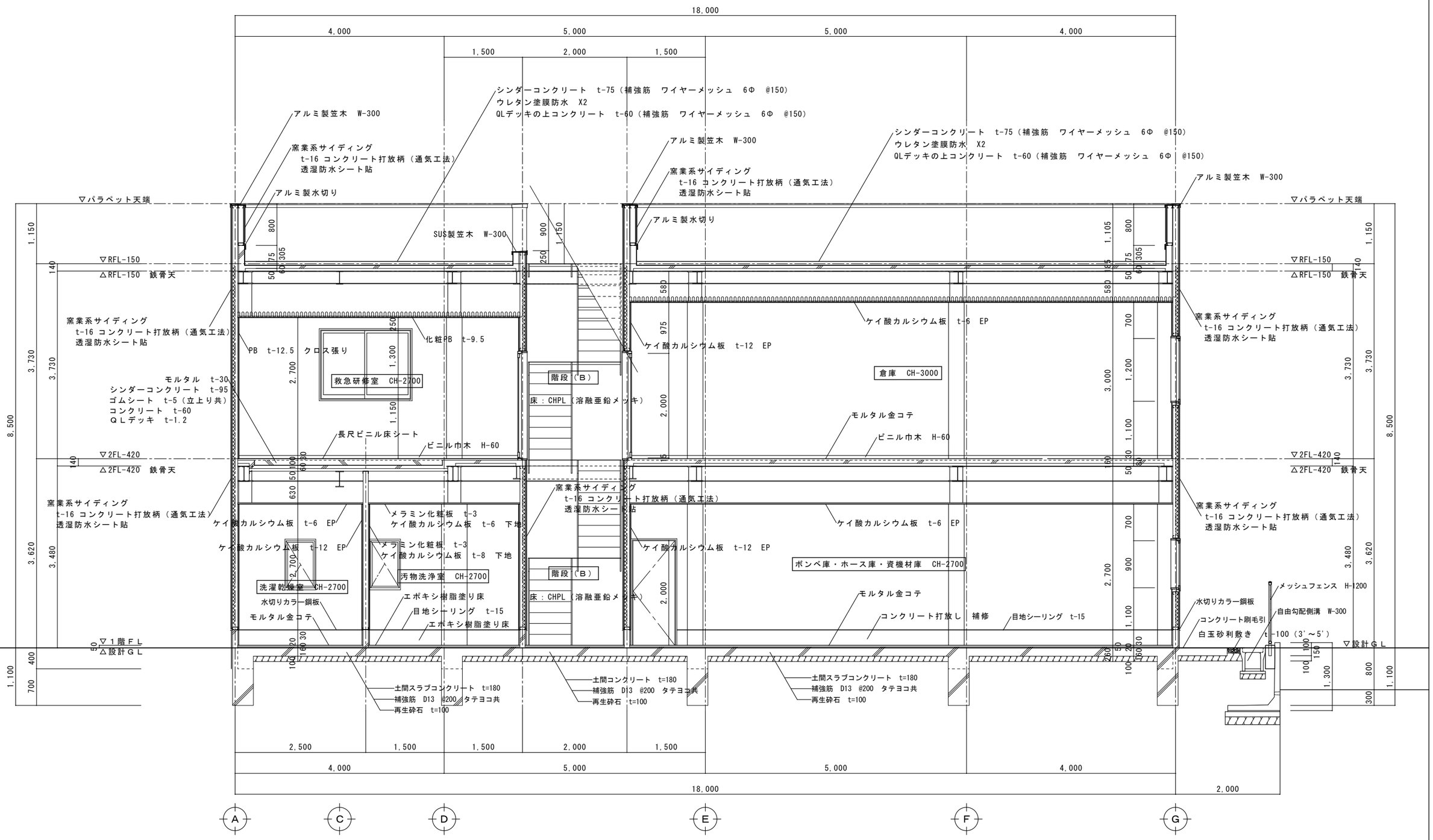
A2→A3縮小 71%



矩計図３　２通り　　S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-29
			図面名称：矩計図３　２通り　　SCALE　1/50	

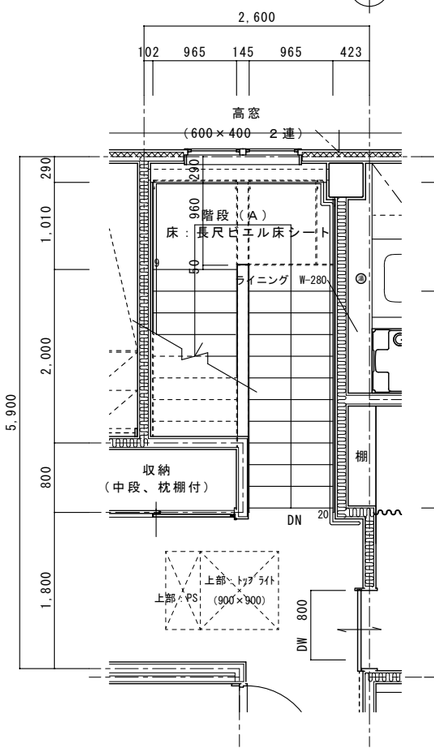
A2→A3縮小 71%



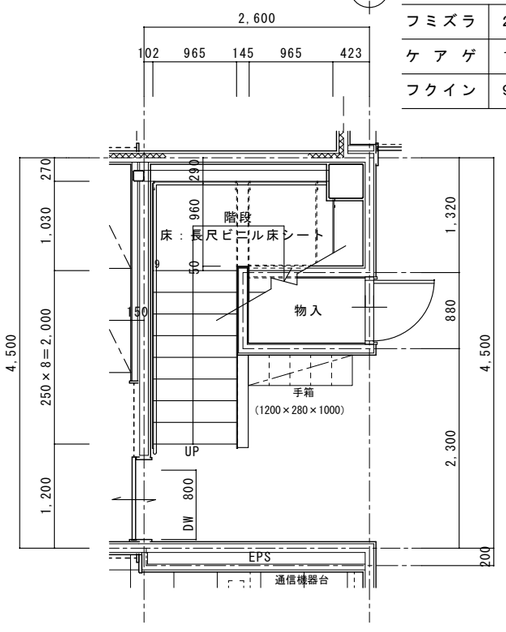
矩計図４　１通り　　S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-30
							図面名称：矩計図4　1通り　SCALE 1/50	

A2→A3縮小 71%

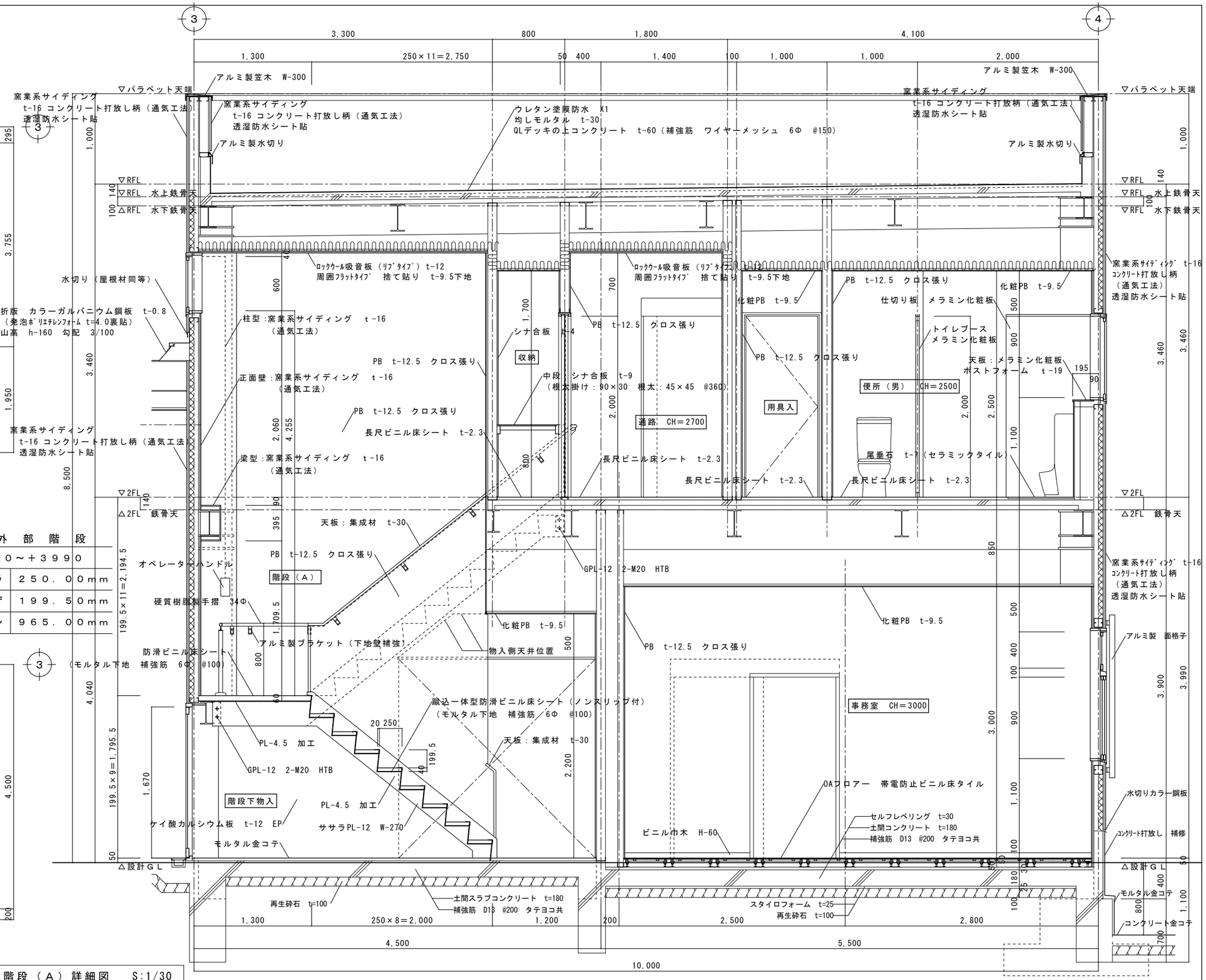


2階階段（A）平面詳細図　S:1/50



2階階段（A）平面詳細図　S:1/50

外部階段	
±0～+3990	
フミズラ	250.00mm
ケアゲ	199.50mm
フクイン	965.00mm



階段（A）詳細図　S:1/30

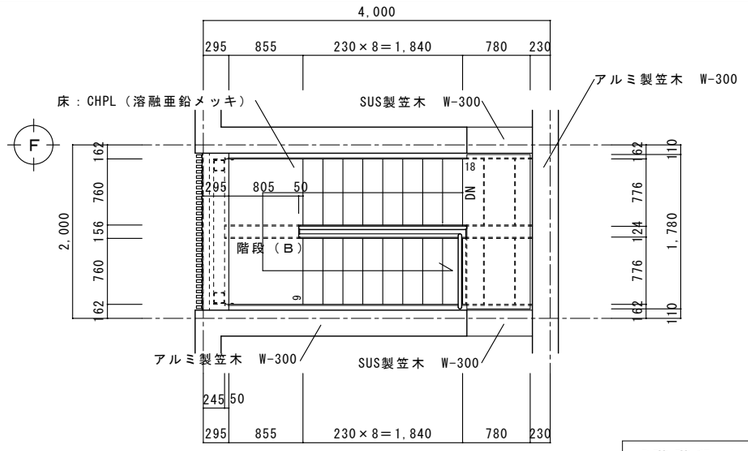
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

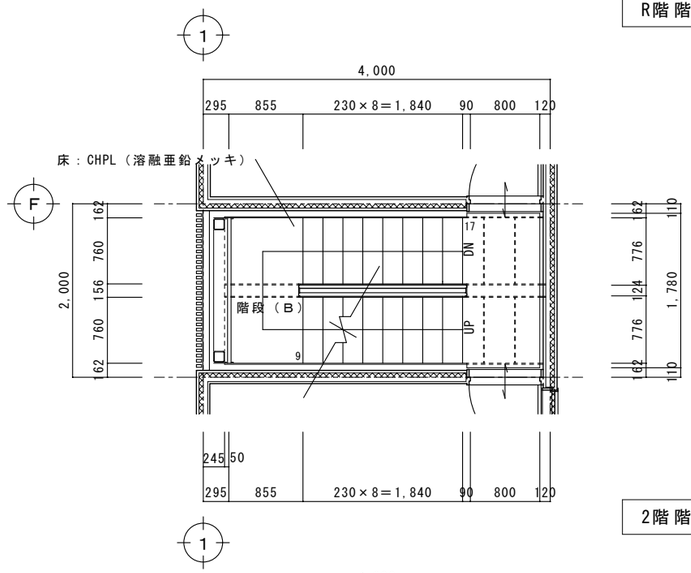
図面名称：階段詳細図（A）　SCALE　1/30　1/50

A-31

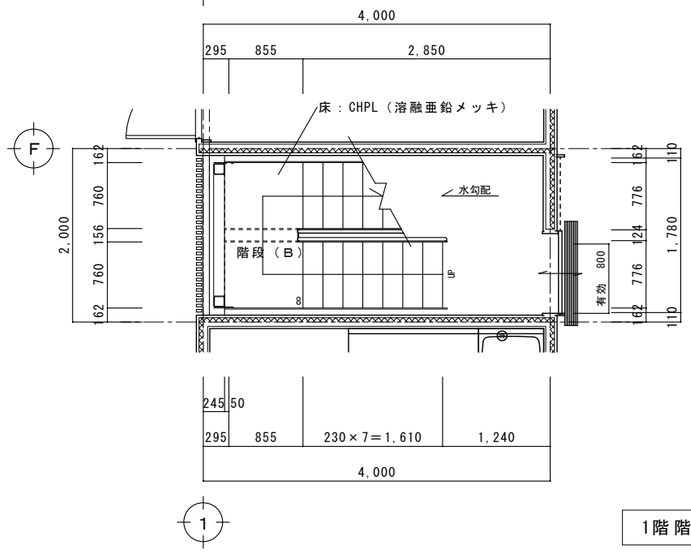
A2→A3縮小 71%



R階階段（B）平面詳細図 S:1/50

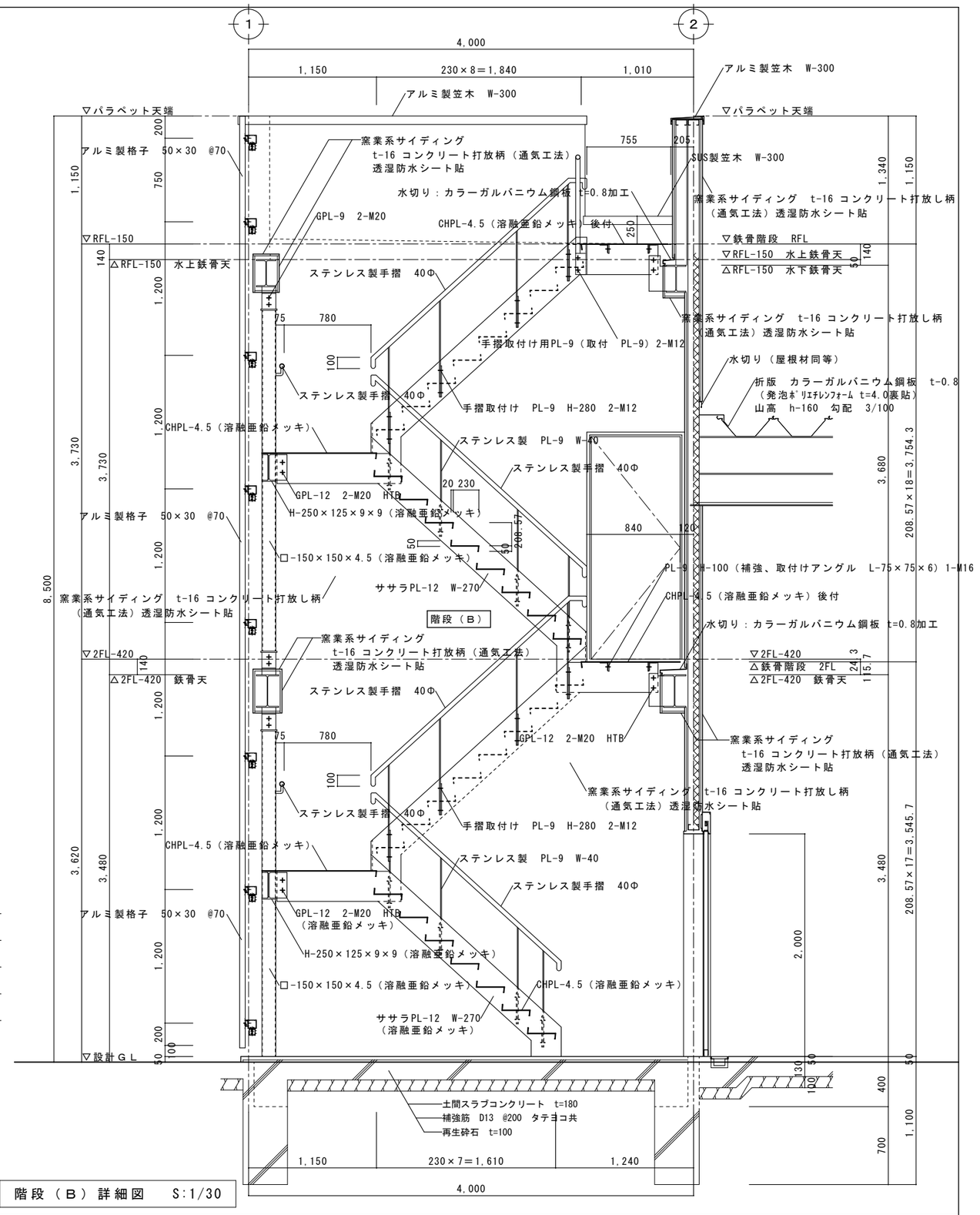


2階階段（B）平面詳細図 S:1/50



外部階段	
±0～＋7300	
フミズラ	230.00mm
ケアゲ	208.57mm
フクイン	760.00mm

1階階段（B）平面詳細図 S:1/50



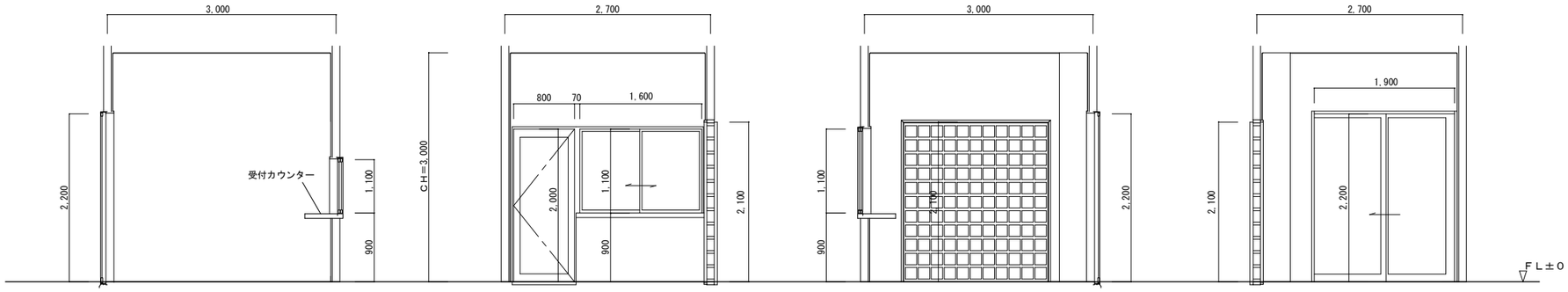
階段（B）詳細図 S:1/30

			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-32
						図面名称：階段詳細図（B） SCALE 1/30 1/50	

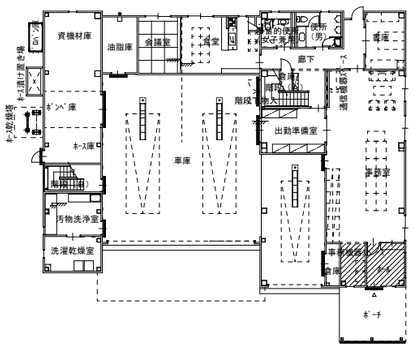
A2→A3縮小 71%

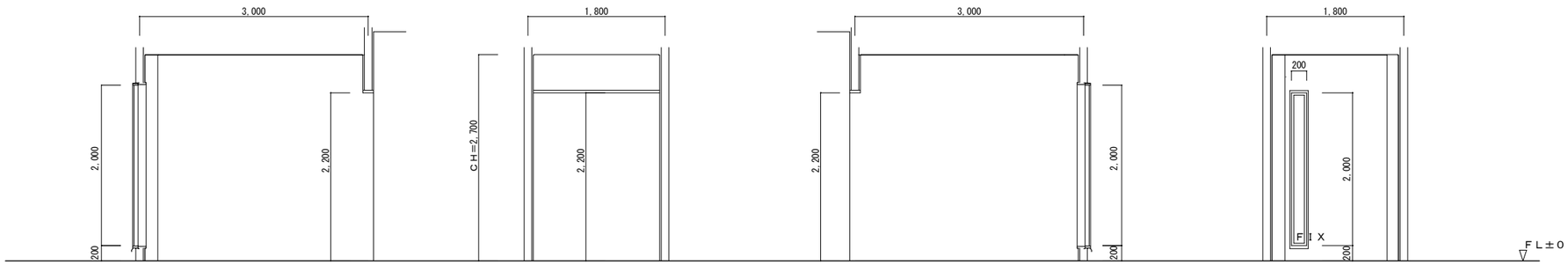
ホール

部位	仕上
床	磁器質タイル貼（無釉）150×150
	セルフレベリング材下地
	出入り口～SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ（細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ）
巾木	
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	受付カウンター



A 面　B 面　C 面　D 面





A 面　B 面　C 面　D 面

事務機器スペース

部位	仕上
床	帯電防止ビニル床タイル　t=5.0×500×500
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材下地の上　鋼製OA床下地　H-100
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

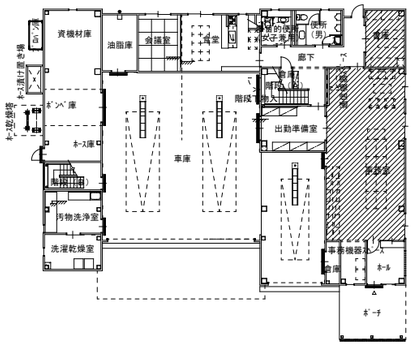
図面名称：1階展開図①ﾎｰﾙ・事務ｽﾍﾟｰｽ SCALE 1/50

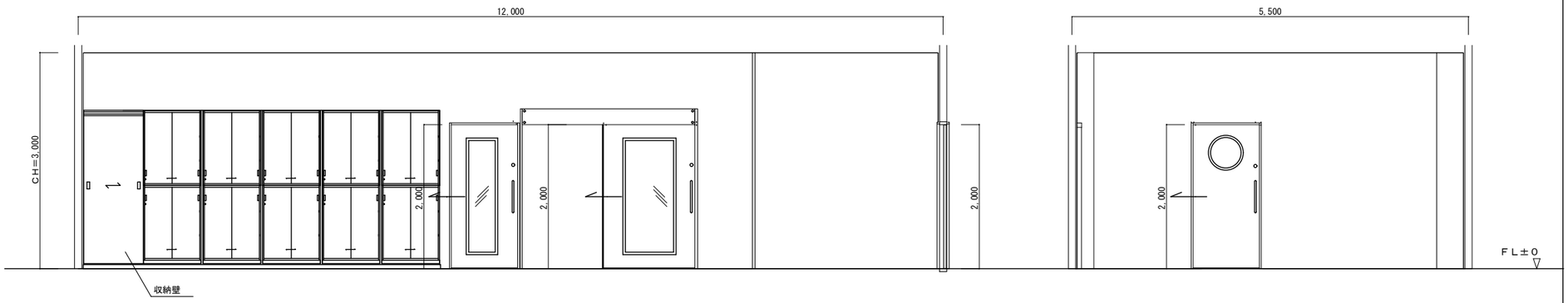
A-33

A2→A3縮小 71%

事務室

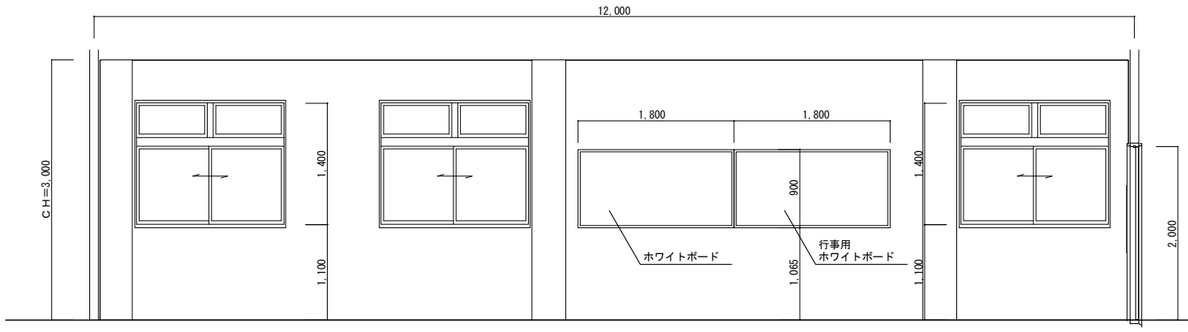
部位	仕上
床	帯電防止ビニル床タイル　t=5.0×500×500
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材下地の上　鋼製OA床下地　H-100
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)t=12.0/周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ
	捨て張り工法 t=9.5下地
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	行事用ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞW1800×H900
	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（無地）W1800×H900
	収納壁 W4962×950×H2216、室名札
	机、通信機器台、応接セット～別途



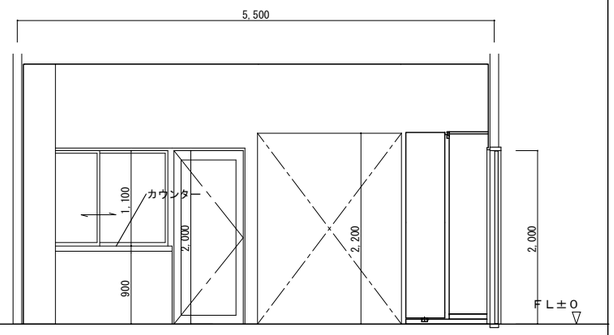


A 面

B 面



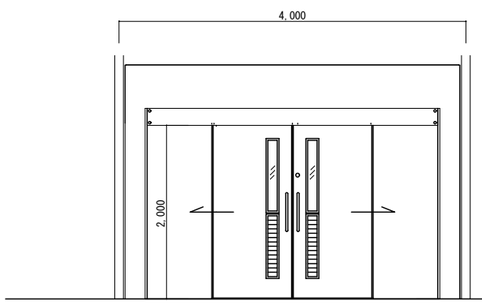
C 面



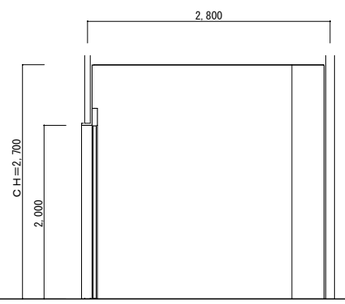
D 面

書庫

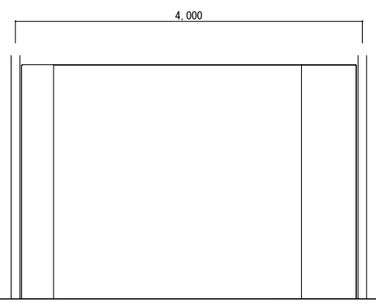
部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	セルフレベリング材下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札
	収納棚～別途



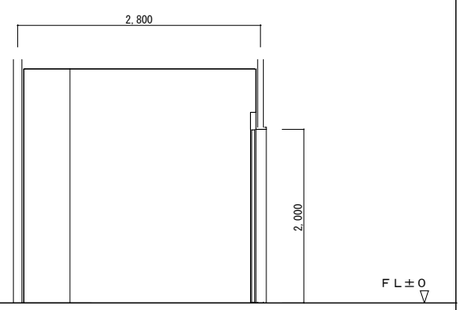
A 面



B 面



C 面



D 面

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

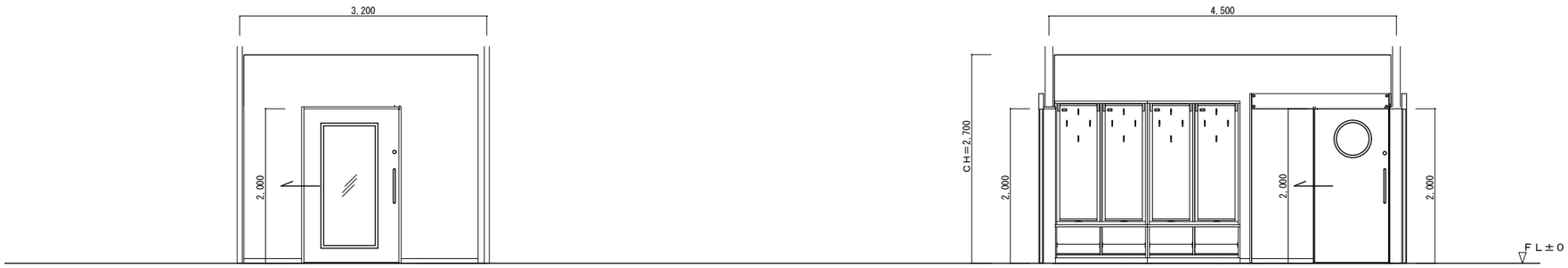
図面名称：1階展開図②事務室・書庫　SCALE　1/50

A-34

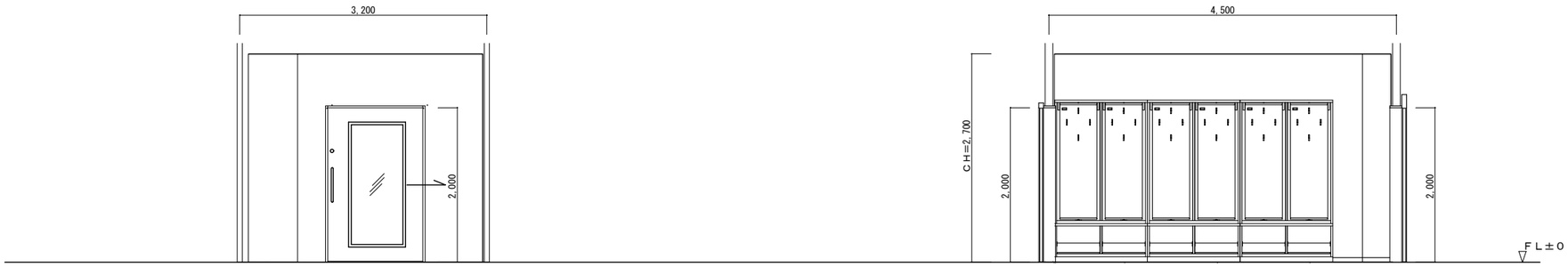
A2→A3縮小 71%

出動準備室

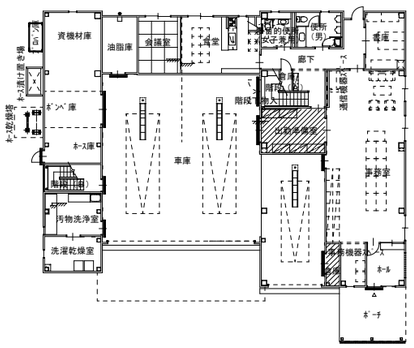
部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	セルフレベリング材下地
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札
	回転式防火服ロッカー　1200×600×2700
	（2交代2列　5台　上部：上置きロッカー付）



A 面　　B 面

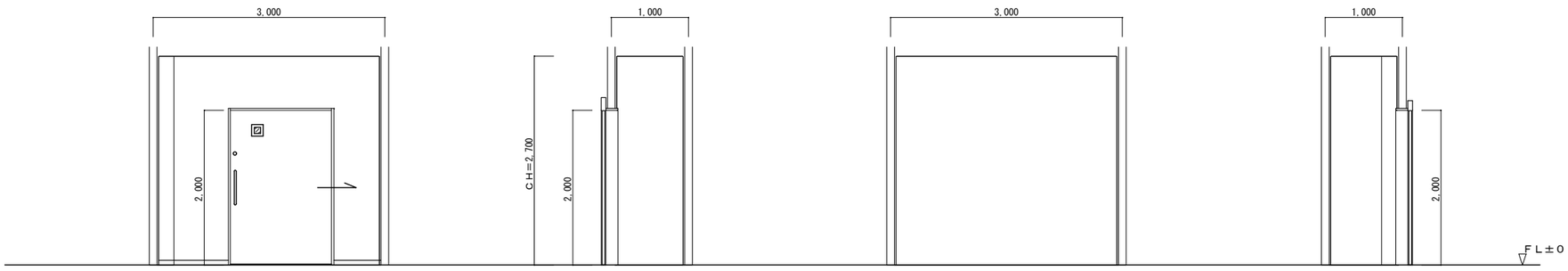


C 面　　D 面



倉庫

部位	仕上
床	モルタル金コテ
巾木	モルタル金コテ　H=350
壁	ケイ酸カルシウム板　t-8　AEP
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板　t-6　AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札



A 面　　B 面　　C 面　　D 面

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

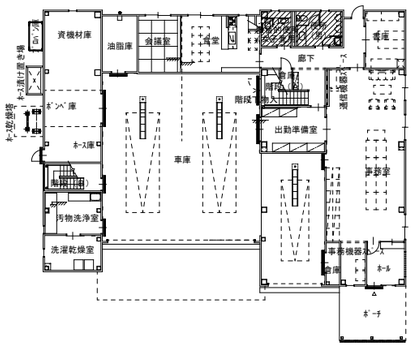
図面名称：1階展開図③出動準備室・倉庫　SCALE　1/50

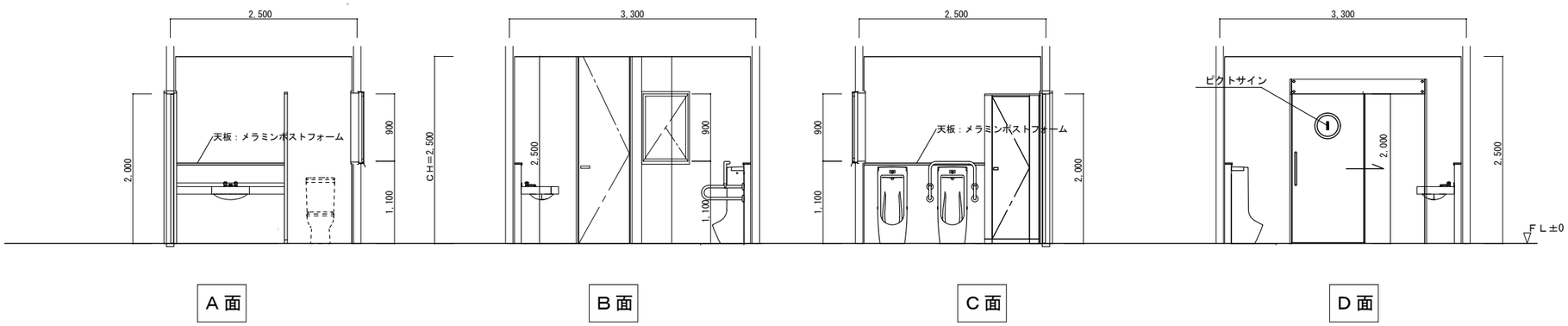
A-35

A2→A3縮小 71%

便所（男）

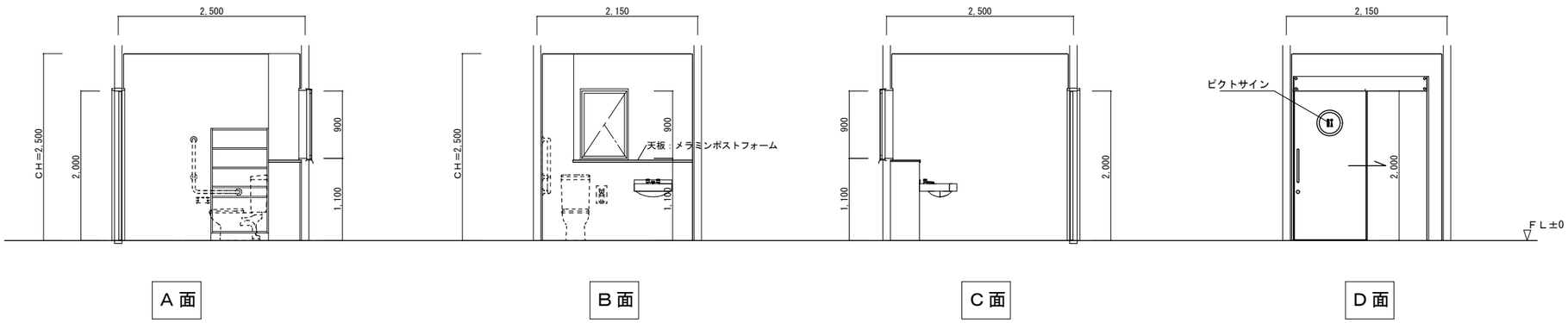
部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3　一部：汚垂石
	セルフレベリング材下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札・トイレブース・ライニングバック
	ピクトサイン





多目的便所（女子兼用）

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	セルフレベリング材下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札・トイレブース・ライニングバック
	ピクトサイン



				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-36
							図面名称：1階展開図④便所（男）・多目的便所（女子兼用）　SCALE　1/50	

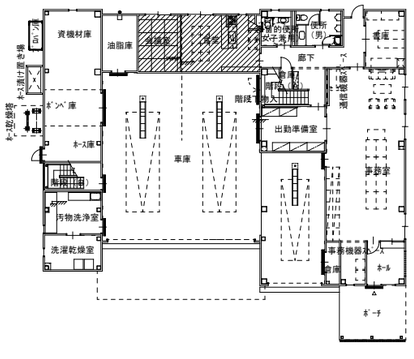
A2→A3縮小 71%

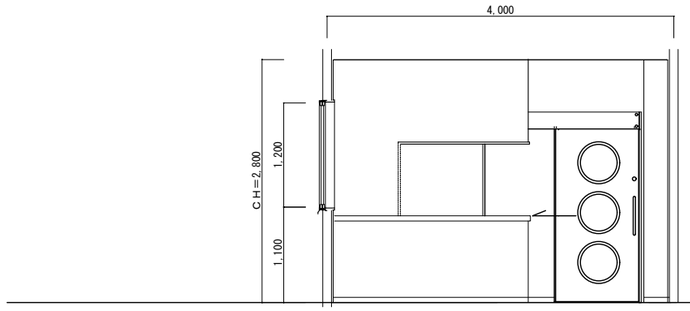
食堂

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	セルフレベリング材下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H=60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(3'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札・システムキッチンL-2250ﾃｰﾌﾞﾙ椅子～別途
	食器棚　W-900、収納棚　2545×300×2800
	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ　3000×2740※ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応

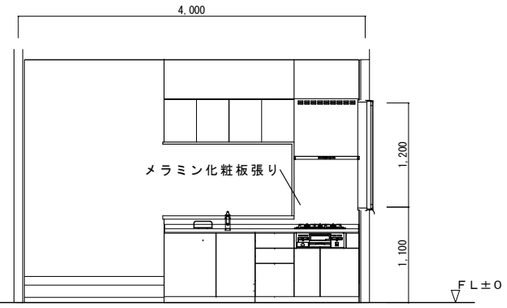
会議室

部位	仕上
床	琉球タタミ　t-55　一部：フローリング張り
	木床組、ラワン合板　t-12下地
巾木	畳寄せ　H=55
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(3'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	上がり框

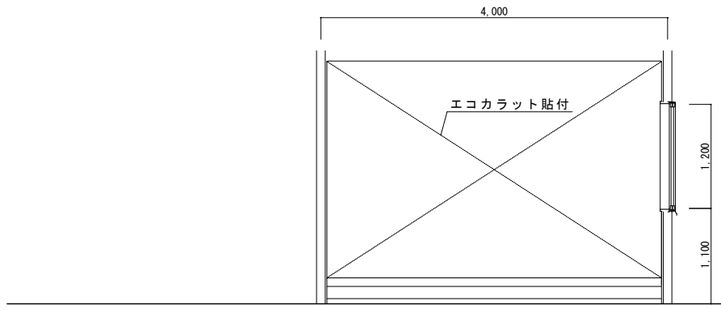




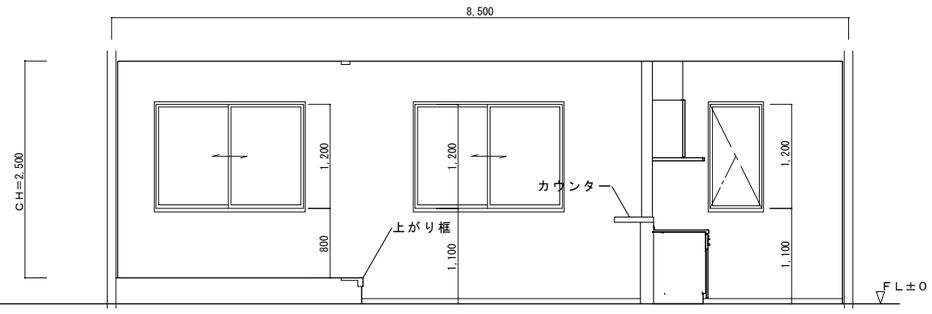
C面



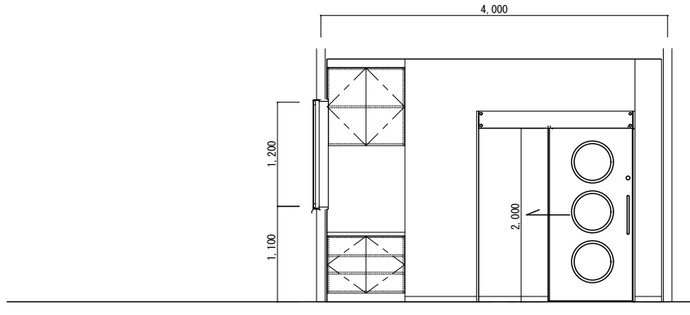
D面



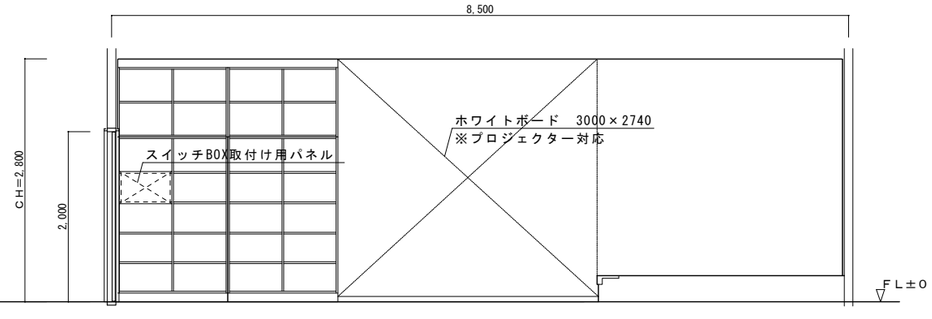
A面



B面



C面



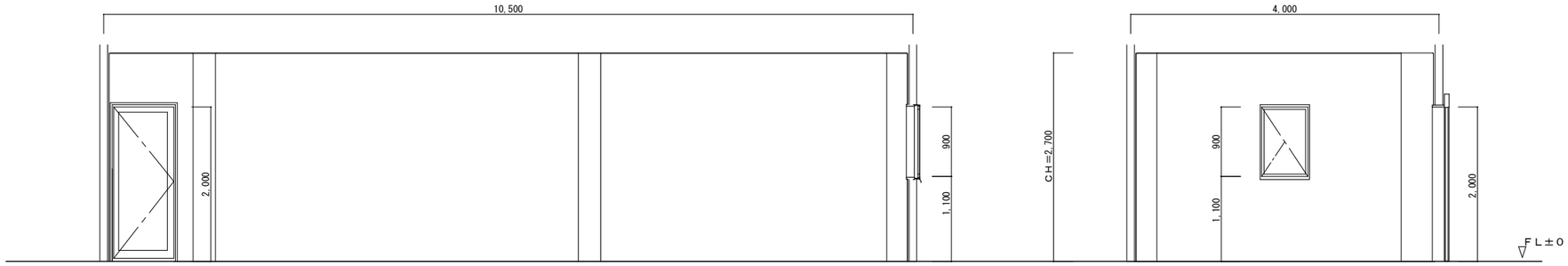
D面

			承認	検図	P & D		
						工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-37
		山本　健司				図面名称：1階展開図⑤食堂・会議室　SCALE　1/50	

A2→A3縮小 71%

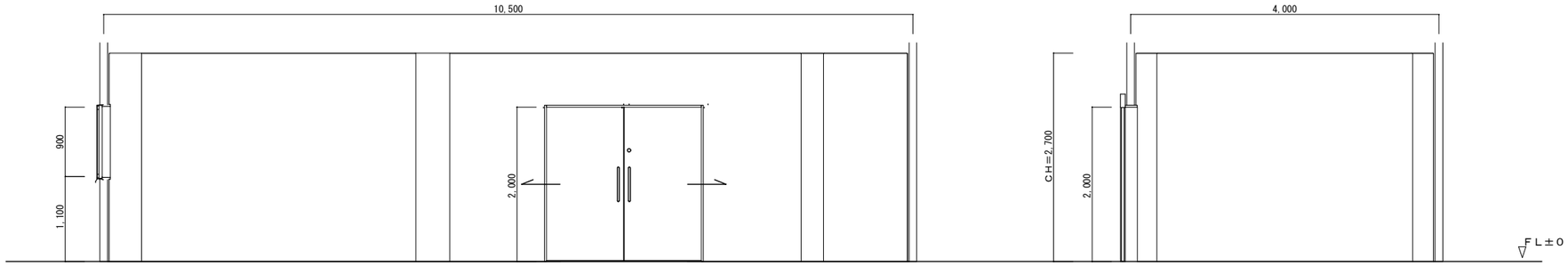
資機材庫

部位	仕上
床	モルタル金コテ
巾木	モルタル金コテ　H350
壁	ケイ酸カルシウム板　t-8　AEP
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板　t-6　AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札

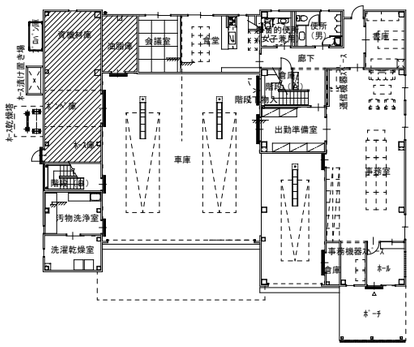


A 面

B 面

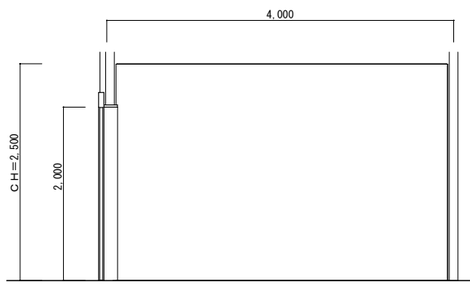


C 面　　D 面

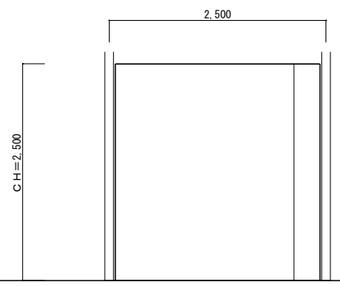


油脂庫

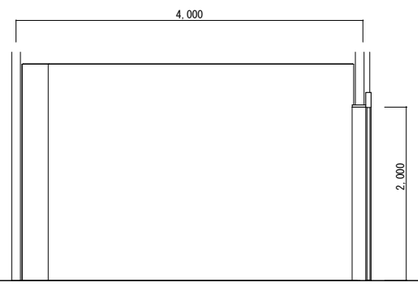
部位	仕上
床	モルタル金コテ
巾木	モルタル金コテ　H350
壁	ケイ酸カルシウム板　t-8　AEP
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板　t-6　AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札、溜め桝（モルタル仕上）



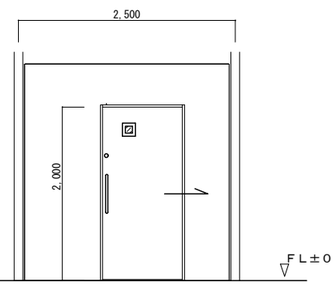
A 面



B 面



C 面



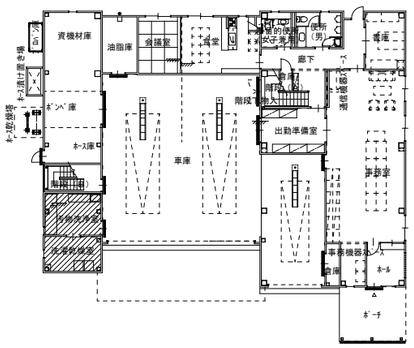
D 面

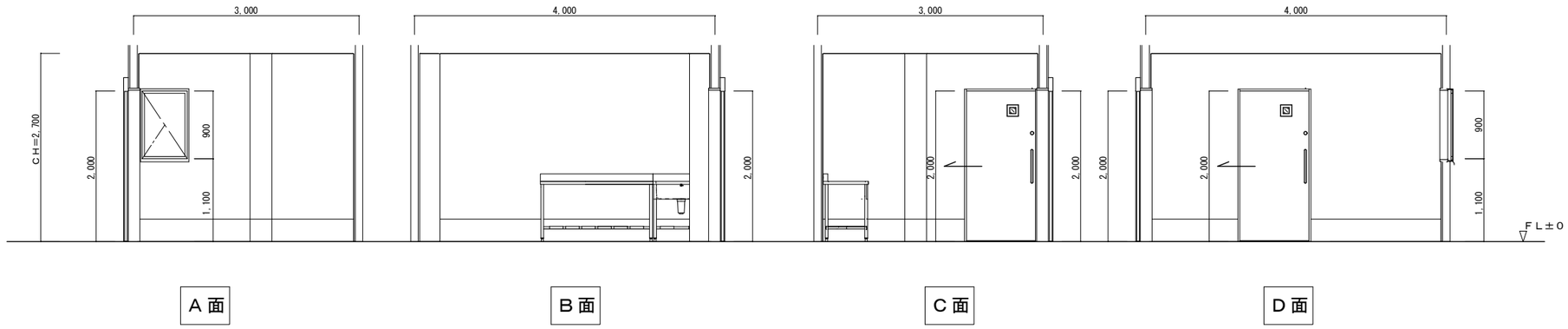
			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-38
						図面名称：1階展開図⑥資機材庫・油脂庫　SCALE　1/50	

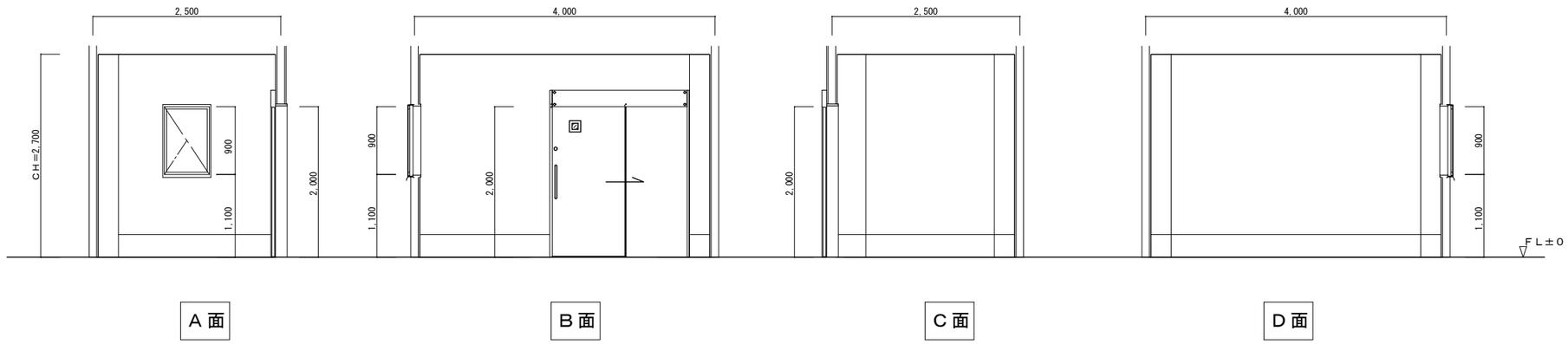
A2→A3縮小 71%

汚物洗浄室

部位	仕上
床	エポキ樹脂塗り床
	モルタル下地
巾木	エポキ樹脂塗り床　H350
壁	ケイ酸カルシウム板　t-8　AEP
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板　t-6　AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札・下流し（エポキシ樹脂塗り床）
	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾃｰﾌﾞﾙ　W1500×D600×H800
	ｽﾃﾝﾚｽ製流し　W750×D600×H800







洗濯乾燥室

部位	仕上
床	モルタル金コテ
巾木	モルタル金コテ　H350
壁	ケイ酸カルシウム板　t-8　AEP
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁下地
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板　t-6　AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札・樹脂製洗濯パン　W740ｘD640

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

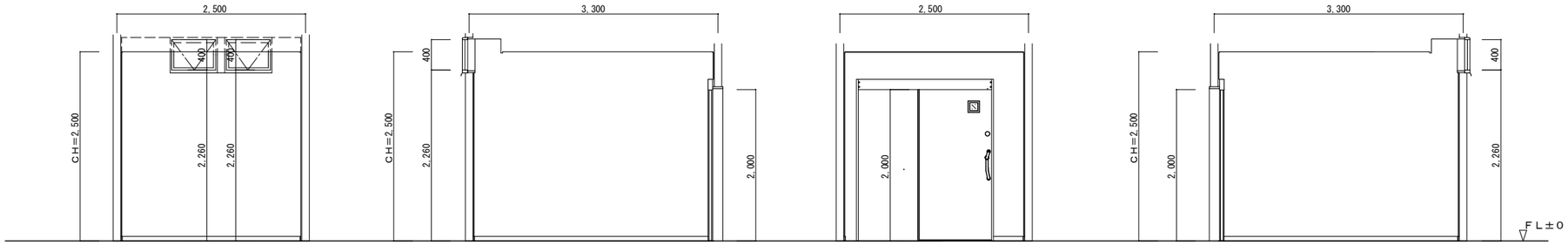
図面名称：1階展開図⑦ 汚物洗浄室・洗濯乾燥室 SCALE　1/50

A-39

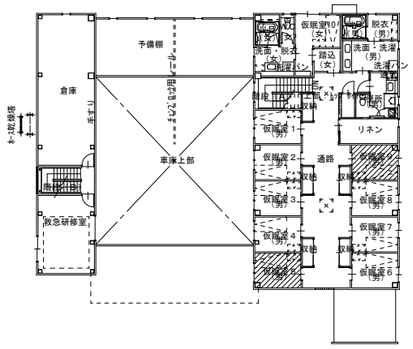
A2→A3縮小 71%

仮眠室５

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：１時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札
	高窓（600×400　2連）
	２段ベッド、ロッカー～別途

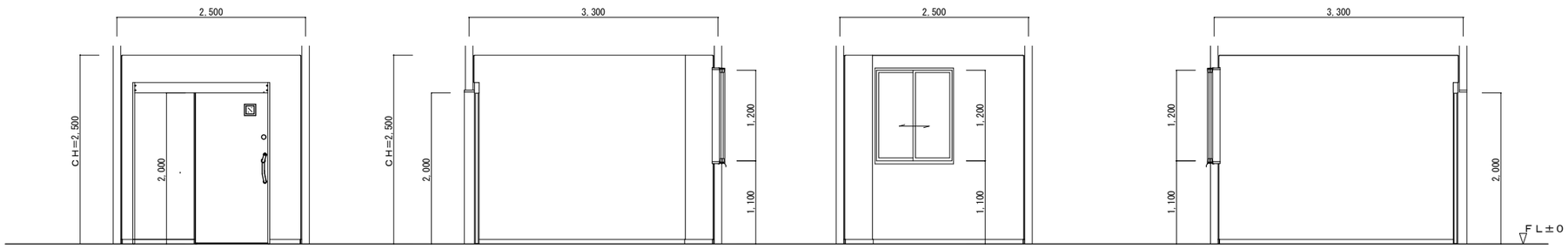


Ａ面　Ｂ面　Ｃ面　Ｄ面



仮眠室９

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(3'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
壁	室名札
	２段ベッド、ロッカー～別途



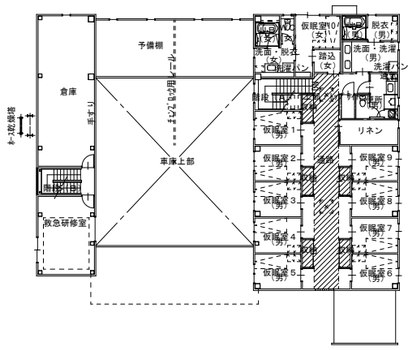
Ａ面　Ｂ面　Ｃ面　Ｄ面

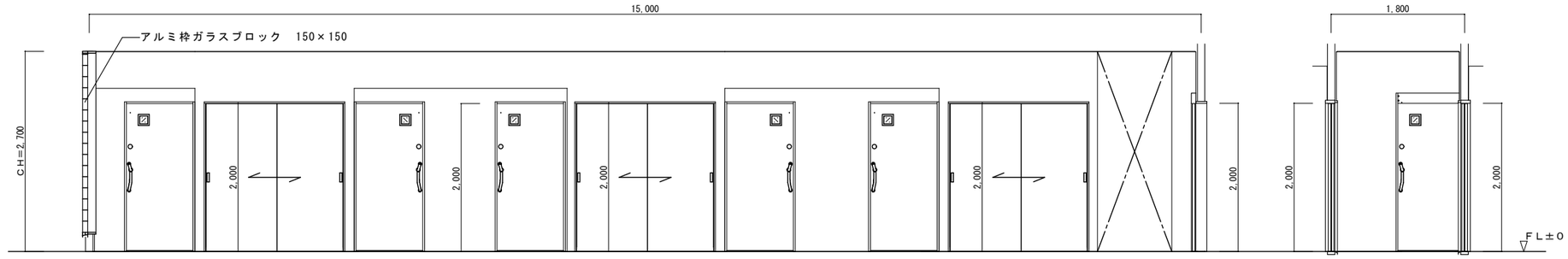
			承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-40
						図面名称：2階展開図①仮眠室5・9（男）SCALE　1/50	

A2→A3縮小 71%

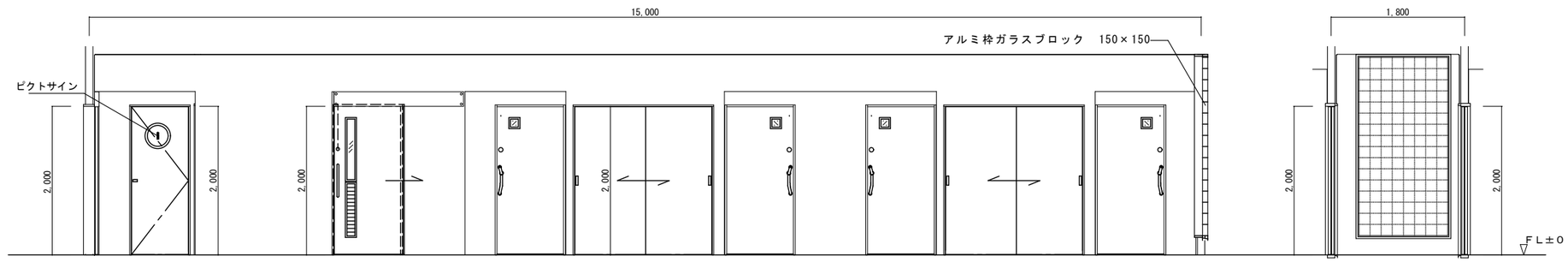
通路

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板（リブタイプ）t-12
	周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ　P.B　t=9.5下地
	下り壁部：PB　t-9.5　クロス張り
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	開閉式トップライト　900×900（２ヶ所）

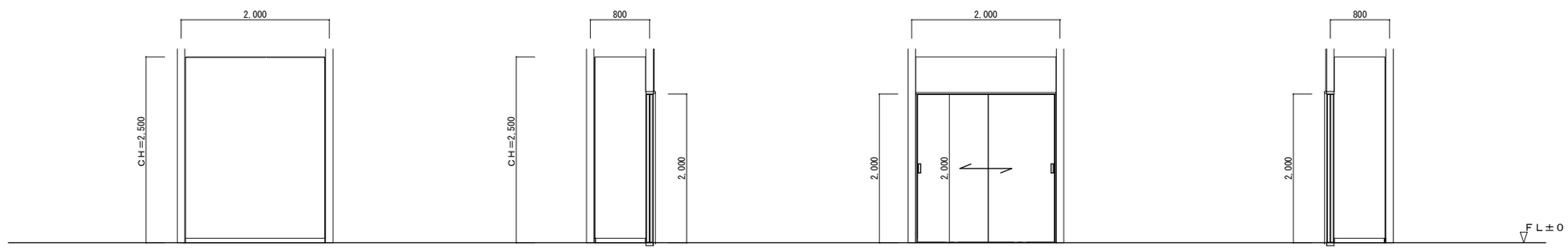




Ａ面　　Ｂ面



Ｃ面　　Ｄ面



Ａ面　　Ｂ面　　Ｃ面　　Ｄ面

収納

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	シナ合板　t-4
天井	シナ合板　t-4
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	中段・枕棚（一ヶ所ノミ）

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

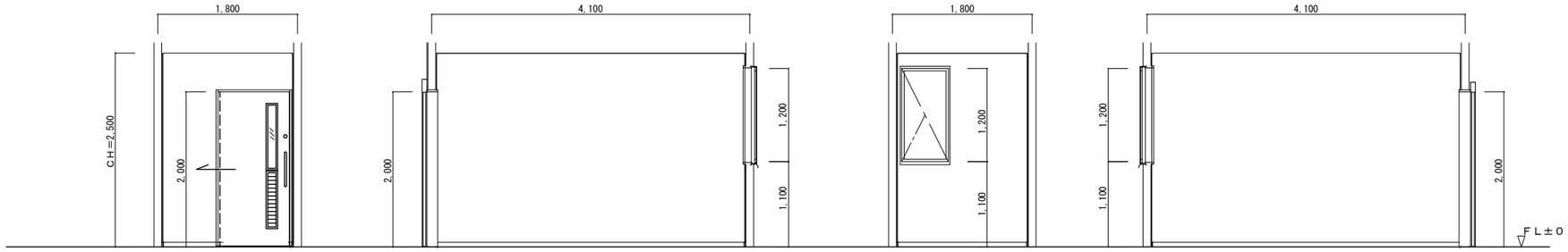
図面名称：2階展開図②通路・収納　　SCALE　1/50

A-41

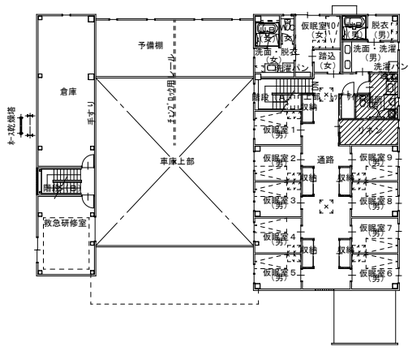
A2→A3縮小 71%

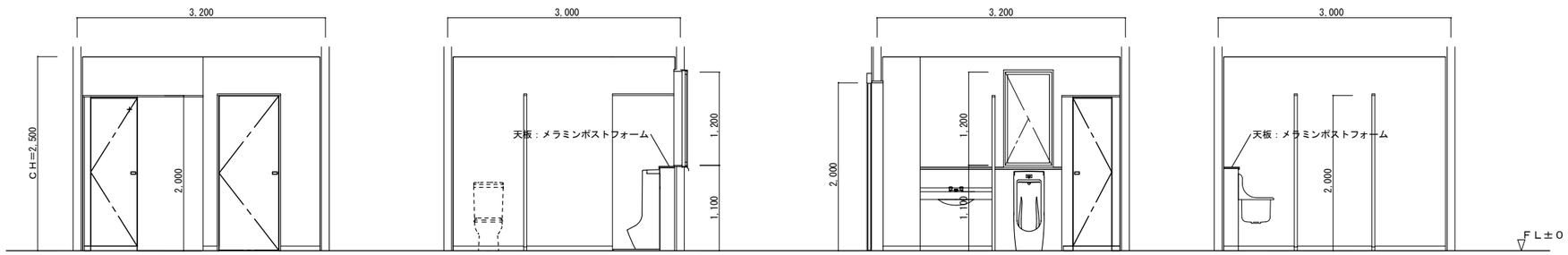
リネン

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札
	収納棚～別途



A 面　B 面　C 面　D 面





A 面　B 面　C 面　D 面

便所（男）

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	トイレブース・ライニングバック・ピクトサイン・室名札

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：2階展開図③ﾘﾈﾝ・便所（男）SCALE　1/50

A-42

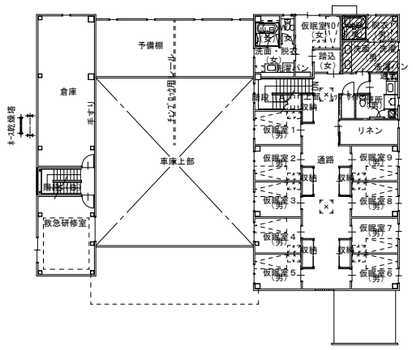
A2→A3縮小 71%

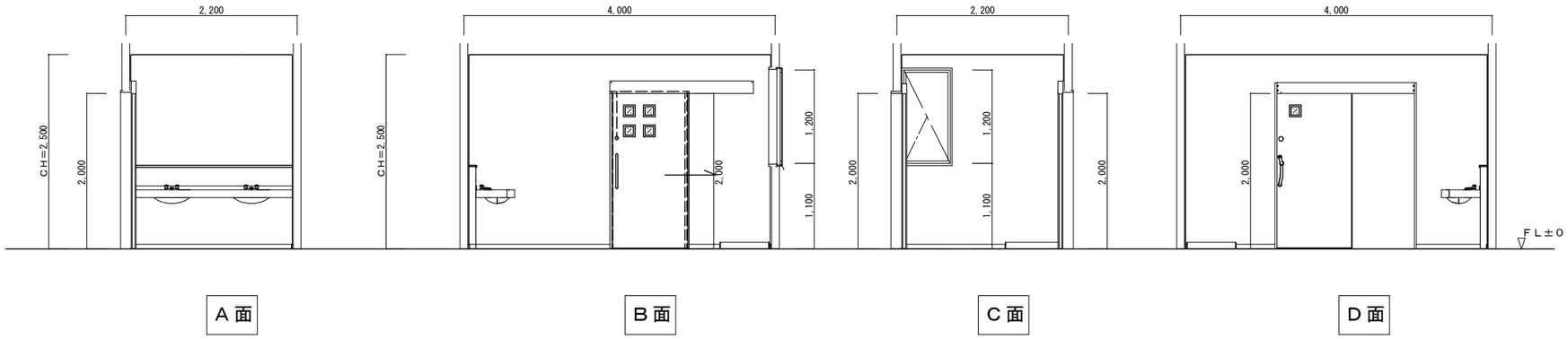
洗面・洗濯室

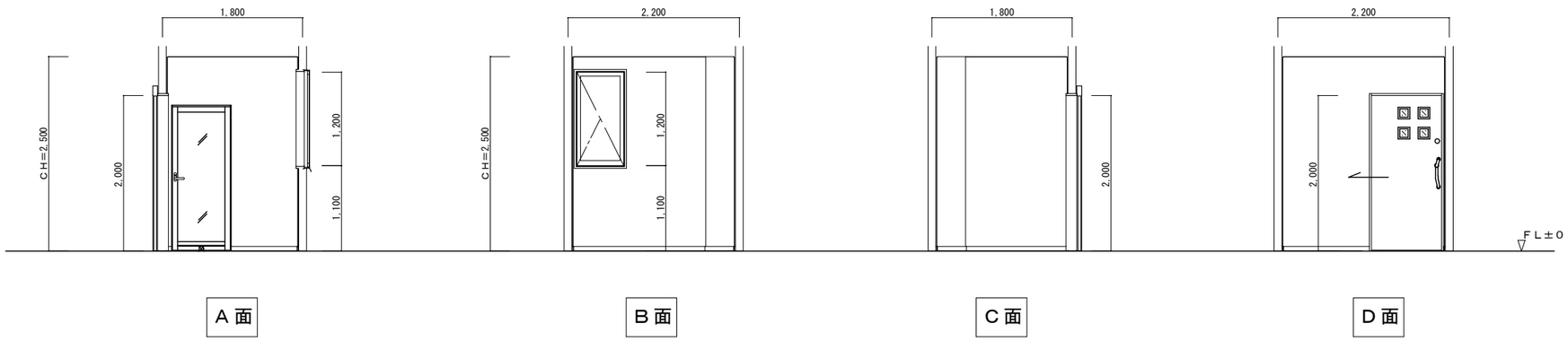
部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	樹脂製洗濯パン　W740xD640・ﾗｲﾆﾝｸﾞﾊﾞｯｸ・室名札

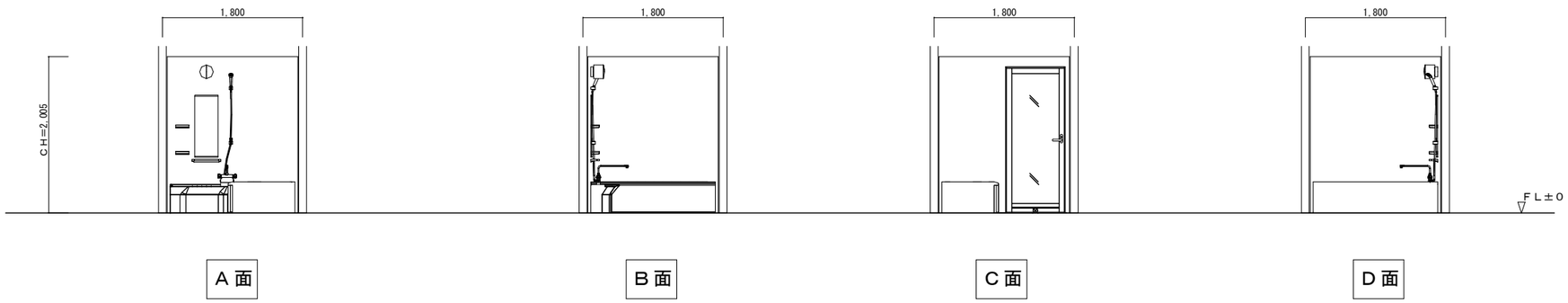
脱衣室

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	収納棚～別途









ＵＢ1616（LIXIL　ｷﾚｲｻｰﾓﾌﾛｱ　CX　同等）

部位	仕上
床	UB仕様に準ずる
壁	UB仕様に準ずる
天井	UB仕様に準ずる
備考	追焚き仕様

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

2階展開図④ 洗面・洗濯室

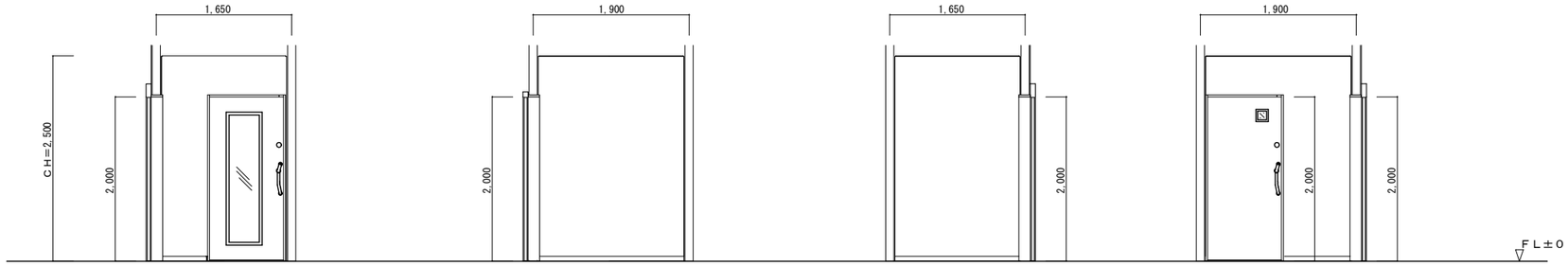
図面名称：脱衣室（男）・ＵＢ　　SCALE　1/50

A-43

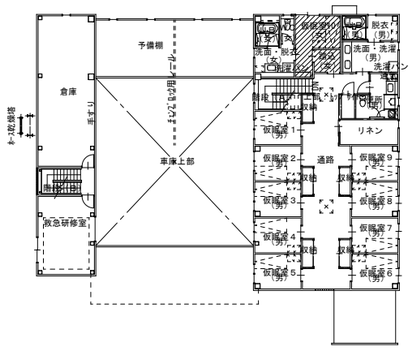
A2→A3縮小 71%

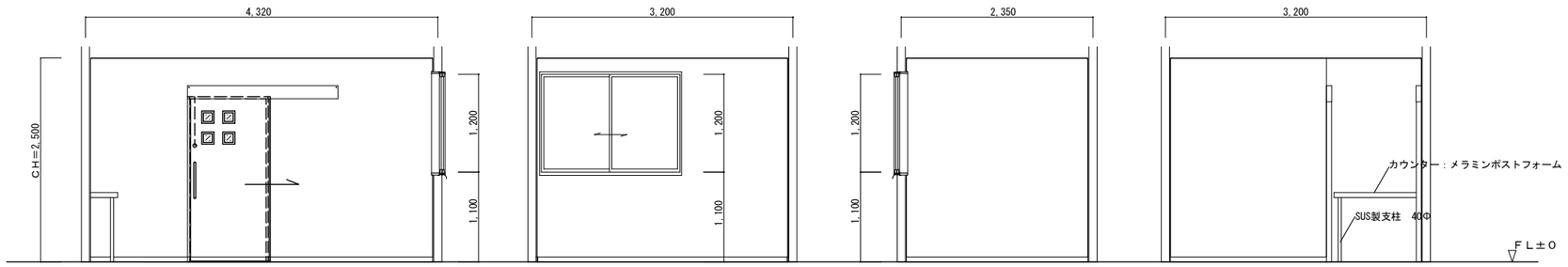
踏込

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札



Ａ面　Ｂ面　Ｃ面　Ｄ面





Ａ面　Ｂ面　Ｃ面　Ｄ面

仮眠室１０

部位	仕上
床	長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	カウンター

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

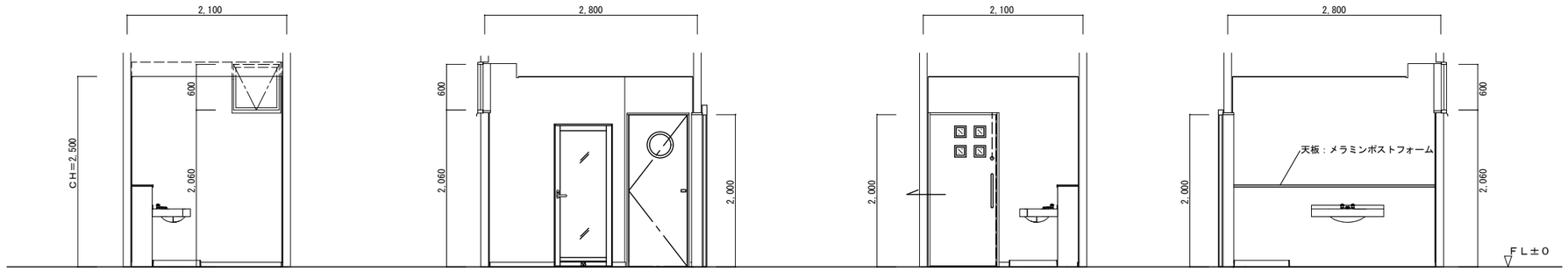
図面名称：2階展開図⑤ 踏込・仮眠室10（女）　SCALE　1/50

A-44

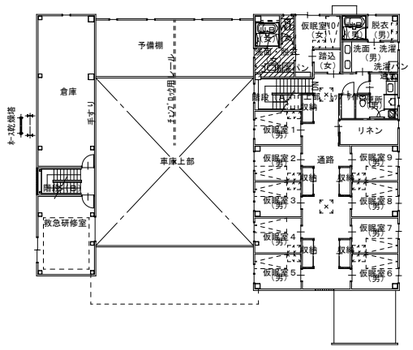
A2→A3縮小 71%

洗面脱衣室（女）

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(3'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	樹脂製洗濯パン　W740xD640・室名札・ﾗｲﾆﾝｸﾞﾊﾞｯｸ



A面　B面　C面　D面



A面　B面　C面　D面

便所（女）

部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート　t-2.3
	モルタル下地※土足仕様
巾木	ソフト巾木　H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B　t=12.5の上
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(3'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	ライニングバック

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

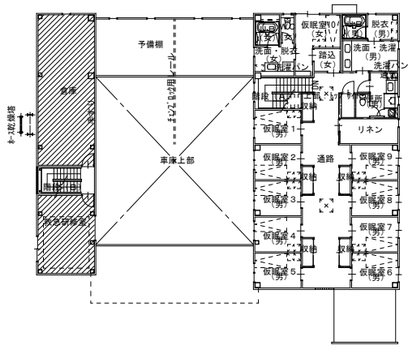
図面名称：2階展開図⑥ 洗面脱衣室・便所（女）SCALE　1/50

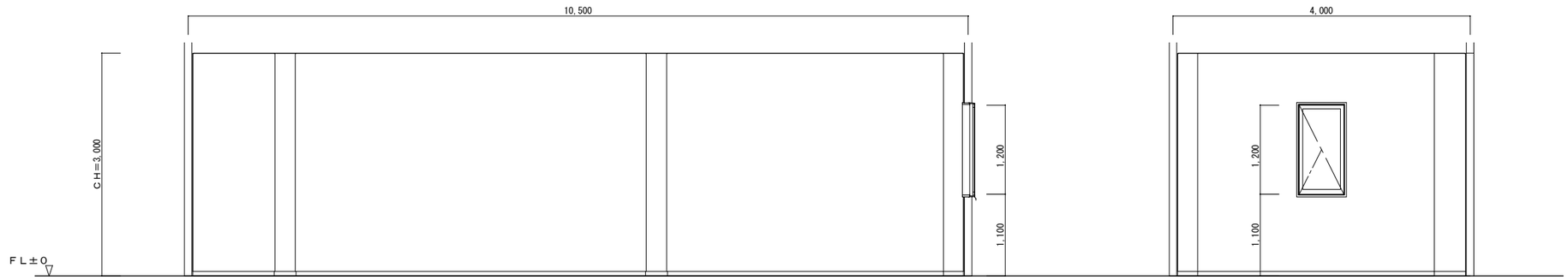
A-45

A2→A3縮小 71%

倉庫

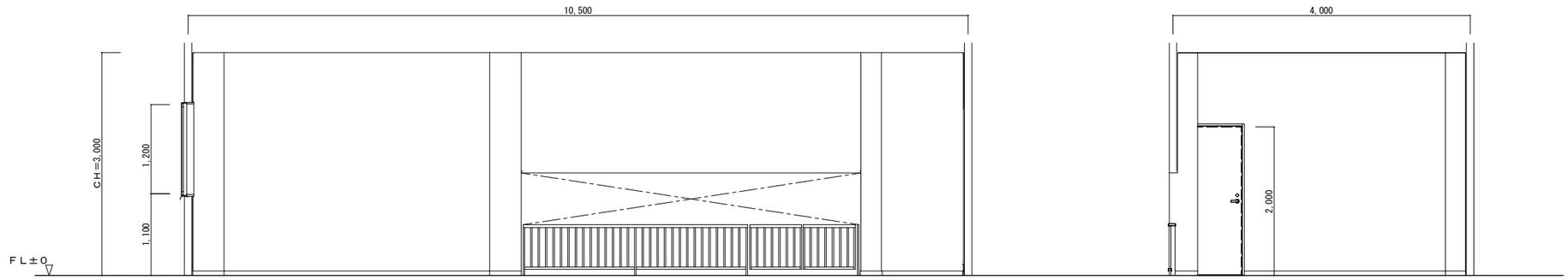
部位	仕上
床	金コテモルタル
	床スラブ小口：コーナーガード取付け
巾木	モルタル金コテ H350
壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放柄）t=16mm 通気工法
	軽量鉄骨下地
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	ケイ酸カルシウム板 t-6 AEP
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札





A面

B面

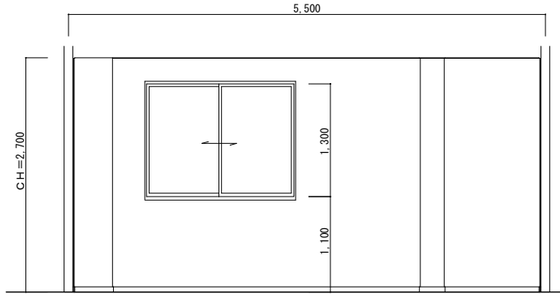


C面

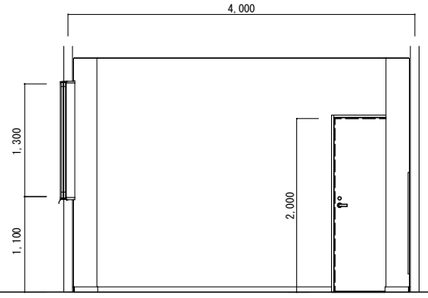
D面

救急研修室（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室）

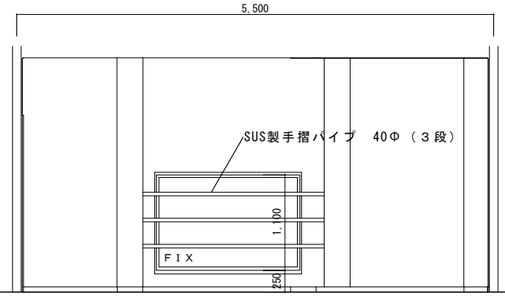
部位	仕上
床	防滑長尺ビニル床シート t-2.3
	モルタル下地
	防振仕様
巾木	ソフト巾木 H60
壁	ビニールクロス貼（ＡＡ級）
	P.B t=12.5の上
	車庫境壁：1時間準耐火構造壁（PB t=12.5+12.5下地）FP060BP-9225
天井	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)
廻り縁	塩ビ廻縁
備考	室名札



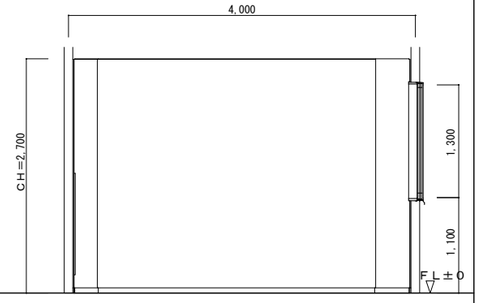
A面



B面



C面



D面

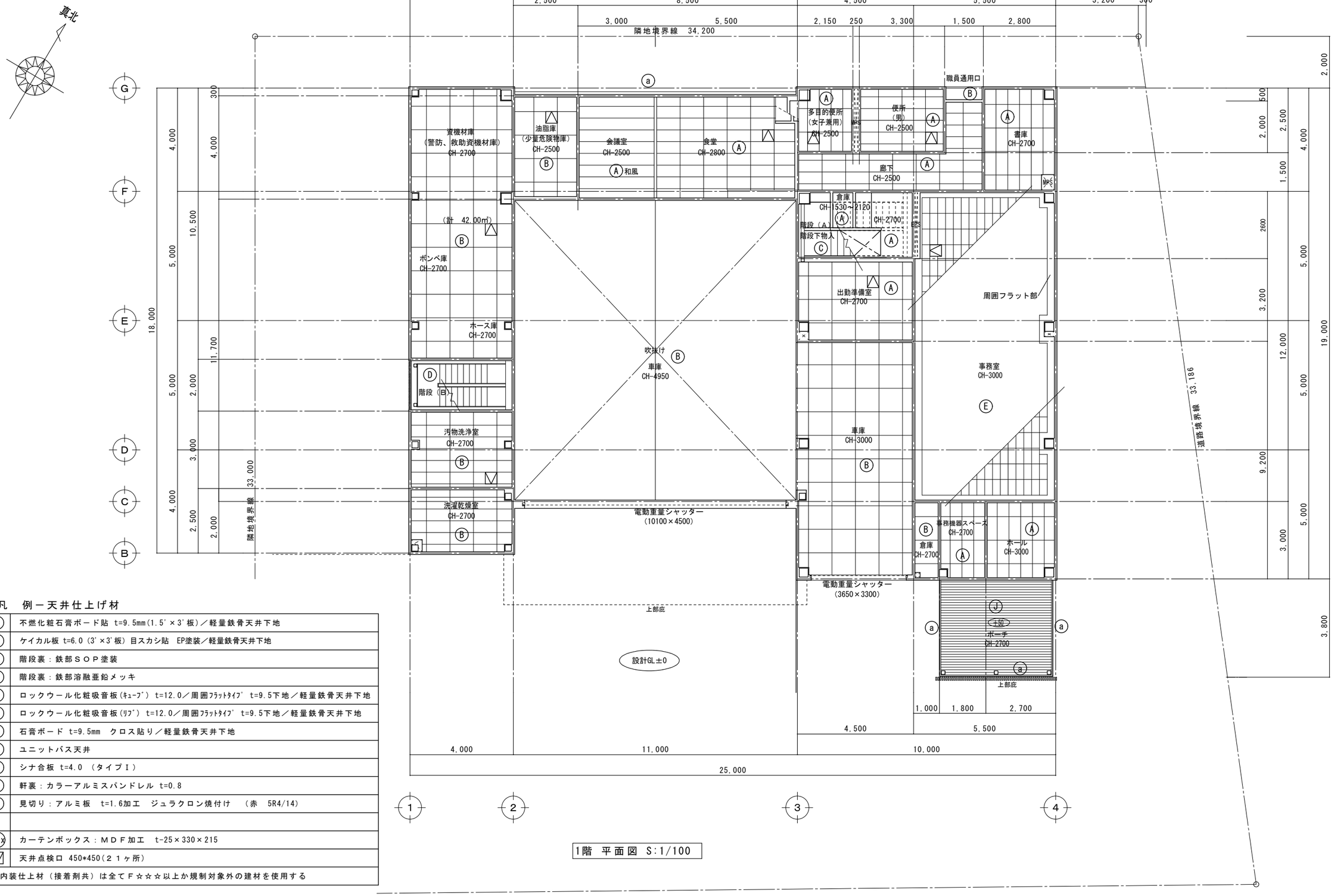
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：2階展開図⑦ 倉庫・救急研修室（ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室） SCALE 1/50

A-46

A2→A3縮小 71%



1階 平面図 S:1/100

凡 例ー天井仕上げ材

Ⓐ	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)／軽量鉄骨天井下地
Ⓑ	ケイカル板 t=6.0(3'×3'板) 目スカシ貼 EP塗装／軽量鉄骨天井下地
Ⓒ	階段裏：鉄部ＳＯＰ塗装
Ⓓ	階段裏：鉄部溶融亜鉛メッキ
Ⓔ	ロックウール化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t=9.5下地／軽量鉄骨天井下地
Ⓕ	ロックウール化粧吸音板(ﾘﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t=9.5下地／軽量鉄骨天井下地
Ⓖ	石膏ボード t=9.5mm クロス貼り／軽量鉄骨天井下地
Ⓗ	ユニットバス天井
Ⓘ	シナ合板 t=4.0 （タイプⅠ）
Ⓙ	軒裏：カラーアルミスパンドレル t=0.8
ⓐ	見切り：アルミ板 t=1.6加工 ジュラクロン焼付け （赤 5R4/14）
(box)	カーテンボックス：ＭＤＦ加工 t-25×330×215
▽	天井点検口 450*450(２１ヶ所)
＊内装仕上材（接着剤共）は全てＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材を使用する	

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：1階 天井伏図 SCALE 1/100

A-47

A2→A3縮小 71%

凡　例－天井仕上げ材

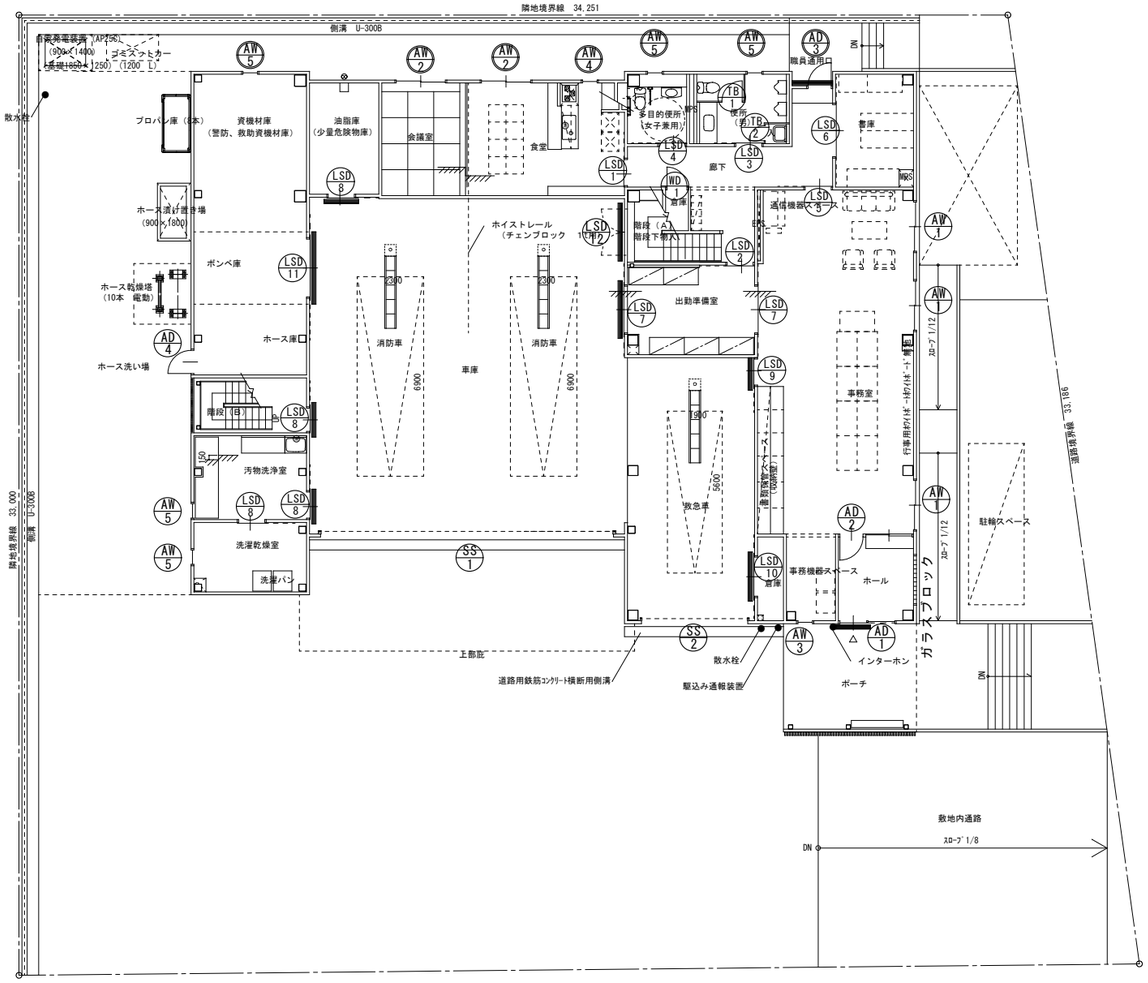
Ⓐ	不燃化粧石膏ボード貼 t=9.5mm(1.5'×3'板)／軽量鉄骨天井下地
Ⓑ	ケイカル板 t=6.0 (3'×3'板) 目スカシ貼 EP塗装／軽量鉄骨天井下地
Ⓒ	階段裏：鉄部ＳＯＰ塗装
Ⓓ	階段裏：鉄部溶融亜鉛メッキ
Ⓔ	ロックウール化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t=9.5下地／軽量鉄骨天井下地
Ⓕ	ロックウール化粧吸音板(ﾘﾌﾞ) t=12.0／周囲ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ t=9.5下地／軽量鉄骨天井下地
Ⓖ	石膏ボード t=9.5mm クロス貼り／軽量鉄骨天井下地
Ⓗ	ユニットバス天井
Ⓘ	シナ合板 t=4.0 （タイプＩ）
Ⓙ	軒裏：カラーアルミスパンドレル t=0.8
ⓐ	見切り：アルミ板 t=1.6加工 ジュラクロン焼付け （赤 5R4/14）
box	カーテンボックス：ＭＤＦ加工 t-25×330×215
▽	天井点検口 450*450(２１ヶ所)

＊内装仕上材（接着剤共）は全てＦ☆☆☆以上か規制対象外の建材を使用する

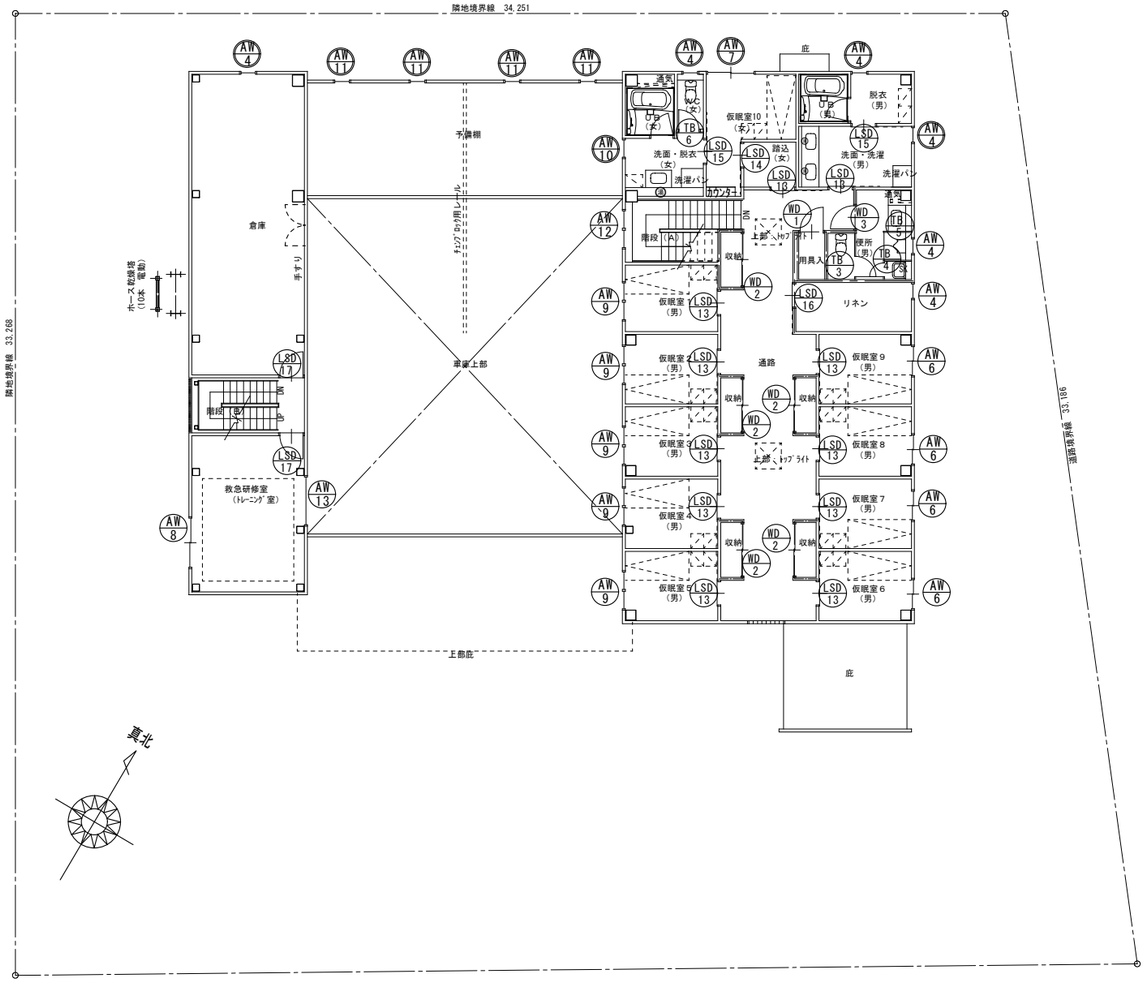
2階 平面図 S:1/100

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-48
			図面名称：2階 天井伏図　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%



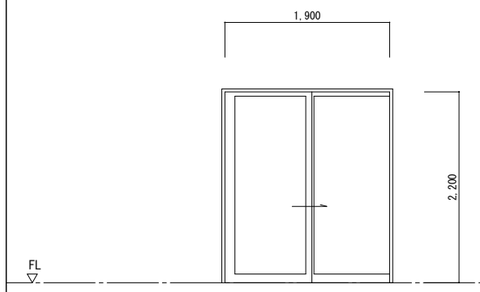
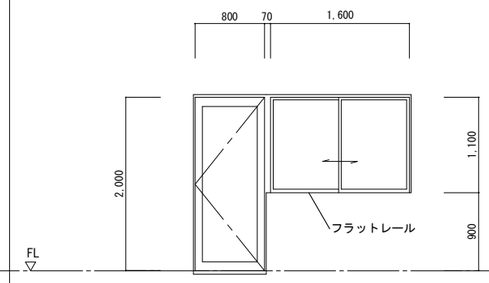
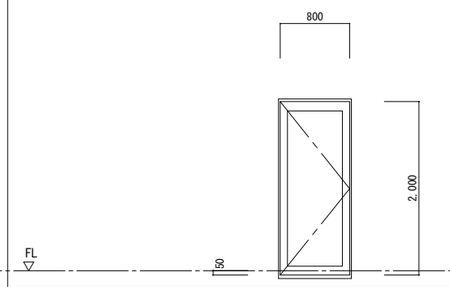
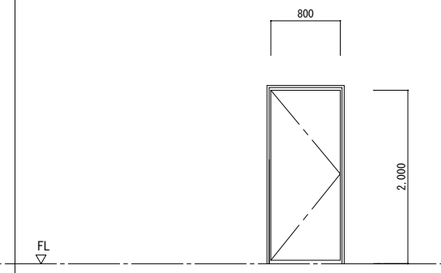
1階 平面図 S:1/150

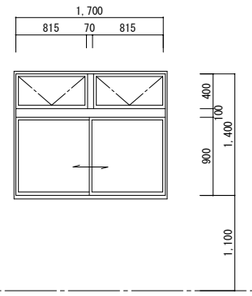
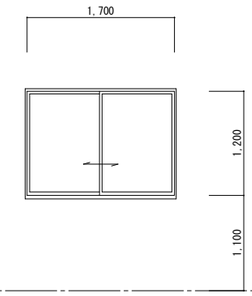
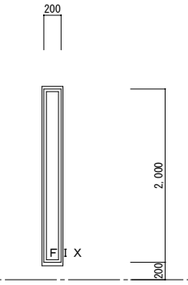


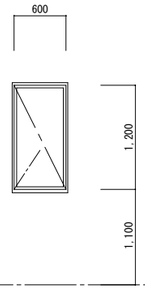
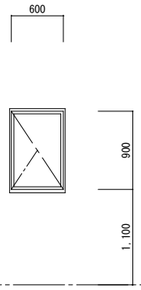
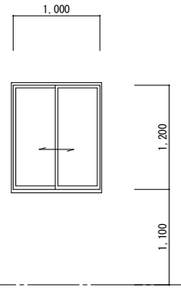
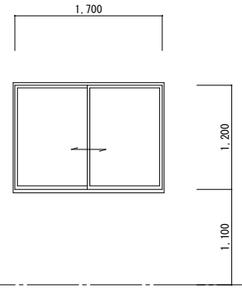
2階 平面図 S:1/150

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-49
							図面名称：建具指示図 SCALE 1/150	

A2→A3縮小 71%

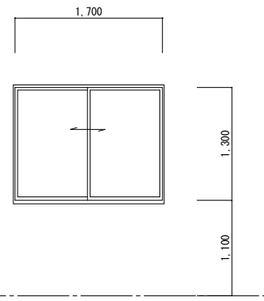
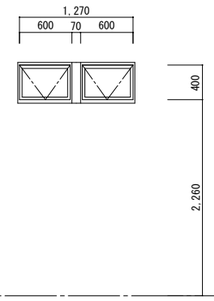
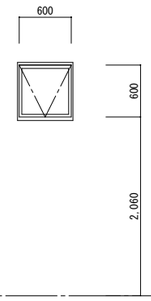
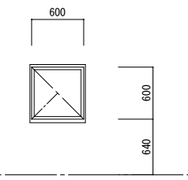
記号	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿図			防火認定番号：EB-2464-2 	
部屋名	1Fホール	1Fホール	1F職員通用口	1Fホース庫
型式	片引き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸
材質	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）
見込	70mm	70mm	70mm	70mm
ガラス	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+PW6.8	アルミパネル
金物	シリンダー錠（内クレセント）、SUS下枠レール、アルミ額縁	レバーハンドル、丁番、ドアクローザー、アルミ額縁、付属金物他	シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、ドアクローザー、アルミ額縁、付属金物他	シリンダー錠、レバーハンドル、丁番、ドアクローザー、アルミ額縁、付属金物他
備考	衝突防止シール	衝突防止シール		

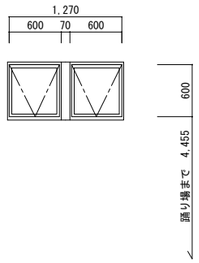
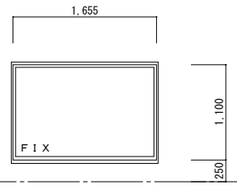
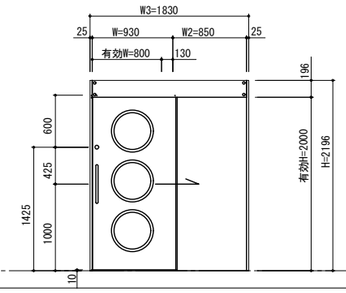
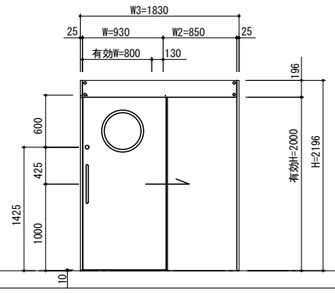
記号		AW 1	AW 2	AW 3
		3ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
姿図			防火認定番号：EB7-○○○○ 	
部屋名		1F事務室	1F会議室、食堂	1F事務機器スペース
型式		排煙窓付引き違い窓	引き違い窓	Fix窓
材質		アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）
見込		70mm	70mm	70mm
ガラス		Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+PW6.8	Low-E5+A6+FL5
金物		クレセント、引手、アルミ額縁、付属金物他	クレセント、引手、アルミ額縁、付属金物他	アルミ額縁、付属金物他
備考		網戸	網戸	網戸

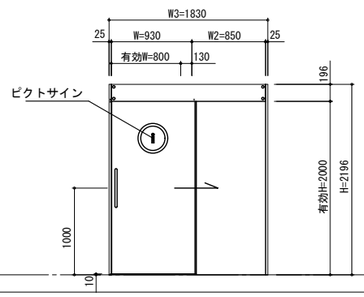
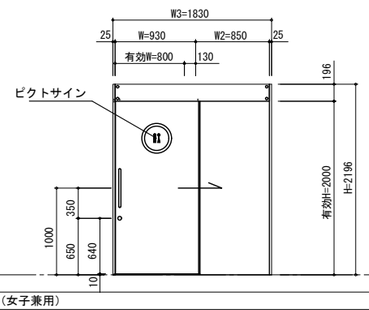
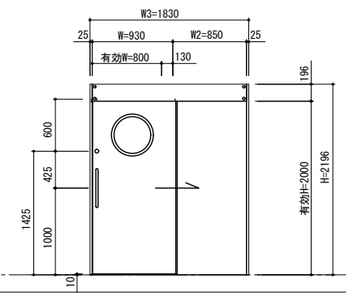
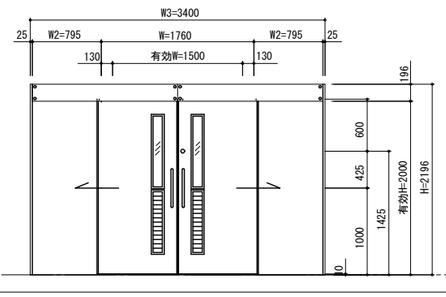
記号	AW 4 / AW 4	AW 5 / AW 5	AW 6	AW 7
	7ヶ所	5ヶ所	4ヶ所	1ヶ所
姿図	防火認定番号：EB-2463-2 	防火認定番号：EB-2463-2 		防火認定番号：EB-2457-2 
部屋名	1F食堂、2FWC（女）、脱衣（男）、洗面・洗濯（男）、便所（男）、リネン、倉庫	1F資機材庫、多目的便所、便所（男）、汚物洗浄室、洗濯乾燥室	2F仮眠室（男）６～９	2F仮眠室（女）１０
型式	たてすべり出し窓	たてすべり出し窓	引き違い窓	引き違い窓
材質	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）
見込	70mm	70mm	70mm	70mm
ガラス	Low-E5+A6+FW6.8、Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FW6.8、Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FW6.8
金物	ハンドル、フリクションステー、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他	ハンドル、フリクションステー、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他	クレセント、引手、アルミ額縁、付属金物他	クレセント、引手、付属金物他
備考	網戸	網戸	網戸	網戸

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-50
			図面名称：建具表① SCALE 1/50	

A2→A3縮小 71%

記号	AW 8	AW 9	AW 10	AW 11
	1ヶ所	5ヶ所	1ヶ所	4ヶ所
			防火認定番号：EB-2439	防火認定番号：EB-2463-2
姿図				
部屋名	2F救急研修室（トレーニング室）	2F仮眠室（男）１～５	2F洗面・脱衣（女）	2F予備棚
型式	引き違い窓	内倒し窓	内倒し窓	たてすべり出し窓
材質	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）	アルミ製（ビル用サッシ）
見込	70mm	70mm	70mm	70mm
ガラス	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FL5	Low-E5+A6+FW6.8	Low-E5+A6+FW6.8
金物	クレセント、引手、アルミ額縁、付属金物他	丁番、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他	丁番、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他	ハンドル、フリクションステー、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他
備考	網戸	網戸、フック棒	網戸、フック棒	網戸

記号	AW 12	AW 13	LSD 1	LSD 2
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
		特定防火設備		
姿図				
部屋名	階段（A）	救急研修室（トレーニング室）	1F食堂	1F階段室
型式	内倒し窓	Fix窓	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）
材質	アルミ製（ビル用サッシ）	スチール枠	スチール製	スチール製
見込	70mm	70mm	40mm	40mm
ガラス	Low-E5+A6+FL5	耐熱強化ガラス　t＝6mm	トーメイ　t-3	トーメイ　t-3
金物	丁番、結露排水弁、アルミ額縁、付属金物他	スチール額縁	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺
備考	網戸、オペレーターハンドル		アルミ製切窓	アルミ製切窓

記号	LSD 3	LSD 4	LSD 5	LSD 6
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿図				
部屋名	1F便所（男）	1F多目的便所（女子兼用）	1F事務室	1F書庫
型式	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ハンガードア　外付けタイプ（引分け）
材質	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製
見込	40mm	40mm	40mm	40mm
ガラス	型板ガラス t＝4mm	型板ガラス t＝4mm	トーメイ　t-3	型板ガラス t＝4mm
金物	ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用表示錠付き本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺
備考	アルミ製切窓	アルミ製切窓	防火戸用スチール製切窓	アルミ製切窓

承認	検図	P & D

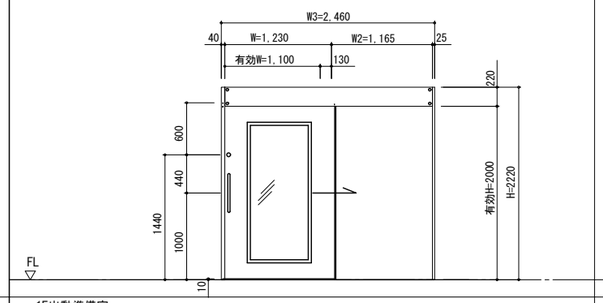
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

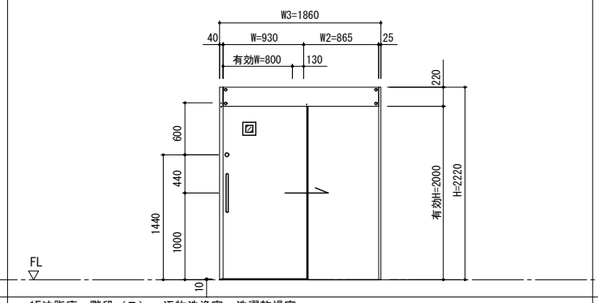
図面名称：建具表②　　SCALE 1/50

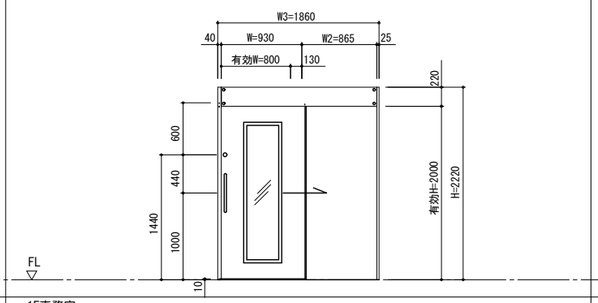
A-51

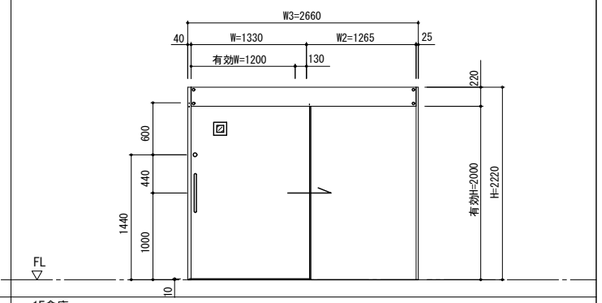
A2→A3縮小 71%

記号	LSD 7	LSD 8	LSD 9	LSD 10
	2ヶ所	4ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿図	特定防火設備　認定番号 EA-0406	特定防火設備　認定番号 EA-0406	特定防火設備　認定番号 EA-0406	特定防火設備　認定番号 EA-0406
部屋名	1F出動準備室	1F油脂庫、階段（B）、汚物洗浄室、洗濯乾燥室	1F事務室	1F倉庫
型式	特定防火設備遮煙SATハンガードア　外付けタイプ（片引き）	特定防火設備遮煙SATハンガードア　外付けタイプ（片引き）	特定防火設備遮煙SATハンガードア　外付けタイプ（片引き）	特定防火設備遮煙SATハンガードア　外付けタイプ（片引き）
材質	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製
見込	40mm	40mm	40mm	40mm
ガラス	耐火ガラス（ファイアライト）ｔ＝5mm	耐火ガラス（ファイアライト）ｔ＝5mm	耐火ガラス（ファイアライト）ｔ＝5mm	耐火ガラス（ファイアライト）ｔ＝5mm
金物	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺
備考	防火戸用スチール製切窓、衝突防止シール、建具廻りシール共	防火戸用スチール製切窓、建具廻りシール共	防火戸用スチール製切窓、衝突防止シール、建具廻りシール共	防火戸用スチール製切窓、建具廻りシール共

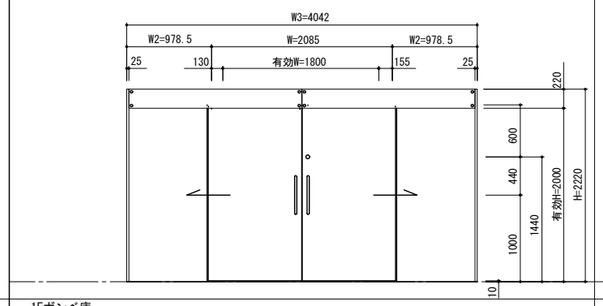


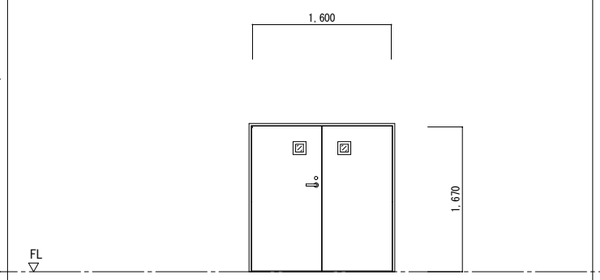


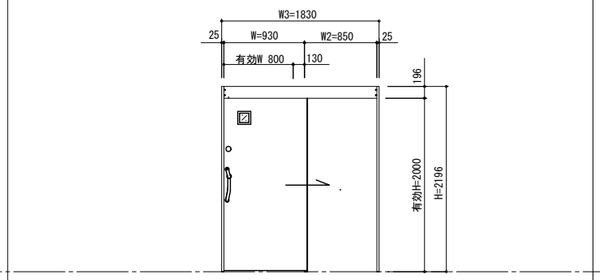


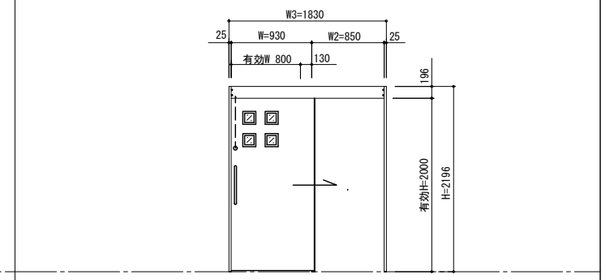


記号	LSD 11	LSD 12	LSD 13	LSD 14
	1ヶ所	1ヶ所	11ヶ所	1ヶ所
姿図	特定防火設備：平成12年建設省告示第1369号	防火認定番号：EA-0065-1		
部屋名	1Fボンベ庫	1F階段（A）階段下物入れ	2F仮眠室（男）1～9、仮眠室（女）10、洗面・洗濯（男）	踏込
型式	特定防火設備ハンガードア　外付けタイプ（引分け）	特定防火設備開きドア（両開き）	ATハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ATハンガードア　外付けタイプ（片引き）
材質	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製
見込	40mm	40mm	40mm	40mm
ガラス	***	耐火ガラス（ファイアライト）ｔ＝5mm	型板ガラスｔ＝4mm	型板ガラスｔ＝4mm
金物	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	レバーハンドル錠、ＤＣ（ストップ無し）、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ATドア用パワーハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ATドア用パワーハンドル、ステンレス製沓摺
備考	建具廻りシール共	防火戸用スチール製切窓、建具廻りシール共	扉芯材防音仕様　アルミ製切窓、建具廻りシール共	扉芯材防音仕様　アルミ製切窓、建具廻りシール共

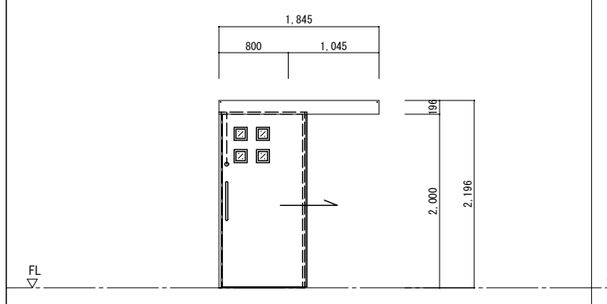


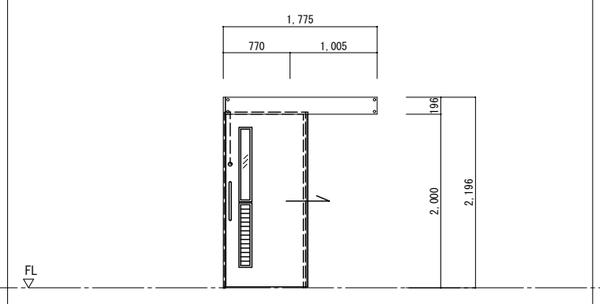


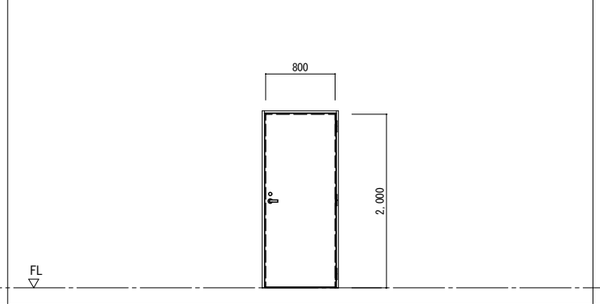




記号	LSD 15	LSD 16	LSD 17	
	2ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	
姿図			特定防火設備：平成12年建設省告示第1369号	
部屋名	2F脱衣（男）、洗面脱衣（女）	2Fリネン	2F階段（B）	
型式	耐水仕様ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	ハンガードア　外付けタイプ（片引き）	開きドア（片開き）	
材質	ステンレス製	スチール製	スチール製	
見込	40mm	40mm	40mm	
ガラス	型板ガラスｔ＝4mm	型板ガラスｔ＝4mm	***	
金物	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	引き戸用本締錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺	レバーハンドル錠、ＤＣ、ステンレス製沓摺	
備考	アルミ製切窓（ステンレスビス使用）	アルミ製切窓（ステンレスビス使用）	アルミ製切窓、建具廻りシール共	







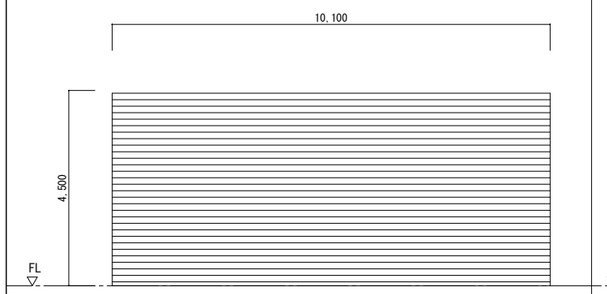
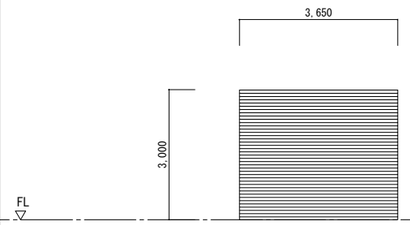
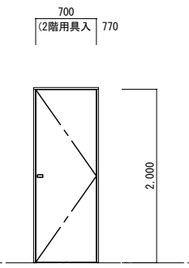
承認	検図	P & D

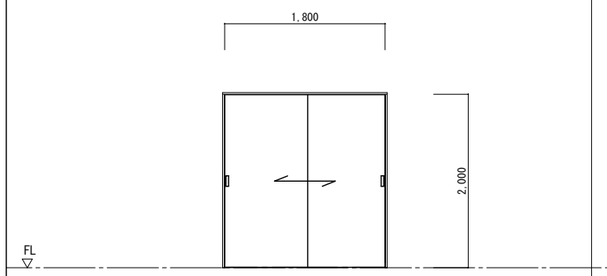
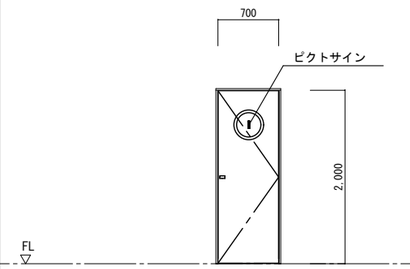
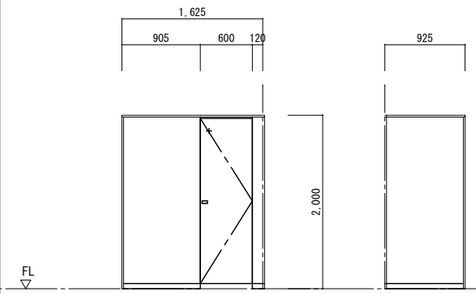
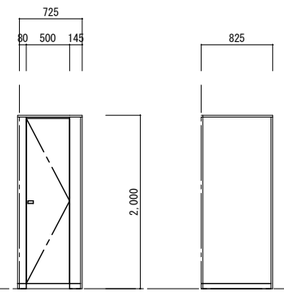
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

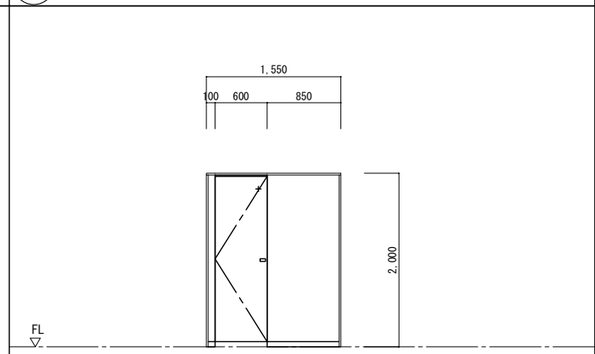
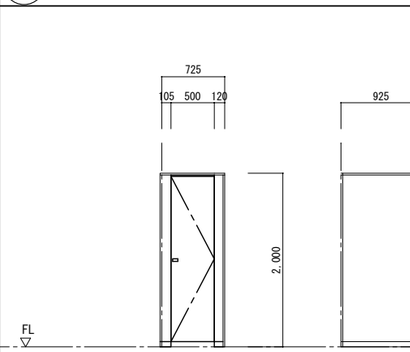
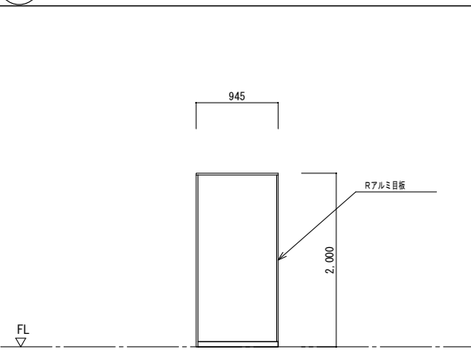
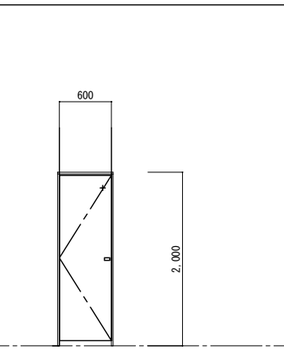
図面名称：建具表③　　SCALE　1/50

A-52

A2→A3縮小 71%

記号	SS 1	SS 2		WD 1
	1ヶ所	1ヶ所		2ヶ所
姿図	S：1/100 	S：1/100 		
部屋名	消防車車庫	救急車車庫		1F物入
型式	電動式重量シャッター（天井内納り）	電動式重量シャッター（天井内納り）		ポリ合板フラッシュ戸
材質	スチール1.6t	スチール1.6t		木製
見込				40mm
ガラス	防錆塗装の上耐候性塗装	防錆塗装の上耐候性塗装		***
金物	スラット 1.6t（耐風形高強度）、ガイドレール・マグサ（SUS製 熱押形鋼耐風形）、その他 付属金物一式	スラット 1.6t、ガイドレール・マグサ等（SUS製）、その他 付属金物一式付属金物一式		丁番、レバーハンドル
備考	避格出力　三相200V、非常電源装置付	定格出力　単相100V（自家発電装置により開閉）		

記号	WD 2	WD 3	TB 1	TB 2
	5ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿図				
部屋名	2F収納	2F便所（男）	1F便所　（男）	1F便所　（男）
型式	ポリ合板フラッシュ引き違い戸	ポリ合板フラッシュ戸	トイレブース	トイレブース
材質	木製	木製	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
見込	40mm	40mm	40mm	40mm
ガラス	掘り込み引手	***	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り
金物	床レール	丁番、レバーハンドル	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	引手・巾木・床レール
備考				

記号	TB 3	TB 4	TB 5	TB 6
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿図				
部屋名	2F便所　（男）	2F便所　（男）	2F便所　（男）	2F便所　（女）
型式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
材質	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
見込	40mm	40mm	40mm	40mm
ガラス	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・目板	中心吊ヒンジ・目板・戸当り
金物	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	引手・巾木・床レール	巾木・床レール	ロック・戸当り帽子掛け
備考				

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：建具表④　　SCALE　1/50、1/100

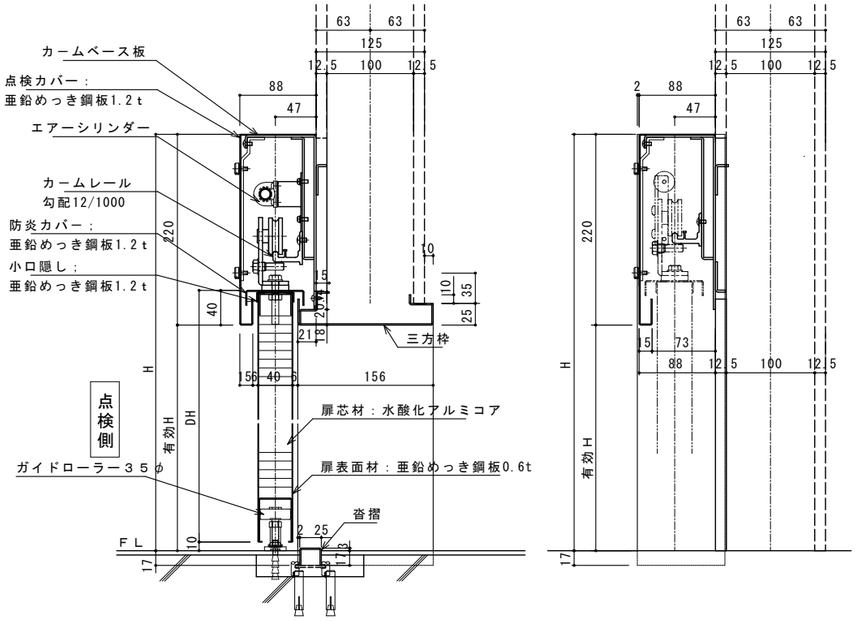
A-53

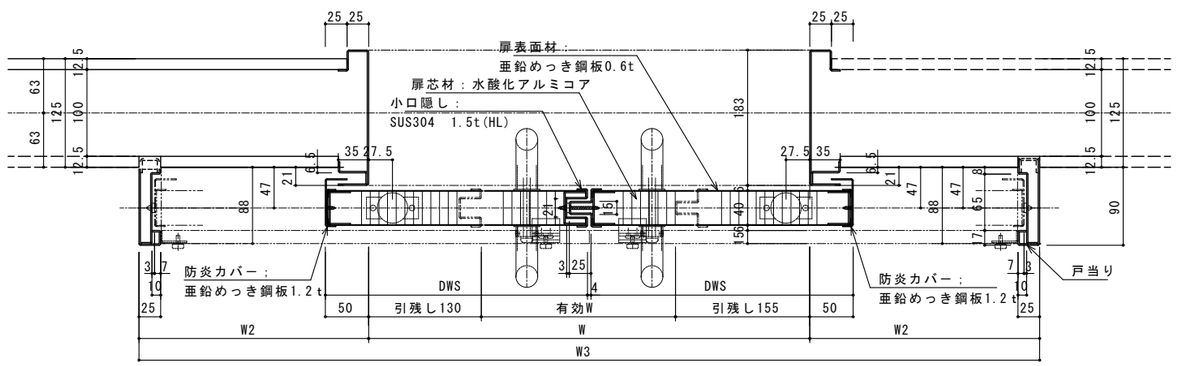
A2→A3縮小 71%

特定防火設備ハンガードア　外付けタイプ（引分け）

1/5

特定防火設備：平成12年建設省告示第1369号（切窓なし）

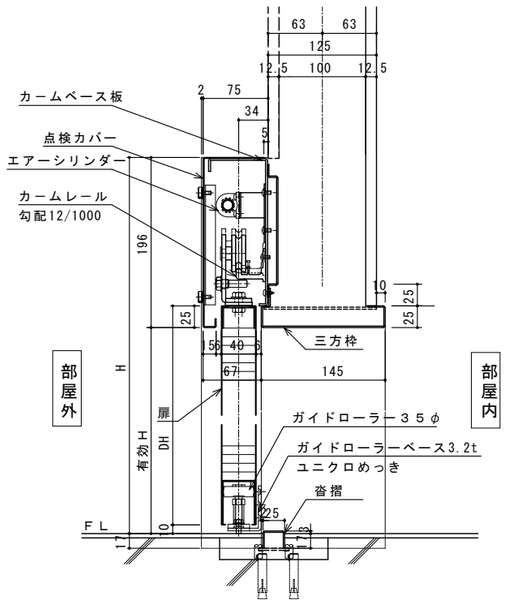


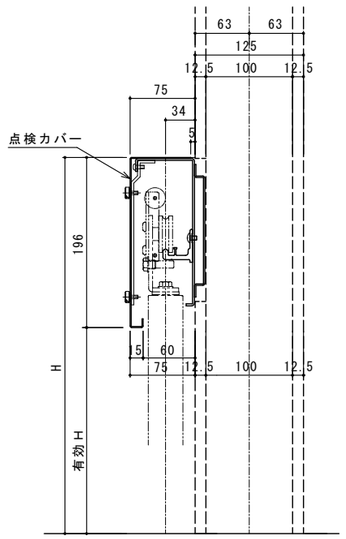


点検側

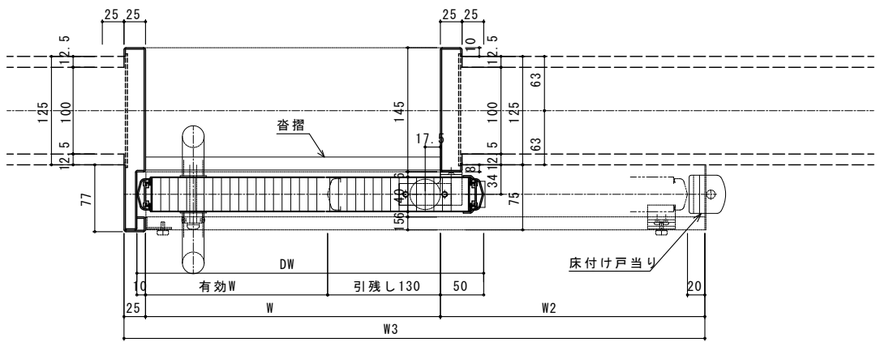
ハンガードア　外付けタイプ（片引き）

1/5

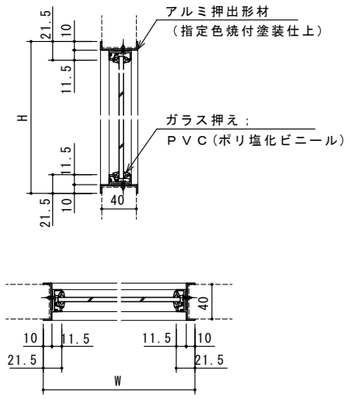




部屋内



部屋外



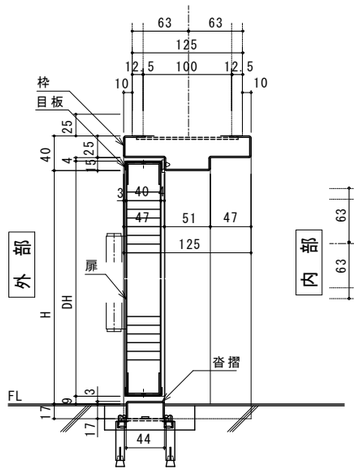
４０ｍｍアルミ枠付き切窓

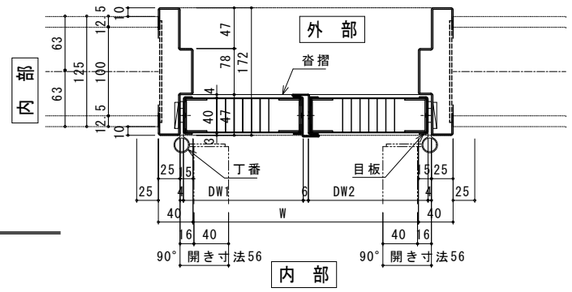
			承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-54
						図面名称：建具詳細図① SCALE 1/5	

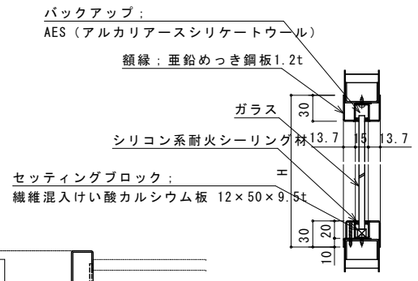
A2→A3縮小 71%

特定防火設備両開きタイプ　1/5

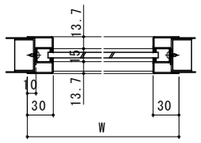
特定防火設備：EA-0376







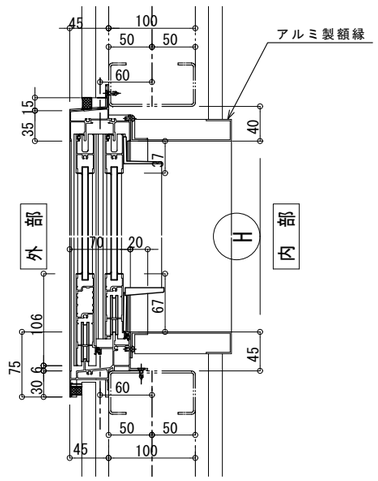
※ガラス寸法　W-48・H-45

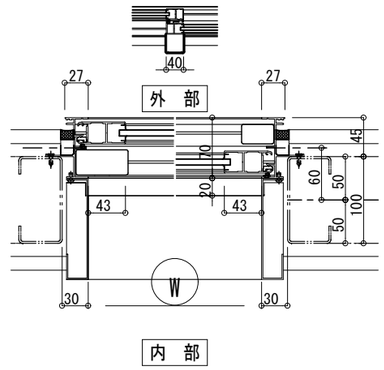


防火戸該当認定番号一覧
特定防火設備認定番号EA-0065-1

防火戸用　スチール切窓枠付

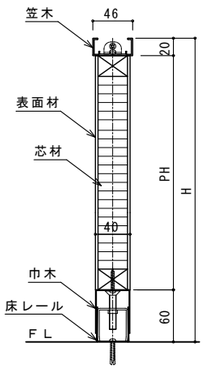
アルミ製建具　1/5





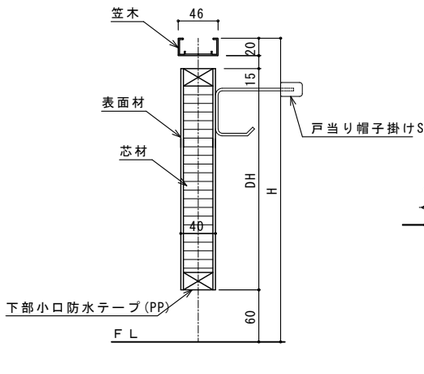
トイレブース　1/5

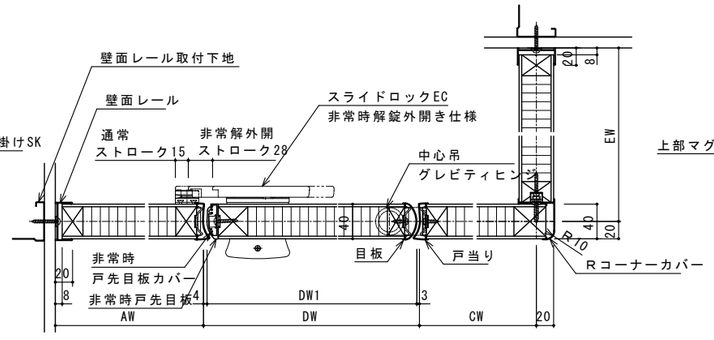
パネル詳細



巾木調整範囲：巾木H-10～巾木H+15

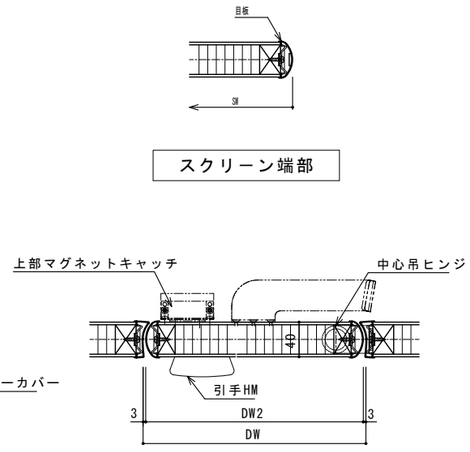
扉詳細





内開きトイレ用扉

非常時外開き対応ドア
MIN=550
MAX=600



スクリーン端部

SK・物入れ用片開き扉

◇仕様表

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
	芯　材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス　0.8mm　〈ヘアライン仕上〉
	笠木	アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉
	壁面レール／コーナーカバー	アルミ押出形材　〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ/SKヒンジ	中心吊グレビティヒンジ/中心吊ヒンジ
	ロック	スライドロックEC（非常時解錠外開き仕様）
	引手	引手HM
	その他金物	戸当り帽子掛けSK

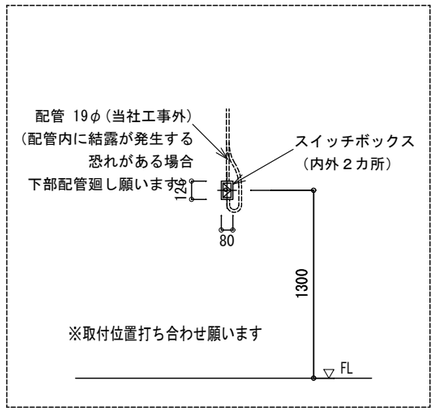
承認	検図	P & D

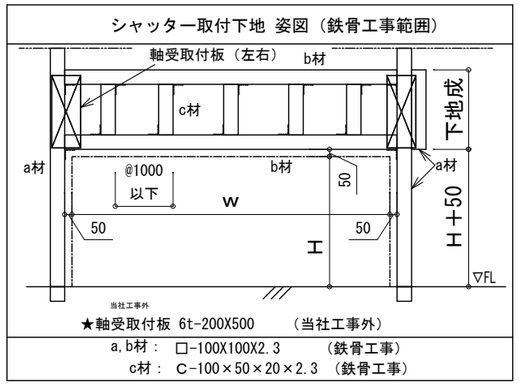
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

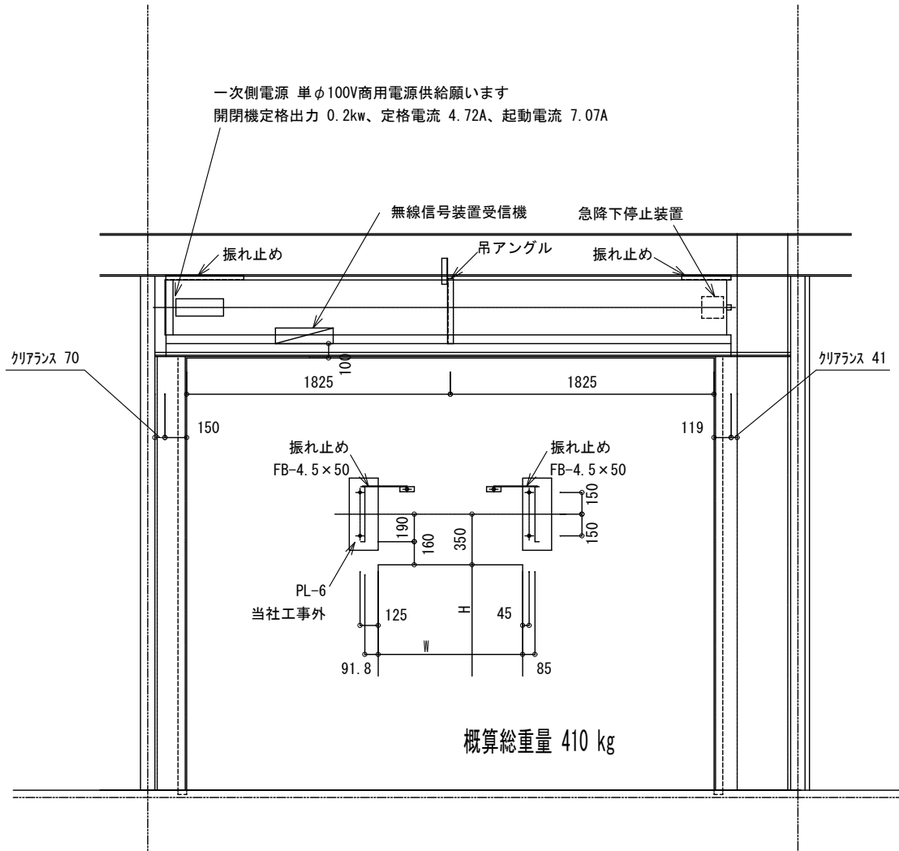
図面名称：建具詳細図②　SCALE　1/5

A-55

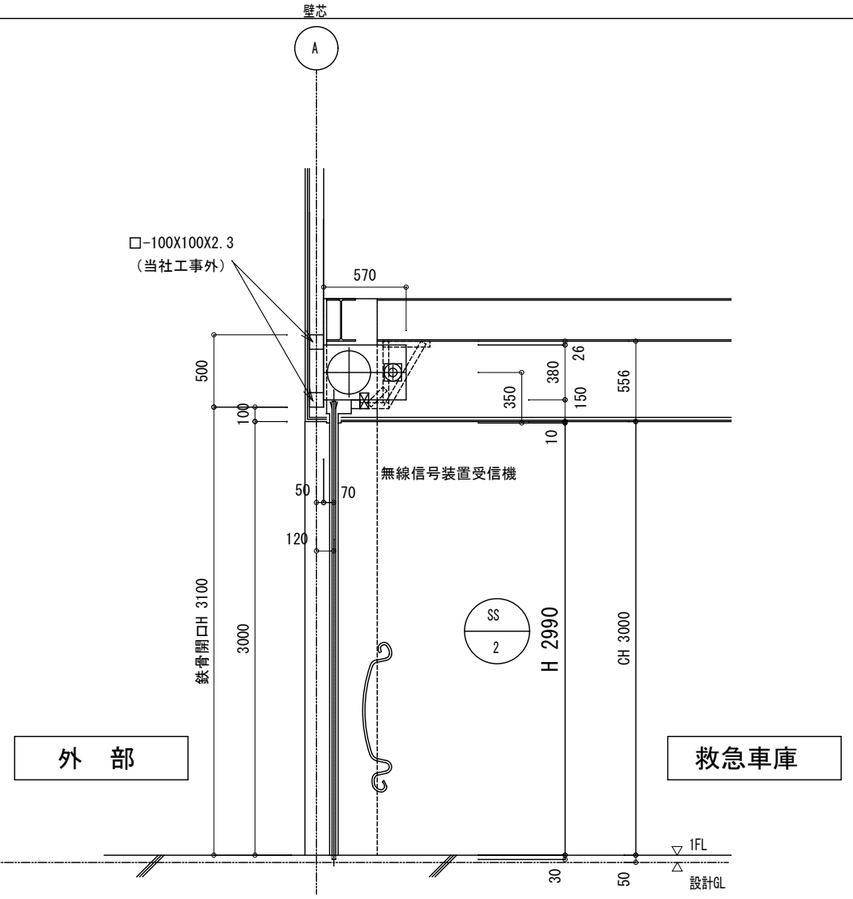
A2→A3縮小 71%



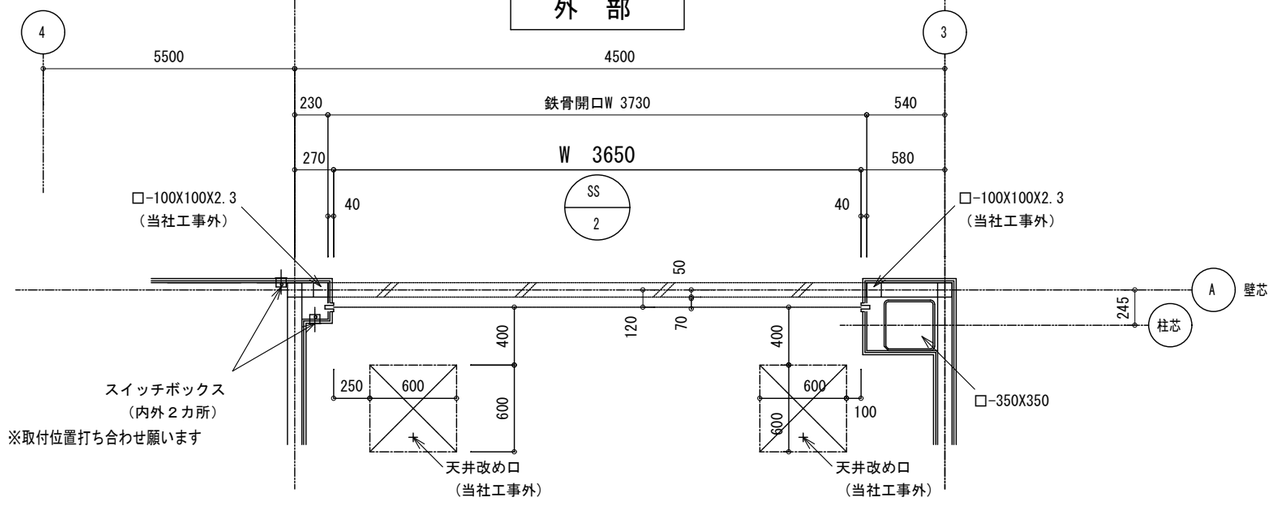




外　部



救急車庫



電動式重量シャッター

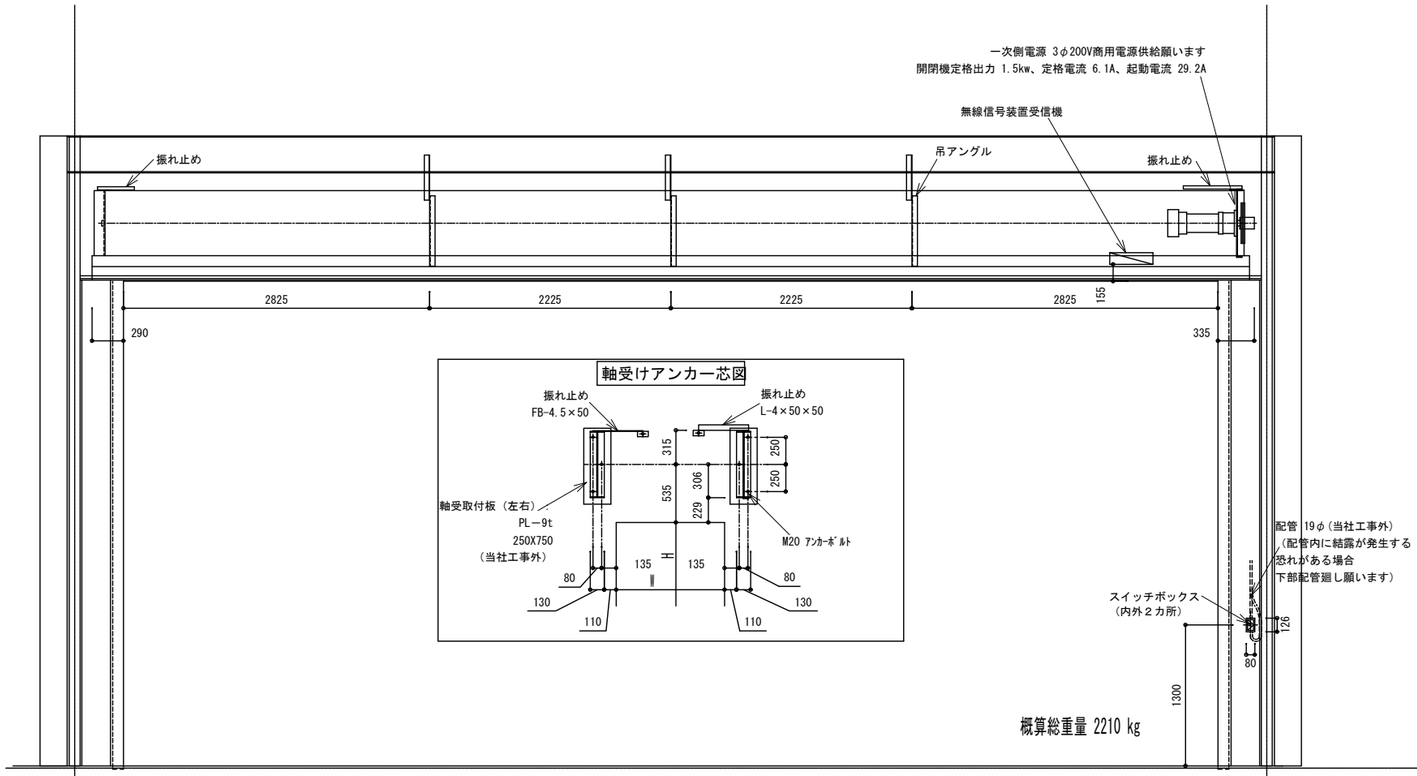
スラット	A-1	スチール1.6t	開 閉 機		SG15	定格出力	単φ１００Ｖ　0.2ｋｗ　60Ｈｚ	設計範囲	H
座　板	障検	アルミ	巻取シャフト		4″-35G	押ボタン	埋込ｼﾘﾝﾀﾞｰ	備　考	
ガイドレール		スチール	軸 受	駆	No.0	手動閉鎖装置		急降下停止装置付（35）	
ま ぐ さ		スチール		従	No.0	解放装置		障害物検知装置付	
ケ ー ス			手動時操作		ハンドル式				

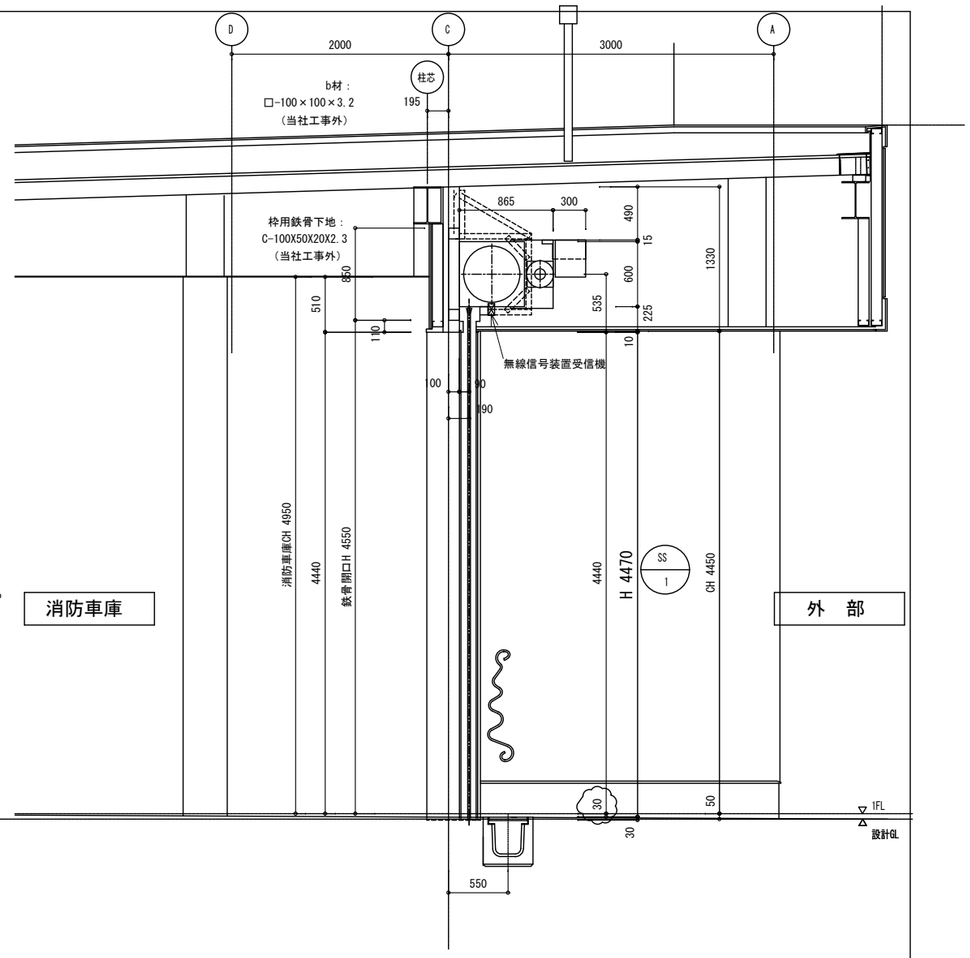
救急車庫

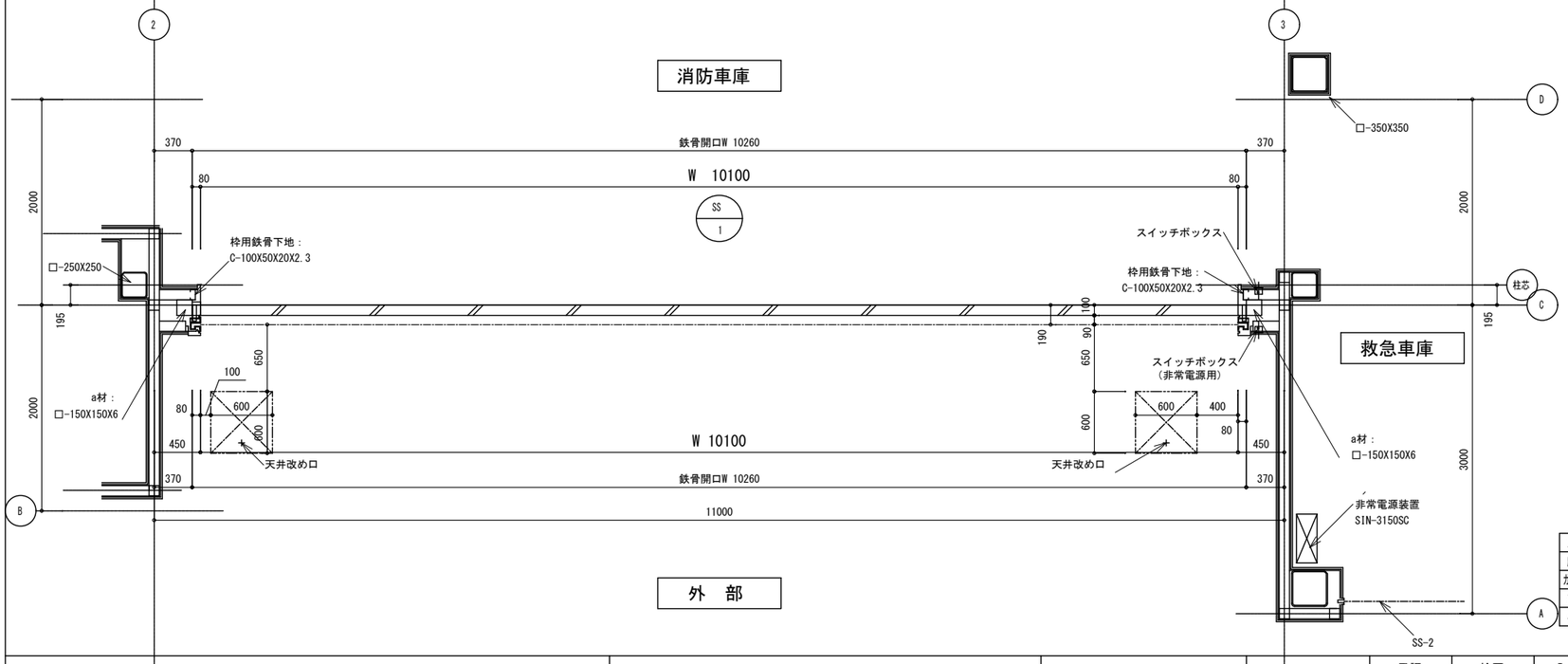
		承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
					図面名称：建具詳細図③　SCALE 1/30

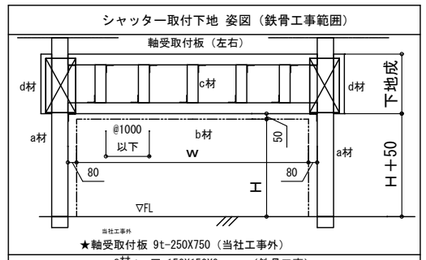
A-56

A2→A3縮小 71%









（シャッター取付下地は、建築工事）

指定耐風圧力	1750 N	スラット許容耐風圧力	N/㎡
★シャッター強度仕様		ガイドレール許容風圧力	N/㎡

（高強度タイプ）

電動式重量シャッター

スラット	B10N耐	スチール1.6t	開 閉 機		SFE150	定格出力	3φ200V 1.5kw 60Hz		設計範囲	N
座　板	障板	アルミ	巻取シャフト		10"-65	押ボタン	埋込ｼﾘﾝﾀﾞｰ	備 考		
ガイドレール		スチール	軸 受	駆	CE630	手動開鎖装置		障害物検知装置付		
ま ぐ さ		スチール		従	CJ630	解放装置				
ケ ー ス			手動時操作		チェーン式					

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：建具詳細図④　SCALE 1/40

A-57

A2→A3縮小 71%

1 非常電源装置（インバータ）説明

概　要

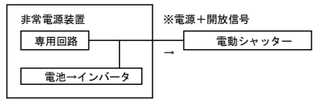
本装置は、火災による停電時、非常電源を
起動させ、シャッターを開放させる装置です。
本書に従い、確実な取り付けをお願い致します。

動作フロー

◎平常時（商用電源をそのまま供給し、三点押釦等で通常の開閉が出来る。）

商用電源→ 非常電源装置 → （商用電源供給） → 電動シャッター

◎停電時（非常電源内の専用回路を動作してシャッターを一定の高さまで開放します。）



非常電源装置

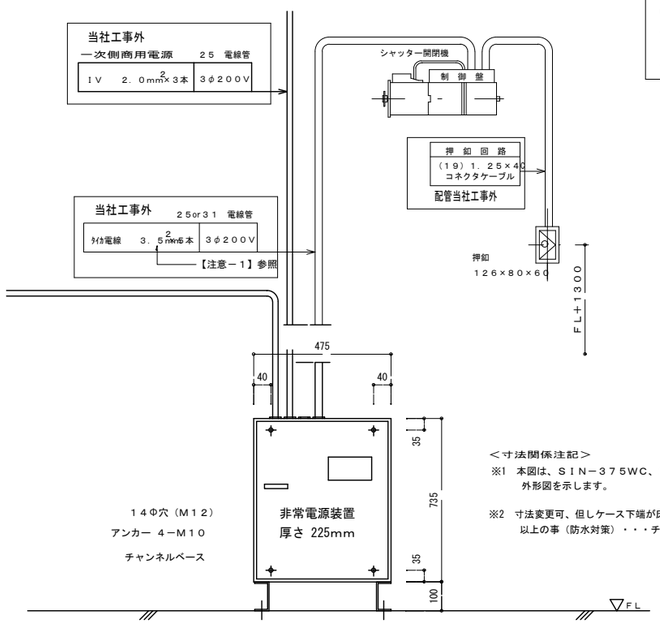
	型　式	定格容量		本体重量	適用開閉機		使用電池	使用環境
	ＳＩＮ－１１０ＷＣ	単相	１００Ｗ×２台	４０ｋｇ	ＳＡ６、ＳＡ７Ｄ、ＳＢ１０※、ＳＧ１３※	※＝トルク８３％以下、４２秒以下	１．２Ａｈ×４パック ９６Ｖ	屋内専用 －１０～＋５０℃ 湿度９０％以下
	－１２０ＳＣ	１００Ｖ	２００Ｗ	４０ｋｇ	ＳＡ６、ＳＡ７Ｄ、ＳＢ１０、ＳＢ２０、ＳＧ１３、ＳＧ１５※、ＶＣＤ１５１※	※＝トルク８３％以下		
	－３２０ＷＣ	三相	２００Ｗ×２台	４６ｋｇ	ＳＧ１３、ＳＧ１５、ＳＧ２０※、ＳＦＥ２０、ＶＣＤ１５２	※＝トルク７９％以下	１．４Ａｈ×４パック ９６Ｖ	
	－３４０ＳＣ		４００Ｗ	４６ｋｇ	ＳＧ１３、ＳＧ１５、ＳＧ２０、ＳＧ４０※、ＳＦＥ２０、ＳＦＥ４０、ＶＣＤ１５２	※＝トルク８３％以下		
	－３４０ＷＤ		４００Ｗ×２台	５１ｋｇ	ＳＧ２０、ＳＧ４０※、ＳＦＥ４０	※＝トルク８３％以下	１．２Ａｈ×８パック １９２Ｖ	
	－３７５ＳＤ	２００Ｖ	７５０Ｗ	５１ｋｇ	ＳＧ４０、ＳＧ７５、ＳＦＥ７５、ＳＦＤ４０ＪＳ・ＡＳ、ＳＶ４０、ＤＣＤ２０２、クイック0.75KW開閉機(DQC制御盤)			
	－３７５ＷＣ		７５０Ｗ×２台	８３ｋｇ	ＳＧ４０、ＳＧ７５、ＳＦＥ７５、ＳＦＤ４０ＪＳ・ＡＳ、ＳＶ４０、ＤＣＤ２０２ クイック1.5KW開閉機×2台（DQC制御盤）※、クイック1.5KW開閉機（DQC制御盤）+SG40,75※	※ １台目が全開してから２代目が開放開始するように分散タイマを設定すれば仕様可能。	４．０Ａｈ×８パック １９２Ｖ	
◎	－３１５０ＳＣ		１．５ＫＷ	８３ｋｇ	ＳＦＤ７５ＪＳ・ＡＳ、ＳＶ７５、ＳＦＥ１５０ ※、クイック1.5KW開閉機（DQC制御盤）	※　使用電線の制限有り　下記【注意－１】参照		
	－３２２０ＳＣ		２．２ＫＷ	９６ｋｇ	ＳＦＥ２２０ ※、SFD150JS・AS、SV150	※　使用電線の制限有り　下記【注意－１】参照		

認定番号　１００Ｖ：１９Ｓ２０４７（ＪＥＡ畜電池設備認定委員会）　※有効期限２０２２年２月２２日
　　２００Ｖ：１７Ｓ２０４２（ＪＥＡ畜電池設備認定委員会）　※有効期限２０２０年５月３１日

電池寿命　４～５年　従って約４年毎の交換が必要。
塗装色　マンセル　６Ｙ８／１．５（クリーム色）

2　非常電源装置 基本納まり図

取付寸法図



◆取付場所…詳細説明
①床面より１０ｃｍ以上うかして設置すること。（消防法施工規則による）
※標準は壁掛け型とし、床面に設置の場合は取付台（チャンネルベース）使用のこと。
②耐火区画室、不燃材料で区画された機械室（以下その条件）に設置のこと。
イ．点検に便利で、火災等の被害のおそれが無いこと。
ロ．水が浸入、浸透しないこと。
ハ．可燃性、腐食性ガス、粉塵が発生、滞留しないこと。換気装置があること。
ニ．周囲温度が４０℃を越えないこと。直射日光が入らないこと。
ホ．常時振動を受けないこと。
③装置の全面が１ｍ以上、操作・点検スペースとして空いていること。４年毎に蓄電池の交換が必要となります。
注１．非常電源装置は、耐火区画室、機械室等に設置することが規定されています。
その他の場所に設置する場合は、現場毎にゼネコン、設計事務所に説明の上、了解を取るようにして下さい。
注２．屋外には設置できません。

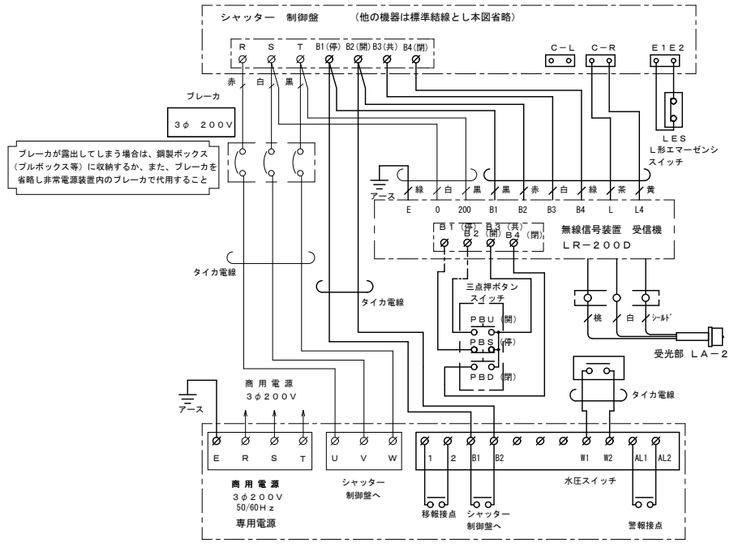
【注意－１】シャッターなどの配線で電圧降下を５％以下とするが非常電源装置～開閉機の制御盤までの配線距離により以下に示す電線サイズとしてください。

開閉機 SFE150/220以外		開閉機 SFE150/220	
配線・距離	電線のサイズ	配線・距離	電線のサイズ
１～４０ｍ	２．０mm²	１～５０ｍ	３．５mm²
４１～７０ｍ	３．５mm²	５１～７０ｍ	５．５mm²
７１～１１０ｍ	５．５mm²		

＜寸法関係注記＞
※1　本図は、ＳＩＮ－３７５ＷＣ、３１５０ＳＣの外形図を示します。
※2　寸法変更可、但しケース下端が床面より１００mm以上の事（防水対策）・・・チャンネルベース

【注意－２】
１、　火災時により確実に機能を発揮させる為には開閉機の電気部品がケース内に収納され火災のかかる恐れのない本ケース納まりが望ましい。
２、　シャッター開放時間（高さ）は1分＝約３ｍ以下

3 接続図



注記　本図は、右形（開閉機が右側につく）の場合を示し、左形の場合は、無線信号装置内の左右切換えコネクタを左形に差し替え無線信号装置用コネクタをＣ－Ｌに差し替え、非常電源装置の端子台Ｂ２から出ている線をシャッター制御盤の端子台Ｂ４に入れ替える。

	機　種	使用可能開閉機
三相２００Ｖ	ＳＩＮ－３４０ＳＣ	・ＳＧ１３・ＳＧ１５・ＳＧ２０ ・ＳＧ４０※　・ＶＣＤ１５２ ※ 負荷が69（83）％以下となる設計範囲で使用すれば可　（　）内は60HZ
	ＳＩＮ－３７５ＳＤ	・ＳＧ４０ 、ＳＧ７５ ・ＳＦＤ４０ＪＳ、ＡＳ ・ＳＶ４０・ＤＣＤ２０２ ◆クイック0．７５ＫＷ開閉機（ＤＱＣ制御盤）別図

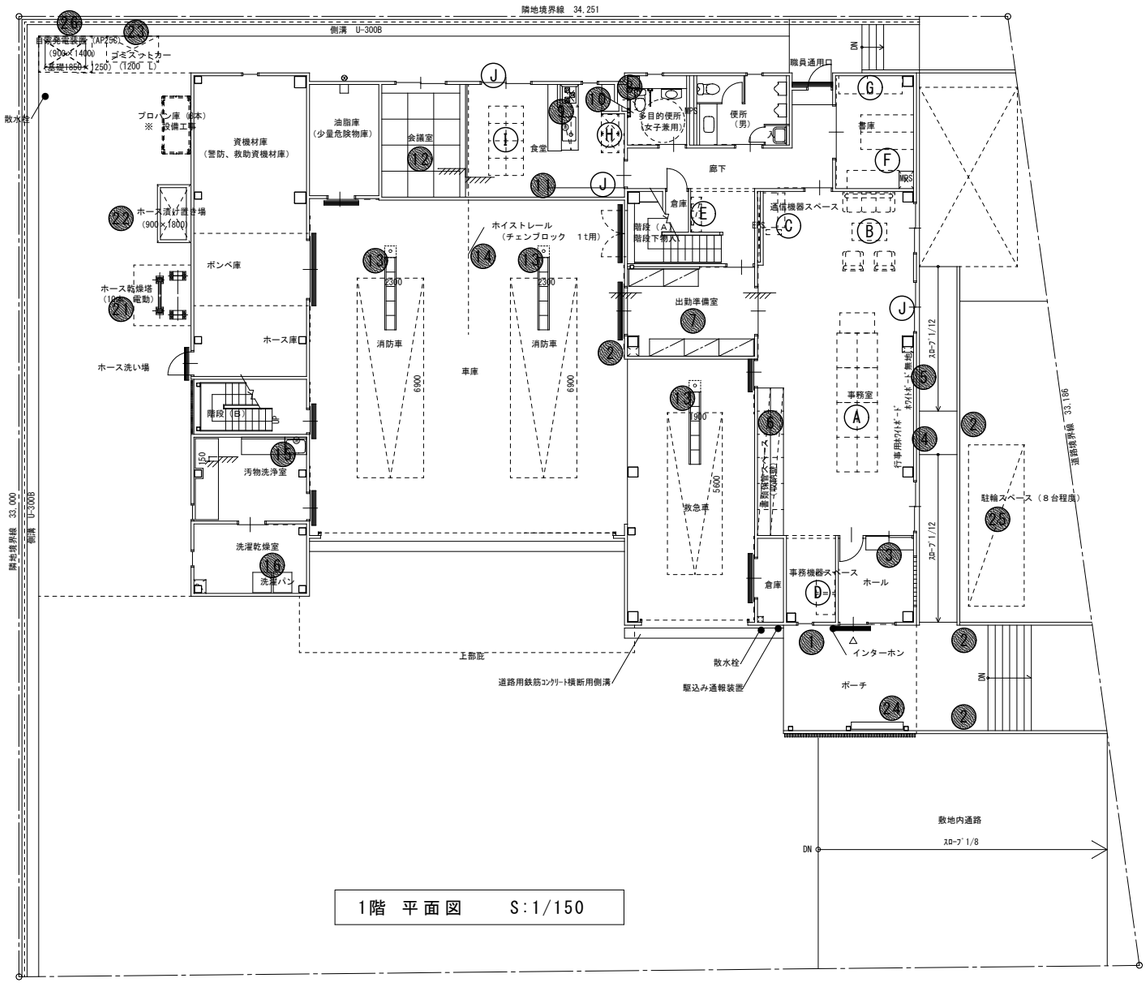
＜耐火電線配線注記＞

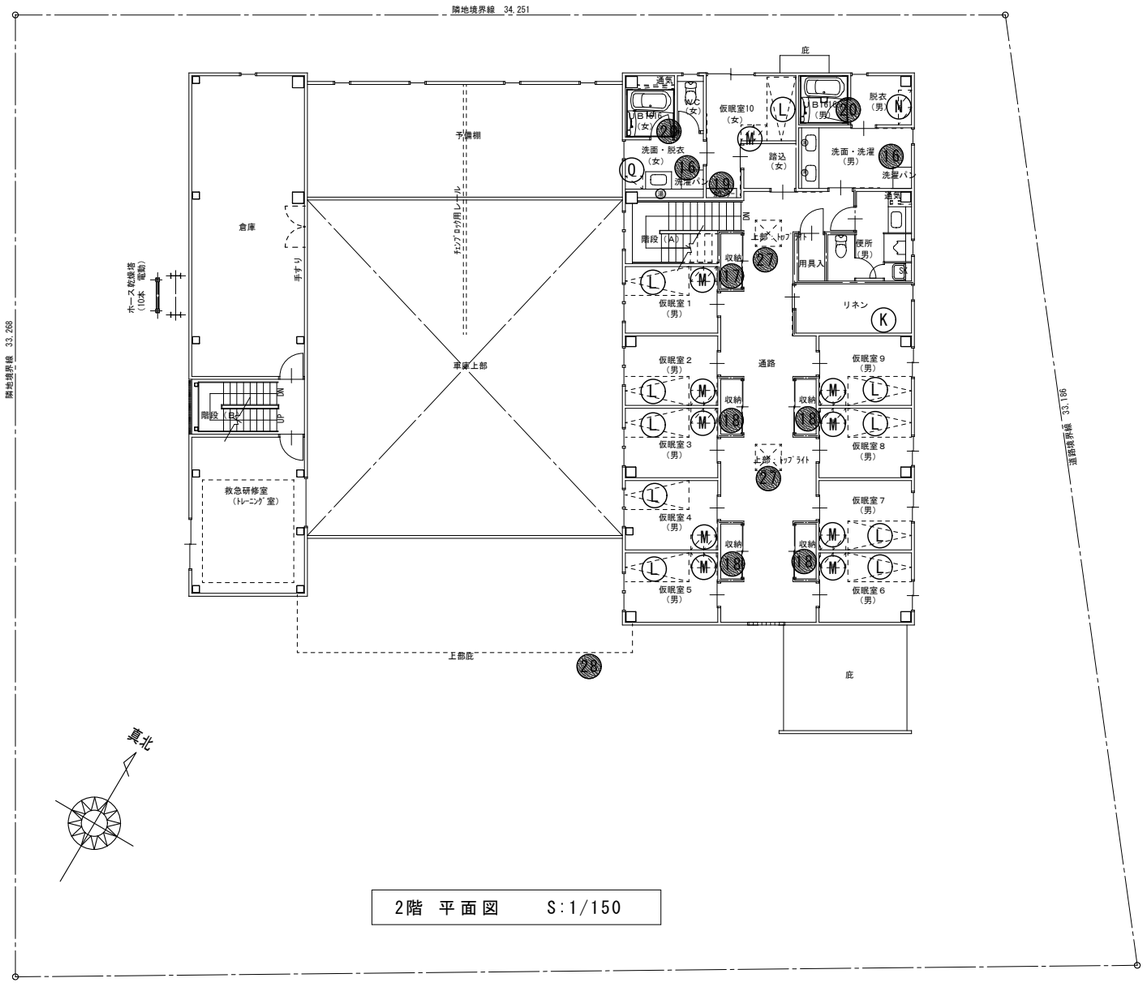
非常電源から開閉機への耐火電線は原則開閉機制御盤までの配線とする。露出納まりで化粧ｹｰｽにて火災の影響が無い場合はｹｰｽを境界としアウトレットボックス内までとする。
天井内納まりの場合は、制御盤まで結線するが、製品の構造上制御盤まで配線できない場合は直近まで配線しアウトレットボックスにて配線分けしアウトレットボックスから制御盤までのリード線などは耐火テープを巻き火炎の影響を受けないように配慮する。

（当社工事外）

承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-58
			図面名称：　非常電源装置　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%





1階 本工事

符号	室名	数量	仕様
1	外部	1ヶ所	インターホン、通報措置収納箱
2	外部	1ヶ所	ｽﾃﾝﾚｽ製手すり
3	事務室	1ヶ所	受付ｶｳﾝﾀｰ
4	事務室	1ヶ所	行事用ホワイトボード 1800×900（横書き）
5	事務室	1ヶ所	ホワイトボード 1800×900
6	事務室	1ヶ所	収納壁 4962×950×H2216
7	出動準備室	5ヶ所	回転式防火衣掛ﾛｯｶｰ 1200×600×2100（㈱ｲﾄﾌﾞﾝ）
8	多目的便所	1ヶ所	収納棚（上下）
9	食堂	1ヶ所	流し台 L=2250、吊戸棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ（LPｶﾞｽ）、ｶｳﾝﾀｰ
10	食堂	1ヶ所	食器棚（電子レンジ台、下部収納）
11	食堂	1ヶ所	収納棚2540×300×2800、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 3000×2740 ※ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応
12	会議室 休憩室	1ヶ所	タタミ（琉球畳）
13	車庫	3ヶ所	排気ｶﾞｽ抜き用溝
14	車庫	1ヶ所	ﾎｲｽﾄﾚｰﾙ（ﾁｪﾝﾌﾞﾛｯｸ 1t用）
15	汚物洗浄室	1ヶ所	SUS製流し750×600×800・SUS製テーブル×1500×600×800
16	洗濯乾燥室 洗面洗濯（男女）	4ヶ所	洗濯パン

2階 本工事

符号	室名	数量	仕様
17	収納	1ヶ所	木製棚（中段付）
18	収納	4ヶ所	物入仕様
19	仮眠室10	1ヶ所	カウンター
20	浴室（男女）	2ヶ所	ユニットバス、追焚仕様(1616) サザナ（TOTO）
21	外構	1ヶ所	ホース乾燥塔（10本用 電動）
22	外構	1ヶ所	ホース漬け置き場
23	外構	1ヶ所	ゴミストッカー 1800×700×1285（2L）
24	外構	1ヶ所	自立式掲示板 1800×250×H1900
25	外構	1ヶ所	駐輪スペース（8台程度）
26	外構	一式	非常用発電機移設
27	屋上	2ヶ所	トップライト 900×900
28	庇	一式	ステンレス箱文字 館名板（11文字）
※		一式	室名札、ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ：ｱﾙﾐｻｲﾝﾌﾟﾚｰﾄ(平付)

1階 別途工事

符号	室名	数量	仕様
A	事務室	9ヶ所	事務机及び椅子
B	事務室	1ヶ所	応接セット
C	事務室	一式	通信機器（移設）、中央電子光学
D	事務室	一式	事務機器（移設）
E	階段	1ヶ所	手箱 1200×280×1000
F	書庫	3ヶ所	スチール収納棚 1800x600x1800
G	書庫	1ヶ所	スチール収納棚 2100x600x1800
H	食堂	2ヶ所	冷蔵庫
I	食堂	一式	テーブル及び椅子（10人）
J	事務室 休憩室	一式	ピクチャーレール・カーテンレール

2階 別途工事

符号	室名	数量	仕様
K	ﾘﾈﾝ庫	1ヶ所	スチール製ラック 3900×600×2100
L	仮眠室	10ヶ所	2段ベッド 1000×2150（光葉ｽﾁｰﾙ）
M	仮眠室	10ヶ所	ロッカー（2台）450×515×1900（光葉ｽﾁｰﾙ）
N	脱衣室	1ヶ所	脱衣棚（4人） 1200x450x1300
O	脱衣室	1ヶ所	脱衣棚（2人） 600x450x1300

承認	検図	P & D

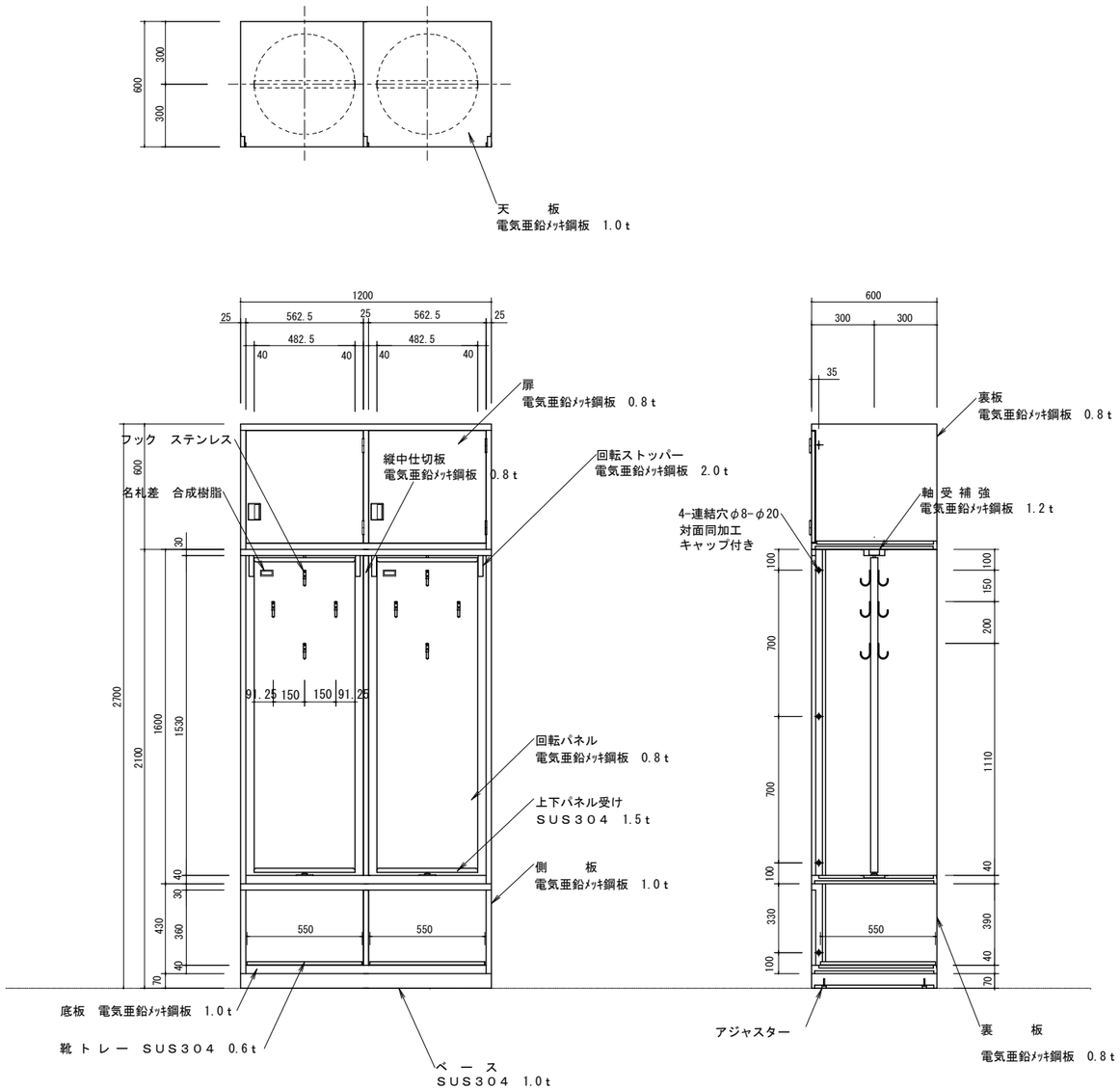
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：工事区分表　SCALE 1/150

A-59

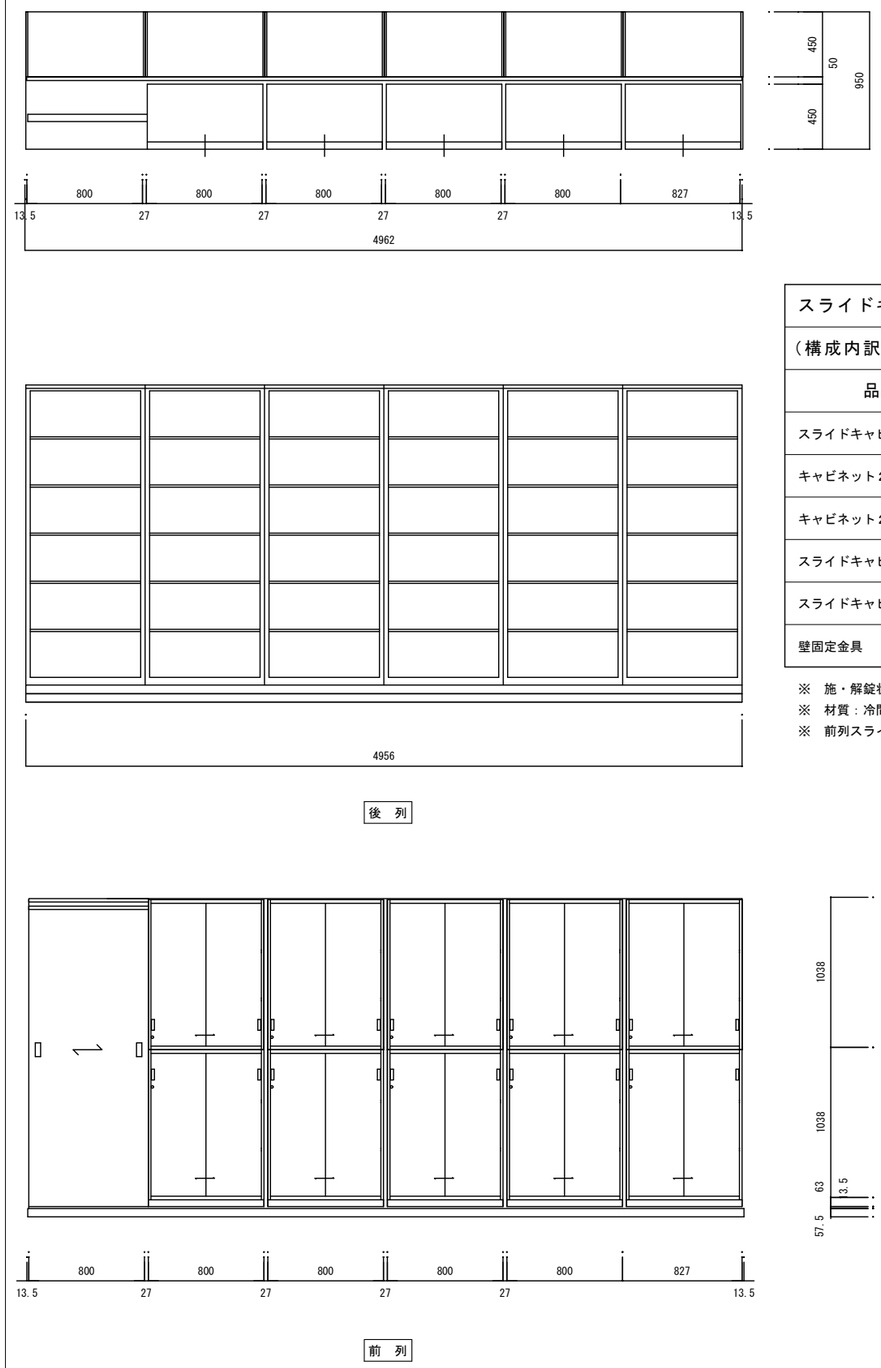
A2→A3縮小 71%

回転式防火衣掛２連ロッカー詳細図（出動準備室）・・・参考図	５　台	1/20



収納壁（事務室）	１ヶ所	1/30

※　ITOKI　エスキャビネット・スライドタイプ（同等品）



スライドキャビネット　一式		
（構成内訳）		
品　名	品番（参考）	数　量
スライドキャビネット２列６連	H1FA-26MML-W9	１台
キャビネット２枚引戸型上段用	H1-M1080GVS-W9	５台
キャビネット２枚引き戸型下段用	H1-M1080GSS-W9	５台
スライドキャビネット用後列引戸	HFAP-218GDSN-W9	１台
スライドキャビネット用ロック右	HTAP-SLR	１個
壁固定金具	EQ-A41-W9	６セット

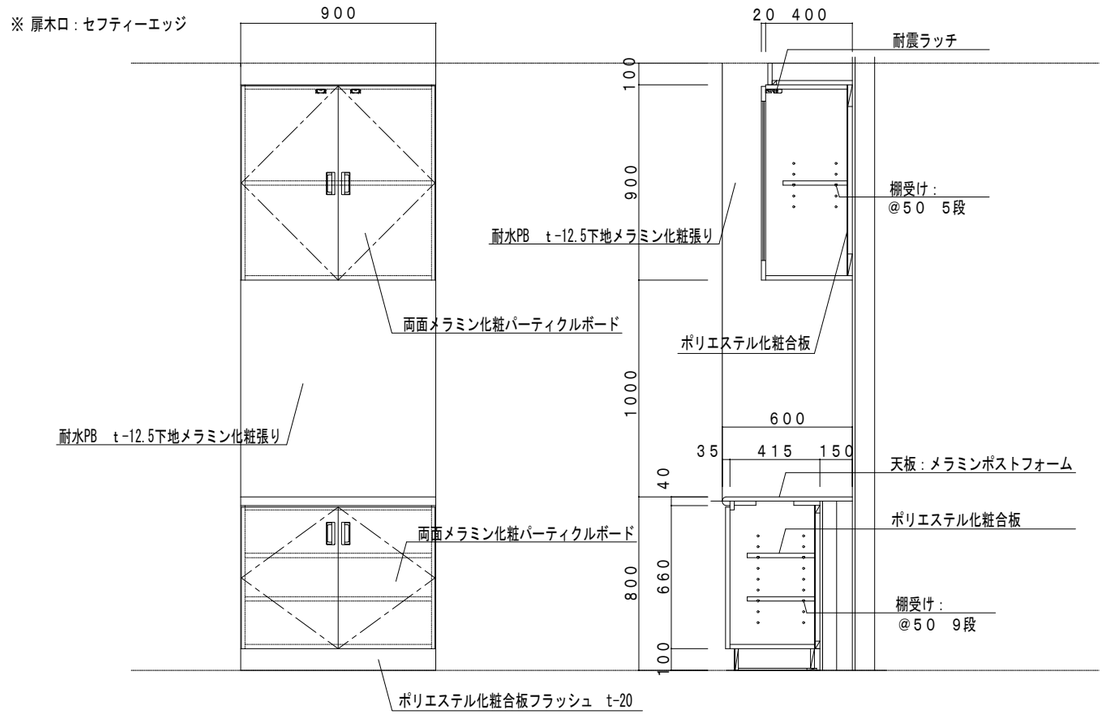
※　施・解錠状態が一目で分かる、開閉表示シリンダー錠仕様
※　材質：冷間圧延鋼板　仕上げ：熱硬化性ポリエステル系粉体塗料
※　前列スライドロック可能

			承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-60
						図面名称：家具詳細図（１）（参考図）SCALE　1/20	

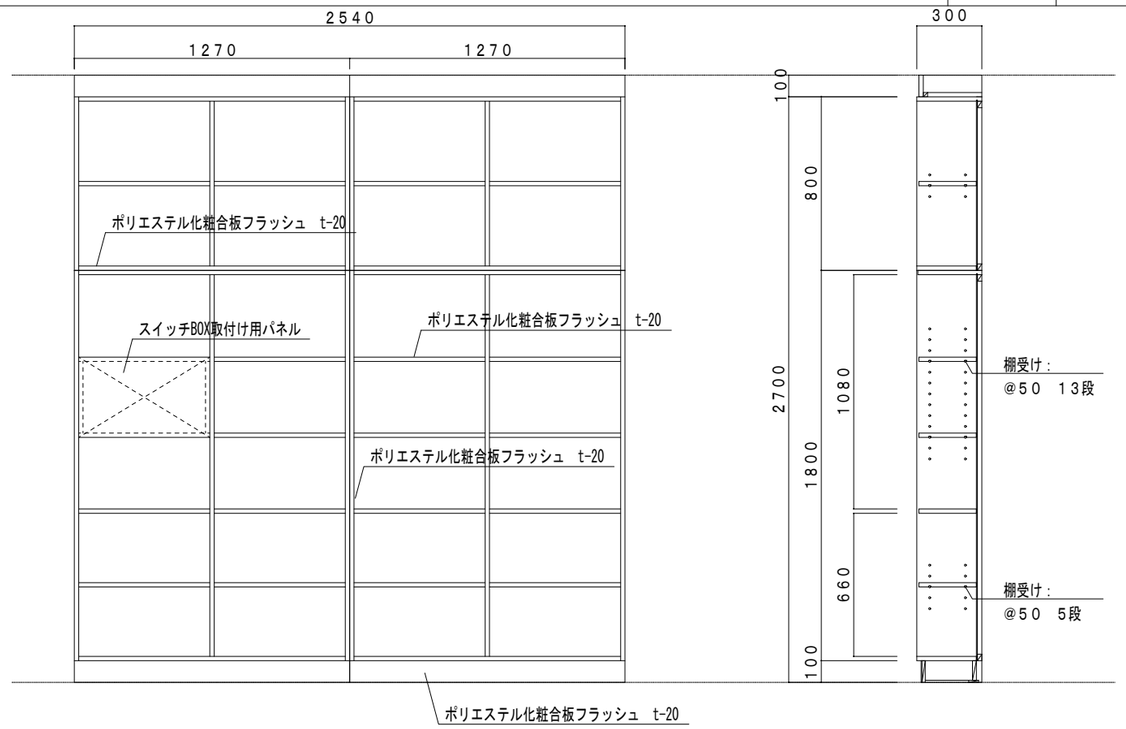
A2→A3縮小 71%

食器棚（１Ｆ　食堂）　１ヶ所　1/20

※ 扉木口：セフティーエッジ

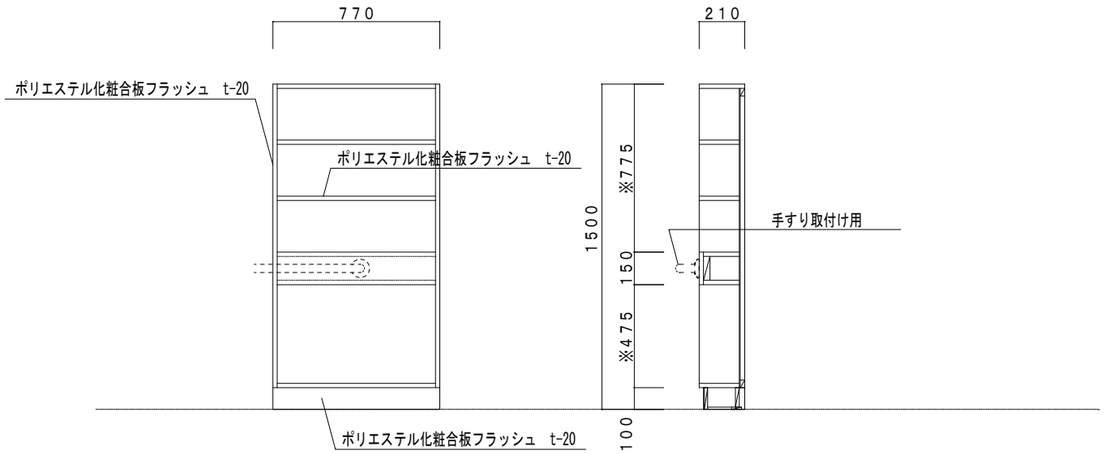


収納棚（１Ｆ　食堂）　１ヶ所　1/20

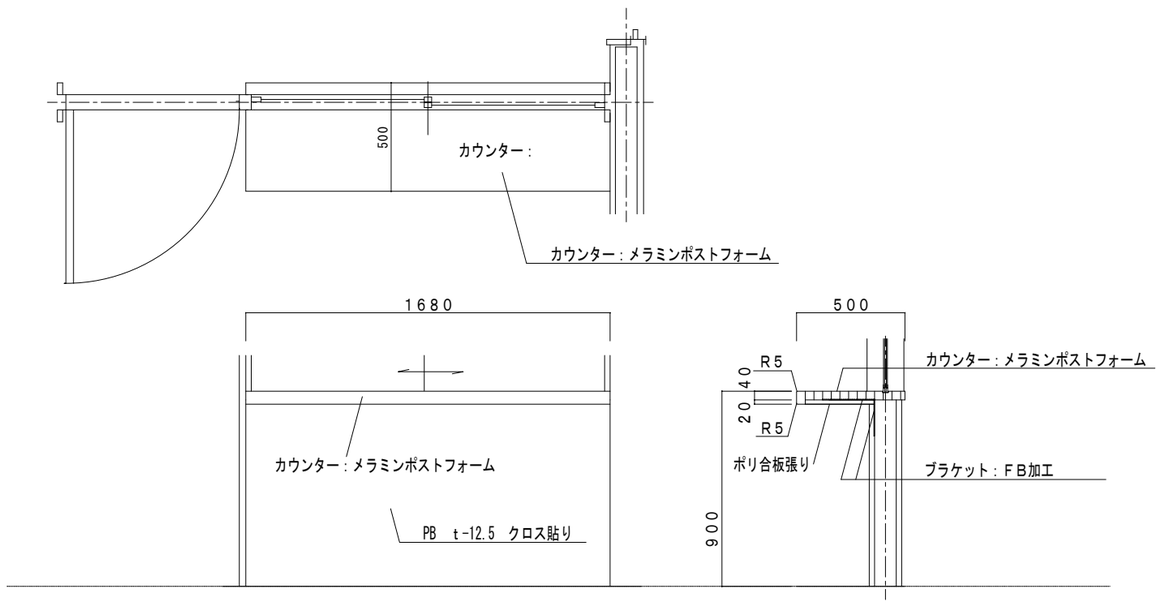


収納棚（１Ｆ　便所）　１ヶ所　1/20

※寸法は手すり高さによる



カウンター（１Ｆ　ホール）　１ヶ所　1/20

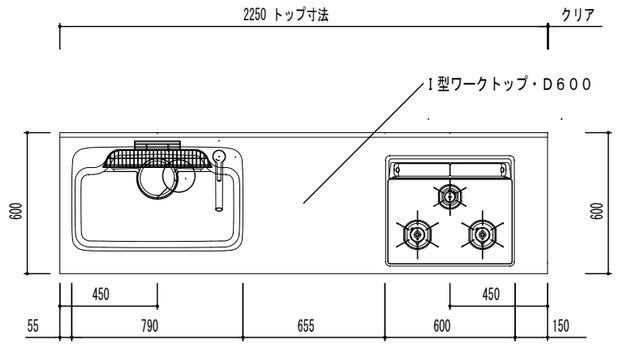


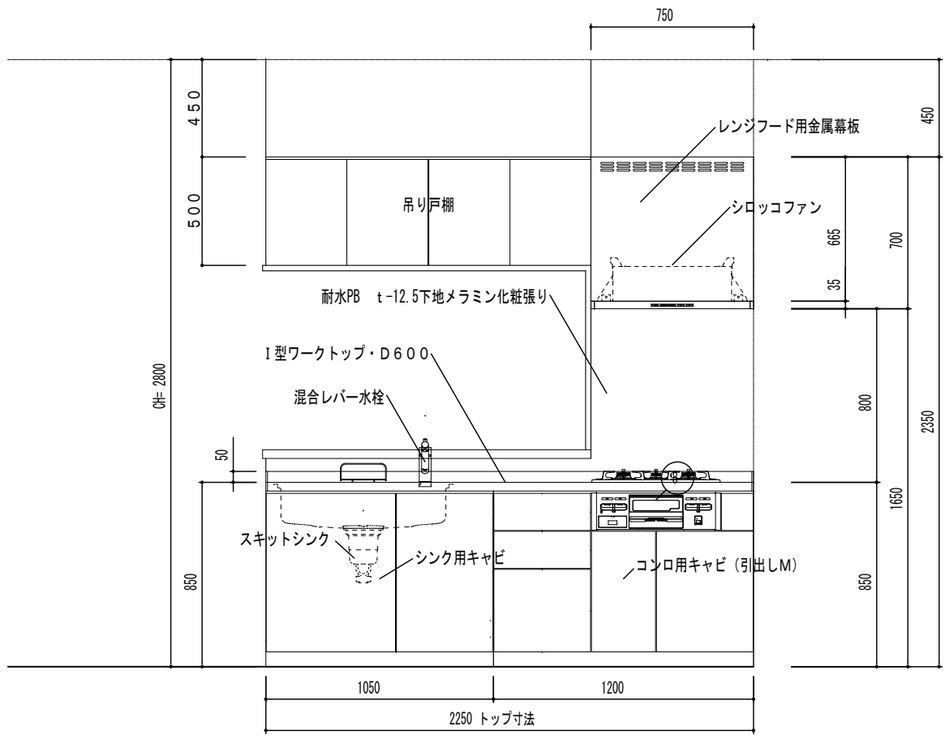
承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-61
			図面名称：家具詳細図（２）（参考図）SCALE　1/20	

A2→A3縮小 71%

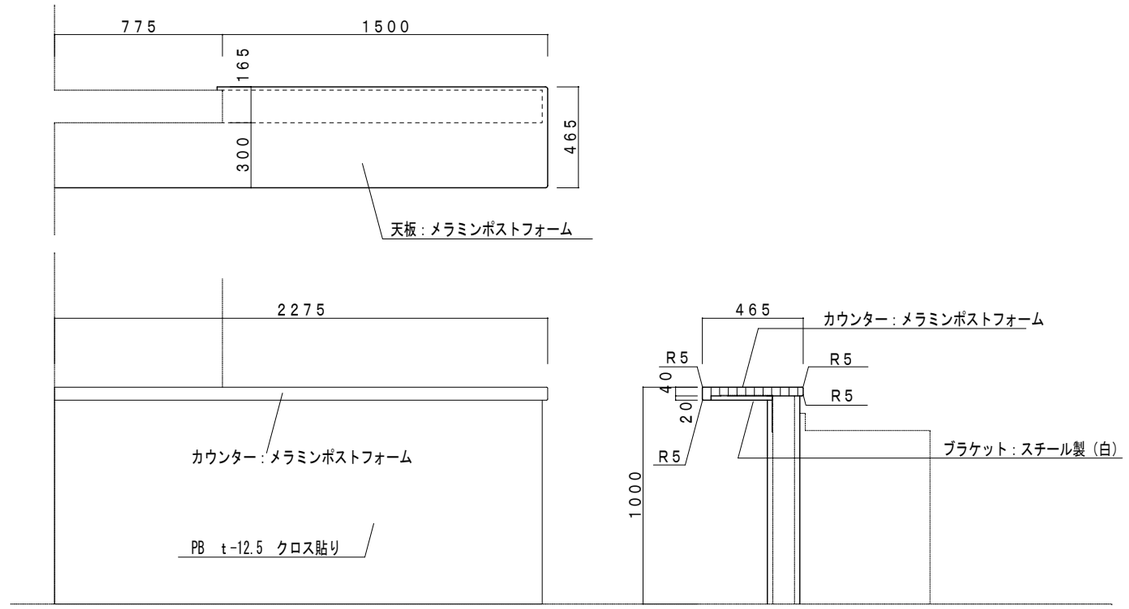
流し台(１Ｆ　食堂)　　１ヶ所　　1/20

※ シエラ１７（プレーン）同等品



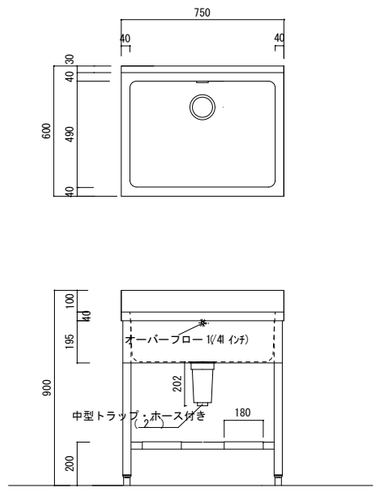


カウンター（１Ｆ　食堂）　　１ヶ所　　1/20

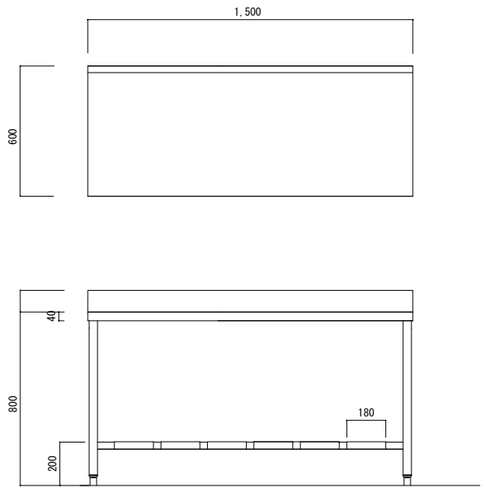


流し台、作業台（１Ｆ　汚物洗浄室）　　１ヶ所　　1/20

SUS-430ステンレス製



流し台

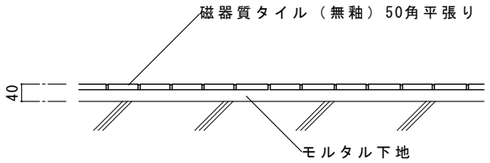


作業台

承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-62
			図面名称：家具詳細図（３）（参考図） SCALE　1/20	

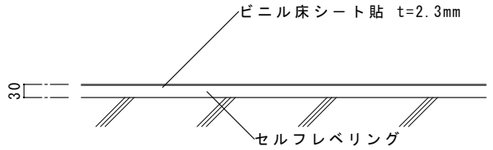
A2→A3縮小 71%

床　ポーチ・ホール床：磁器質タイル　S=1:10



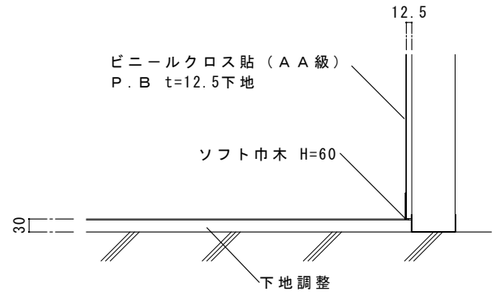
タイル：（株）ＩＮＡＸ又は同等品
タイル割付けは施工図にて決定する。

床　ホール・廊下等：ビニル床シート　S=1:10



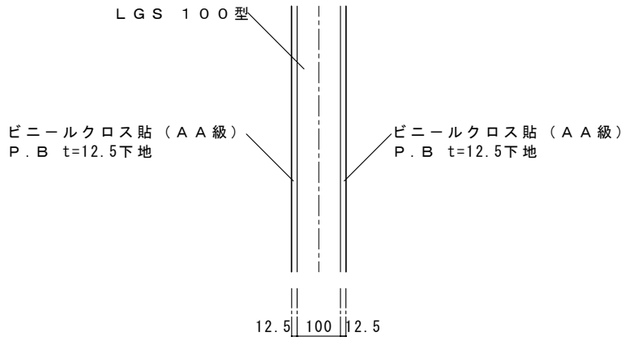
シート：（株）タジマ又は同等品
※水廻りは耐湿工法：継目溶接・エポキシ系接着材仕様

床・巾木・壁　ソフト巾木　S=1:10

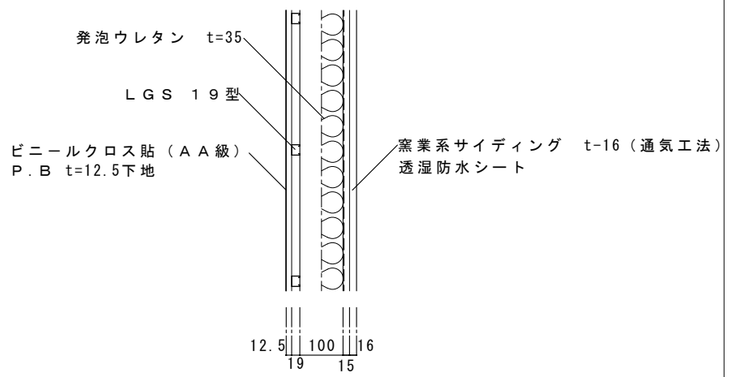


巾木：（株）タジマ又は同等品

壁　内部壁（一般）　S=1:10

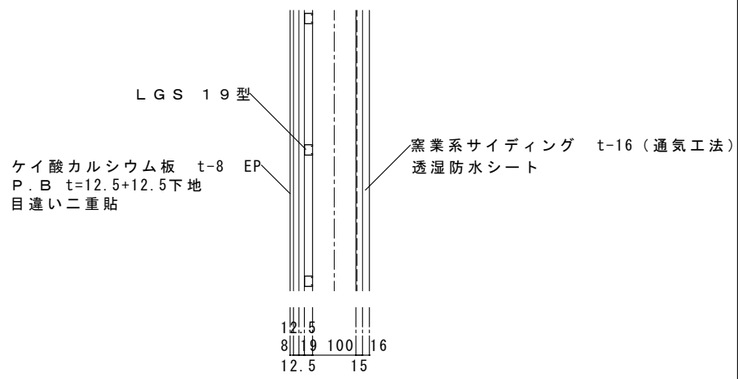


壁　外部に面する壁　S=1:10



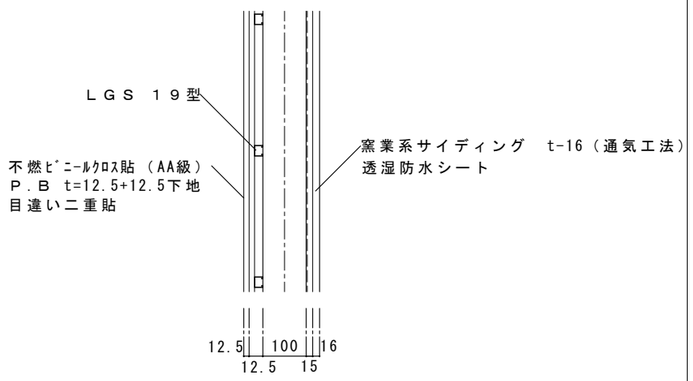
※防火構造　防火認定番号PC030BE-9202、不燃番号：NM-2104

壁　車庫境内部壁（防火壁）･･･小屋裏まで　S=1:10



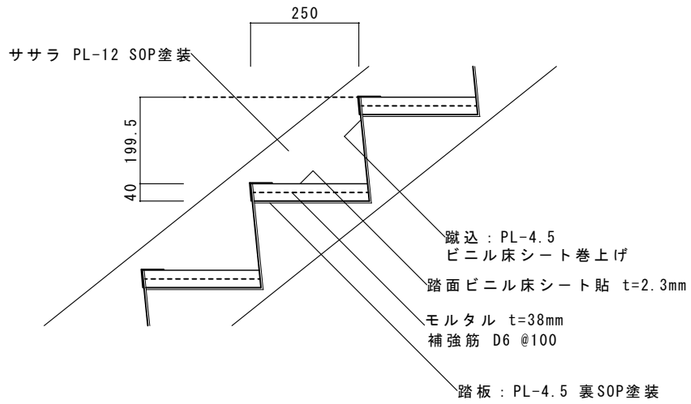
※間仕切壁１時間耐火 FP060BP-9069

壁　車庫境内部壁（防火壁）･･･小屋裏まで　S=1:10

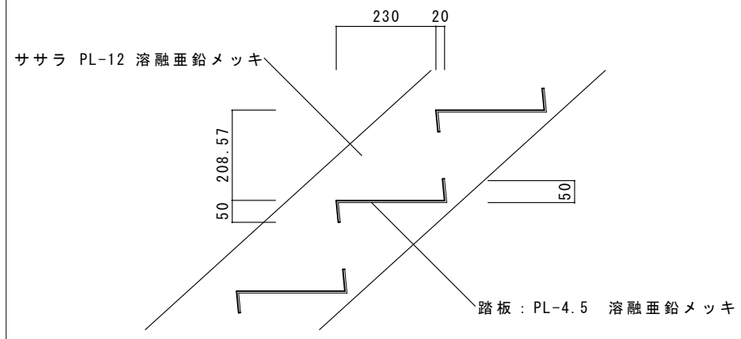


※間仕切壁１時間耐火 FP060BP-9069

床（階段）　階段（Ａ）　S=1:10



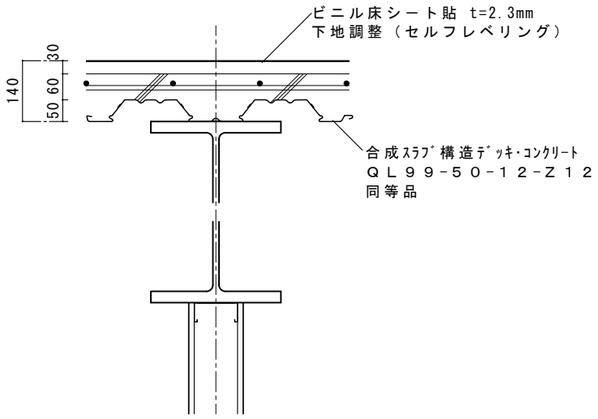
床（階段）　階段（Ｂ）　S=1:10



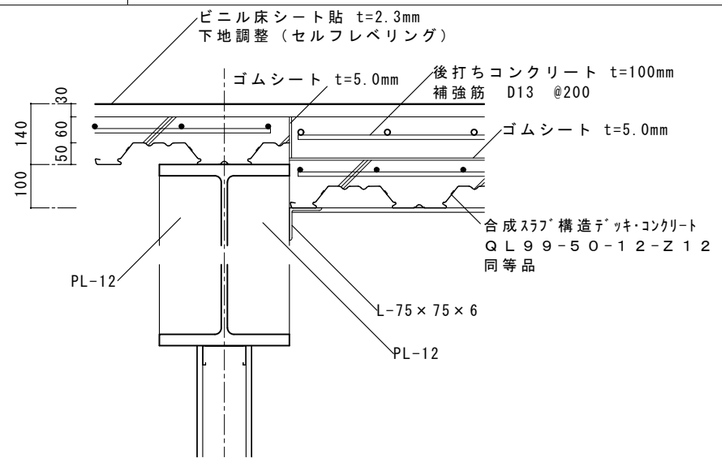
承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-63
			図面名称：各部詳細図 1（参考図）　SCALE 1/10	

A2→A3縮小 71%

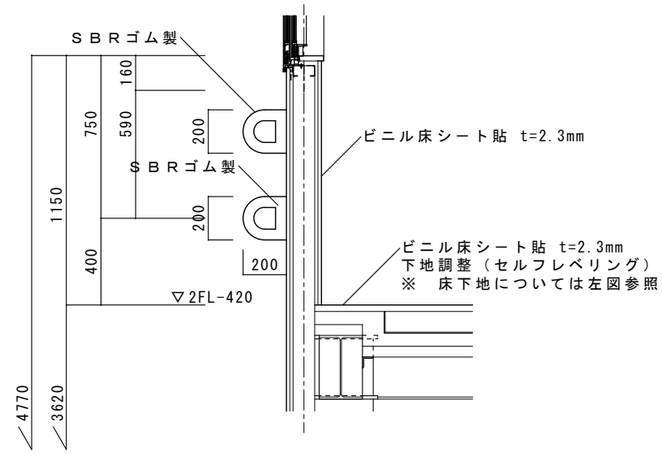
床　２階床（Ｒ階スラブも準ずる）　S=1:10



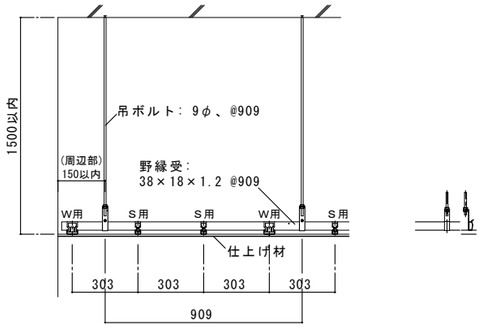
床　２階救急研修室床　S=1:10



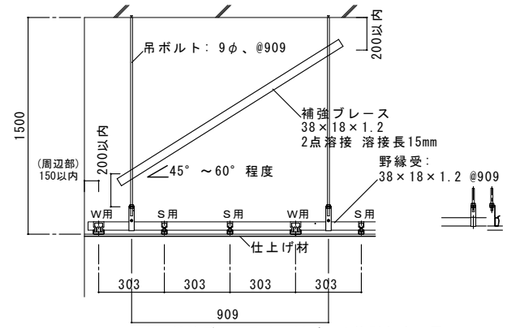
窓　２階救急研修室窓下ハシゴ受緩衝材　S=1:20



天井　天井鋼製下地（一般部）　S=1:20

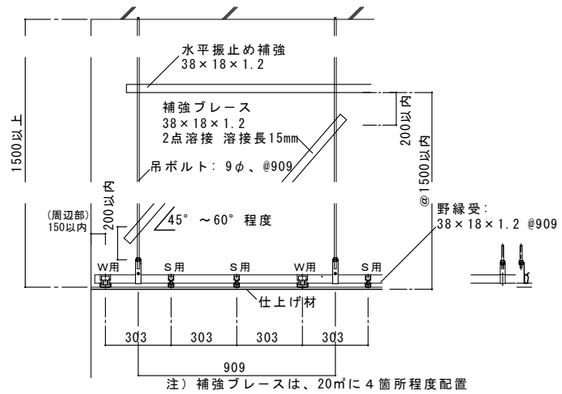


天井　天井鋼製下地　S=1:20



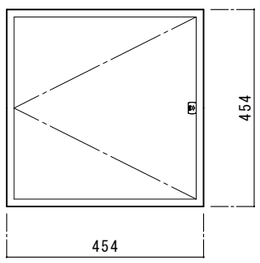
注）補強ブレースは、20㎡に４箇所程度配置
（Ｘ、Ｙ方向：各２箇所）

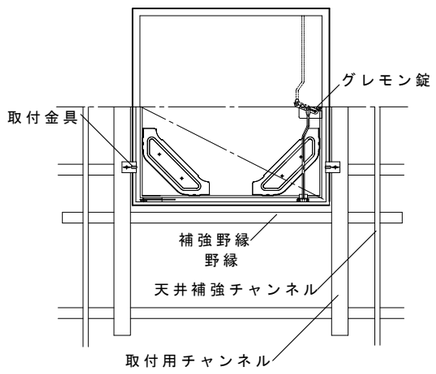
天井　天井鋼製下地　S=1:20



注）補強ブレースは、20㎡に４箇所程度配置
（Ｘ、Ｙ方向：各２箇所）

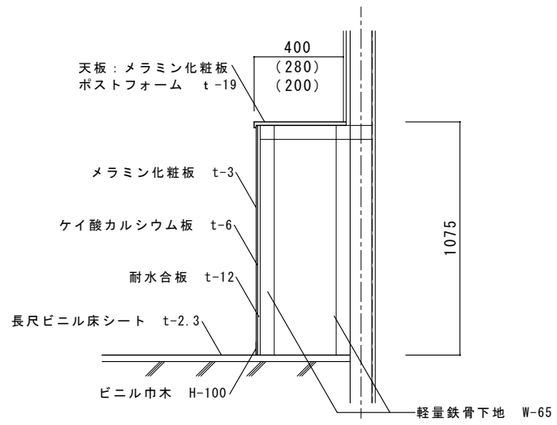
天井　天井点検口　S=1:10





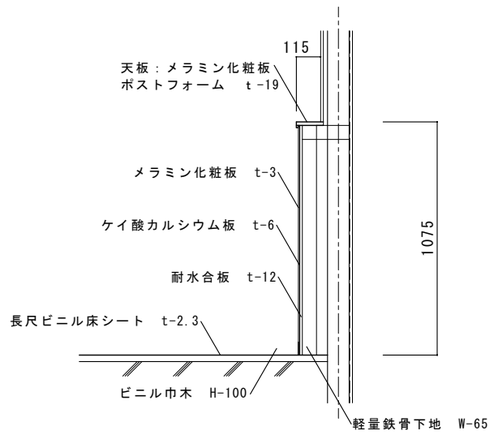
ナカ工業株式会社 同等品
天井点検口「ハイハッチ」
ＡＴタイプ゜同等品
HHAT454（HHAT-K454）
454×454

床・壁　１階　多目的便所洋便器前：ライニング詳細図　S=1:3



※可動式手摺取付けについては、十分考慮の事

床・壁　手洗い・便所小便器前：ライニング詳細図　S=1:20



承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

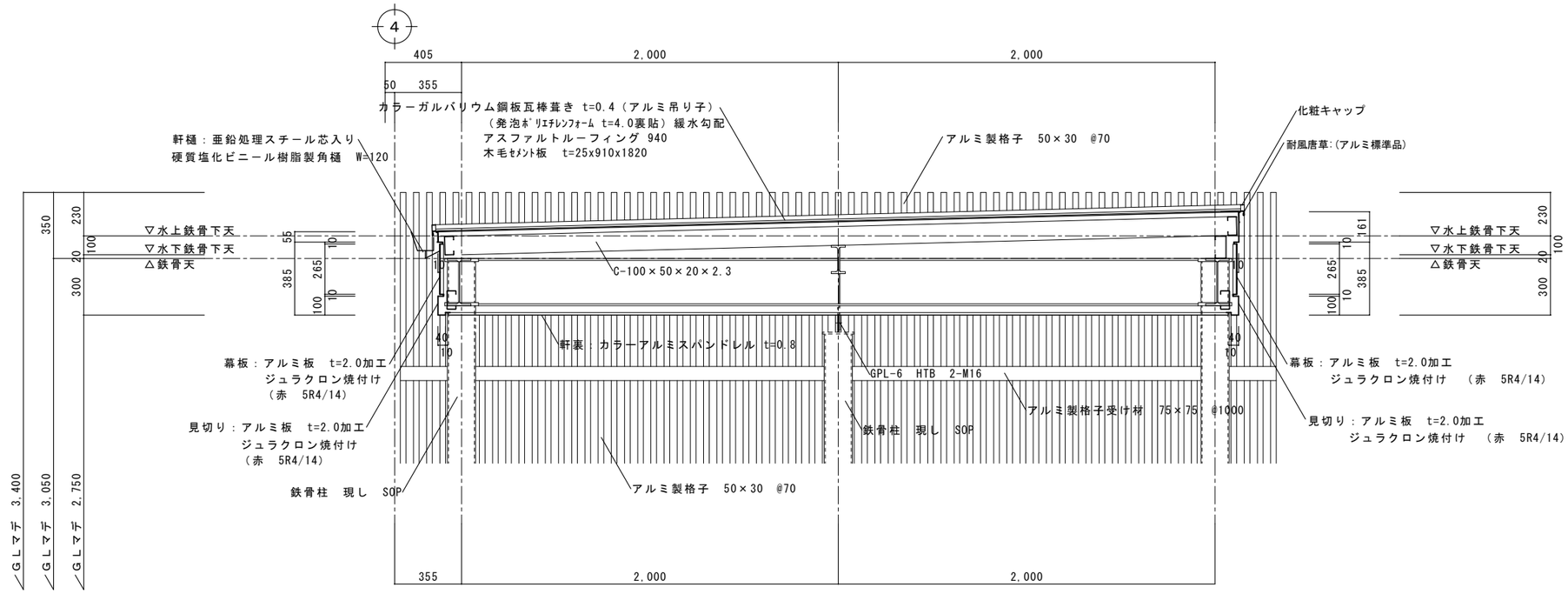
図面名称：各部詳細図 ２（参考図）　SCALE 1/10 1/20

A-64

A2→A3縮小 71%

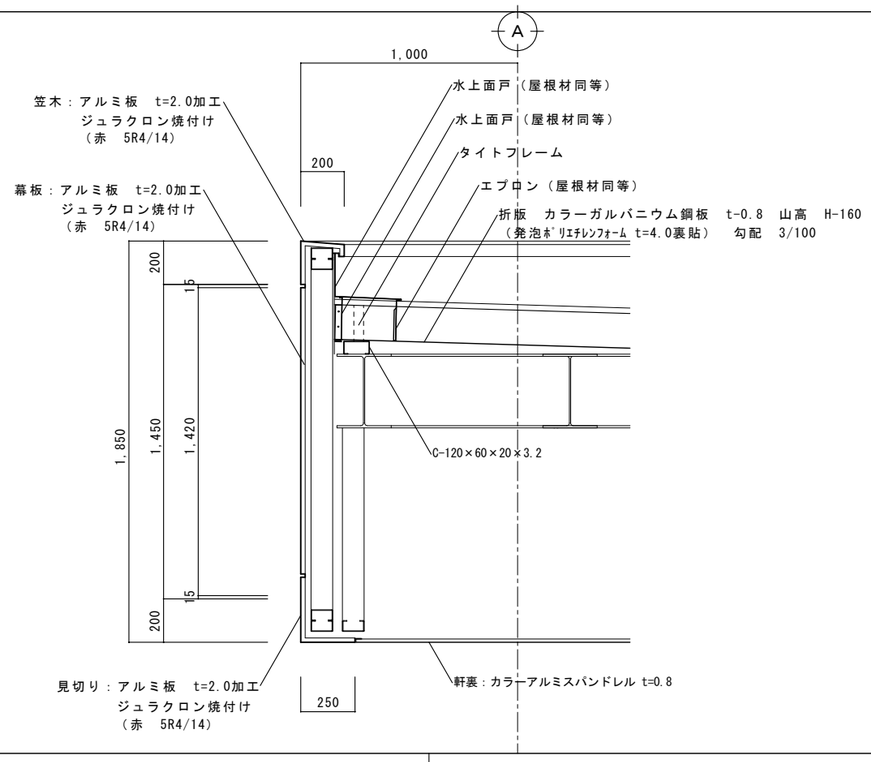
ポーチ屋根断面詳細図

S：1/20



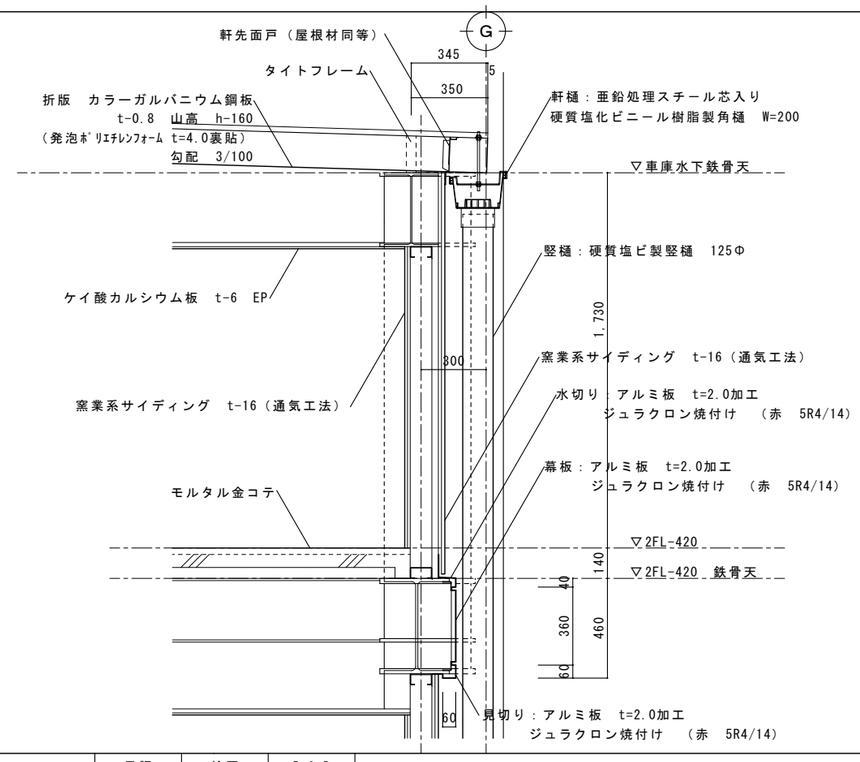
車庫屋根庇詳細図

S：1/20



車庫屋根水下詳細図

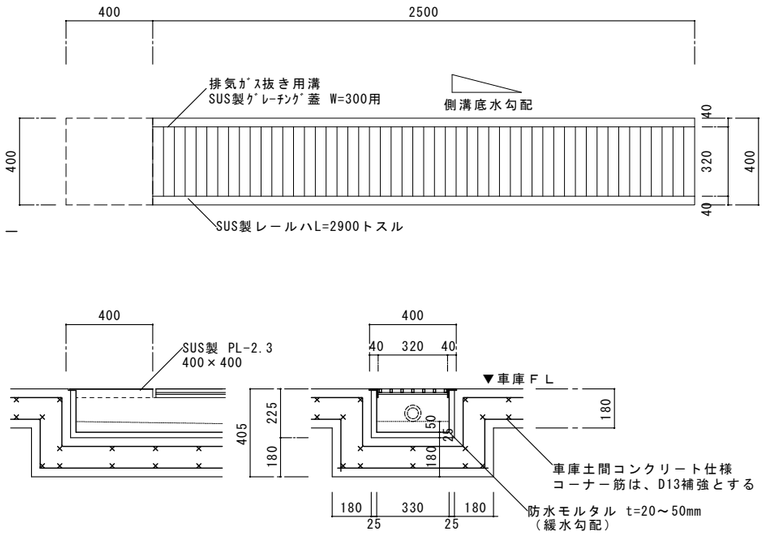
S：1/20



承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-65
			図面名称：各部詳細図 3（参考図） SCALE 1/20	

A2→A3縮小 71%

グレーチング詳細図１（車庫内）　S：1/20



各室出入口前グレーチング　S：1/20

仕　様

ステンレス製　ボルト固定式　縦目タイプ　細目プレーンタイプ

グレーチング（すきま6mm）　ＹＲＬ－Ｈ－Ａ－２０　150×500×20

材質：メインバー　ＳＵＳ３０４　@１４

クロスバー　ＳＵＳ３０４　@８０

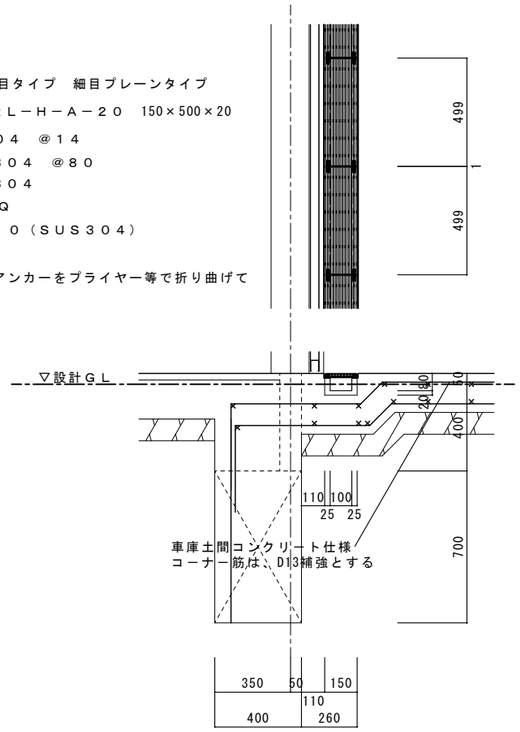
サイドバー　ＳＵＳ３０４

ステンレス製受枠　ＲＬ－２０ＲＱ

材質：ステンレス鋼板ｔ＝３．０（ＳＵＳ３０４）

定尺：２０００

施工場所の状況に合わせて、アンカーをプライヤー等で折り曲げてご使用ください。



シャッター前横断側溝　S：1/20

仕　様

ノンスリップタイプ　（T-25）

圧接式ボルト固定グレーチング　ＨＸＢＬ　８３５５５

材質：ＳＳ４００

処理：溶融亜鉛めっき

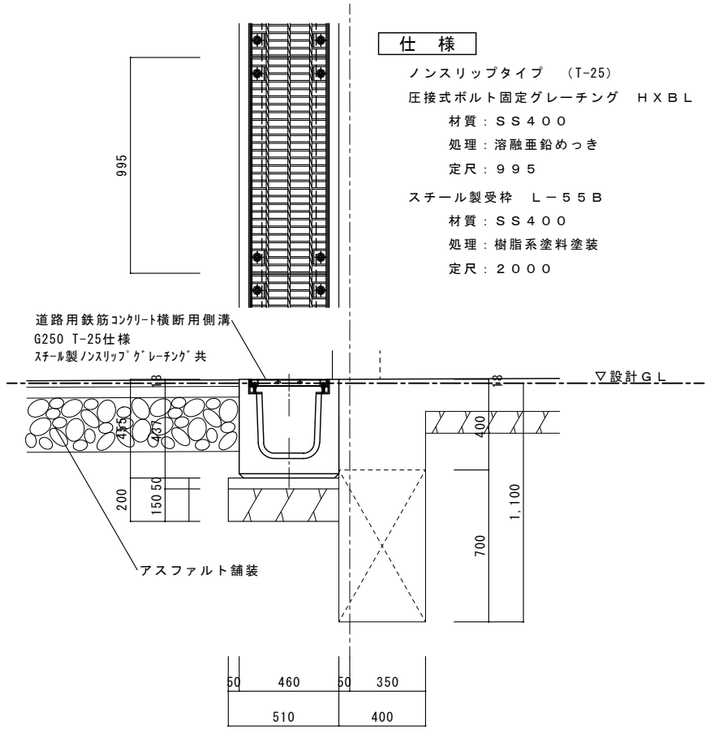
定尺：９９５

スチール製受枠　Ｌ－５５Ｂ

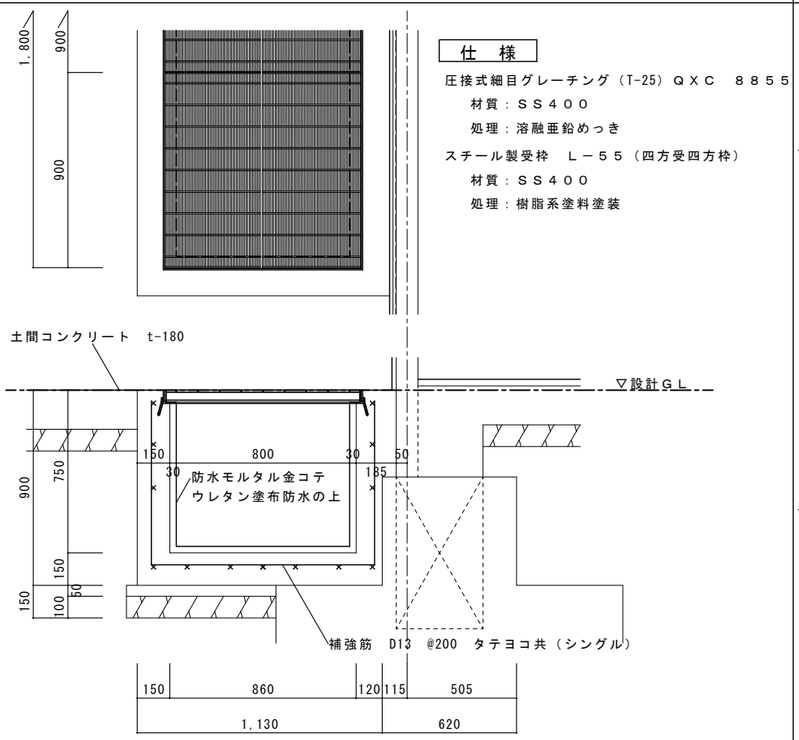
材質：ＳＳ４００

処理：樹脂系塗料塗装

定尺：２０００



ホース漬け置き場　S：1/20



仕　様

圧接式細目グレーチング（T-25）ＱＸＣ　８８５５

材質：ＳＳ４００

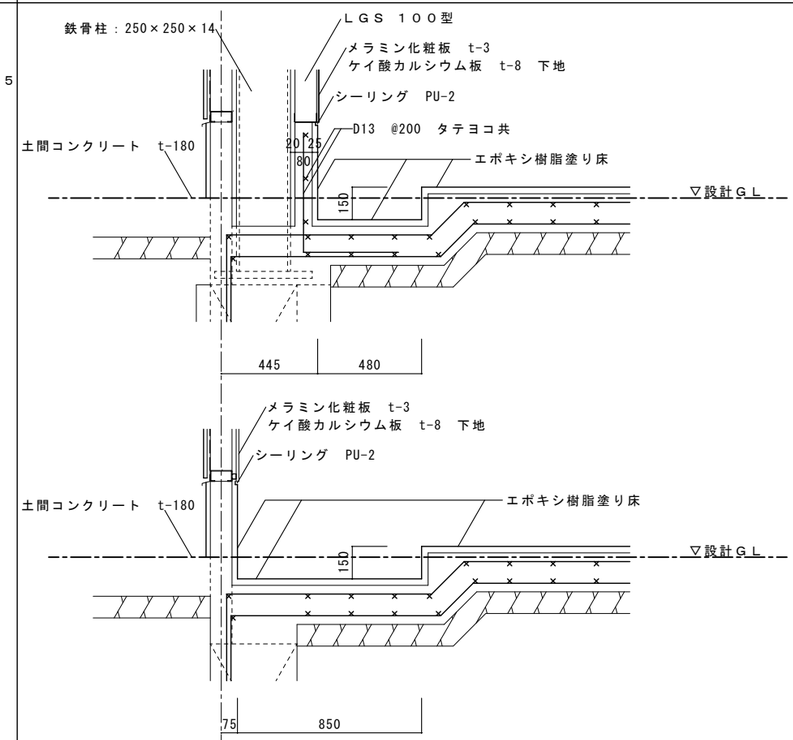
処理：溶融亜鉛めっき

スチール製受枠　Ｌ－５５（四方受四方枠）

材質：ＳＳ４００

処理：樹脂系塗料塗装

下流し（汚物洗浄室）　S：1/20



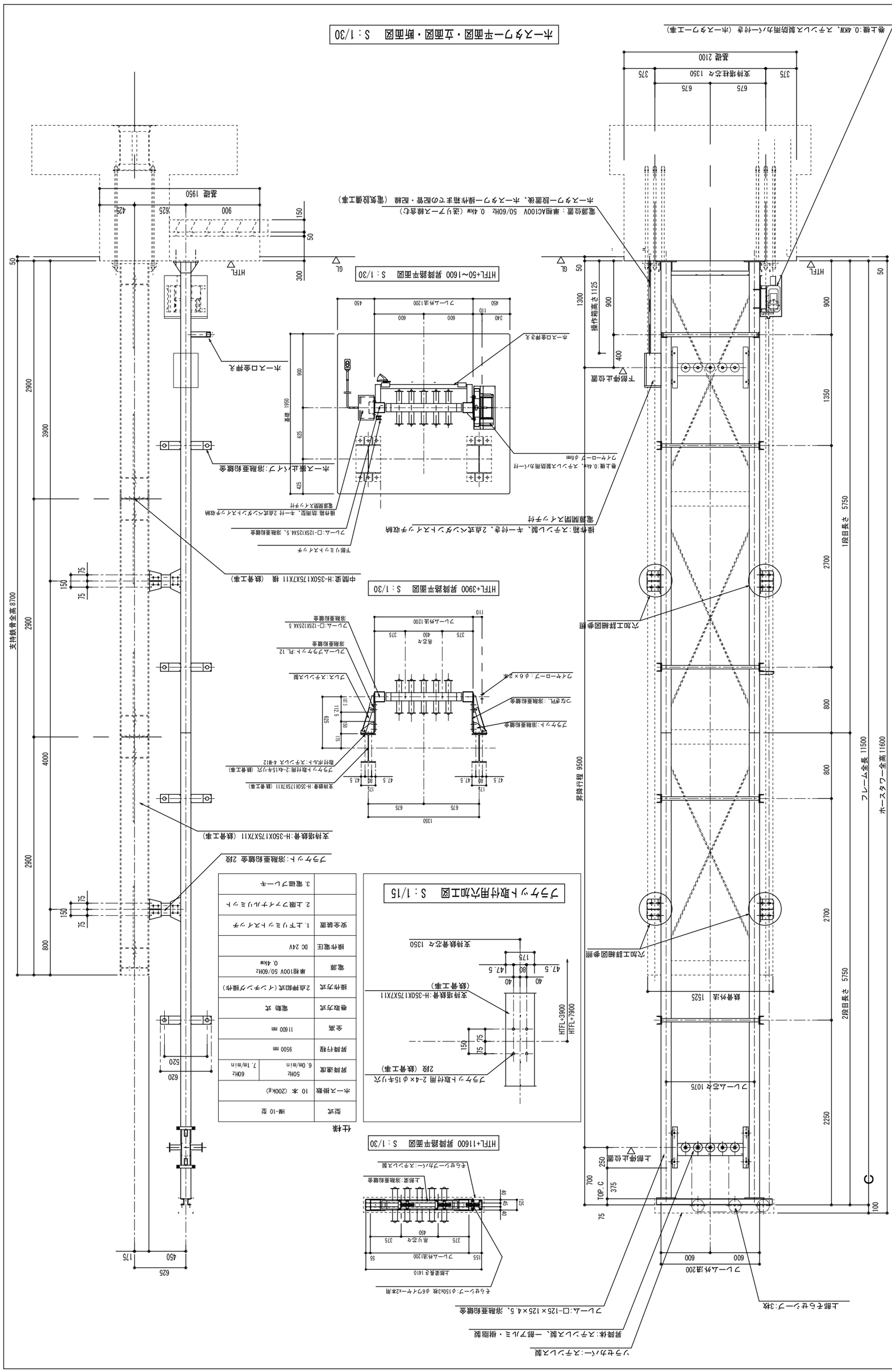
承認	検図	Ｐ＆Ｄ

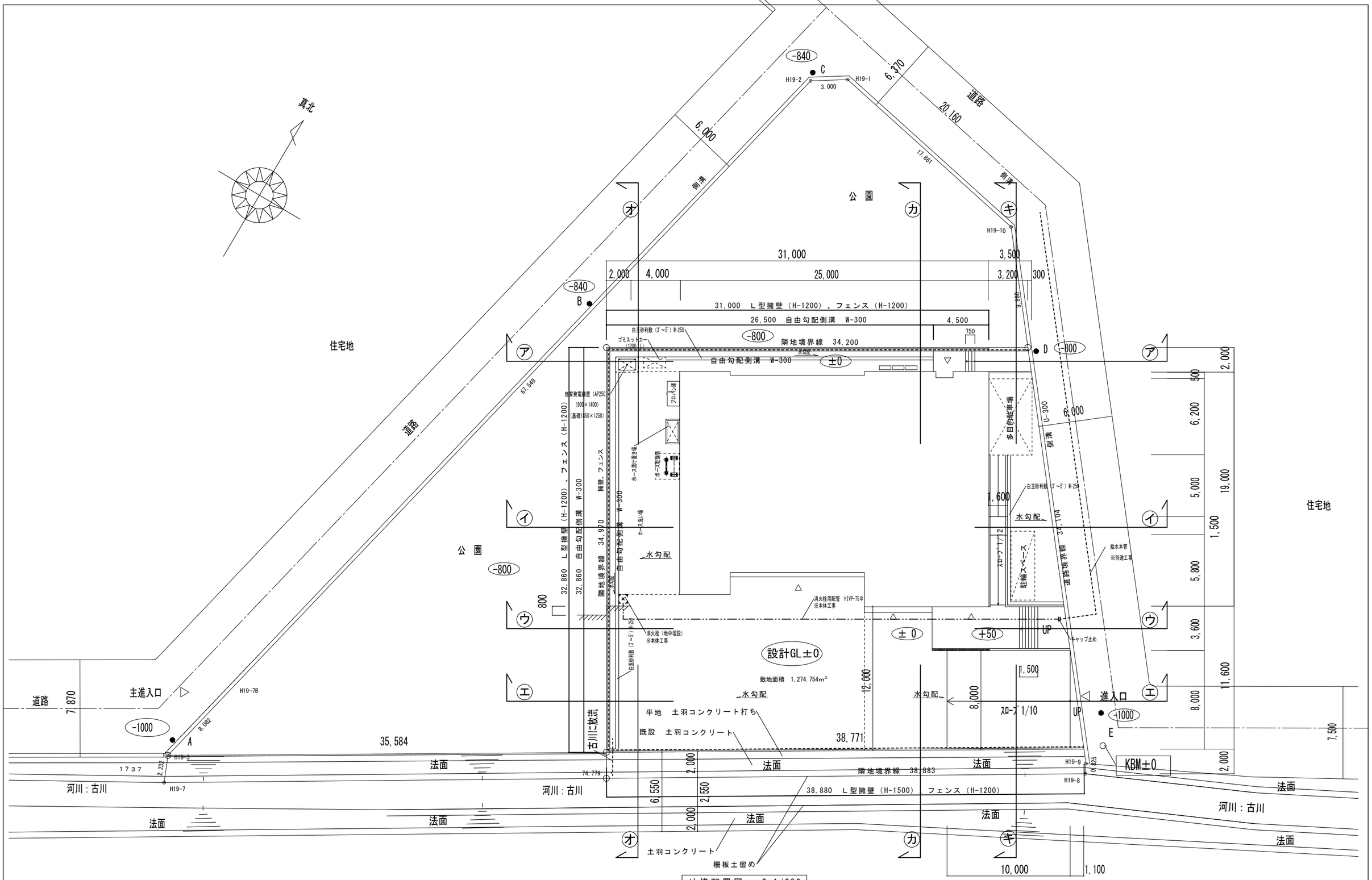
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：各部詳細図　４（参考図）　SCALE　1/20

A-66

A2→A3縮小 71%

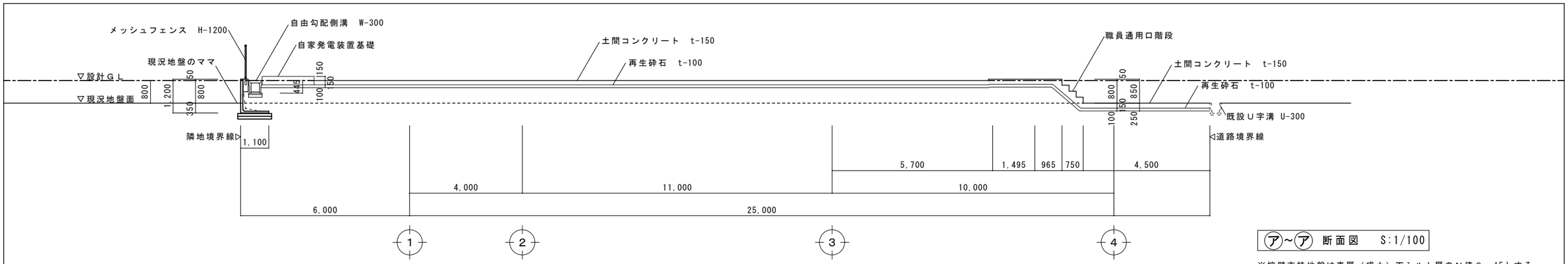

ホースタワー平面図・立面図・断面図　S：1/30
巻上機:0.4kW、スチンレス製防雨カバー付き（ホースタワー工事）
基礎 2100
支持塔柱芯々 1350
675
675
375
375
操作箱高さ1125
操作箱:スチンレス製、キー付き、2点式ベンダントスイッチ収納
電源開閉スイッチ付
巻上機:0.4kW、スチンレス製防雨カバー付
ワイヤーロープ φ6mm
ホースロ金押え
ホース抜止ハンク:溶融亜鉛鍍金
操作箱:防雨型、キー付 2点式ベンダントスイッチ収納
電源開閉スイッチ付
ブレーカ:□-125X125X4.5、溶融亜鉛鍍金
下部リミットスイッチ
中間梁:H-350X175X7X11 横 （鉄骨工事）
支持塔鉄骨:H-350X175X7X11 （鉄骨工事）
ブラケット:溶融亜鉛鍍金 2段
HTFL+50～1600 昇降路平面図　S：1/30
HTFL+3900 昇降路平面図　S：1/30
HTFL+11600 昇降路平面図　S：1/30
ブラケット取付用穴加工図　S：1/15
ブラケット取付用 2-4×φ15キリバ
2段 （鉄骨工事）
支持塔鉄骨:H-350X175X7X11
（鉄骨工事）
HTFL+3900
HTFL+7900
支持鉄骨芯々 1350
仕様
型式 HM-10 型
ホース掛数 10 本 （200K㎏）
昇降速度 50Hz 6.0m/min 60Hz 7.1m/min
昇降行程 9500 mm
全高 11600 mm
巻取方式 電動 式
操作方式 2点押釦式（ペンダントスイッチ操作）
電源 単相100V 50/60Hz 0.4kW
操作電圧 DC 24V
安全装置 1.上下リミットスイッチ
2.上限ファイナルリミット
3.電磁ブレーキ
ブラケット:溶融亜鉛鍍金 2段
支持塔鉄骨:H-350X175X7X11 （鉄骨工事）
支持鉄骨:H-350X175X7X11 （鉄骨工事）
取付ボルト:スチンレス 4-M12
ブラケット取付用:2-4×15キリバ （鉄骨工事）
ブラケット:溶融亜鉛鍍金
コの字PL:溶融亜鉛鍍金
ワイヤーロープ:φ6×2本
ブレーカ:スチンレス製
ブレーカ:□-125X125X4.5
溶融亜鉛鍍金
ブレーカ:□-125X125X4.5
溶融亜鉛鍍金
ブレーカ芯々 1200
吊芯々
ブレーカ芯々 1200
そらせシーブ:φ150X3枚 φ6ワイヤー×2本用
上部梁長さ1410
そらせシーブ:スチンレス製
上部梁:溶融亜鉛鍍金
そらせシーブ:スチンレス製
ウェイトカバー:スチンレス製
昇降体:スチンレス製、一部アルミ・樹脂製
ブレーカ:□-125×125×4.5、溶融亜鉛鍍金
上部そらせシーブ:3枚
ブレーカ芯々 1200
ブレーカ芯々 1075
鉄骨外法 1525
穴加工詳細図参照
上部停止位置
下部停止位置
昇降行程 9500
フレーム全長 11500
ホースタワー全高 11600
1段目長さ 5750
2段目長さ 5750
支持鉄骨全高8700
基礎 1950
基礎 1950
A-67
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：ホースタワー平面図・立面図・断面図（参考図） SCALE 1/30
P&D
検図
承認
A2→A3縮小 71%



外構配置図 S:1/200

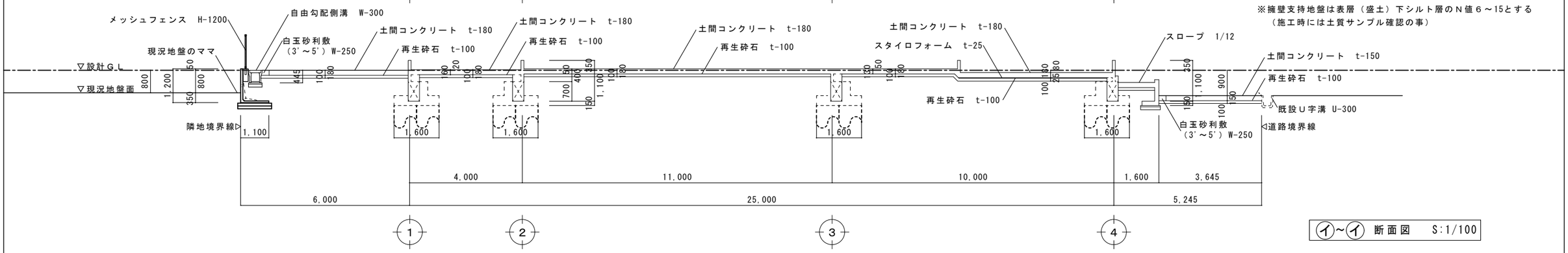
承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-68
			図面名称：外構配置図 SCALE 1/200	

A2→A3縮小 71%

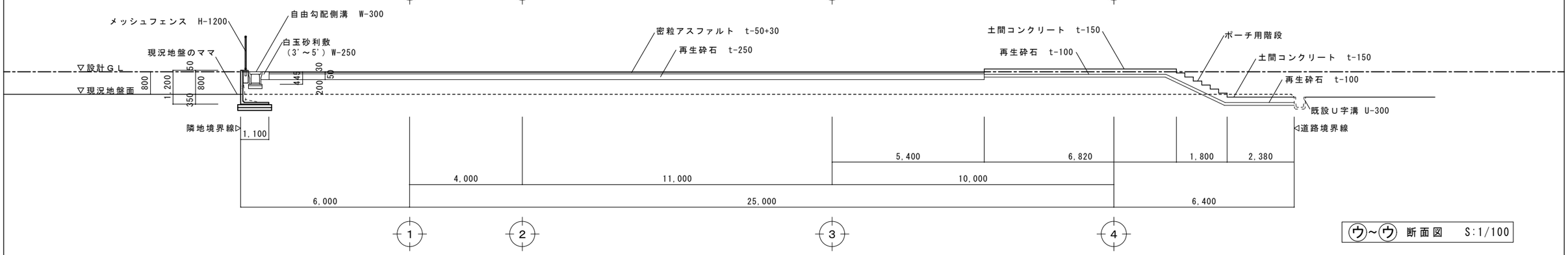


㋐~㋐ 断面図 S:1/100

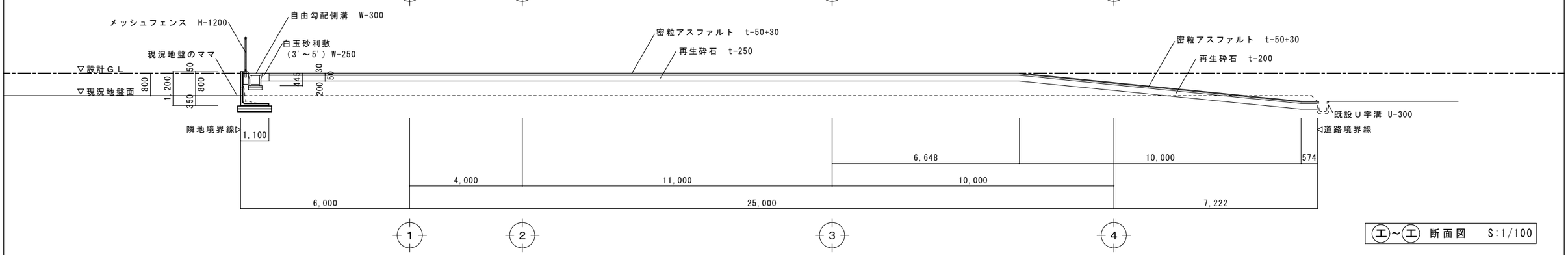
※擁壁支持地盤は表層（盛土）下シルト層のN値６～15とする
（施工時には土質サンプル確認の事）



㋑~㋑ 断面図 S:1/100



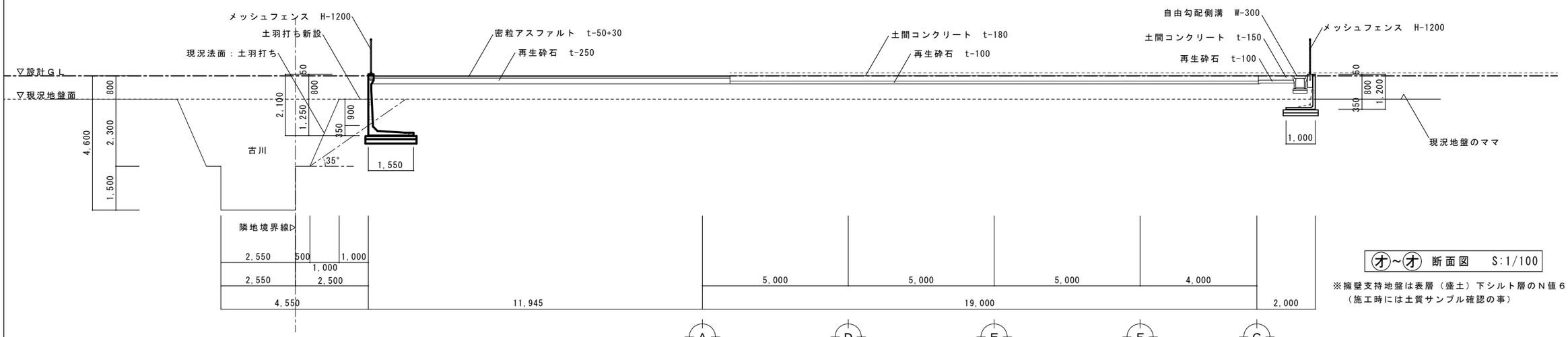
㋒~㋒ 断面図 S:1/100



㋓~㋓ 断面図 S:1/100

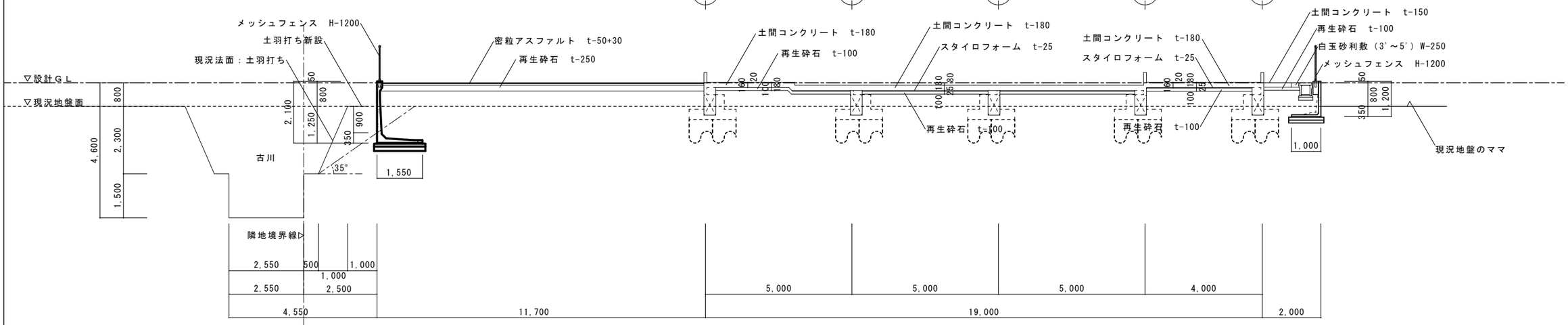
				承認	検図	P & D		
							工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-69
							図面名称：外構横断面図 SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%

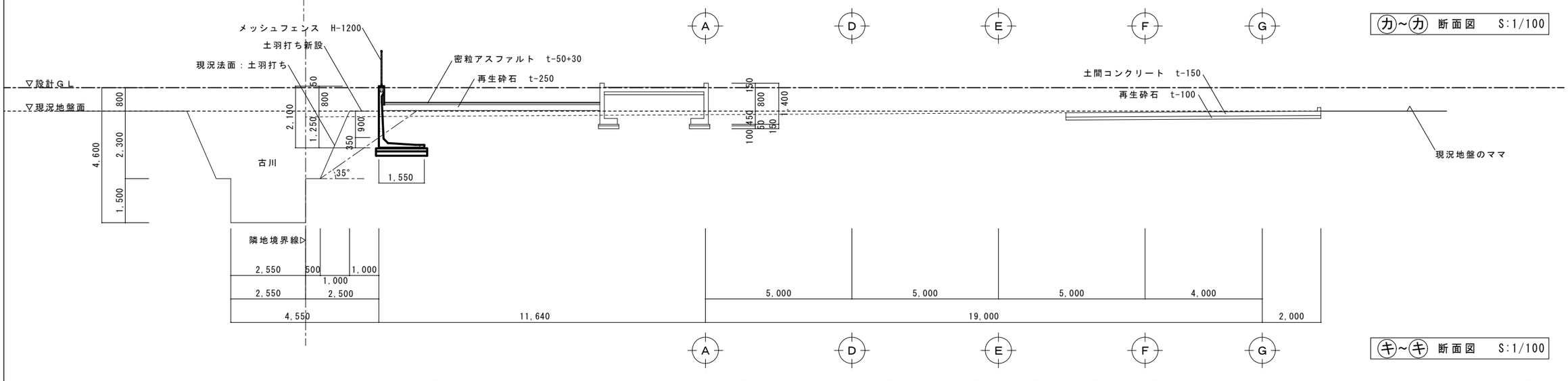


㋔~㋔ 断面図 S:1/100

※擁壁支持地盤は表層（盛土）下シルト層のＮ値６～15とする
（施工時には土質サンプル確認の事）



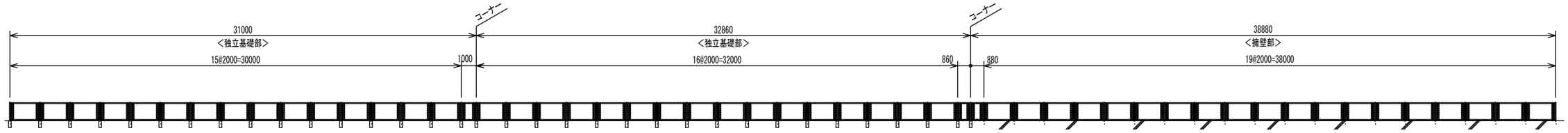
㋕~㋕ 断面図 S:1/100



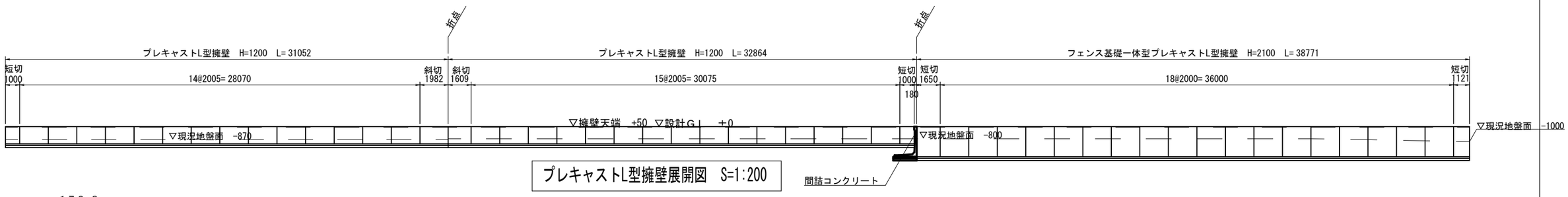
㋖~㋖ 断面図 S:1/100

			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-70
						図面名称：外構縦断面図 SCALE 1/100	

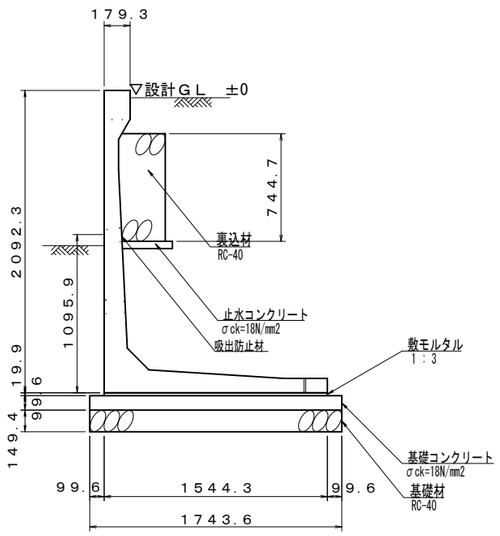
A2→A3縮小 71%



立面図　S=1:200

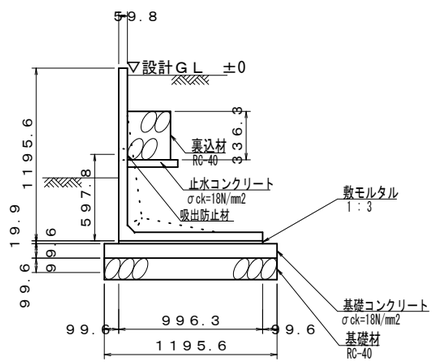


プレキャストL型擁壁展開図　S=1:200



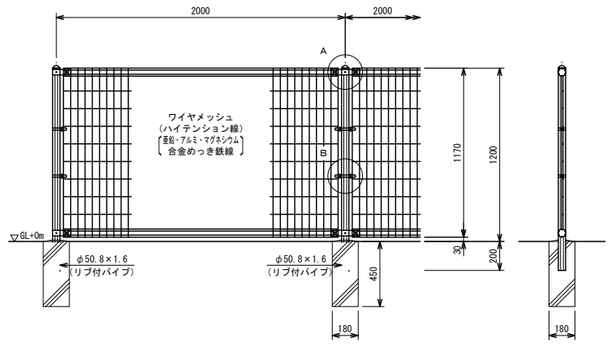
フェンス基礎一体型プレキャストL型擁壁標準図　S=1:30

H=2100



プレキャストL型擁壁標準図　S=1:30

H=1200



メッシュフェンス展開図　S=1:30

(昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る)

設計条件

設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

基礎条件・・・長期許容地耐力　９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

備考

１．外装について

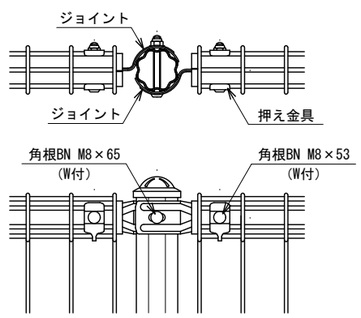
・主柱、ジョイント押え金具ワイヤメッシュ　・・・　亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装

・バ　ン　ド　・・・　亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装

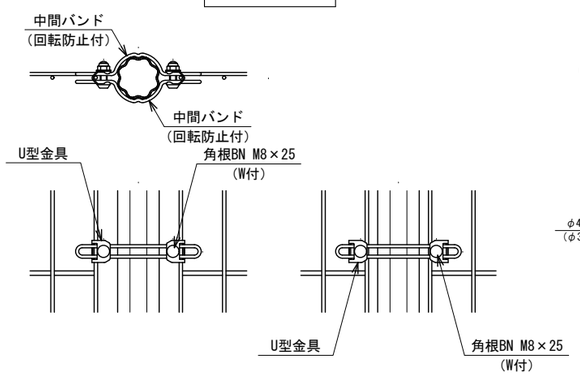
・Ｕ　型　金　具　・・・　亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理

・ボルト、ナット　・・・　溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

Ａ部取付図



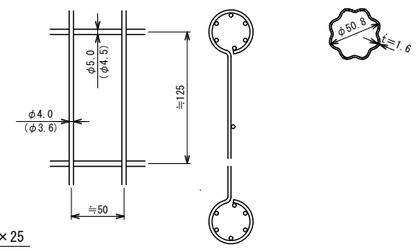
Ｂ部取付図



標準的な取付図　　パネルと柱のすきまがせまい場合の取付図

ワイヤメッシュ図　　パネル断面図　　リブ付パイプ断面図

（　）内は芯径を示す。



数量表(H=2100)　　10m当り

名　称	摘　要	計　算　式	数　量	単位
L型擁壁		L=2000 W=2260kg	10.00	m
基面整正		1.750×10.000	17.50	m2
基礎材	t=150mm RC-40	1.750×10.000	17.50	m2
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	0.100×1.750×10.000	1.75	m3
同上型枠		0.100×10.000×2	2.00	m2
敷モルタル	1：3	0.020×1.550×10.000	0.31	m3
止水コンクリート	σck=18N/mm2	0.350×0.050×10.000	0.18	m3
裏込材	RC-40	0.300×0.750×10.000	2.25	m3
吸出防止材		0.200×0.200×10	0.40	m2

数量表(H=1200)　　10m当り

名　称	摘　要	計　算　式	数　量	単位
L型擁壁		L=2000 W=697kg	10.00	m
基面整正		1.200×10.000	12.00	m2
基礎材	t=150mm RC-40	1.200×10.000	12.00	m2
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	0.100×1.200×10.000	1.20	m3
同上型枠		0.100×10.000×2	2.00	m2
敷モルタル	1：3	0.020×1.000×10.000	0.20	m3
止水コンクリート	σck=18N/mm2	0.350×0.050×10.000	0.18	m3
裏込材	RC-40	0.300×0.340×10.000	1.02	m3
吸出防止材		0.200×0.200×10	0.40	m2

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

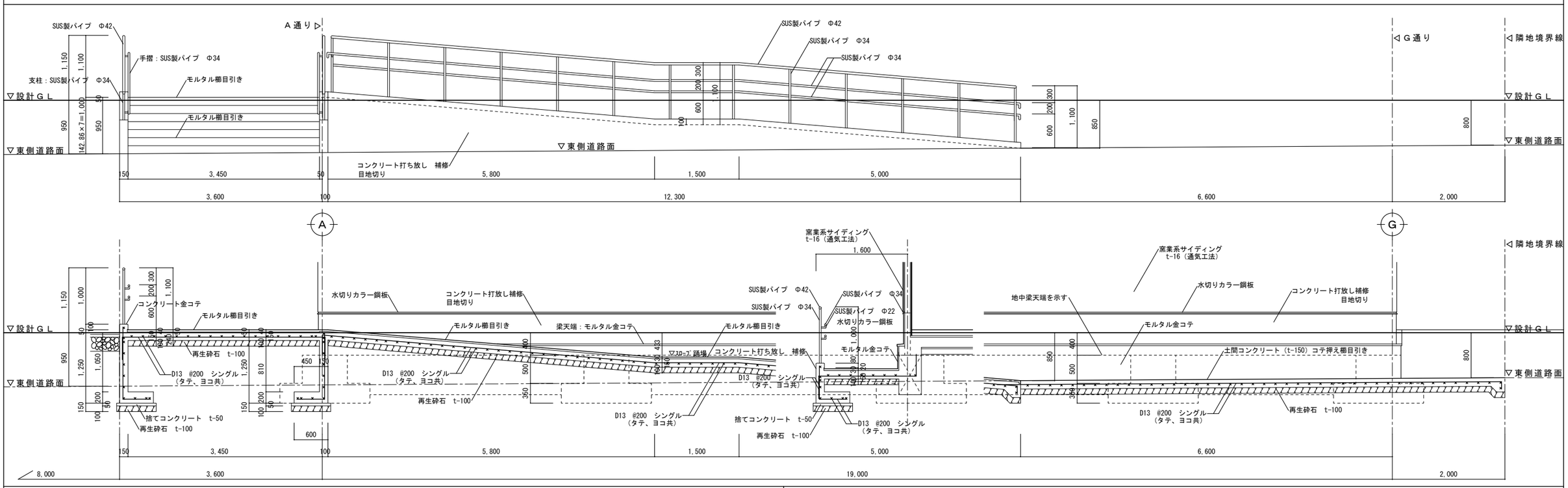
図面名称：L型擁壁・メッシュフェンス　SCALE　1/30,1/200

A-71

A2→A3縮小 71%

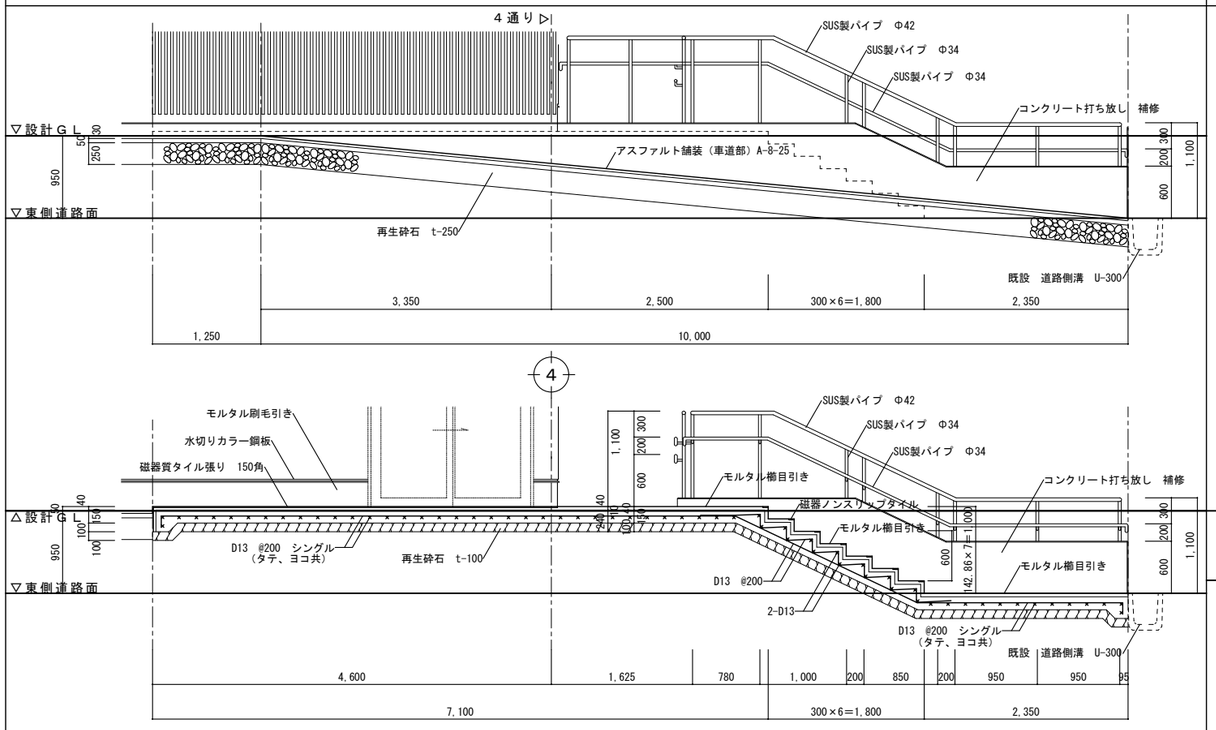
スロープ廻り詳細図

S：1/50



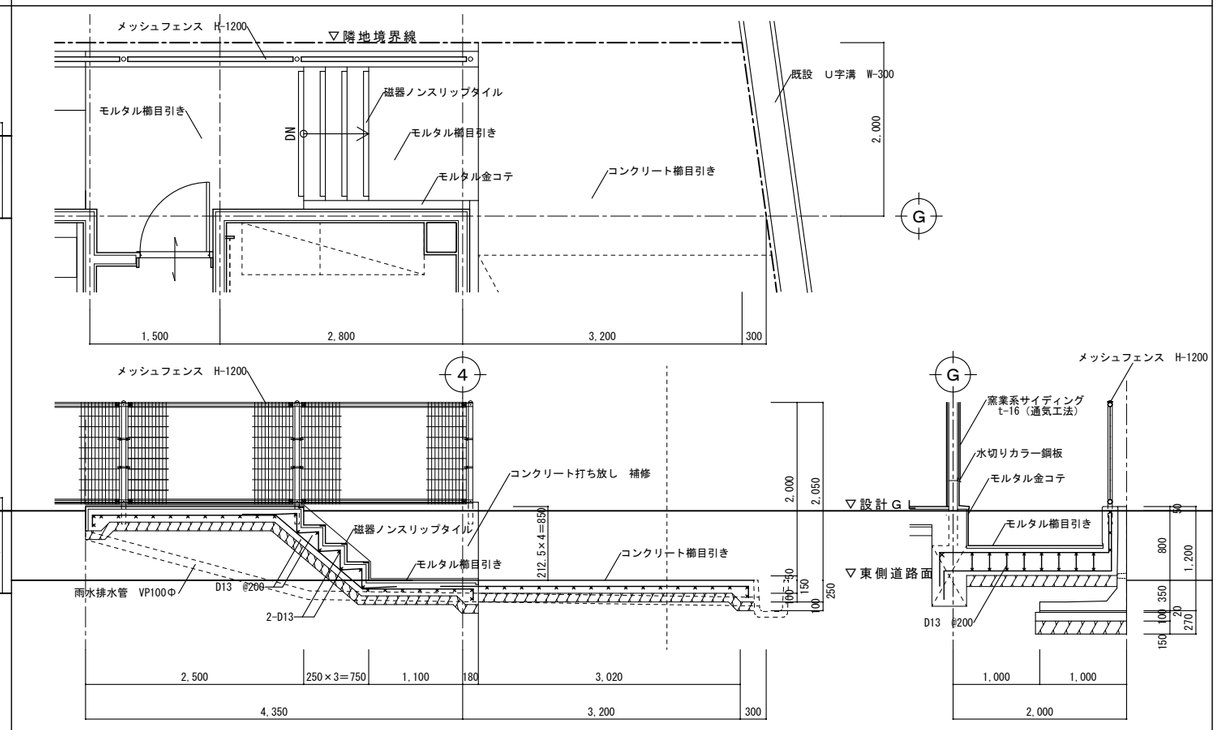
ポーチ階段廻り詳細図

S：1/50



通用口階段廻り詳細図

S：1/50



承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

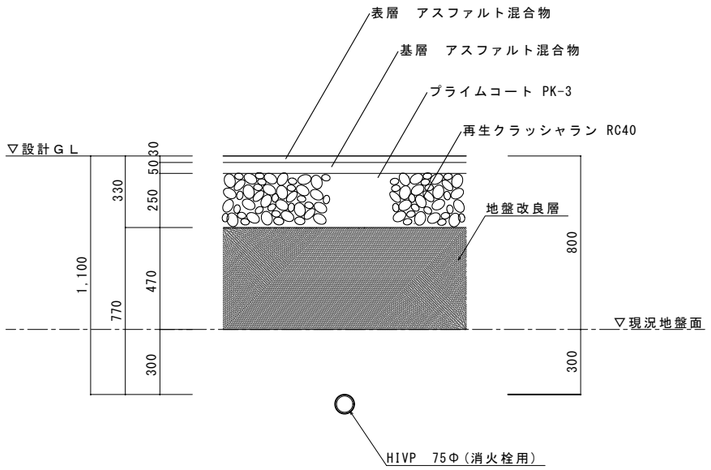
図面名称：外構詳細図①　　SCALE　1/50

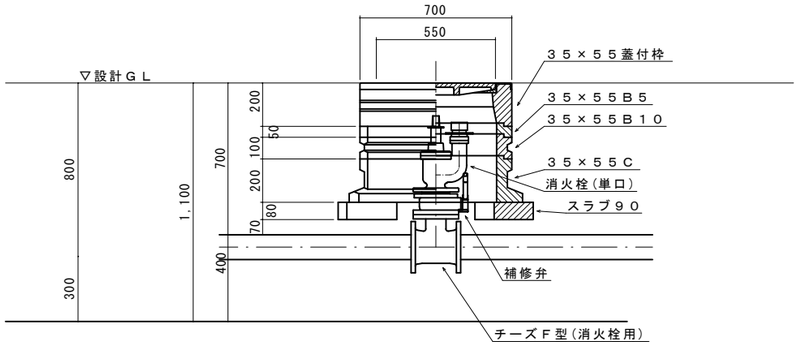
A-72

A2→A3縮小 71%

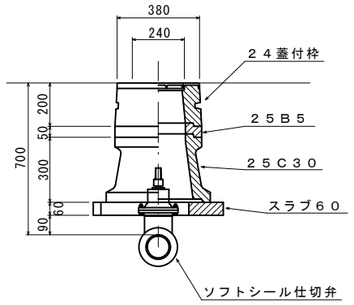
アスファルト舗装・屋外消火栓配管位置図

S：1/20





消火栓標準図

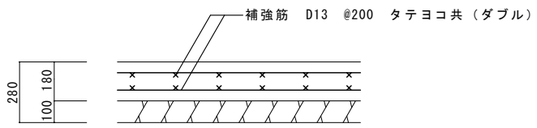


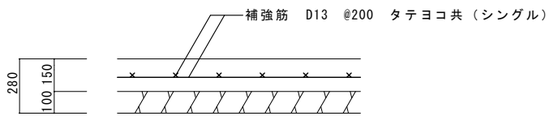
仕切弁標準図
（φ７５・φ５０）

（参考図）

土間コンクリート

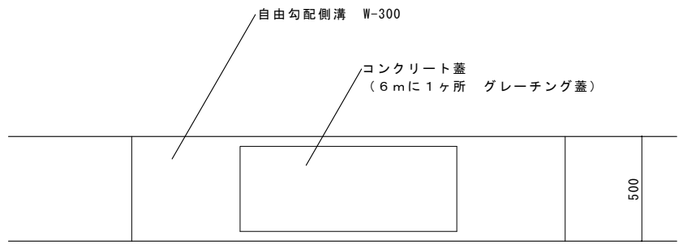
S：1/20

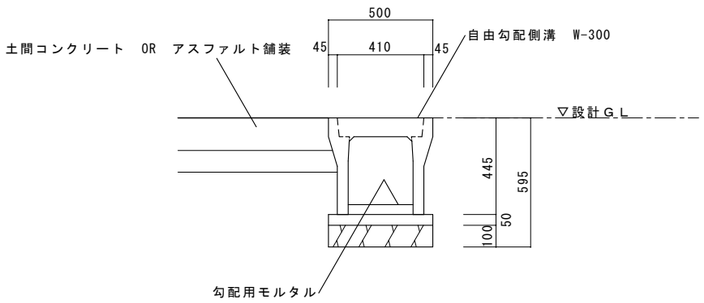




自由勾配側溝

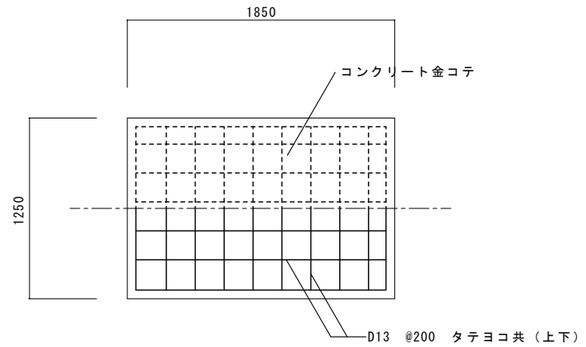
S：1/20

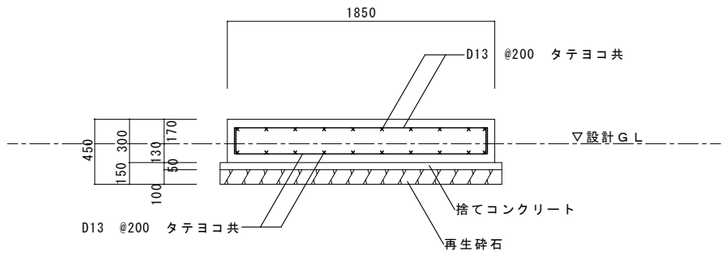




自家発電装置基礎

S：1/30



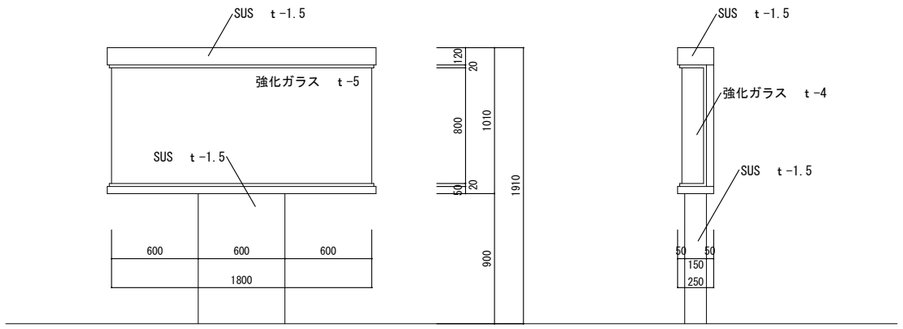


				承認	検図	Ｐ＆Ｄ		
							工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-73
							図面名称：外構詳細図② SCALE 1/20 1/30	

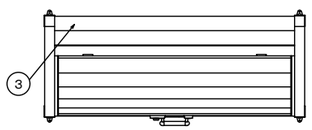
A2→A3縮小 71%

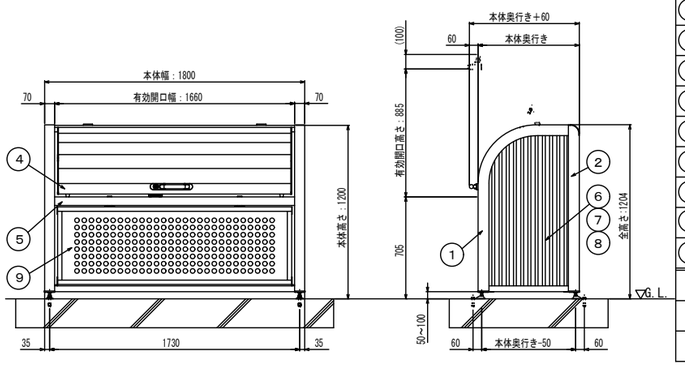
自立式掲示板　S:1/30

自立式SUS製掲示板　PC2型（杉田エース　PC2型同等品）



ゴミストッカー　S:1/30

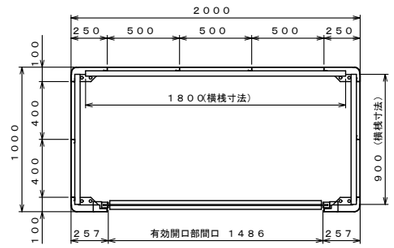




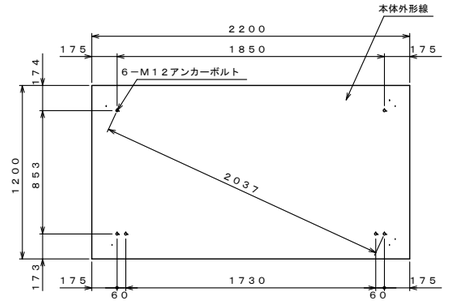
据付図　S:1/20

ボルト・ナット・座金	ステンレス（ＳＵＳ）
組立金具類	ステンレス鋼板（ＳＵＳ）
⑨前パネル板	アルミ・樹脂複合板（３ｔ）
⑧パネルＧ	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦パネルＦ，Ｊ，Ｋ，Ｌ	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥パネルＩ	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤錠受框	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
④施錠框	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
③後面パネル上横桟	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
②支柱後	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５） 陽極酸化・塗装複合皮膜
①支柱前	アルミ押出形材（Ａ６０６３Ｓ－Ｔ１） 陽極酸化・塗装複合皮膜＋溶剤塗装
主要部材	仕様（材質・塗装）
型式コード	ＧＰＳＲＮ－１８１２－□ＳＣ
商品名	ゴミストッカーＰＳＲ型 （基本セット）

プロパン庫　S:1/30

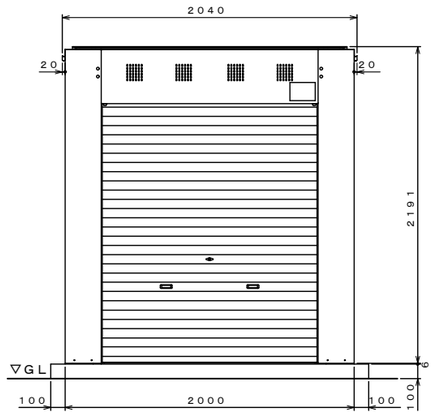


平面図　S:1/30

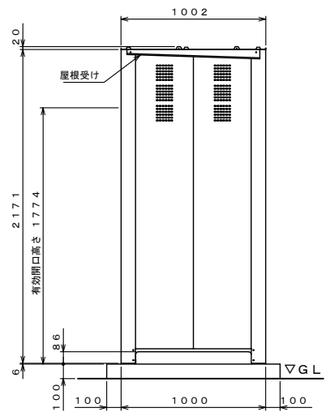


基礎伏図　S:1/30

【基礎設計条件】
- ・コンクリート強度：Ｆｃ２１Ｎ2／mm 以上
- ・積　載　荷　重　：ＬＰガス容器の最大本数のうち、半分が満量の状態、残り半分が空量の状態と想定して算出



正面図　S:1/30



側面図　S:1/30

■材質仕様

品　名	サ　イ　ズ	材　質	仕　上　げ
土台枠	ｔ１．６	Ｚ　Ａ　Ｍ	ポリエステル系樹脂塗装
柱	ｔ０．８	〃	〃
前上枠	ｔ０．８	〃	〃
後上枠	ｔ０．８	〃	〃
屋根受け	ｔ１．０	〃	〃
側面パネル	ｔ０．８	〃	〃
壁パネル	ｔ０．８	〃	〃
母屋	ｔ１．６	〃	〃
横桟	ｔ１．２	〃	〃
屋根	ｔ０．５	ガルバリウム鋼板	ポリエステル系樹脂ロールコート
シャッター	ｔ０．４	亜　鉛　鉄　板	〃
レール	ｔ１．０	〃	〃
ライナープレート	ｔ６．０	ＰＰ	
アンカーボルト	Ｍ１２×１１５	鉄	三価クロメート処理

【設置可能地域】　垂直積雪量１００ｃｍ以下、基準風速Ｖｏ４０ｍ／ｓ以下

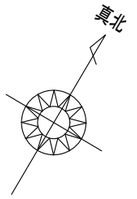
承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：外構詳細図③（参考図）　SCALE 1/30

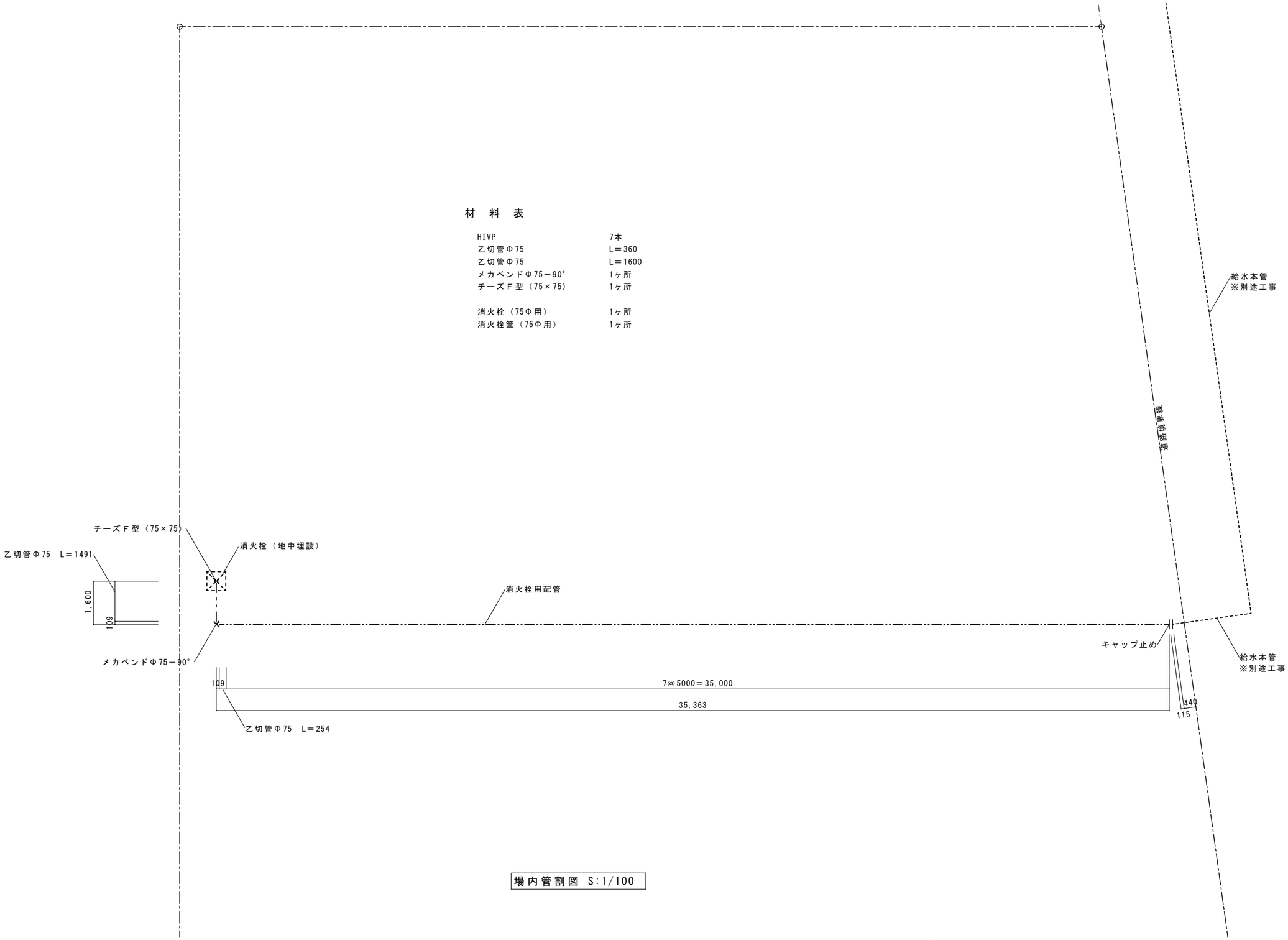
A-74

A2→A3縮小 71%



材　料　表

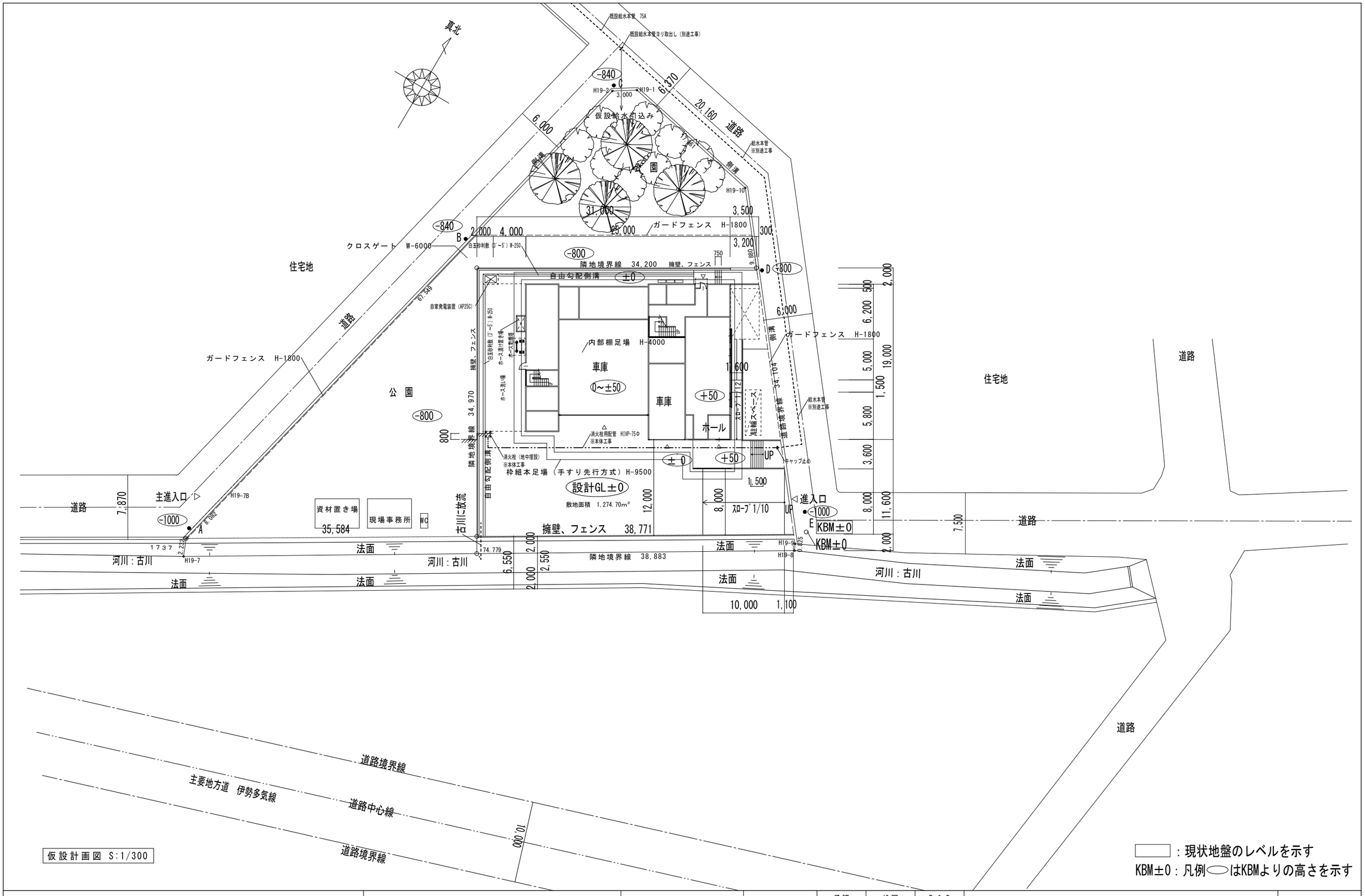
HIVP	7本
乙切管Φ75	L＝360
乙切管Φ75	L＝1600
メカベンドΦ75－90°	1ヶ所
チーズＦ型（75×75）	1ヶ所
消火栓（75Φ用）	1ヶ所
消火栓筐（75Φ用）	1ヶ所



場内管割図　S:1/100

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-75
							図面名称：場内管割図　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%



承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	A-76
			図面名称：仮設計画図（参考図） SCALE 1/300	

A2→A3縮小 71%

構造設計標準仕様

適用は ⊖ 印を記入する。

1．建築物の構造内容

(1) 工事名称 伊勢市消防署玉城出張所新築工事
建築場所 三重県度会郡玉城町 佐田

(2) 工事種別 ⊖ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築

(3) 構造種別
□ 木造(W) □ 補強コンクリートブロック造(CB) ⊖ 鉄骨造(S)
□ 鉄筋コンクリート造(RC) □ 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
□ プレキャストコンクリート造(PRC) □

(4) 階 数 地下 0 階 地上 2 階 塔屋 0 階

(5) 主要用途 その他（消防署・分署）

(6) 屋上付属物 □ 広告塔 □ 高架水槽 kN □ □
□ 煙 突 □ キュービクル kN □ □

(7) 特別な荷重
□ エレベーター 人乗（ロープ式 油圧式） □ リフト kN □ ホイスト kN
□ 倉庫積載床用 N・ □ 受水槽 kN

(8) 付帯工事 □ 門塀 □ 擁壁 □ □ □ □

(9) 増築計画 □ 有（ ） ⊖ 無

(10) 構造計算ルート X方向ルート 1 Y方向ルート 1

2．使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 Fc=N/mm²	品質管理強度 Fq=N/mm²	スランプ cm	比 重
捨コンクリート	⊖ 普通	18		15	2.3
土間コンクリート	⊖ 普通	21	S値補正	18	2.3
基礎・基礎梁・躯体	⊖ 普通	21	S値補正	18	2.3
立上り～R階床	⊖ 普通 □ 軽量	21	S値補正	18	2.3
ﾊﾞﾙｺﾆｰ増打ち	□ 普通 □ 軽量				
押えコンクリート	□ 普通 □ 軽量				
水セメント比	５５％以下（土間コン、捨てコン、押えコンを除く）				

(2) コンクリートブロック(CB)
□ A種 □ B種 □ C種 厚 □100 □120 □150 □190

(3) 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	⊖ SD295A	D10～D16	柱・梁	⊖ 重ね継手
	□ SD295B			
	⊖ SD345	D19～D25	基礎・梁	⊖ ガス圧接継手 D19以上
	□			
高強度せん断補強筋	□			□ 特殊継手
丸 鋼	□ SR235			（ ）
溶接金網(JIS G 3551)	⊖ φ6 150×150			

(4) 鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
⊖ SS400 □ SM400 ⊖ SN490B.C	梁、側桁、他	□ 有 ⊖ 無	
⊖ STKR400 □ STK400 □ SN400C		□ 有 ⊖ 無	
⊖ BCR295 □ BCP235 □	柱	□ 有 □ 無	
□ SM490A □ SM490B.C □		□ 有 □ 無	
⊖ SSC400 □ SWH400L □	母屋、胴縁	□ 有 □ 無	
□ SWH400 □ □		□ 有 □ 無	

(5) ボルト ○使用箇所の詳細については別途図示とする。

⊖ 高力ボルト ⊖ 普通:S10T □ 普通:F8T 認定品（□ M12、⊖ M16、⊖ M20、□ M22 □ M24）
□ 中ボルト M＝12 M＝ 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
高力ボルト導入張力確認試験 □ 要 □ 否
⊖ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ間柱用 ⊖ SS400 M＝16 ①＝450 L＝600 L＝700 mm ナット（ダブル）
⊖ ベースパック
○使用箇所等の詳細については別途図示とする。

□ 頭付きスタッド φ＝ L＝ mm 使用箇所（□ 柱、□ 大梁 □ 小梁）
φ＝ L＝ mm 使用箇所（□ 柱、□ 大梁 □ 小梁）

(6) 屋根、床、壁 □ アスロック
⊖ 屋根：折版葺き
⊖ ＱＬデッキプレート 型式 厚 t=1.2
□ キーストンプレート 型式 厚
□ 特殊デッキプレート

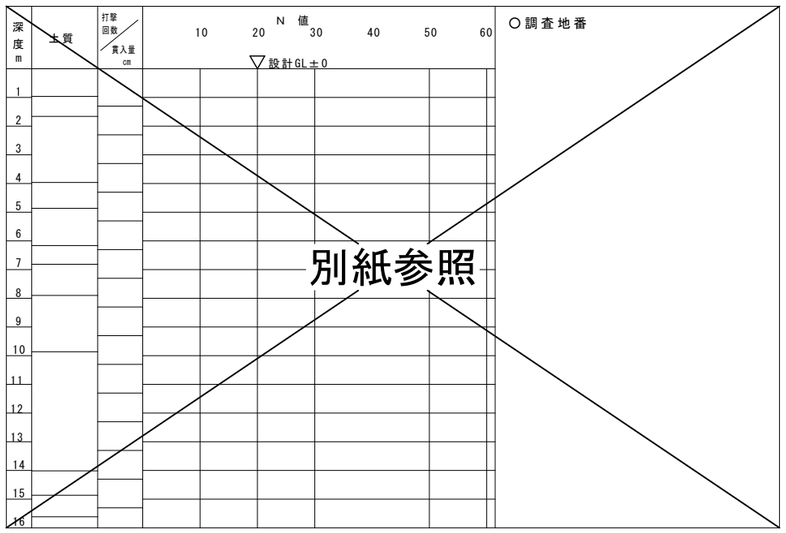
3．地 盤

(1) 地盤調査資料
⊖ 有（⊖ 敷地内 □ 近隣） ⊖ ボーリング調査
□ 液状化判定 □ 現状透水試験 □ 土質試験
□ 無（調査予定 □ 有 □ 無）

(2) 地盤調査計画
□ ボーリング調査 □ 静的貫入試験 □ 標準貫入試験 □ 水平地盤反力係数の測定
□ 土質試験 □ 物理探査 □ 平板載荷試験 □ 試験堀（支持層の確認）

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎、杭の位置を明記すること）



4．地業工事

(1) 直接基礎 □ ベタ基礎 □ 布基礎 ⊖ 独立基礎 試験掘 □ 有 □ 無
載荷試験 □ 有 □ 無

(2) 地業基礎

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□ RC □ CPRC □ PHC □ H鋼 □ 鋼管 □ 摩擦杭 ⊖ 柱状改良	CPRC（□1種 □2種 □3種） PHC（□A種 □B種 □C種） 鋼材 □STK490 □SKK400	□ 打ち込み □ 埋込み（セメントミルク工法） □ 回転圧入工法	
		□ ﾌﾟﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固工法	
□ 場所打ちコンクリート杭	ｺﾝｸﾘｰﾄ Fc= N/mm² ｽﾗﾝﾌﾟ cm ｾﾒﾝﾄ量 kN/mm² 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD	□ オールケーシング □ 拡底杭 □ リバースサーキュレイション □ アースドリル □ ミニアース □ 手掘り □ 機械堀 □ ＢＨ □ 深礎	拡底杭 日本建築センター 認定 第 号 年 月 日

改良仕様 □ 施工計画書承認 □ 改良施工結果報告書
改良試験 （□ 有 □ 無） （□打ち込み □ 載荷 □ 試掘） 最初の１本

改良径(mm)	設計支持力(kN／m²)	改良長さ(m)	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

⊖ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5-2009による。
⊖ 耐久設計基準強度Fd ⊖ 一般 □ 標準 □ 長期
⊖ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
⊖ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
⊖ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
⊖ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器具を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
⊖ 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適切な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、一回当り６本以上とし、そのうち４週用に３本用いる。
⊖ ポンプコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25°C未満の場合は120分、25°C以上の場合は90分以内とする。

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：構造設計標準仕様① SCALE N/S

S-01

A2→A3縮小 71%

(2) 鉄　筋

⊖ 鉄筋はJIS　G3112の規格品とする。施工はJASS5(1997)による。

⊖ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。

⊖ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継ぎ手の重ね長さ、定着長さは『配筋標準図』による。

⊖ D19未満は、すべて重ね継ぎ手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は日本圧接協会『鉄筋のガス圧接工事標準仕様書』による。

⊖ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を越えるときは、200箇所ごと)に１回行い、１箇所の試験は５本以上とする。

外観検査　⊖ 有　□ 無、引張試験　⊖ 有　□ 無、超音波探傷試験　⊖ 有　□ 無

⊖ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、　⊖Ｈ型(タガ型)　□Ｗ型(溶接型)　□　Ｓ型(スパイラル型)とする。

⊖ コンクリート及び鉄筋の試験は『建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要項』第４条の試験機関で行うこと。

試験機関名

代行業者名

代行業者名とは、試験、検査、に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型　枠

⊖ 材料　　合板厚　12mmを標準とする。　　⊖ 施工はJASS5による。

⊖ 型枠在置期間

種類 / 部位		せき板				支柱		
		基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種
在置期間の平均気温								
コンクリートの材令(日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度		5.0 N／mm3		設計基準強度の50%		設計基準強度の		
						85%		100%

注）１　片持ばり、庇、スパン9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）５　支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）６　上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

６．鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

⊖ 日本建築学会『JASS6』『鉄骨精度検査基準』『鉄骨工事技術指針』

⊖ 鋼材倶楽部『建築鉄骨工事施工指針』

□

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

⊖ 製作工場　　⊖ 製作要領書　　⊖ 工作図　　□ 施工計画書

⊖ 認定または登録工場（　　Ｒ グレード　　都登録　　ランク）

⊖ 材料規格証明書または試験成績書

⊖ 鋼材　⊖ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ 頭付スタッド

⊖ 社内検査　　□　　□

(3) 工事監理者が行う検査項目

(□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

⊖ 原寸検査　　⊖ 組立検査　　⊖ 製品検査

⊖ 建方検査　　□　　□

(4) 接合部の溶接は下記によること

□ 東京都アーク溶接工事管理基準(建築構造設計指針第12章)

□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要項(建築構造設計指針第12章)

□

⊖ 日本建築学会『鉄骨工事技術指針・工事現場施工編』

(5) 接合部の検査

⊖ 溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
□ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 % 個	30 % 個	10 % 個	
□	外観(目視)試験	100 %	%	%	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名	監理者の承認を得る事				
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1)　現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査を行うこと。
注2)　現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。

⊖ 高力ボルトは『JISB1186の高力ボルト』を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤錆状態であること。ただし、シットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

⊖ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締め付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合部の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、２回塗りとする。

□ 現場における高力ボルト接合部および接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

□ 溶融亜鉛メッキ仕上げ　(JIS K 5629)

(7) 耐火被覆の材料

□

７．設備関係

⊖ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。

⊖ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

⊖ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

⊖ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

⊖ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備・給湯設備は、

⊖ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

⊖ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

⊖ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

⊖ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ｺﾞﾑを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

８．その他

⊖ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

⊖ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

⊖ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-02
							図面名称：構造設計標準仕様② SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

1．共通事項

適用範囲
(1) 設計図書に記載がなければこの配筋基準図を準用する。
(2) 表、図番号及び記号は、国土交通省大臣官房官庁営繕監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」の番号を示す。
(3) 日本建築学会の指針等を参考にする場合は最新版とする。
(4) 図中の寸法単位はmmとし、単位記号は省略する。

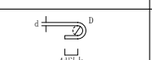
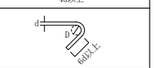
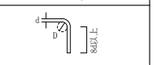
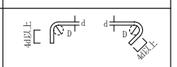
2．鉄筋の末端部及び中間部の加工

A 鉄筋の継手工法は、次による。
柱及び梁の主筋はガス圧接とし、その他の鉄筋は、重ね継手とする。ただし、次の場合にはガス圧接を行わない。
(1) 鉄筋の種類が異なる場合
(2) 形状が著しく異なる場合
(3) 径の差が5mmを越える場合
スラブ筋、壁筋などで隣接する配筋の間隔が変わる場合は、鉄筋間のあきを0.2L1かつ150mm以下とする。

B 異形鉄筋の末端部には、次の場合にフックを付ける。
(1) 柱の四隅にある主筋で、最上階の柱頭となる場合
(2) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
(3) 杭基礎のベース筋
(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

C 鉄筋の折曲げ加工は、次による。
(1) 鉄筋の折曲げ形状及び寸法は、表5.3.1による。

表5.3.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D) SD295A、SD295B、SD345 D16以下	D19～D38	SD390 D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°及び90°（幅止め筋）				

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。
2. 90°未満の折曲げの内法直径は設計図面による。

(2) 鉄筋の折曲げ形状とその使用箇所は、次による。

折曲げ角度	180°	135°	90°		135°及び90°
使用箇所	（末端部）杭基礎のベース筋	（末端部）あばら筋 帯筋 スパイラル筋	（末端部）T型及びL型の梁のあばら筋	（中間部）あばら筋 帯筋 スパイラル筋	（末端部）幅止め筋

3．鉄筋の継手及び定着

A 重ね継手の長さは、次による。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは細い鉄筋の径による。
(1) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、設計図面による。図示がなければ、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と表5.3.2の重ね継手長さのうち大きい値とする。
(2) (1)以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表5.3.2による。

表5.3.2 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc) (N/mm2)	L1(フックなし)	L1h(フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24 27	35d	25d
	30 33 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24 27	40d	30d
	30 33 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24 27	45d	35d
	30 33 36	40d	30d

(注) 1. L1、L1h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL1hは、図5.3.1に示すようにフック部分1を含まない。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

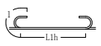
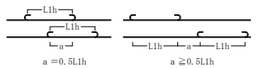
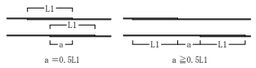
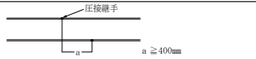
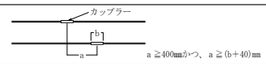


図5.3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(3) 隣り合う継手の位置は、表5.3.3による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。
なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、設計図面による。

表5.3.3 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	 a＝0.5L1h　a ≧0.5L1h
	フックなしの場合	 a＝0.5L1　a ≧0.5L1
圧接継手	—	 a ≧400mm
機械式継手	—	 a ≧400mmかつ、a ≧(b＋40)mm

B 鉄筋の定着は、次による。
(1) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、設計図面による。図示がなければ、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と表5.3.4の定着長さのうち大きい値とする。
(2) (1)以外の鉄筋の定着の長さは、表5.3.4による。

表5.3.4 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc) (N/mm2)	フックなし L1	L2	L3 小梁	L3 スラブ	フックあり L1h	L2h	L3h 小梁	L3h スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24 27	35d	30d			25d	20d		
	30 33 36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24 27	40d	35d			30d	25d		
	30 33 36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24 27	45d	40d			35d	30d		
	30 33 36	40d	35d			30d	25d		

(注) 1. L1、L1h：2.以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
2. L2、L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L3：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
4. L3h：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、図5.3.2に示すようにフック部分1を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(3) 定着の方法は、図5.3.2による。
なお、仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、表5.3.4のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を表5.3.4に示す直線定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表5.3.5に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上）をのみ込ませる。

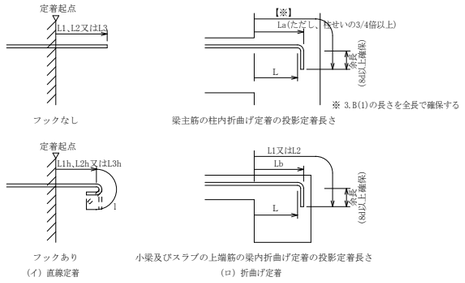


図5.3.2 定着の方法

表5.3.5 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc) (N/mm2)	La	Lb
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24 27	15d	15d
	30 33 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24 27	20d	15d
	30 33 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24 27	20d	20d
	30 33 36	20d	15d

(注) 1. La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。)
2. Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

C その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。
(1) 溶接金網の継手は、1節半以上かつ150mm以上とする。また、定着は、図5.3.3による。なお、L2及びL3は表5.3.4の（注）による。
(2) スパイラル筋の継手及び定着は、図5.3.4による。

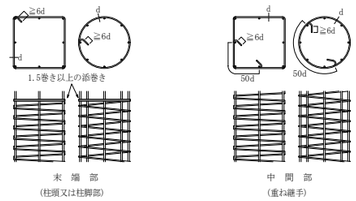
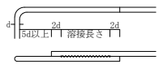


図5.3.4 スパイラル筋の継手及び定着

D 帯筋などをフレア溶接する場合は、次による。
折曲げ加工部より5d以上離し、溶接長さの前後に2d程度の余裕をとる。



4．鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

A 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表5.3.6による。
ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表5.3.6 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種別				最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁、耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			＊ 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			＊ 60
煙突等高熱を受ける部分				60

(注) 1. ＊印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、設計図面による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性有効でない仕上げ(仕上塗材、塗装等)のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、設計図面による。

B 鉄筋相互のあきは図5.3.5により、次の値のうち最大のもの以上とする。
ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、設計図面による。
(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(2) 25mm
(3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名に用いた数値）の1.5倍

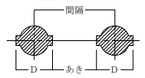


図5.3.5 鉄筋相互のあき

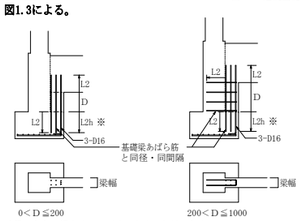
5．基礎

A 直接基礎（独立基礎）の配筋は、図1.1による。
主筋(長辺方向)を下側に配筋する。

B 直接基礎（連続基礎）の配筋は、図1.2による。

図1.1 独立基礎の配筋　　図1.2 連続基礎の配筋

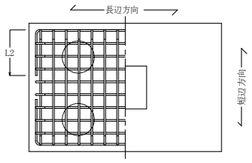
C 基礎接合部の補強配筋は、図1.3による。



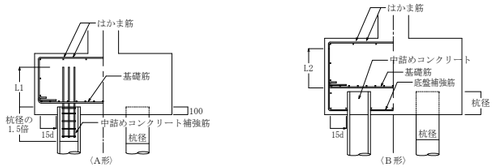
※ L2hを確保できない場合は、3.B(3)によることができる。

図1.3 基礎接合部の補強配筋

D 杭基礎(基礎筋)の配筋は、次による。
(1) 基礎筋の端部には180°フックを付ける。
(2) 長辺(主筋)方向を下側に配筋し、最小かぶり厚さを杭天端より60mmとする。
(3) 外端部の主筋については定着をL2とする。

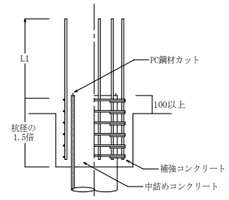


E 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法は、次を参考に設計図面による。
(1) 既製コンクリート杭の杭頭部の補強方法は、下図のA形又はB形とし、適用は設計図面による。
(2) 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。
(3) はかま筋の配筋は設計図面による。



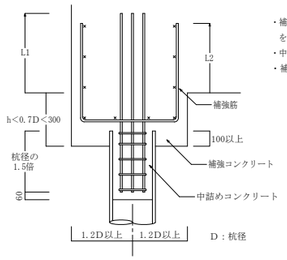
・固定度については原則、固定として取扱うものとする。
・中詰めコンクリート補強筋は、設計図面による。
・機械式の杭頭補強を行う場合は、杭頭端板に十分な強度を確認する。

F A形の場合で、杭頭切断した場合の補強方法の参考例を次に示す。



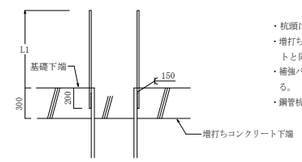
・補強コンクリートの配筋は、設計図面による。
・杭頭を固定として設計し、中詰めコンクリート補強筋を省略する。
・補強コンクリートは基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。

G A形の場合で、杭頭が所定の高さより低い場合の補強方法の参考例を次に示す。
(1) ベースを下げる。(基礎梁や柱との接合部についても検討する)
(2) h＜0.7D＜300の場合の参考例。



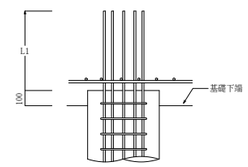
・補強コンクリートは基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。
・中詰めコンクリート補強筋は基礎へL1定着する。
・補強筋は、設計図面による。

H 鋼管杭の杭頭補強の参考例を次に示す。



・杭頭は固定とし配筋は、設計図面による。
・増打ちコンクリートは基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。
・補強バンド、丸ぶた・十字リブ等付属品についてはJIS A 5525による。
・鋼管杭メーカーごとに杭頭処理方法が異なるので確認をする。

I 場所打ちコンクリート杭の杭頭補強の参考例を次に示す。



・杭頭は固定とし配筋は、設計図面による。
・主筋は基礎へL1定着する。

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-03
			図面名称：配筋基準図① SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

6．基礎梁

A 一般事項

(1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図1.4による。
(2) 梁主筋を柱内に定着する場合は、8.A(2)による。
また、梁主筋の逃げ寸法は柱面より100～150mm程度とする。

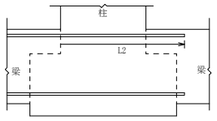
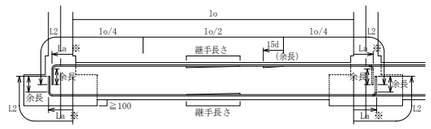


図1.4　梁筋の基礎梁内への定着

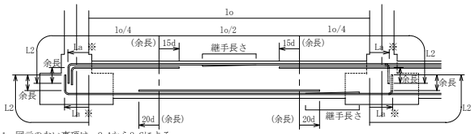
B 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.5による。



(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。
2. ━━━━ 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図1.5　主筋の継手、定着及び余長（その１）

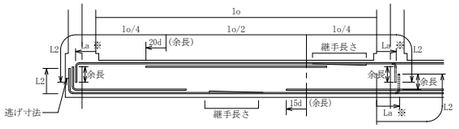
C 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.6による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、D による。



(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。
2. ━━━━ 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図1.6　主筋の継手、定着及び余長（その２）

D 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.7による。

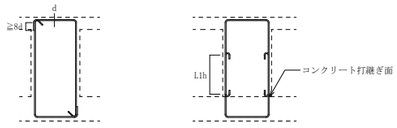


(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。
2. ━━━━ 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図1.7　主筋の継手、定着及び余長（その３）

E あばら筋等

(1) あばら筋の径及び間隔は、設計図面による。
(2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、8.Eによる。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図1.8によることができる。



一般の場合　　重ね継手とする場合

図1.8　あばら筋組立の形及びフックの位置

(3) 腹筋及び幅止め筋は、「8.梁」を参考に設計図面による。
(4) あばら筋の割付けは、「8.梁」を参考に設計図面による。

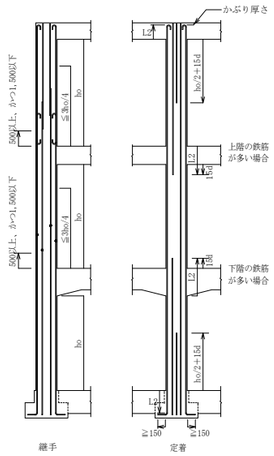
F 基礎梁の補強

(1) 打増し補強筋は、「8.梁」を参考に設計図面による。
(2) 土間スラブ等の打継ぎ補強筋は、「10.スラブ」を参考に設計図面による。

7．柱

A 柱主筋の継手、定着及び余長は、図2.1による。

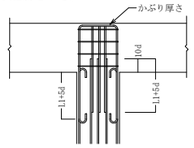
継手中心位置は、3ho/4(hoは柱の内法高さ)以下とする。施工性を考慮して梁上端から500mm以上かつ1,500mm以下とする。



(注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表5.3.3「隣り合う継手の位置」による。
3. 柱主筋の逃げ寸法の基準値は、フックのある場合は70～100mm程度、フックのない場合は30～50mmとする。

図2.1　柱主筋の継手、定着及び余長

＊ 柱頭定着長さL2が確保できない場合は、次の対策例を参考に設計図面による。
①梁せいを大きくしたり、梁端部にハンチを設ける。
②柱頭の柱主筋全数にフックを設け、必要定着長さを確保する。
③鉄筋かごを梁筋の上から柱頭にかぶせ、鉄筋かごと柱主筋を重ね継手により一体とする。
④柱を屋根スラブより突き出させ、定着長さを確保できるようにする。
⑤柱頭部をステッキ型の鉄筋で増筋し、梁主筋が降伏する以前に柱頭部の鉄筋が滑脱しないような配筋とする。

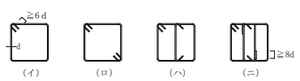


鉄筋かご参考図

(注) 1. かご鉄筋の配筋は設計図面による。
2. 梁上端のかぶり厚が大きくなるので注意をする。

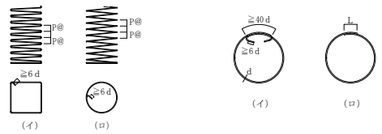
B 帯筋組立の形は図2.2により、適用は特記による。間隔は設計図面による。

①Ｈ形



②W－Ｉ形　　③W－Ⅱ形　　④W－Ⅲ形

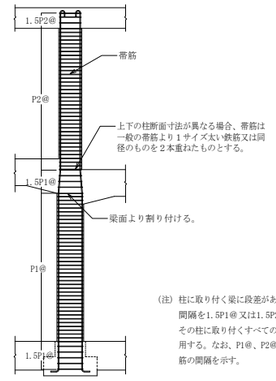
⑤ＳＰ形（スパイラル筋）　　⑥丸形



(注)1. フック及び継手の位置は、交互とする。
2. 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、溶接は鉄筋の組立前に行う。
3. SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。

図2.2　帯筋組立の形

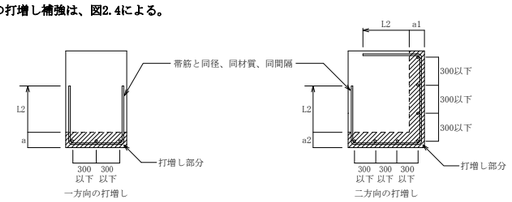
C 帯筋の割付けは、設計図面による。特記がなければ図2.3による。



(注) 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1@又は1.5P2@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P1@、P2@は特記された帯筋の間隔を示す。

図2.3　帯筋の割付け

D 柱の打増し補強は、図2.4による。



(注) 1. 柱の打増し幅 (a,a1,a2) が70mm以上の場合の補強を示す。
2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
3. 軸方向の補強筋の間隔は300mm以下とし、径、材質、本数は設計図面による。

図2.4　柱の打増し補強配筋

8．梁

A 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

(1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(2)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。

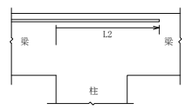


図3.1　梁主筋の梁内定着

(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。なお、定着の方法は、3.B(3)による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
(3) 梁にハンチを付ける場合、その傾斜は、設計図面による。
(4) 段違い梁は、図3.2による。

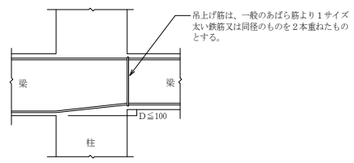
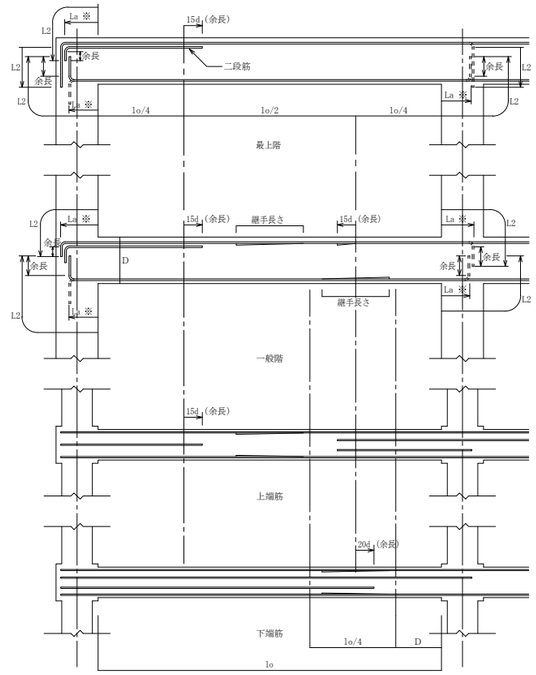


図3.2　段違い梁

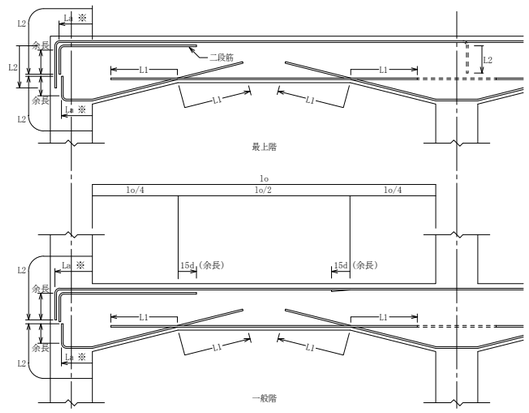
B ハンチのない場合の大梁主筋の重ね継手、定着及び余長は、図3.3による。



(注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央lo/2以内
下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、lo/4を加えた範囲以内
2. 「2.鉄筋の末端部及び中間部の加工」B で定めた鉄筋には、フックをつける。
3. ━━━━ 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図3.3　大梁の重ね継手、定着及び余長

C ハンチのある場合の大梁主筋の重ね継手、定着及び余長は、図3.4による。



(注) 1. 「2.鉄筋の末端部及び中間部の加工」B で定めた鉄筋には、フックをつける。
2. ━━━━ 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、- - - - - のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図3.4　ハンチのある大梁の継手、定着及び余長

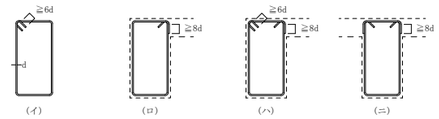
D あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

(1) あばら筋の種類、径及び間隔は、設計図面による。
(2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、設計図面による。

			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-04
						図面名称：配筋基準図② SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

E あばら筋組立の形及びフックの位置は、図3.5による。

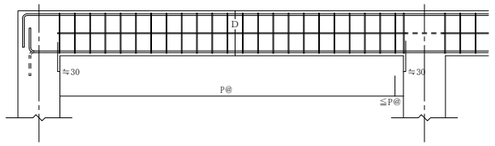


(注) 1. 形は、図3.5(イ)とする。ただし、L形梁・T形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合でやむを得ない場合は(ニ)とすることができる。
2. フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
なお、(ハ)の場合は、スラブの付く側を90°折曲げとする。
3. 副あばら筋の端部は180°フック又は135°フックとする。ただし、スラブと同時にコンクリートを打ち込むL形・T形梁の場合はスラブ側の端部を90°フックとすることができる。

図3.5 あばら筋組立の形

F あばら筋の割付けは、次による。

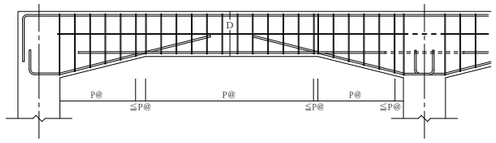
(1) 間隔が一様で、ハンチのない場合は、図3.6による。



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、設計図面で記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.6 あばら筋の割付け（その1）

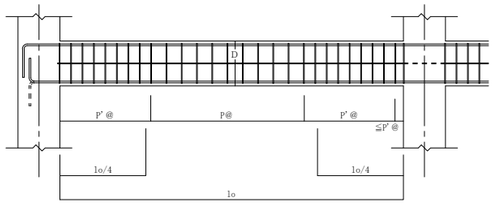
(2) 間隔が一様で、ハンチがある場合は、図3.7による。



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@は、設計図面で記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.7 あばら筋の割付け（その2）

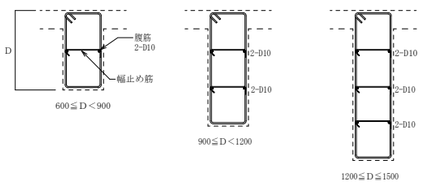
(3) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図3.8による。



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP@、P′@は、設計図面で記されたあばら筋の間隔を示す。

図3.8 あばら筋の割付け（その3）

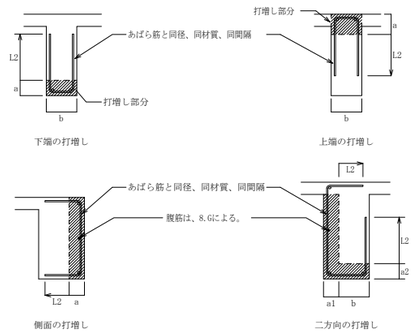
G 腹筋及び幅止め筋は、図3.9による。



(注) 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。

図3.9 腹筋及び幅止め筋

H 梁の打増し補強の配筋は、図3.10による。

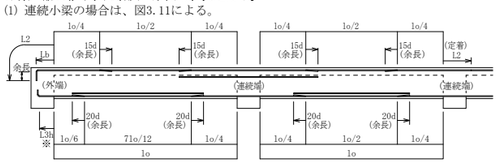


(注) 1. 梁の打増し幅(a、a1、a2)が70mm以上の場合の補強を示し、打増し幅は設計図面による。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さはL2とする。
3. 軸方向の補強筋の径、材質、本数は、設計図面による。

図3.10 梁の打増し補強配筋

I 小梁主筋の継手、定着及び余長は、次による。

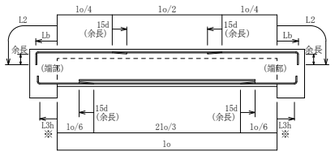
(1) 連続小梁の場合は、図3.11による。



(注) 1. ━━ 印は、余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、「6.基礎梁」及び「8.大梁」に準じる。
※ L3hを確保できない場合は、3.B(3)によることができる。

図3.11 小梁の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合は、図3.12による。

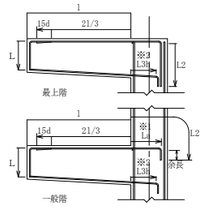


(注) 1. ━━ 印は、余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、「6.基礎梁」及び「8.大梁」に準じる。
※ L3hを確保できない場合は、3.B(3)によることができる。

図3.12 小梁の継手、定着及び余長（その2）

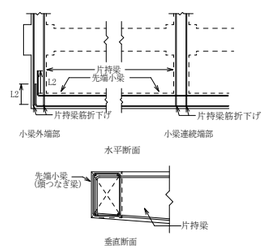
J 片持梁主筋の継手、定着及び余長は、次による。

(1) 先端に小梁のない場合は、図3.13による。
(2) 先端に小梁がある場合は、図3.14による。



(注) 1. ━━ 印は、余長位置を示す。
2. 先端の折曲げ長さは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
3. 図示のない事項は、「8.大梁」に準じる。
※1. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
※2. L3hを確保できない場合は、3.B(3)によることができる。

図3.13 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）



(注) 1. 図示のない場合は（1）による。
2. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図3.14 片持梁主筋の定着（先端に小梁がある場合）

(3) あばら筋は、「8.大梁」に準じる。
(4) 打増し補強筋は、「8.大梁」に準じる。

9．壁、パラペット

A 壁の基準配筋は表4.1により、種別は設計図面による。

表4.1 壁の基準配筋

種 別	縦筋及び横筋	断 面 図(mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

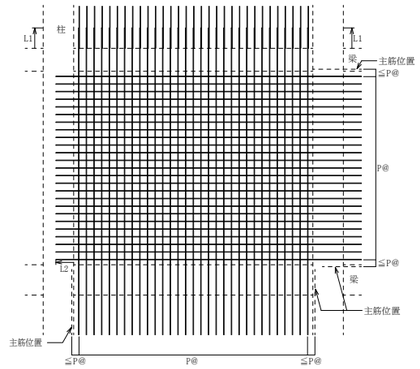
B 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表4.2により、種別は設計図面による。

表4.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種 別	縦筋及び横筋		断 面 図(mm)	階段の配筋種別(表6.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	180	KA1，KA3
	横筋	D10-200@ダブル		
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	200	KA2，KA4
	横筋	D10-200@ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

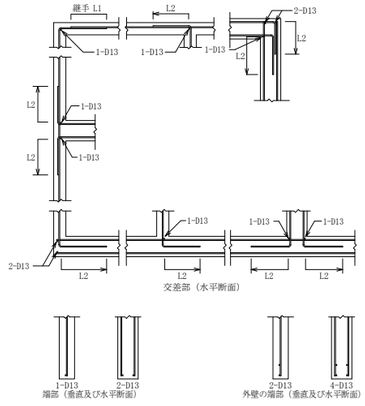
C 壁配筋の継手及び定着は、図4.1による。



(注) 1. 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。ただし、端部は柱、梁の主筋からの間隔で≦P@とする。
2. 配筋の間隔が変わる場合は、無理に曲げずにあき継手とする。
3. 壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL2とする。
4. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
5. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けない。

図4.1 壁の配筋

D 壁の交差部及び端部の配筋は、図4.2による(ラーメン構造)。



(注) 端部や交差部で折り曲げる場合は、1-D13で補強する。（スラブ内に定着する場合も準用する。）

図4.2 壁の交差部及び端部の配筋

E 壁の開口部補強

(1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表4.3、B形は表4.4とし、適用は特記による。
なお、耐震壁の補強筋は、設計図面による。

表4.3 壁開口部補強筋（A形）

壁 の 種 別	補強筋	
	縦 横	斜 め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表4.4 壁開口部補強筋（B形）

壁 の 種 別	補強筋	
	縦 横	斜 め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

(2) 壁開口部補強筋の定着長さは、図4.3による。

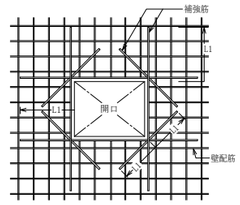
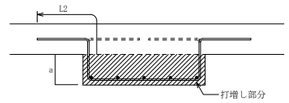


図4.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(3) 開口部が柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部をさけて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
(4) コンセントボックス等を埋め込む場合の補強は、設計図面による。部分的にコンクリートの厚さが薄くなり、ひび割れを生じやすくなる場合は溶接金網等で補強をする。

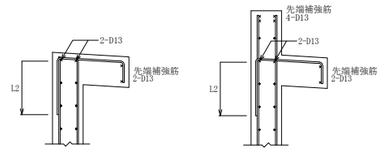
F 壁の打増し補強は、図4.4による。



(注) 1. 壁の打増し厚さaが50mm以上の場合の補強を示す。
2. 打増し幅、補強配筋の径、材質、本数及び間隔は、設計図面による。

図4.4 壁の打増し補強配筋

G パラペットの配筋は、図4.5による。



(注) 1. コンクリートの厚さは、設計図面による。
2. 鉄筋の径、材質及び間隔は、設計図面による。

図4.5 パラペットの配筋

10．スラブ

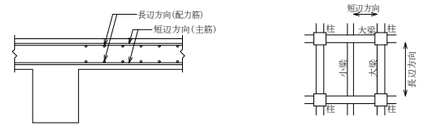
A スラブの配筋

(1) スラブの基準配筋は表5.1及び図5.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図面による。

表5.1 スラブの基準配筋

配 筋 種 別	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域	配 筋 種 別	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域
S1	D13-100@	D13-100@	S8	D10,D13-150@	D10-150@
S2	同上	D13-150@	S9	同上	D10-200@
S3	同上	D10,D13-150@	S10	D10,D13-200@	D10,D13-200@
S4	D13-150@	D13-150@	S11	同上	D10-200@
S5	同上	D10,D13-150@	S12	同上	D10-250@
S6	同上	D10-150@	S13	D10-200@	D10-200@
S7	D10,D13-150@	D10,D13-150@	S14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



(注) 1. 配筋の割付は、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。

図5.1 スラブの配筋

	承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-05
				図面名称：配筋基準図③ SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

(2) スラブの定着及び受け筋は、図5.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図5.3により梁内に定着する。なお、受け筋の支持にスペーサーを用いる。

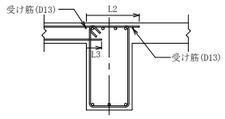


図5.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）

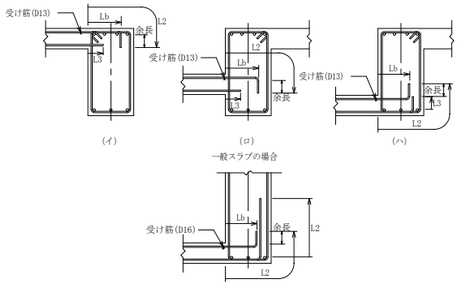


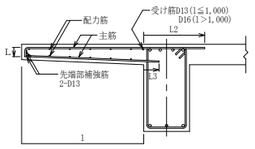
図5.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

B 片持ちスラブの配筋

(1) 片持スラブの基準配筋は表5.2並びに図5.4及び図5.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図面による。

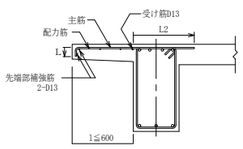
表5.2　片持スラブの基準配筋

配筋種別		主　　筋	配筋種別		主　　筋
ＣＳ1	上	D13-100@	ＣＳ5	上	D10-200@
	下	D13-200@		下	D10-400@
ＣＳ2	上	D13-150@	ＣＳ6	上	D10,D13-200@
	下	D13-300@		下	――
ＣＳ3	上	D10,D13-150@	ＣＳ7	上	D10-200@
	下	D10,D13-300@		下	――
ＣＳ4	上	D10,D13-200@			
	下	D10-200@			



(注) 1. 先端の折り曲げ長さL1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

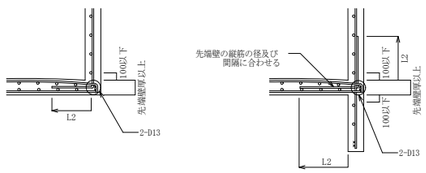
図5.4　片持スラブの配筋（ＣＳ1からＣＳ5）



(注) 1. 先端の折り曲げ長さL1は、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
2. スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

図5.5　片持スラブの配筋（ＣＳ6及びＣＳ7）

(2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図5.6による。

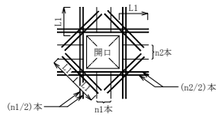


垂れ壁のない場合　　垂れ壁のある場合

図5.6　先端に壁が付く場合の配筋

C スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は、設計図面による。図示がなければ、図5.7による。

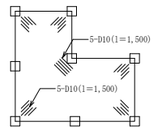


(注) 1. スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。
2. スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13(1＝2L1)シングルを上下筋の内側に配筋する。
3. スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

図5.7　スラブ開口部の補強配筋

D 出隅部及び入隅部の補強

(1) 屋根スラブの出隅及び入隅部の補強は、図5.8による。



(注) 補強筋を上端筋の下側に配置する。

図5.8　出隅及び入隅部の補強配筋

(2) 片持スラブの出隅部の補強は、図5.9による。

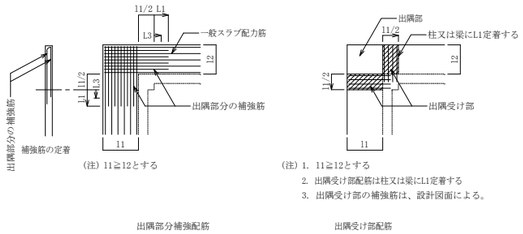
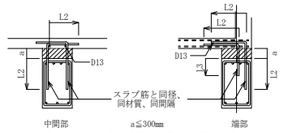


図5.9　片持スラブ出隅部の補強配筋

E　スラブの打継ぎ補強等

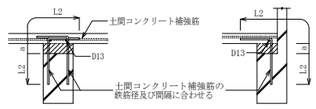
(1) 土間スラブの打継ぎ補強は、aが300mm以下の場合は、図5.10による。



(注) 1. 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強を示す。
2. 土間スラブとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるもの以外で、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものをいう。

図5.10　打継ぎ補強配筋

(2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋は、ａが300mm以下の場合は、図5.11による。



(注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいう。
2. 土間コンクリート補強筋は、設計図面による。

図5.11　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

F　段差のあるスラブの補強

150mm以下の段差のあるスラブの補強は、図5.12による。

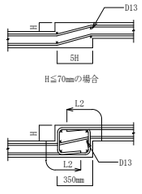


図5.12　段差のあるスラブの補強配筋

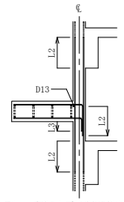
１１．階段

A 片持スラブ形階段の基準配筋は、表6.1及び図6.1により、寸法及び配筋種別は設計図面による。

表6.1　片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	ＫＡ1	ＫＡ2
配筋図		
配筋種別	ＫＡ3	ＫＡ4
配筋図		

(注) スラブ厚さｔ(mm)は設計図面による。



(注) 1. 壁配筋は、9.Bによる。
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表5.3.4のL3とする。

図6.1　片持スラブ形階段配筋の定着

B 二辺固定スラブ形階段の基準配筋は、表6.2並びに図6.2及び図6.3により、寸法及び配筋種別は設計図面による。

表6.2　二辺固定スラブ形基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
ＫＢ1	D13-200@
ＫＢ2	D13-150@
ＫＢ3	D13-100@
ＫＢ4	D13,D16-150@
ＫＢ5	D16-150@
ＫＢ6	D16-125@
ＫＢ7	D16-100@

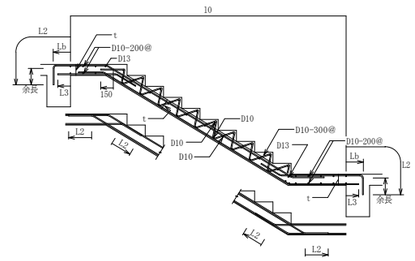
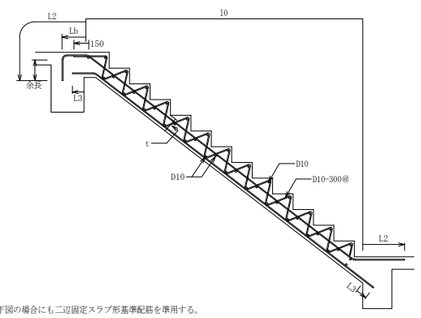


図6.2　二辺固定スラブ形階段配筋（その１）



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形基準配筋を準用する。

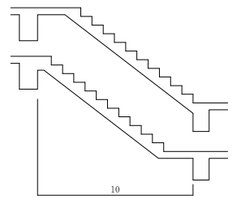


図6.3　二辺固定スラブ形階段配筋（その２）

１２．梁貫通孔の配筋

A 梁貫通孔の配筋は、次による。

(1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。
(2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
(3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3(Dは梁せい)の範囲には設けてはならない。
(4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D(Dは梁せい)以上離す。ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。
(5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
(6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図7.2による。
(8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
(11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

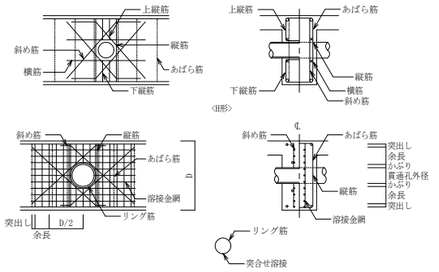
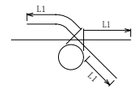


図7.1　梁貫通孔補強筋の名称等

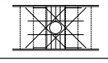


貫通孔が円形の場合

図7.2　補強筋の定着長さ

B 梁貫通孔の補強形式は表7.1から表7.3により、配筋種別は設計図面による。

表7.1　H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦　筋	横　筋	上下縦筋	配　筋　図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

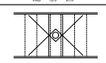
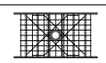
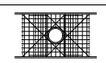
(注)　――――は、一般部分のあばら筋を示す。

表7.2　M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配　筋　図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100@	
M4	6-2-D13		

(注)　――――は、一般部分のあばら筋を示す。

表7.3　MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦　筋	溶接金網	配　筋　図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

(注)　――――は、一般部分のあばら筋を示す。

			承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-06
						図面名称：配筋基準図④　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%

１３．コンクリートブロック帳壁との取合い

A 控壁の配筋は、図7.3による。

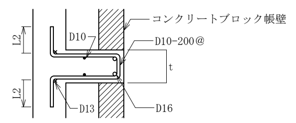


図7.3 控壁の配筋（水平、垂直とも）

B 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図7.4による。

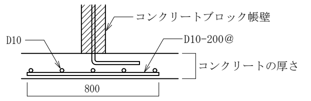
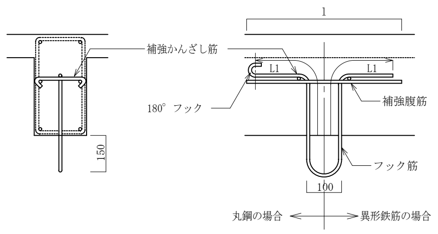


図7.4 壁付き土間コンクリートの補強配筋

１４．機械吊上げ用フック

A 梁に設ける機械吊上げ用フックは、次を参考に設計図面による。



参考資料

梁貫通孔の付表について

(1) 付表中のA～Hは梁のせん断補強筋量(あばら筋量)に対応した記号で下記による。

A：D10-200@
B：D10-150@orD10･D13-200@
C：D10-125@
D：D13-200@orD10･D13-150@
E：D10-100@
F：D13-150@orD10･D13-125@
G：D13-125@orD10･D13-100@
H：D13-100@

付表1 貫通孔補強H形 (Fc≦24N/mm2)

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	30 A	B	C	D	E	F	G	H	35 A	B	C	D	E	F	G	H	40 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
60	10	1	1	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
65	15	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3
70	20	2	2	3	2	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	4
75 80 85	10	1	2	2	2	3	3	3	3	1	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3
	15	1	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4
	20	2	2	3	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	4	5
	25	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	3	3	3	3	3	3	4	5
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4
	15	2	2	3	3	3	3	3	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	20	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	25	3	3	3	3	3	3	5	5	3	3	3	3	3	4	5	5	3	3	3	3	4	4	5	6
	30	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	4	4	5	5	6
105 110 115	10	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	15	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	20	2	3	3	3	3	4	5	6	3	3	3	3	3	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6
	25	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	4	4	4	5	6
	30	3	3	3	4	4	5	5	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
	35	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	5	5	5	6	7	3	4	4	5	5	5	6	－
120	10	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	15	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	5	5	2	3	3	3	3	3	5	6
	20	3	3	3	3	3	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6
	25	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	4	4	4	5	7	3	3	3	4	4	5	5	7
	30	3	3	3	4	4	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
	35	3	3	4	4	5	5	6	7	3	4	4	5	5	5	6	－	3	4	5	5	5	5	7	－
	40	3	4	4	5	5	5	7	－	3	4	5	5	5	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	45 A	B	C	D	E	F	G	H	50 A	B	C	D	E	F	G	H	55 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3
60	10	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
65	15	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3
70	20	2	3	3	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	4
75 80 85	10	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3
	15	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	4
	20	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	25	3	3	3	3	3	3	4	5	3	3	3	3	4	4	5	5	3	3	3	3	4	4	5	5
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	3	4
	15	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	20	3	3	3	3	3	3	4	5	3	3	3	3	3	4	5	5	3	3	3	3	3	4	5	5
	25	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	4	4	4	5	6
	30	3	3	4	4	5	5	5	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
105 110 115	10	2	3	3	3	3	3	5	5	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	15	2	3	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	5	5	2	3	3	3	3	4	5	6
	20	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6
	25	3	3	3	4	4	5	5	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
	30	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	5	5	5	6	7	3	4	4	5	5	5	6	－
	35	3	4	5	5	5	5	7	－	3	4	5	5	5	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
120	10	2	3	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5	2	3	3	3	3	3	4	5
	15	2	3	3	3	3	4	5	6	2	3	3	3	3	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6
	20	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	3	4	4	5	6	3	3	3	4	4	4	5	7
	25	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
	30	3	3	4	5	5	5	6	7	3	4	4	5	5	5	6	－	3	4	5	5	5	5	7	－
	35	3	4	5	5	5	6	7	－	3	4	5	5	6	6	6	－	3	4	5	5	6	6	7	－
	40	4	5	5	5	6	6	7	－	4	5	5	6	6	7	－	－	4	5	6	6	6	7	－	－

（注）梁せい等が表の中間にある場合は、補強筋の多い方を採用する。

付表2 貫通孔補強M形 (Fc≦24N/mm2)

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	30 A	B	C	D	E	F	G	H	35 A	B	C	D	E	F	G	H	40 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
60	10	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
65	15	2	2	2	2	3	3	3	4	2	2	2	2	3	3	4	4	2	2	2	2	3	3	4	4
70	20	2	2	3	3	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	4	4	4	－
75 80 85	10	1	2	2	2	3	3	3	4	1	2	2	2	3	3	3	4	2	2	2	2	3	3	3	4
	15	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	4	－
	20	2	2	3	3	3	4	4	－	2	3	3	3	4	4	4	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	25	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	4	－	－
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	4	－
	15	2	2	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	4	4	－
	20	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	25	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	－	－	－
	30	3	3	4	4	4	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－
105 110 115	10	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－
	15	2	3	3	3	3	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	20	2	3	3	3	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－
	25	3	3	4	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	－	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－
	30	3	3	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－	3	4	4	－	－	－	－	－
	35	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－	4	4	－	－	－	－	－	－
120	10	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－
	15	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	20	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－
	25	3	3	4	4	4	－	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－
	30	3	3	4	4	－	－	－	－	3	4	4	－	－	－	－	－	3	4	4	－	－	－	－	－
	35	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－	4	4	－	－	－	－	－	－
	40	4	4	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	45 A	B	C	D	E	F	G	H	50 A	B	C	D	E	F	G	H	55 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	4	2	2	2	2	2	2	3	4	2	2	2	2	3	3	3	4
60	10	1	2	2	2	2	2	3	4	1	2	2	2	2	2	3	4	1	2	2	2	2	2	3	4
65	15	2	2	2	2	3	3	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	4	－
70	20	2	3	3	3	4	4	4	－	2	3	3	3	4	4	4	－	2	3	3	3	4	4	－	－
75 80 85	10	2	2	2	2	3	3	3	4	2	2	2	2	3	3	3	4	2	2	2	3	3	3	3	4
	15	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	4	4	－
	20	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	4	4	4	－	－	2	3	3	4	4	4	－	－
	25	3	3	4	4	4	4	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	3	3	4	－	2	2	3	3	3	3	4	－
	15	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	20	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	4	－	－
	25	3	3	4	4	－	－	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－
	30	3	4	4	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－
105 110 115	10	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－
	15	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－
	20	3	3	3	4	4	4	－	－	3	3	4	4	4	－	－	－	3	3	4	4	4	－	－	－
	25	3	3	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－	3	4	4	－	－	－	－	－
	30	3	4	4	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－
	35	4	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－
120	10	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－	2	3	3	3	3	3	4	－
	15	2	3	3	3	4	4	－	－	2	3	3	3	4	4	－	－	3	3	3	4	4	4	－	－
	20	3	3	4	4	4	－	－	－	3	3	4	4	4	－	－	－	3	3	4	4	－	－	－	－
	25	3	4	4	4	－	－	－	－	3	4	4	4	－	－	－	－	3	4	4	－	－	－	－	－
	30	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－	3	4	－	－	－	－	－	－
	35	4	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－
	40	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）1. 梁せい等が表の中間にある場合は、補強筋の多い方を採用する。
2. －印のものは、補強不可能なので、MH形を採用する。

付表3 貫通孔補強MH形 (Fc≦24N/mm2)

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	30 A	B	C	D	E	F	G	H	35 A	B	C	D	E	F	G	H	40 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
60	10	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	2	2	2	2	3	3
65	15	2	2	2	2	3	3	3	5	2	2	2	2	3	3	4	5	2	2	2	2	3	3	4	5
70	20	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	5	5	2	2	3	3	4	4	5	6
75 80 85	10	1	2	2	2	3	3	3	4	1	2	2	2	3	3	3	5	2	2	2	2	3	3	3	5
	15	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	5	5	2	2	3	3	3	3	5	6
	20	2	2	3	3	3	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6
	25	2	3	3	3	4	5	6	6	2	3	3	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5
	15	2	2	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	4	5	6
	20	2	2	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	5	6	7	2	3	3	3	5	5	6	7
	25	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	5	5	5	6	7
	30	3	3	4	5	5	5	6	7	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
105 110 115	10	2	2	3	3	3	3	5	6	2	2	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6
	15	2	3	3	3	3	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	7	2	3	3	3	4	4	6	7
	20	2	3	3	3	4	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	7
	25	3	3	4	4	5	5	6	7	3	3	4	5	5	5	6	－	3	3	4	5	5	6	7	－
	30	3	3	4	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
	35	3	5	5	6	6	6	7	－	3	5	6	6	6	7	－	－	4	5	6	6	7	7	－	－
120	10	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6
	15	2	3	3	3	4	4	6	7	2	3	3	3	4	4	6	7	2	3	3	3	4	5	6	7
	20	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	－
	25	3	3	4	4	5	5	6	－	3	3	4	5	5	6	7	－	3	3	5	5	6	6	7	－
	30	3	3	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	6	6	6	7	－
	35	3	5	5	6	6	7	－	－	3	5	6	6	7	7	－	－	4	5	6	6	7	7	－	－
	40	4	5	6	6	7	7	－	－	4	6	6	6	7	7	－	－	5	6	6	7	7	－	－	－

梁せい cm	梁幅cm / 径 cm	45 A	B	C	D	E	F	G	H	50 A	B	C	D	E	F	G	H	55 A	B	C	D	E	F	G	H
50	10	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3	1	1	2	2	2	2	2	3
55	15	1	2	2	2	2	2	3	4	2	2	2	2	2	2	3	4	2	2	2	2	3	3	3	4
60	10	1	2	2	2	2	2	3	4	1	2	2	2	2	2	3	4	1	2	2	2	2	2	3	4
65	15	2	2	2	2	3	3	4	5	2	2	2	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5
70	20	2	3	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6
75 80 85	10	2	2	2	2	3	3	3	5	2	2	2	2	3	3	3	5	2	2	2	3	3	3	3	5
	15	2	2	3	3	3	3	5	6	2	2	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	4	5	6
	20	2	3	3	3	4	5	5	6	2	3	3	4	5	5	6	6	2	3	3	4	5	5	6	7
	25	3	3	4	5	5	5	6	7	3	3	4	5	5	5	6	7	3	4	5	5	5	6	6	7
90 95 100	10	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	5	2	2	3	3	3	3	4	6
	15	2	3	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6	2	3	3	3	4	4	5	6
	20	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	7
	25	3	3	4	5	5	6	6	－	3	3	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
	30	3	4	5	5	6	6	7	－	3	5	5	6	6	6	7	－	3	5	6	6	6	6	7	－
105 110 115	10	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6
	15	2	3	3	3	4	4	6	7	2	3	3	3	4	5	6	7	2	3	3	3	4	5	6	7
	20	3	3	3	4	5	5	6	7	3	3	4	4	5	5	6	－	3	3	4	5	5	5	6	－
	25	3	3	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
	30	3	4	5	6	6	6	7	－	3	5	5	6	6	7	－	－	3	5	6	6	6	7	－	－
	35	4	5	6	6	7	7	－	－	5	6	6	7	7	7	－	－	5	6	6	7	7	－	－	－
120	10	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6	2	3	3	3	3	3	5	6
	15	2	3	3	3	4	5	6	7	2	3	3	3	5	5	6	7	3	3	3	4	5	5	6	7
	20	3	3	4	4	5	5	6	－	3	3	4	5	5	6	7	－	3	3	4	5	5	6	7	－
	25	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－	3	4	5	5	6	6	7	－
	30	3	5	5	6	6	6	－	－	3	5	6	6	6	7	－	－	3	5	6	6	7	7	－	－
	35	4	5	6	6	7	7	－	－	5	6	6	7	7	－	－	－	5	6	7	7	7	－	－	－
	40	5	6	7	7	－	－	－	－	5	6	7	7	－	－	－	－	6	6	7	－	－	－	－	－

（注）梁せい等が表の中間にある場合は、補強筋の多い方を採用する。

１５．型枠

☐ 材料　　合板厚　12mmを標準とする。　☐ 施工はJASS5による。

☐ 型枠在置期間

種類	せき板				支柱		
部位	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメント シリカセメントA種
在置期間平均の気温 / コンクリートの材令(日) 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0 N／mm3		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）１　片持ばり、庇、スパン9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）５　支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）６　上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-07
			図面名称：配筋基準図⑤　SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

1　共　通　事　項

1　適用範囲

設計図書に特記がない場合には、原則として、この鉄骨基準図を適用する。
本基準図に記載されていない事項は次による。

（1）日本建築学会編集　「鉄骨工事技術指針」工場製作編 2007年版、
工事現場施工編 2007年版

2　溶　接　接　合

1　溶接方法

溶接方法の種類は、アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接、サブマージアーク自動溶接、エレクトロスラグ溶接及びアークスタッド溶接等とする。

2　溶接継手

溶接継手の種類は、完全溶込み溶接、部分溶込み溶接、隅肉溶接及びフレア溶接とし、完全溶込み溶接の継手形状の種類は、突合わせ継手、Ｔ形継手及びかど継手とする。

3　溶接記号

（1）溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号

溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号、並びに溶接の補助記号は下表による。

溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

分類			記号
溶接方法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接		H
	サブマージアーク自動溶接		A
	エレクトロスラグ溶接		E
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		Ｔ形継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フレア溶接		F L
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2

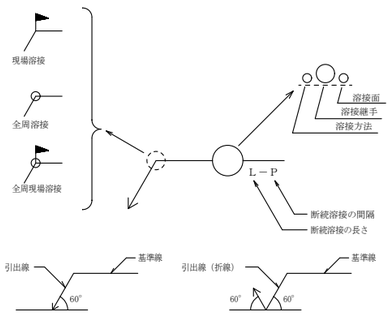
溶接の補助記号

区分	補助区分
現場溶接	⚑
全周溶接	○
全周現場溶接	⚑
断続溶接の長さ及び間隔	L－P

（2）溶接記号の記載方法

溶接記号の記載方法は下図による。ただし、溶接方法又は溶接面の指定を行わない場合は、溶接継手記号のみを記入する。

完全溶込み溶接及び部分溶込み溶接の場合は、引出線を折曲とし、開先をとる部材面に先端を向けるものとする。



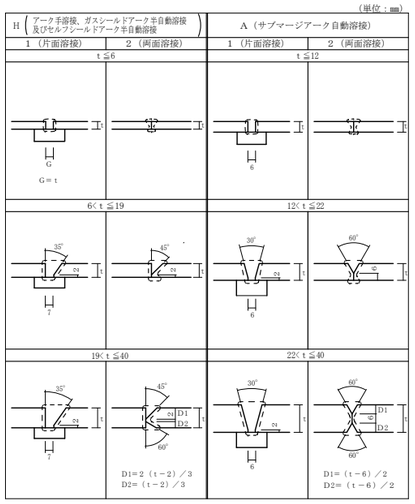
溶接記号の記載方法

4　溶接継手の種類別開先標準

（1）完全溶込み溶接

a）突合わせ継手（B）の開先標準は下図による。

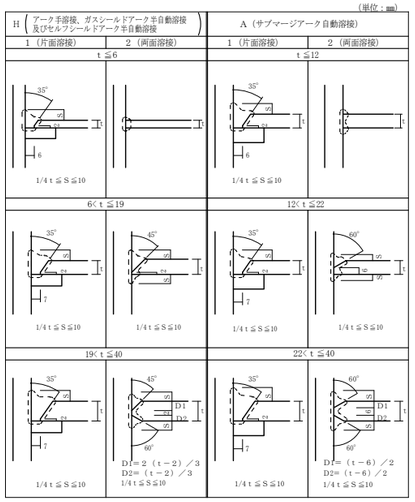
（単位：mm）



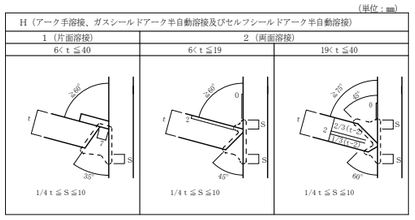
突合わせ継手の開先標準

b）Ｔ形継手（T）の開先標準は下図による。ただし、溶接される部材が直交しない場合の開先標準は、「部材が直交しない場合の開先標準」による。

（単位：mm）



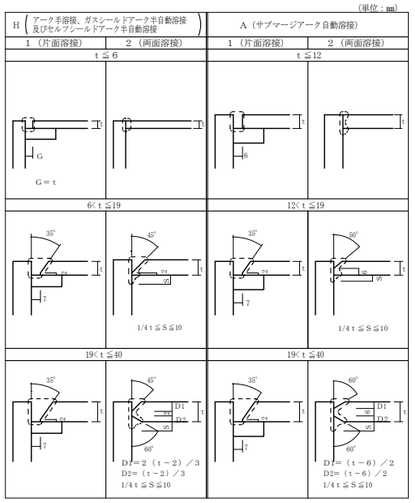
Ｔ形継手の開先標準



部材が直交しない場合の開先標準

c）かど継手（L）の開先標準は下図による。

（単位：mm）

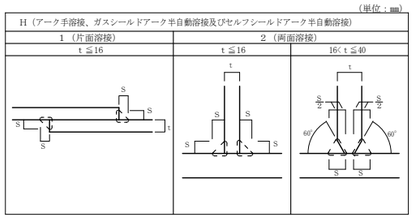


かど継手の開先標準

（2）隅肉溶接

隅肉溶接（F）の開先標準は下図により、サイズ（S）は下表による。

（単位：mm）



隅肉溶接の開先標準

隅肉溶接のサイズ

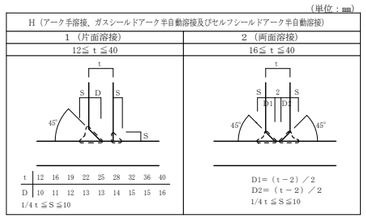
（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

（3）部分溶込み溶接

部分溶込み溶接（P）の開先標準は下図による。片面溶接を行う場合には、原則として部分溶込み溶接を行わない側に隅肉溶接を行う。

（単位：mm）

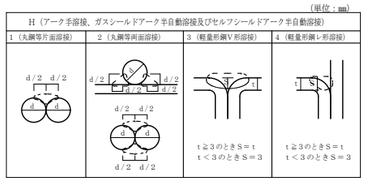


部分溶込み溶接の開先標準

（4）フレア溶接

フレア溶接（FL）の開先標準は下図による。

（単位：mm）

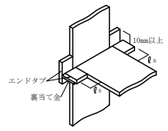


フレア溶接の開先標準

5　溶接施工

（1）エンドタブ

エンドタブの材質は、母材と同等以上、形状は、母材と同厚・同開先のものとし、長さは、下図及び下表による。ただし、あらかじめ溶接端部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものを用いる場合については、この限りではない。



エンドタブ

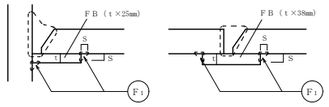
エンドタブの長さ

（単位：mm）

溶接方法	ℓ_s
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

（2）裏当て金及び裏はつり

a）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は、原則としてフランジの内側に設置し、取付け方法は下図による。裏当て金の組立溶接は、接合部に悪影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の１／４の位置に行う。



裏当て金の溶接

b）裏当て金の厚さ及び隅肉溶接のサイズは下表により、材質は、原則として母材と同等以上のものとする。

裏当て金の厚さ

（単位：mm）

溶接方法	
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ

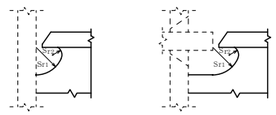
（単位：mm）

裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t＞9	9

c）完全溶込み溶接を両面溶接とする場合は、裏溶接の前に裏はつりを行う。裏はつりは、健全な溶着部分が現われるまではつり取るものとする。ただし、自動溶接において、完全な溶込みが得られたことが確認できる場合には、裏はつりを省略することができる。

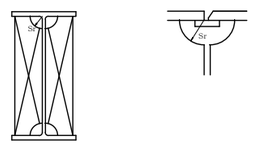
（3）スカラップ

a）改良型スカラップの形状は下図により、スカラップ半径Ｓｒ₁は３５mm、Ｓｒ₂は１０mmとする。スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



改良型スカラップ

b）従来型スカラップの形状は下図により、スカラップ半径Ｓｒは３５mmとする。

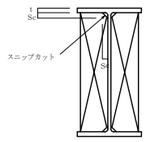


従来型スカラップ

（4）スニップカット

溶接の交差部をスニップカットで処理する場合は下図により、スニップカットの寸法（Ｓｃ）は、鋼材の板厚に応じて、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Ｓｃ＝ｒ＋２により求めるものとする。

なお、スニップカット部は、溶接により埋めるものとする。



スニップカット

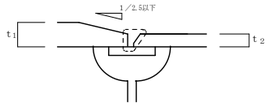
スニップカットの寸法

（単位：mm）

t	6	9	12	16以上
Ｓｃ	10	12	14	15

（5）溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが１０mmを超える場合は下図による。



溶接部分の段差

（6）余盛り

a）完全溶込み溶接（突合わせ継手、かど継手）、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余盛りを行うものとする。余盛り高さの限度は下表による。

b）完全溶込み溶接（Ｔ形継手）の溶接部は、ビート表面が滑らかになるように仕上げるものとする。

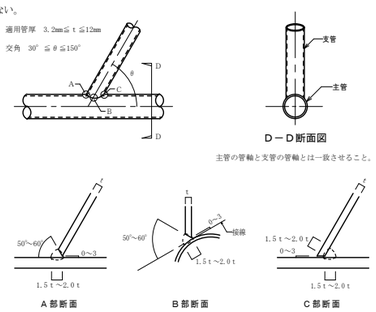
余盛り高さの限度

（単位：mm）

溶接継手	溶接方法	余盛り高さの限度
突合わせ継手 かど継手	手溶接	3
	半自動溶接	4
	自動溶接	4
隅肉溶接 フレア溶接	手溶接	3
	半自動溶接	

（7）鋼管分岐継手

鋼管分岐継手における支管は、主管外径より細径のものとし、開先標準は下図による。ただし、自動機械により開先加工を行う場合については、この限りではない。



鋼管分岐継手詳細（単位：mm）

（8）スタッド溶接

a）スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。

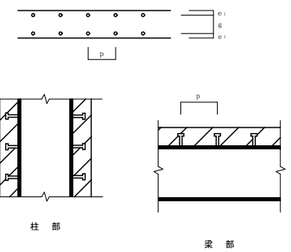
b）スタッド溶接材料は、ＪＩＳ　Ｂ１１９８「頭付スタッド」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、１３、１６、１９及び２２の４種類とする。

c）スタッド溶接は、デッキプレート上から行ってはならない。ただし、デッキプレート厚１．６mm以下で、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。

d）スタッドの間隔、ゲージ等の寸法は、下表及び下図による。

スタッドの間隔、ゲージ等の寸法

項目	寸法
間隔（p）	呼び名の7.5倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ（g）	呼び名の5倍以上
へりあき（e）	40mm以上



スタッドの配置

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-08
			図面名称：鉄骨標準図① SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

3　高力ボルト接合等

1　ボルトの種類

（1）高力ボルト

高力ボルトの種類は、ＪＩＳ　Ｂ１１８６「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット」（２種Ｆ１０Ｔ）の規格に適合するもの、建築基準法に基づき認定されたトルシア形高力ボルト（２種Ｓ１０Ｔ）及び溶融亜鉛めっき高力ボルト（１種Ｆ８Ｔ相当）とする。

（2）普通ボルト

普通ボルトのボルト及びナットは下表により、ねじは、ＪＩＳ　Ｂ０２０５「一般用メートルねじ」による。座金は、ＪＩＳ　Ｂ１２５６「平座金」による並型とする。

普通ボルトのボルト及びナット

	ボルト	ナット
規格番号 規格名称	ＪＩＳ　Ｂ１１８０（六角ボルト）	ＪＩＳ　Ｂ１１８１（六角ナット）
種　　類	並角六角ボルト	並形六角ナット
材料区分	鋼　　製	鋼　　製
強度区分	4.6	4T
ねじの等級の規格	JIS B0209-1（一般用メートルねじ－交差－第１部：原則及び基礎データ）による6g	JIS B0209-1（一般用メートルねじ－交差－第１部：原則及び基礎データ）による6H
仕上げの程　　度	中	中

2　ボルトの表示記号

ボルトの表示記号は下表による。

ボルトの表示記号

ねじの呼び／ボルトの種類	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（Ｆ１０Ｔ、Ｓ１０Ｔ）	●	●	◆	✱	✱
溶融亜鉛めっき高力ボルト（Ｆ８Ｔ相当）	╳	┼	┼	✱	✱
普通ボルト	○	◐	⊕	⊗	⊗

3　ボルト孔の径

ボルト孔の径は下表による。

ボルト孔の径　（単位：mm）

ねじの呼び／ボルトの種類	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（Ｆ１０Ｔ、Ｓ１０Ｔ）	14	18	22	24	26
溶融亜鉛めっき高力ボルト（Ｆ８Ｔ相当）※1	╳	17.5	22.0	24.0	26.0
普通ボルト　※2	12.5	16.5	20.5	22.5	24.5

※１　建設大臣認定条件による。
※２　母屋、胴縁類の取付用ボルトの場合は、ボルトの径＋1.0mmとすることができる。

4　高力ボルトの長さ

高力ボルトの長さは、締付け長さに下表の値を加えたものを標準長さとする。

高力ボルトの締付け長さに加える長さ　（単位：mm）

ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
JIS形	25	30	35	40	45
トルシア形　※1	╳	25	30	35	40

※１　建設大臣認定条件による。

5　縁端距離及びボルト間隔等

（1）縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、原則として下表による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、ボルト軸径の２．５倍以上とする。

縁端距離及びボルト間隔　（単位：mm）

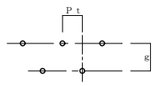
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

（2）千鳥打ちのゲージ及び間隔

千鳥打ちのゲージ及び間隔は、原則として下表による。

千鳥打ちのゲージ及び間隔　（単位：mm）

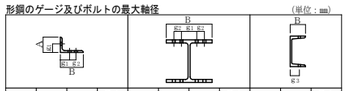
ゲージ g	千鳥打ちの間隔（Ｐｔ） ねじの呼び M12, M16, M20, M22	 ねじの呼び M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	－	40



（3）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、原則として下表による。

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位：mm）



AｘB	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

4　柱　　脚

1　柱脚の形式

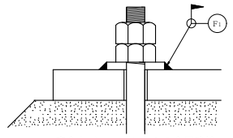
柱脚の形式は、原則として鉄骨造においては露出型柱脚又は埋込み型柱脚、鉄骨鉄筋コンクリート造においては埋込み型柱脚とする。

2　アンカーボルト等の設置

（1）アンカーボルト

ａ）アンカーボルトは二重ナット及び座金を用い、その先端は、ねじがナットの外に３山以上出るようにする。ただし、コンクリートに埋め込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。

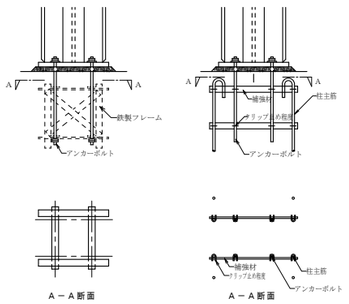
ｂ）アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、座金厚さの検討を行い、座金とベースプレートを全周溶接することとし、下図による。



座金とベースプレートの全周溶接

（2）アンカーボルトの保持及び埋込み

アンカーボルトの保持及び埋込みは、下図による。



Ａ－Ａ断面　　Ａ－Ａ断面

Ａ種　　Ｂ種

アンカーボルトの保持及び埋込み

（3）柱底均しモルタル

柱底均しモルタルは、下図による。（Ａ種を原則とする。）

Ａ種　　Ｂ種

柱底均しモルタル（単位：mm）

5　鉄骨標準詳細図

1　仕口部詳細

（1）仕口パネル

仕口パネルの範囲は下図による。材質は、取り付く梁及び柱のウェブ材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等のものとし、板厚は、パネルゾーンの検討を行い決定する。ただし、板厚は取り付く梁及び柱のウェブ材のいずれか厚いもの以上かつ９mm以上とする。

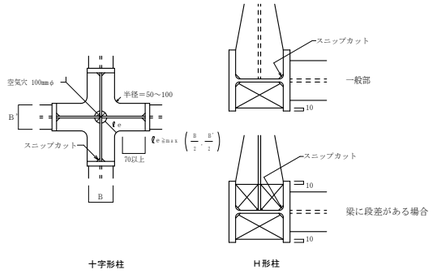
梁通し　　柱通し

仕口パネル（単位：mm）

（2）水平スチフナ及びダイアフラム

ａ）十字形柱及びH形柱の仕口部に設ける水平スチフナの形状及び大きさは下図による。材質は、梁フランジ材と同等のものとし、板厚は、梁フランジ厚以上かつ９mm以上とする。

なお、梁幅が３００mm以上の場合は、スニップカットの代わりにスカラップとすることができる。



十字形柱　　H形柱

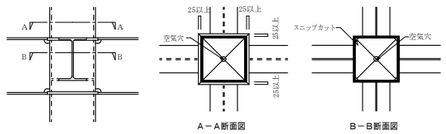
水平スチフナ（単位：mm）

ｂ）鋼管柱の仕口部に設けるダイアフラムの形状及び大きさは、下図による。

通しダイアフラムの場合の材質は、取り付く梁フランジ材及び柱材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等以上のものとし、板厚は、同レベルに集まる梁フランジのうち最も厚いもの以上かつ９mm以上とする。

内ダイアフラムの場合の材質は、梁フランジ材と同等以上のものとし、板厚は、同レベルに集まる梁フランジのうち最も厚いもの以上かつ９mm以上とする。

ダイアフラム中心部には、最上部を除いて空気穴（直径３０mm程度）を設ける。ただし、スニップカットの代わりにスカラップを設ける場合は、空気穴を省略することができる。



Ａ－Ａ断面図　　Ｂ－Ｂ断面図

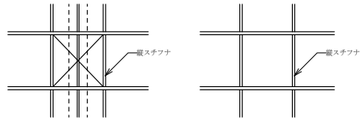
通しダイアフラム　　内ダイアフラム

ダイアフラム（単位：mm）

（3）縦スチフナ

ａ）十字形柱及びH形柱の仕口部に設ける縦スチフナは下図による。

縦スチフナの幅は、取り付く柱フランジと同一とし、材質は、上下柱フランジ材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等のものとし、板厚は、いずか最も厚いもの以上とする。

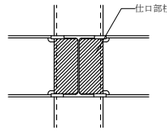


十字形柱　　H形柱

縦スチフナ（単位：mm）

ｂ）鋼管柱の仕口部に設ける柱の形状は下図による。

大きさは、上下柱のうち大きいものと同一とし、材質は、上下柱材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等以上のものとする。



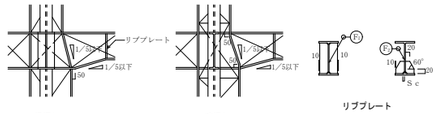
鋼管柱の仕口部に設ける柱の形状

2　各部詳細

（1）梁及び柱のしぼり

ａ）梁及び柱のしぼりの限度及び位置は下図により、梁ハンチ部にリブプレートを設けるものとする。

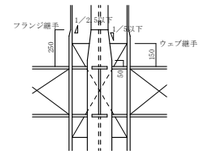
リブプレートの形状は下図により、板厚は梁ウェブと同厚以上とする。



梁通し　　柱通し　　リブプレート

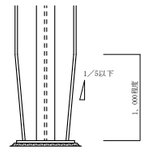
梁及び柱のしぼり（単位：mm）　　リブプレート（単位：mm）

ｂ）柱のフランジ幅及び板厚のしぼりの限度並びにフランジ及びウェブの継手位置は下図による。



柱のフランジ幅及び板厚のしぼりの限度、フランジ及びウェブの継手位置（単位：mm）

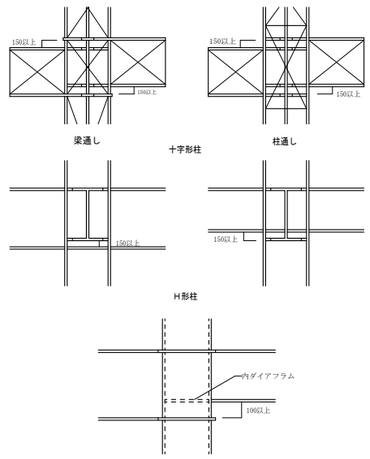
ｃ）柱脚部のしぼりの限度及び位置は下図による。



柱脚部のしぼり（単位：mm）

（2）梁の段差

柱に取り付く梁に段差を設ける場合は下図による。ただし、溶接上支障がない場合については、この限りではない。



梁通し　　柱通し

十字形柱

H形柱

鋼管柱

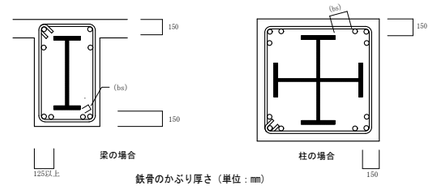
梁の段差（単位：mm）

6　鉄骨と鉄筋コンクリート部分の取合い

1　鉄骨のかぶり厚さ

鉄骨のかぶり厚さは下図による。

鉄筋と鉄骨相互のあき（ｂｓ）は、粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上とする。



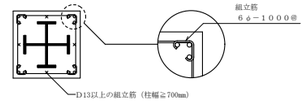
梁の場合　　柱の場合

鉄骨のかぶり厚さ（単位：mm）

2　鉄　筋

（1）鉄筋位置の確保

柱の配筋において、主筋は下図により、組立筋を用いて位置を確保し、柱幅が７００mm以上の場合は、柱の中間に組立筋を入れることとする。ただし、柱、梁仕口部を除くものとする。



柱組立筋

（2）鉄筋貫通孔の径

鉄筋の定着又は引通しのため鉄骨にあける鉄筋貫通孔の径は下表による。ただし、主筋の鉄筋貫通孔は、最大孔径に統一する。

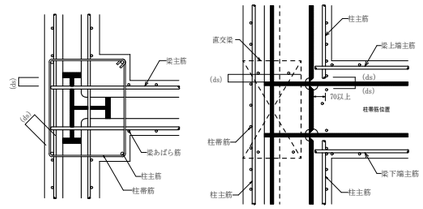
鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

鉄筋貫通孔の径　（単位：mm）

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋の貫通孔の径	24	24	28	31	35	38	43	46

（3）鉄筋貫通孔の位置

ａ）鉄筋貫通孔の位置は下図による。



鉄筋貫通孔の位置（単位：mm）

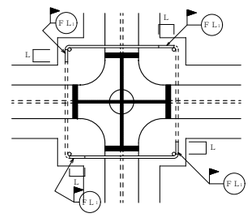
ｂ）小梁下端主筋は、直交する梁ウェブを貫通させるものとし、下図による。ただし、構造上支障がない場合は、梁ウェブを貫通しないことができるものとし下図による。

小梁下端主筋が貫通する場合　　小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）

（4）帯筋の加工及び組立て

仕口部内の帯筋の加工及び組立ては下図による。

片面溶接の有効長さ（Ｌ）は、鉄筋の呼び名の数値の１０倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は１３５°曲げのフックとする。



仕口部内の帯筋の加工及び組立て

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-09
			図面名称：鉄骨標準図② SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%

ベースパックⅠ型

角形鋼管
F値295N/mm²以下
□-150×150 ～ □-300×300 用

（財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-17」（平成30年9月21日付）

ベースパック柱脚工法 設計/施工 標準図

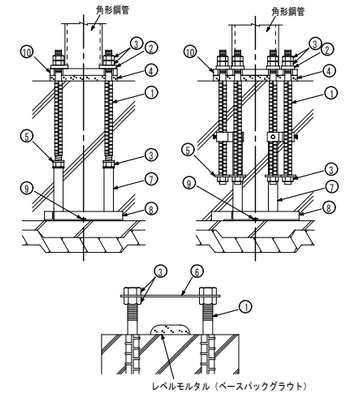
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2019年1月作成

1．工法概要

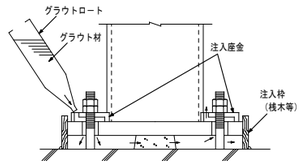
1．1 構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④ベースパックグラウト（グラウト材）
⑤定着座金
⑥テンプレート
⑦フレームポスト
⑧フレームベース
⑨Xテコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑩ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑤～⑨は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



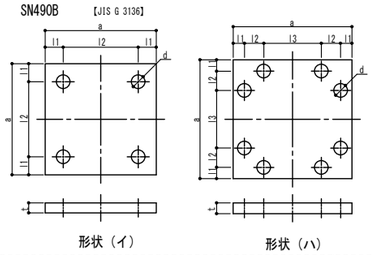
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	■
	TSC295	

3．構成部材・寸法

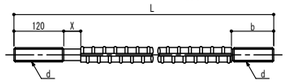
3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】



3．2 アンカーボルト（Mアンカーボルト）【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

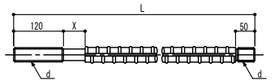
i）アンカーフレーム Aタイプの場合



単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度 (N/mm²)
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合



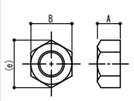
単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm²)
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3．3 Mナット

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

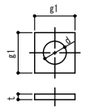


単位 mm

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3．4 定着座金

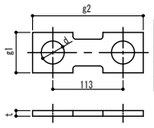
i）アンカーフレーム Aタイプの場合



単位 mm

適用 アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合

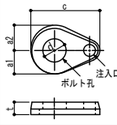


単位 mm

適用 アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

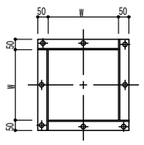


単位 mm

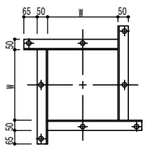
記号	適用 アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3．6 フレームベース

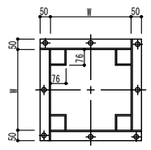
i）Aタイプ



ii）Cタイプ



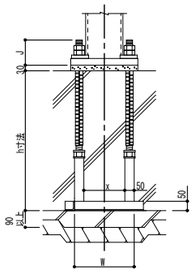
iii）特Cタイプ



3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

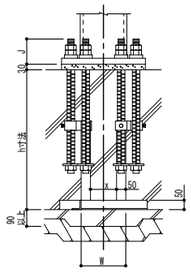
●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Aタイプ 〉

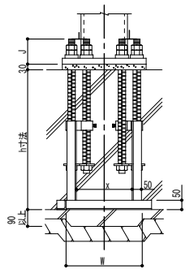


〈 Cタイプ ※ 〉

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。



〈 特Cタイプ 〉



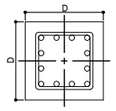
単位 mm

採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度(N/mm²)	アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法D(mm) 標準フレーム	特C	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度(N/mm²)	フレームベース 寸法W(mm) 標準フレーム	特C	フレームポスト間 寸法X(mm) 標準フレーム	特C	最低h寸法(mm)	J寸法(mm)
■	15-12V	□-150×150	t≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13@100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13@100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	20-12V	□-200×200	t≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13@100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13@100	21以上	370	-	270	-	650	150
■	25-16V	□-250×250	t≦16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13@100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13@100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≦12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≦16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	700	150
■	30-19V	□-300×300	t≦19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13@100	21以上	340	540	240	400	700	150

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

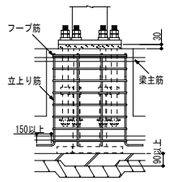
●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。



●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm² 以上とする。

●鉄筋
SD295(D13,D16)
SD345(D19,D22)

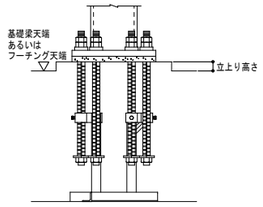
4．2 配筋



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

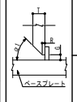


5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｶﾀﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	許容差	ルート面R(mm) 標準値	許容差	開先角度α1(°) 標準値	許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			9	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 サブマージドアーク溶接	6～	6	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) t<32	32≦t<40	40≦t≦50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50 ℃	50 ℃
CO2ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

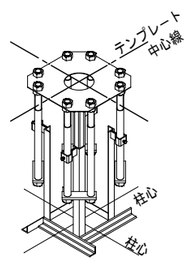
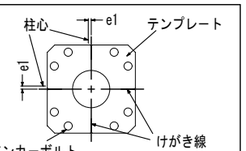


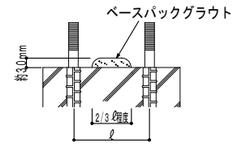
図	 e1 ：柱心とテンプレートのけがき線との許容差
標準許容差	-2≦e1≦2 基準高さより誤差は -3≦e≦10

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋（6kg）に対して、計量カップで1.0～1.1ℓ の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：ベースパック柱脚工法 標準図１ SCALE N/S

A2→A3縮小 71%

ベースパックⅡ型

角形鋼管
F値295N/mm²以下
□-350×350 ～ □-550×550 用

（財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-17」（平成30年9月21日付）

ベースパック柱脚工法 設計/施工 標準図

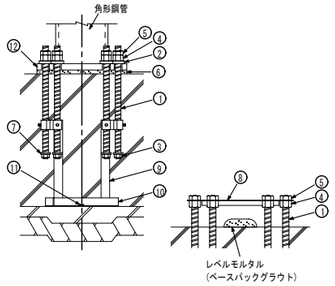
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2019年1月作成

1．工法概要

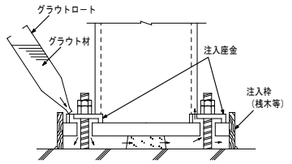
1．1 構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Dナット
④Dナット
⑤Dナット(S)
⑥ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦定着座金
⑧テンプレート
⑨フレームポスト
⑩フレームベース
⑪ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑥～⑪は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



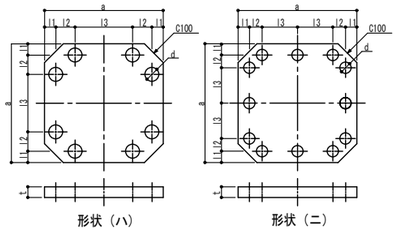
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	
	JBCR295	■
	TSC295	

3．構成部材・寸法

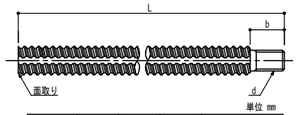
3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】
BT-HT440B-SP 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
（建築構造用高溶接性高性能５９０N/mm² 鋼材）



3．2 アンカーボルト（Dアンカーボルト）

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

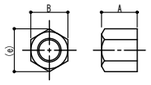


単位 mm

呼び	L	b	端部ねじd	基準強度(N/mm²)
D38	850	46	M33	390
D41	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

3．3 Mナット・Dナット

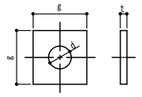
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



単位 mm

	呼び	A	B	(e)
Mナット	M33	26	50	58
	M36	29	55	64
	M45	36	70	81
Dナット	D38	45	65	75
	D41	48	70	80
	D51	60	80	92
Dナット(S)	D38	30	65	75
	D41	32	70	80
	D51	40	80	92

3．4 定着座金

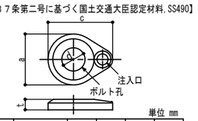


単位 mm

適用アンカーボルト	g	t	d	材質
D38	65	12	37	SS400
D41,D41H	70	12	37	SS490
D51,D51H	85	12	46	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料,SS490】

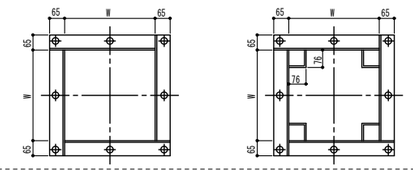


単位 mm

記号	適用アンカーボルト	a	c	t	d
PD38	D38	96	122	20	43
PD41	D41,D41H	100	127	20	46
PD51	D51,D51H	110	140	20	58

3．6 フレームベース

i）Cタイプ　　ii）特Cタイプ

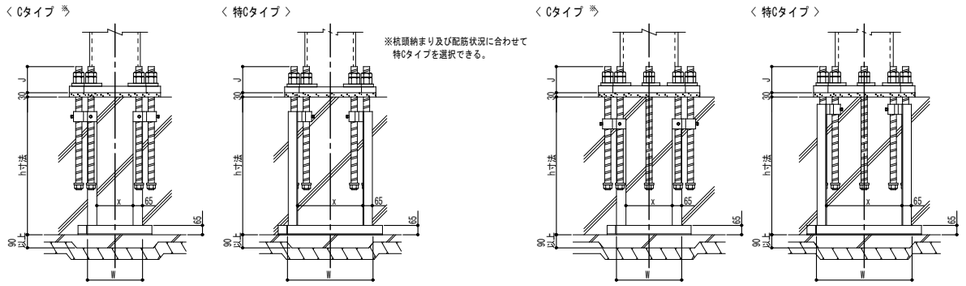


3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Cタイプ 〉　〈 特Cタイプ 〉　〈 Cタイプ 〉　〈 特Cタイプ 〉

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。



（アンカーボルト8本）　（アンカーボルト12本）

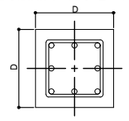
単位 mm

採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度(N/mm²)	標準アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法 D(mm) 標準フレーム	特C	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度(N/mm²)	フレームベース 寸法 W(mm) 標準フレーム	特C	フレームポスト間 寸法 x(mm) 標準フレーム	特C	最低h寸法(mm)	J寸法(mm)
	35-16R	□-350×350	t≦16	SN490B	(ハ)	630	45	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
■	35-19R	□-350×350	t≦19	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-22R	□-350×350	t≦22	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ75	8-D41	390	C	800	830	16-D22	D13@100	21以上	380	590	250	450	800	190
	35-25R	□-350×350	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	650	48	75	85	165	φ70	12-D38	390	C	850	-	16-D25	D13@100	21以上	380	-	250	-	800	180
■	40-16R	□-400×400	t≦16	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	44	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	910	12-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-19R	□-400×400	t≦19	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	48	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	900	16-D22	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-22R	□-400×400	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	700	48	65	85	200	φ70	12-D38	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	180
	40-25R	□-400×400	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	710	48	70	85	200	φ75	12-D41	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	45-19R	□-450×450	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	48	65	85	225	φ70	12-D38	390	C	950	960	16-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	180
	45-22R	□-450×450	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41	390	C	1000	1000	20-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	190
	45-25R	□-450×450	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41H	490	C	1000	1000	24-D25	D13@100	24以上	500	710	370	570	850	200
	45-28R	□-450×450	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	770	60	75	110	200	φ75	12-D51	390	C	1000	-	24-D25	D13@100	24以上	460	-	330	-	950	230
	50-19R	□-500×500	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	52	65	85	260	φ75	12-D41	390	C	1000	1030	20-D25	D13@100	21以上	570	780	440	640	800	190
	50-22R	□-500×500	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	65	85	260	φ75	12-D41H	490	C	1050	1050	24-D25	D16@100	21以上	570	780	440	640	850	200
	50-25R	□-500×500	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51	390	C	1050	1050	24-D25	D16@100	24以上	510	750	380	610	950	230
	50-28R	□-500×500	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51H	490	C	1140	-	32-D25	D16@100	24以上	510	-	380	-	1050	235
	55-19R	□-550×550	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	840	52	65	85	270	φ75	12-D41H	490	C	1100	1100	24-D25	D16@100	24以上	590	800	460	660	850	200
	55-22R	□-550×550	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	65	85	300	φ75	12-D41H	490	C	1100	1120	24-D25	D16@100	24以上	650	860	520	720	850	200
	55-25R	□-550×550	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	75	110	265	φ75	12-D51	390	C	1100	1100	32-D25	D16@100	24以上	590	830	460	690	950	230
	55-28R	□-550×550	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	65	75	110	265	φ75	12-D51H	490	C	1150	-	36-D25	D16@100	24以上	590	-	460	-	1050	235

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

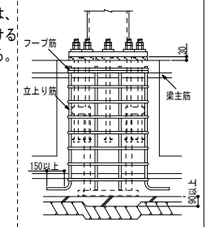
●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。



●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は下表に記載の値とする。

●鉄筋
SD295(D13,D16)
SD345(D22,D25)

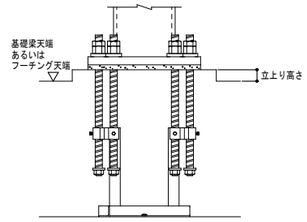
4．2 配筋



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。

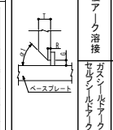


5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より）

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	許容差	ルート面R(mm) 標準値	許容差	開先角度α1(°) 標準値	許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			9	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：45	-2.5,+∞ (-5,+∞)	下向き
			7	-2,+∞ (-3,+∞)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) 40≦t≦50	50<t≦75
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	50 ℃	
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし
⑫ ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：7．本工法の施工及び施工管理参照。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

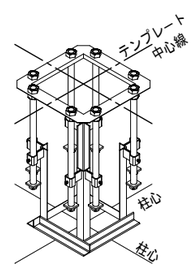
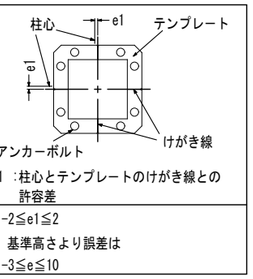


図	 e1：柱心とテンプレートのけがき線との許容差
標準許容差	-2≦e1≦2 基準高さより誤差は -3≦e≦10

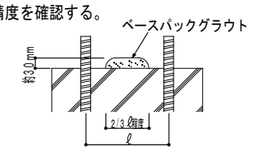
6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

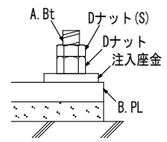
●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

●Dナット(S)による弛み止めは右図による。



6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6．2アンカーボルト据付及び6．6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

承認	検図	P & D

図面名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：ベースパック柱脚工法　標準図２ SCALE N/S

S-11

A2→A3縮小 71%

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様①
合成スラブ工業会仕様

JFE 建材 株式会社

[耐火認定FP60FL-9095,9101,FP120FL-9107,9113用]

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート

[ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類		板厚(mm)	表面処理
ＱＬデッキ ■ＱＬ９９−５０ □ＱＬ９９−７５	端部加工 □ｴﾝﾄﾞｸﾛ有り ■無し	■1.2 □1.6	□裏面防錆処理(一次塗装)*1　ＱＬプライマー(P) ■亜鉛めっき　[■Z12 □Z27] □JFEｴｺｶﾞﾙ(高耐食溶融めっき鋼板)[□Y18 □Y27] □その他(　　　)　□無し

*1 現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳ Ｋ ５６２１ 2種または3種相当）

材質	ＪＩＳ Ｇ ３３５２に定めるＳＤＰ１Ｔ、ＳＤＰ２、ＳＤＰ２Ｇ

材料／コンクリート

種類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート（□1種 □2種）
設計基準強度	□１８　■２１　□（　）Ｎ／mm²
厚さ(QLデッキ山上)	■６０ □７０ ■８０ □８５ □９０ □９５ □１００ □（　）mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

■溶接金網	ＪＩＳ Ｇ ３５５１	■φ6-150×150 □φ6-100×100
□異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７	□D10-200×200 □（　）

接　合

■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□打込み鋲	接合箇所は特記による
□頭付きスタッド	JIS B 1198 □φ１３ □φ１６ □φ１９ □φ２２ 各長さ・ピッチは特記による ※最小長さはデッキ高さ＋３０mm以上とする。
□そ　の　他	

耐　火

	１時間	２時間
連続支持	□ＦＰ０６０ＦＬ−９０９５	□ＦＰ１２０ＦＬ−９１０７
単純支持	□ＦＰ０６０ＦＬ−９１０１	□ＦＰ１２０ＦＬ−９１１３
その他 ■指定なし	□（　） □（　）	□（　） □（　）

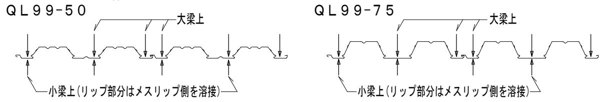
特　記

支保工有無	その他：
■無　□有	

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

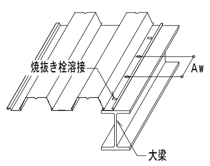
「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$A_w = \frac{1.5Q_a}{Q_D} \times 1000\text{mm かつ}600\text{mm 以下}$$

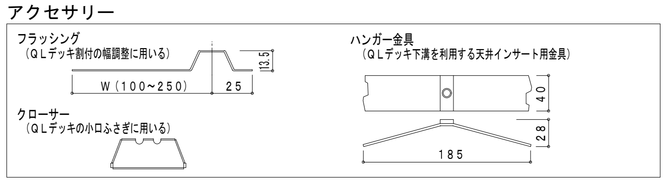
Q_a：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（N）
Q_D：設計最大せん断力(N/m)
A_w：焼抜き栓溶接ピッチ

板厚	Qa (N)
1.2	4,900
1.6	7,350(SPW)、6,860(A.P.W)

Aw ＝（　　）mm
（注）接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要



アクセサリー

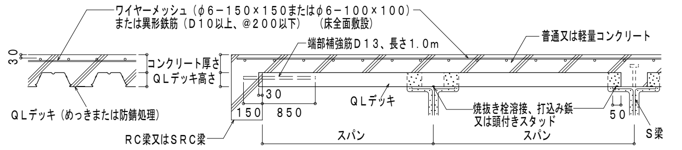


耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度１８N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（D10−@200）	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	3.0m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	90mm 以上	φ6−100x100	4,400N/m²以下 注2)
	軽量コンクリート	ＱＬ９９−５０	3.0m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	95mm 以上	D10−@200	5,400N/m²以下 注2)
	軽量コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	85mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
			3.6m 以下	90mm 以上	D10−@200	5,400N/m²以下 注2)



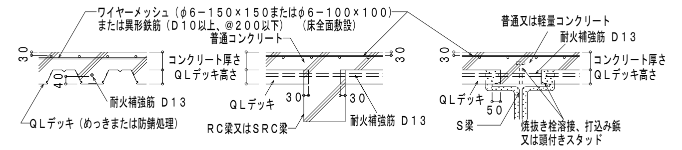
【単純支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁　コンクリート：設計基準強度１８N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）
耐火補強筋：D１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（D10−@200）	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下			算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	85mm 以上		算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照

支持梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　コンクリート：設計基準強度１８N/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋：D１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（D10−@200）	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	80mm 以上	φ6−150x150	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下			算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９−５０	2.7m 以下	95mm 以上	φ6−100x100	算出式 注5)A 参照
		ＱＬ９９−７５	3.4m 以下	90mm 以上		算出式 注5)B 参照



注1）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2）スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径16mm以上、ピッチ300mm以下）で結合する。
注3）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注4）梁の耐火被覆　梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5）許容積載荷重W　算出式

ℓ：支持スパン（m）

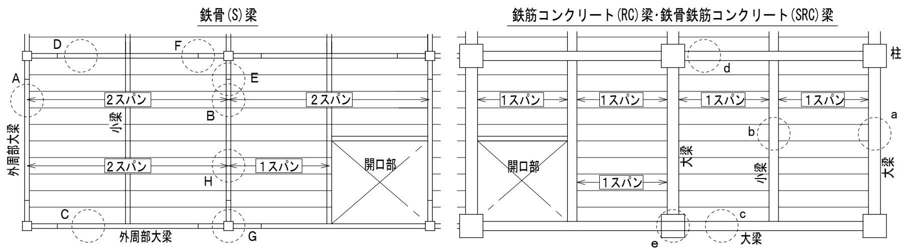
[A] ＱＬ９９−５０	[B] ＱＬ９９−７５
$W=5,400 \times (\frac{2.7}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下	$W=5,400 \times (\frac{3.4}{\ell})^2$ かつ9,800 N/m² 以下

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

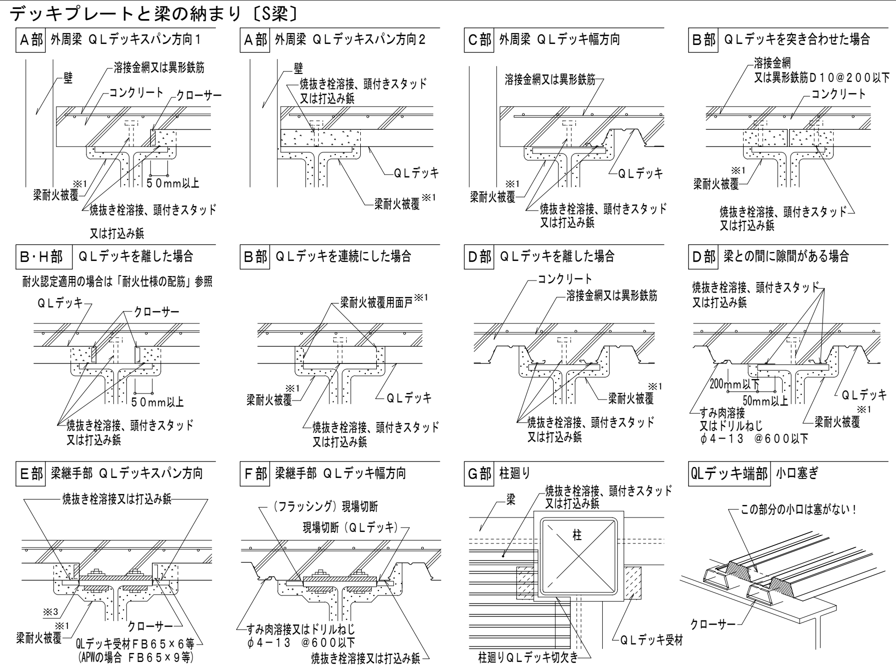
付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔(スパン比3：2を超えない程度※)に支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

標　準　納　ま　り

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。※2はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※3 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Q＆A参照）

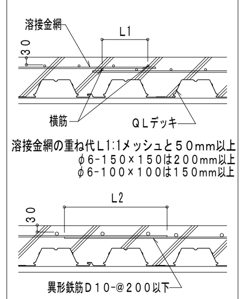


デッキプレートと梁の納まり〔S梁〕



スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



溶接金網の重ね代L1:1メッシュと５０mm以上
φ6-150×150は200mm以上
φ6-100×100は150mm以上
異形鉄筋の重ね代L2：JASS 5による
例）Fc18 SD295の場合、４５D以上

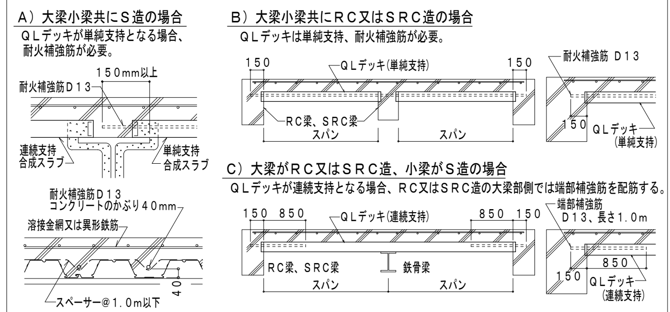
耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０mm以上定着させる。梁上で定着が１５０mmとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０mm以上を確保する。

A）大梁小梁共にＳ造の場合
ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。

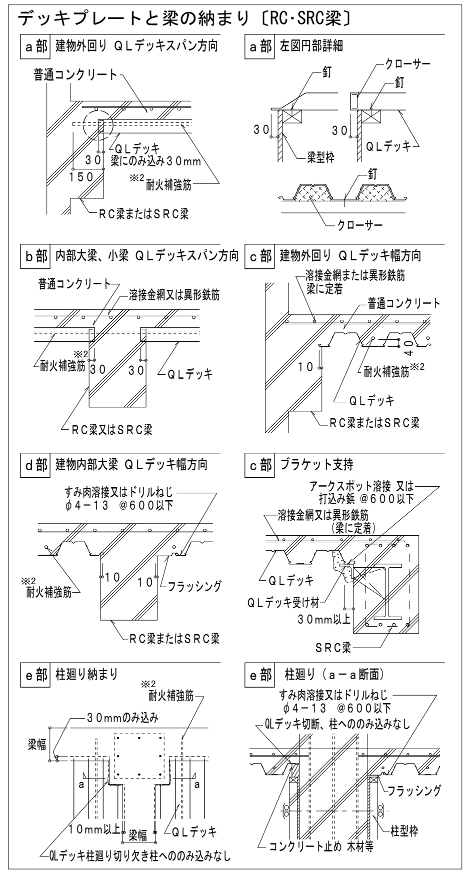
B）大梁小梁共にＲＣ又はＳＲＣ造の場合
ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。

C）大梁がＲＣ又はＳＲＣ造、小梁がＳ造の場合
ＱＬデッキが連続支持となる場合、ＲＣ又はＳＲＣ造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。



※配筋のスペーサーはφ４．０mm以上鉄線またはセメントブロックを用いて間隔は１．０m以下とする。

デッキプレートと梁の納まり〔RC・SRC梁〕



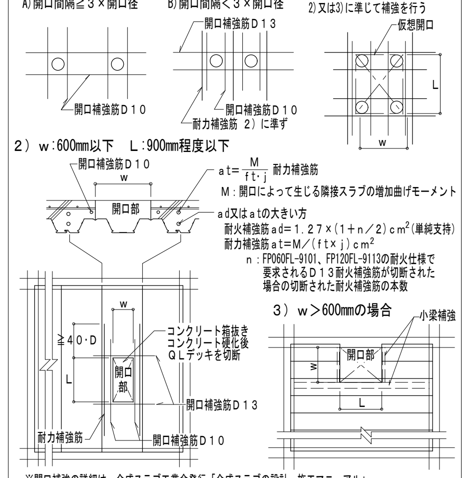
開口部補強案

1）開口がφ１５０程度の場合
A)開口間隔≧３×開口径　B)開口間隔＜３×開口径
C)開口が連続している場合
連続する開口の開口群(仮想開口)と見なし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う

2）w：600mm以下　L：900mm程度以下

$a_t = \frac{M}{f_t \cdot j}$ 耐力補強筋
M：開口によって生じる隣接スラブの増加曲げモーメント
ad又はatの大きい方
耐火補強筋 ad＝1.27×(1＋n／2)cm²(単純支持)
耐力補強筋 at＝M／(ft×j)cm²
n：FP060FL-9101、FP120FL-9113の耐火仕様で要求されるD13耐火補強筋が切断された場合の切断された耐火補強筋の本数

3）w＞600mmの場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」（I）合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施工

施工順序	敷込み
墨出し ↓ 敷込み仮止め溶接 ↓ QLデッキと梁との接合 1）頭付きスタッド 2）打込み鋲 3）焼抜き栓溶接 ↓ 溶接金網敷込み ↓ 検査 ↓ コンクリート打設	鉄骨梁の場合 1）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数(5〜10枚)ごとに仮止め溶接する。 2）各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。 デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。(頭付きスタッドの場合は３０mm以上) 3）デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。 RC梁またはSRC梁の場合 1）デッキプレートは梁型枠に釘止めする。 2）デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向１０mm以上、長手方向が３０mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件；黒皮または一般錆止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］—アーク手溶接—

（1）溶接機
交流アーク溶接機 AW250A以上　エンジン溶接機 230A以上
（2）溶接棒
JIS Z 3211のE4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmφのもの
（3）標準溶接条件
梁フランジ板厚：６mm以上
溶接電流：190〜230A(標準210A)
（4）溶接工の資格
JIS Z 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者
（5）手順・要領
右の１〜４の順に行う。

	工程	手順・要領
1	アーク発生	QLデッキを梁になじませ(隙間2mm以下)溶接棒をQLデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	QLデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で"の"の字を描いてQLデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ2〜3回転しながら運棒。
4	整形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安；電流値２１０A(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［A.P.W］—CO2アークスポット溶接—

（1）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　18KVA以上　3相　200V
発電機の場合　35KVA以上　3相　200V
（2）ワイヤの種類と直径　：YGW 11、12　φ1.2mm
（3）標準溶接条件：下表

QLデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（A）	電圧（V）	アークタイム（秒）
1.2mm	6〜9mm未満	300〜320	33〜35	3.0〜4.0×1度打ち
	9mm以上	300〜320	33〜35	3.0〜4.0×2度打ち
1.6mm	6〜9mm未満	300〜320	34〜36	3.5〜4.5×1度打ち
	9mm以上	300〜320	34〜36	4.0〜4.5×2度打ち

注1.デッキプレート　板厚1.2、1.6mm　表面条件：Z12、Z27、裏面塗装
2.CO2ガス流量：20ﾘｯﾄﾙ／分以上

検　査

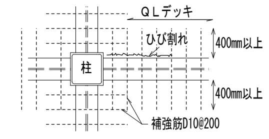
【焼抜き栓溶接（SPW）及び自動焼抜き栓溶接（A.P.W）】
□事前検査
SPW：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1）検流計での計測
2）溶接棒の消費長さによる確認 —— 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５〜５３mmであること。
A.P.W：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1）溶接箇所の確認　2）焼き切れ、余盛り不足の有無
3）標準余盛り径　SPW；18mm以上　A.P.W；25mm±3
□不良部の補修
SPW の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
A.P.Wの場合：重ね溶接して補修する。
【その他】
(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

(参考)ひび割れ拡大防止のための留意事項

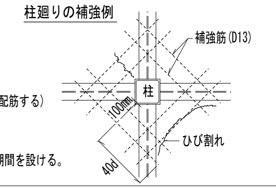
[1]設計上の留意点
1)小梁の剛性を大きくする。
2)ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照)
3)スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
（コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80〜90mmと厚くする。）
4)デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

[2]施工上の留意点
1)水セメント比を小さくする。
[例] 単位水量 175リットル/m³以下
ベースコンクリートスランプ 10cm　スランプ 15cm
高性能ＡＥ減水剤
2)溶接金網の位置−かぶり厚さ30mm−を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3)コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない。歩行程度は可。
4)打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5)打込み後４〜７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例



柱廻りの補強例



施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）

注1：普通コンクリート、D10-200×200、表面処理が亜鉛めっきの場合
注2：表を超える場合は、別途支保工が必要です。

QL99−50（単位：m）

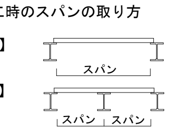
コンクリート厚(mm)	60			70			80			90			100		
板厚(mm)	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6
支持条件 単純(内法)	2.38	2.52	2.75	2.33	2.47	2.69	2.29	2.42	2.64	2.24	2.38	2.59	2.21	2.33	2.55
支持条件 2連続	3.20	3.39	3.67	3.10	3.32	3.62	3.01	3.26	3.55	2.93	3.18	3.49	2.85	3.09	3.43
支持条件 3連続	2.95	3.13	3.41	2.89	3.06	3.34	2.84	3.00	3.28	2.78	2.95	3.22	2.74	2.89	3.16

QL99−75（単位：m）

コンクリート厚(mm)	60			70			80			90			100		
板厚(mm)	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6
支持条件 単純(内法)	3.13	3.31	3.62	3.07	3.25	3.55	3.02	3.19	3.49	2.96	3.13	3.43	2.92	3.08	3.38
支持条件 2連続	3.57	3.91	4.31	3.46	3.80	4.25	3.37	3.70	4.19	3.28	3.60	4.14	3.20	3.52	4.09
支持条件 3連続	3.64	3.79	4.06	3.58	3.74	4.00	3.52	3.69	3.95	3.46	3.64	3.90	3.40	3.60	3.85

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】
【連続支持】



その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

2020／03／01

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：ＱＬデッキ合成スラブ標準図　SCALE　N/S

S-12

A2→A3縮小 71%

地盤柱状改良工事特記仕様書

1．工　事　概　要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2．一　般　事　項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「改訂版　建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」
（平成14年11月30日　財団法人 日本建築センター、以下指針という）による。

3．特　記　事　項

(1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ本数・位置及びセメントスリラーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
(2) コラム設計基準強度はFc=800kN/㎡とする
(3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
(4) セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスＧ工法協会に所属する会員とする。
(5) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所において下記の性能証明を有する工法を選定する。
　①変動係数25%が砂質土、粘性土、ローム地盤で採用できること。
　②小規模建築物に対する品質管理が規定されていること。
　③材齢７日強度で合否判定が可能であると認定されていること。
(6) 品質及び施工管理は、スリーエスＧ工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施　工　計　画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

(1) 地盤概要
(2) 工事内容（ｺﾗﾑ径・ｺﾗﾑ長・空掘り長・ｺﾗﾑ数・設計基準強度）
(3) 工事期間及び工程
(4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等）
(5) 施工機器及び仮設設備と配置
(6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法
(7) 建築技術性能証明書
(8) その他、必要事項

5．施　工　機　械

(1) 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
(2) 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスリラーを吐出可能な吐出切替構造であること
(3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
(4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
(5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6．配　合　試　験

(1) 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

試験名	室内配合試験
試料箇所数	1箇所

7．配　合　管　理

(1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント及び、セメント系固化材とする。
(2) 配合強度
配合強度 X_fは設計基準強度Fcの1.7倍に設定する。

$X_f = Fc \times 1.7$

X_f ：配合強度（kN/㎡）
Fc ：設計基準強度（kN/㎡）

(3) 配合量（固化材量とW/C）
室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$X_{28} = X_f / \alpha_f$　　$X_7 = (X_f / \alpha_f) / \sigma_7$

X_{28}：室内配合強度(28日強度)（kN/㎡）
X_f ：配合強度（kN/㎡）
α_f ：現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）
X_7 ：室内配合強度(7日強度)（kN/㎡）
X_f ：配合強度（kN/㎡）
α_f ：現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）
σ_7 ：材齢28日／材齢7日強度比

室内配合試験(3日強度：X_{13})により決定する場合は、X_{17} を材齢7日／材齢3日強度比で割った配合強度とする。
暫定配合量300(kg/m 3)、W/C＝70%　　【最終的には配合試験により決定する。】

8．品　質　検　査

(1) 設計対象層及び調査箇所数。
　① 設計対象層は最弱層とし、砂質土、粘性土、ロームの土質区分では（盛土）とする。
　② 設計対象層(最弱層)の深度は、GL-(1.20 ～ 2.00m)付近とする。

表１．調査箇所数

項　目	採取部位	採取箇所数	備　考
小規模建築物における品質検査	頭部モールドコア	1箇所	材齢　7日
	深部モールドコア	1箇所	材齢　7日

注）深部モールドコアにおいて、Xi7<Fcの場合は、材齢28日強度を確認する。
　　頭部モールドコアの抜き取り数は、改良体100本に1箇所以上とする。

(2) メーターサンプラーによる品質管理
設計対象層に対しメーターサンプラーにてサンプリングを行う。
改良部の連続性、土塊混入状況、及び不良率の確認をフェノール試験、指圧試験により行う。
ただし、現場状況等によりメーターサンプラーによるサンプリングが困難な場合は、深部モールドコアを1箇所追加し、計2箇所でサンプリングすることによりメーターサンプラーの代用を行う。
高温養生（60℃）による材齢1日圧縮試験を行う。
これらにより、健全な品質を確認しモールドコア試験を実施する。

(3) 合否の判定（小規模建築物に_おける品質検査）
　① 抜き取り１箇所に対して３個の供試体を採取する。
　② 合否の判定はn個(コアの個数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$X_i \geqq F_c$

Xi ：検査対象層より採取した個々のコアの一軸圧縮強さ（材齢7日）（1 ≦ i ≦ n）（kN/㎡）、
　　（もしXi7<Fcの場合は、Xi28≧Fcを確認する。）
Fc ：設計基準強度（kN/㎡）
n ：コアの抜き取り個数
i ：個々の供試体

9．工　事　報　告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。
　① コラム伏図及び番号
　② コラムの施工日
　③ コラムの径及び改良長
　④ 掘削深度
　⑤ 固化材の配合と使用量
　⑥ モールドコア圧縮強度試験結果

表層地盤改良工事特記仕様書

1．工事概要

本地業は表層地盤改良による地盤改良工であり、その工法概要は粉体状のセメント系固化材を散布し、現状土と混合攪拌、転圧し造成するものである。

2．特記概要

1、本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとする。
2、改良の範囲、掘削深度等は設計図による。
3、改良の設計基準強度はFc＝１５０ＫＮ/㎡程度とする。

3．一般事項

1、改良の範囲、厚さ及び固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。
　なお、その場合、後日設計変更により処理するものとする。
2、数量表

設計基準強度	Ｆｃ＝　１５０	ｋＮ/m^2
実改良面積	６０８．０	m^2
改 良 厚	０．４５～０．５	m
改 良 土 量	２８４．０	m^3

5．施　　工

1、固化材を改良範囲にまく。固化材のまきだしは均一になるようにする。
2、改良土の混合の確認は、目安として現状土と改良土の色のちがいにて確認する。
3、風等の影響により固化材が飛散する場合は、散水して改良を実施する。
4、改良後に含水率が低いと判断した時は、散水する場合もある。（散水車等）

6．固化材の使用量

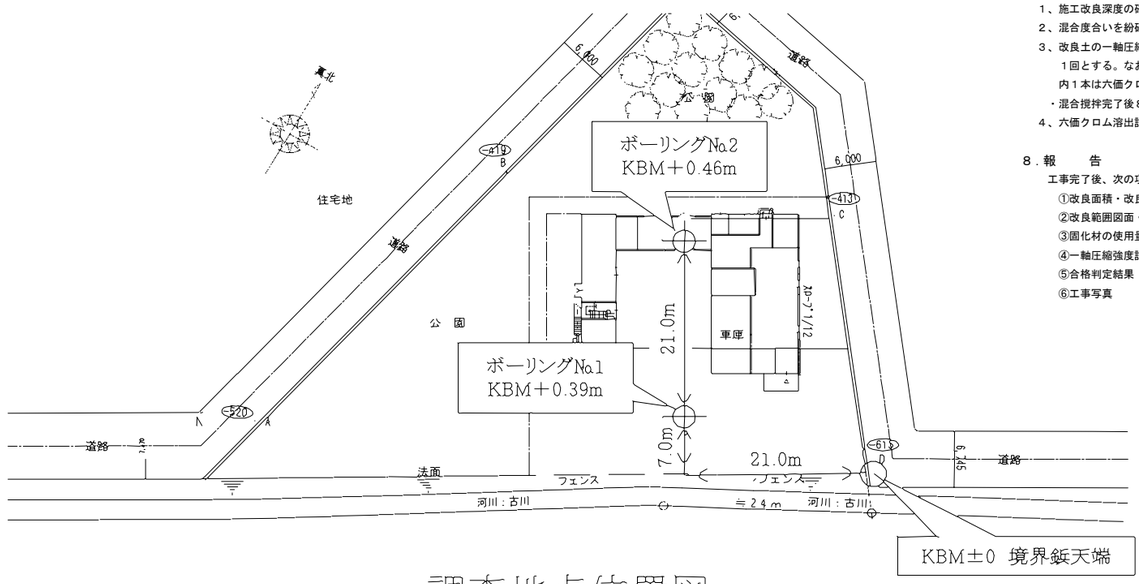
1、表層改良に使用する固化材は、セメント系固化材とする。
2、固化材添加量　　λ ＝ １００ Kg/m^3
3、施工に先立って配合試験を行う
4、配合強度は下記の式より求める。
　Xl≒qul＝quf／dl
　Xl ：室内配合強度
　qul：平均一軸圧縮強さ
　quf：現場平均一軸圧縮強度
　dl ：（現場／配合）強さ比

7．品質管理

1、施工改良深度の確認（レベルにて測量）
2、混合度合いを紛砕度・色等で確認する。
3、改良土の一軸圧縮強度試験は２００m^3毎又はその端数につき
　１回とする。なお、１回の供試体は４（３＋１）本とする。
　内１本は六価クロム溶出試験用とする。
・混合攪拌完了後８本供試体を仕上げる。
4、六価クロム溶出試験を行う。

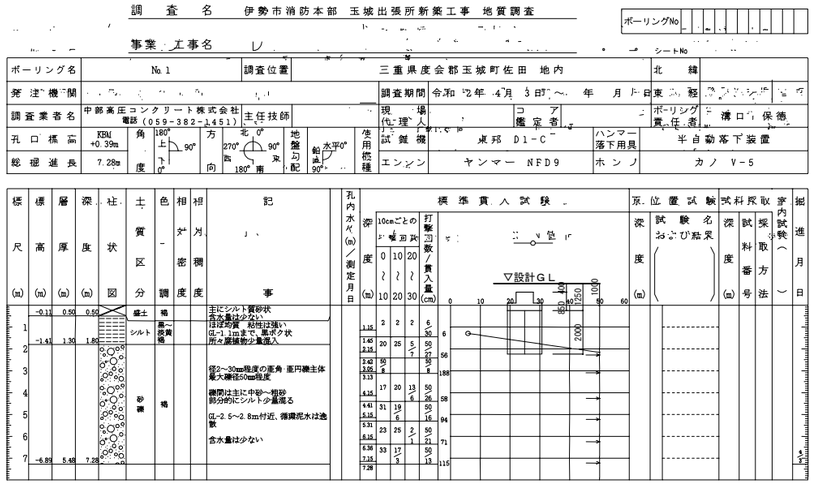
8．報　　告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、２部を監督員にすみやかに提出する。
　①改良面積・改良厚・改良土量
　②改良範囲図面・マス目番号
　③固化材の使用量
　④一軸圧縮強度試験結果
　⑤合格判定結果
　⑥工事写真

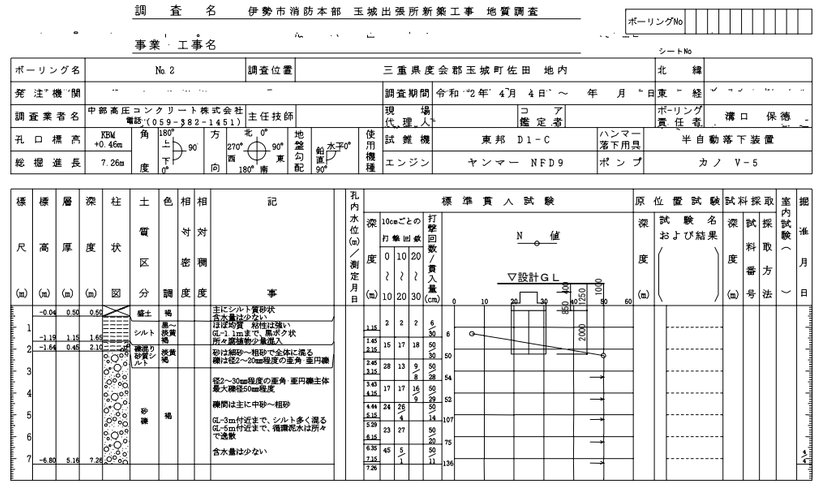


調査地点位置図

ボーリング柱状図



ボーリング柱状図



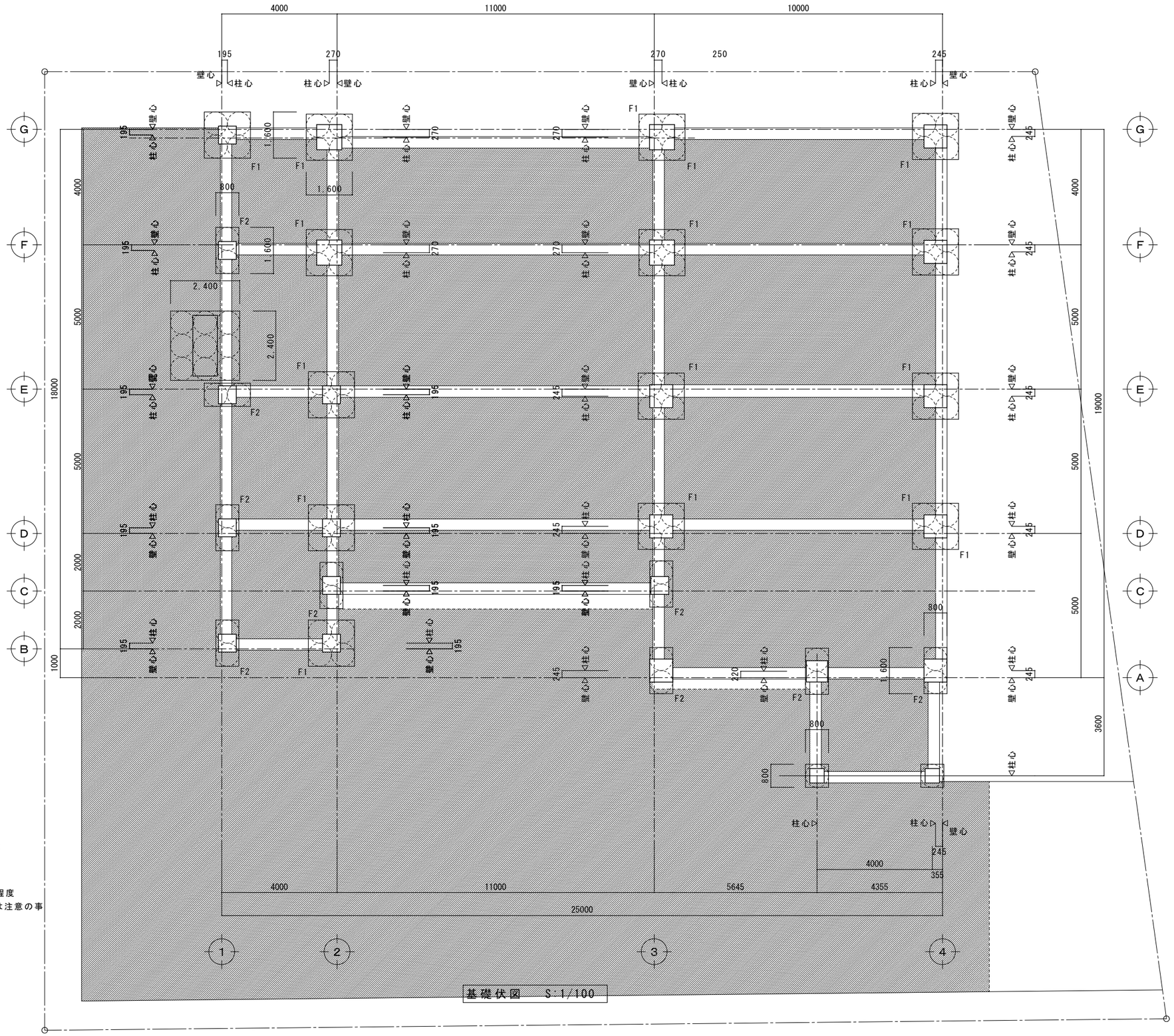
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：地盤柱状改良工事特記仕様書・ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ柱状図 SCALE 1/200

S-13

A2→A3縮小 71%



基礎伏図　S:1/100

〔凡例〕

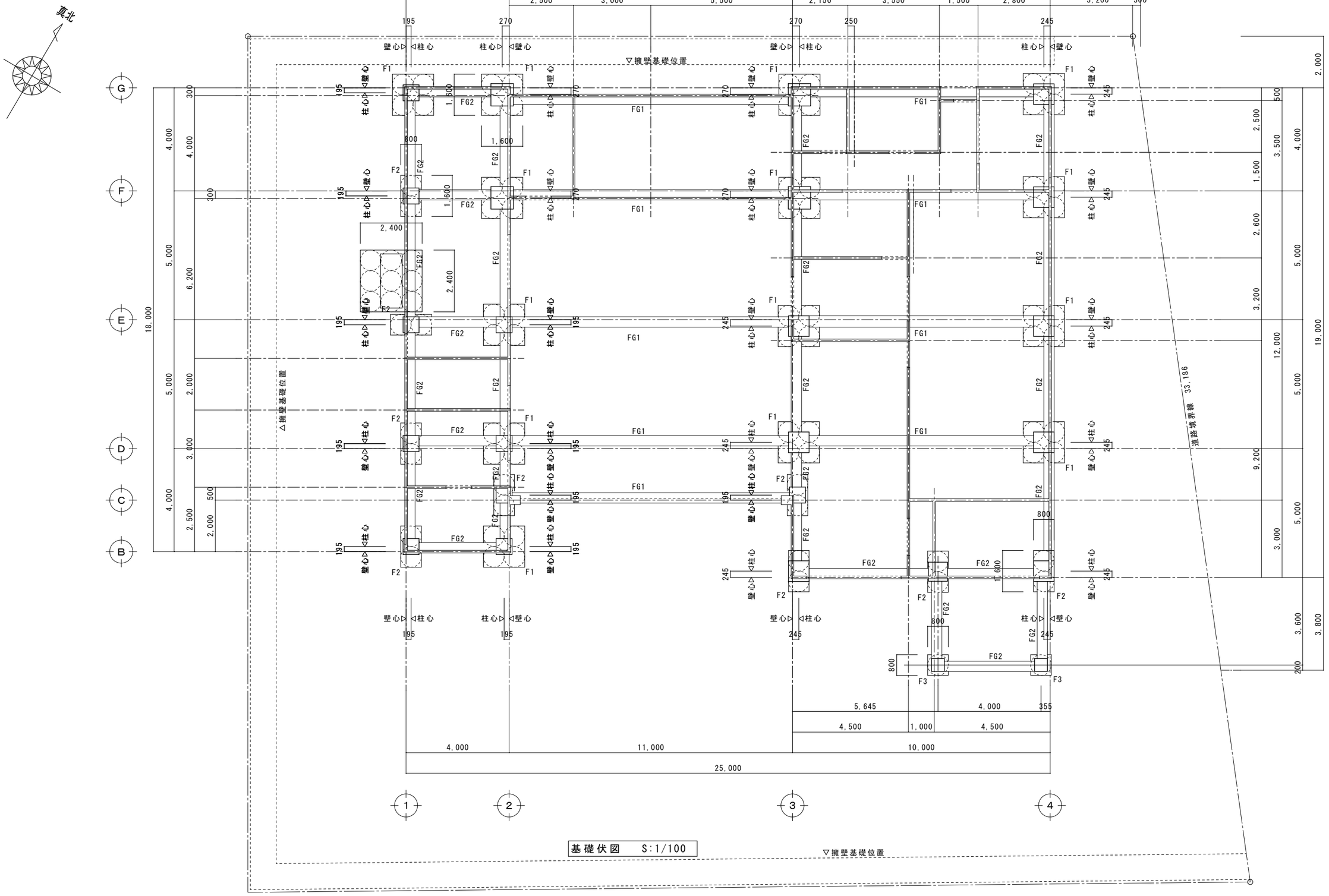
地盤柱状改良杭
800Φ　L-2000

地盤表層改良
t＝450～500　程度

※　L型擁壁及び躯体には注意の事

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-14
							図面名称：地盤柱状改良伏図　SCALE　1/100	

A2→A3縮小 71%



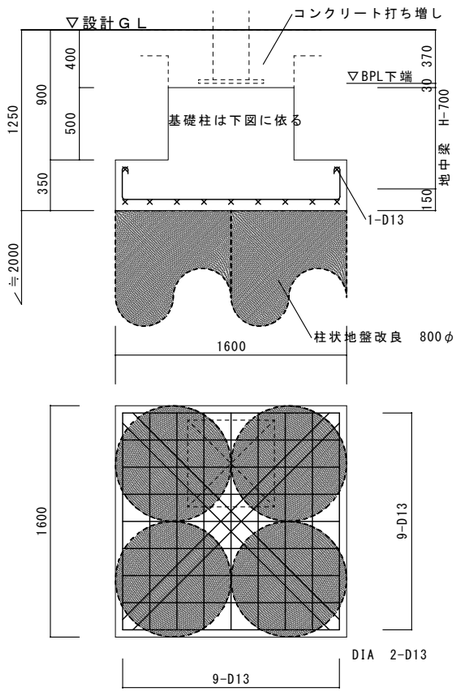
基礎伏図　S:1/100

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-15
			図面名称：基礎伏図　SCALE 1/100	

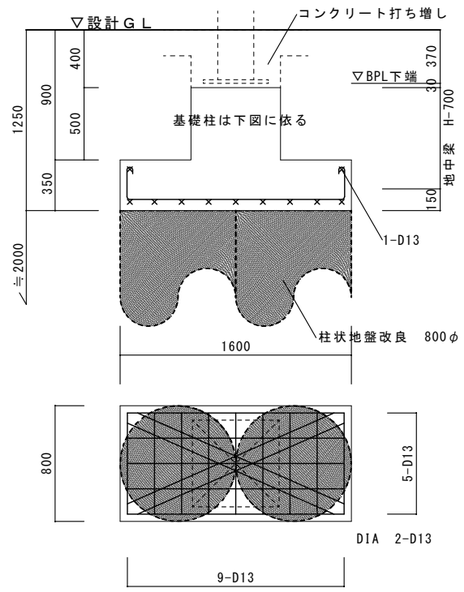
A2→A3縮小 71%

基礎ベース配筋図　　S＝1：30

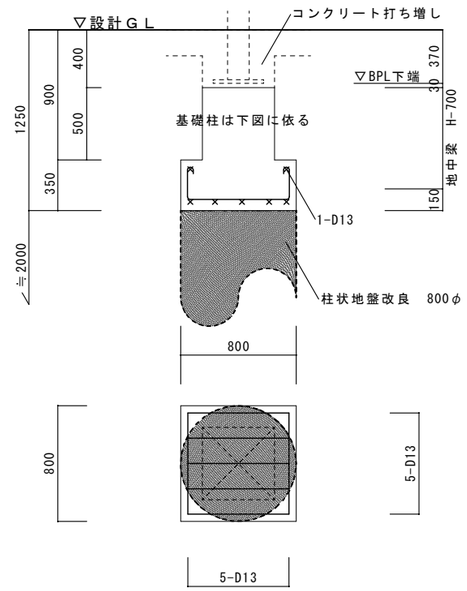
F 1



F 2

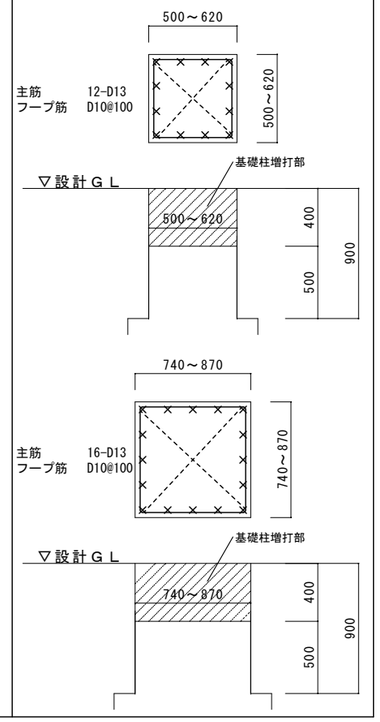


F 3

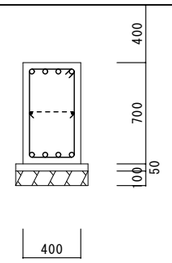


F 1 ～ F 3

基礎柱増打部

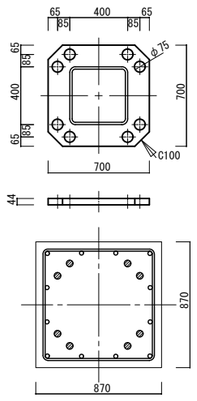


地中梁配筋図　　S＝1：30

符　号	ＦＧ１・ＦＧ２
断面図	
B×D	400×700
上端筋	4-D22
下端筋	4-D22
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	D13　@200
腹筋	2-D10
巾止め筋	D10　@1000

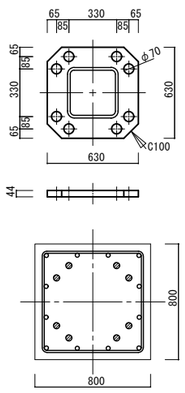
ベースパック詳細図　　S＝1：30

ベースパック 40-16R



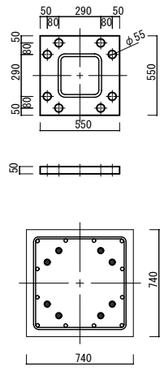
柱部材	□-400×400×16
ベースプレート	700×700×44
アンカーボルト	8-D41(BPD-SD390)
コンクリート柱断面	870×870(850×850)
立上り筋	12-D25(SD345)
フープ筋	D13@100(SD295)
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	21N/mm² 以上

ベースパック 35-19R



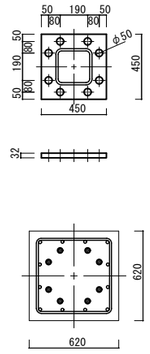
柱部材	□-350×350×19
ベースプレート	630×630×44
アンカーボルト	8-D38(BPD-SD390)
コンクリート柱断面	800×800
立上り筋	12-D25(SD345)
フープ筋	D13@100(SD295)
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	21N/mm² 以上

ベースパック 30-19V



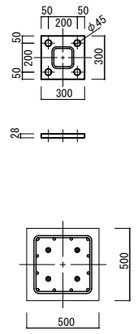
柱部材	□-300×300×19
ベースプレート	550×550×50
アンカーボルト	8-M36(BPM-SD490)
コンクリート柱断面	740×740
立上り筋	12-D22(SD345)
フープ筋	D13@100(SD295)
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	21N/mm² 以上

ベースパック 25-16V

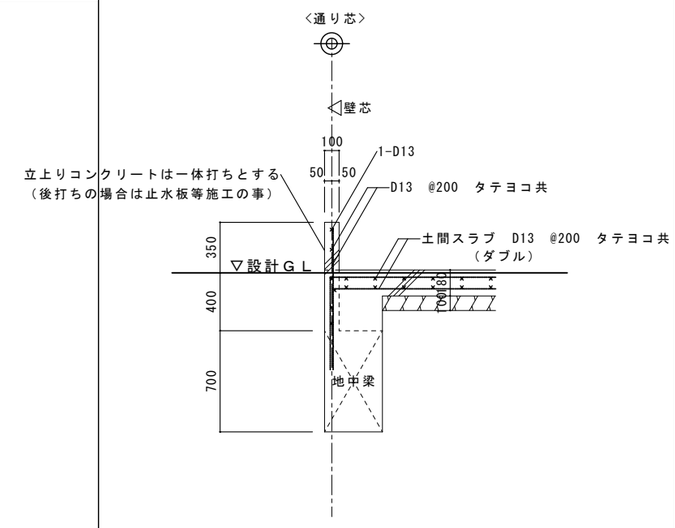


柱部材	□-250×250×16
ベースプレート	450×450×32
アンカーボルト	8-M33(BPM-SD490)
コンクリート柱断面	620×620
立上り筋	12-D19(SD345)
フープ筋	D13@100(SD295)
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	21N/mm² 以上

ベースパック 15-12V



柱部材	□-150×150× 9
ベースプレート	300×300×28
アンカーボルト	4-M27(BPM-SD490)
コンクリート柱断面	500×500
立上り筋	12-D16(SD295)
フープ筋	D13@100(SD295)
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	21N/mm² 以上

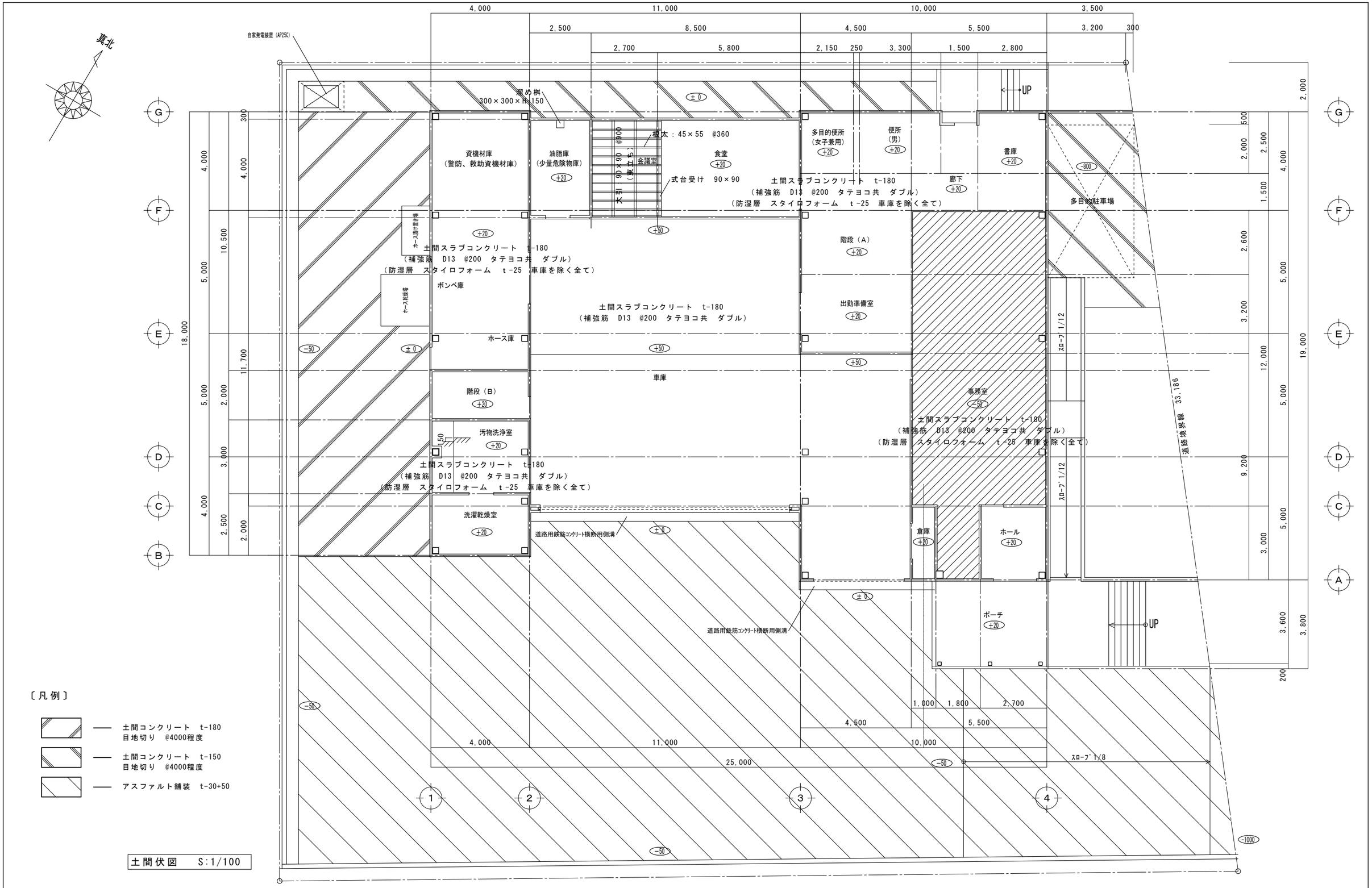


立上り腰壁・土間　断面詳細図　S=1:30

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
							図面名称：ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ・基礎・地中梁詳細図　SCALE 1/30

S-16

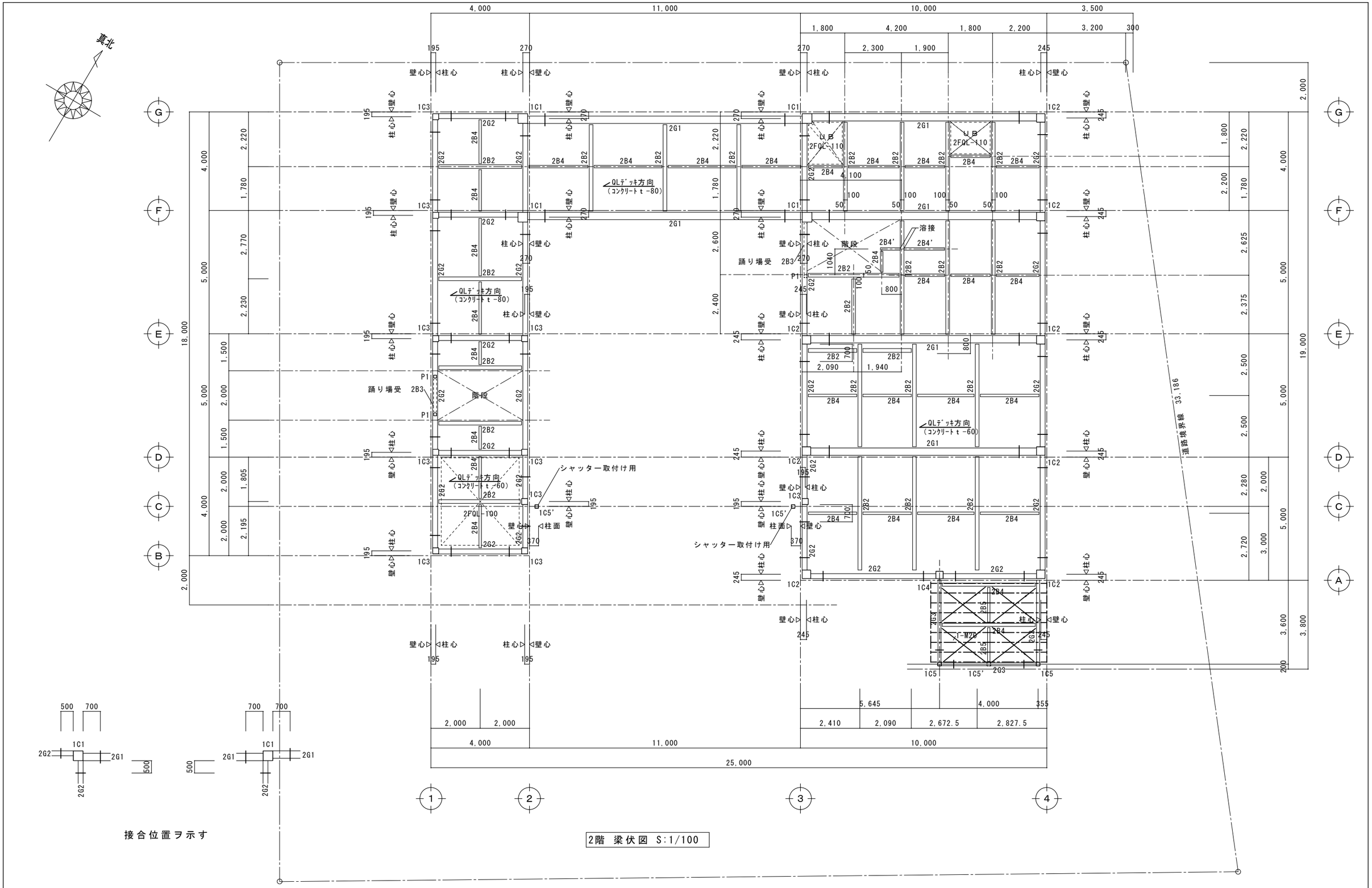
A2→A3縮小　71%



土間伏図 S:1/100

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-17
							図面名称：土間伏図 SCALE 1/100	

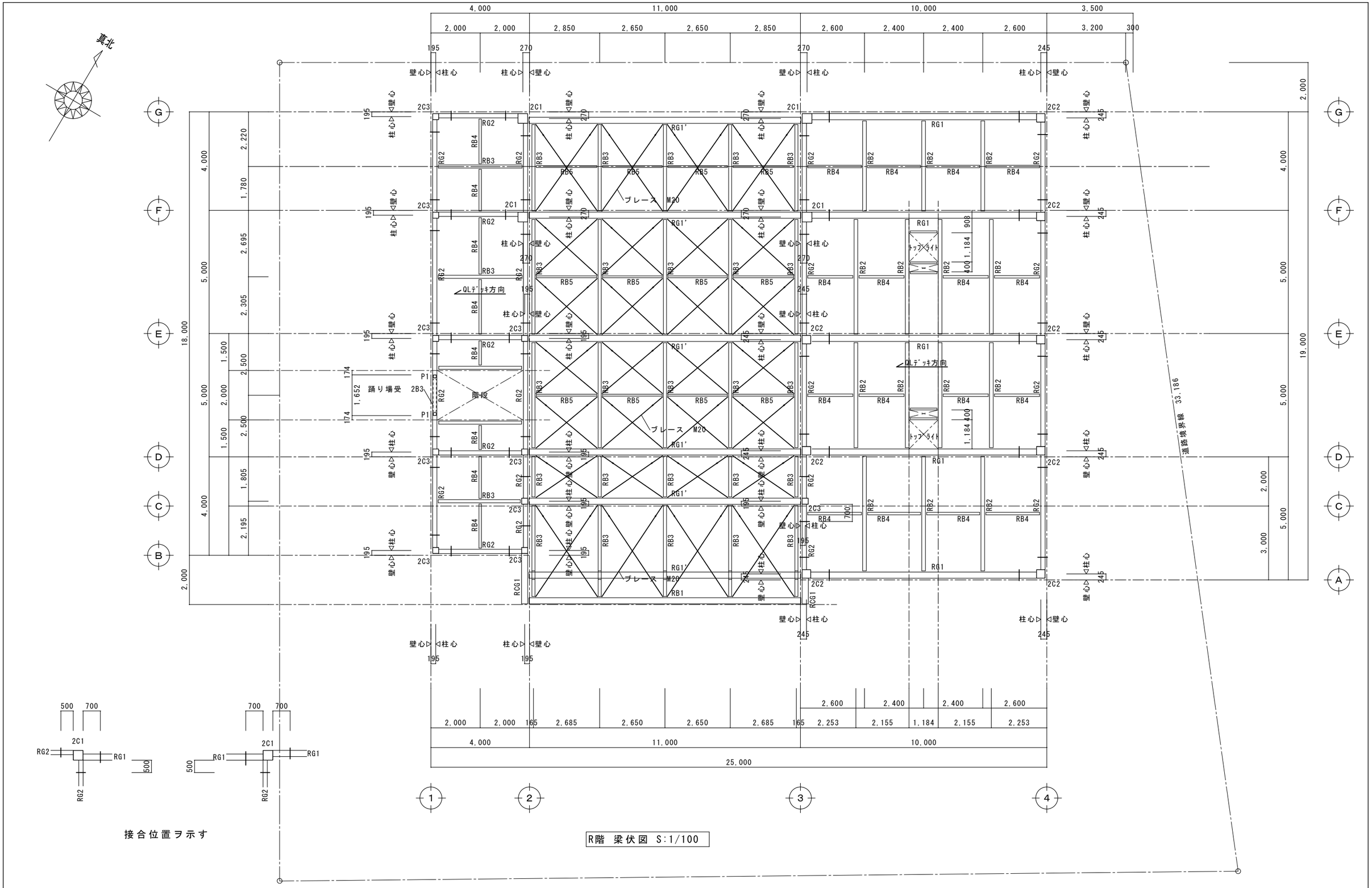
A2→A3縮小 71%



2階 梁伏図 S:1/100

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-18
							図面名称：2階 梁伏図 SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%



R階 梁伏図 S:1/100

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-19
			図面名称：R階 梁伏図　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%

	梁　符　号	部　　材	接　　合	フランジ継手	フランジ継手形状	ウェブ継手	ウェブ継手形状
鉄骨梁部材リスト	ＲＧ１	H-340x250x9x14	剛接合	1.PL- 12x530×250 2.PL- 12x530×100　HTB 32-M20	添付図面参照	2.PL-9x290×200　HTB 12-M20	添付図面参照
	ＲＧ２	H-244x175x7x11	剛接合	1.PL- 9x290×175 2.PL- 9x290× 70　HTB 16-M20	添付図面参照	2.PL-9x170×140　HTB 4-M20	添付図面参照
	２Ｇ１	H-440x300x11x18	剛接合	1.PL- 12x440×300 2.PL- 12x440×110　HTB 32-M22	添付図面参照	2.PL-9x320×170　HTB 10-M22	添付図面参照
	２Ｇ２	H-294x200x8x12	剛接合	1.PL- 9x410×200 2.PL- 9x410× 80　HTB 4-M20	添付図面参照	2.PL-9x200×170　HTB 6-M20	添付図面参照
	２Ｇ３	H-250x125x6x9	剛接合	1.PL- 12x410×125　HTB 24-M16	添付図面参照	2.PL-9x290×170　HTB 2-M16	添付図面参照
			ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M16	P=60
	ＲＧ１'	H-340x250x9x14	ピン接合			G.PL- 9mm　HTB 6-M20	P=60
	ＲＣＧ１	H-340x250x9x14	剛接合	溶接			
	ＲＢ１	H-350x175x7x11	ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 3-M20	P=90
	ＲＢ２ ２Ｂ２	H-300x150x6.5x9	ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M20	P=120
	ＲＢ３	H-250x125x6x9	ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M16	P=90
	ＲＢ４ ２Ｂ４	H-200x100x5.5x8	ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M16	P=60
	２Ｂ４'	H-200x100x5.5x8	剛接合	溶接			
			ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M16	P=60
	ＲＢ５ ２Ｂ５	H-150x75x5x7	ピン接合			G.PL- 6mm　HTB 2-M16	P=60
	ササラ桁	PL-12－270　G.PL- 12mm　HTB 2-M20　P=90					
	デッキプレート	合成スラブ構造デッキプレート－99－50－12　CON t=60					

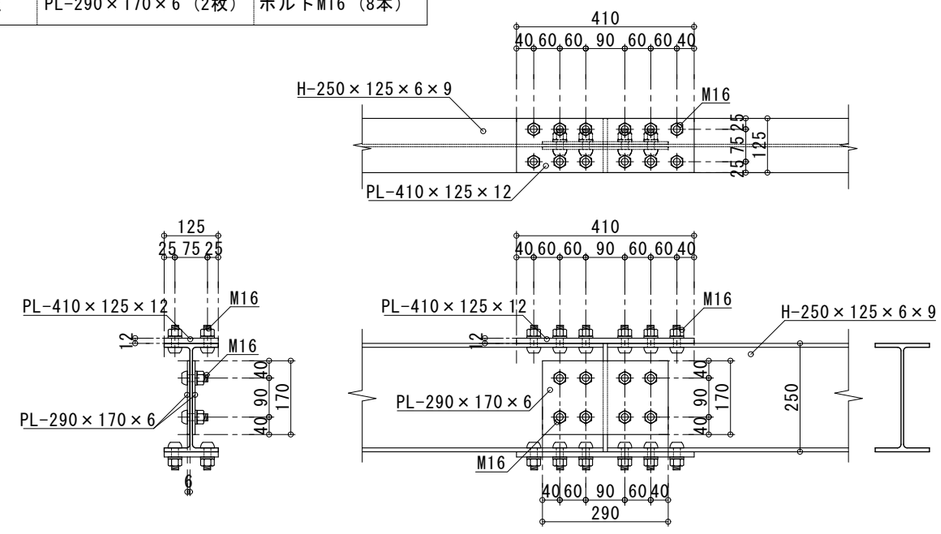
鉄骨工事　使用材料
鋼材 SS400　：梁 BCR295　：柱　C1、C2、C3 SN490B　：内ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ SN490C　：通しﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ SSC400　：垂木　胴縁

鉄　骨　柱　部　材　リ　ス　ト

柱　符　号	部　　材	柱　　脚	
１Ｃ１	□- 400×400×16（半固定）	ベースパック４０－１６Ｒ	B.PL-44x700x700 A.BOLT 8-M41(SD390)
１Ｃ２	□- 350×350×19（半固定）	ベースパック３５－１９Ｒ	B.PL-44x630x630 A.BOLT 8-M38(SD390)
１Ｃ３	□- 250×250×14（半固定）	ベースパック２５－１６Ｖ	B.PL-32x450x450 A.BOLT 8-M33(SD490)
１Ｃ４	□- 300×300×19（半固定）	ベースパック３０－１９Ｖ	B.PL-50x550x550 A.BOLT 8-M36(SD490)
１Ｃ５	□- 150×150×9（半固定）	ベースパック１５－１２Ｖ	B.PL-28x300x300 A.BOLT 4-M27(SD490)
１Ｃ５'	□- 150×150×9（ピン）	G.PL-9 HTB 2-M16	B.PL-12x350x350 A.BOLT 4-M16(SD490)
２Ｃ１	□- 400×400×16		
２Ｃ２	□- 350×350×19		
Ｐ１	□- 125×125×6	B.PL-12 A.BOLT 4-M16　G.PL- 9mm　HTB 2-M20	

垂木	C-100x50x20x2.3　@606（一般部） 2C-100x50x20x2.3　@1820（一般部） C-100x50x20x3.2　@606（支点間距離4m以上の場合） 2C-100x50x20x3.2　@1820（支点間距離4m以上の場合）
胴縁	C-100x50x20x2.3　@455　タテ（一般部） 2C-100x50x20x2.3　ヨコ（支点間距離3m以上の場合） 2C-100x50x20x2.3　タテ（ヨコ胴縁長さ3m以上の開口部縁部）
屋根ブレース	M20　G.PL-9　FB-9x70×195　HTB 1-M20　ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ締め

梁サイズ	H-250×125×6×9	
フランジ 添板	PL-410×125×12（2枚）	ボルトM16（24本）
ウェブ　添板	PL-290×170×6（2枚）	ボルトM16（8本）

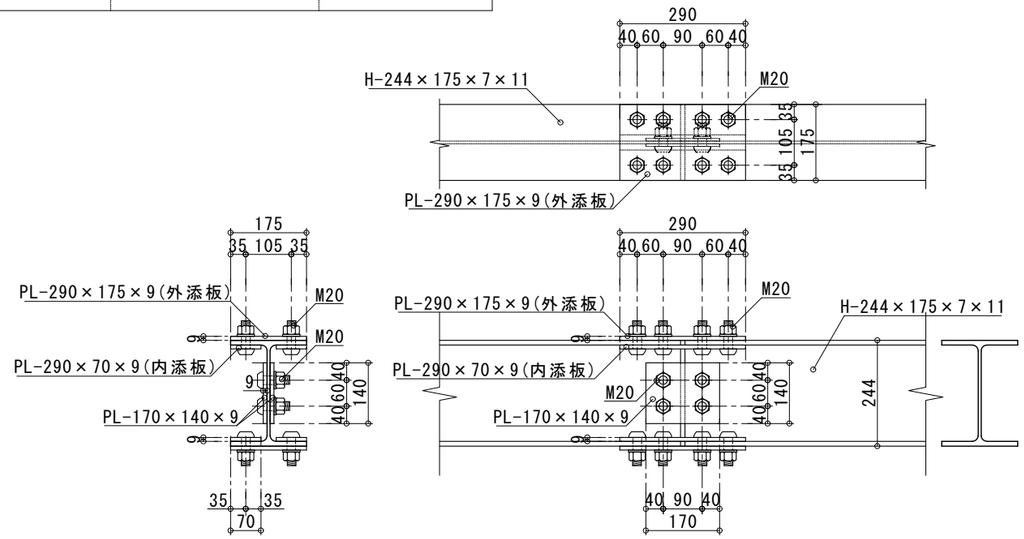


			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
						図面名称：鉄骨　部材リスト　SCALE N/S

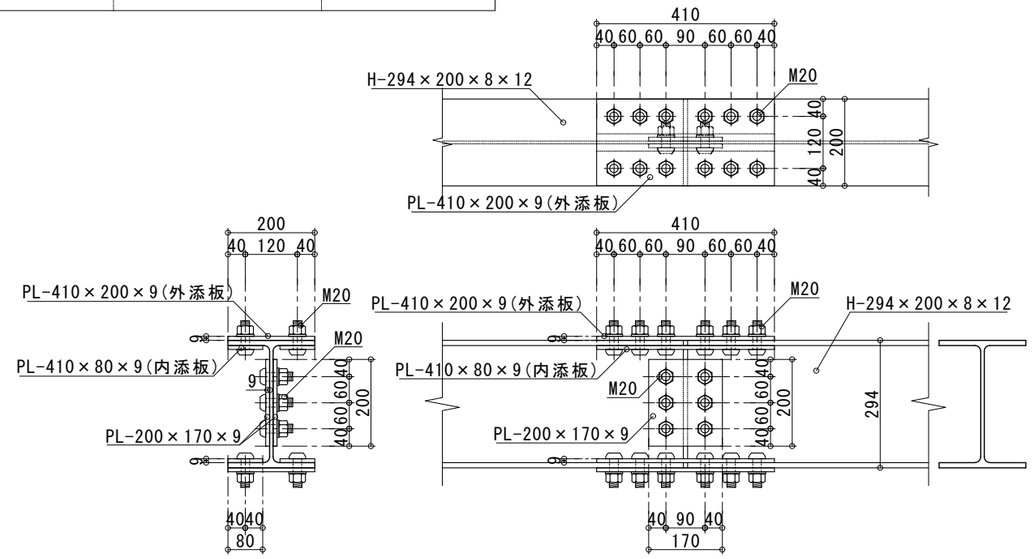
S-20

A2→A3縮小 71%

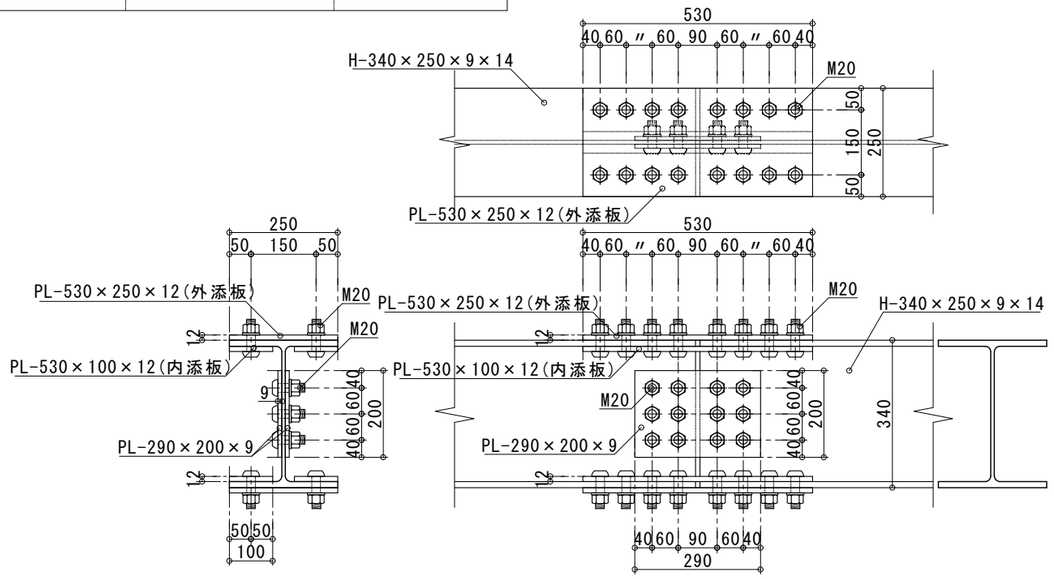
梁サイズ	H-244×175×7×11	
フランジ 外添板	PL-290×175×9（2枚）	ボルトM20（16本）
内添板	PL-290×70×9（4枚）	
ウェブ 添板	PL-170×140×9（2枚）	ボルトM20（4本）



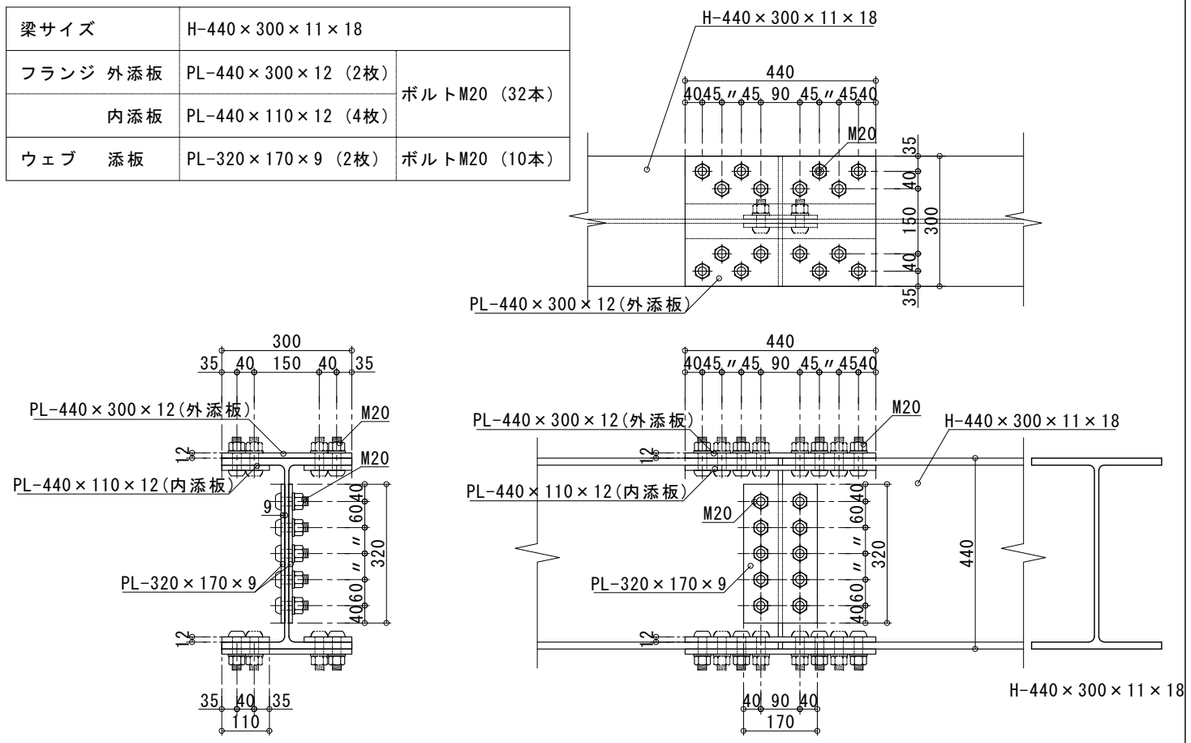
梁サイズ	H-294×200×8×12	
フランジ 外添板	PL-410×200×9（2枚）	ボルトM20（24本）
内添板	PL-410×80×9（4枚）	
ウェブ 添板	PL-200×170×9（2枚）	ボルトM20（6本）



梁サイズ	H-340×250×9×14	
フランジ 外添板	PL-530×250×12（2枚）	ボルトM20（32本）
内添板	PL-530×100×12（4枚）	
ウェブ 添板	PL-290×200×9（2枚）	ボルトM20（12本）



梁サイズ	H-440×300×11×18	
フランジ 外添板	PL-440×300×12（2枚）	ボルトM20（32本）
内添板	PL-440×110×12（4枚）	
ウェブ 添板	PL-320×170×9（2枚）	ボルトM20（10本）



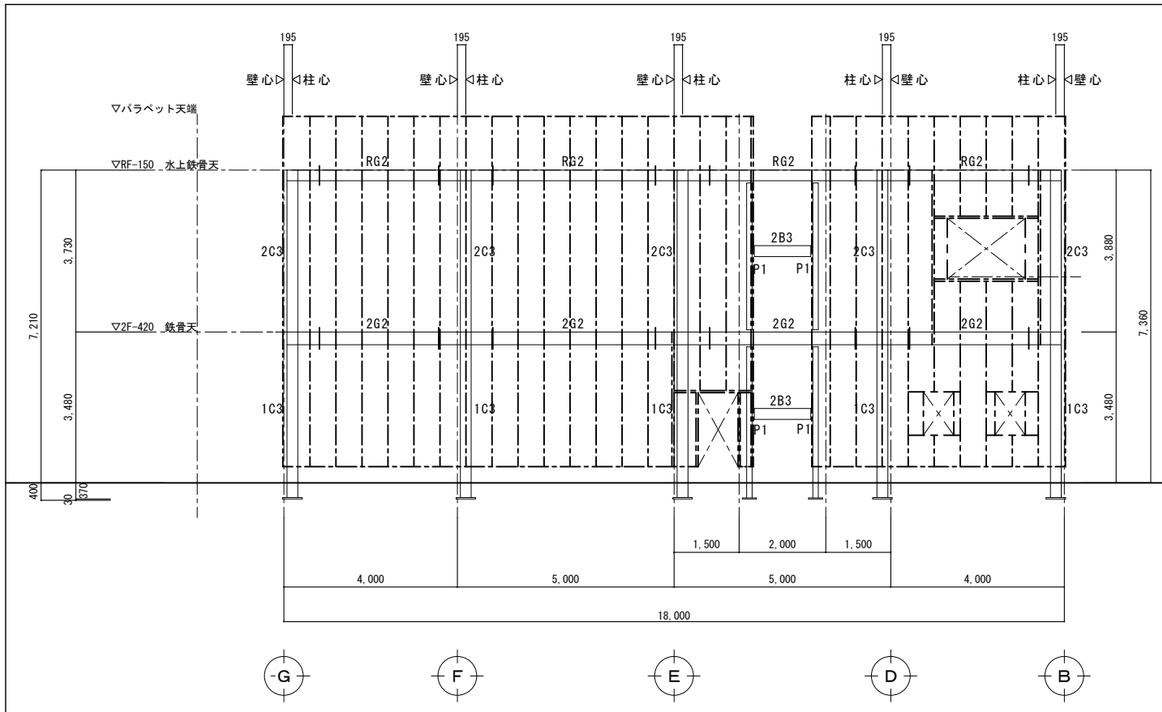
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

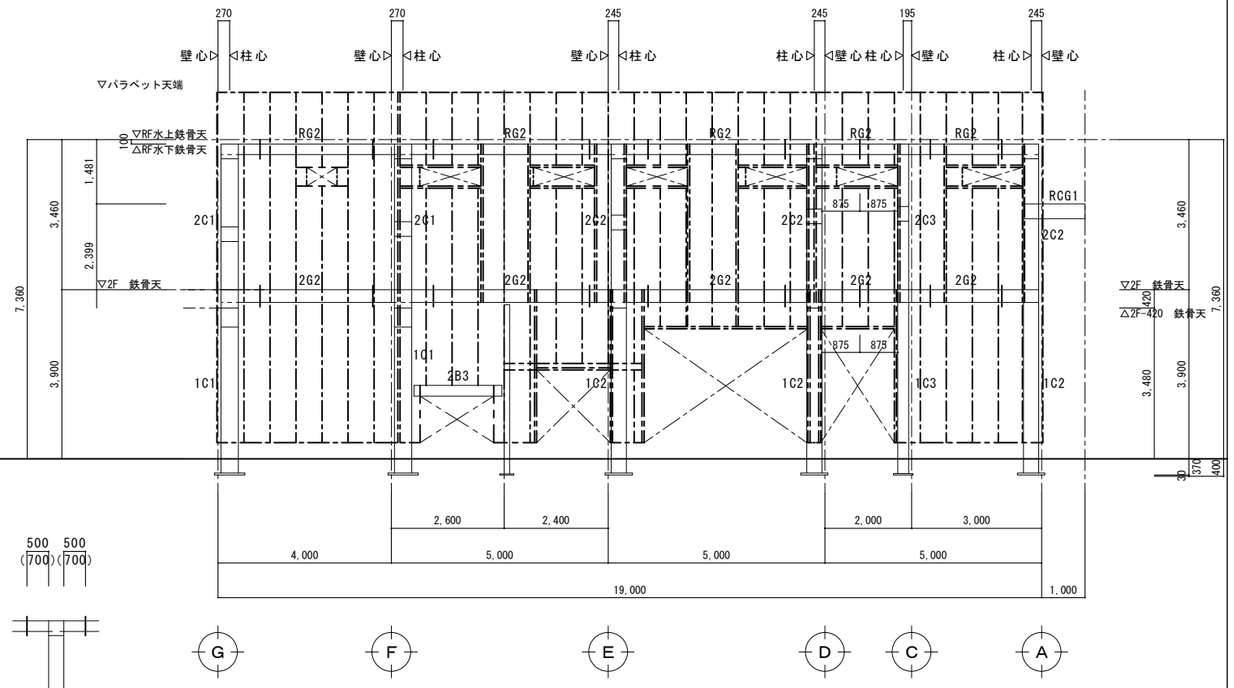
図面名称：鉄骨構造梁継手標準図　SCALE 1/10

S-21

A2→A3縮小 71%



1通り　軸組図　S:1/100

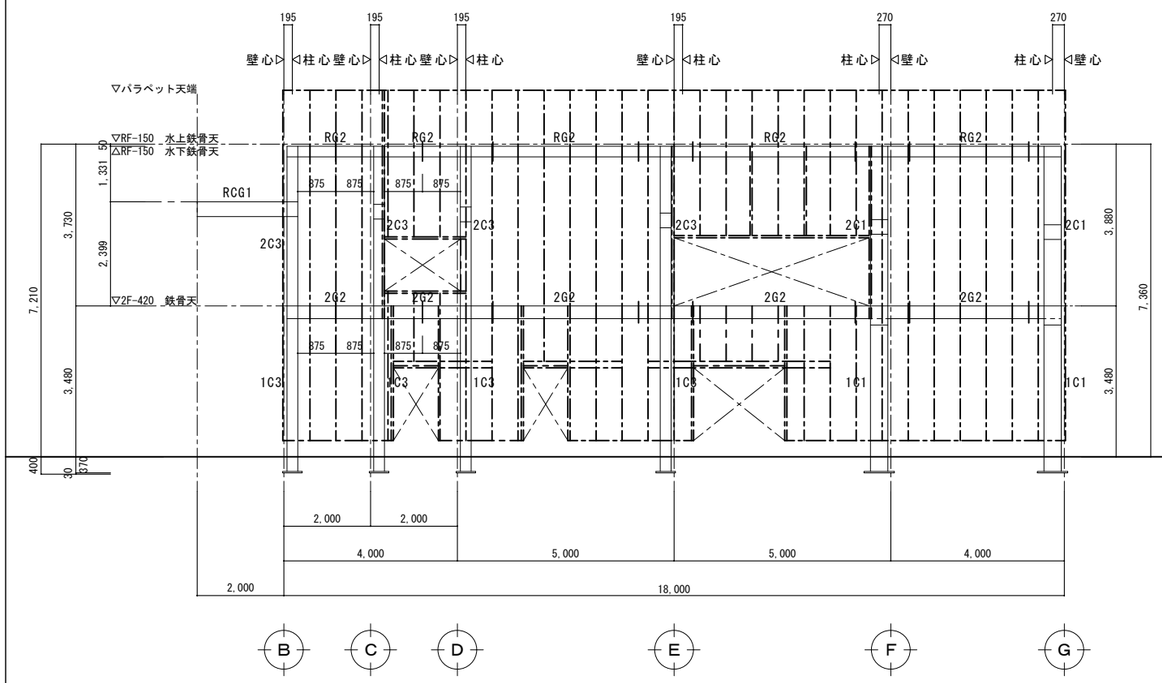


3通り　軸組図　S:1/100

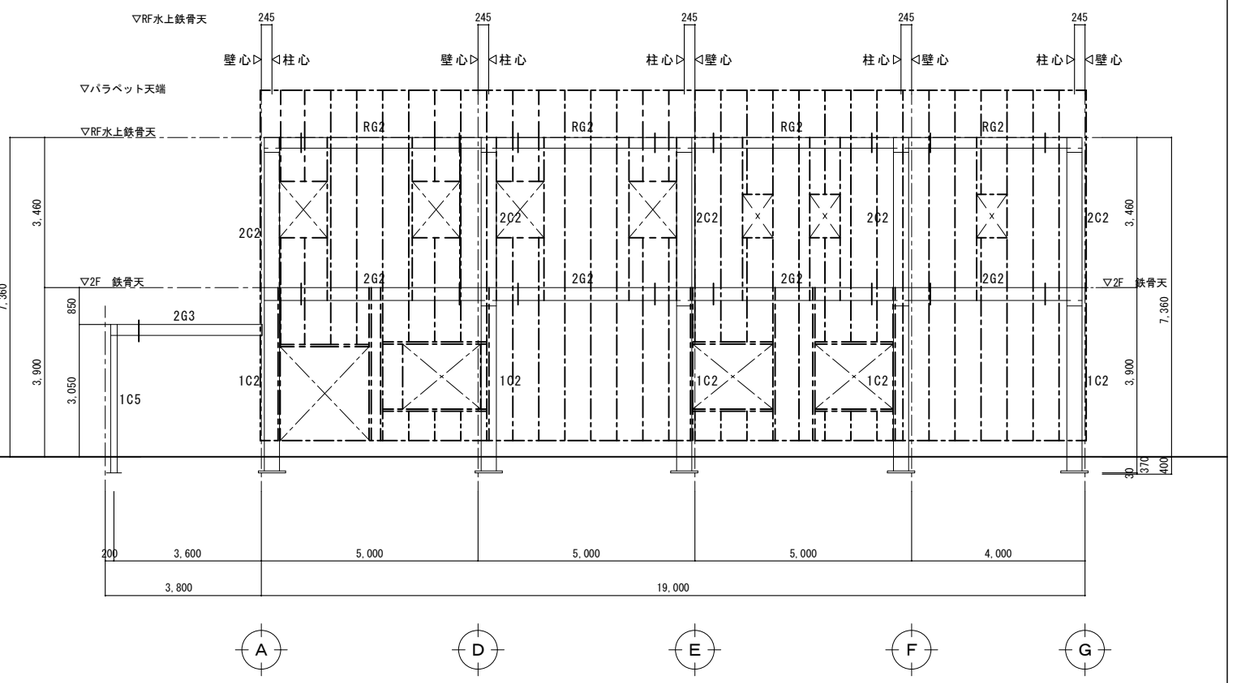
接合位置ヲ示す

※（　）内寸法は10m及び11mスパンを示す

※ ---- タテ胴縁　C-100×50×20×2.3　@600（以降共通）



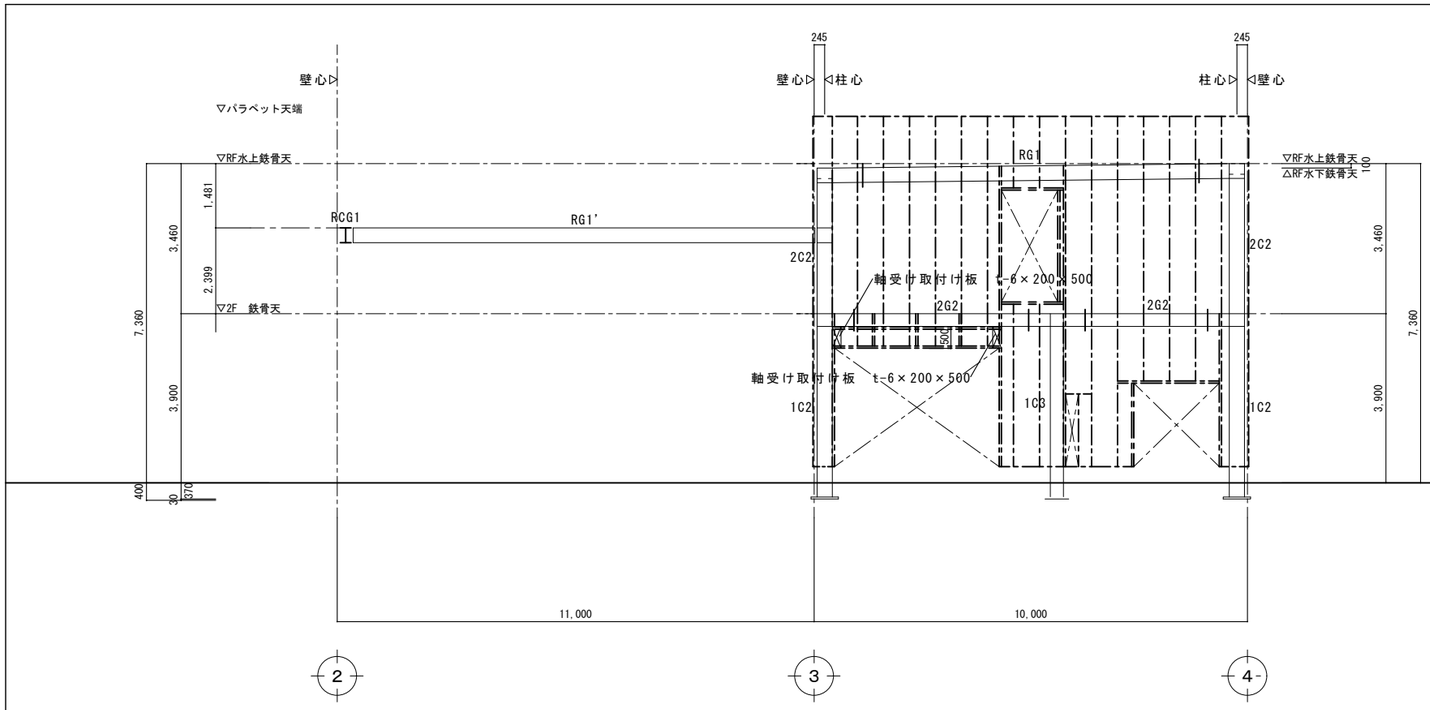
2通り　軸組図　S:1/100



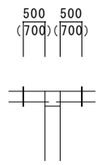
4通り　軸組図　S:1/100

		承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-22
					図面名称：軸組図1　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%

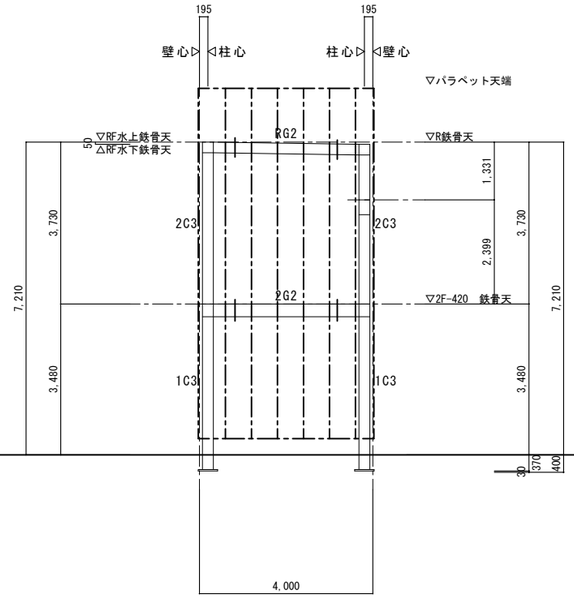


A通り 軸組図 S:1/100

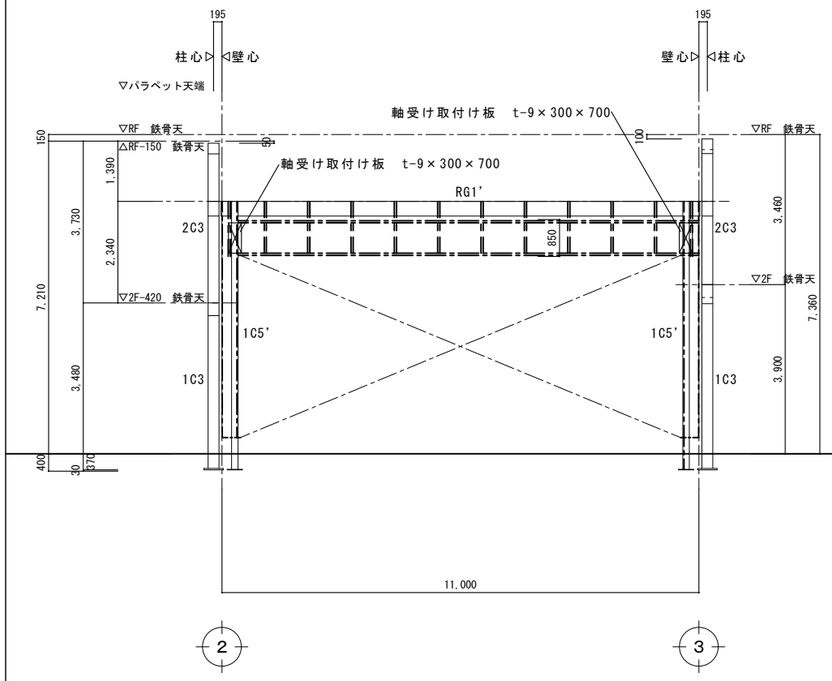


接合位置ヲ示す

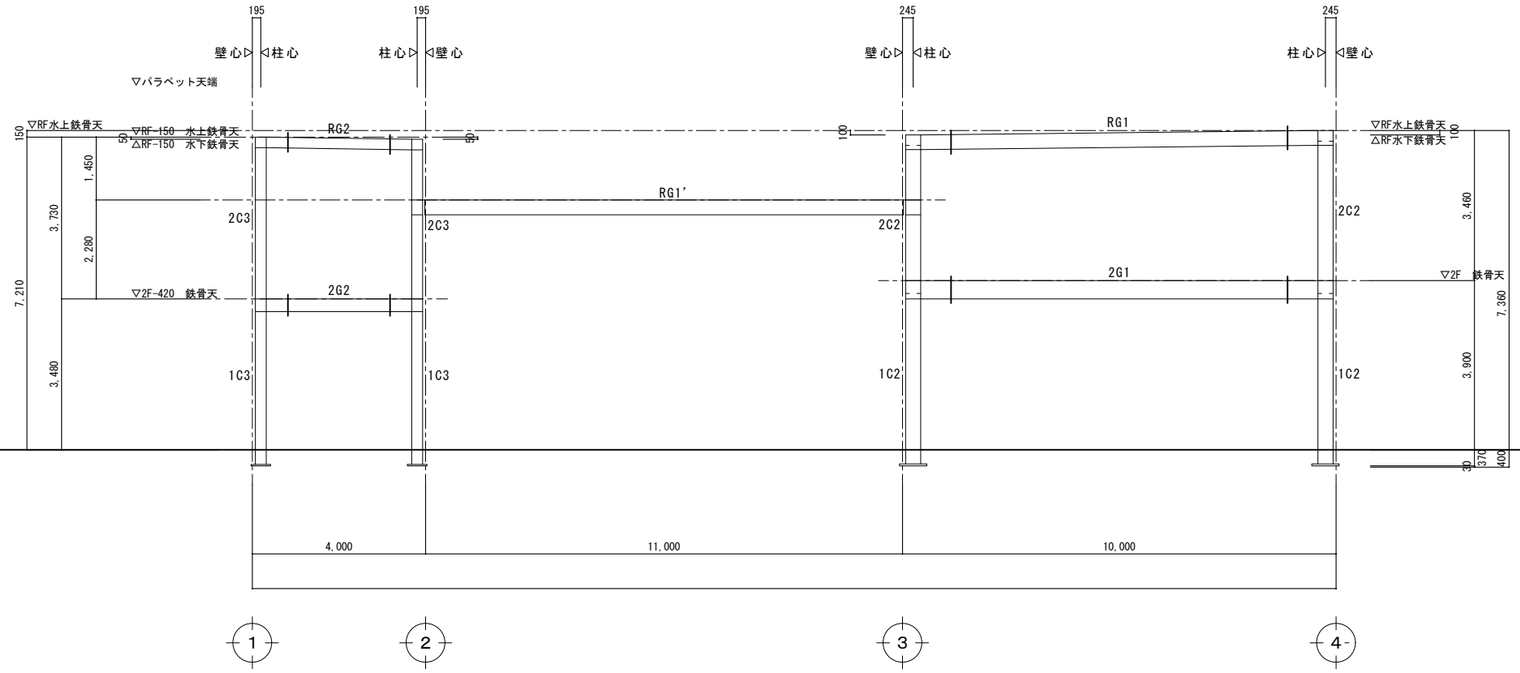
※（ ）内寸法は10m及び11mスパンを示す



B通り 軸組図 S:1/100



C通り 軸組図 S:1/100



D通り 軸組図 S:1/100

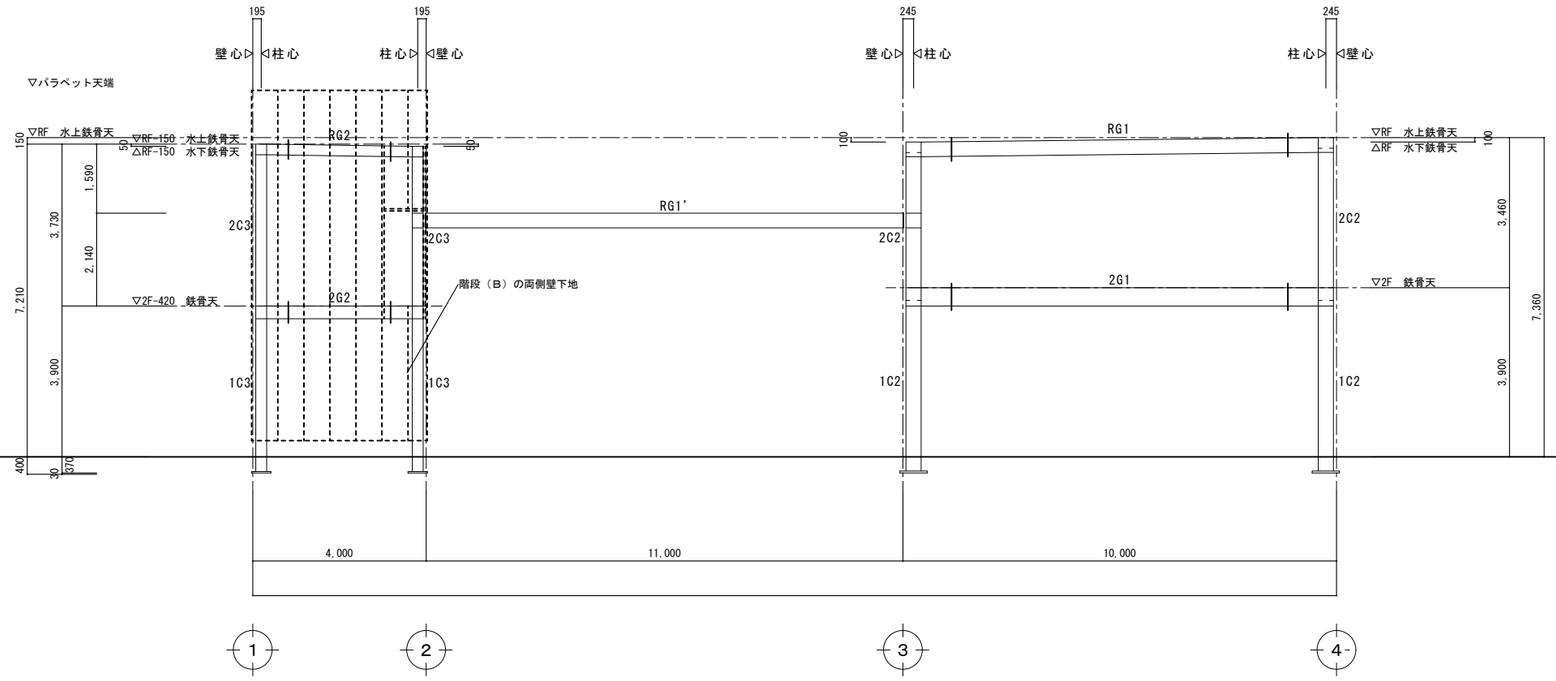
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

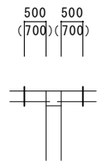
図面名称：軸組図２　SCALE 1/100

S-23

A2→A3縮小 71%

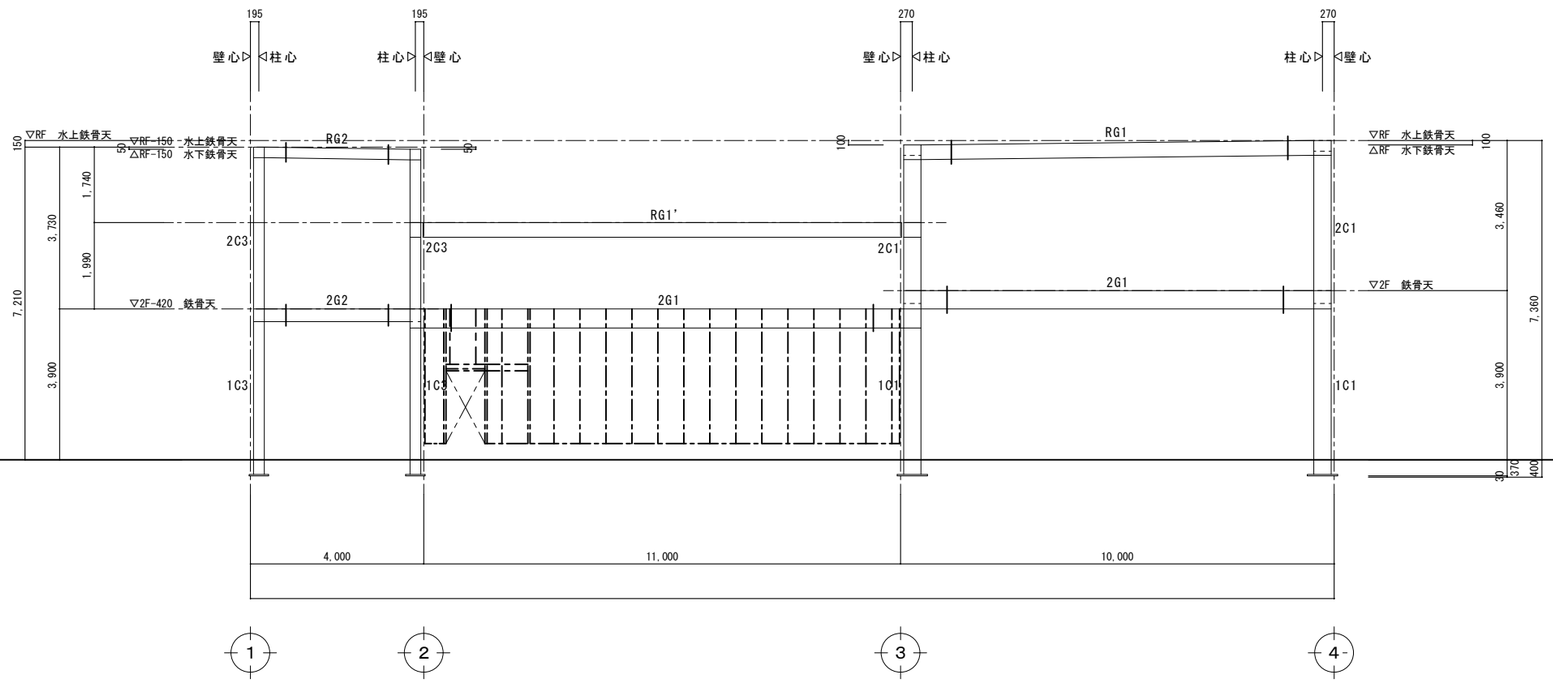


E通り　軸組図　S:1/100



接合位置ヲ示す

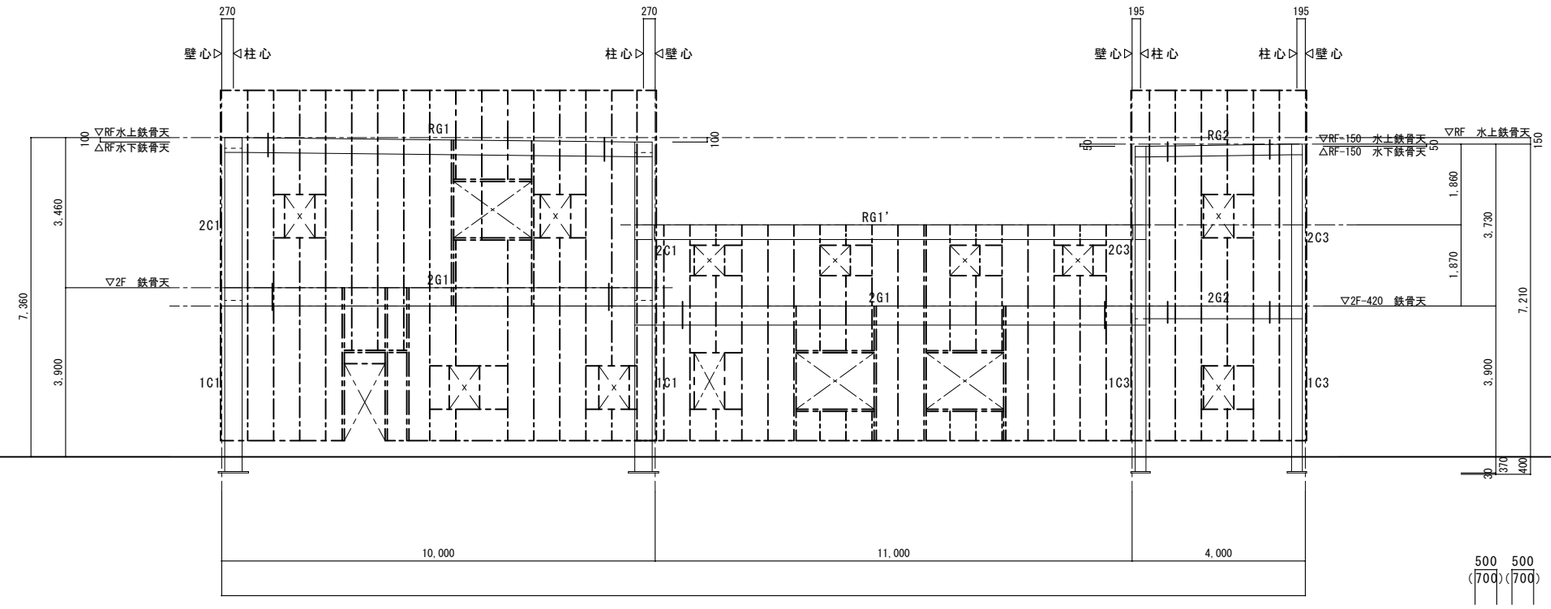
※（　）内寸法は10m及び11mスパンを示す



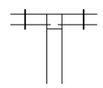
F通り　軸組図　S:1/100

			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-24
						図面名称：軸組図３　SCALE 1/100	

A2→A3縮小 71%

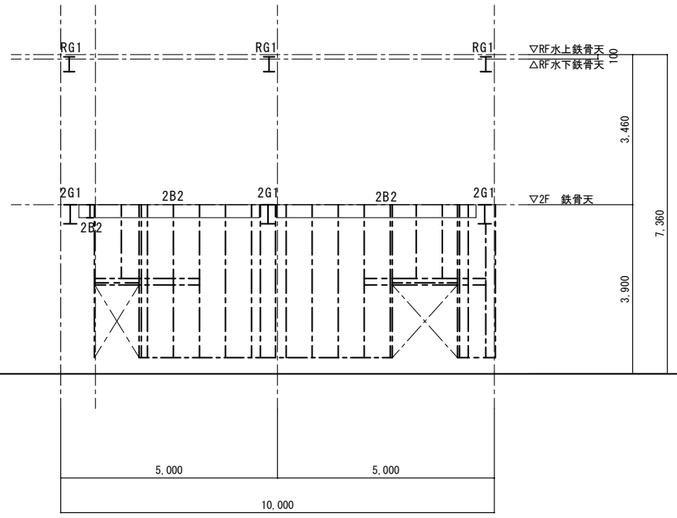


G通り 軸組図 S:1/100

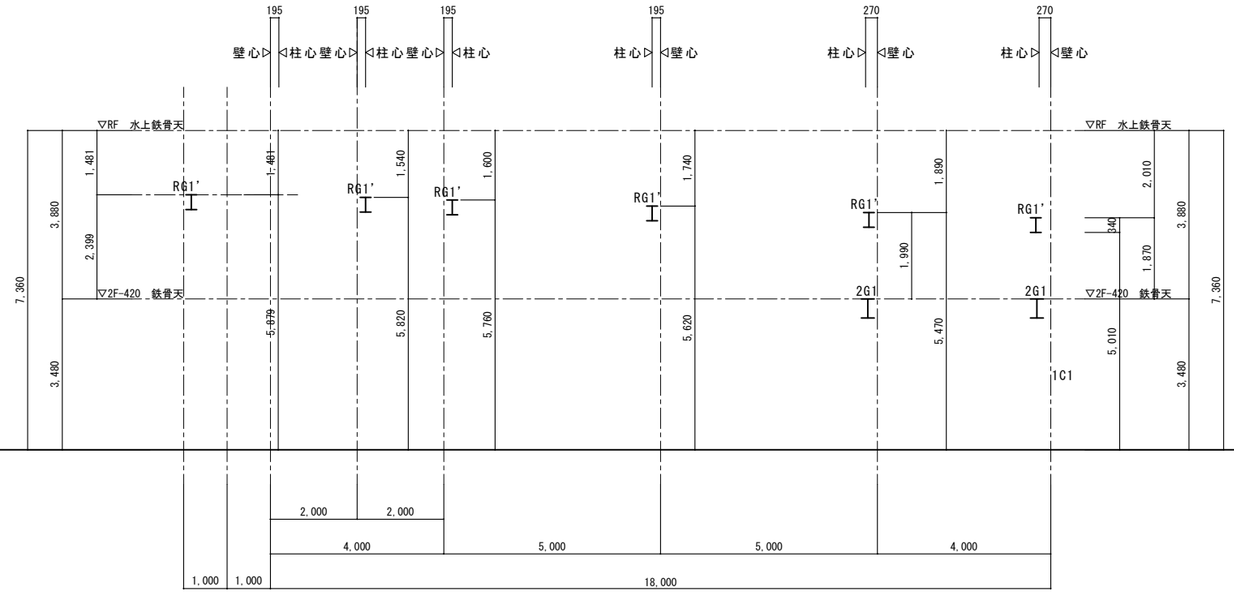


接合位置ヲ示す

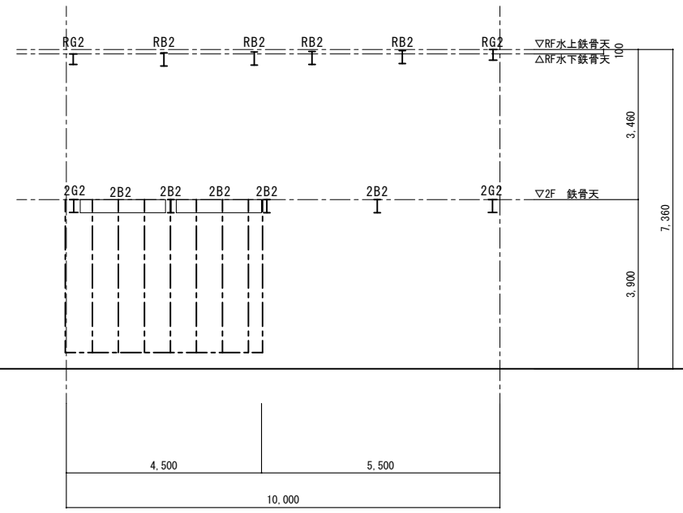
※（ ）内寸法は10m及び11mスパンを示す



3通り～4通りへ4500 軸組図 S:1/100



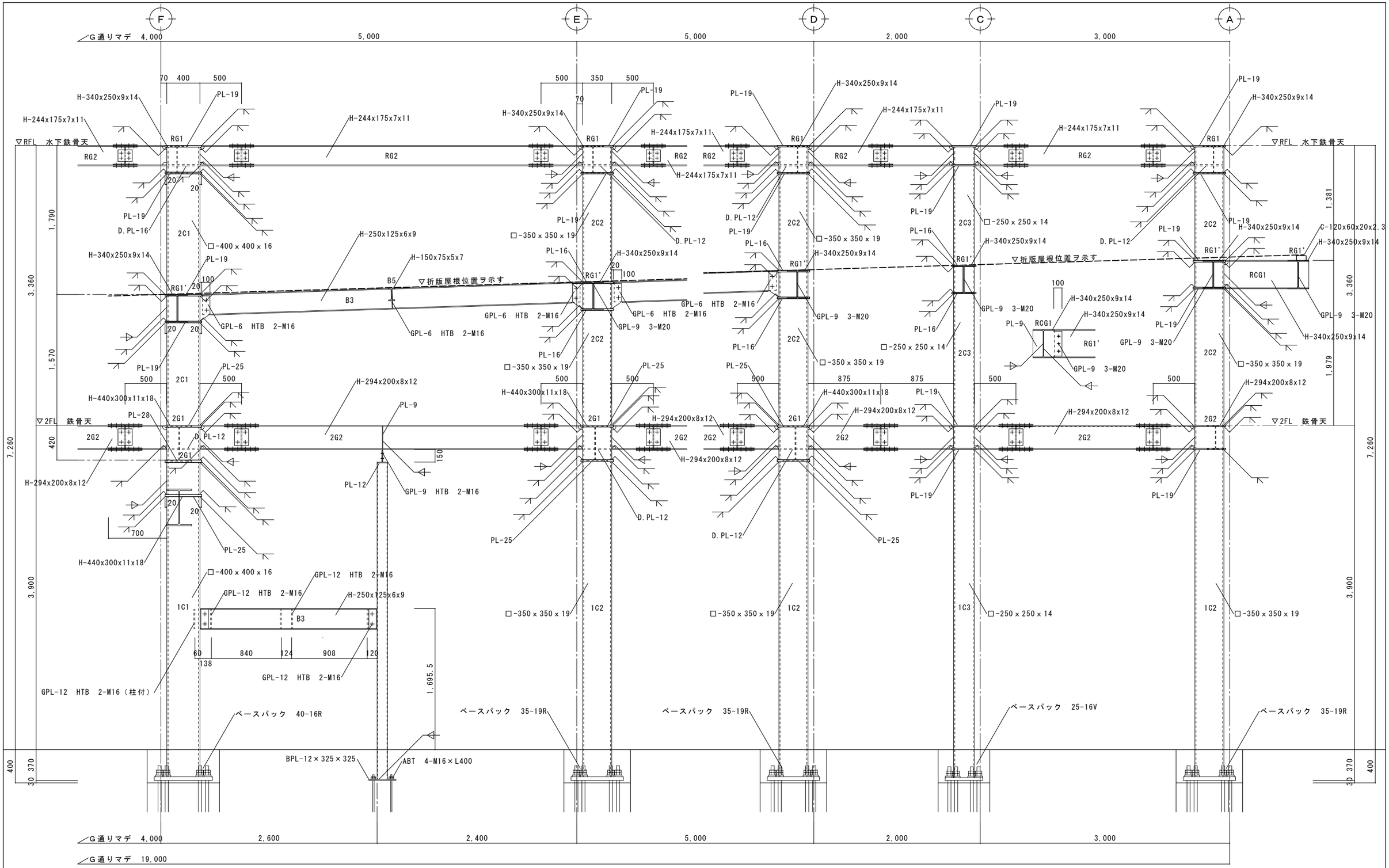
2～3通り間 軸組図 S:1/100



D通り～E通りへ4200 軸組図 S:1/100

			承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-25
						図面名称：軸組図4 SCALE 1/100	

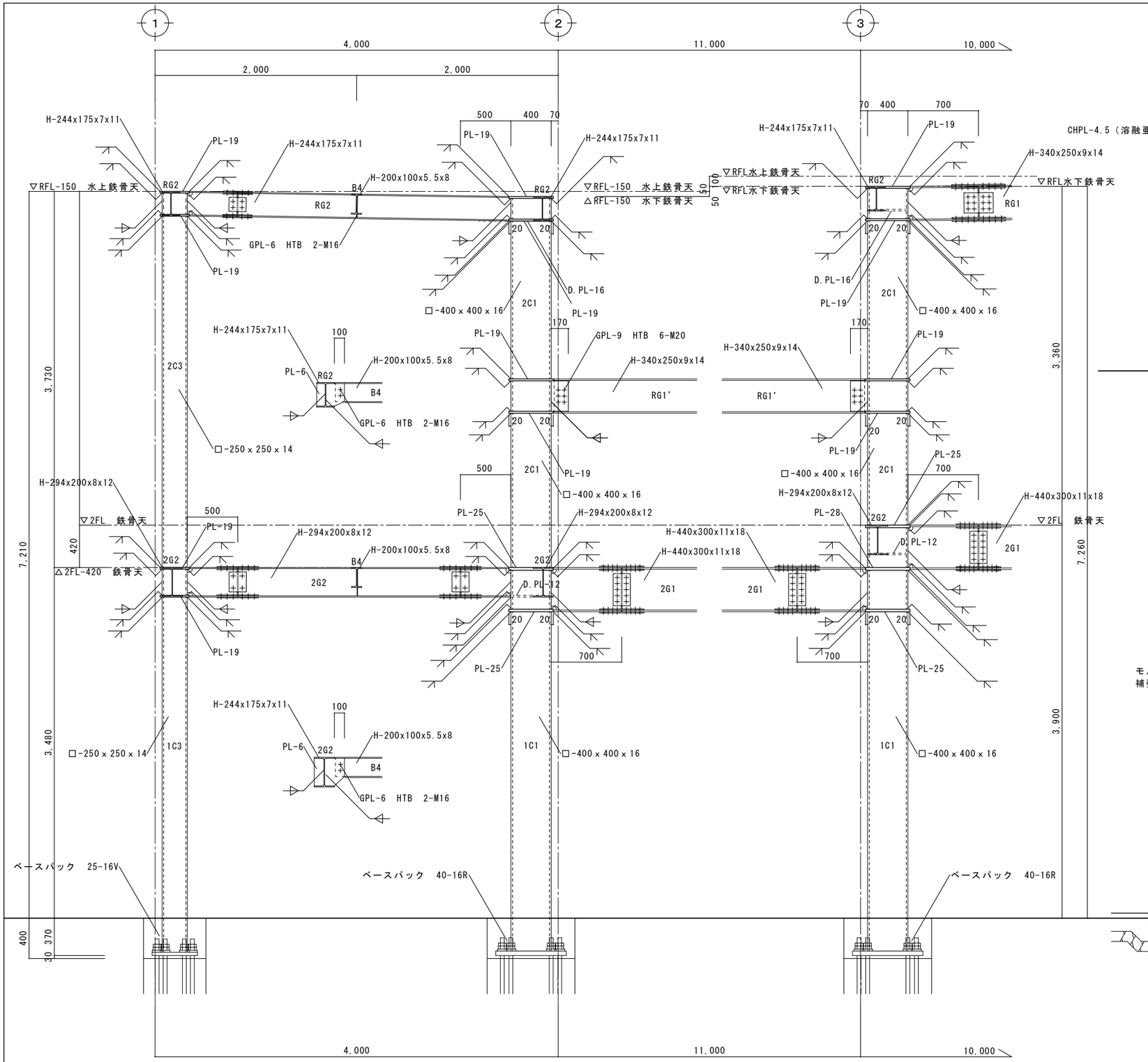
A2→A3縮小 71%



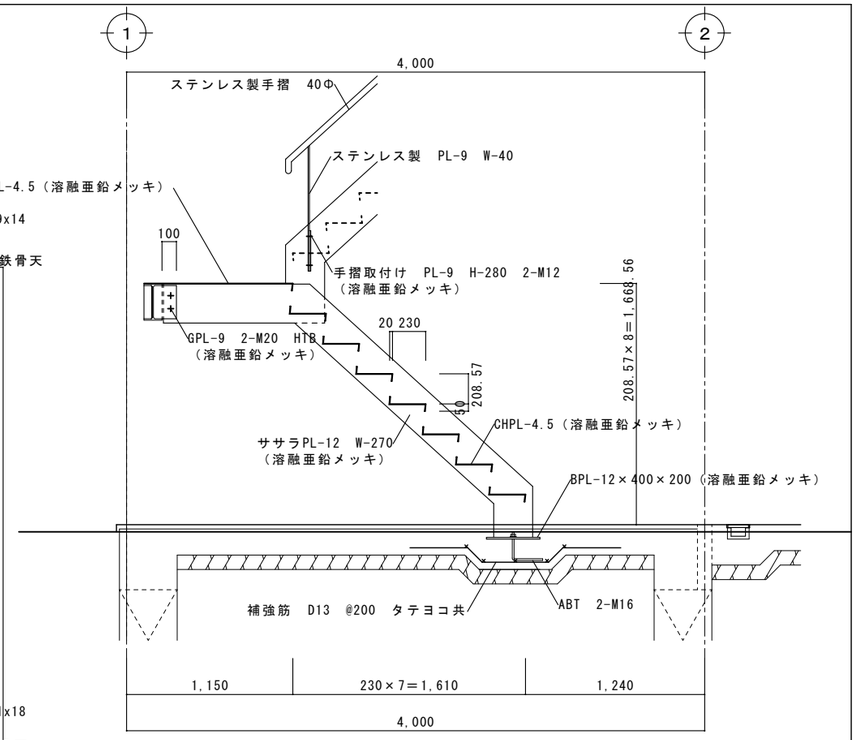
３通り　鉄骨詳細図１　S:1/30

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-26
							図面名称：鉄骨詳細図１　SCALE 1/30	

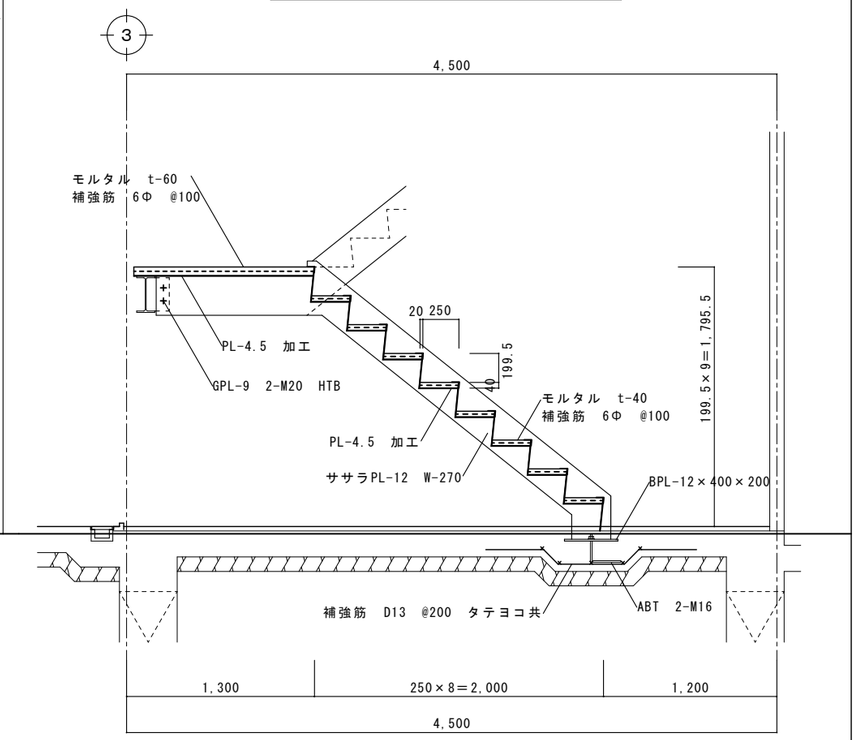
A2→A3縮小 71%



F通り 鉄骨詳細図1 S:1/30



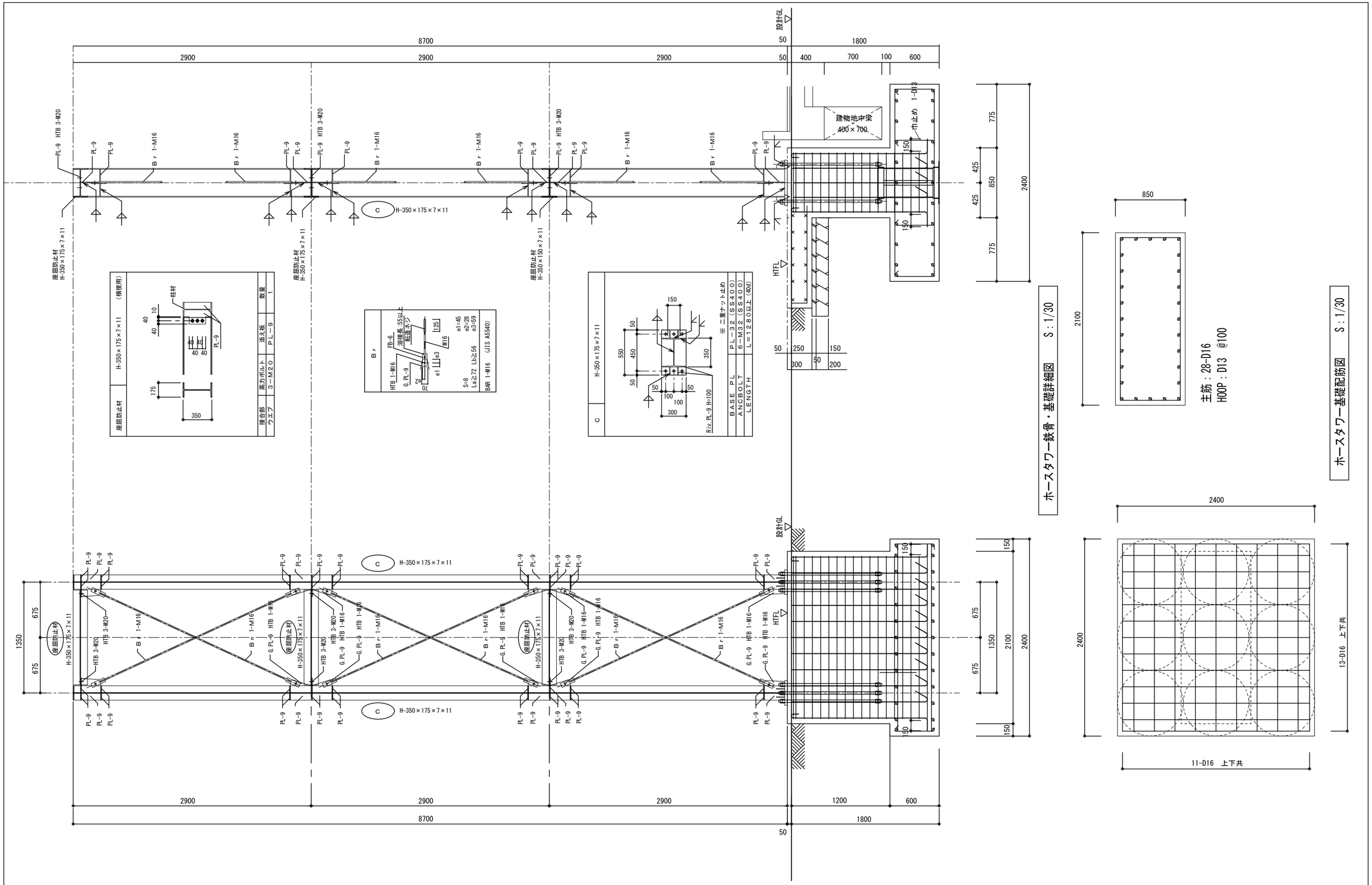
階段（B）鉄骨詳細図 S:1/30



階段（A）鉄骨詳細図 S:1/30

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-27
							図面名称：鉄骨詳細図2 SCALE 1/30	

A2→A3縮小 71%



				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	S-28
							図面名称：ホースタワー鉄骨・基礎詳細図 SCALE 1/30	

A2→A3縮小 71%

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　伊勢市消防署玉城出張所新築工事（電気設備）

２．工事場所　度会郡玉城町佐田地内

３．建物概要　庁舎　S造　２階建

延べ面積761.95㎡　用途区分（15）項

用途区分は消防法施行令別表第一による表記

４．工事種目

下記において●印を付した工事を対象とする。

● 電力設備　・受変電設備　・電力貯蔵設備　● 発電設備
● 通信・情報設備　・中央監視制御設備　・医療関係設備
● 構内配電線路　・構内通信線路　・その他

Ⅱ．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

・三重県公共工事共通仕様書（令和元年７月改定版）
・三重県建設工事実務必携（平成30年12月10日版）
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編　各平成31年版）
「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編　各平成31年版)
「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編　各平成31年版）
・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）
・電気工事業の業務の適正化に関する法律
・電気工事士法
・労働安全衛生法
・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）
・電力会社供給約款
・その他関連法令、関連諸基準

Ⅲ．特記仕様

１．一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

１．一般事項

（1）工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。

（2）設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。

なお、設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。

（3）他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

２．技術検査

中間技術検査　実施回数（＊）回　実施する段階（＊＊＊＊　　）

３．火災保険等

三重県建設工事請負契約書第52条第１項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。

①　保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
②　保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
③　保険金額　原則として請負金額に相当する金額

４．足場

●別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。
・本工事で設置する。

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第１編第２章2.2.2より足場の種別は以下による。

・内部足場（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種　・Ｇ種）
・外部足場（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種）

５．三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

６．電気工作物の種類

● 一般電気工作物　・自家用電気工作物

７．電気工事士

電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が５００kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

８．電気工事業の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

９．電気保安技術者

電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。

なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。

10．品質計画

品質計画については、監督員の承諾を受けること

11．測定機器の校正等

試験に使用する計測器類は２年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。

また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。

12．施工計画等

受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。

なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。

①　総合施工計画書
包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。
②　工種別施工計画書（施工要領書）
各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。
③　施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）
主要機器、重量機器、３kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。
④　耐震計算書、幹線計算書等
⑤　照度分布図、センサ動作範囲図など

13．機材等

工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。

①　使用機材届出書
②　機器明細図
使用機材届出書に記載のものの他、監督員の指示による。
③　各種計算書
設計図書による他、監督員の指示による。
④　機材の品質・性能証明
機器及び材料等の選定にあたっては後述の「電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト」、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」又はこれらと同等以上のものとする。

なお、設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）による場合は評価書の写し）を監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。

建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。

三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。

（認定製品の品名：　　）

下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。

（認定製品の品名：間伐材製工事用バリケード・看板・標示板・　　）

14．工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

15．施工条件

監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。

（1）施工可能日
● 指定なし
・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）
・指定あり
指定日（・施設休業日　・打ち合わせ　・その他（　　））

（2）施工可能時間帯
● 指定なし
・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）
・指定あり
指定時間（・(　)時～(　)時　・打ち合わせ　・その他（　　））

（3）概成工期
・適用する（工事期日より(　)日前）　・適用しない

（4）その他
（　　）

16．埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

・発掘調査等の実施あり　●発見された場合、発掘調査等の実施あり

17．部分引渡し等

部分引渡し等がある場合は協力すること。

・部分引渡しあり　・部分使用あり
該当部分（　　）　時期（　　）

18．事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。

なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

19．建設副産物

（1）請負額１億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。

なお、計画書及び実施書の提出とともにＪＡＣＩＣが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。

（2）請負額１億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。

20．発生材の処理等

（1）引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。
（　　）

（2）特別管理産業廃棄物
・変圧器　・コンデンサ　・その他（　　）
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。
なお、施工に際してＰＣＢ等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。

（3）現場内において再利用を図るもの
・発生土　・その他（　　）

（4）再資源化を図るもの
・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材

（5）水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの
・蛍光ランプ　・ＨＩＤランプ（高輝度放電ランプ）　・その他（　　）
「水銀廃棄物ガイドライン」（平成29年6月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に基づき適切に　処理すること。

（6）発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。
また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。

（7）引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。

21．電子納品

（1）工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。

（2）工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。

22．官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。

なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

・消防設備関係　・電気工作物関係　● 受電関係　・通信関係　・建設工事関係
・その他（　　）

23．消防法関係の手続き

（1）消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・本工事　（・建築工事　・電気設備工事　・機械設備工事）　・別途工事

（2）防火対象物使用開始届出書
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

24．工事用仮設物

構内への設置　●できる（施設管理者と協議）　・できない

25．工事用電力、水、その他

（1）本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。

（2）本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後，引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

26．工事中等の保安監理

電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

27．搬入計画

大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

28．製品確認

発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

29．機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

30．完成確認及び完成検査時等の電源確保

機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

31．完成時の操作説明

総合盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

32．不正軽油の使用の禁止

（1）県工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

（2）受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

（3）受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33．下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用

（1）本工事における下請の次数は、２次（建築一式工事は３次）までとする。

なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

（2）本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。

なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

34．不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１４号）を受けた場合の措置について

（1）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１２号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

（2）（1）により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

（3）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

35．主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

（1）現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。

（2）検査終了後の期間

工事完成後検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

36．社会保険等未加入対策

（1）適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。

（2）受注者は、施工体制台帳・再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

37．現場での安全確保（自主施工の原則）

（1）受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

（2）設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

２．施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

１．既設設備等の調査

既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。

（1）地中埋設管路
１）項　目　・埋設配管　・構造物　・その他（　　）
２）調査範囲　・埋設ルート　・その他（　　）

（2）貫通及びはつり
１）項　目　・鉄筋　・配管　・その他（　　）
２）調査範囲　・施工部分　・その他（　　）

（3）既設との取合い
１）項　目　・接続箇所　・増設箇所　・その他（　　）
２）調査範囲　・施工部分　・その他（　　）

２．施工前の測定等

改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。

３．耐震施工

（1）想定される地震に対応するものとする。

（2）耐震計算書を監督員に提出するものとする。

４．耐震基準

耐震措置の計算及び施工方法は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準　平成２５年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）及び「建築設備耐震設計・施工指針　２０１４年版」（(一財)日本建築センター）を適用する。

５．はつり

（1）穴開け及び補修　・なし　・あり　(貫通場所及び口径は別図による)
（2）溝はつり及び補修　・なし　・あり　(はつり深さは別図による)

６．あと施工アンカー

性能確認試験及び施工確認試験　・行う　●行わない

７．基礎の配線ピット

基礎に配線ピットを設ける場合、ピットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。

８．配管・配線の耐震処置

建物引込部の配管の耐震処置　・行う　・行わない
建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置　・行う　・行わない

９．最上階の埋込配管

最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。

10．露出配管

（1）雨線外など水気のある場所に施設する場合は、Ｕ字配管を行わない。

（2）附属品は、ねじ込み形を使用する。

（3）壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分（２ｍ以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。

（4）通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則２．１ｍ以上とする。

（5）監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。

11．合成樹脂管

（1）合成樹脂管の管端には、ブッシングを取り付ける。

（2）原則として屋外の露出には使用しない。（ＰＦ管）

12．予備配管等

（1）埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が４回路以下は（ＰＦ２２）を１本、５回路以上は（ＰＦ２２）を２本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下２００㎜まで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。

（2）防犯主装置、自動火災報知受信機、ＭＤＦ、警報盤等の間に移報のための空配管を行う。

			承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-01
						図面名称：電気設備特記仕様書1　SCALE　NONE	

A2→A3縮小 71%

13. 金属製電線管等の塗装
（1）露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。
1）屋外、屋内（電気室、機械室、ＥＰＳ、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。
2）図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。
3）湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。）
4）仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。
（2）塗装はエッチングプライマー１種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント２回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。

14. 導入線
通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線（φ１．２mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ１m以下の部分は省略することができる。

15. 予備スリーブ
梁下に配管・配線スペースがない梁には、１スパンに２本程度を予備スリーブとして埋込む。
なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。

16. ボックス類
位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。

17. 軽量間仕切のボックス
軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。

18. プルボックス
（1）屋外形、特殊な形状又は一辺が８００mm以上のものは、製作図を提出すること。
（2）屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。

19. ボルト・ナット類
屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの
・ステンレス　・溶融亜鉛メッキ仕上げ

20. 環境に配慮した電線類の採用
電線、ケーブル及び通信線はＥＭ（エコマテリアル）ケーブルを使用すること。

21. ケーブル及び配線
（1）表示
下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。
① ケーブルがスラブを貫通する部分
② ケーブル分岐部分
③ 変電所内のケーブル引出し部分
④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分
⑤ 屋内の直線部分は、３０mごと
⑥ プルボックス内
⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、５０mごと
⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分
⑨ マンホール及びハンドホールごと
（2）ケーブル余長
1）地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数
・２箇所　・４箇所　・（　　）箇所
2）架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数
・２箇所　・４箇所　・（　　）箇所

22. 配線器具の設置
（1）特殊コンセントはプラグ付とする。
（2）電源の種類により色を区別する。
（3）公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。
（4）配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁枠を使用する。
（5）プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。
（6）カバープレートは、原則として新金属製とする。
なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。
（7）フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。

23. 照明器具の設置
（1）照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。
（2）照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形ＡＡ級とする。
（3）天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。
（4）パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。

24. 照明改修の際の測定
対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。
測定箇所　（　　）　測定回数　前後各（　　）回

25. 分電盤、制御盤、キュービクル等
（1）図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。

26. 受変電設備、発電設備の設置場所
（1）保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。
（2）屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。
（3）屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。
なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。
（4）基礎の高さは周囲の状況を考慮する。
（5）電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。

27. 発電設備の燃料配管
（1）フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。
（2）配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。

28. 非常放送設備のスピーカ設置
（1）放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は１０m以内とする。
（2）階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離１５m以内とする。
（3）増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。

29. 土工事
（1）埋戻しの材料及び工法
・Ｂ種　（材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め）
・その他　（　　）
ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。
（2）特記なき地中埋設配管の深さは、ＧＬ―６００mm以上とする。
（3）根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。
（4）機械掘削は根切り底を乱さないようにする。

30. ハンドホール、マンホール
高さ９００mmを超えるものにあっては、タラップ付とする。
なお、タラップの取付は４５０mm間隔以内とする。

31. 地中配線路の表示杭
下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。
① 建物への引込口及び送出口付近
② マンホール・ハンドホール付近
③ 地中線路の曲折箇所
④ 道路横断箇所
⑤ 直線部分では３０m程度に１個（３０mに満たない部分はその間に１個）

３．機器仕様
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
なお、詳細については図面による。

【電力設備】

１．電灯設備	
（1）既設等との取り合い	・無し　・盤改造　・配線接続　・電源供給　●その他（発電機移設　）
（2）機器類	● 一般照明器具 ● 照明制御装置 ● 外灯（単独設置） ● コンセント等 ● 分電盤、制御盤等　・その他（　　）
（3）一般照明器具	1）形式　●公共型　●一般型 2）灯具　●ＬＥＤ灯　・その他（　　） 3）用途　●屋内用　●屋外用　・防災用 4）環境　●普通地域　・塩害地域 5）照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。
（4）照明制御器	1）センサ類　・明るさセンサ　●人感センサ　●タイマ　・調光スイッチ ・その他（　　） 2）調光方式　●連続調光　・段階調光　・ＯＮ／ＯＦＦ制御 ・その他（　　） 3）制御方式　●有線　・無線通信
（5）外灯（単独設置）	1）照明用ポール ①材質　・アルミニウム製　・鋼製　・溶融亜鉛メッキ ●その他（溶融亜鉛メッキ塗装仕上げ　） ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2）基礎　●本工事　・別途工事　・既設利用　・その他（　） 3）灯具　●ＬＥＤ灯　・その他（　　） 4）電源　●商用電源(60Hz)（・200V　●100V）　・その他（　） 5）制御　●ＥＥスイッチ　●タイマ　・その他（　　） 6）接地　●単独接地（●本工事　・別途工事　・既設利用）　・共用 ・その他（　　）
（6）コンセント等	● 一般型　● 防水型 ・ﾊﾟｲﾃﾝｼｮﾝｱｳﾄﾚｯﾄ　（・固定型　●上下動型(アップ式を含む)）
（7）分電盤、制御盤等	1）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5）絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6）配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
２．動力設備	
（1）既設との取り合い	●無し　・盤改造　・配線接続　・その他（　　）
（2）機器類	●分電盤、制御盤等　・その他（　　）
（3）負荷設備	・給水　・排水　・消火　・空調　● 換気　・排煙　・昇降機 ・その他（　　） 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。
（4）負荷設備への接続	
（5）電動機等の接地	●専用接地　・金属管接地（７．５ｋＷ以下）
（6）分電盤、制御盤等	1）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。 2）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5）絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6）配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7）電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。
３．雷保護設備	
（1）避雷針	1）受雷部　・突針　・棟上導体　・笠木等の別途施工物 2）避雷導線　・引下げ導線　・建築構造体利用 3）接地極　・接地極埋設　・建築構造体利用　・測定用補助接地極 4）接地抵抗の測定 ①測定方法　・電位差計方式　・電圧降下法 ②測定回数　・３回　・（　　）回 5）接地極埋設標を設置する。
（2）雷サージ保護	1）耐雷トランス　・設置（・単相用　・動力用）　・設置しない 2）ＳＰＤ　●低圧用（・クラスⅠ　・クラスⅡ） ・通信用（・カテゴリＣ２　・カテゴリＤ１） 3）ＳＰＤの性能仕様は別図による。
（3）電源回路保護	1）低圧用ＳＰＤに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2）主幹機器の２次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量５ｋＡ以上とする。
（4）通信回線保護	電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用ＳＰＤを設置する。
４．接地設備	
（1）接地工事	1）種別　●Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　●Ｄ種 2）施工　●各種単独　・共用有り（　　）
（2）接地抵抗測定	1）測定方法　●電位差計方式　・電圧降下法 2）測定回数　●３回　・（　　）回
（3）接地極埋設標	接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。

【受変電設備】

５．受変電設備	高圧以外の受変電設備については、本項によらず別図による。
（1）既設との取り合い	・無し　・改造（機器取替、追加等を含む）　・増設　・配線接続 ・その他（　　）
（2）機器類	・盤類　・交流遮断器　・断路器　・避雷器　・負荷開閉器　・変圧器 ・進相コンデンサ　・直列リアクトル　・配線用遮断器　・電磁接触器 ・その他（　　）
（3）盤類	1）形式　・キュービクル式配電盤（JIS C 4620） ・高圧スイッチギア（JEM 1425）（・CX　・CW　・PW　・MW） ・開放形配電盤　・その他（　　） 2）中通路　・有　・無 3）特記事項　（　　）
（4）交流遮断器	真空遮断器（ＶＣＢ） ①操作方式　・手動ばね操作　・電動ばね操作　・電磁操作 ②引外し方式　・電流引外し　・コンデンサ引外し　・直流電圧引外し
（5）断路器	1）形式　・３極単投　・単極単投（避雷器用に限る） 2）操作方式　・遠方手動操作　・フック棒操作（避雷器用に限る）
（6）負荷開閉器	1）形式　・配電盤用　・引込柱用　・地中引込用 2）配電盤用　①操作方式　・フック棒操作　・遠方手動操作　・電動操作 ②限流ヒューズ　・有（ストライカ付き）　・無 ③引外し装置　・ストライカ引外し　・電圧引外し　・無 3）引込柱用　①本体及び制御箱の材質　・ステンレス製　・鋼製 ②保護装置　過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器　・内蔵　・無 4）地中引込用　保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
（7）変圧器	1）形式　・油入　・モールド 2）設置方式　・屋外型　・屋内型 3）ダイヤル温度計　・有（・最大値指針 有　・最大値指針 無 ）　・無 油入５００ｋＶＡ以上、モールド１５０ｋＶＡ以上の場合は必須とする
（8）進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ	1）絶縁方式　・油入　・モールド　・ガス入 2）その他　①内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ②放電装置を附属又は内蔵すること
（9）直列ﾘｱｸﾄﾙ（進相ｺﾝﾃﾞﾝｻ用）	1）絶縁方式　・油入　・モールド 2）容量　・６%　・１３%
（10）キュービクル等	3）その他　内部異常を検知して動作する警報接点を設けること 1）銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2）図面ホルダーは、Ａ４サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3）表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4）接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5）絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
（11）基礎	・本工事（・２１N/mm2　・１８N/mm2）　・別途工事　・既設利用 ・その他（　　）
（12）配線ピット及び蓋	1）施工　・本工事　・別途工事　・既設利用　・その他（　　） 2）ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。
（13）設置場所	・屋内　・屋外（・地上　・屋上）

【電力貯蔵設備】

６．直流電源設備	
（1）用途	・非常用照明器具電源　・受電変設備制御電源　・その他（　　）
（2）容量	（　　）ｋＶＡ
（3）整流装置	1）出力電圧　直流（・１２Ｖ　・２４Ｖ　・４８Ｖ　・（　　）Ｖ） 2）整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。
（4）蓄電池	1）種類　・鉛蓄電池（・ＨＳ　・ＭＳＥ　・長寿命形ＭＳＥ） ・アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ） ・その他（　　） 2）最低蓄電池温度　・５℃　・15℃　・25℃　・-5℃　・（　　）℃
７．交流無停電電源設備	
（1）用途	（　　）
（2）容量	（　　）ｋＶＡ
（3）給電方式	・常時インバータ給電方式　・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式　・その他（　　）
（4）整流装置等	整流装置、インバーター装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。
（5）蓄電池	1）種類　・鉛蓄電池（・ＨＳ　・ＭＳＥ　・長寿命形ＭＳＥ） ・アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ） ・その他（　　） 2）最低蓄電池温度　・５℃　・15℃　・25℃　・-5℃　・（　　）℃
（6）性能	停電補償時間　（　　）
８．電力平準化用蓄電設備	・仕様詳細は別図による。
９．分散電源エネルギーマネジメントシステム	・仕様詳細は別図による。

【発電設備】

10．燃料式発電設備	
（1）用途	1）用途　・防災電源専用（防災認定品）　● 防災電源兼用（防災認定品） ・一般用 2）区分　・常用　●非常用
（2）設置場所	・屋内　●屋外（●普通地域　・塩害地域）
（3）機器	・発電装置　●燃料槽　・給油ボックス　・燃料移送ポンプ ●その他（移設品を設置　　）
（4）発電装置	1）種類　●ディーゼル発電装置　・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2）形式　・簡易形　・オープン式 ●キュービクル式（・85dB(A)/1m　・75dB(A)/1m） 3）始動時間（停電検出後）　・１０秒以内　・４０秒以内 ・（　　）秒以内 4）連続運転時間　・２時間以上　・１０時間以上　・２４時間以上 ・７２時間以上　・その他（　　） 5）発電機 ①電気方式　・三相３線式（・６．６ｋＶ　・２００Ｖ　・（　　）Ｖ） ●単相３線式（２００／１００Ｖ） ・単相２線式（・２００Ｖ　・１００Ｖ　・（　　）Ｖ） ②定格周波数　６０Ｈｚ ③定格出力　（　１５　）ｋＶＡ 6）原動機 ①定格出力　・（　　）ｋＷ 以上　・（　　）ｐｓ 以上 ②冷却方式　● ラジエータ方式　・その他（　　）
（5）燃料	1）種類　● 軽油　・灯油　・Ａ重油　・その他（　　） 2）引渡時燃料　● 満タン　・指定なし　・その他（　　）
（6）燃料槽	1）形式及び容量　●パッケージ搭載タンク（　　）リットル ・燃料小出槽（　　）リットル ・主燃料槽（　　）リットル 2）燃料小出槽　・屋外型（・ステンレス製　・鋼製） ・屋内型（・ステンレス製　・鋼製） 3）主燃料槽 ①設置場所　・屋内　・屋外(地上) ・地下埋設（・タンク室内埋設　・直埋設） ②形式　・二重殻タンク　・一重殻タンク ・その他（　　） ③設置工事　・本工事　・別途工事　・その他（　　） ④タンク室工事　・本工事　・別途工事　・既設利用　・その他（　　）
（7）給油ボックス	1）材質　・ステンレス製　・鋼製　・その他（　　） 2）油量指示計　・有　・無
（8）燃料移送ポンプ	1）電動ポンプ　・歯車ポンプ　・油中ポンプ 2）手動ポンプ（ウイングポンプ）　・有　・無 3）電動ポンプ水没防止カバー　・有　・無
（9）基礎	・本工事（・２１N/mm2　・１８N/mm2）　・別途工事　・既設利用 ●その他（建築工事　）
11．その他発電設備	・（　　）の仕様詳細は別図による。

【通信・情報設備】

12．構内情報通信網設備	・仕様詳細は別図による。
13．構内交換設備	
（1）機器	・交換装置　・電話機　・端子盤類　●アウトレット ・その他（　　）
（2）交換装置	1）種別　・構内交換装置（・デジタルPBX　・IP-PBX　・VoIPサーバ） ・ボタン電話装置 ・その他（　　） 2）局線応答方式　・局線中継台　・分散中継台　・ダイヤルイン ・ダイレクトインダイヤル　・ダイレクトインライン ・その他（　　） 3）保安用接地　・本工事　・別途工事　・既設利用 ・その他（　　） 4）本配電盤(MDF)　・自立ﾌﾚｰﾑ（・片面形　・両面形）　・交換機一体型 ・壁掛型　・その他（　　） 5）電源装置　①形式　・別置型　・一体形　・その他（　　） ②停電補償時間　・３０分以上　・（　　）以上
（3）電話機	・一般電話機　・多機能電話機　・ＩＰ電話機 ・ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺｰﾄﾞﾚｽ電話機（PHS方式）　・IPｺｰﾄﾞﾚｽ電話機（無線LAN方式） ・その他（　　）
（4）端子盤類	1）端子盤　・中継端子盤（ＩＤＦ）　・室内端子盤 2）中継端子盤には実装数の２０%以上、室内端子盤には１０Ｐ以上の接続端子板スペースを見込む。
（5）アウトレット	・ローテンションアウトレット（・固定型　・上下動型（アップ式を含む）） ・壁コンセント　・その他（　　）
14．情報表示設備	
（1）設備	・ﾏﾙﾁｻｲﾝ装置　・出退表示装置　・時刻表示装置　・警報等表示装置
（2）ﾏﾙﾁｻｲﾝ装置	仕様詳細は別図による。
（3）出退表示装置	仕様詳細は別図による。
（4）時刻表示装置	仕様詳細は別図による。
（5）警報等表示装置	1）機器　・表示盤　・検出装置　・その他（　　） 2）表示盤　①表示方式　・表示窓式　・その他（　　） ②施工　・本工事　・別途工事　・既設利用 ・その他（　　） 3）検出装置　①検出方式　・電極　・無電圧接点　・その他（　　） ②施工　・本工事　・別途工事　・既設利用 ・その他（　　） 4）図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。
15．映像音響設備	・仕様詳細は別図による。

				承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-02
							図面名称：電気設備特記仕様書２　SCALE　NONE	

A2→A3縮小 71%

16. 拡声設備
（1）機器　●増幅器　●付属機器　・操作装置　●スピーカ　・その他（　　）
（2）増幅器　・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）
・専用　出力　（６０　）Ｗ
出力インピーダンス　・Lo形　● Hi形
（3）付属機器　・オーディオミキサー　・リモコンマイク　・電源制御器
・録音再生装置（・ＣＤ　・メモリオーディオ　・その他（　　））
・アナウンスレコーダ（・チャイム　・独自メッセージ　・プログラムタイマ
・その他（　　））
● 有線マイクロホン
・無線マイクロホン（・電波式（・アナログ　・デジタル）　・赤外線式）
・ラジオチューナー（・ＦＭ　・ＡＭ　・その他（　　））
・スピーカ切替装置　・その他の機器（　　）
（4）操作装置　●卓型　・キャビネットラック型　・壁掛型　・その他（　　）
（5）スピーカ　●非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）
・専用　結線　●１Ｗ　・３Ｗ　・（　　）Ｗ
インピーダンス　・Lo形　● Hi形
設置場所　● 屋内　● 屋外　・その他（　　）

17. 誘導支援設備
（1）設備　・音声誘導装置　・インターホン　●トイレ等呼出装置
（2）音声誘導装置　1）検出方式　・磁気式　・無線式　・画像認識式　・その他（　　）
2）設置場所　・屋外（防雨形）　・屋内
3）機能　・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する
・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする
・その他（　　）
4）機器　・制御装置　・送信機　・受信機　・その他（　　）
5）制御装置　・壁掛型　・卓上形　・複合盤組込　・その他（　　）
6）送信機　・壁掛形　・卓上形　・埋込形　・その他（　　）
7）受信機　・スピーカ式　・イヤホン式　・その他（　　）
（3）インターホン　1）用途　● 内部受付用　● 外部受付用　・夜間訪問用　・身体障害者用
・保守用　・その他（　　）
2）機能　●音声通話　・映像モニタ
3）通話網　● 親子式　・相互式　・複合式
4）通話方式　● 同時通話式　・交互通話式　・その他（　　）
5）機器　● 親機　● 子機　・その他（　　）
6）親機
①形状　●壁掛型　・卓上形　・複合盤組込　・その他（　　）
②送受話器　● 電話機形　・マイク形　・その他（　　）
7）子機
①形状　● 壁掛形　・卓上形　・埋込形　●その他（ドアホン）
②送受話器　● 電話機形　・マイク形　・その他（　　）
（4）トイレ等呼出装置　1）用途　・トイレ呼出　・受付呼出　・非常通報
・その他（　　）
2）機器　・親機　・呼出スイッチ　・警報装置　・その他（　　）
3）親機　・壁掛型　・卓上型　・複合盤組込　・その他（　　）
4）呼出スイッチ　・押ボタン式　・引紐式　・その他（　　）
5）警報装置　・光　・音声　・ブザー　・ベル　・その他（　　）

18. テレビ共同受信設備
（1）受信放送　・UHF　・BS　・CS　・FM　● CATV　・その他（　　）
（2）機器　・増幅器　・混合器　・分波器　・分岐器　● 分配器　・機器収容箱
・アンテナ　・その他（　　）
（3）アンテナ　1）放送　・UHF　・BS　・CS　・FM　・その他（　　）
2）マスト　・地上波用（・壁面取付　・自立　・既設利用）
・衛星用　（・壁面取付　・自立　・既設利用）
・その他　（　　）
3）自立用基礎　・本工事　・別途工事　・既設利用
・その他（　　）

19. 監視ｶﾒﾗ設備　・仕様詳細は別図による。

20. 消防指令配管設備　・仕様詳細は別図による。

21. 防犯・入退室管理設備　・仕様詳細は別図による。

22. 自動火災報知設備
（1）機器　・受信機　・副受信機（表示装置）　・中継器　・発信機　・感知器
・光警報装置　・その他（　　）
（2）受信機　1）型式　・Ｐ型１級　・Ｐ型２級　・Ｒ型
2）回線数　・（　　）回線　・（　　）アドレス
3）試験機能　・自動試験機能　・遠隔試験機能
4）盤形式　・複合盤組込　・自立型　・壁掛型
・その他（　　）
（3）副受信機（表示装置）　1）盤形式　・自立型　・壁掛型　・その他（　　）
2）回線数　・（　　）回線　・（　　）アドレス
3）表示装置の仕様詳細は別図による。
試験機能　・自動試験機能　・遠隔試験機能
（4）中継器
（5）発信機　1）型式　・アドレス付　・Ｐ型１級　・Ｐ型２級
2）消火栓ポンプ起動　特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。
3）設置　・単独設置　・機器収容箱に組込
・消火栓ボックス（別途）に組込　・その他（　　）
（6）感知器　1）型式　・アドレス付　・一般型
2）種類　・熱感知器　・空気管式　・煙感知器　・炎感知器
3）試験機能　・自動試験機能　・遠隔試験機能
4）機器仕様　・一般　・防水　・防爆　・防食　・その他（　　）
（7）光警報装置　1）機器　・警報装置　・制御装置　・同期装置
2）警報装置　・天井付　・壁付
3）同期装置　・自走同期式　・外部同期式

23. 自動閉鎖設備
（1）機器　・連動制御器　・感知器　・自動閉鎖装置　・自動開錠装置
・その他（　　）
（2）連動制御器　1）制御対象　・防火戸　・防火シャッター　・防排煙ダンパー
・非常口等の扉　・その他（　　）
2）回線数　（　　）回線（遠方復帰機構（　　）回路）
3）設置　・単独（・壁掛形　・自立形）　・火災受信機等との複合盤
（3）感知器　1）型式　・アドレス付　・一般型
2）種類　煙感知器（・２種　・３種）
3）試験機能　・自動試験機能　・遠隔試験機能
4）機器仕様　・一般　・防水　・防爆　・防食　・その他（　　）
（4）自動閉鎖装置　1）方式　・電磁式　・ラッチ式　・その他（　　）
2）施工　・本工事（・建築工事　・電気設備工事）　・別途工事
・既設利用　・その他（　　）
（5）自動開錠装置　1）方式　・電気錠　・その他（　　）
2）施工　・本工事（・建築工事　・電気設備工事）　・別途工事
・既設利用　・その他（　　）

24. 非常警報設備
（1）設備　・非常放送装置　・非常ベル
（2）非常放送装置　1）消防法基準適合マーク品とする。
2）機器　・増幅器　・スピーカ　・非常用リモコンマイク
・その他（　　）
3）増幅器
①出力　（　　）Ｗ
②出力インピーダンス　・Lo形　・Hi形
③形式　・ロングラック型　・スタンダードラック型　・壁掛型
・その他（　　）
④機能　・マイク放送　・連動放送（・自火報設備　・緊急地震速報設備）
・その他（　　）
⑤用途　・拡声設備兼用　・非常放送専用
4）スピーカ
①結線　・１Ｗ　・３Ｗ　・（　　）Ｗ
②インピーダンス　・Lo形　・Hi形
③設置場所　・屋内　・屋外　・その他（　　）
④用途　・拡声設備兼用　・非常放送専用
5）非常用リモコンマイク
型式　・壁掛形　・ラック収納形　・卓上形　・その他（　　）
（3）非常ベル（自動ｻｲﾚﾝを含む）　1）機器　・起動装置　・非常ベル　・表示灯　・その他（　　）
2）設置　・単独設置　・機器収容箱に組込
・消火栓ボックス（別途）に組込　・その他（　　）

25. ガス漏れ火災警報設備
（1）機器　・受信機　・副受信機　・中継器　・検知器　・警報器
・その他（　　）
（2）受信機　1）回線数　（　　）回線
2）種類　・都市ガス用　・液化石油ガス用
3）設置　・単独（・壁掛形　・自立形）　・火災受信機等との複合盤
・その他（　　）
（3）副受信機　設置　・単独（・壁掛形　・自立形）　・火災受信機等との複合盤
・その他（　　）
（4）検知器　1）動作　・単独（単独動作）　・連動（受信機に伝送）
2）定格電圧　・ＡＣ１００Ｖ　・ＤＣ２４Ｖ（受信機等から供給）
・その他（　　）
3）ガス検知出力信号　・有電圧出力方式　・無電圧接点方式

【中央監視制御設備】　・仕様詳細は別紙による。

【医療関係設備】　・仕様詳細は別紙による。

【構内配電線路】

26. 構内配電線路
（1）配線方式　●地中線式（・直埋　●管路）　・架空線式（・直接　・ちょう架線添架）
・建築物等添架式（・露出配管　・隠蔽配管　・その他（　　））
・その他（　　）
（2）建柱　1）施工　●本工事　・既設柱利用　・その他（　　）
2）電柱　●コンクリート柱　・鋼管柱　・パンザマスト
・その他（　　）
3）支持材　●根かせ　・根はじき　・根巻き　・底板
●支線（保護ガード　●有　・無）
4）装柱材料　●有（電力仕様）　・無
5）銘板　・有　・無
（3）装柱機器（高圧用）　1）機器　・開閉器　・避雷器　・カットアウト　● 碍子
・その他（　　）
2）耐環境性　・一般用　・耐塩用
3）開閉器　仕様は　５．受変電設備　（6）負荷開閉器　による。
（4）装柱機器（低圧用）　1）機器　・開閉器　・開閉器箱　・避雷器　・カットアウト　・碍子
・その他（　　）
2）耐環境性　・一般用　・耐塩用
（5）ハンドホール　マンホール　1）形式　●ブロック式　・現場打ち
2）施工　●本工事（・建築工事　・電気設備工事）　・別途工事
・既設利用　・その他（　　）
3）ケーブル支持金物の取付　●２箇所　・４箇所　・（　　）箇所
4）重車両の通行
●有（破壊荷重　200kN以上、衝撃係数　0.1(走行速度制限箇所)）・無
（6）鋳鉄蓋　1）鋳鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。
2）雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
（7）地中ケーブル保護材料　1）種類　●FEP　●GLT（PEライニング管）　・VE　・HIVE　・SGP
●厚鋼電線管　・その他（　　）
2）標示杭埋設　●コンクリート製　●鉄製（アスファルト部分）
3）埋設標識シート　●２倍長　・その他（　　）
4）埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。

【構内通信線路】

27. 構内通信線路
（1）用途　・電話　・拡声　・時刻表示　・火災報知　・非常警報　・インターホン
・テレビ共同受信　・防犯　・制御　・その他（　　）
（2）配線方式　・地中線式（・直埋　・管路）　・架空線式（・直接　・ちょう架線添架）
・建築物等添架式（・露出配管　・隠蔽配管　・その他（　　））
・その他（　　）
（3）建柱　1）施工　・本工事　・既設柱利用　・構内配電線柱に添架
・その他（　　）
2）電柱　・コンクリート柱　・鋼管柱　・パンザマスト
・その他（　　）
3）支持材　・根かせ　・根はじき　・根巻き　・底板
・支線（保護ガード　・有　・無）
4）装柱材料　・有　・無
5）銘板　・有　・無
（4）ハンドホール　マンホール　1）形式　・ブロック式　・現場打ち
2）施工　・本工事（・建築工事　・電気設備工事）　・別途工事
・既設利用　・その他（　　）
3）ケーブル支持金物の取付　・２箇所　・４箇所　・（　　）箇所
4）重車両の通行
・有（破壊荷重　200kN以上、衝撃係数　0.1(走行速度制限箇所)）・無
（5）鋳鉄蓋　1）鋳鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。
2）雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
（6）地中ケーブル保護材料　1）種類　・FEP　・GLT（PEライニング管）　・VE　・HIVE　・SGP
・厚鋼電線管　・その他（　　）
2）標示杭埋設　・コンクリート製　・鉄製（アスファルト部分）
3）埋設標識シート　・２倍長　・その他（　　）
4）埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。

【その他】

28. 消火器　1）設置　・本工事（・建築工事　・電気設備工事　・機械設備工事）
・別途工事
2）消火器　種別（　　）、数量（　　）本
3）消火器収納箱　材質（　　）、数量（　　）面

4．使用資機材のメーカーリスト
（1）以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備機材・機械設備機材）令和元年版（(一社)公共建築協会 発行）」（以下「評価名簿」という）に記載されているメーカーが製造した製品を使用すること。
（ただし、納入地区に中部地区又は近畿地区が含まれ、かつ評価の有効期間内である場合に限り使用可能とする）
● ＬＥＤ照明器具（一般屋内用に限る）　● 照明制御装置
● 低圧用ＳＰＤ　● 可変速運転用インバータ装置
● 分電盤（ＯＡ盤及び実験盤を含む）　● 制御盤
● キュービクル式配電盤　● 高圧スイッチギア（ＣＷ形・ＰＷ形）
● 高圧交流遮断器　● 高圧進相コンデンサ
● 高圧限流ヒューズ　● 高圧負荷開閉器
● 高圧変圧器（特定機器）　● 高圧避雷器
● 絶縁監視装置（高圧回路用・低圧回路用）
● ベント形据置鉛蓄電池　● 制御弁式据置鉛蓄電池
● 据置ﾆｯｹﾙ･ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池　● ｼｰﾙ形ﾆｯｹﾙ･ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池
● 交流無停電電源装置　● ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ及び系統連系保護装置
● 監視カメラ装置　● 中央監視制御装置
（2）評価名簿に記載されていないメーカーが製造した製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同じ条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。

5．使用資機材の適用規格
（1）以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格（ＪＩＳ規格）適合品の使用を原則とする。
● 電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品
・電気用品安全法適合品
● 耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル
・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスダクトの適合性検査を行い合格したもの
・第三者認証機関として(一社)日本電線工業会規格（JCS規格）への適合性検査を行い合格したもの
● 非常用照明器具
・建築基準法に定める国土交通大臣認定品
・(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの
● 誘導灯
・登録認定機関（(一社)日本電気協会（JEA誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
● 制御盤
・(一社)日本配電制御システム工業会規格（JSIA規格）適合品
● 消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品
・登録認定機関（(一財)日本消防設備安全センター（消防用設備等認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
● 不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品
・(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの
● 金属閉鎖形スイッチギア
・(一社)日本電機工業会規格（JEM規格）適合品
● 高圧機器（遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器）
・(一社)電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品
● 直流電源装置（防災電源用）
・登録認定機関（(一社)日本電気協会（JEA蓄電池設備認定委員会））の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの
● 交流無停電電源装置
・(一社)電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品
● 自家発電装置（防災電源用）
・登録認定機関（(一社)日本内燃力発電設備協会）の認定を受け、認定証票（長時間形）が貼付されたもの
● 自家発電装置（防災電源用でないもの）
・(一社)日本電機工業会規格（JEM規格）適合品
● 太陽電池モジュールの支持物
・電気設備の技術基準の解釈第４６条第２項又は第３項の規定に適合するもの
● 電話用設備（電話交換機、電話機等）
・登録認定機関（(一財)電気通信端末機器審査協会（JATE）等）の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの
● 非常用放送設備
・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
● テレビ共同受信機器
・優良住宅部品（BL部品）の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの
・(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの
● 自動火災報知設備
・登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
（2）特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。

6．完成時の提出図書

名　　称	完成書類	部数
完成図（原図サイズ）	竣工図（製本）	１部
	施工図（製本）	１部
完成図（原図サイズＡ４折り）	ファイル綴	１部
完成図（Ａ３版縮小二つ折り）	竣工図（製本）	２部
	施工図（製本）	２部
保全に関する資料 制御システム図 システム系統図 資機材一覧表 機器完成図 取扱説明書 試験結果報告書 工場試験成績書 各種計算・検討書 予備品・付属品一覧表 機器銘板の写し 検査済証 保証書 メンテナンス要領書 メンテナンス参考業者一覧表 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類の写し（表紙のみ） その他監督員の指示するもの ＊各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	１部
工事に関する書類 工事カルテ受領書の写し 施工計画書 施工要領書 部分下請負通知書及び下請負契約書の写し 施工体制台帳及び施工体系図 工事進捗状況報告書 各種計画書及び報告書 排出ガス対策型建設機械使用報告書 工事打合簿 段階確認書 工事事故報告書 安全管理関係書類 使用機材届出書 工事材料搬入報告書 機器明細図 機材の品質及び性能証明書 各種計算・検討書 工場試験成績書 試験結果報告書 計測機器類の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 産業廃棄物処理集計表 現場発生品調書 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 再資源化等完了報告書（特定建設資材廃棄物） 工事写真（サムネール及び代表写真） 検査立会者名簿 その他監督員の指示するもの ＊各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	１部
官公庁手続き書類 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類（本冊）	ファイル綴	１部
電子納品		３部
工事目的物引渡書 引渡目録		３部

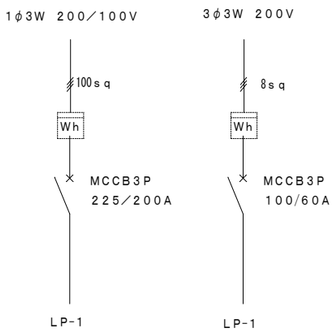
注　・完成図はＣＡＤにより作成すること。
・保全に関する資料は、国土交通省「施設保全マニュアル作成要領」を参照する。
・改修工事等は既存の完成図を修正すること。
・白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。
・表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。
・作成しがたい場合は、監督員との協議による。
・上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。
・その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。
・ファイルはチューブファイル以上とする。
・完成書類の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。

				承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-03
							図面名称：電気設備特記仕様書３　SCALE　NONE	

A2→A3縮小 71%

盤仕様	結線図

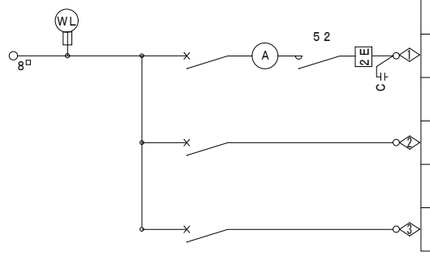
名称
引込盤
LP−M
型式
屋外露出壁掛
材質
ステンレス製
塗装



盤仕様

名称
電灯動力盤
LP-1
型式
屋内自立型

60HZ
3φ3W
200V



負荷 名称	略記号	容量KW	分岐器具	始動方式	操作制御方式	操作制御スイッチ	連動	
車庫排気ファン	FE-3	1.5	ELCB3P 50/30A	L	2−2b	B		
車庫シャッター		1.5	MCCB3P 50/30A					
予備			MCCB3P 50/30A					

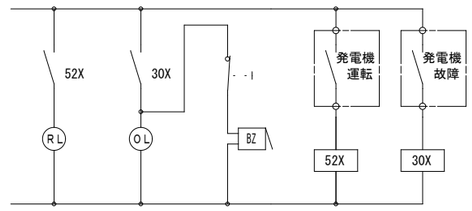
動力盤特記事項

1，始動方式，制御方式，操作制御方式は電気設備工事標準図による。

2，保護継電器は２Ｅタイプとする。

3，図記号 （電気設備工事標準図に準拠する）

始動方式	L	直入始動	
操作制御方式	2−2b	試験−遠方	5線で遠方スイッチと接続
操作制御スイッチ	B	押ボタン	

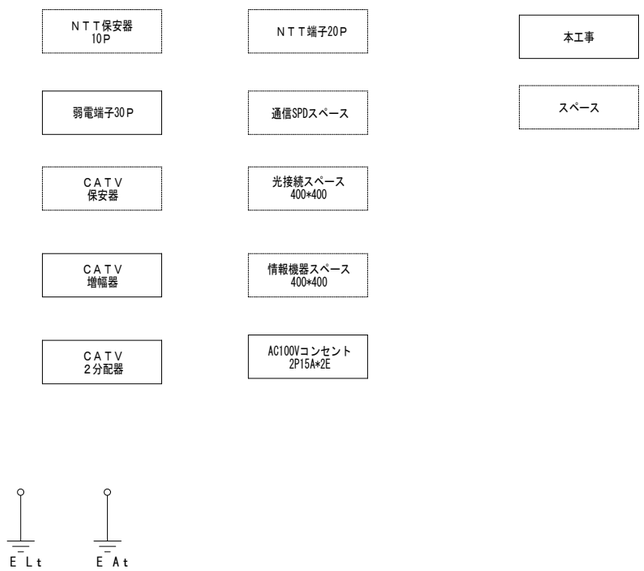


（注）電灯盤部は別図を参照

盤仕様	

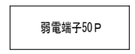
名称
端子盤
T−1
型式
露出壁掛
(半埋込施工)

外形寸法≒W1000*H1600*D160



盤仕様	

名称
端子盤
T−2
型式
露出壁掛
(半埋込施工)



承認	検図	P&D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：盤結線図１　SCALE NONE

E-04

A2→A3縮小 71%

盤仕様	結線図
名称 動力・電灯 分電盤 LP−1 型式 露出壁掛 半埋込施工	1φ3W 200−100V 100sq SPD−Ⅱ 25.2kVA MCCB3P225/150A

回路番号	MCCB	ELCB	RCB	P−AF/AT	電圧（V）	リモコンリレー	容量（VA）	代表室名・負荷名	備考
①	○			3−225/100				発電機へ	今回15kVA将来25kVA
1				2−50/20	100	2P20A×3	540	電灯　事務室	イウテ
2						2P20A×1	260	電灯　廊下・便所	オ
3	○					2P20A×4	670	電灯　出動	キクコシ
4	○					2P20A×1	250	電灯　機材庫・洗濯	ス
5	○						210	電灯　救急研修室	
6	○					2P20A×2	270	電灯　棚	タツ
7	○					2P20A×1	760	2階北電灯	チ
8		○					220	外灯	TM1
9		○					170	外灯	TM2・3
10	○							予備	
11	○							予備	
12	○							予備	
①	○						200	事務室 コンセント	
②	○						300	事務室 コンセント	
③	○						500	廊下コンセント	
④		○					400	食堂コンセント	
⑤	○						400	資機材庫コンセント	
⑥	○						200	車庫コンセント	
⑦		○					300	洗濯乾燥室室 コンセント	
⑧		○					830	会議室エアコン コンセント	
⑨		○						予備	
⑩		○						予備	
⑪	○						300	救急研修室コンセント	
⑫		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑬		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑭		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑮		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑯		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑰		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑱		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑲		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
⑳		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
㉑		○					910	仮眠室 電灯コンセント	
㉒	○						200	車庫棚コンセント	
㉓		○					600	女子洗面コンセント	
㉔		○					300	男子洗面コンセント	
㉕		○					600	男子便所コンセント	
㉖		○					570	ホース乾燥塔	
㉗	○							予備	
㉘	○							予備	

2P50AFの分岐開閉器は協約型
1Pモジュールサイズ2P型とする

盤仕様	結線図
LP−1	発電機より 1φ3W 200−100V 60sq SPD−Ⅱ 18kVA MCCB3P225/125A

信号線雷サージ防護ユニット
リモコントランス
リモコントランス
接点入力T/U
伝送ユニット
年間プログラムタイマーユニット ソーラー機能付（24H停電保証）

TM 回路
リモコンリレー
接点入力T/U
年間プログラムタイマーユニット ソーラー機能付
リモコントランス
各回路は自動・試験・切

回路番号	MCCB	ELCB	RCB	P−AF/AT	電圧（V）	リモコンリレー	容量（VA）	代表室名・負荷名	備考
㉙		○		2−50/20	100			予備	
㉚		○		2−50/20	100			予備	
①		○		2−50/20	200		2200	事務室エアコン（南）	ACP−1
②		○		2−50/20	200		1233	出動準備室エアコン	ACP−4
③		○		2−50/20	200		1460	食堂エアコン	ACP−3
④		○		2−50/20	200		1555	救急研修室エアコン	ACP−2
⑤		○		2−50/20	200			予備	
⑥		○		2−50/20	200			予備	
A	○			2−50/20	100	2P20A×1	440	電灯　事務室	ア
B	○					2P20A×2	660	電灯　廊下階段	エチ
C	○					2P20A×1	770	電灯　出動準備・車庫	ケ
D	○					2P20A×2	600	電灯　1F西	スセ
E	○					2P20A×3	270	電灯　棚	ソタト
F	○					2P20A×1	310	電灯　2F共用	ツ
Ⓐ	○			2−50/30			2200	無停電装置	
Ⓑ	○			2−50/20			550	付加盤　移動装置	
Ⓒ	○						1255	情報表示盤　プリンター	
Ⓓ	○						400	電話主装置インターホン	
Ⓔ	○						200	緊急出動表示機	
Ⓕ	○						200	端子盤	
Ⓖ	○						200	事務室コンセント	
Ⓗ	○						1200	事務室コンセント	
Ⓘ		○					400	事務室コンセント	
Ⓙ		○					700	便所（男）コンセント	
Ⓚ		○					1400	便所（女）コンセント	
Ⓛ		○					400	食堂コンセント	
Ⓜ		○					1200	食堂コンセント	
Ⓝ		○					300	車庫コンセント	
Ⓞ		○					200	出動室コンセント	
Ⓟ	○						1071	救急車シャッター	
Ⓠ	○						500	救急車充電コンセント	
Ⓡ	○						400	車庫コンセント	
Ⓢ		○						予備	
Ⓣ		○						予備	
Ⓤ		○						予備	
Ⓥ		○						予備	
Ⓦ		○						予備	
Ⓧ		○						予備	
Ⓐ		○			200		2200	事務室エアコン（北）	
Ⓑ		○			200			予備	
Ⓒ		○			200			予備	
Ⓓ		○			200			予備	

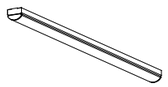
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：盤結線図２　SCALE NONE

E-05

A2→A3縮小 71%

	LEDベースライト直付形		LEDベースライト　直付形		LEDベースライト　直付形		LEDベースライト　直付形		LEDベースライト　埋込形		LEDベースライト　埋込形
A20	LED13.6W 2,000 lm 5000K	B69	LED43.0W 6,900 lm 5000K	B69W	LED43.0W 6,830 lm 5000K　防湿・防雨	C69	LED43.0W 6,900 lm 5000K	D32	LED19.5W 3,100 lm 5000K	E69	LED43.0W 6,600 lm 5000K
A69	LED43.0W 6,900 lm 5000K										



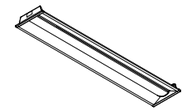
●寸法：幅70×1,223×高53
●本体：鋼板　白
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：83

●寸法：幅230×1,250×高53
●本体：鋼板　白
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：83

●寸法：幅230×1,250×高さ89
●本体：鋼板　白
●ＬＥＤバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数(Ra)：83

●寸法：幅120×1,250×高53
●寸法：幅120×632×高53
●本体：鋼板　白
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：83

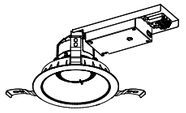
寸法：幅150×1,235×高65（埋込穴寸法）
●本体：鋼板　白
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：83



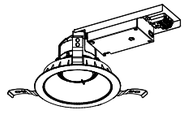
●寸法：幅220×1,235×高65（埋込穴寸法）
●本体：鋼板　白
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：83

	LEDベースライト　埋込形　　ルーバタイプ		LEDダウンライト　一般形　（高効率　広角タイプ）		LEDウンライト　一般形　（高効率　広角タイプ）		防塵・防雨向け高天井器具　広角タイプ		調光・調色LEDシーリングライト　プルスイッチレス		LED一体形軒下シーリング　屋外用　天井面・壁面取付け兼用形
F69D	LED43.0W 4,650 lm 5000K 調光	G20	LED13.4W 1,870 lm 5000K	G20D	LED13.4W 1,870 lm 5000K　調光	H170W	LED97.0W 16,600 lm 5000K 防塵・防雨	I08	LED35.8W 4,299 lm 3000~6400K 調光・調色	K30	LED15.0W 1,150 lm 5000K 防湿・防雨
		G25	LED17.1W 2,430 lm 5000K								

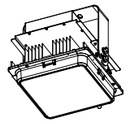
●寸法：幅150×1,235×高101
（埋込穴寸法）
●本体：鋼板　白
●ルーバ：アルミ　くもり鏡面仕上
●LEDバー：ポリカーボネート　乳白
●定格電圧：AC100V~242V
●平均演色評価数（Ra）：83



●埋込穴寸法：Φ150
●電源ユニット内蔵
●器具寸法：幅169×298×埋込高106
●本体：アルミダイカスト
●化粧枠：プラスチック（バージンホワイト）
●反射板：バージンホワイト
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数(Ra)：83

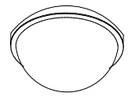


●埋込穴寸法：Φ150
●電源ユニット内蔵
●器具寸法：幅169×298×埋込高106
●本体：アルミダイカスト
●化粧枠：プラスチック（バージンホワイト）
●反射板：バージンホワイト
●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数(Ra)：83



●定格電圧：AC100V～242V
●平均演色評価数（Ra）：70
●アングル：SPC　黒　前面カバー：ポリカーボネート樹脂

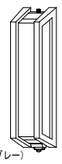
●寸法：径φ500×高98
●セード：アクリル（乳白・クリーンエース）
●定格電圧：AC100V
●平均演色評価数：（Ra）85
●リモコン（同梱）：FRC-214T（KW）
（連続調光・明るさ（約10%%～100%%）、常夜灯6段階調光）



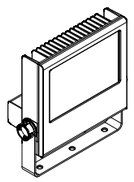
●寸法：径φ235×高96
●本体：ポリカーボネート樹脂（ピュアホワイト）
●グローブ：ポリカーボネート樹脂（乳白）
●定格電圧：AC100V
●平均演色評価数：（Ra）80

	LED進入口赤色灯　防雨形		LEDポーチ灯　屋外用　壁面取付け専用		ＬＥＤ小形投光器		防雨形　LEDガーデンライト		LED街路灯 屋外用		防爆形LED照明器具　パイプ吊形
L20		M27	LED6.5W 420 lm 2700K　防雨	N79	LED60.0W 7,900 lm 5000K　広角タイプ	O07	LED6.0W 700 lm(ランプ全光束) 2700K 防雨	P35	LED76.0W 9,250 lm 5000K 防雨　ポール3.5m	Q47	LED41W 4,750 lm 5000K
				N79W	LED60.0W 7,900 lm 5000K　横長タイプ			P45	LED76.0W 9,250 lm 5000K 防雨　ポール4.5m		

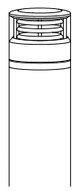
●LED電球×1
●寸法：径φ200×高204
●枠：アルミダイカスト（メタリックシルバー）
●グローブ：軟質ガラス（赤色）



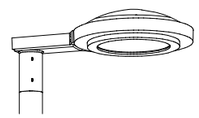
●寸法：幅285×高90×出85
●本体：プラスチック（ライトグレー）
●セード：アクリル樹脂（乳白）
●ガード：プラスチック（ブラック）
●定格電圧：AC100V
●平均演色評価数：（Ra）80



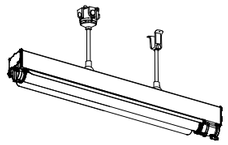
●寸法：幅118×234×高さ276
●本体：アルミダイカスト　メタリックシルバー
●全面カバー：強化ガラス　透明（一部ブラック）
●レンズ：ポリカーボネート樹脂
●定格電圧：AC100V~242V
●平均演色評価数(Ra)：70



●寸法：径φ140×高1000
●本体：アルミダイカスト
●ガード：アルミダイカスト
●グローブ：ポリカーボネート　透明
●標準色：グレーイッシュブラック（□N-30）
●ポール：アルミ
●定格電圧：AC100V　入力電流：110mA
●平均演色評価数（Ra）：70

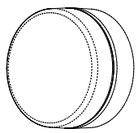


●寸法：径Φ460×高さ292
●本体：アルミダイカスト
●下面カバー：強化ガラス
●本体色：グレーイッシュブラック（シルバー）
●ポール：高さ3.5（4.5）m（溶融亜鉛メッキ+指定色塗装）



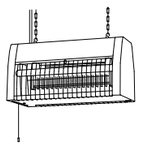
●本体：アルミ合金　メラミン樹脂焼付塗装
●保護等級：IP65
●定格電圧：AC100~242V

R09	LEDブラケット一般防水丸形	S07	LEDブラケット　壁面取付	T40	FL20W×2　電撃殺虫器						
R09B	LEDブラケット非常灯防水丸形										



●グローブ：ガラス（乳白フロスト）
●FCL30形器具相当
●常時：LED点灯　非常時：本体組込LED点灯
●電源ユニット内蔵（電圧100V）
●相関色温度：5000K（昼白色）
●非常灯評定番号：LALE-026

●定格電圧：AC100V
●消費電力：10W
●器具光束：670 lm



●屋外用
●吊り下げ型、吊り下げチェーン付（施工はパイプ固定）
●本体：鋼板（クールホワイト）

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-06
							図面名称：照明器具姿図１　SCALE　NONE	

A2→A3縮小 71%

a09　非常用照明器具専用形　一般形　（埋込φ100）

LED9形　低天井用（電池内蔵形）

●寸法：径φ100×高74（埋込穴寸法）
●本体：アルミダイカスト
●枠：CGC
●レンズ：ガラス
●リモコン自己点検機能付

保守率　0.93（照度2ルクスの範囲）

取付の高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m	6.0m
単体配置	A 1	4.0	4.3	4.4	2.9	1.7	－	－	－	－
直線配置	A 2	8.8	9.8	10.2	11.2	12.0	12.6	7.4	4.0	－
四角配置	A 4	7.1	7.8	8.3	9.2	10.2	11.0	7.4	4.0	－

a13　非常用照明器具専用形　一般形　（埋込φ100）

LED13形　低天井用（電池内蔵形）

●寸法：径φ100×高74（埋込穴寸法）
●本体：アルミダイカスト
●枠：CGC
●レンズ：ガラス
●リモコン自己点検機能付

保守率　0.93（照度2ルクスの範囲）

取付の高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m	6.0m
単体配置	A 1	4.4	4.8	5.0	5.3	5.5	3.3	1.4	－	－
直線配置	A 2	9.4	10.4	11.0	12.2	13.4	14.4	15.2	15.4	6.2
四角配置	A 4	7.5	8.3	8.8	9.8	10.9	11.9	12.9	13.7	6.2

b30　非常用照明器具専用形　防湿･防雨形　（直付）

LED30形　中天井用（電池内蔵形）

●寸法：径φ204×高さ123
●カバー：SPC（鋼板）
●ガラスカバー：強化ガラス
●リモコン自己点検機能付

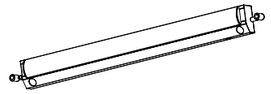
保守率　0.93（照度2ルクスの範囲）

配置表（保守率、光束残存率を含む）										
取付高さ		2.1	2.4	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
単体配置	A 1	4.5	5.0	5.4	6.0	6.8	7.4	7.9	8.3	7.7	6.4
	A 1	4.5	5.0	5.4	6.0	6.8	7.4	7.9	8.3	7.7	6.4
	B 1	4.5	5.0	5.4	6.0	6.8	7.4	7.9	8.3	7.7	6.4
	B 1	4.5	5.0	5.4	6.0	6.8	7.4	7.9	8.3	7.7	6.4
直線配置	A 2	9.0	10.2	11.0	12.6	14.4	16.0	17.6	19.0	21.4	23.0
	B 2	9.0	10.2	11.0	12.6	14.4	16.0	17.6	19.0	21.4	23.0
四角配置	A 4	6.7	7.6	8.2	9.3	10.7	12.1	13.4	14.6	17.0	19.1
	B 4	6.7	7.6	8.2	9.3	10.7	12.1	13.4	14.6	17.0	19.1
壁際から取付の付属	A 0	3.3	3.8	4.0	4.5	5.0	5.6	6.0	6.4	6.1	4.9
	A 0	3.3	3.8	4.0	4.5	5.0	5.6	6.0	6.4	6.1	4.9
	B 0	3.3	3.8	4.0	4.5	5.0	5.6	6.0	6.4	6.1	4.9
	B 0	3.3	3.8	4.0	4.5	5.0	5.6	6.0	6.4	6.1	4.9

c 40　◆LEDバータイプ階段通路誘導灯兼非常灯　直付形　人感センサー付ON-OFFタイプ

●2500lmタイプ

非常灯評定番号：D-LALH-110
大臣認定番号：LAE-0137



●寸法：幅125×1407×高84
●本体：SGC
●非常用光源：LEDガラスレンズ
●常用光源（LEDバー）：ポリカーボネート
●電源ユニット内蔵（電圧100～242V）

（注）本工事に示す非常用照明は任意設置であり保安灯扱いとする。
官公庁への申請は不要。

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：照明器具姿図２　SCALE　NONE

E-07

A2→A3縮小 71%

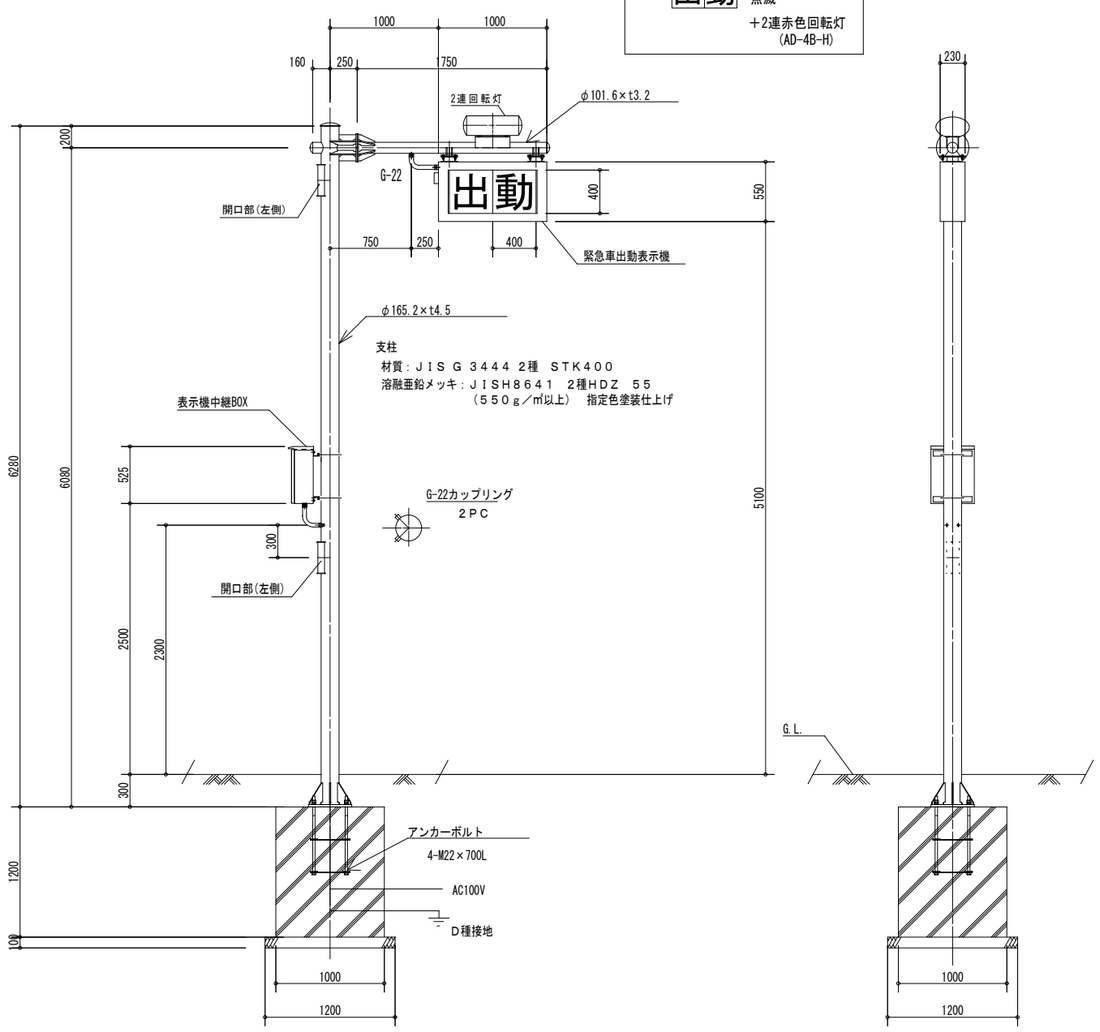
SP-1	緊急車出動表示機

【文字表示】

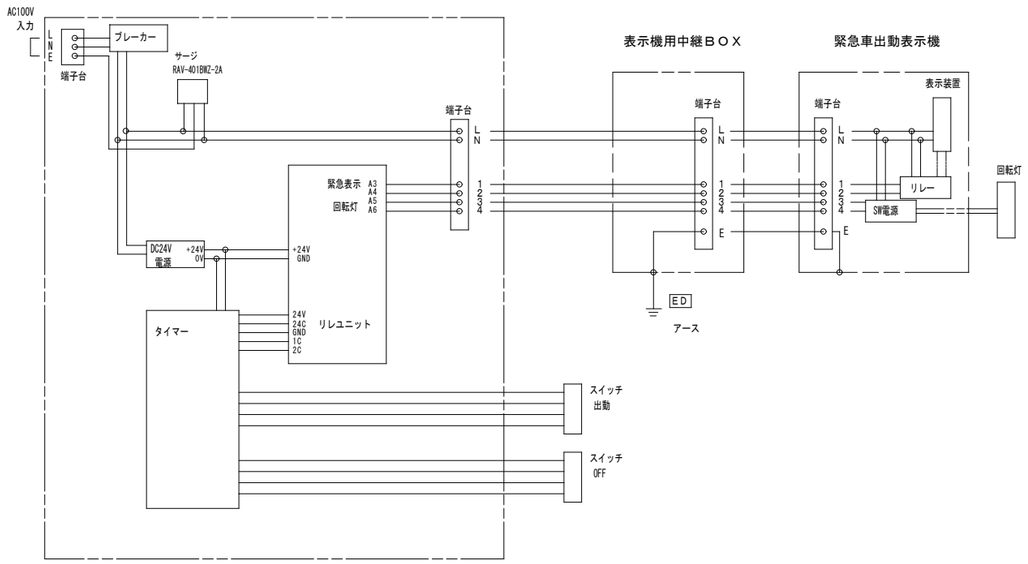
出動スイッチ動作時

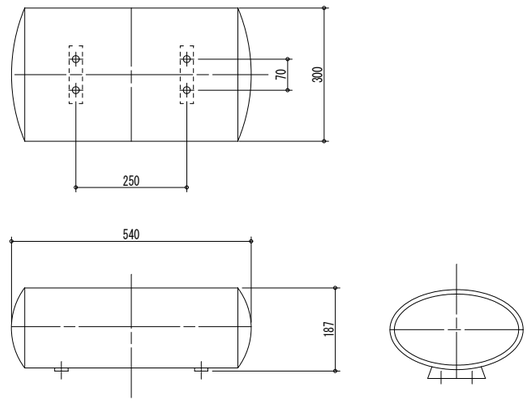
出動 400角×２文字 点滅

＋2連赤色回転灯 (AD-4B-H)

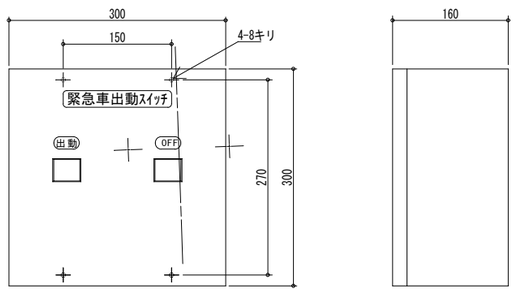


緊急車出動スイッチ(簡易)





品　名	散光式回転灯　ＡＤ－４Ｂ－Ｈ
回転灯球	ハロゲン球
表示素子色	赤単色
電　　源	ＤＣ２４Ｖ
消費　電力	５５Ｗ×２
外観　寸法	５４０Ｗ×１８７Ｈ×３００Ｄ（㎜突起物を除く）
使用温度範囲	－２０℃～６０℃　（氷結しないこと）
使用湿度範囲	５%～９５%　Ｒｈ　（結露なきこと）
筐　　体	ポリカーボネート樹脂
重　　量	５．５Ｋｇ



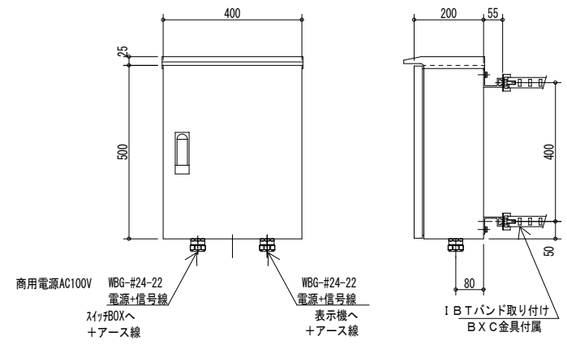
品　名	スイッチＢＯＸ　（制御・タイマー付）
電　　源	単相ＡＣ１００Ｖ±１０%　５０／６０Ｈｚ
スイッチ	ＤＣ２４Ｖ
主な機器	ブレーカー／スイッチング電源
	アナログタイマー（０秒～３分間で任意設定）
外観　寸法	３００Ｗ×３００Ｈ×１６０Ｄ（㎜突起物を除く）
使用温度範囲	０℃～５０℃
使用湿度範囲	１０%～８０%　Ｒｈ　（結露なきこと）
筐　　体	鉄鋼板　（ＳＰＣＣ　ｔ＝１．６㎜）
塗　　装	粉体塗装　（ライトベージュ　5Y7/1）
重　　量	８Ｋｇ

備　考

用途：屋内仕様

：システム　ON/OFF

加工：現合にて配線用孔



正面図　　側面図

品　名	表示機用中継ＢＯＸ　（屋外）
電　　源	単相ＡＣ１００Ｖ±１０%　５０／６０Ｈｚ
機　　器	ブレーカー内蔵/端子台
外観　寸法	４００Ｗ×５２５Ｈ×２００Ｄ（㎜突起物を除く）
使用温度範囲	－２０℃～６０℃　（氷結しないこと）
使用湿度範囲	５%～９５%　Ｒｈ　（結露なきこと）
筐　　体	アルミ鋼板　（ｔ＝２．０㎜）
塗　　装	ウレタン焼き付け塗装　（ﾏﾝｾﾙ値 10YR2/1 半ツヤ）
重　　量	１３Ｋｇ

備　考

用途：信号線-有線

使用支柱径：φ139.8以上

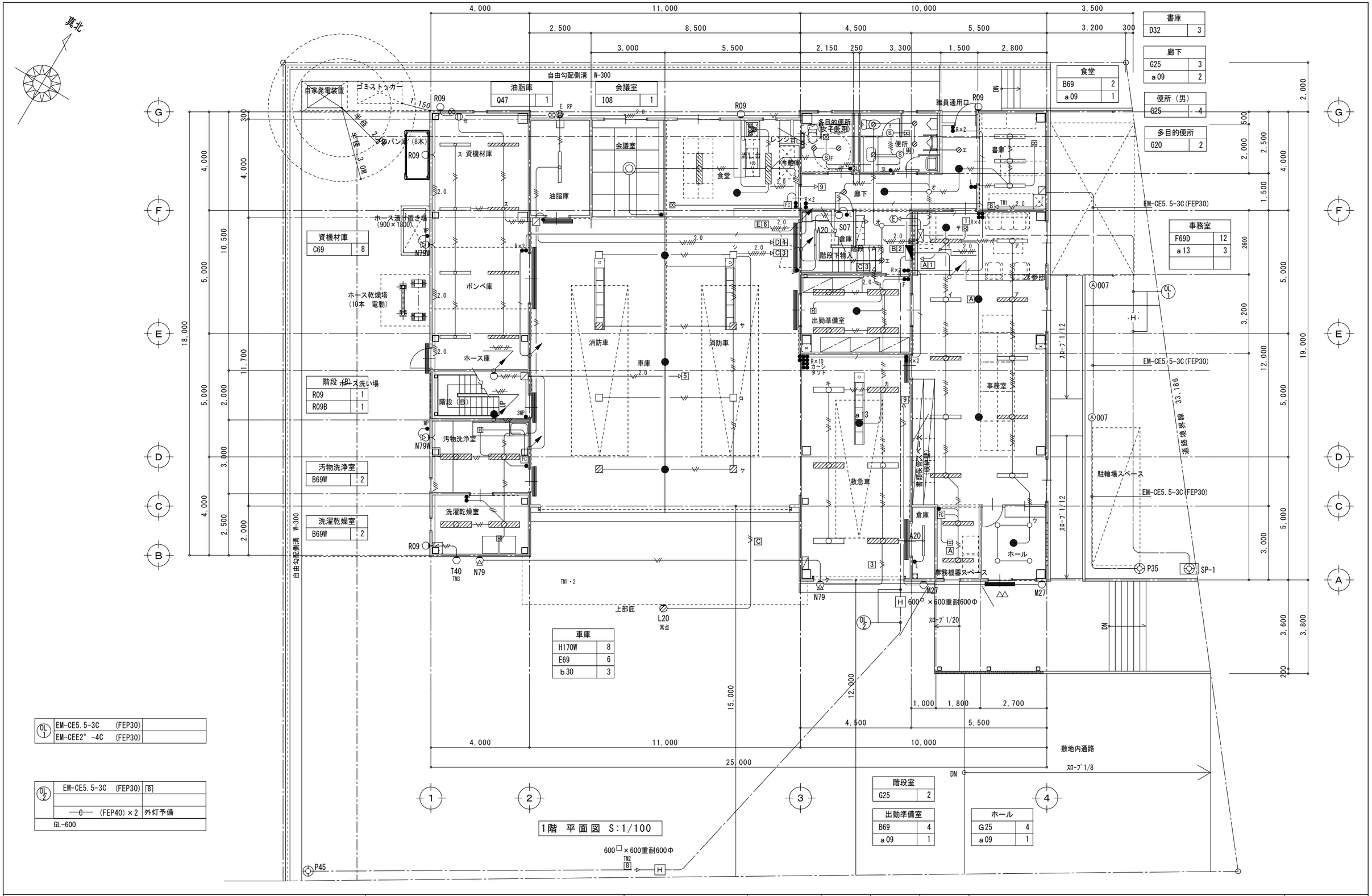
承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：緊急車出動表示機　　SCALE　NONE

E-08

A2→A3縮小 71%



書庫	
D32	3

廊下	
G25	3
a09	2

便所 (男)	
G25	4

多目的便所	
G20	2

食堂	
B69	2
a09	1

事務室	
F69D	12
a13	3

油脂庫	
Q47	1

会議室	
I08	1

資機材庫	
C69	8

階段 (B) ホース洗い場	
R09	1
R09B	1

汚物洗浄室	
B69W	2

洗濯乾燥室	
B69W	2

車庫	
H170W	8
E69	6
b30	3

階段室	
G25	2

出動準備室	
B69	4
a09	1

ホール	
G25	4
a09	1

OL 1	EM-CE5.5-3C (FEP30)	
	EM-CEE2°-4C (FEP30)	

OL 2	EM-CE5.5-3C (FEP30)	[8]
	(FEP40)×2	外灯予備
GL-600		

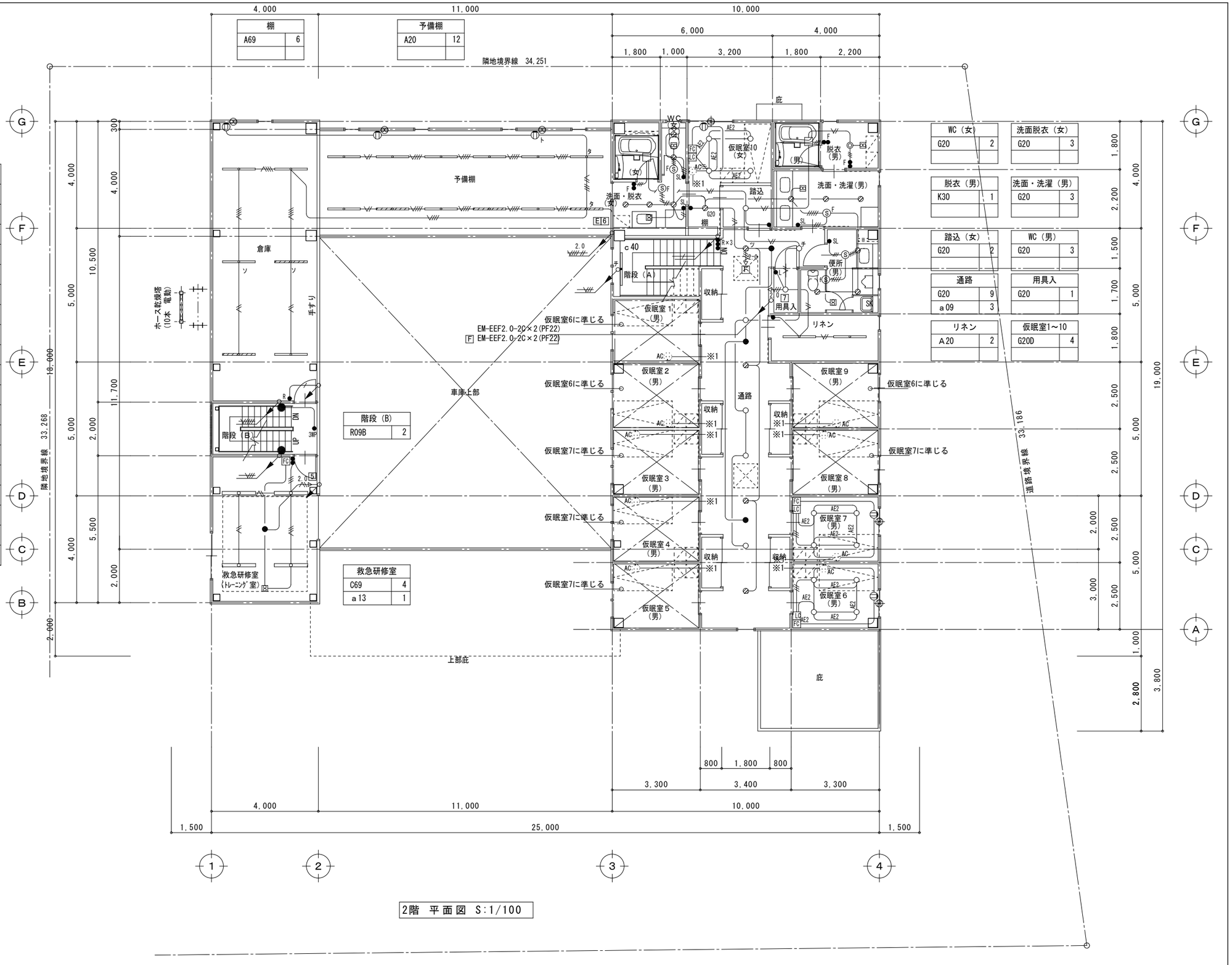
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：電灯設備 1階平面図 SCALE 1/100

E-09

A2→A3縮小 71%



2階 平面図 S:1/100

照明器具	直管形
照明器具	角形
照明器具	丸形
照明器具	壁付
照明器具	投光形
照明器具	非常用 電池内蔵
照明器具	ポール形
照明器具	保安照明（ 発電機回路）
●R	リモコンスイッチ
●L	タンブラスイッチ ON表示付
●F	ファン遅スイッチ ON表示付
●SL	操作スイッチ 自動・ON・OFF
FC	24H換気扇専用スイッチ カバー・運転表示ランプ付
LC	調光スイッチ ON・OFF付
Ⓢ	センサースイッチ親機
ⓈF	センサースイッチ親機 換気扇遅れOFF
Ⓢf	センサースイッチ子機 換気扇遅れOFF
※1	以降はコンセント図参照

配線凡例		保護管
	EM-EEF1.6-2C	PF16
	EM-EEF1.6-3C	PF22
	EM-EEF1.6-2C*2	PF22
	EM-EEF1.6-3C+2C	PF22
	EM-EEF1.6-3C+3C	PF22
	EM-EEF2.0-2C	PF16
2.0	EM-EEF2.0-3C	PF22
2.0	EM-EEFF2.0-2C*2	PF22
2.0	EM-EEF2.0-3C+2C	PF22
	FCPEV 0.9-1P	PF16
AE2	AE1.2-2C	PF16

傾きの異なる条数は接地線を示す

天井内転がし部分のみケーブル施工とする

ケーブル接続はJ・BOX内にて施工する

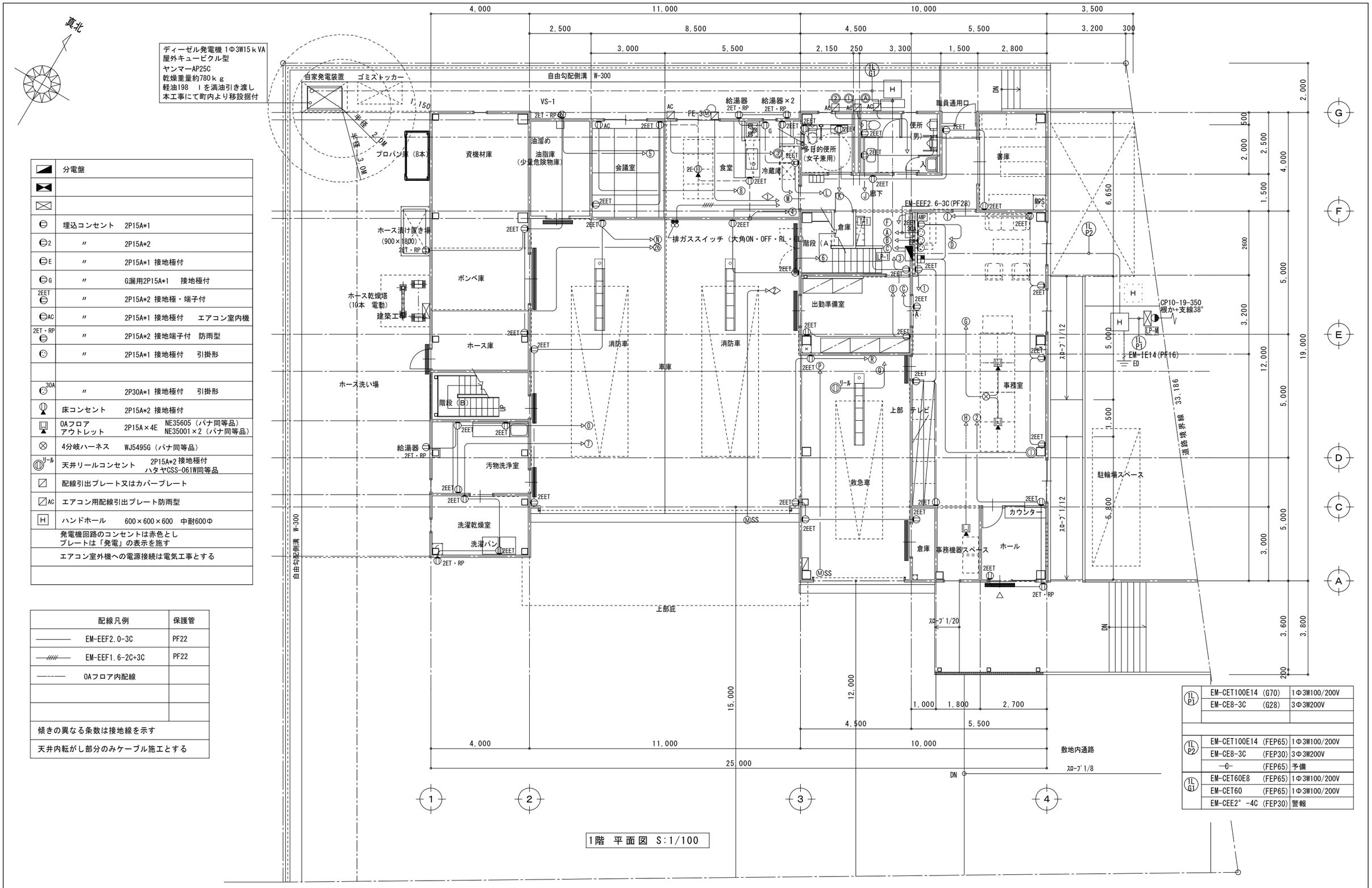
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：電灯設備 2階平面図 SCALE 1/100

E-10

A2→A3縮小 71%



	分電盤	
⊖	埋込コンセント	2P15A*1
⊖2	〃	2P15A*2
⊖E	〃	2P15A*1 接地極付
⊖G	〃	G漏用2P15A*1 接地極付
2ET ⊖	〃	2P15A*2 接地極・端子付
⊖AC	〃	2P15A*1 接地極付 エアコン室内機
2ET・RP ⊖	〃	2P15A*2 接地端子付 防雨型
⊙	〃	2P15A*1 接地極付 引掛形
⊙30A	〃	2P30A*1 接地極付 引掛形
	床コンセント	2P15A*2 接地極付
	0Aフロア アウトレット	2P15A×4E NE35605（パナ同等品） NE35001×2（パナ同等品）
⊗	4分岐ハーネス	WJ5495G（パナ同等品）
リール	天井リールコンセント	2P15A*2 接地極付 ハタヤCSS-061W同等品
	配線引出プレート又はカバープレート	
AC	エアコン用配線引出プレート防雨型	
H	ハンドホール	600×600×600 中耐600Φ
	発電機回路のコンセントは赤色とし プレートは「発電」の表示を施す	
	エアコン室外機への電源接続は電気工事とする	

配線凡例	保護管
EM-EEF2.0-3C	PF22
EM-EEF1.6-2C+3C	PF22
0Aフロア内配線	
傾きの異なる条数は接地線を示す	
天井内転がし部分のみケーブル施工とする	

1L P1	EM-CET100E14 (G70)	1Φ3W100/200V
	EM-CE8-3C (G28)	3Φ3W200V
1L P2	EM-CET100E14 (FEP65)	1Φ3W100/200V
	EM-CE8-3C (FEP30)	3Φ3W200V
	—G— (FEP65)	予備
1L G1	EM-CET60E8 (FEP65)	1Φ3W100/200V
	EM-CET60 (FEP65)	1Φ3W100/200V
	EM-CEE2°-4C (FEP30)	警報

1階 平面図 S:1/100

承認	検図	P & D

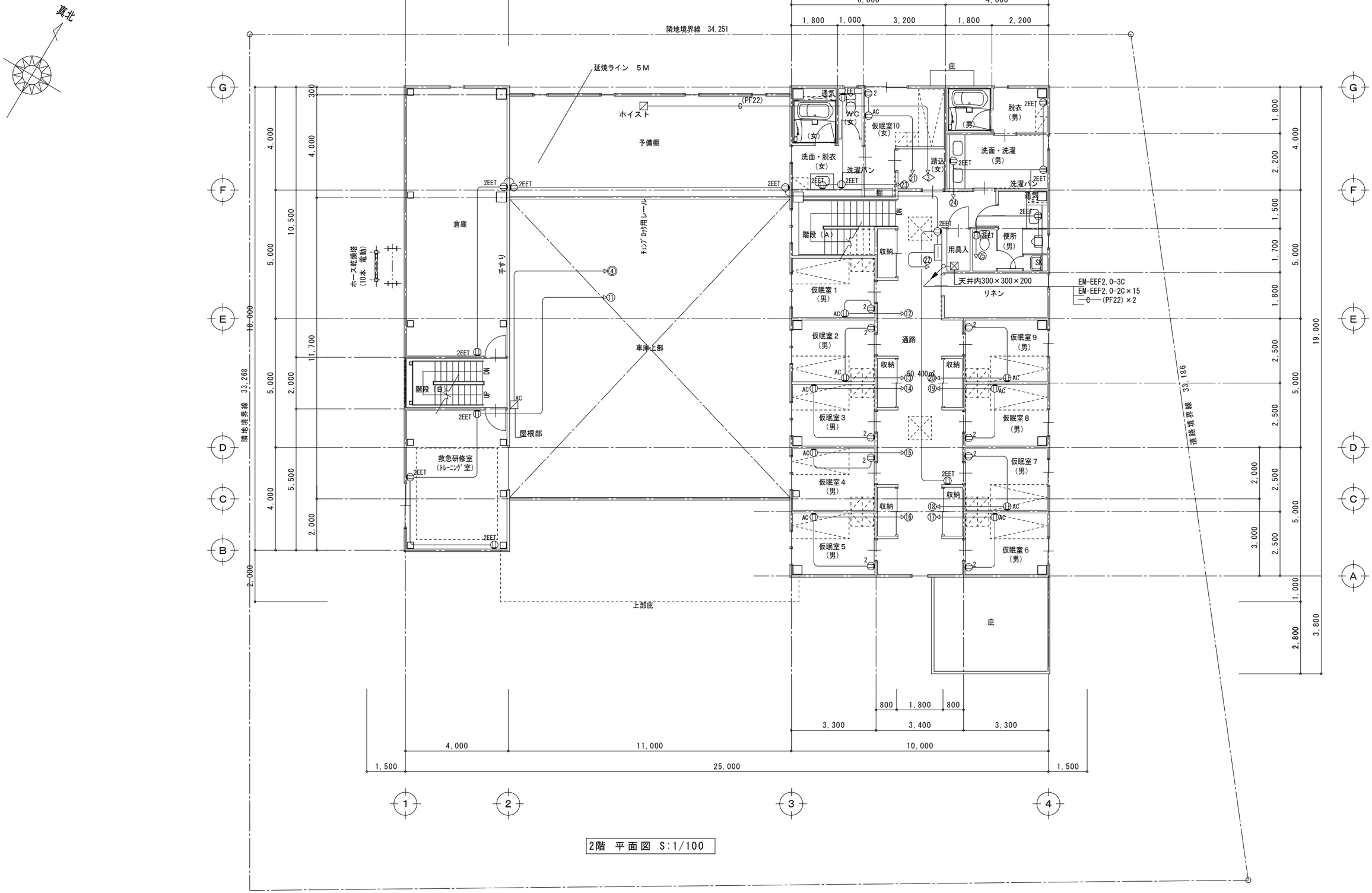
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

動力・コンセント設備

図面名称：1階 平面図 SCALE 1/100

E-11

A2→A3縮小 71%

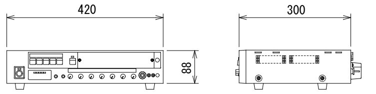


2階 平面図 S:1/100

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-12
			動力・コンセント設備	
			図面名称：2階 平面図 SCALE 1/100	

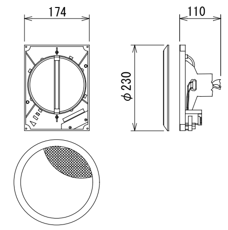
A2→A3縮小 71%

AMP 卓上アンプ



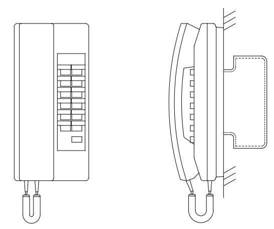
電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格出力	６０Ｗ
周波数特性	１００Ｈｚ～１０ｋＨｚ
入力	マイク＊２　ライン＊３
出力	１０局＋一斉

天井埋込スピーカ
天井埋込スピーカ（ＡＴＴ付）



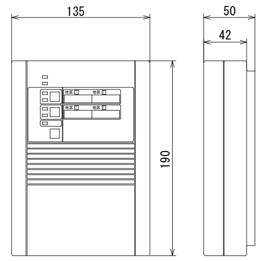
定格入力／種別	3W, 1W
入力インピーダンス	３．３ｋΩ・１０ｋΩ
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ｋＨｚ（偏差２０ｄＢ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（1m／1W）
使用スピーカ	１６ｃｍコーンスピーカ
取付パネル	ネット：アルミパンチング、フレーム：ＡＢＳ樹脂

インターホン親機



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ（電源アダプタ共）
形状	露出形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材質	樹脂
局数	１２局用
備考	親子式

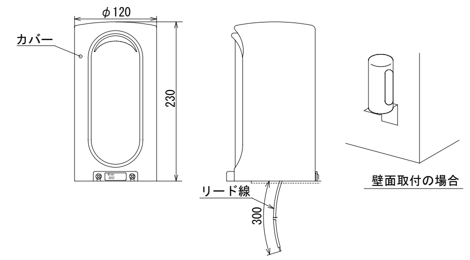
防犯受信機



パナソニックＥＫ１３００相当品

定格	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０－６０Ｈｚ
	１３Ｗ（警報時１８Ｗ）
検知器用電源容量	ＤＣ１２Ｖ　３００ｍＡ
停電補償	約１時間警戒後５分警報（平均）

赤外線式検知器

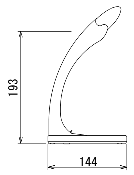


パナソニックＥＫ３１５３相当品

電源電圧	ＡＣ／ＤＣ１２Ｖ
警戒距離	１００ｍまで（投・受光器間距離）ダブルビーム
防雨性能	ＩＰＸ４
接点出力	ＡＣ／ＤＣ２４Ｖ　０．１Ａ（抵抗負荷）
カバー	ポリカーボネート

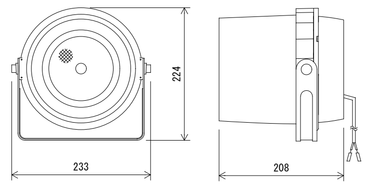
ダイナミック型スピーチマイクロホン

１個納品



形式	ダイナミック形
周波数特性	７０Ｈｚ～１２ｋＨｚ
感度	－５６ｄＢ±３．５ｄＢ
出力インピーダンス	６００Ω±３０％　不平衡形
指向特性	単一指向性

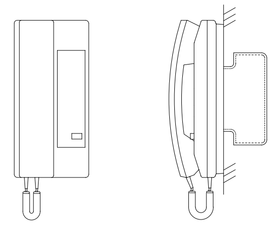
ホーンスピーカ



防水性能：ＩＰＸ４

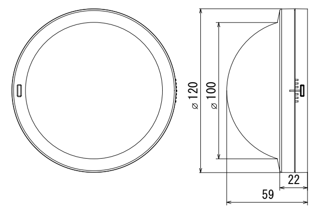
定格入力	６Ｗ（１．７ｋΩ），３Ｗ（３．３ｋΩ），
	１Ｗ（１０ｋΩ）
周波数特性	１３０Ｈｚ～１３ｋＨｚ
出力音圧レベル	９６ｄＢ（1m／1W）
使用スピーカ	１２ｃｍ防滴コーン型
仕上	ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト

インターホン子機



電源電圧	ＤＣ１２Ｖ
形状	露出形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材質	樹脂
備考	親子式・相互式親機

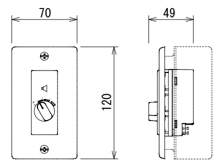
熱線式検知器（ラウンド型）



パナソニックＥＫ３４５３１Ｋ相当品

電圧	ＤＣ１２Ｖ／２４Ｖ（ＤＣ９～３０Ｖ）
消費電流	２０ｍＡ
検知方式	熱線レベル変化分検知方式
有効検知距離	φ２０ｍ
質量	１６０ｇ

アッテネータ（３Ｗ）
アッテネータ（１０Ｗ）



入力容量	０．５～６Ｗ	０．５Ｗ～３０Ｗ
入力インピーダンス	２０ｋΩ～１．６７ｋΩ	２０ｋΩ～３３０Ω
音量調節	５段階（ＯＦＦ、１、２、３、４）	
プレート	新金属プレート	

承認	検図	P & D

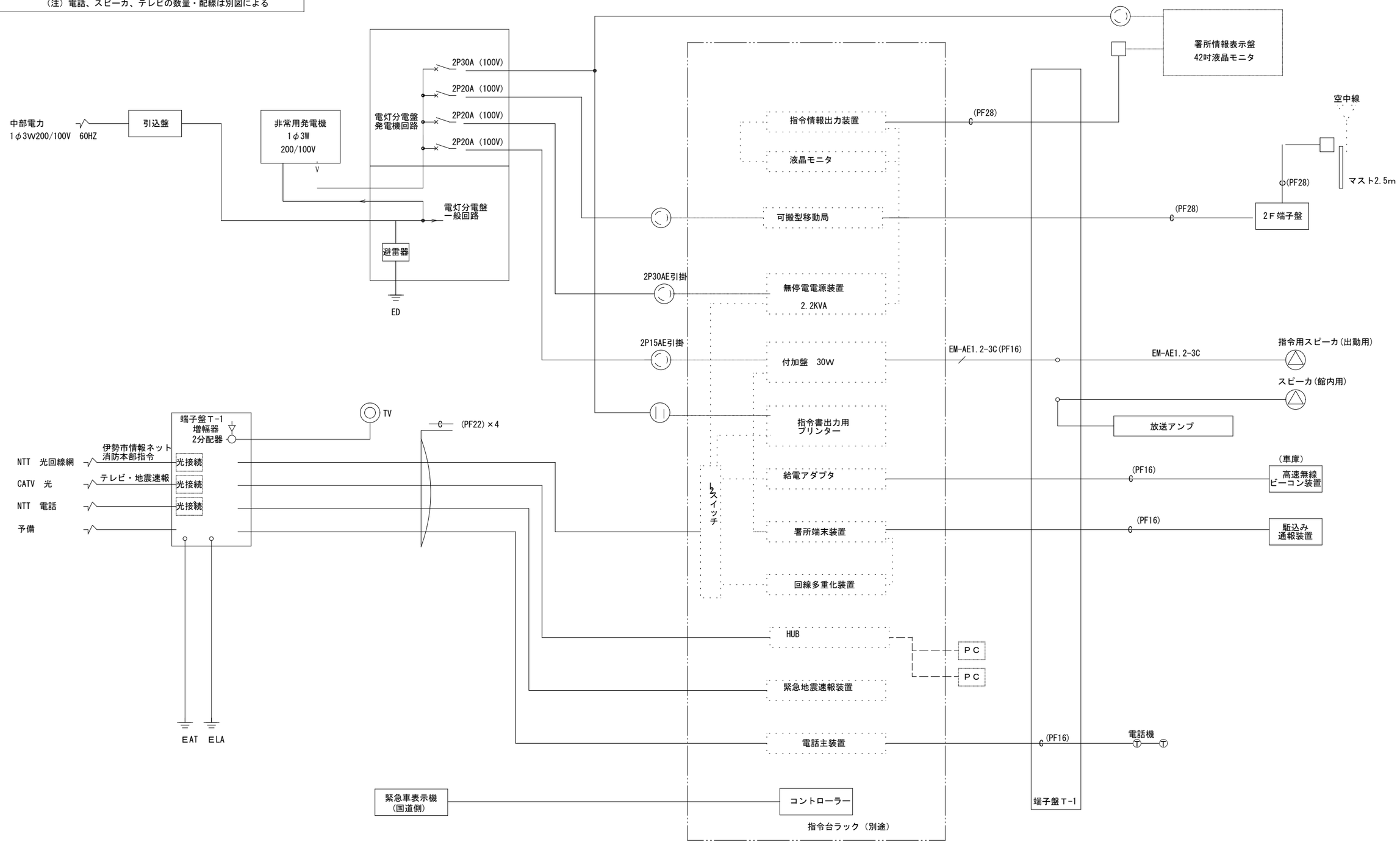
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：弱電機器姿図　SCALE NONE

E-13

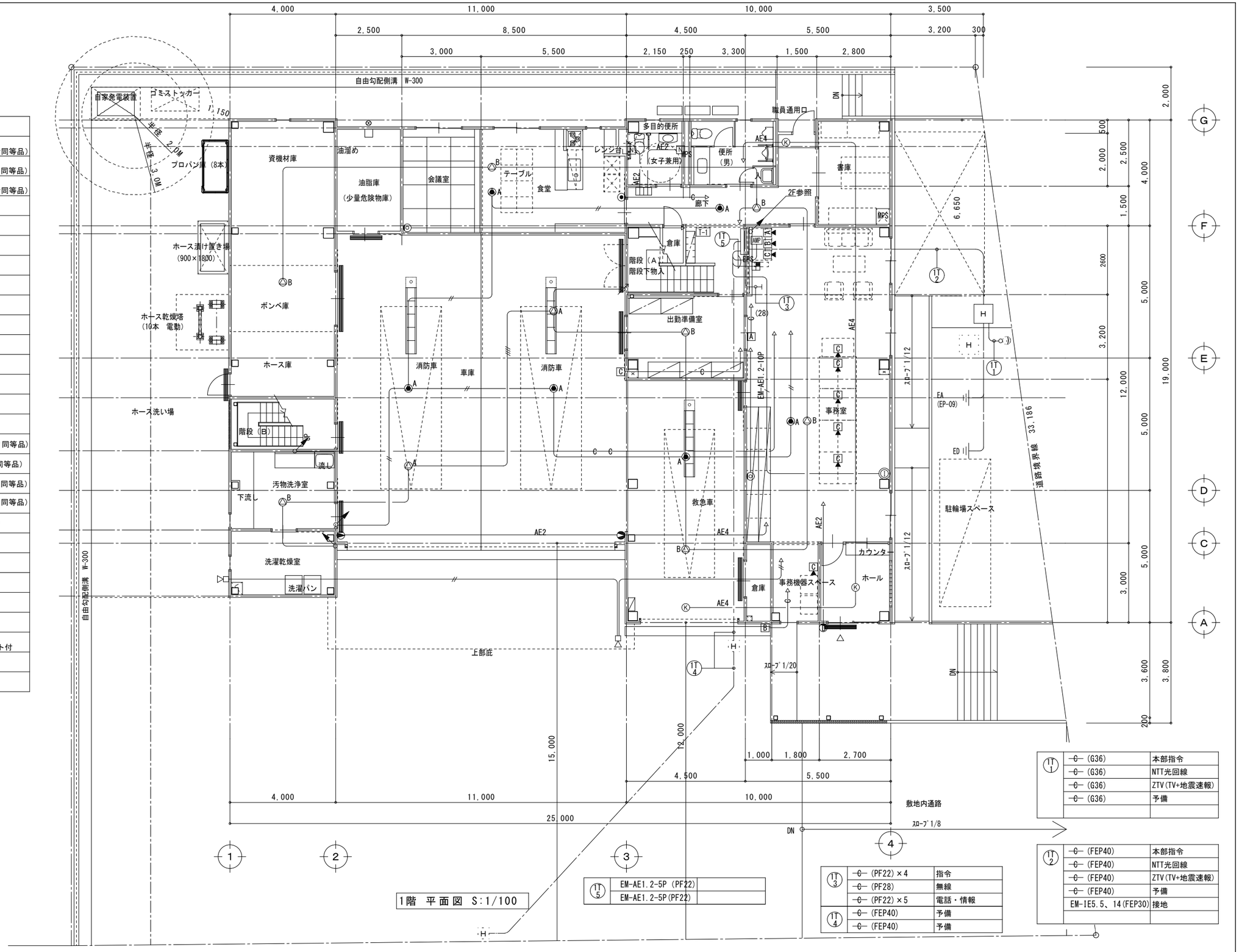
A2→A3縮小 71%

記号	名称・摘要
	本電気工事部分
	別途工事部分
（注）電話、スピーカ、テレビの数量・配線は別図による	



				承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-14
							図面名称：消防指令・通信設備系統図 SCALE NONE	

A2→A3縮小 71%



	端子盤	
A	OAフロア アウトレット	消防無線用 NE35605（パナ同等品）
B	〃	消防指令装置用 NE35605（パナ同等品）
C	〃	電話・情報用 NE35605+NE35003×2（パナ同等品）
	無線アンテナ マスト付 別途工事	
	電話主装置	
	電話アウトレット	壁付 ジャック付
	電話アウトレット	床付 ジャック付
AMP	放送アンプ	
	スピーカ 天井付	館内用
	スピーカ 壁付	館内用
	〃 天井付	出動用
	〃 ホーン型	
	アッテネーター	
	テレビ端子	
	コール親機 WQ4302K(パナソニック同等品)	
N	呼出スイッチ、保持式	WS66772(パナソニック同等品)
	防犯受信機	EK1300（パナソニック同等品）
	赤外線式検知器 投光器	EK3153（パナソニック同等品）
	赤外線式検知器 受光器	EK3153（パナソニック同等品）
K	熱線式検知器	EK3453（パナソニック同等品）
I	インターホン親機	
I	インターホン子機	
D	ドアホン	
A	大型表示盤用アウトレット	消防指令装置用 2ケロプレート付
B	駆け込み通報装置用ボックス	建築工事
C	ビーコンアンテナ用アウトレット	H=2500 ノズルプレート付
H	ハンドホール 600×600×600	中耐600Φ

配線凡例			保護管
拡声		AE1.2-2C	PF16
		AE1.2-3C	PF16
		AE1.2-4C	PF16
テレビ		S-5C-FB	PF16
共通	AE2	AE1.2-2C	PF16
	AE3	AE1.2-3C	PF16
	AE4	AE1.2-4C	PF16
	AE5P	AE1.2-5P	PF22
	AE10P	AE1.2-10P	PF28
		(PF16)	
	(22)	(PF22)	
	(28)	(PF28)	
天井内転がし部分のみケーブル施工とする			
OA床器具はコンセント設備に含む			

11/1	(G36)	本部指令
	(G36)	NTT光回線
	(G36)	ZTV(TV+地震速報)
	(G36)	予備

11/2	(FEP40)	本部指令
	(FEP40)	NTT光回線
	(FEP40)	ZTV(TV+地震速報)
	(FEP40)	予備
	EM-IE5.5、14(FEP30)	接地

11/3	(PF22)×4	指令
	(PF28)	無線
	(PF22)×5	電話・情報
11/4	(FEP40)	予備
	(FEP40)	予備

11/5	EM-AE1.2-5P (PF22)	
	EM-AE1.2-5P(PF22)	

1階 平面図 S:1/100

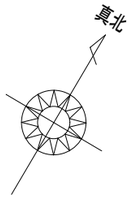
承認	検図	P & D

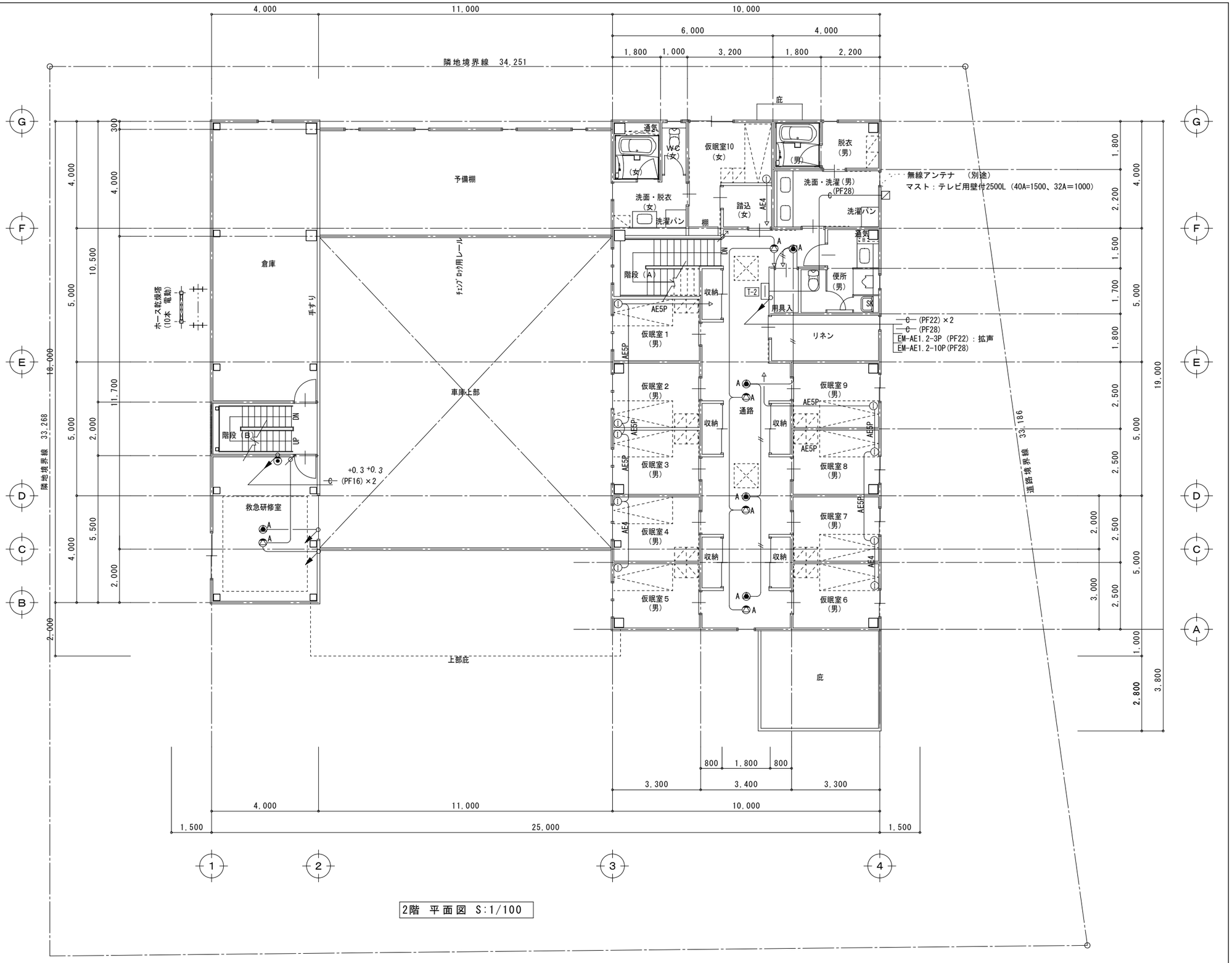
工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：弱電設備 1階 平面図 SCALE 1/100

E-15

A2→A3縮小 71%



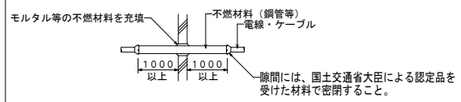


2階 平面図 S:1/100

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	E-16
							図面名称：弱電設備 2階 平面図 SCALE 1/100	

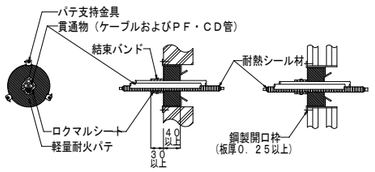
A2→A3縮小 71%

［防火区画］　ケーブル及び樹脂製可とう電線管の貫通処理

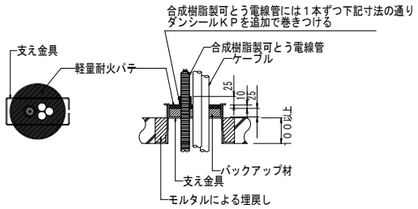


上記の工法　又は、下記に示す工法にて施工すること。

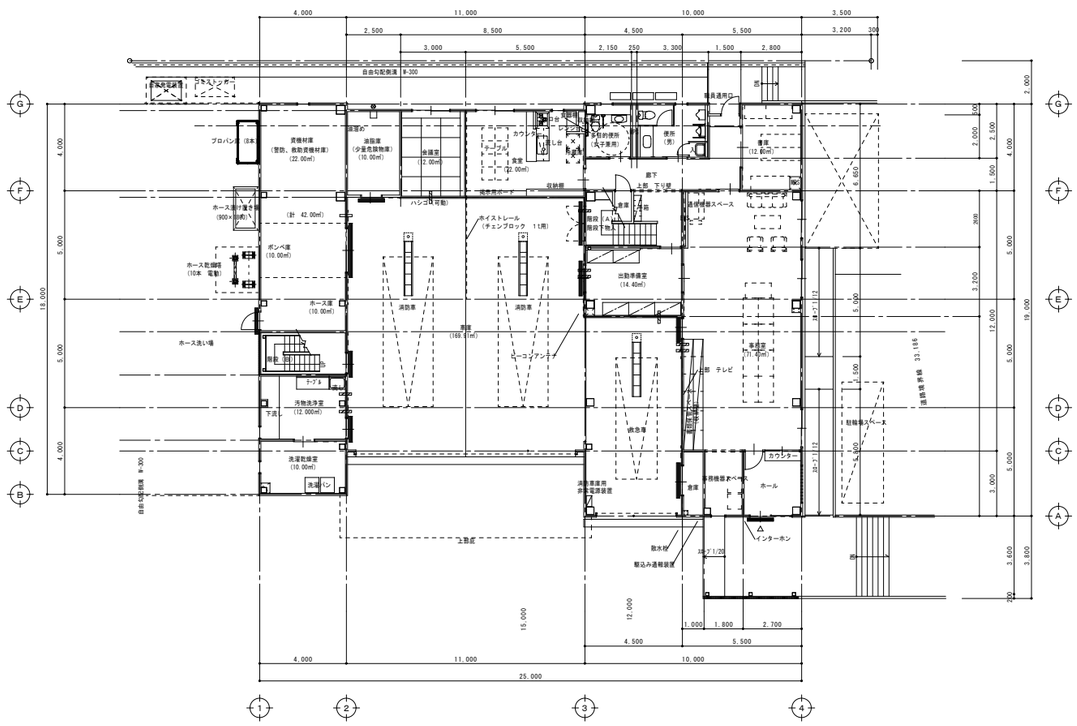
国土交通大臣認定番号　ＰＳ０６０ＷＬ－０６９４（壁）
貫通穴φ１６０㎜以下・占積率：２６．６%以下



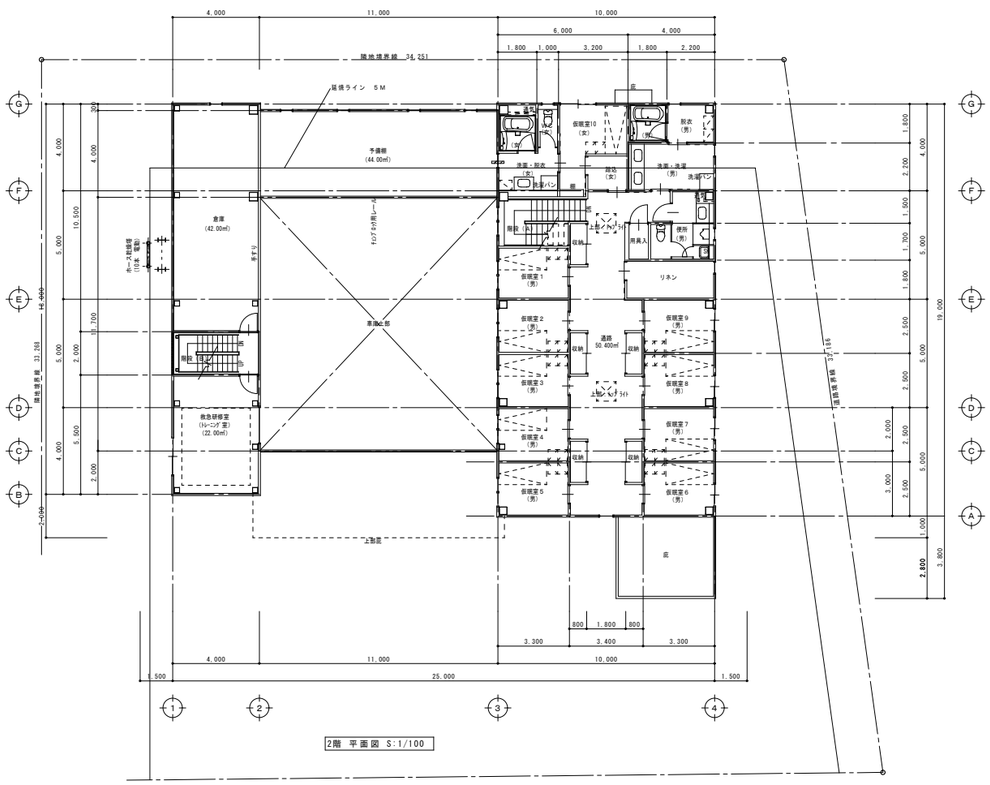
国土交通大臣認定番号　ＰＳ０６０ＦＬ－０７０３（床）
貫通穴φ２１０㎜以下・占積率：５６．９%以下



貫通箇所（各設備共用）



1階　平面図　S:1/100



2階　平面図　S:1/100

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：防火区画貫通処理図　　SCALE　NONE

E-17

A2→A3縮小 71%

機械設備工事特記仕様書

1　工事名称　　伊勢市消防署玉城出張所新築工事

2　工事場所　　三重県度会郡玉城町佐田　　地内

3　建築概要　　S造　2階建　　延べ面積　761.95㎡

消施令の適用　　15項

4　適用基準　防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書「最新版」
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）最新年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）最新年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針　最新年版」
独立行政法人　建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針　最新年版」

5　一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。
設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。

(1) 提出図書
1) 工事書類　：・施工計画書　　・打合記録　　・材料搬入報告書
各2部ずつ　　・施工要領書　　・工程表　　・安全・訓練実施記録
・機器明細図　　・工事日報　　・品質確認書類
・工事写真（データ）　　等
2) 工事完成図書：
・完成図（竣工図［製本3(原寸1部,A3(見開き) 2部)］・施工図［製本1部］）
・機器完成図（ファイル等2部）
・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）　2部
・機器性能試験成績書　2部
・総合調整測定表（試験結果・測定結果等）　2部
・官公署届出書類控、検査済証　2部
・出来形確認書類　2部　等
※ 竣工図・施工図はＣＡＤにより作成すること。
※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル
（デジタル工事写真編、工事完成図書編）に基づき電子納品（3部）すること。
※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（平成28年版）に従い撮影すること。

(2) 機器及び材料等
工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3) 官公署等への届出手続
工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。
1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・本工事（・建築工事・電気設備工事・機械設備工事）
・別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。

(4) 品質管理
工事施工に関して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

(5) 出来形管理
以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。
1) 各種機器据付
・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
・ 基礎寸法　・ 水平、垂直等
2) 配管・ダクト工事
・ 支持間隔　　・ 振れ止め支持間隔
3) 屋外排水工事
・ 排水勾配　　・ 桝の深さ
4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ

(6) 製品確認
発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
☐ 適用する　　■ 適用しない

(7) 耐震安全性の分類
構造体（ ）類　建築非構造部材（ ）類　建築設備（ ）類

(8) 機器の地震力（主要機器）　地域係数 (1.0)
機器名
設置階　（　　）設計標準震度Ks（　　）　地域係数 (1.0)
水槽類
設置階　（　　）設計標準震度Ks（　　）
その他監督員が指示するもの

(9) 冷媒（フロン類）の回収　☐適用する　☐適用しない
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第３編 ２．４．３により、次の書類の写しを監督員に提出すること。
・フロン回収行程管理票
・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。
パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

(10) 中間技術検査
実施回数　（　　）回

(11) 発生材の処理等
1) 引渡しを要するもの　（　　）
上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
2) 特別管理産業廃棄物　（　　）
処理方法　（　　）
3) 現場内において再利用を図るもの　☐発生土　☐その他（　　）
4) 再資源化を図るもの　（ ☐ コンクリート塊　☐ アスファルトコンクリート塊
☐ 建設発生木材 ）
5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。
6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（ﾏﾆﾌｪｽﾄA、B2、D、E票を提示すること。）

(12) 電気保安技術者
☐　適用する　　■　適用しない

(13) 施工条件
監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。
1) 施工可能日　■ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり　☐ 指定なし
（　　）
2) 施工可能時間帯 ☐ 指定なし　■ 指定あり　（　　時 ～　　時 ）

(14) 概成工期
建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。
■ 指定なし　☐ 指定あり　（ 平成　年　月　日 ）

(15) 仮設工事　　構内既存の施設
1) 便所　☐ 利用できる　■ 利用できない
2) 工事用水　☐ 利用できる（有償）　☐ 利用できる（無償）　■ 利用できない
3) 工事用電力　☐ 利用できる（有償）　☐ 利用できる（無償）　■ 利用できない
※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

(16) 足場
1) 内部足場　☐　脚立　☐　足場板
2) 外部足場☐ A種　☐ B種　☐ C種　☐ D種　☐ E種　☐ F種
3) 防護シート等による養生 ☐　適用する　☐　適用しない
※設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

(17) 建築材料等
1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）及び別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。
品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
(認定製品品名:　　)
4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。
(認定製品の品名：　・間伐材製工事用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板
（　　）

(18) 建設副産物
新築増築の延べ面積が500㎡以上の工事、及び修繕または模様替えは受注額１億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬入がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出すること。
また、工事完了後には「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、　監督員に提出すること。
計画書（実施書）の提出とともにＪＡＣＩＣが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せておこなうこと。

(19) 三重県産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月３１日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

(20) 事故の発生時
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。
なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

(21) 既設との取合い・養生
本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。
また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にならい復旧すること。

(23) 県内企業優先使用
本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。

(24) 不当介入を受けた場合の措置
暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第１項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

(25) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間
1) 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
2) 検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

(26) 火災保険等
三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。
①保険の目的物　　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
②保険の加入期間　　工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
③保険金額　　原則として請負金額に相当する金額

(27) 工事目的物の部分引渡し等について
☐　部分引渡しあり　　☐　部分使用あり
・指定部分（　　）　・時期（　平成　年　月　日　）

(28) 埋蔵文化財調査
埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
☐　発掘調査等の実施あり
■　発見された場合、発掘調査等の実施あり

(29) 不正軽油の使用の禁止
1) 一般事項
工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の使用によって、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。
また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。
また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

(30) 社会保険等未加入対策
・適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である業者を
下請契約（受注者が直接締結する下請契約に限る。）の相手方としてはならない。
・下請契約に先立って、選定の検討となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにも関わらず社会保険等が未加入である場合には、
早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。
・受注者は、再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請け業者が社会保険等に加入していることを確認すること。

(31) その他
1) 使用機械
低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
2) 測定機器の校正記録
工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。
測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。

6

工事種目　給排水衛生設備工事
(1) 屋外給水設備工事　(2) 屋内給水設備工事　(3) 屋外排水設備工事
(4) 屋内排水通気設備工事　(5) 衛生器具設備工事　(6) 給湯設備工事
(7) 給湯設備工事　(8) 屋外ガス設備工事　(9) 屋内ガス設備工事

空調設備工事
(1) 機器設備工事　(2) 配管設備工事　(3) 換気設備工事
(4) 制御設備工事

7

工事概要

給排水衛生設備工事
(1) 給水設備工事
本工事は図示のごとく量水器40A（別途工事）以降を工事範囲とし、直圧給水方式により、所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10K を使用する。
(2) 屋外排水設備工事
本工事は、汚水、雑排水を第一桝より合流方式とし、公共下水桝（別途工事）に至る配管、桝を勾配に十分留意し敷設するものとする。
桝は公団型、現場打ちまたはプラスチック桝とする。
(3) 屋内排水通気設備工事
本工事は汚水、雑排水を分流式（又は合流式）により屋外桝に接続放流する。
(4) 衛生器具設備工事
衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるものとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。
(6) 給湯設備工事
ガス湯沸器による局所給湯方式とし、図示の各所に給湯する。
給湯器は「建告１３８８号に適合する構造方式とする」
コンクリート壁等に取付ける場合は、間柱と同寸法の竪木材当て木を取付ける。
合板張り壁等に取付ける場合は、間柱と同寸法の竪木材当て木を取付ける。
金属製パネル又は軽量鉄骨ボード壁等に取付ける場合は、
アングル加工材又は竪木材当て木等を取付ける。
(7) LP ガス設備工事
LPG集合装置新設により配管にて図示の各所に配管供給する。
ホースコックは、過流出防止機構（ヒューズ）付きとする。

空調設備工事
(1) 機器設備工事
本工事は、空調ヒートポンプ式エアコンにより冷暖房を行うものとする。
各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。

空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件

		乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6
	冬期	1.7	-1.3	49.6
室内条件	夏期	28	-	50
	冬期	18	-	40

(2) 配管設備工事
各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。
(3) 換気設備工事
排気ファン、天井扇の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。

8　総合調整
(1) 風量調整
■　適用する　　☐　適用しない
(2) 水量調整
■　適用する　　☐　適用しない
(3) 室内外空気の温度測定
■　適用する　　☐　適用しない
(4) 室内外空気の湿度測定
☐　適用する　　■　適用しない
(5) 室内気流及びじんあいの測定
☐　適用する　　■　適用しない
(6) 騒音の測定
■　適用する　　☐　適用しない
(7) 飲料水の水質の測定(水道法施行規則第10条による水質検査)
☐　適用する　　■　適用しない
のうち　一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、
有機物（全有機炭素（TOC）の量）、ｐH値、味、臭気、色度、濁度　について測定を行なうこと。
※遊離残留塩素　については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。
(8) その他（　）
☐　適用する　　☐　適用しない
9　工事細目
(1) 配管材料

■　給水管	■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管　JWWA K116 (一般: SGP-VB) ☐ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管　WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB　地中 ：SGP-FVD) ※継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。 ■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6742 (屋内・屋外地中：HIVP) ☐ 水道配水用ポリエチレン管　JWWA K 144　(地中：PE) ☐ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115 ☐ 一般配管用ステンレス鋼鋼管　JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL,FL面より+100立ち上げた所までとする。
■　雑排水管	☐ 配管用炭素鋼鋼管(白)　JIS G 3452 (SGP-白) ※継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、ＭＤ継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 土間：　硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6741 (VP) ☐ 土間：　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管　JIS K 9798 (RF-VP) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。 ■ 排水・通気用耐火二層管　JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■　通気管	☐ 配管用炭素鋼鋼管(白)　JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、ＭＤ継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6741 (VP) ☐ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管　JIS K 9798 (RF-VP) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。　RF-VPは屋外露出不可 ■ 排水・通気用耐火二層管　JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■　汚水管	☐ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管　WSP 042 ※同上ＭＤ継ぎ手　JPF MDJ 002 ■ 土間：　硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6741 (VP) ☐ 土間：　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管　JIS K 9798 (RF-VP) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。 ■ 排水・通気用耐火二層管　JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
☐　鉛管	☐ 排水・通気用鉛管　SHASE-S203
■　給湯管	■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　JWWA K 140 (一般 ：SGP -HVA　地中 ：内外面耐熱性硬質塩ビライニング鋼管) ☐ 水道用ステンレス鋼鋼管JWWA G 115 ☐ 一般配管用ステンレス鋼鋼管　JIS G 3448
■　ガス管	■ 配管用炭素鋼鋼管（白）　JIS G 3452 (SGP- 白) ■ 土間：　塩化ビニル被覆鋼管（黒） ■ ガス用ポリエチレン管　JIS K 6774　(地中：PE) ※地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL,FL面より+100立ち上げた所までとする。 （注）都市ガスの場合、ガス管欄を供給業者の仕様に適応修正のこと。
☐　消火管	☐ 配管用炭素鋼鋼管（白）　JIS G 3452 (SGP- 白) ☐ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※地中埋設管VS は、取出し位置のGL面又はSL,FL面より+100立ち上げた所までとする。
■　屋外埋設排水	■ 硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6741 (VP)　　150A以上はVU ☐ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管　JIS K 9798 (RF-VP) ☐ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管　AS-58 (RｅＰ-VU) ☐ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管　JIS K 9797 (RS-VU) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。 ☐ コンクリート管　JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品） (1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管)
☐　冷温水配管	☐ 配管用炭素鋼鋼管（白）　JIS G 3452 (SGP- 白) ☐ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　JWWA K 140 (一般 ：SGP -HVA)
☐　冷却水管	☐ 配管用炭素鋼鋼管（白）　JIS G 3452 (SGP- 白) ☐ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管　JWWA K116　(一般: SGP-VA, VB) ☐ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管　WSP 011　(一般: SGP-FVA, FVB)
■　ドレン管	☐ 配管用炭素鋼鋼管（白）　JIS G 3452 (SGP- 白) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管　JIS K 6741 (VP) ☐ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管　JIS K 9798 (RF-VP) ※125A以下はVP、150A以上はVUとする。　RF-VPは屋外露出不可。 ☐ 排水・通気用耐火二層管　JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■　冷媒管	☐ 銅及び銅合金継目無管　硬質、軟質または半硬質　JIS H3300 ■ 断熱材被覆銅管　原管はJIS H3300による。 製造者標準品 ただし、保温厚は　ガス管　20mm、液管　10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい) とする。 ※冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。

※ 弁類揚水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Ｋとし、それ以外は　5K　とする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：特記仕様書1　　SCALE　N/S

M-01

A2→A3縮小 71%

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 ー 2m 以下 125A以上 ー 3m以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下 ー 1m 以下 100A以上 ー 2m以下
鉛管	1.5m以下
鋳鉄管	標準図による

※横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管 鋳鉄管	-	50A～100A	125A～
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A～40A	50A～100A	125A～

※冷媒用銅管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は
液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事
矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC 、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 □ アングルフランジ工法
□ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト ■ スパイラルダクト
■ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事
1) 材料

■ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K （屋内一般等） 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K			
■ 給水管	□ 排水管	■ 給湯管	□ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	■ 冷媒管	□
（屋外等）			
□ 給湯管 (70℃以上)	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管
■ 冷媒管	□	□	□

■ ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット （防火区画貫通部等） 1号JIS A 9504			
■ 給水管	□ 排水管	■ 給湯管	□ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	■ 冷媒管	□ 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 （屋内一般等） 保温板 JIS A 9511 3号			
□ 給水管	□ 排水管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷水管 (2～4℃)
□ ブライン管	□	□	□
（屋外等）			
■ 給水管	□ 排水管	□ 給湯管 (70℃以下)	□ 冷水・冷温水管
□ ブライン管	□ 消火管	□	□

■ 調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 （露出）			
□ 給水管	■ 排水管	□ 通気管	■ ドレン管
■ ガス管	□ 消火管	□ 油管	□ 冷却水管

2) 保温厚
・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯 膨張・温水・消火管	～80A	100～150A	-	200A～	-
蒸気管	～25A	-	32～50A	65A～	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	～25A	32～200A	250A～

・ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	～25A	32～200A	250A～	-
冷水管（冷水温度2～4℃）	-	-	～20A	25A～100A	125A～	-
ブライン管	-	-	-	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出［機械室、書庫、倉庫］、隠蔽部）、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出［一般居室、廊下］）、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部（ロックウール）
75mm	煙導（ロックウール）

3) 種別
給排水衛生設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕上
天井内・ＰＳ内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内（ピット内）	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※1) 排水管については、上表暗渠内（ピット内）の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※2) サヤ管工法；架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※3) 消火管の保温は北勢・伊賀の山沿い寒冷地に限る。(消防打合せにより内容変更)

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・ＰＳ内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内（ピット内）	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	SUS鋼板仕上	

※1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 ■ SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タンク 冷水・冷温水ヘッダ	鋲	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
温水・膨張・還水 貯湯タンク 温水・蒸気ヘッダ 熱交換器	鋲	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	

※1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様

			1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鋲	保温板	カラー鉄板		
		機械室	鋲	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、ＤＳ内		鋲	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		鋲	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板		
		機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サプライチャンバー			鋲	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網	
消音チャンバー、エルボ			鋲	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽		鋲	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト 円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道			ブランケット	鉄線	カラー鉄板		

※1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55
による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。
※3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種別	塗り回数 下塗り	 中塗り	 上塗り	備考
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工
ダクト保温施工範囲
1．ＳＡ
■ 保温あり □保温なし ■図面による □その他（ ）
2．ＥＡ
■ 保温あり □保温なし ■図面による □その他（ ）
3．ＲＡ
■ 保温あり □保温なし ■図面による □その他（ ）
4．ＯＡ
■ 保温あり □保温なし ■図面による □その他（ ）
チャンバー内貼施工
■ 内貼あり（ 25mm ） □内貼なし ■図面による □その他（ ）

(4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径（保温されるものは、保温厚さを含む）より40mm程度大 (=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト）とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 請負代金額が1億を超える大規模工事については、地中梁以外の梁抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製とする。
4. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

10 共通事項
1) 陸上ポンプ、送排風機（エアハン含む）の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かるように、必要箇所（機械室、ＰＳ内等）に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管（給水、消火、ガス）には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を施工すること。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
・接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
・土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
14) 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。

11 指定資材及び参考見積りメーカー

分類	資材名		規格・メーカー等 （アイウエオ順）
管	塩ビライニング鋼管		「水」マーク表示品 WSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管		JISマーク表示品
	塩化ビニル管		JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	リサイクル塩化ビニル管		JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品
	鉛管		SHASE-S表示品
	銅管	冷媒用	㈱イノアック住環境 ㈱コベルコマテリアル銅管 ㈱UACJ銅管 因幡電機産業（株） または同等品以上
	ダクタイル鋳鉄管	水道用	「水」マーク表示品
	ステンレス鋼管		JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	耐火二層管		国土交通大臣認定品
継手	ライニング鋼管継手	管端防食	JPF規格品 「水」マーク表示品
		フランジ	WSP規格品
	鋼管継手	外面含む	JISマーク表示品 JPF規格品 WSP規格品
	ビニル管継手		JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	銅管継手	冷媒用	㈱イノアック住環境 東洋フイツテング㈱ 因幡電機産業（株） または同等品以上
	ステンレス鋼管継手		JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品
	耐火二層管継手		国土交通大臣認定品
	伸縮管継手（ベローズ形、スリーブ形）		JISマーク表示品(ベローズ型) SHASE-S表示品(スリーブ型)
	可とう継手		トーフレ㈱ 日立金属㈱ ㈱ベン ㈱ヨシタケ または同等品以上
弁	青銅弁・鋳鉄弁		JISマーク表示品
	その他弁類		㈱キッツ 東洋バルヴ㈱ 日立金属㈱ ㈱ベン ㈱ヨシタケ または同等品以上
保温材	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材		JISマーク表示品
ポンプ類	横型遠心ポンプ 水中モーターポンプ （汚水用、雑排水用、汚物用） 立形遠心ポンプ		設備機材等評価名簿による。
電動機	電動機		シンフォニアテクノロジー㈱ ㈱東芝 ㈱日立製作所 富士電機㈱ パナソニック㈱ 三菱電機㈱ ㈱明電舎 または同等品以上
衛生器具	衛生陶器・水栓		JISマーク表示品
	衛生器具ユニット		設備機材等評価名簿による。
タンク	FRP製パネルタンク 密閉型隔膜式膨張ﾀﾝｸ（空調用・給湯用） ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（溶接組立形） ｽﾃﾝﾚｽ鋼板製ﾊﾟﾈﾙﾀﾝｸ（ﾎﾞﾙﾄ組立形）		設備機材等評価名簿による。
桝	桝類	公団型	協和コンクリート工業㈱ ネオジオインフラテック㈱ 桑名工業㈱ （有)丸八産業 または同等品以上
		塩ビ桝	(公社）日本下水道協会、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ･ﾏｽﾏﾝﾎｰﾙ協会 規格対象品又は準拠品
鋳鉄製品	排水金物		㈱オオタケファンドリー カネソウ㈱ ダイドレ㈱ ㈱中部コーポレーション 福西鋳物㈱ または同等品以上
	鋳鉄製ふた	マンホールふた 弁桝ふた	設備機材等評価名簿による。
量水器	量水器		愛知時計電機㈱ アズビル金門㈱ または同等品以上
ガス器具	ガス配管器具		I・T・O㈱ ㈱桂精機製作所 ㈱藤井合金製作所 富士工器㈱ または同等品以上
	ガス給湯器	都市ガス	ガス供給者の承認する製造者の製品
		ＬＰＧガス	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき省令による証票を付したもの
ガス警報	ガス警報システム		アズビル金門㈱ 富士工器㈱ 富士電機㈱ パナソニック㈱ 矢崎総業㈱ または同等品以上
厨房機器	厨房システム		設備機材等評価名簿による。
濾過装置			オルガノ㈱ 栗田工業㈱ サンエイ工業㈱ ㈱三協 ㈱三進ろ過工業 ㈱タクマ 理水化学㈱ または同等品以上
滅菌機			㈱磯村 ㈱オーヤラックス 水道機工㈱ 日本曹達㈱ または同等品以上
消火装置	消火栓類		㈱立売堀製作所 ㈱北浦製作所 ㈱村上製作所 ㈱横井製作所 または同等品以上
	消火栓ホース		日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム		設備機材等評価名簿による。
浄化槽	合併浄化槽	RC造	㈱ダイキアクシス ㈱西原ネオ フジクリーン工業（株） 藤吉工業（株） または同等品以上
		FRP	国土交通大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ		㈱LIXIL 積水化学工業㈱ ネポン㈱ パナソニック㈱ ロンシール機器㈱ または同等品以上
ブロア			朝日機工㈱ ㈱アンレット 新明和工業㈱ 安永エアポンプ㈱ または同等品以上
阻集器	グリス・ガソリントラップ		カネソウ㈱ 下田エコテック㈱ ホーコス㈱ または同等品以上
特殊ガス	特殊ガス設備		エア・ウォーター（株） ㈱セントラルユニ 日酸TANAKA(株) 日本エア・リキード㈱ または同等品以上
計測機器			㈱島津製作所 東亜DKK㈱ ㈱日立製作所 富士精密電機㈱ 横河電機㈱ または同等品以上
化学実験装置			㈱島津理化 ㈱ダルトン ㈱ヤガミ ヤマト科学㈱ または同等品以上
製缶類	製缶類・熱交換		㈱島倉鉄工所 ㈱広島鉄工 ㈱ベルテクノ ㈱前田鉄工所 森松工業㈱ または同等品以上
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製） 無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）		設備機材等評価名簿による。
	電気温水器		愛知金属工業㈱ ㈱東芝 ㈱日本イトミック パナソニック㈱ 三菱電機㈱ または同等品以上
ボイラー	鋼製簡易ボイラー 鋳鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー		設備機材等評価名簿による。
冷凍機	チリングユニット 吸収冷温水機 吸収冷温水機ユニット 遠心冷凍機		設備機材等評価名簿による。
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット コンパクト形空気調和機 パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空気調和機		設備機材等評価名簿による。
冷却塔	冷却塔		設備機材等評価名簿による。
防振装置	防振材・防振装置		倉敷化工㈱ 特許機器㈱ ㈱ブリヂストン ㈱明治ゴム化成 または同等品以上
加湿器			ウェットマスター㈱ ピーエス工業㈱ または同等品以上
送風機類	遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機		設備機材等評価名簿による。
換気扇	換気扇類		テラルクリタ㈱ ㈱東芝 日立アプライアンス㈱ パナソニック㈱ 三菱電機㈱ または同等品以上
全熱交換器	全熱交換器（回転形、静止形） 全熱交換ユニット		設備機材等評価名簿による。
空気清浄装置	ｴｱﾌｨﾙﾀｰ（ﾊﾟﾈﾙ形・折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器		設備機材等評価名簿による。
ダクト付属品	吹出口・吸込口 風量ユニット（定風量、変風量）		設備機材等評価名簿による。
ダクト	亜鉛鉄板		JIS規格品
	ステンレス鋼板		JIS規格品
	スパイラルダクト		㈱栗本鐵工所 （株）新富士空調 フジモリ産業㈱ または同等品以上
	フレキダクト		アライ実業㈱ ㈱オーツカ ㈱栗本鐵工所 または同等品以上
自動制御	自動制御システム		設備機材等評価名簿による。

【注記】①JISマーク、水マーク（JWWA:日本水道協会規格）、WSP(日本水道鋼管協会規格）、SHASE-S(空気調和・衛生工学会規格）、JPF(日本金属継手協会規格)
SAS(ステンレス協会規格）の番号については、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」による。
②JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。
③ 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

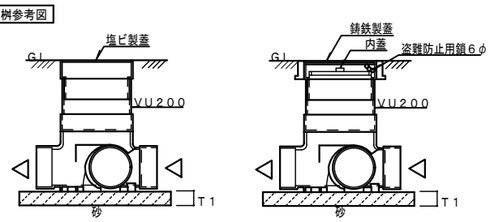
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
図面名称：特記仕様書2 SCALE N/S
M-02
A2→A3縮小 71%

凡　　例

記　号	名　称	記　号	名　称
———— - ————	給　水　管		給　水　栓
————	汚　水　・　排　水　管		混　合　水　栓
————	屋　外　排　水　管		排　水　金　物
- - - - - - - - - - - -	通　気　管		床　上　掃　除　口
———— I ————	給　湯　管		弁類　ＪＩＳ１０ｋｇ／ｃ㎡
———— G ————	ガ　ス　管		汚　水　小　口　径　桝
			雨　水　桝

汚水小口径桝参考図

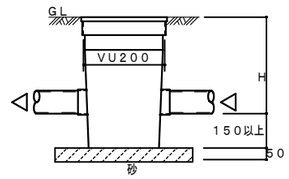


機　器　表

記　号	機　器　名　称	機　器　仕　様	電　源 φ－V	台　数
GW－１	ガス給湯器（屋外壁掛形２４号）	付属品　：メインリモコン、風呂リモコン、リモコンコードＸ２、配管カバーＬ＝５００程度、他付属品共	１φ１００Ｖ	１
		ガス消費量：　５０．０ｋＷ：ＬＰＧガス仕様		
GW－２	ガス給湯器（屋外壁掛形２０号）	付属品　：メインリモコン、風呂リモコン、リモコンコードＸ２、配管カバーＬ＝５００程度、他付属品共	１φ１００Ｖ	１
		ガス消費量：　４１．６ｋＷ：ＬＰＧガス仕様		
GW－３	ガス給湯器（屋外壁掛形１０号）	付属品　：メインリモコン、リモコンコード、配管カバーＬ＝５００程度、他付属品共	１φ１００Ｖ	２
		ガス消費量：　２１．１ｋＷ：ＬＰＧガス仕様		
	プロパンガス集合装置	５０Ｋｇ８本立（4+4本）　自動切換装置、転倒防止鎖、メーターコック４０Ａ　その他付属品共　ガスメーターは貸与品		１
	プロパンガスボンベ庫	５０Ｋｇ８本立（4+4本）　乙種防火仕様：後部パネル付　　２０００Ｘ１０１５Ｘ２１３０Ｈ　　※基礎は建築工事		１

注）能力は参考数値とする。

雨水小口径桝参考図

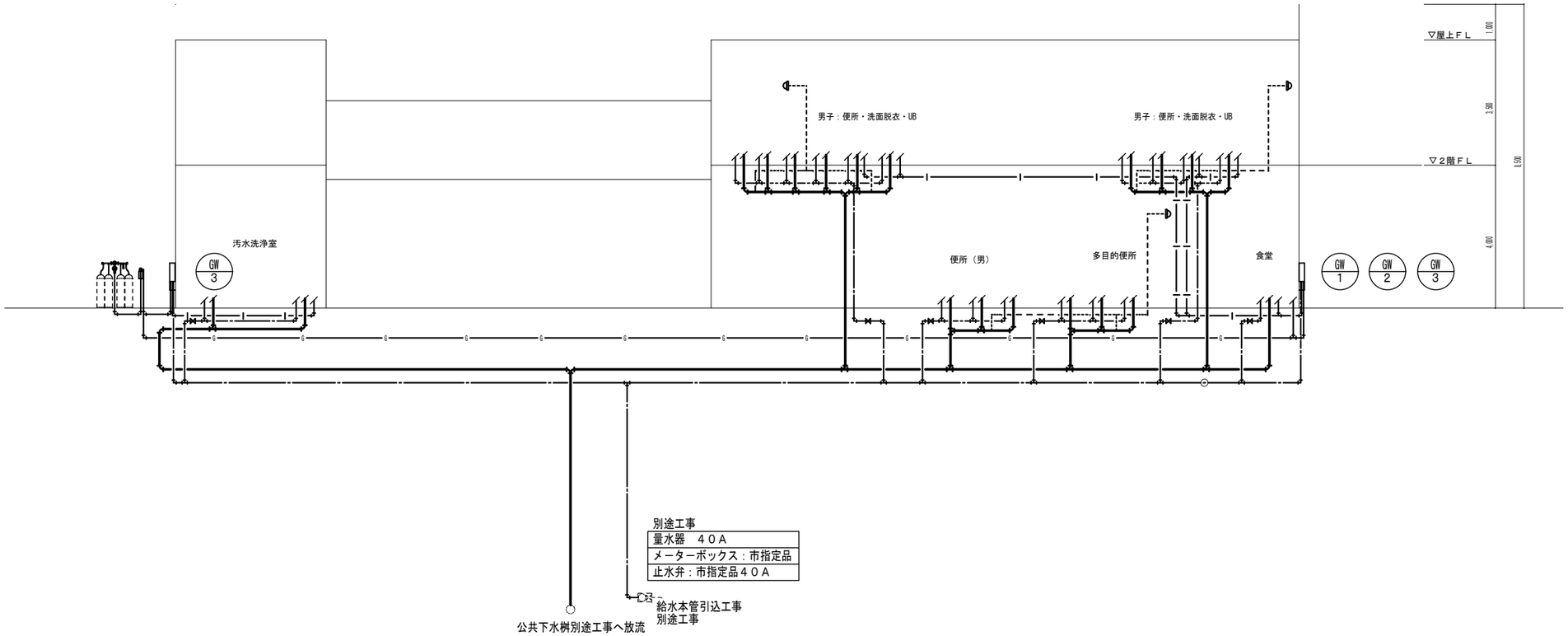


衛生機器表

名　称	ＴＯＴＯ品番	ＬＩＸＩＬ品番	合計	1階便所・男	1階多目的便所女子兼用	1階食堂	1階汚物洗浄室	1階洗濯乾燥室	1階車庫	2階便所・男	2階洗面洗濯・男	2階ＵＢ・男	2階ＷＣ・女	2階洗面脱衣・女	2階ＵＢ・女	屋外
洋風便器	ＣＳ５９７ＢＭＳ,ＳＨ５９６ＢＡＹＲ,ＴＣＦ５８３０ＡＵＲ（温水洗浄便座）,ＹＨ７０２（二連式紙巻器）	ＢＣ-Ｐ２０Ｈ,ＤＴ-ＰＡ２５０ＨＣＨ,ＣＷ-ＰＡ１１ＦＬＱＤ-ＮＥ（温水洗浄便座）,ＣＦ-００８-１,ＣＦ-２００Ｓ,ＣＦ-６３ＨＳＴ（二連式紙巻器）	2	1						1						
洋風便器	ＣＳ５９７ＢＣＳ,ＳＨ５９６ＢＡＹＲ,ＴＣＦ５８４０ＡＵＰＲ（温水洗浄便座）,ＹＨ７０２（二連式紙巻器）	ＢＣ-Ｐ２０ＳＭ,ＤＴ-ＰＡ２５０ＣＨ,ＣＷ-ＰＣ１２ＱＤ-ＮＥＣＫ（温水洗浄便座）,ＣＦ-００８-１,ＣＦ-６３ＨＳＴ（二連式紙巻器）	1		1											
洋風便器	ＣＳ５９７ＢＭＳ,ＳＨ５９７ＢＡＹＲ（手洗付）,ＴＣＦ５８３０ＡＵＲ（温水洗浄便座）,ＹＨ７０２（二連式紙巻器）,ＹＴ５００（タオル掛け）	ＢＣ-Ｐ２０Ｈ,ＤＴ-ＰＡ２８０ＨＣＨ（手洗付）,ＣＷ-ＰＡ１１ＦＬＱＤ-ＮＥ（温水洗浄便座）,ＣＦ-００８-１,ＣＦ-２００Ｓ,ＣＦ-６３ＨＳＴ（二連式紙巻器）,ＫＦ-ＡＡ７０Ｐ（タオル掛け）	1									1				
Ｌ型手すり	Ｔ１１２ＣＬ１０,付属固定金具共	ＫＦ-９２０ＡＥ７０Ｄ１２Ｊ,付属固定金具共	1		1											
はねあげ手すり	Ｔ１１２Ｈ７Ｒ,付属固定金具共	ＫＦ-４８１ＥＨ７０Ｊ,付属固定金具共	1		1											
自動洗浄小便器	ＵＦＳ９００ＪＳ	Ｕ-Ａ５１ＡＰ	3	2						1						
掃除流し	ＳＫ２２Ａ,ＴＫ２２,Ｔ２３ＡＥＱ２０Ｃ,Ｔ９Ｒ,Ｔ３７ＳＧＥＰ,ＨＨ０４０６０＊２	Ｓ-２０２Ａ,ＬＦ-７ＫＥＺ-１９,ＳＦ-２０ＳＡＦ-Ｐ,ＡＹ-４４,ＡＹ-１（１Ｐ）,ＳＦ-１０Ｅ（ＡＹ）,ＳＦ-２０２	2	1						1						
洗面器	Ｌ２７０ＣＭ,ＴＥＮ７７Ｇ１（自動水栓）,Ｔ７ＰＷ１,ＴＬ２２０Ｄ,ＴＳ１２６ＡＲ（水石鹸入れ）	Ｌ-２７５ＦＣＲＳ,ＡＭ-２１１Ｖ１（自動水栓）,ＬＦ-２７５ＰＡＵ,ＳＦ-１０Ｅ,ＫＦ-３０ＤＮ,ＫＦ-２４Ｆ（水石鹸入れ）	1		1											
はめ込み洗面器	Ｌ５４６Ｕ,ＴＥＮＡ４１Ａ（自動水栓）,Ｔ７ＰＷ１,ＴＳ１２６ＢＤＲ（水石鹸入れ）,Ｍ９Ｐ５０Ａ	Ｌ-２２９５,ＡＭ-２００Ｖ１（自動水栓）,ＬＦ-２８１ＰＡＵ,ＬＦ-６２５Ｋ,ＫＦ-２４ＦＬ（水石鹸入れ）	2	1						1						
カウンター	ＭＬ６０（Ｌ＝１３５０：１方向エプロン）,オニックス　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	ＭＢ-６００ＳＳ（Ｌ＝１３５０：１方向エプロン）,シークレスト　　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	1	1												
カウンター	ＭＬ６０（Ｌ＝９００：１方向エプロン）,オニックス　　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	ＭＢ-６００Ｓ（Ｌ＝９００：１方向エプロン）,シークレスト　　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	1							1						
はめ込み洗面器	Ｌ５４６Ｕ,ＴＬＧ１０３０１Ｊ１（混合水栓）,Ｔ７ＰＷ１,ＴＬＣ４Ａ＊２,Ｍ９Ｐ５０Ａ	Ｌ-２２９５,ＬＦ-ＹＡ３４０ＳＹ（混合水栓）,ＬＦ-７１ＰＡ,ＬＦ-３ＶＫ＊２,ＬＦ-６２５Ｋ	3								2			1		
カウンター	ＭＬ６０（Ｌ＝２０５０：１方向エプロン）,オニックス　,ブラケット架台共　　※洗面器２個	ＭＢ-６００ＳＳ（Ｌ＝２０２０：１方向エプロン）,シークレスト　　,ブラケット架台共　　※洗面器２個	1								1					
カウンター	ＭＬ６０（Ｌ＝９００：３方向エプロン）,オニックス　　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	ＭＢ-６００Ｓ（Ｌ＝９００：３方向エプロン）,シークレスト　　,ブラケット架台共　　※洗面器１個	1											1		
化粧鏡	ＹＭ６０７５ＦＡ：６５０Ｘ７５０（アーチ形）	ＫＦ-Ｗ６５０Ｈ７５０ＡＨ（アーチ形）	5	1						1	2			1		
化粧鏡	ＹＭ４５１０ＦＡ：４５０Ｘ１０００（アーチ形）	ＫＦ-Ｗ４５０Ｈ１０００ＡＨ（アーチ形）	1		1											
洗濯機パン	ＰＷＰ７４０Ｎ２,ＰＪ２００８ＮＷ	ＰＦ-７４６４ＡＣ,ＴＰ-５２	4					2			1			1		
シングルレバー混合水栓	ＴＫＳ０５３１５Ｊ	ＳＦ-ＷＬ４３５ＳＹ（１７０）	1				1									
洗濯用水栓	ＴＷ１１Ｒ	ＬＦ-ＷＪ５０ＫＱＡ	4					2			1			1		
横水栓	Ｔ２００ＳＮＲ１３Ｃ	ＬＦ-７Ｒ-１３	2				2									
横水栓	Ｔ２８ＡＵＮＨ１３Ｃ,水栓柱Ｌ=１２００（樹脂製）	ＬＦ-３５-１３-ＣＶ,水栓柱Ｌ=１２００（樹脂製）	2						2							
散水栓	Ｔ２８ＵＮＨ１３Ｃ、Ｂ－３	ＬＦ-３３-１３-ＣＶ,Ｂ－３	2													2
ガス漏れ警報器	ＬＰＧ用（外部出力端子無）		1			1										
ユニットバス：建築工事	混合水栓、排水金具,天井換気扇等は建築工事（但し、器具接続は本工事）											(1)			(1)	
システムキッチン：建築工事	流し台、コンロ台、混合水栓、排水金具,レンジフードファン等は建築工事（但し、器具接続は本工事）					(1)										
流し台：建築工事	排水金具等は建築工事（但し、器具接続は本工事）						(1)									

承認	検図	Ｐ＆Ｄ	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-03
			図面名称：給排水衛生設備　凡例・器具機器表　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%



系　統　図

※配管サイズは平面面参照。

				承認	検図	Ｐ＆Ｄ		
							工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-04
							図面名称：給排水衛生設備　系統図　SCALE　N/S	

A2→A3縮小 71%

汚水小口径インバート桝：凡例 ○

桝種別を示す　蓋種別を示す

000
000

管底レベルを示す

ＳＡ１：１００φ-２００φ
ＳＡ２：１２５φ-２００φ
ＳＡ３：１５０φ-２００φ
特記なき蓋は塩ビ製蓋
Ｔ8，Ｔ25：鋳鉄製蓋，化と特記（化粧蓋を示す）

雨水小口径桝：凡例 ⊗

桝種別を示す　蓋種別を示す

000
000

管底レベルを示す

ＲＡ１：１００φ-２００φ
ＲＡ２：１２５φ-２００φ
ＲＡ３：１５０φ-２００φ
特記なき蓋は塩ビ製蓋
Ｔ8，Ｔ25：鋳鉄製蓋，化と特記（化粧蓋を示す）

注記）
ウオーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定すること。
「飲料水の配管における吐出空間，逆流防止処置等ＳＨＡＳＥ２０６に適合する。」
埋設標示設置のこと。
排水勾配　屋外　1/５０又は１/１００　屋内　1/５０を基準とする。
「飲料水排水配管の構造はウォーターハンマー措置等建告１５９７号に適合する。」
排水トラップ封水高　５０㎜以上　１００㎜以下とする。
桝レベルは参考とする。
下水道桝は下水道指定桝とする。
上水、下水関係は市町村施工基準に準じること。

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項第二号」
に規定する吐水口空間

給水管の内径と吐水口空間の目安

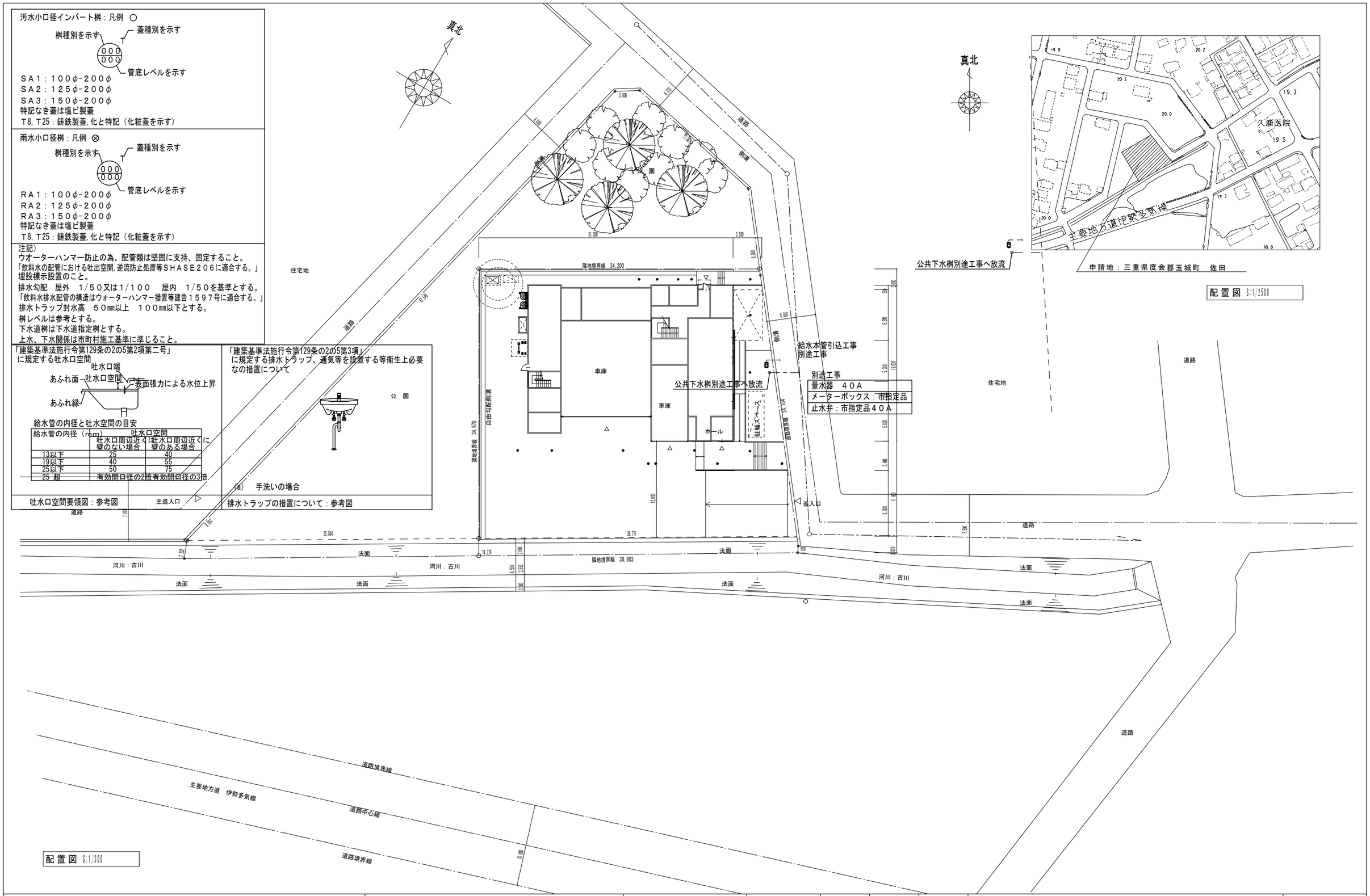
給水管の内径（mm）	吐水口空間	
	吐水口周辺近くに壁のない場合	吐水口周辺近くに壁のある場合
13以下	25	40
19以下	40	55
25以下	50	75
25 超	有効開口径の2倍	有効開口径の3倍

吐水口空間要領図：参考図

「建築基準法施行令第129条の2の5第3項」
に規定する排水トラップ、通気等を設置する等衛生上必要
なの措置について

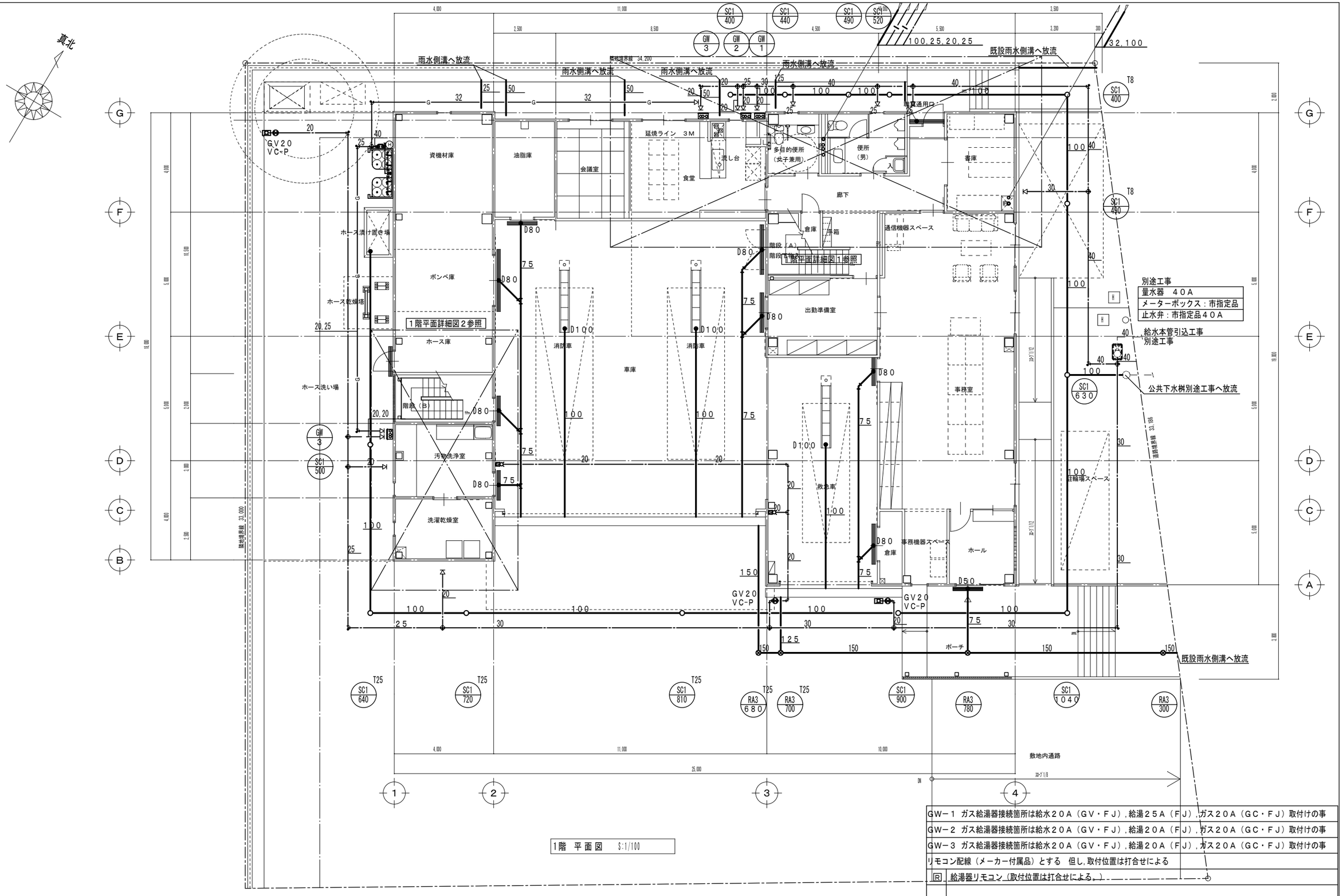
(a)　手洗いの場合

排水トラップの措置について：参考図



				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-05
							図面名称：給排水衛生設備　配置図面　SCALE　1/300	

A2→A3縮小 71%



1階　平面図　S:1/100

GW－1　ガス給湯器接続箇所は給水20A（GV・FJ）,給湯25A（FJ）,ガス20A（GC・FJ）取付けの事
GW－2　ガス給湯器接続箇所は給水20A（GV・FJ）,給湯20A（FJ）,ガス20A（GC・FJ）取付けの事
GW－3　ガス給湯器接続箇所は給水20A（GV・FJ）,給湯20A（FJ）,ガス20A（GC・FJ）取付けの事
リモコン配線（メーカー付属品）とする　但し,取付位置は打合せによる
R　給湯器リモコン（取付位置は打合せによる。）

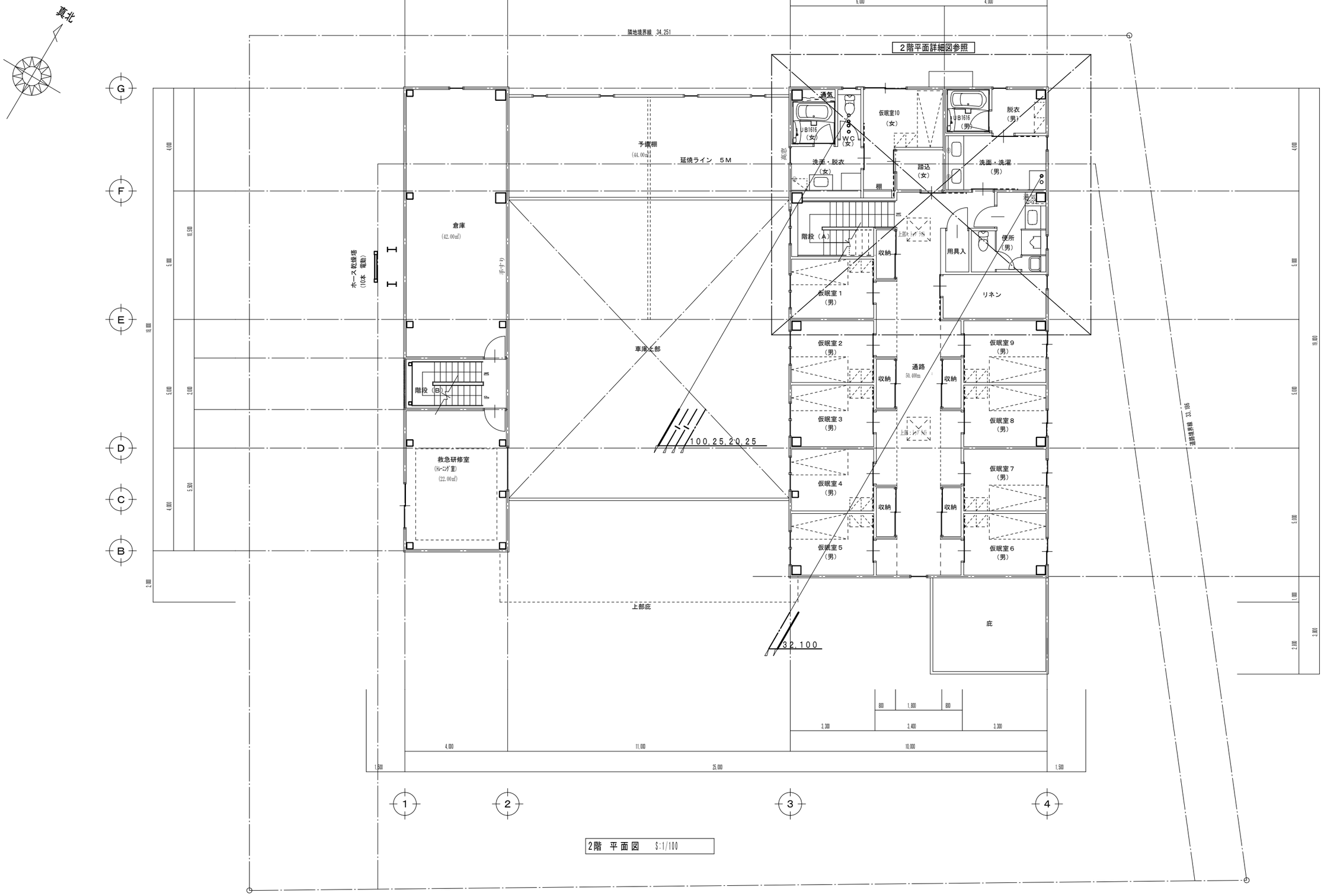
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：給排水衛生設備　1階平面図　SCALE　1/100

M-06

A2→A3縮小 71%



2階 平面図 S:1/100

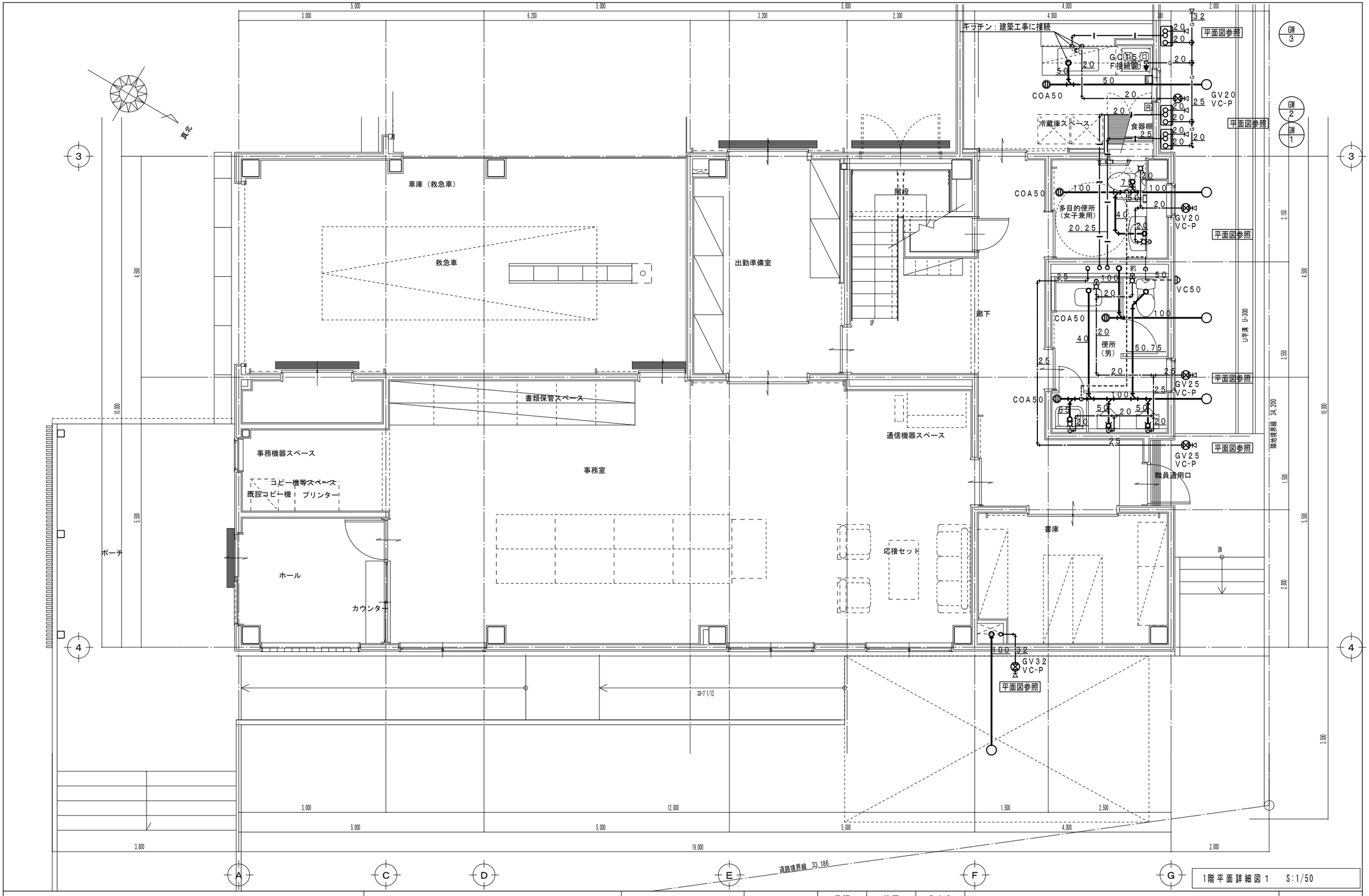
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：給排水衛生設備 2階平面図 SCALE 1/100

M-07

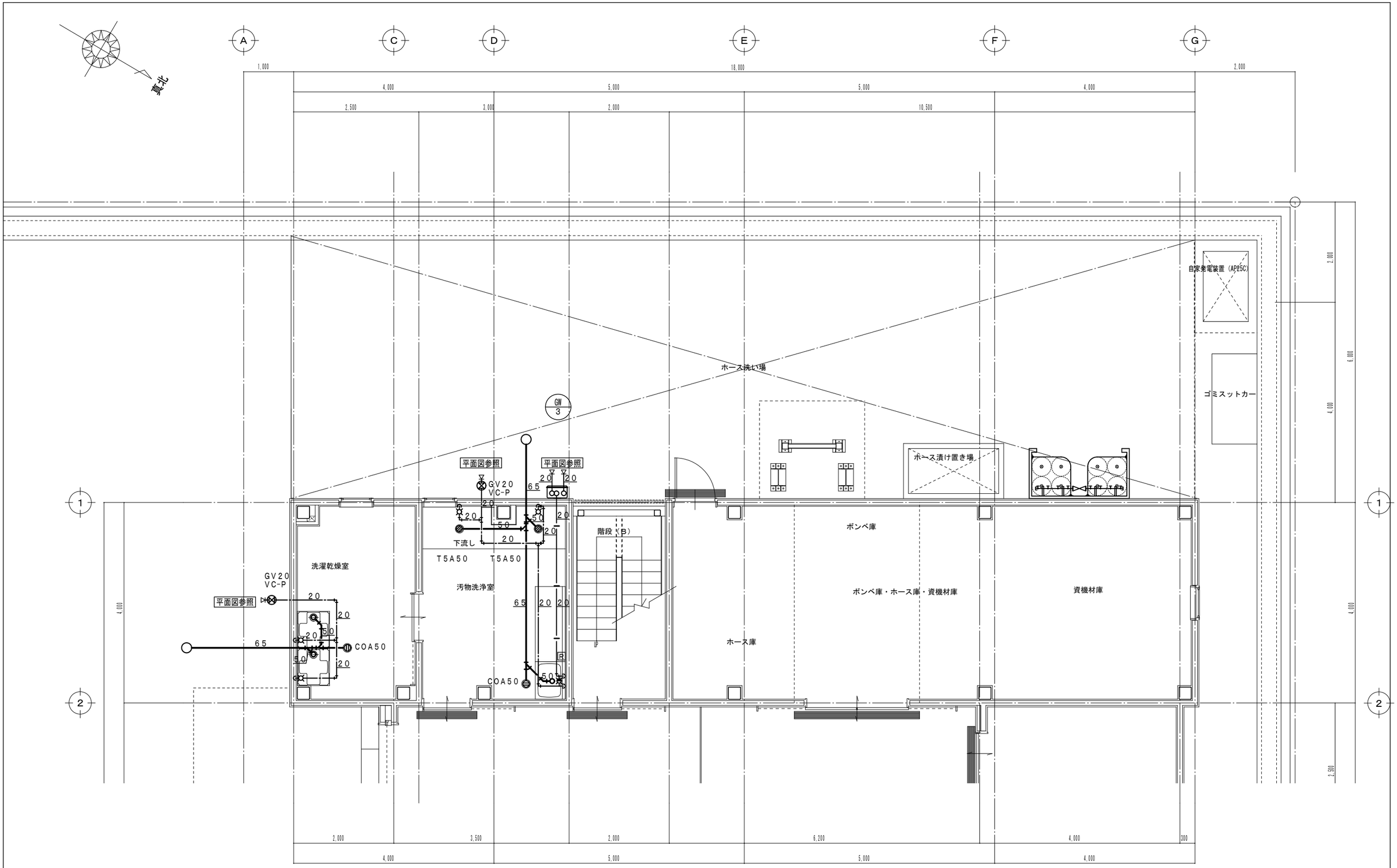
A2→A3縮小 71%



1階平面詳細図1　S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-08
			図面名称：給排水衛生設備　1階平面詳細図1　SCALE　1/50	

A2→A3縮小 71%



1階平面詳細図2　S:1/50

				承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事
							図面名称：給排水衛生設備　1階平面詳細図2　SCALE　1/50

M-09

A2→A3縮小 71%

2階平面詳細図１　S:1/50

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-10
			図面名称：給排水衛生設備　2階平面詳細図　SCALE 1/50	

A2→A3縮小 71%

凡　　例

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
——R——	冷媒用保温付被覆銅管				
——D——	ドレン管				
	空調室内機				
	空調室外機				
● ○	空調リモコンスイッチ				

空 調 機 器 表

形式 ヒートポンプ式

記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量 相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 内 (kW)	送風機 外 (kW)	台数	設 置 場 所
ACP- 1	ヒートポンプ式	形　式	天井カセット4方向吹出し	1	200	1．60	0．05	0．06	2	1階事務室
	エアコン	冷房能力	7．1（2．0～8．0）　kW							参考品番：
		暖房能力	8．0（2．0～10．2）　kW							PLZ-ERMP80SEEY
		冷房消費電力	1．98　kW							
		暖房消費電力	2．01　kW							室外機重量：59Kg
		低温暖房消費電力	2．77　kW							室内機重量：25Kg
		付 属 品	化粧パネル,標準フィルター,リモコンスイッチ							
			他付属品一式							
		基　礎	防振ゴム・市販コンクリート架台							
ACP- 2	ヒートポンプ式	形　式	天井カセット4方向吹出し	1	200	1．30	0．05	0．04	1	2階救急研修室
	エアコン	冷房能力	5．6（1．9～6．3）　kW							参考品番：
		暖房能力	6．3（1．6～8．0）　kW							PLZ-ERMP63SEEY
		冷房消費電力	1．38　kW							
		暖房消費電力	1．40　kW							室外機重量：40Kg
		低温暖房消費電力	1．95　kW							室内機重量：26Kg
		付 属 品	化粧パネル,標準フィルター,リモコンスイッチ							
			他付属品一式							
		基　礎	室外機架台；壁面架台							
ACP- 3	ヒートポンプ式	形　式	天井カセット4方向吹出し	1	200	1．20	0．05	0．04	1	1階食堂
	エアコン	冷房能力	5．0（1．8～5．6）　kW							参考品番：
		暖房能力	5．6（1．4～7．3）　kW							PLZ-ERMP56SEEY
		冷房消費電力	1．26　kW							
		暖房消費電力	1．34　kW							室外機重量：40Kg
		低温暖房消費電力	2．45　kW							室内機重量：25Kg
		付 属 品	化粧パネル,標準フィルター,リモコンスイッチ							
			他付属品一式							
		基　礎	防振ゴム・市販コンクリート架台							
ACP- 4	ヒートポンプ式	形　式	天井カセット1方向吹出し	1	200	0．75	0．03	0．05	1	1階出勤準備室
	ルームエアコン	冷房能力	2．8（0．9～3．6）　kW							参考品番：
		暖房能力	4．0（0．9～6．5）　kW							MLZ-RX2817AS
		冷房消費電力	0．69（0．21～1．25）kW							
		暖房消費電力	1．110（0．30～2．49）kW							室外機重量：33Kg
		低温暖房消費電力	2．20　kW							室内機重量：15Kg
		付 属 品	化粧パネル,標準フィルター,リモコンスイッチ							
			他付属品一式							
		基　礎	防振ゴム・市販コンクリート架台							
ACP- 5	ヒートポンプ式	形　式	壁掛形	1	100	0．65	0．028	0．022	1	1階会議室
	ルームエアコン	冷房能力	2．5（0．8～3．1）　kW							参考品番：
		暖房能力	2．8（0．8～4．4）　kW							MSZBXV2520
		冷房消費電力	0．745（0．165～0．99）kW							
		暖房消費電力	0．625（0．135～1．315）kW							室外機重量：19Kg
		低温暖房消費電力	1．16　kW							室内機重量：14Kg
		付 属 品	リモコンスイッチ　他付属品一式							
		基　礎	防振ゴム・市販コンクリート架台							
ACP- 6	ヒートポンプ式	形　式	壁掛形	1	100	0．60	0．028	0．022	10	2階仮眠室1～10
	ルームエアコン	冷房能力	2．2（0．8～2．8）　kW							参考品番：
		暖房能力	2．2（0．8～3．9）　kW							MSZBXV2220
		冷房消費電力	0．655（0．165～0．94）kW							
		暖房消費電力	0．47（0．135～1．315）kW							室外機重量：19Kg
		低温暖房消費電力	1．16　kW							室内機重量：13Kg
		付 属 品	リモコンスイッチ　他付属品一式							
			室外機：防振架台							
		基　礎	建築工事							

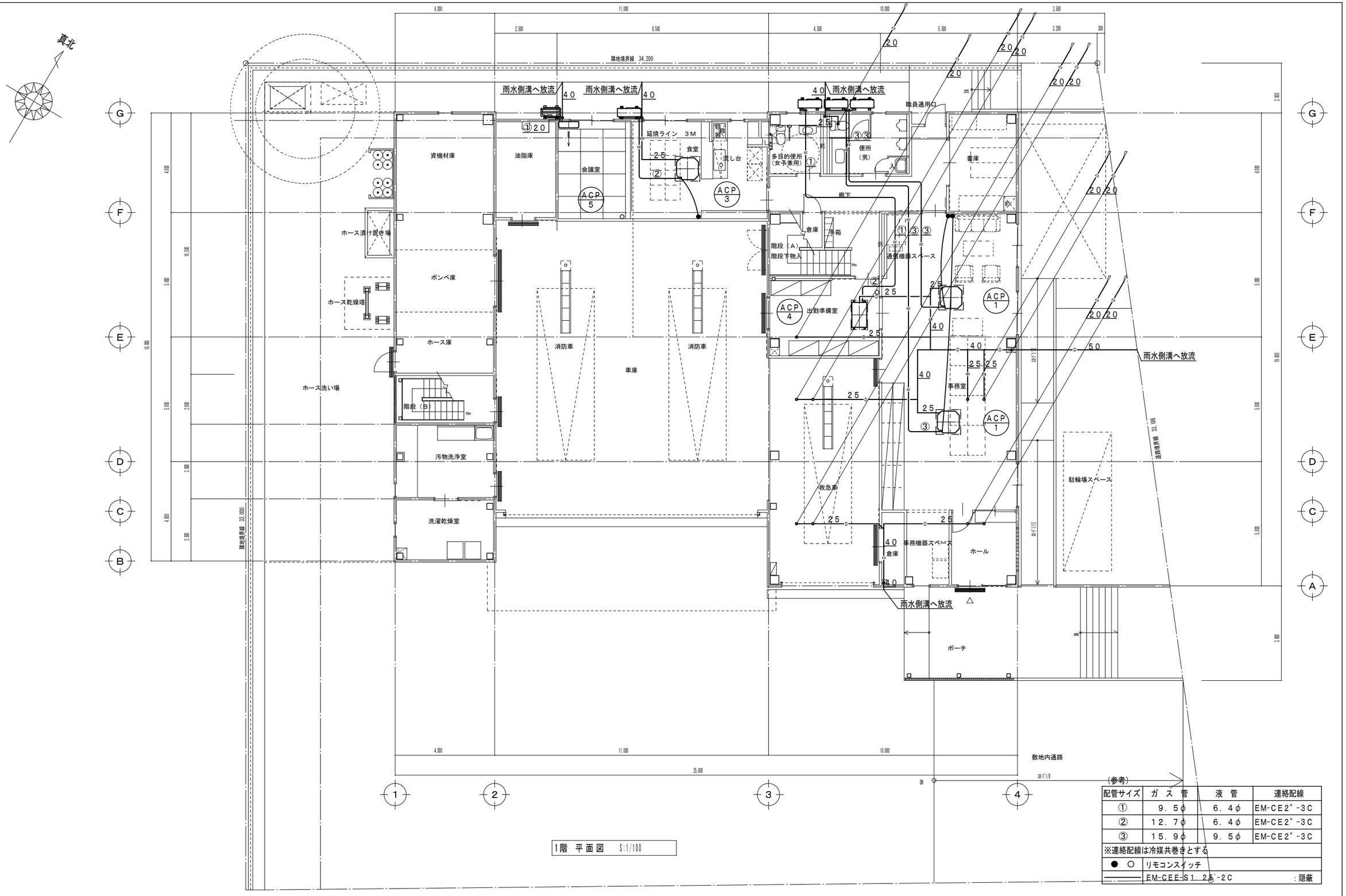
注 記

運転特性、能力はＪＩＳ条件による。　電源容量値は参考とする。
空調機トップランナー基準改定仕様とする。
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。
室外機－室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
リモコン配線共本工事とする。
室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。

機器は同等品以上とする。
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。
但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。

承認	検図	P & D	工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事	M-11
			図面名称：空調設備　凡例・機器表　SCALE N/S	

A2→A3縮小 71%



配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	9.5φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
②	12.7φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
③	15.9φ	9.5φ	EM-CE2°-3C

※連絡配線は冷媒共巻きとする

● ○ リモコンスイッチ

EM-CEE-S1.25°-2C ：隠蔽

1階 平面図 S:1/100

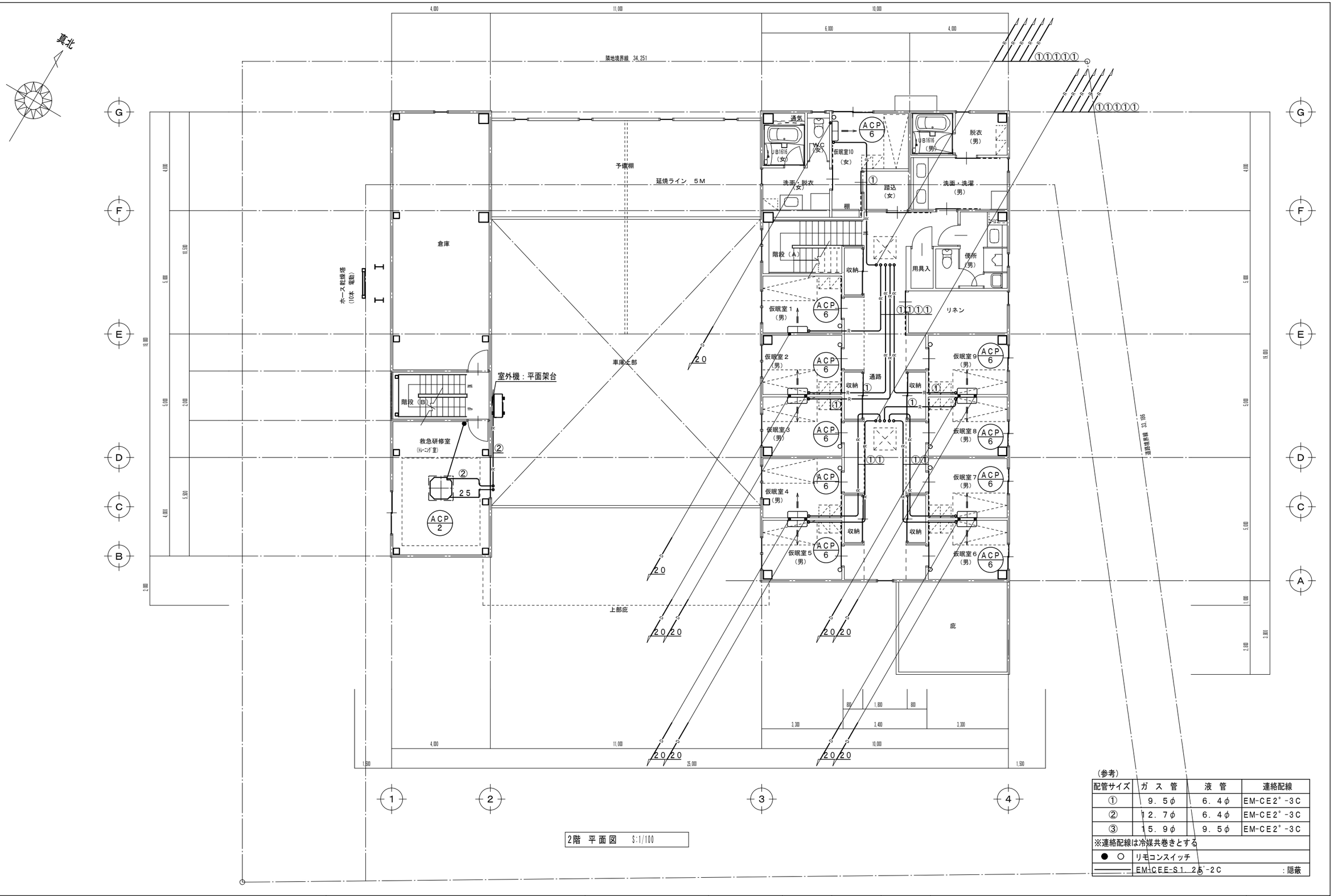
承認	検図	P&D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：空調設備 1階平面図 SCALE 1/100

M-12

A2→A3縮小 71%



2階 平面図 S:1/100

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	9.5φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
②	12.7φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
③	15.9φ	9.5φ	EM-CE2°-3C

※連絡配線は冷媒共巻きとする

● ○ リモコンスイッチ

EM-CEE-S1.25°-2C ：隠蔽

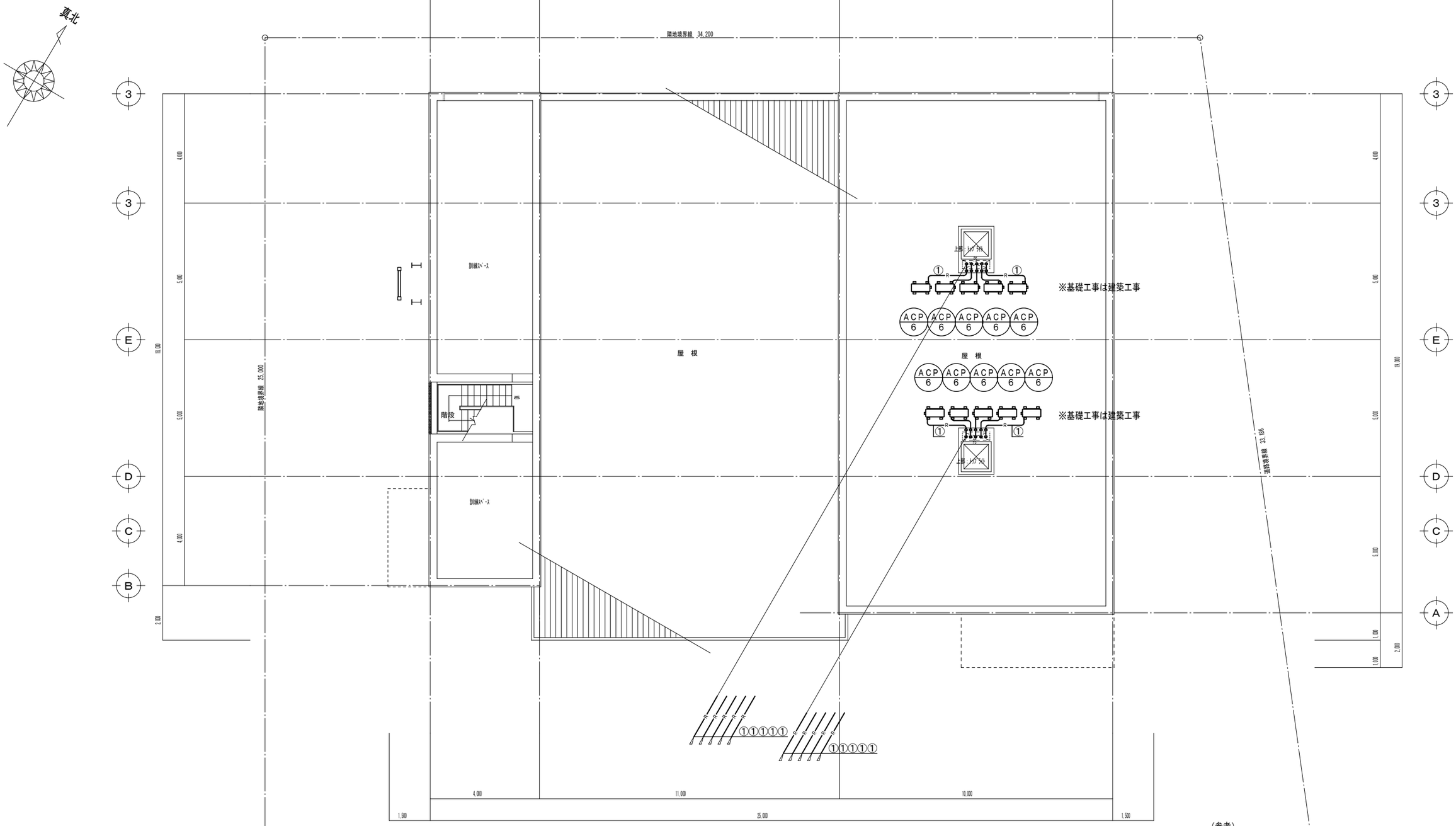
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：空調設備 2階平面図 SCALE 1/100

M-13

A2→A3縮小 71%



R階 平面図 S:1/100

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	9.5φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
②	12.7φ	6.4φ	EM-CE2°-3C
③	15.9φ	9.5φ	EM-CE2°-3C

※連絡配線は冷媒共巻きとする

● ○ リモコンスイッチ

EM-CEE-S1.25°-2C ：隠蔽

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：空調設備 R階平面図 SCALE 1/100

M-14

A2→A3縮小 71%

凡　　例

記　号	名　称	記　号	名　称	記　号	名　称
	スパイラルダクト ダクト（保温施工範囲を示す）		天井換気扇・排気ファン		パイプフード
	スパイラルダクト		吹出・吸込口		

換気計算書（居室に対する２４時間換気量）

階	室　名	床面積（m2）	平均天井高（m）	気　積（m3）	換気回数（回／h）	必要換気量（m3／h）	機器記号	排気量（m3／h）	給気量（m3／h）	備　考
1	事務室	66．00	3．00	198．00						
1	事務機器スペース	5．40	2．70	14．58						
	計	71．40	2．70～3．00	212．58	0．5	106．29	VF-3	270	270	1．27回／h よってOK
1	食堂	22．00	2．80	61．60						
1	会議室	12．00	2．50	30．00						
	計	34．00	2．50～2．80	91．60	0．5	45．80	VF-4	260	260	2．84回／h よってOK
1	汚物洗浄室	12．00	2．70	32．40	0．5	16．20	VF-6	400	400	12．35回／h よってOK
2	仮眠室１～９	8．25	2．50	20．63	0．5	10．32	VF-1	14．5	16．0	0．70回／h よってOK
2	仮眠室１０	10．08	2．50	25．20	0．5	12．60	VF-2	14．5	16．0	0．58回／h よってOK
2	緊急研修室	22．20	2．70	59．94	0．5	29．97	VF-5	180	180	3．00回／h よってOK

換気計算書　（火気使用計算）

[建築基準法施工令第20条の3第2項]
必要換気量（V）＝定数*理論廃ガス量（K）*燃料消費量（Q）
V　：　必要換気量（m3/h）
K　：　理論廃ガス量（m3/kwh）又は（m3/kg）
Q　：　発熱量（kw）又は燃料消費量（kg/h）

階	室　名	機器名称	発熱量（kW）	定数（m3/kWH）	理論廃ガス量（m3/kWH）	必要換気量（m3/h）	機器記号	排気量（m3/H）	備　考
1	食堂	3口ガスコンロ	9．88	40	0．93	367．54	レンジフードファン：建築工事	420	367．54≦420よってOK

換　気　機　器　表

記　号	機器名称	形　式	形　式・仕　様	電気容量 相（φ）	電圧（V）	消費電力（W）	台数	備　考
VF-1	24時間同時給排気形換気扇	形　式	J-ファンロスナイミニ：壁取付形	1	100	6．5	9	設置場所：2階仮眠室1～9
		風　量	有効排気：14．5m3/h　　給気：16．0 m3/h					参考品番：VL- 06JV2
		ダクト径	100　φ					
		静　圧	――　Pa					
		付属品	パイプスリーブ,その他付属品共					
		フード	SUS製角形パイプフード：防虫網付　※指定色焼付塗装				9	
VF-1	24時間同時給排気形換気扇	形　式	J-ファンロスナイミニ：壁取付形	1	100	6．5	1	設置場所：2階仮眠室10
		風　量	有効排気：14．5m3/h　　給気：16．0 m3/h					参考品番：VL- 06JV2
		ダクト径	100　φ					
		静　圧	――　Pa					
		付属品	パイプスリーブ,その他付属品共					
		フード	FD付SUS製角形パイプフード：防虫網付 ※指定色焼付塗装				1	
VF-3	天井換気扇	形　式	低騒音格子形：鋼板製ボディ	1	100	36．0	2	設置場所：1階事務室
		風　量	270　m3/h					参考品番：VD- 18ZXP12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	40　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-4	天井換気扇	形　式	低騒音格子形：鋼板製ボディ	1	100	36．0	1	設置場所：1階食堂
		風　量	260　m3/h					参考品番：VD- 18ZXP12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	30　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-5	天井換気扇	形　式	低騒音格子形：鋼板製ボディ	1	100	22．5	1	設置場所：2階緊急研修室
		風　量	180　m3/h					参考品番：VD- 15ZXP12
		ダクト径	100　φ					
		静　圧	25　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-6	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	82．0	1	設置場所：1階汚物洗浄室
		風　量	400　m3/h					参考品番：VD- 23ZB12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	35　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					

換　気　機　器　表

記　号	機器名称	形　式	形　式・仕　様	電気容量 相（φ）	電圧（V）	消費電力（W）	台数	備　考
VF-7	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	49．0	1	設置場所：1階洗濯乾燥室
		風　量	330　m3/h					参考品番：VD- 20ZB12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	30　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-8	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	49．0	1	設置場所：2階便所（男）
		風　量	300　m3/h					参考品番：VD- 20ZB12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	30　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-9	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	29．5	1	設置場所：1階便所（男）
		風　量	260　m3/h					参考品番：VD- 18ZB12
		ダクト径	150　φ					
		静　圧	25　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-10	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	23．0	2	設置場所：1階多目的便所
		風　量	170　m3/h					2階洗面・洗濯（男）
		ダクト径	100　φ					参考品番：VD- 15ZP12
		静　圧	40　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-11	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	15．5	4	設置場所：1階出勤準備室,書庫
		風　量	100　m3/h					2階洗面・脱衣室（女）
		ダクト径	100　φ					2階洗面・脱衣室（男）
		静　圧	50　Pa					参考品番：VD- 15Z12
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
VF-12	天井換気扇	形　式	低騒音形：鋼板製ボディ	1	100	9．3	1	設置場所：2階女子便所
		風　量	60　m3/h					参考品番：VD- 10Z12
		ダクト径	100　φ					
		静　圧	25　Pa					
		付属品	天吊り防振金具,その他付属品共					
FE-1	有圧換気扇	形　式	低騒音形	1	100	113．0	3	設置場所：消防車車庫,2階倉庫
		風　量	2200m3/h					参考品番：EWF- 35CSA
		羽根径	35　cm					
		静　圧	50　Pa					
		付属品	FD付SUS製ウェザカバー（防鳥網付）,風圧式シャッター,					
			バックガード,不燃枠,その他付属品					
FE-2	有圧換気扇	形　式	低騒音形	1	100	65．0	1	設置場所：1階資機材庫
		風　量	1000m3/h					参考品番：EWF- 30BSA
		羽根径	30　cm					
		静　圧	50　Pa					
		付属品	FD付SUS製ウェザカバー（防鳥網付）,風圧式シャッター,					
			バックガード,不燃枠,その他付属品					
	パイプフード		SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付　100φ				2	
			150φ				6	
			FD付SUS製丸形防風板付ベントキャップ：ガラリ付　100φ				7	
			150φ				3	
			SUS製丸形防風板付ベントキャップ：防虫網付　150φ				7	
			FD付SUS製丸形防風板付ベントキャップ：防虫網付　150φ				2	
			200φ				1	
FE-3	排気ファン	形　式	片吸込シロッコファン（SUS製）：屋外床置形	3	200	1500	1	設置場所：屋外
		風　量	2500m3/h					
		ダクト径	φ					基礎工事：建築工事
		静　圧	200　Pa					
		付属品	相フランジ,その他付属品					
VS-1	防爆形強制換気扇	形　式	排気用：SUS製	1	100	25．0	1	設置場所：1階油脂庫
		風　量	780　m3/h					
		ダクト径	220　φ					
		静　圧	Pa					
		付属品	引火防止用網（SUS40メッシュ）					

電源容量は参考数値とする。　パイプフードは指定色焼付塗装仕上げとする。 機器は同等品以上とする。

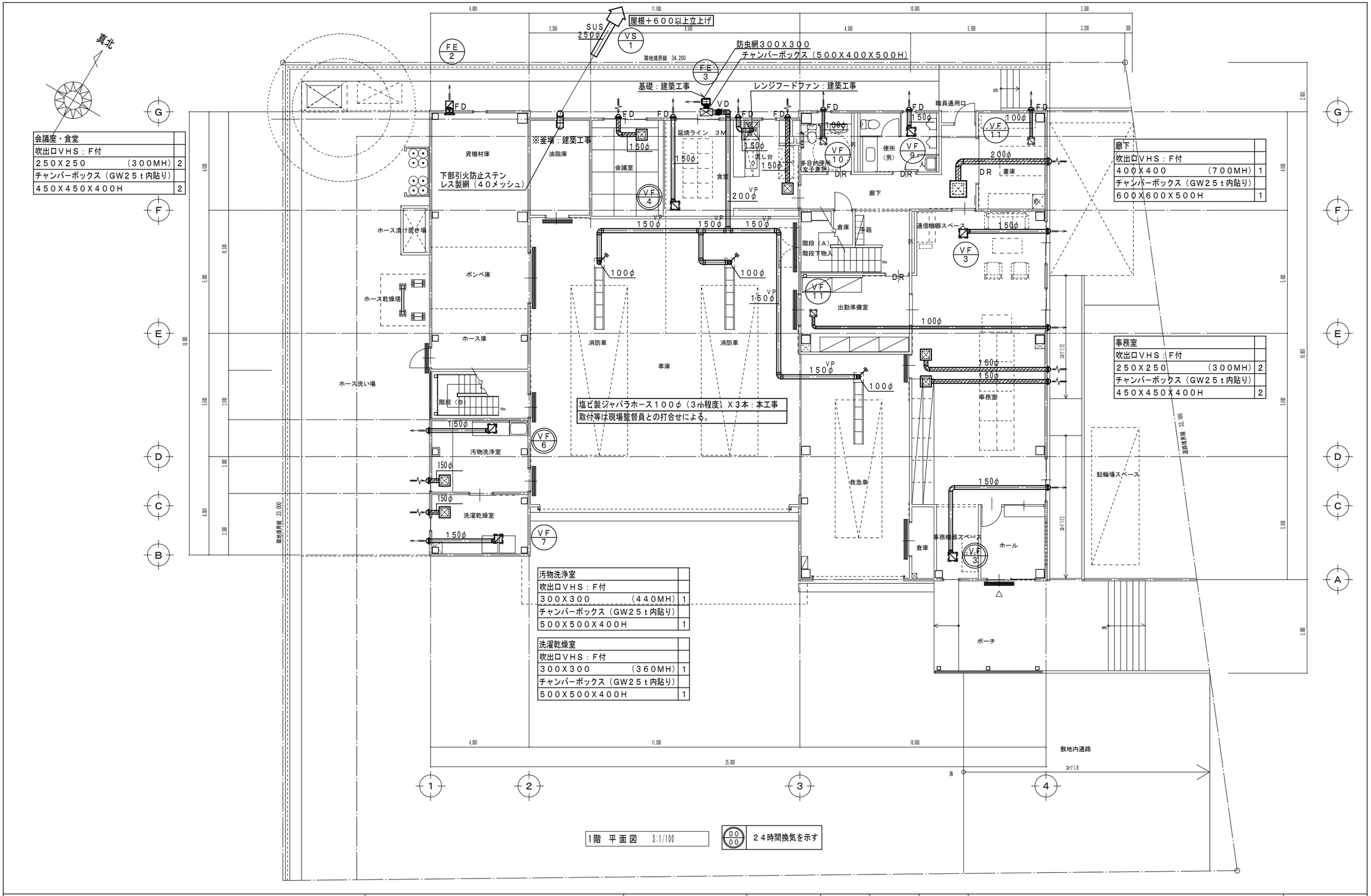
承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：換気設備　凡例・計算書・機器表　SCALE　N/S

M-15

A2→A3縮小 71%



1階 平面図 S:1/100

２４時間換気を示す

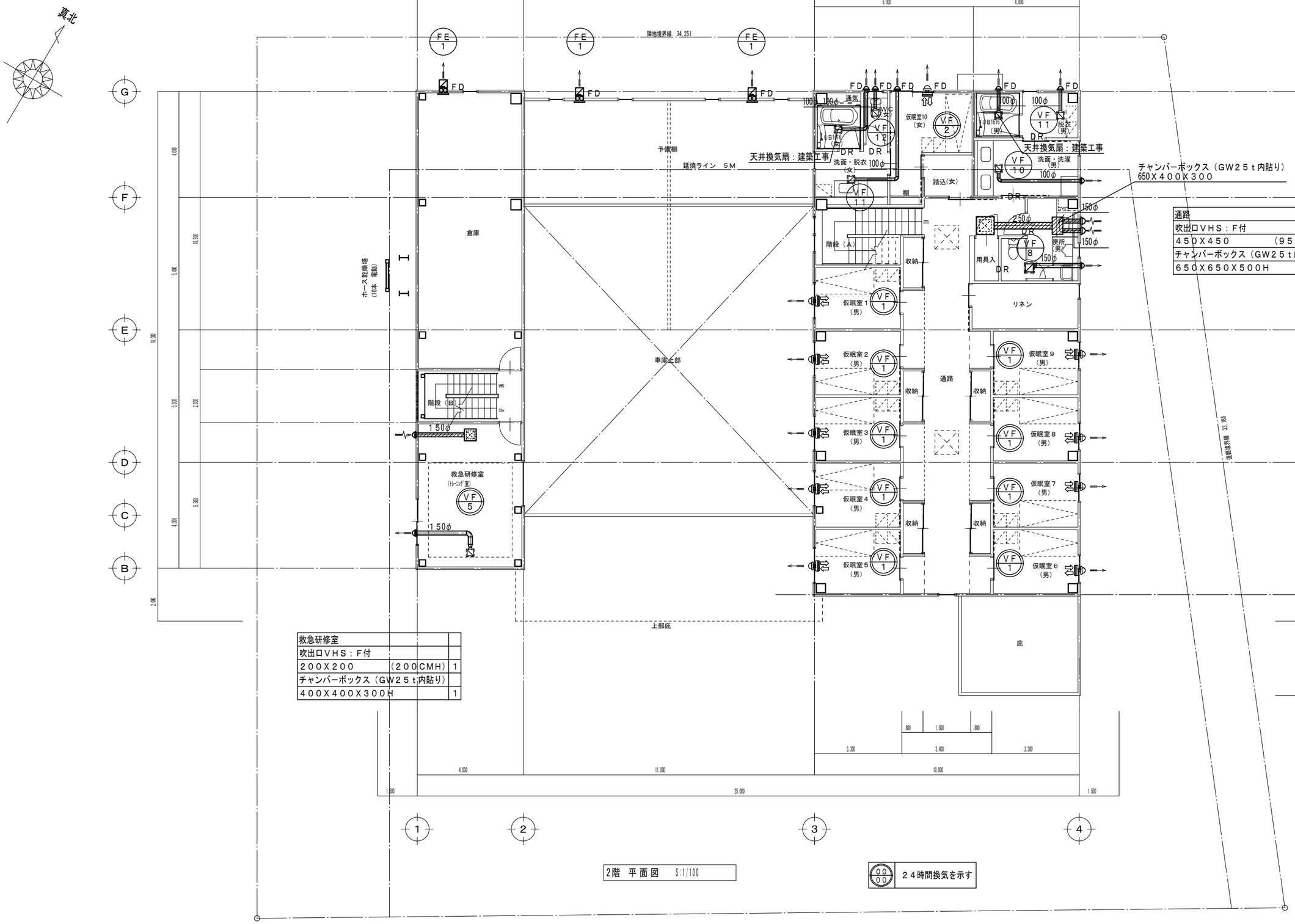
承認	検図	Ｐ＆Ｄ

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：換気設備 1階平面図 SCALE 1/100

M-16

A2→A3縮小 71%



救急研修室		
吹出口VHS：F付		
200X200 （200CMH）	1	
チャンバーボックス（GW25ｔ内貼り）		
400X400X300H	1	

2階 平面図 S:1/100

00 00 ２４時間換気を示す

承認	検図	P & D

工事名称：伊勢市消防署玉城出張所新築工事

図面名称：換気設備 2階平面図 SCALE 1/100

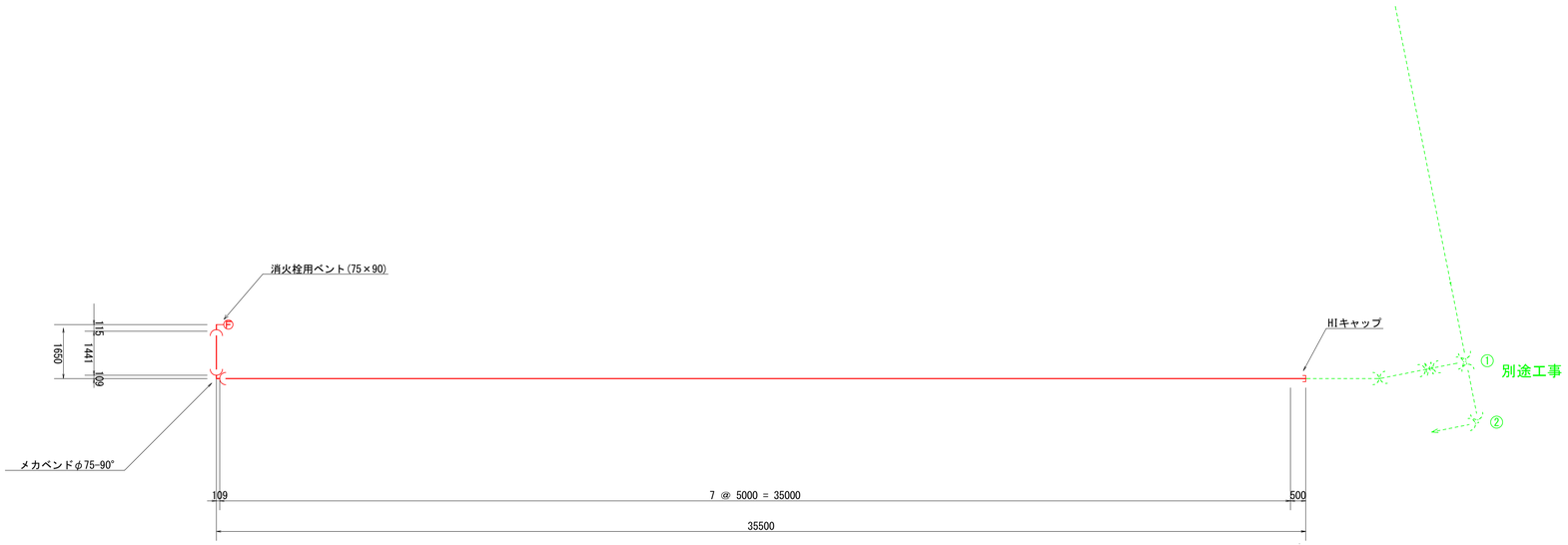
M-17

A2→A3縮小 71%

場内配管図（詳細）

S=1:100

①

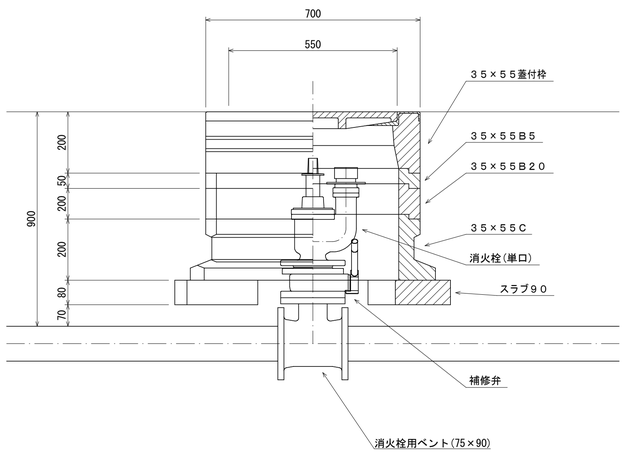


材 料 表 ①

HIVP φ75	: 7
乙切管φ75	L = 500
乙切管φ75	L = 1441
HIキャップ φ75	: 1
離脱防止金具（ロング）	: 1
ソフトシール弁φ75	
メカベンドφ75-11° 1/4	
メカベンドφ75-90°	: 1
消火栓(単口)	: 1
消火栓用ベント(75×90)	: 1
ボール補修弁 150	: 1
両フランジ単管 100	: 1
フランジパッキン	: 3
３５×５５蓋付枠	: 1
３５×５５Ｂ５	: 1
３５×５５Ｂ２０	: 1
３５×５５Ｃ	: 1
スラブ９０	: 2

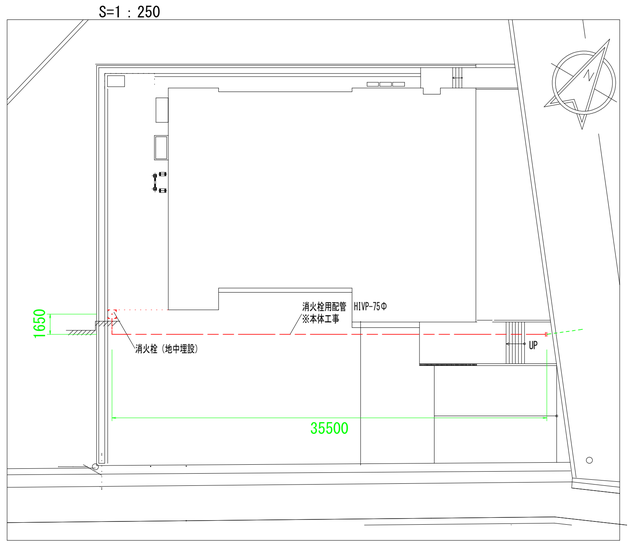
消 火 栓 標 準 図

S=1:10



計画平面図

S=1 : 250



工事名	玉城出張所配水管ほか布設工事		
図面名	場 内 管 割 図		
作成年月日	令和2年７月		
縮尺	図 示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	玉城町総務政策課		